

富田林市

子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

富田林市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学

目次

はじめに	2
I 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査内容	3
4. 調査対象者	3
5. 調査実施日	3
6. 調査配布・回収率(数)	3
7. 調査実施主体	5
8. 研究者一覧	5
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い	5
II 調査結果	7
1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕	7
2. 単純集計結果〔保護者〕	84
3. クロス集計および分析結果	182
3-1. 基本情報	182
(1) 経済状況	182
(2) 家庭状況(制度等)	201
3-2. 雇用	248
3-3. 健康	256
3-4. 家庭生活、学習	298
3-5. 対人関係	358
III 総合考察	426
1) 大阪府内共同調査の意義	426
2) 単純集計	426
3) クロス集計	429
まとめ	431
IV 資料編	439

はじめに

2014年1月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り上げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年4月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪府では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府が、大阪府内の大半を占める大阪市も含めて牽引した役割は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group (CPAG) が示している、①所得や資産など経済的資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (human capital) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital) の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

I 調査概要

1. 調査の目的

富田林市では、子どもたちが積極的に自分の生き方を選択し、自立できるよう様々な施策を実施している中、今後、効果的な子どもの貧困対策を検証するために調査を実施し、得られた結果を分析することによって、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検証することを目的としている。

2. 調査方法

富田林市内の調査対象の世帯に、各学校を通じて調査票を配付し、回収を得たもの。

3. 調査内容

巻末の調査票参照

4. 調査対象者

富田林市の小学5年生・その保護者（834世帯） 中学2年生・その保護者（800世帯）

5. 調査実施日

富田林市：令和5年7月3日～令和5年7月20日

大阪府内全自治体：令和5年6月27日～令和5年9月30日

6. 調査配布・回収率(数)

表1. 調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
富田林市	小学5年生	90.5	755	834
	小学5年生の保護者	64.7	540	834
	中学2年生	81.6	653	800
	中学2年生の保護者	56.5	452	800
	小学5年生・中学2年生合計	86.2	1,408	1,634
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	60.7	992	1,634
	計	73.4	2,400	3,268
大阪府全自治体	小学5年生	56.2	23,289	41,458
	小学5年生の保護者	55.0	22,819	41,458
	中学2年生	51.4	19,990	38,911
	中学2年生の保護者	49.8	19,390	38,911
	小学5年生・中学2年生合計	54.0	43,370	80,369
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
	計	54.0	86,728	160,738

※大阪府内全自治体の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布・学校回収	小学5年生	61.6	15,927	25,852
	小学5年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学2年生	58.3	13,712	23,539
	中学2年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学5年生・中学2年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布・郵送回収	小学5年生	22.6	1,401	6,191
	小学5年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学2年生	15.3	936	6,099
	中学2年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学5年生・中学2年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布・郵送回収	小学5年生	21.3	2,003	9,415
	小学5年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学2年生	17.8	1,646	9,273
	中学2年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376
学校配布・WEB回答	小学5年生	23.0	3,007	13,068
	小学5年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学2年生	21.3	2,714	12,718
	中学2年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学5年生・中学2年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,672	51,572
郵送配布・WEB回答	小学5年生	10.1	951	9,415
	小学5年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学2年生	10.6	982	9,273
	中学2年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の3自治体において実施した。さらに1自治体では、小5・中2以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は14,626件、回収率75.0%であった。

7. 調査実施主体

富田林市

調査研究業務受託者

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

8. 研究者一覧

担当者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

教授 山野 則子（業務責任者）

特任講師 橋本 磨和

シニア研究員 永田 麻衣 佐伯 厘咲 李 孟

協力者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

准教授 嵯峨 嘉子

研究補助者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科

准教授 牛 冰

武庫川女子大学 社会情報学部 社会情報学科 助教 駒田 安紀

大阪商業大学 公共学部 公共学科 助教 林 萍萍

奈良佐保短期大学 地域こども学科 講師 河村 信子

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

研究員 黄 健育 渡邊 陽亮

大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野 林 慎吾

松浦 孝範 久地井 寿哉 渡邊 祐作

9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、富田林市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。富田林市のデータについては既に「Ⅰ 調査概要 2～8」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府25市町村のデータに共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30%の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは70%を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の2種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体について

データの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「富田林市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ 調査結果

1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕

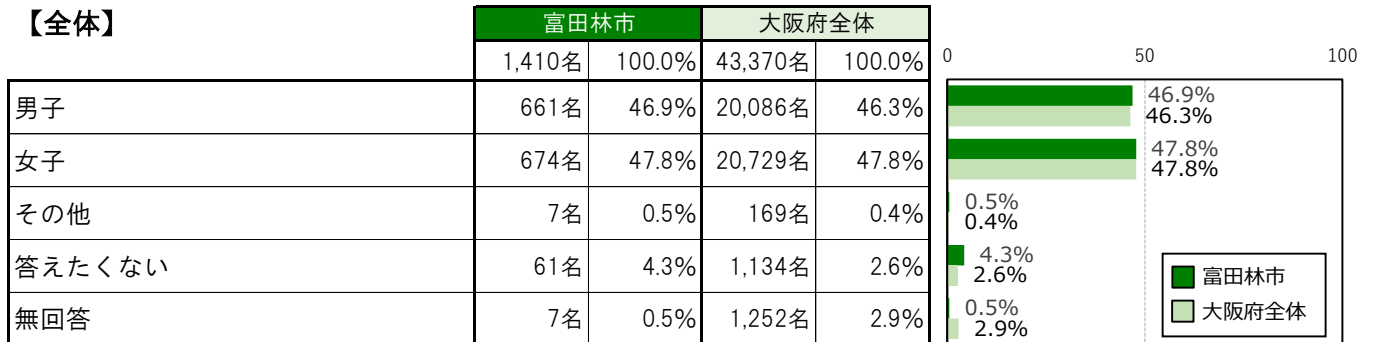
富田林市

回答者の属性

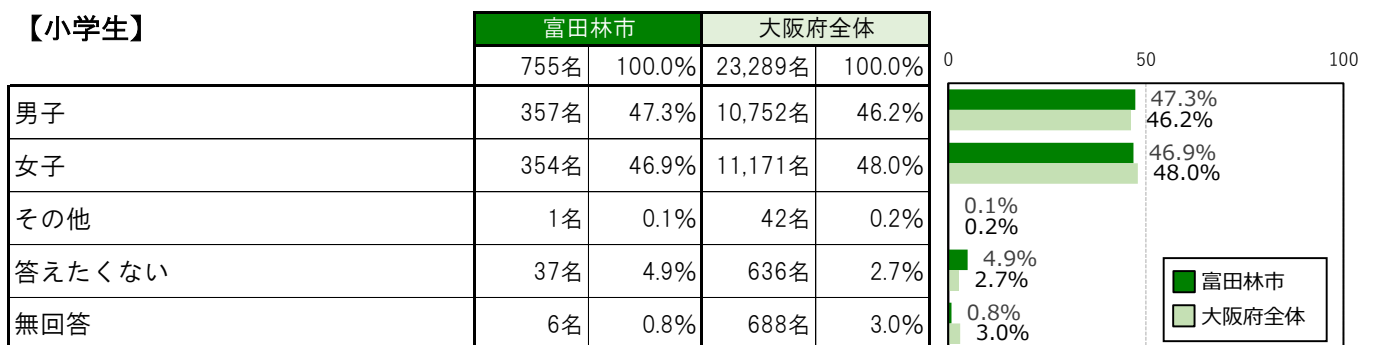
問27 性別

全体は、「女子」が47.8%で最も多く、次いで「男子」が46.9%となっている。
小学生は、「男子」が47.3%で最も多く、次いで「女子」が46.9%となっている。
中学生は、「女子」が48.7%で最も多く、次いで「男子」が46.6%となっている。

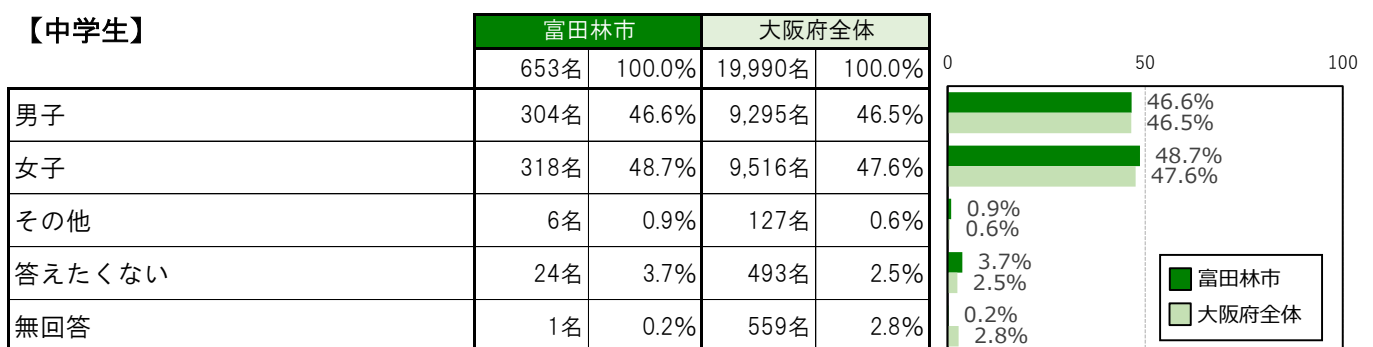
【全体】



【小学生】



【中学生】



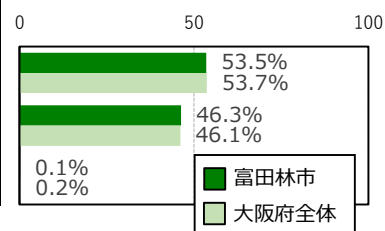
回答者の属性

問1 学年

回答者の学年は、「小学生」が755名・53.5%、「中学生」が653名・46.3%となっている。

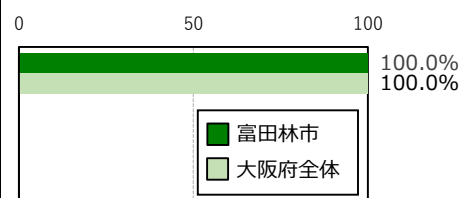
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
小学生	755名	53.5%	23,289名	53.7%
中学生	653名	46.3%	19,990名	46.1%
無回答	2名	0.1%	91名	0.2%



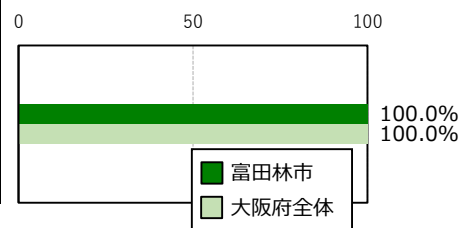
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
小学生	755名	100.0%	23,289名	100.0%
中学生	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
小学生	-	-	-	-
中学生	653名	100.0%	19,990名	100.0%
無回答	-	-	-	-



ふだんの生活のことについて

問2 起床時間の規則性

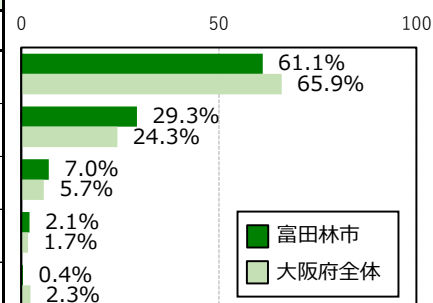
全体は、「起きている」が61.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が29.3%、「あまり、起きていない」が7.0%となっている。

小学生は、「起きている」が60.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が29.7%、「あまり、起きていない」が6.8%となっている。

中学生は、「起きている」が61.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が28.8%、「あまり、起きていない」が7.4%となっている。

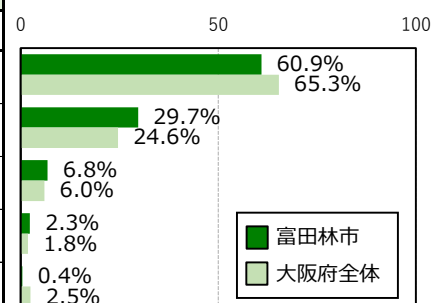
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
起きている	862名	61.1%	28,594名	65.9%
どちらかといえば、起きている	413名	29.3%	10,539名	24.3%
あまり、起きていない	99名	7.0%	2,478名	5.7%
起きていない	30名	2.1%	741名	1.7%
無回答	6名	0.4%	1,018名	2.3%



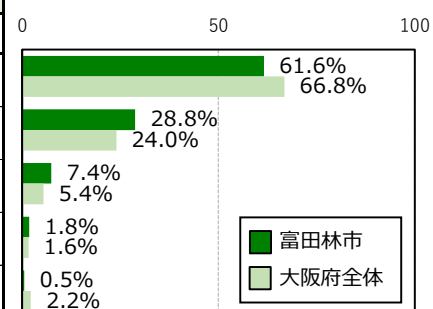
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
起きている	460名	60.9%	15,198名	65.3%
どちらかといえば、起きている	224名	29.7%	5,722名	24.6%
あまり、起きていない	51名	6.8%	1,386名	6.0%
起きていない	17名	2.3%	410名	1.8%
無回答	3名	0.4%	573名	2.5%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
起きている	402名	61.6%	13,344名	66.8%
どちらかといえば、起きている	188名	28.8%	4,791名	24.0%
あまり、起きていない	48名	7.4%	1,088名	5.4%
起きていない	12名	1.8%	328名	1.6%
無回答	3名	0.5%	439名	2.2%



ふだんの生活のことについて

問3 就寝時間

全体は、「午後10時台」が30.3%で最も多く、次いで「午後11時台」が22.8%、「午後9時台」が17.7%、「午前0時台」が10.6%となっている。

小学生は、「午後10時台」が37.2%で最も多く、次いで「午後9時台」が30.5%、「午後11時台」が13.1%、「午後9時より前」が6.0%となっている。

中学生は、「午後11時台」が34.0%で最も多く、次いで「午後10時台」が22.4%、「午前0時台」が19.8%、「きまっていない」が11.5%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

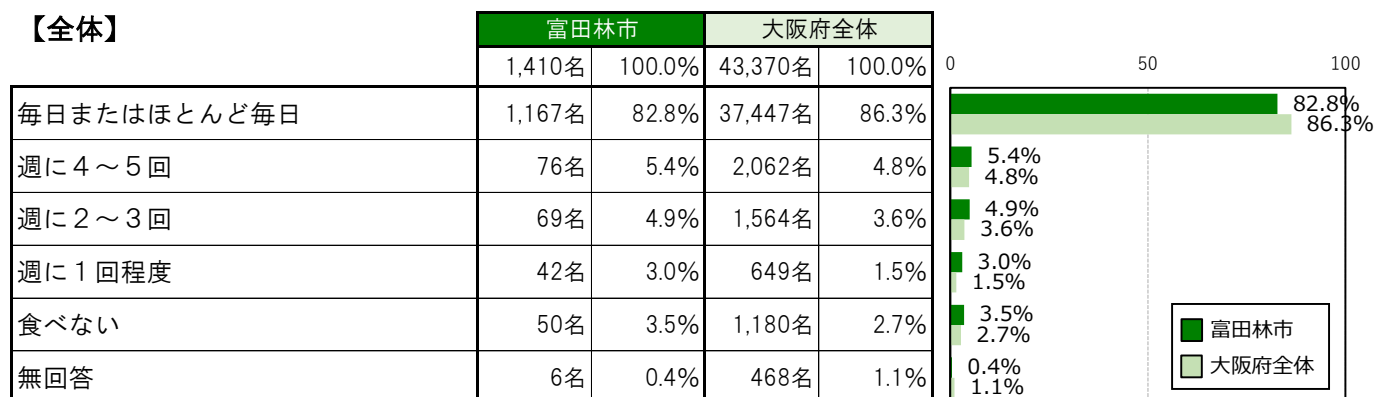
問4（１）朝食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が82.8%で最も多く、次いで「週に4～5回」が5.4%、「週に2～3回」が4.9%、「食べない」が3.5%となっている。

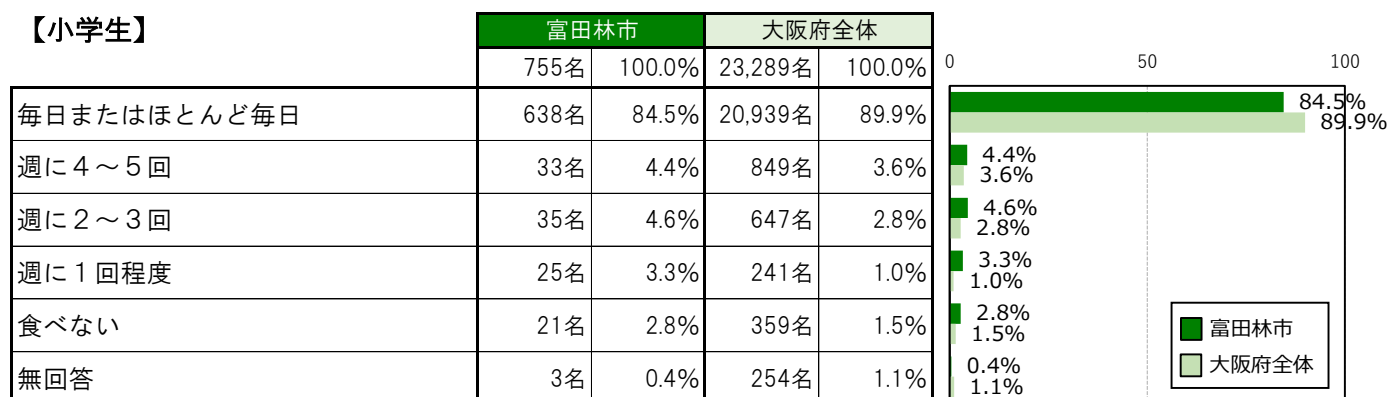
小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が84.5%で最も多く、次いで「週に2～3回」が4.6%、「週に4～5回」が4.4%、「週に1回程度」が3.3%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が80.7%で最も多く、次いで「週に4～5回」が6.6%、「週に2～3回」が5.2%、「食べない」が4.4%となっている。

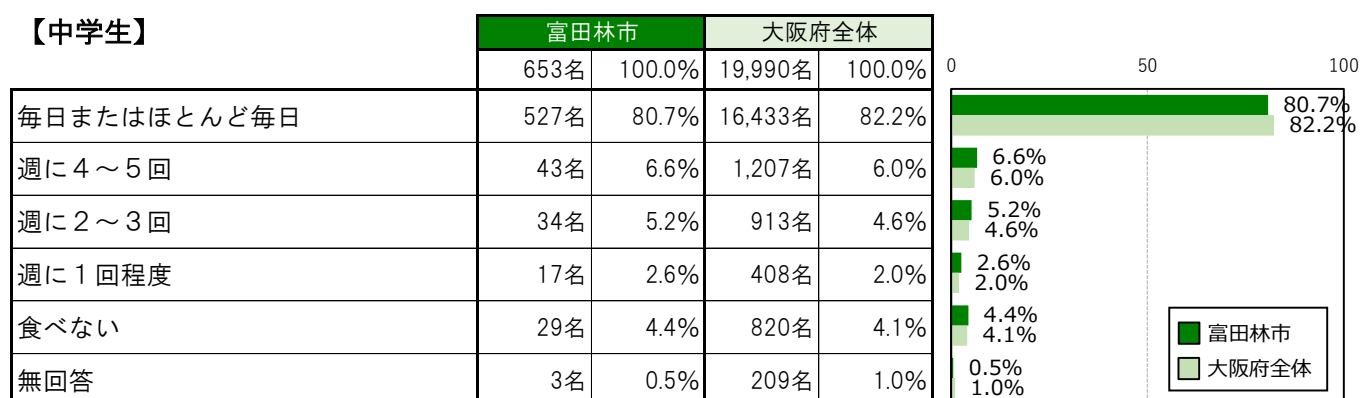
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

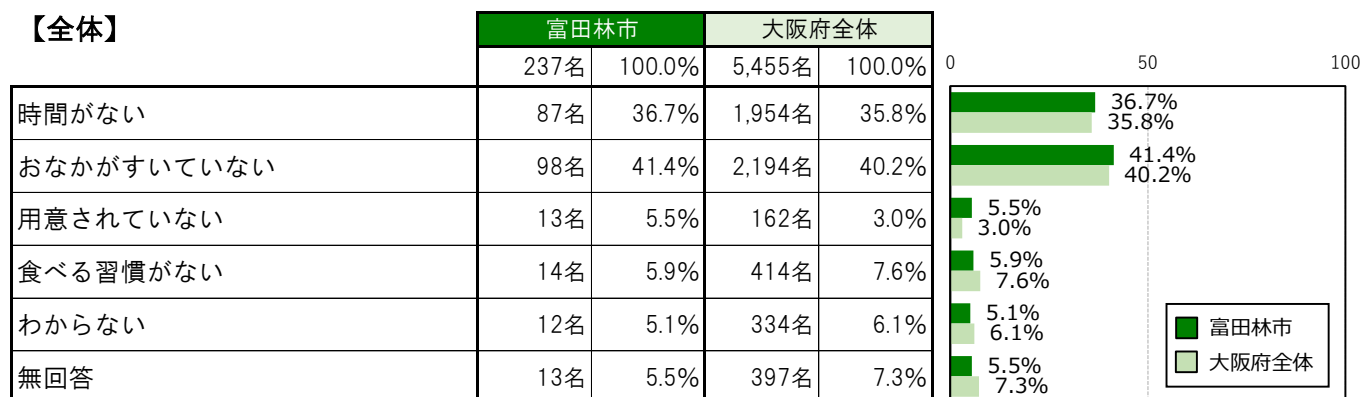
問4（2）朝食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が41.4%で最も多く、次いで「時間がない」が36.7%、「食べる習慣がない」が5.9%、「用意されていない」が5.5%となっている。

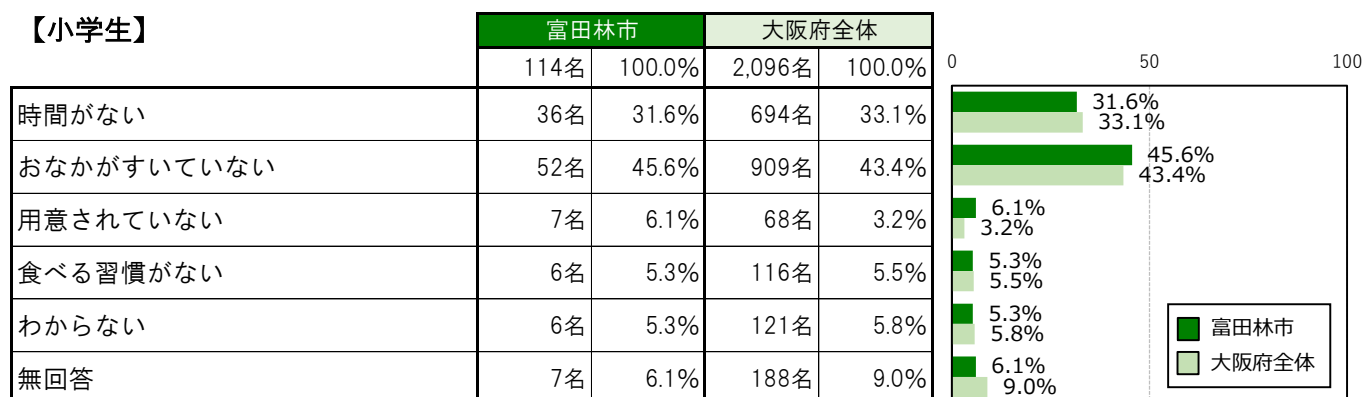
小学生は、「おなかがすいていない」が45.6%で最も多く、次いで「時間がない」が31.6%、「用意されていない」が6.1%、「食べる習慣がない」が5.3%となっている。

中学生は、「時間がない」が41.5%で最も多く、次いで「おなかがすいていない」が37.4%、「食べる習慣がない」が6.5%、「用意されていない」が4.9%となっている。

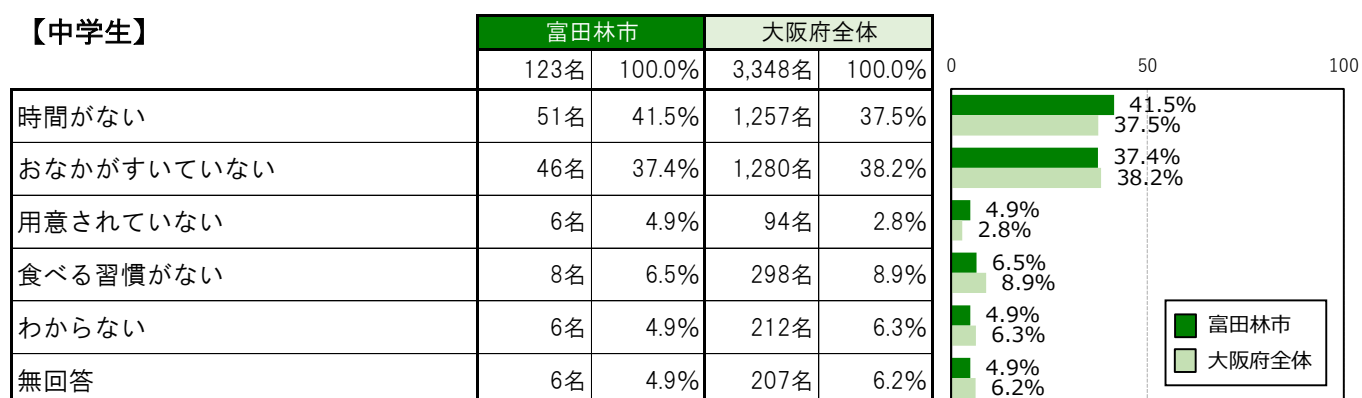
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

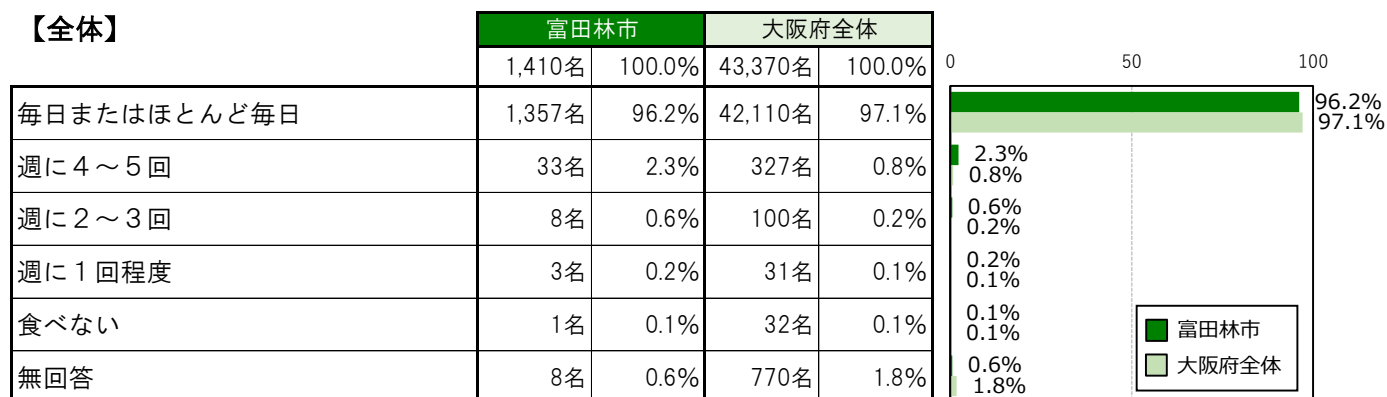
問5（１）夕食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が96.2%で最も多く、次いで「週に4～5回」が2.3%、「週に2～3回」が0.6%となっている。

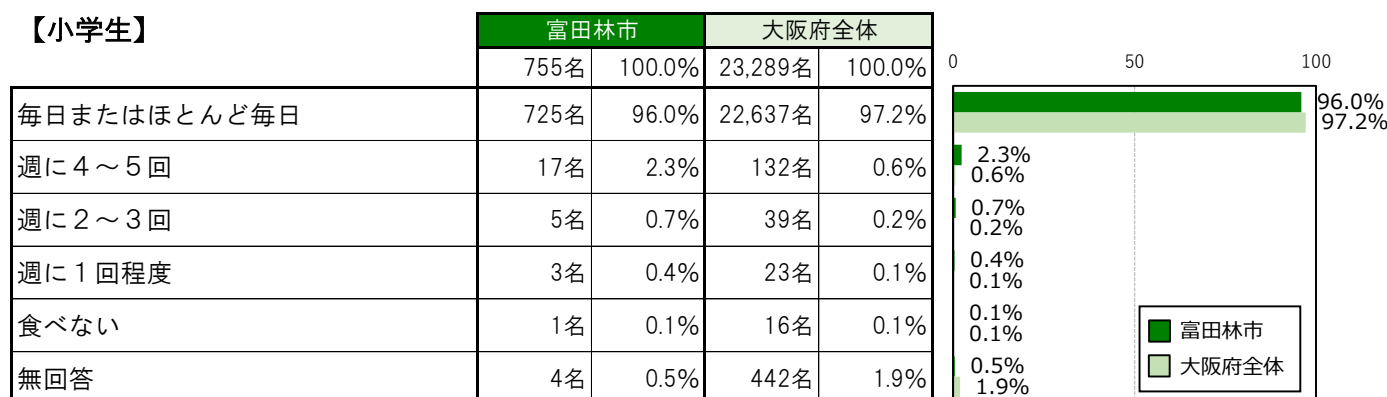
小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が96.0%で最も多く、次いで「週に4～5回」が2.3%、「週に2～3回」が0.7%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が96.5%で最も多く、次いで「週に4～5回」が2.5%、「週に2～3回」が0.5%となっている。

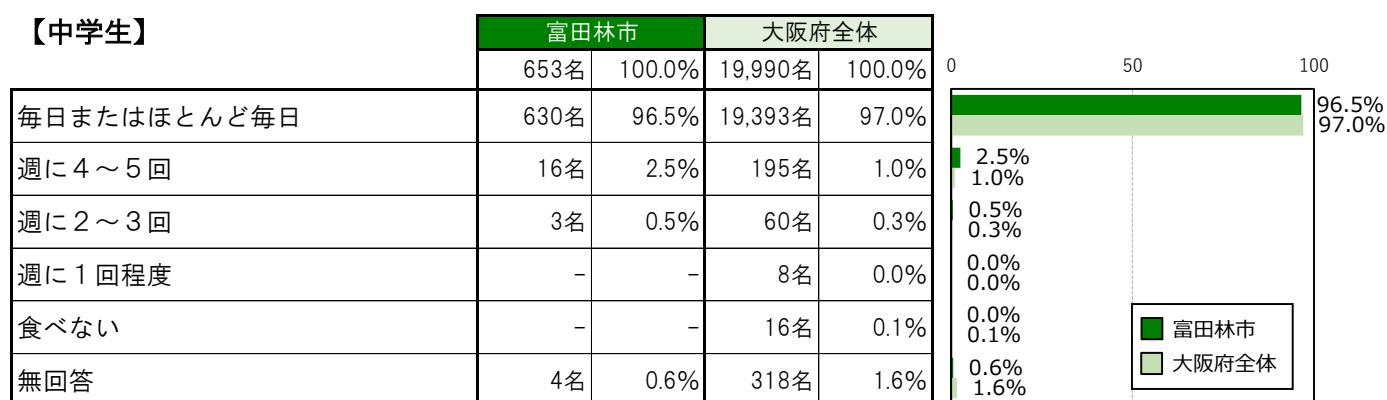
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問5（2）夕食を食べない理由

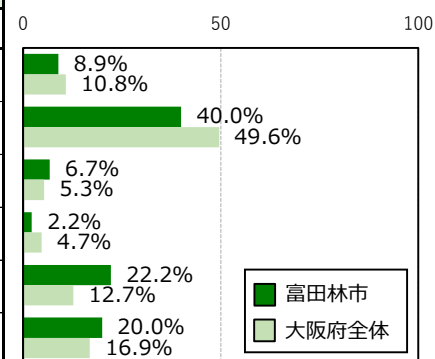
全体は、「おなかがすいていない」が40.0%（18名）で最も多く、次いで「時間がない」が8.9%（4名）、「用意されていない」が6.7%（3名）となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が38.5%（10名）で最も多く、次いで「時間がない」、「用意されていない」がそれぞれ7.7%（2名）、「食べる習慣がない」が3.8%（1名）となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が42.1%（8名）で最も多く、次いで「時間がない」が10.5%（2名）、「用意されていない」が5.3%（1名）となっている。

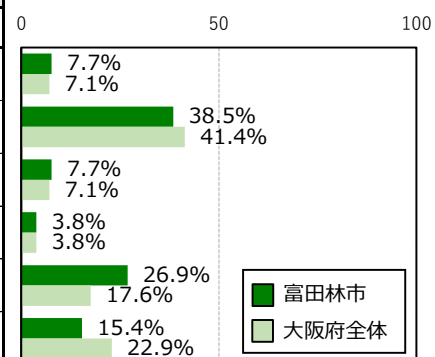
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	45名	100.0%	490名	100.0%
時間がない	4名	8.9%	53名	10.8%
おなかがすいていない	18名	40.0%	243名	49.6%
用意されていない	3名	6.7%	26名	5.3%
食べる習慣がない	1名	2.2%	23名	4.7%
わからない	10名	22.2%	62名	12.7%
無回答	9名	20.0%	83名	16.9%



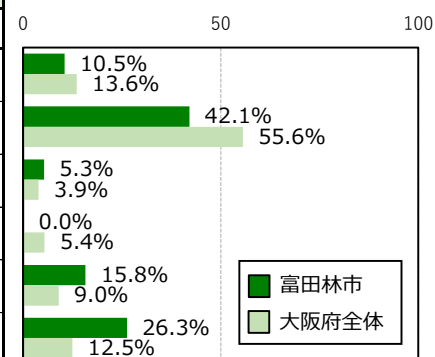
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	26名	100.0%	210名	100.0%
時間がない	2名	7.7%	15名	7.1%
おなかがすいていない	10名	38.5%	87名	41.4%
用意されていない	2名	7.7%	15名	7.1%
食べる習慣がない	1名	3.8%	8名	3.8%
わからない	7名	26.9%	37名	17.6%
無回答	4名	15.4%	48名	22.9%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	19名	100.0%	279名	100.0%
時間がない	2名	10.5%	38名	13.6%
おなかがすいていない	8名	42.1%	155名	55.6%
用意されていない	1名	5.3%	11名	3.9%
食べる習慣がない	-	-	15名	5.4%
わからない	3名	15.8%	25名	9.0%
無回答	5名	26.3%	35名	12.5%



ふだんの生活のことについて

問6（１）休日の昼食の頻度

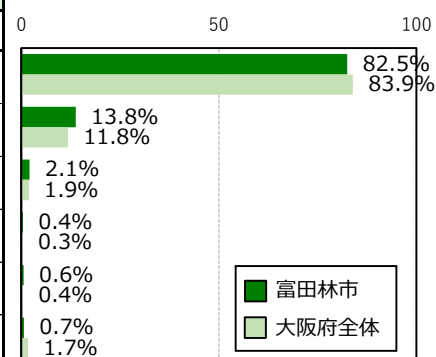
全体は、「必ず食べる」が82.5%で最も多く、次いで「食べることが多い」が13.8%、「食べないことが多い」が2.1%となっている。

小学生は、「必ず食べる」が84.4%で最も多く、次いで「食べることが多い」が12.3%、「食べないことが多い」が2.3%となっている。

中学生は、「必ず食べる」が80.4%で最も多く、次いで「食べることが多い」が15.3%、「食べないことが多い」が2.0%となっている。

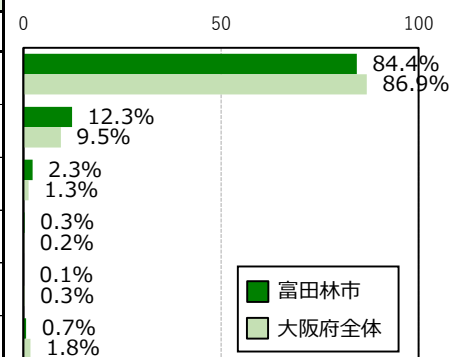
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
必ず食べる	1,163名	82.5%	36,388名	83.9%
食べるが多い	194名	13.8%	5,118名	11.8%
食べないことが多い	30名	2.1%	830名	1.9%
食べない	5名	0.4%	117名	0.3%
わからない	8名	0.6%	180名	0.4%
無回答	10名	0.7%	737名	1.7%



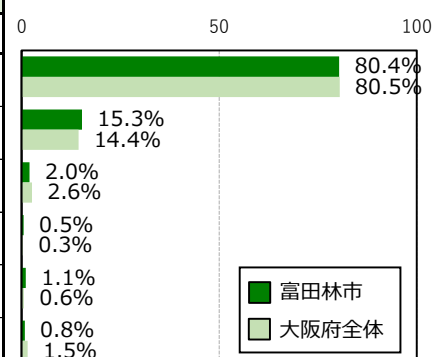
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
必ず食べる	637名	84.4%	20,227名	86.9%
食べるが多い	93名	12.3%	2,221名	9.5%
食べないことが多い	17名	2.3%	306名	1.3%
食べない	2名	0.3%	51名	0.2%
わからない	1名	0.1%	62名	0.3%
無回答	5名	0.7%	422名	1.8%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
必ず食べる	525名	80.4%	16,090名	80.5%
食べるが多い	100名	15.3%	2,886名	14.4%
食べないことが多い	13名	2.0%	524名	2.6%
食べない	3名	0.5%	66名	0.3%
わからない	7名	1.1%	117名	0.6%
無回答	5名	0.8%	307名	1.5%



ふだんの生活のことについて

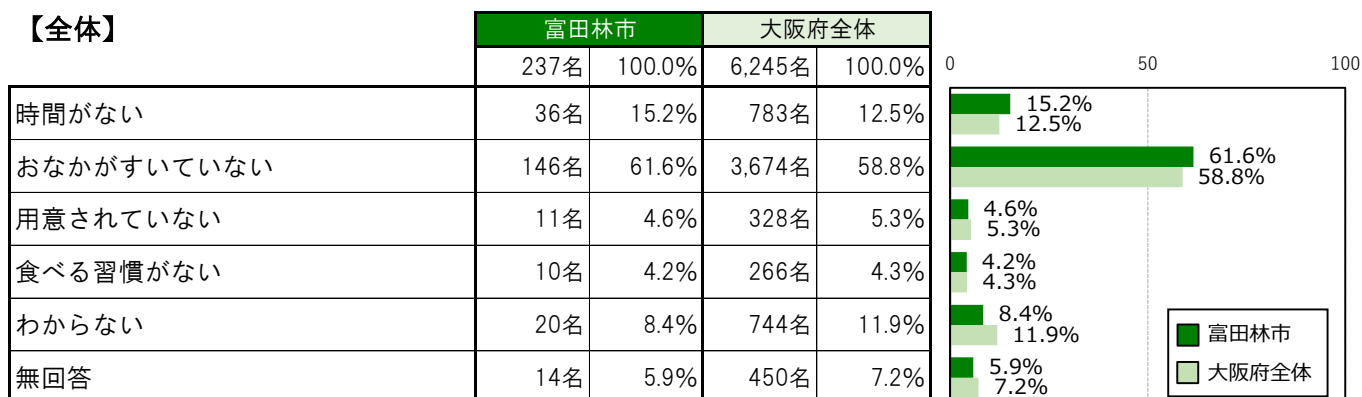
問6（2）休日に昼食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が61.6%で最も多く、次いで「時間がない」が15.2%、「用意されていない」が4.6%となっている。

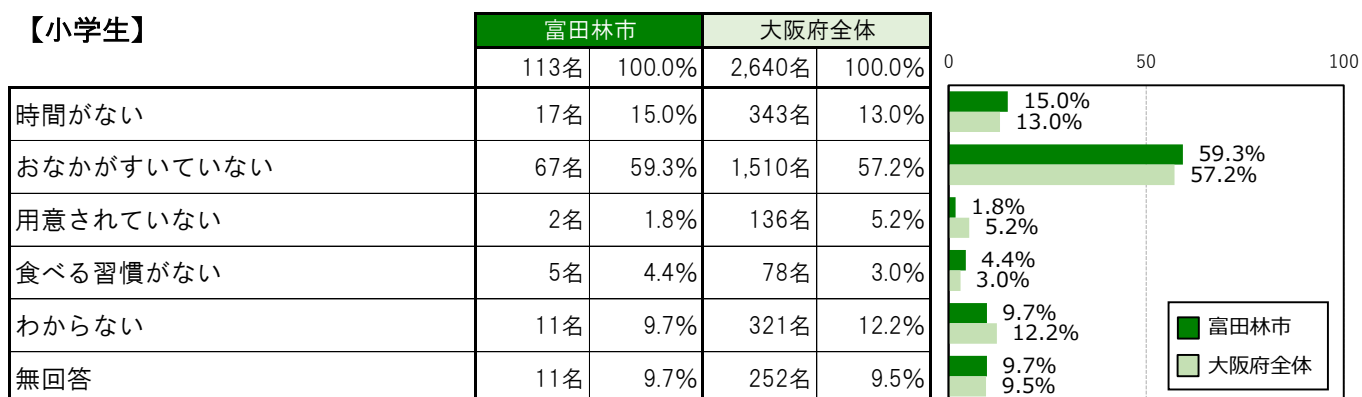
小学生は、「おなかがすいていない」が59.3%で最も多く、次いで「時間がない」が15.0%、「食べる習慣がない」が4.4%となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が64.2%で最も多く、次いで「時間がない」が14.6%、「用意されていない」が7.3%となっている。

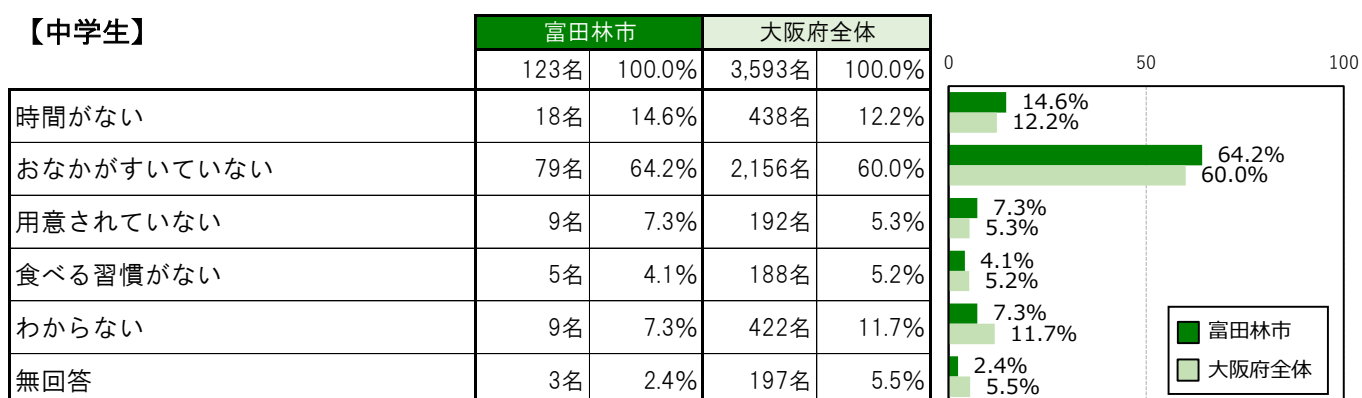
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

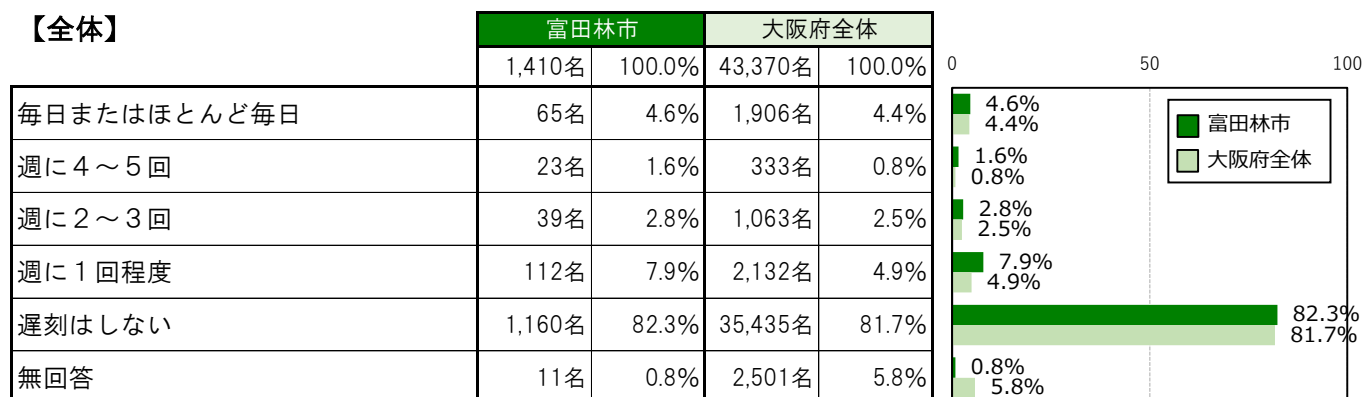
問7 学校への遅刻

全体は、「遅刻はしない」が82.3%で最も多く、次いで「週に1回程度」が7.9%、「毎日またはほとんど毎日」が4.6%、「週に2～3回」が2.8%となっている。

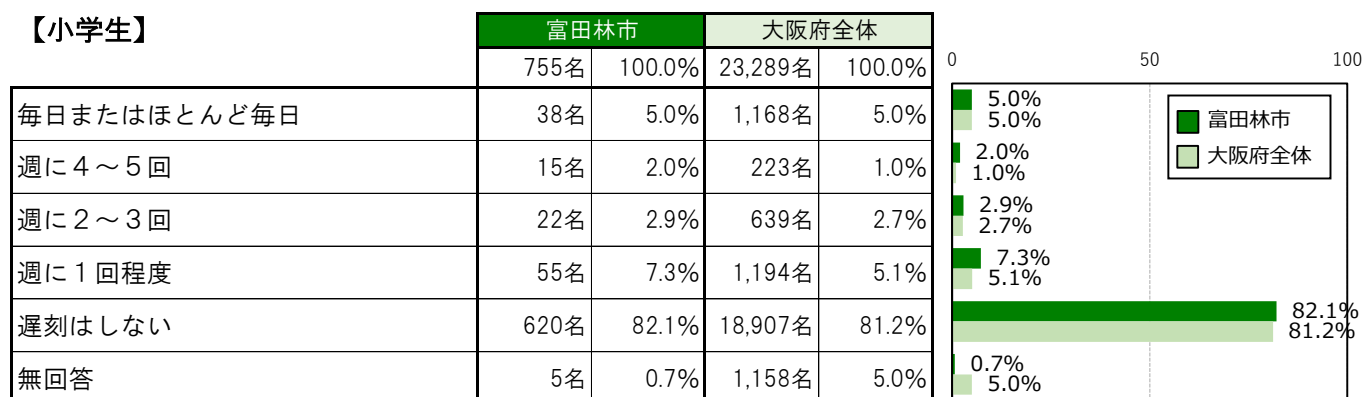
小学生は、「遅刻はしない」が82.1%で最も多く、次いで「週に1回程度」が7.3%、「毎日またはほとんど毎日」が5.0%、「週に2～3回」が2.9%となっている。

中学生は、「遅刻はしない」が82.7%で最も多く、次いで「週に1回程度」が8.7%、「毎日またはほとんど毎日」が4.0%、「週に2～3回」が2.6%となっている。

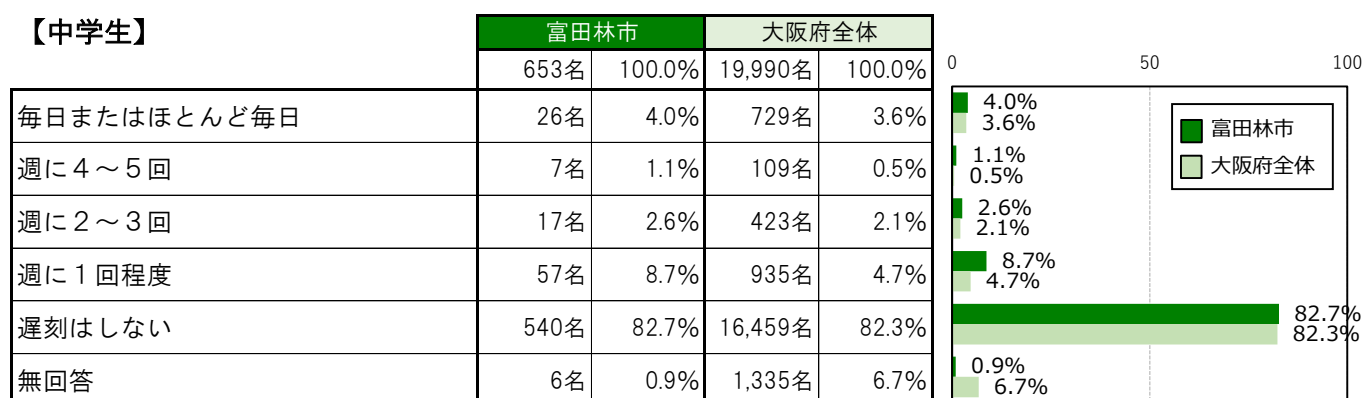
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ①おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べているか

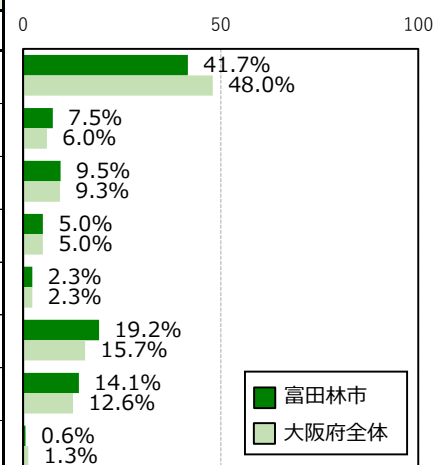
全体は、「ほとんど毎日」が41.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が19.2%、「まったくない」が14.1%、「週に2～3回」が9.5%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が47.3%で最も多く、次いで「ほとんどない」が17.4%、「まったくない」が11.1%、「週に2～3回」が9.4%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が35.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が21.4%、「まったくない」が17.6%、「週に2～3回」が9.5%となっている。

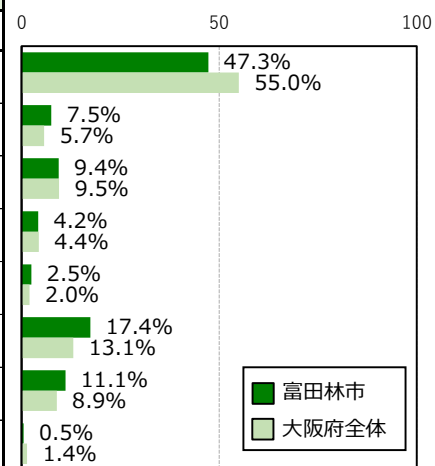
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	588名	41.7%	20,810名	48.0%
週に4～5回	106名	7.5%	2,583名	6.0%
週に2～3回	134名	9.5%	4,012名	9.3%
週に1回程度	70名	5.0%	2,155名	5.0%
月に1～2回	33名	2.3%	995名	2.3%
ほとんどない	271名	19.2%	6,794名	15.7%
まったくない	199名	14.1%	5,475名	12.6%
無回答	9名	0.6%	546名	1.3%



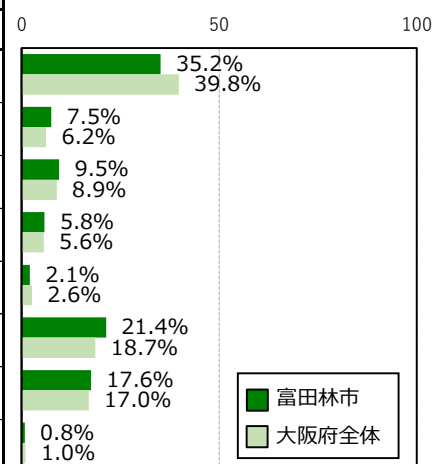
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	357名	47.3%	12,809名	55.0%
週に4～5回	57名	7.5%	1,328名	5.7%
週に2～3回	71名	9.4%	2,222名	9.5%
週に1回程度	32名	4.2%	1,023名	4.4%
月に1～2回	19名	2.5%	469名	2.0%
ほとんどない	131名	17.4%	3,042名	13.1%
まったくない	84名	11.1%	2,065名	8.9%
無回答	4名	0.5%	331名	1.4%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	230名	35.2%	7,962名	39.8%
週に4～5回	49名	7.5%	1,248名	6.2%
週に2～3回	62名	9.5%	1,780名	8.9%
週に1回程度	38名	5.8%	1,128名	5.6%
月に1～2回	14名	2.1%	526名	2.6%
ほとんどない	140名	21.4%	3,737名	18.7%
まったくない	115名	17.6%	3,400名	17.0%
無回答	5名	0.8%	209名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ②おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が76.7%で最も多く、次いで「週に4～5回」が8.6%、「週に2～3回」が6.7%、「ほとんどない」が3.6%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が80.4%で最も多く、次いで「週に4～5回」が7.2%、「週に2～3回」が5.0%、「ほとんどない」が3.7%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が72.4%で最も多く、次いで「週に4～5回」が10.3%、「週に2～3回」が8.7%、「ほとんどない」が3.5%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ③おうちの大人の人に朝、起こしてもらうか

全体は、「ほとんど毎日」が35.3%で最も多く、次いで「ほとんどない」が16.7%、「まったくない」が14.6%、「週に4～5回」が11.6%となっている。

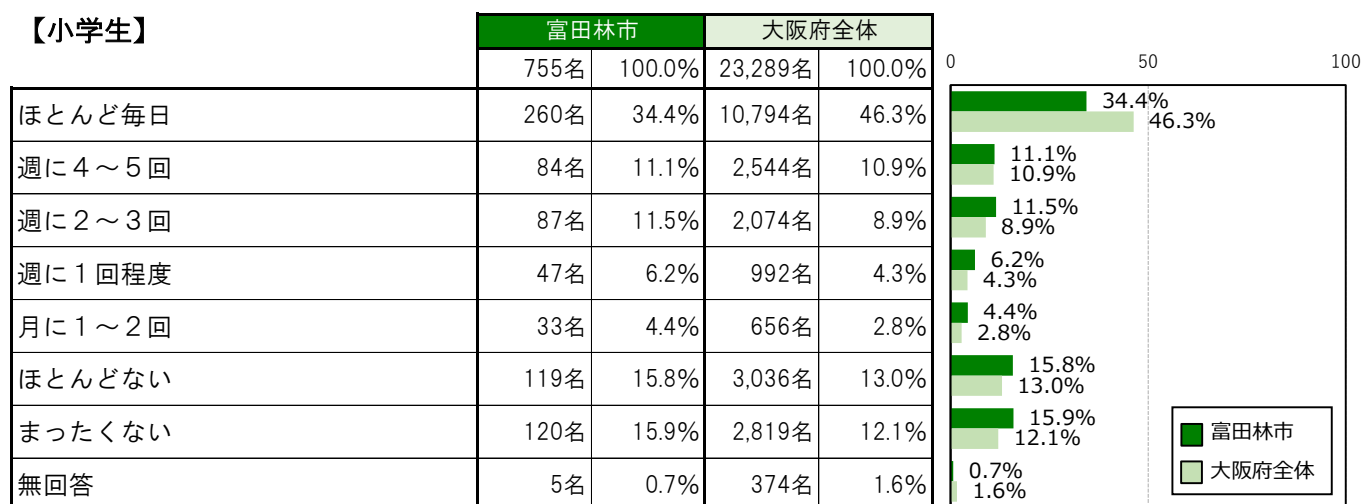
小学生は、「ほとんど毎日」が34.4%で最も多く、次いで「まったくない」が15.9%、「ほとんどない」が15.8%、「週に2～3回」が11.5%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が36.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が17.8%、「まったくない」が13.2%、「週に4～5回」が12.3%となっている。

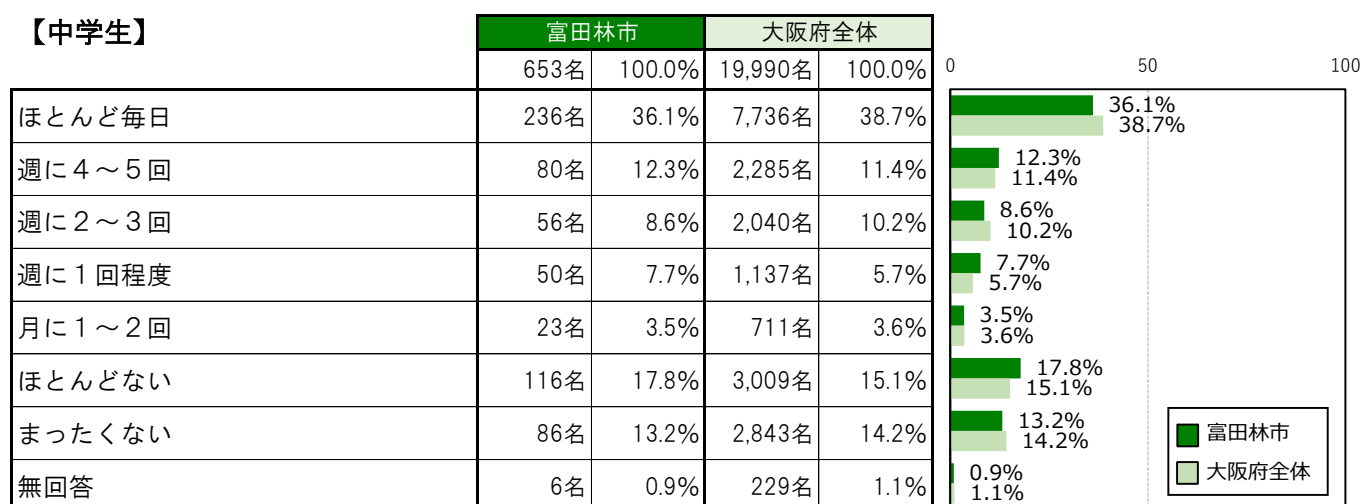
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ④おうちの手伝いをしているか

全体は、「ほとんど毎日」が26.2%で最も多く、次いで「週に2～3回」が20.4%、「週に4～5回」が13.0%、「ほとんどない」が12.8%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が29.8%で最も多く、次いで「週に2～3回」が19.7%、「週に4～5回」が12.8%、「ほとんどない」が11.0%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が21.9%で最も多く、次いで「週に2～3回」が21.1%、「ほとんどない」が15.0%、「週に1回程度」が13.5%となっている。

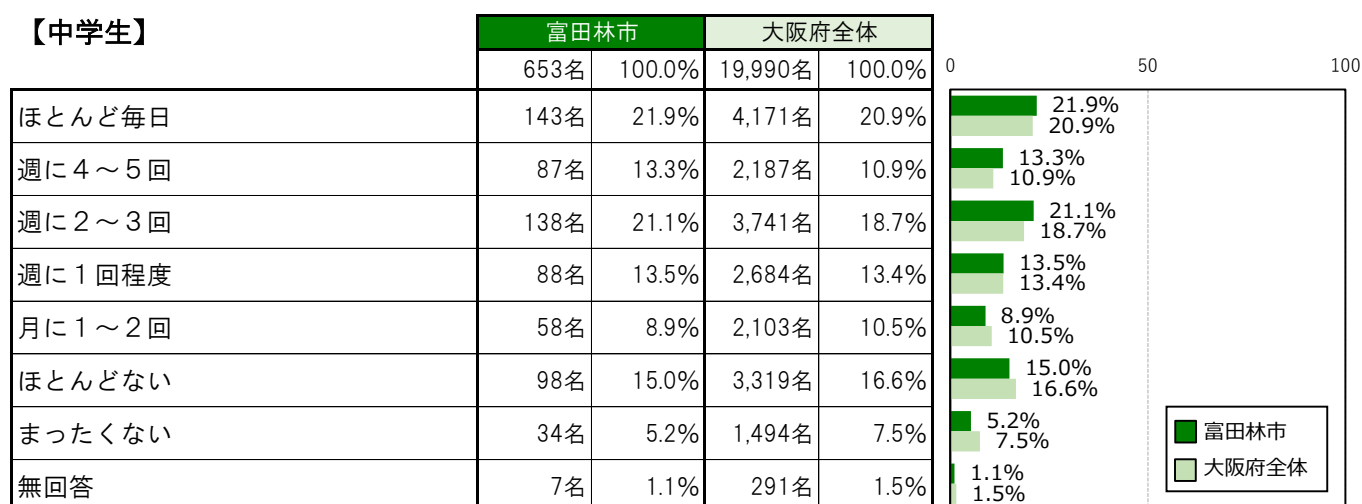
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

全体は、「まったくない」が33.5%で最も多く、次いで「ほとんどない」が27.7%、「ほとんど毎日」が11.6%、「週に2～3回」が7.4%となっている。

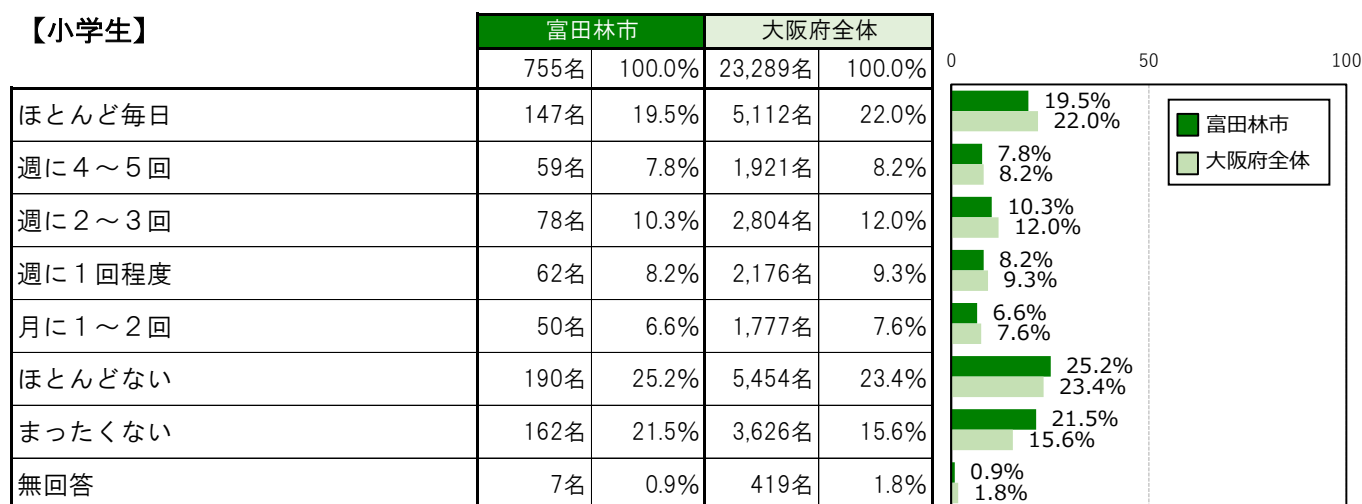
小学生は、「ほとんどない」が25.2%で最も多く、次いで「まったくない」が21.5%、「ほとんど毎日」が19.5%、「週に2～3回」が10.3%となっている。

中学生は、「まったくない」が47.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が30.5%、「月に1～2回」が6.9%、「週に1回程度」が5.4%となっている。

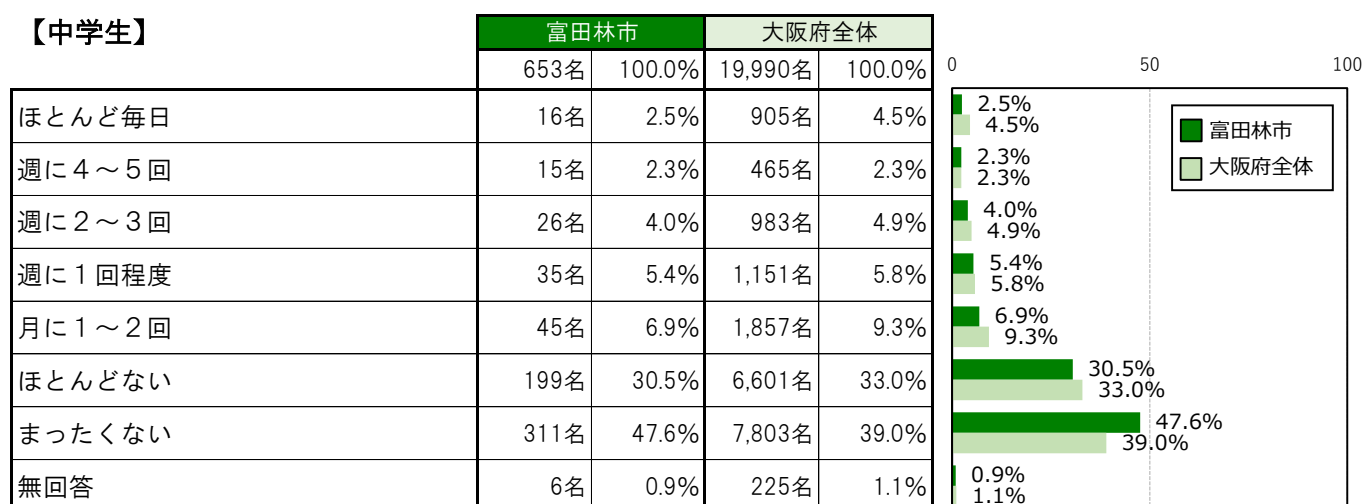
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑥おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

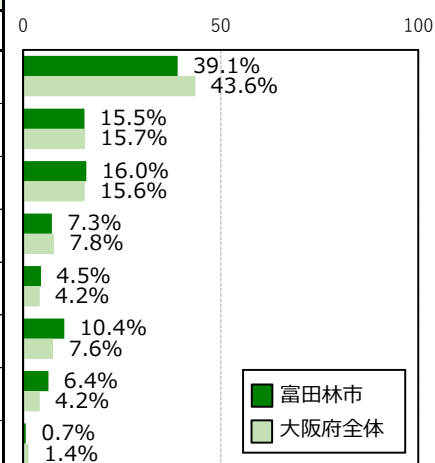
全体は、「ほとんど毎日」が39.1%で最も多く、次いで「週に2～3回」が16.0%、「週に4～5回」が15.5%、「ほとんどない」が10.4%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が44.2%で最も多く、次いで「週に4～5回」が14.8%、「週に2～3回」が14.0%、「ほとんどない」が10.6%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が33.1%で最も多く、次いで「週に2～3回」が18.4%、「週に4～5回」が16.4%、「ほとんどない」が10.3%となっている。

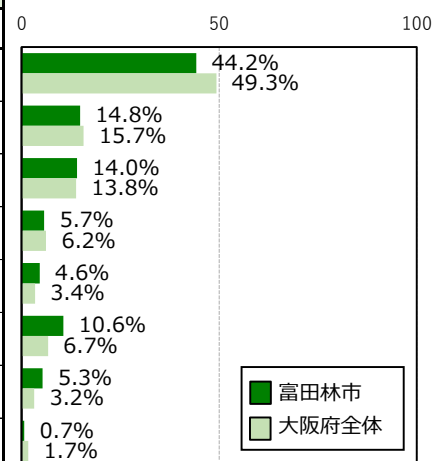
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	552名	39.1%	18,891名	43.6%
週に4～5回	219名	15.5%	6,809名	15.7%
週に2～3回	226名	16.0%	6,773名	15.6%
週に1回程度	103名	7.3%	3,386名	7.8%
月に1～2回	63名	4.5%	1,801名	4.2%
ほとんどない	147名	10.4%	3,283名	7.6%
まったくない	90名	6.4%	1,802名	4.2%
無回答	10名	0.7%	625名	1.4%



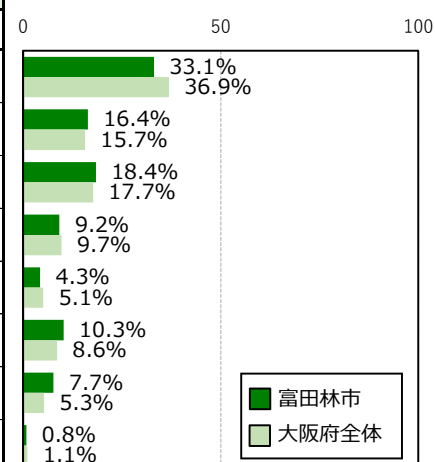
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	334名	44.2%	11,483名	49.3%
週に4～5回	112名	14.8%	3,660名	15.7%
週に2～3回	106名	14.0%	3,225名	13.8%
週に1回程度	43名	5.7%	1,447名	6.2%
月に1～2回	35名	4.6%	783名	3.4%
ほとんどない	80名	10.6%	1,558名	6.7%
まったくない	40名	5.3%	739名	3.2%
無回答	5名	0.7%	394名	1.7%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	216名	33.1%	7,374名	36.9%
週に4～5回	107名	16.4%	3,138名	15.7%
週に2～3回	120名	18.4%	3,533名	17.7%
週に1回程度	60名	9.2%	1,933名	9.7%
月に1～2回	28名	4.3%	1,015名	5.1%
ほとんどない	67名	10.3%	1,716名	8.6%
まったくない	50名	7.7%	1,056名	5.3%
無回答	5名	0.8%	225名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑦おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか

全体は、「ほとんどない」が23.3%で最も多く、次いで「週に2～3回」が15.0%、「月に1～2回」が14.8%、「まったくない」が14.4%となっている。

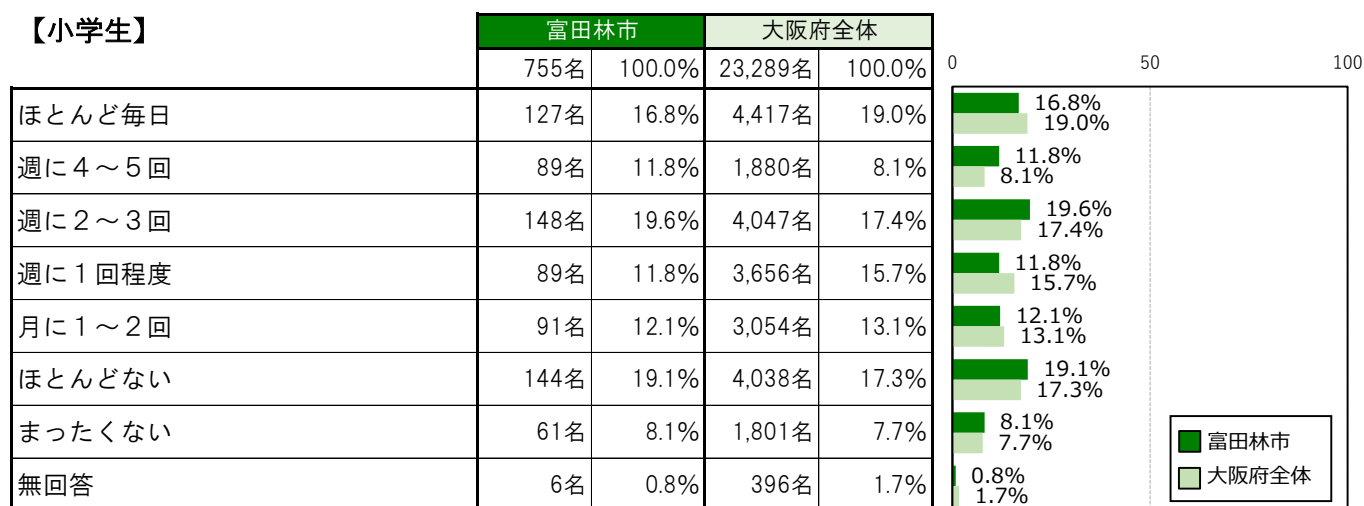
小学生は、「週に2～3回」が19.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が19.1%、「ほとんど毎日」が16.8%、「月に1～2回」が12.1%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が28.0%で最も多く、次いで「まったくない」が21.7%、「月に1～2回」が17.9%、「週に2～3回」と「週に1回程度」がそれぞれ9.8%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑧おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか

全体は、「ほとんどない」が21.6%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が15.5%、「週に2～3回」が15.3%、「週に4～5回」が13.9%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が24.4%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が17.1%、「週に2～3回」が13.9%、「週に4～5回」が13.4%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が18.4%で最も多く、次いで「週に2～3回」が17.0%、「週に4～5回」が14.5%、「ほとんど毎日」が13.6%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするか

全体は、「ほとんどない」が40.8%で最も多く、次いで「まったくない」が28.7%、「月に1～2回」が19.2%、「週に1回程度」が3.7%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が42.0%で最も多く、次いで「まったくない」が23.4%、「月に1～2回」が20.9%、「週に1回程度」が5.3%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が39.5%で最も多く、次いで「まったくない」が34.6%、「月に1～2回」が17.3%、「週に2～3回」が2.6%となっている。

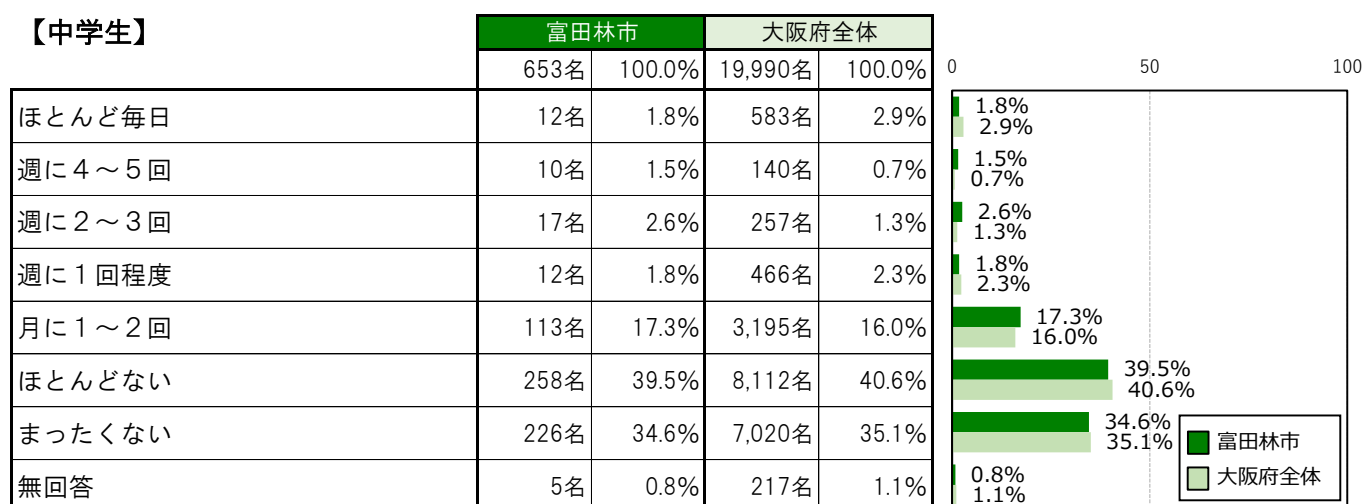
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑩おうちの大人の人と一緒に外出するか（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）

全体は、「週に2～3回」が27.7%で最も多く、次いで「週に1回程度」が23.2%、「月に1～2回」が20.1%、「週に4～5回」が11.9%となっている。

小学生は、「週に2～3回」が31.0%で最も多く、次いで「週に1回程度」が18.1%、「週に4～5回」と「月に1～2回」がそれぞれ16.2%となっている。

中学生は、「週に1回程度」が29.1%で最も多く、次いで「月に1～2回」が24.8%、「週に2～3回」が23.9%、「週に4～5回」が7.0%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問9 毎日の生活で楽しいこと

全体は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が82.1%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が64.0%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が52.1%、「ひとりで過ごしているとき」が48.2%となっている。

小学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が82.6%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が72.8%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が54.4%、「ひとりで過ごしているとき」が37.4%となっている。

中学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が81.6%で最も多く、次いで「ひとりで過ごしているとき」が60.9%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が53.8%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が49.3%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

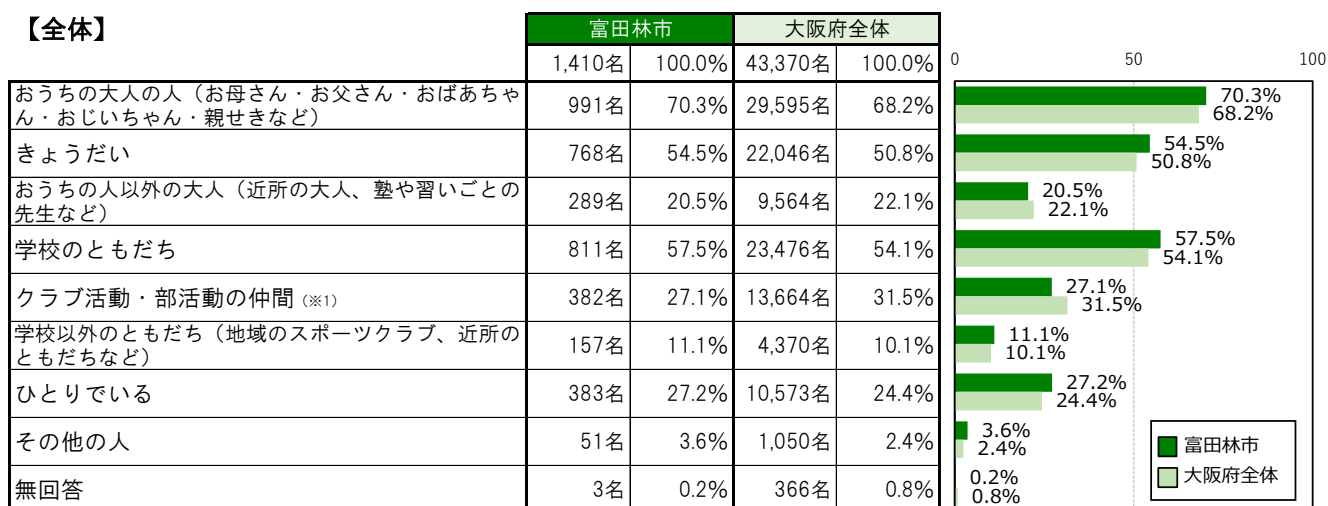
問10 放課後を一緒に過ごす人

全体は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が70.3%で最も多く、次いで「学校のともだち」が57.5%、「きょうだい」が54.5%、「ひとりである」が27.2%となっている。

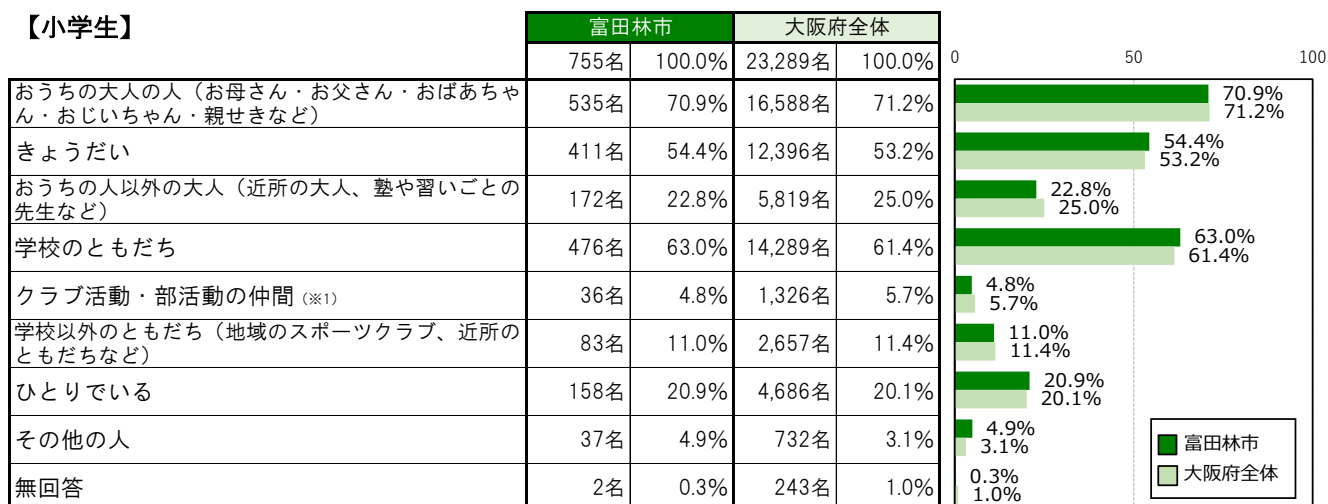
小学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が70.9%で最も多く、次いで「学校のともだち」が63.0%、「きょうだい」が54.4%、「おうちの人以外の大人」が22.8%となっている。

中学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が69.7%で最も多く、次いで「きょうだい」が54.5%、「クラブ活動・部活動の仲間」が52.7%、「学校のともだち」が51.1%となっている。

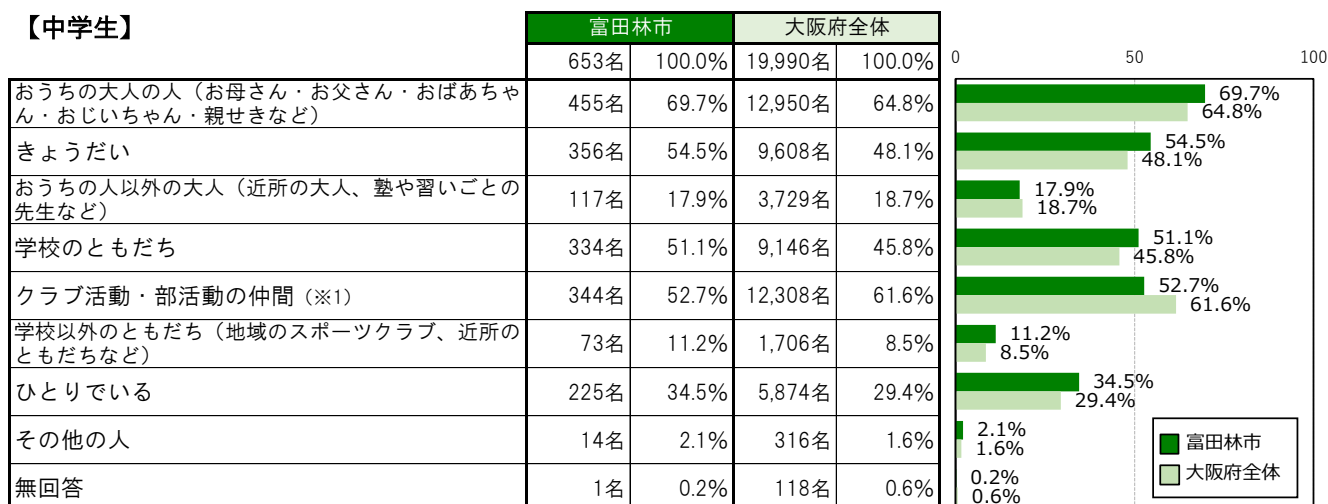
【全体】



【小学生】



【中学生】



※1 2016年調査では「クラブ活動の仲間」

●2016年度 調査結果【参考データ】

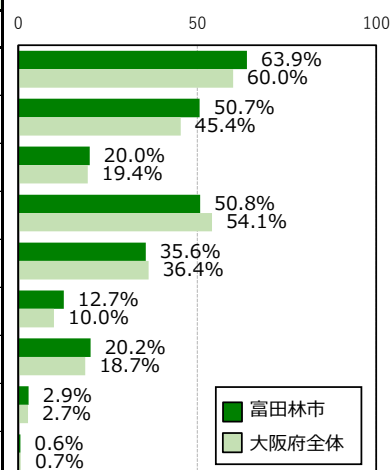
2016年度調査と比較すると、全体は、「ひとりでいる」が7.0ポイント高いが、「クラブ活動・部活動の仲間」が8.5ポイント低くなっている。

小学生は、「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」が3.1ポイント低くなっている。

中学生は、「クラブ活動・部活動の仲間」が16.2ポイント低い、「ひとりでいる」が12.5ポイント、「学校のともだち」が12.3ポイント高くなっている。

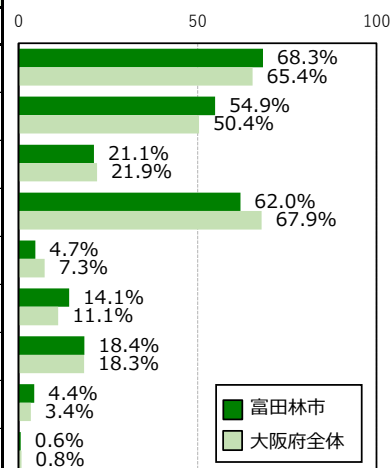
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	1,612名	100.0%	50,106名	100.0%
きょうだい	817名	50.7%	22,725名	45.4%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	322名	20.0%	9,699名	19.4%
学校のともだち	819名	50.8%	27,090名	54.1%
クラブ活動の仲間	574名	35.6%	18,236名	36.4%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	204名	12.7%	5,025名	10.0%
ひとりでいる	325名	20.2%	9,347名	18.7%
その他の人	47名	2.9%	1,367名	2.7%
無回答	10名	0.6%	329名	0.7%



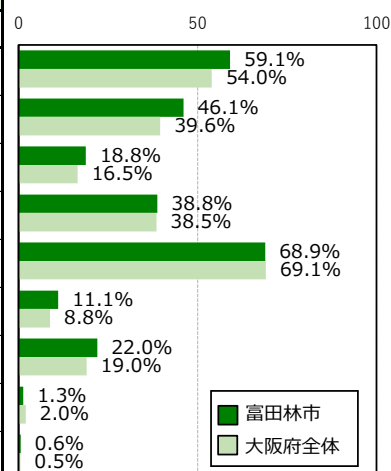
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	571名	68.3%	17,359名	65.4%
きょうだい	459名	54.9%	13,384名	50.4%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	176名	21.1%	5,810名	21.9%
学校のともだち	518名	62.0%	18,009名	67.9%
クラブ活動の仲間	39名	4.7%	1,947名	7.3%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	118名	14.1%	2,955名	11.1%
ひとりでいる	154名	18.4%	4,861名	18.3%
その他の人	37名	4.4%	895名	3.4%
無回答	5名	0.6%	203名	0.8%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	459名	59.1%	12,724名	54.0%
きょうだい	358名	46.1%	9,340名	39.6%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	146名	18.8%	3,887名	16.5%
学校のともだち	301名	38.8%	9,081名	38.5%
クラブ活動の仲間	535名	68.9%	16,288名	69.1%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	86名	11.1%	2,069名	8.8%
ひとりでいる	171名	22.0%	4,485名	19.0%
その他の人	10名	1.3%	470名	2.0%
無回答	5名	0.6%	124名	0.5%



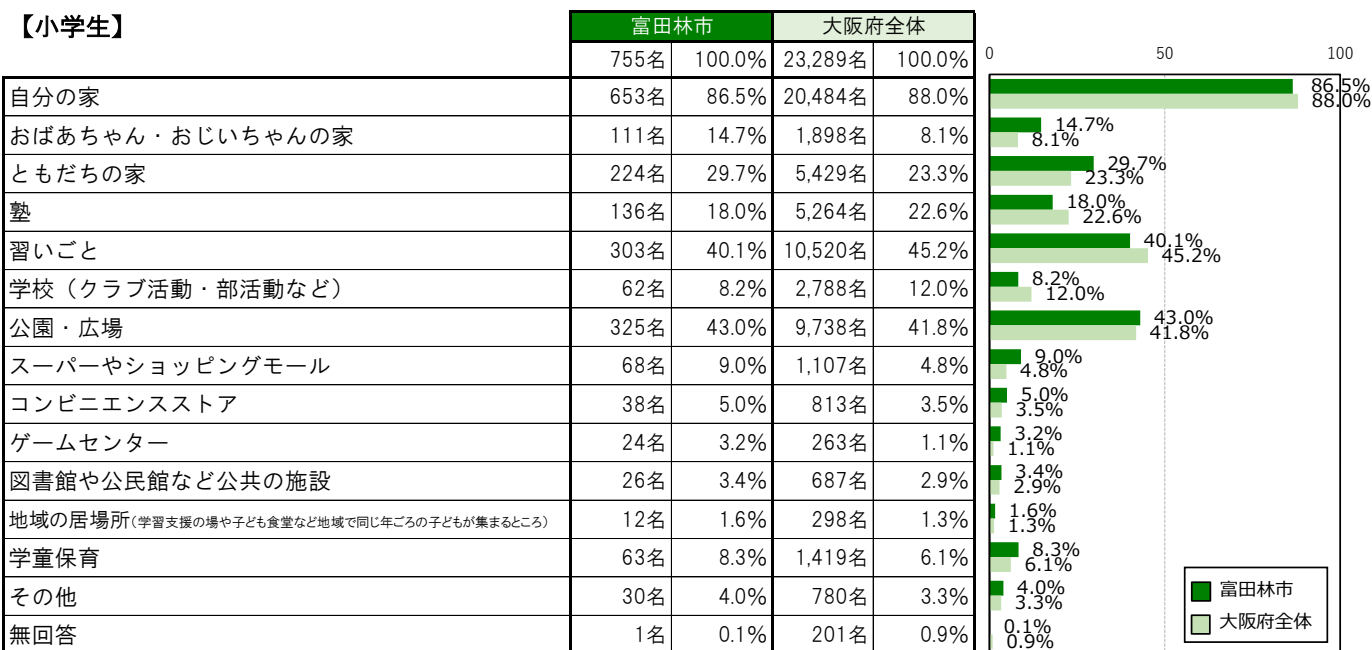
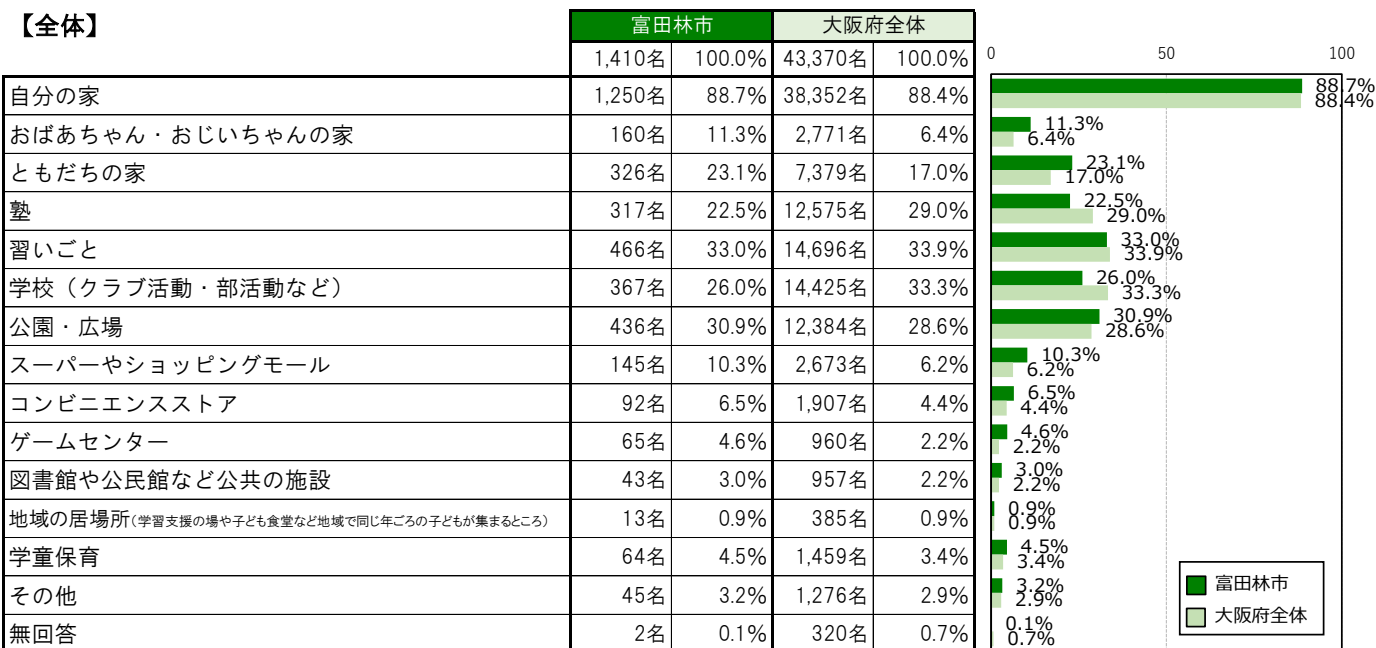
ふだんの生活のことについて

問11 放課後を過ごす場所

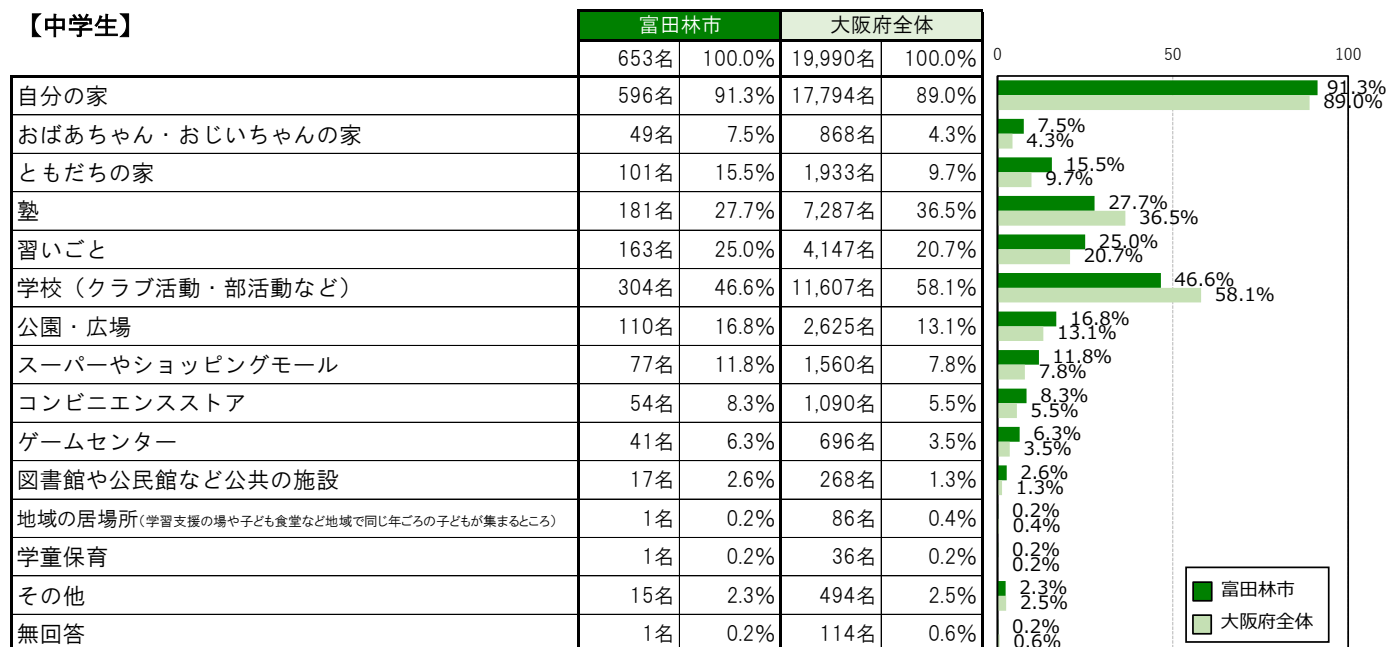
全体は、「自分の家」が88.7%で最も多く、次いで「習いごと」が33.0%、「公園・広場」が30.9%、「学校（クラブ活動・部活動など）」が26.0%となっている。

小学生は、「自分の家」が86.5%で最も多く、次いで「公園・広場」が43.0%、「習いごと」が40.1%、「ともだちの家」が29.7%となっている。

中学生は、「自分の家」が91.3%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が46.6%、「塾」が27.7%、「習いごと」が25.0%となっている。



【中学生】



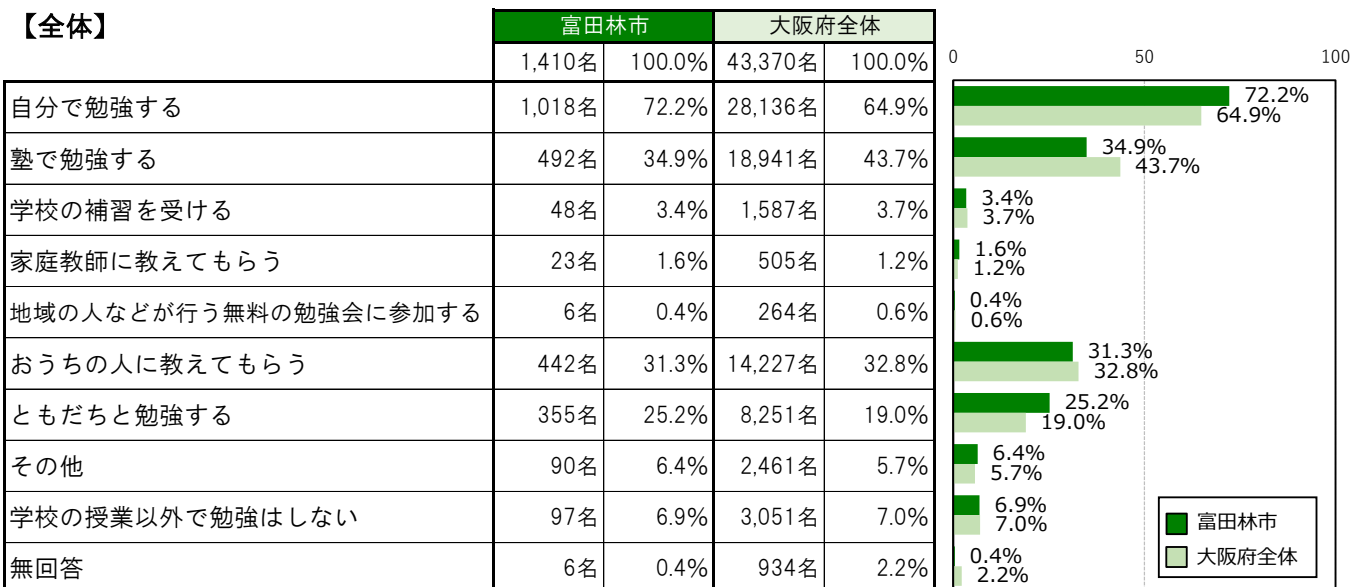
ふだんの生活のことについて

問12 授業以外の勉強状況

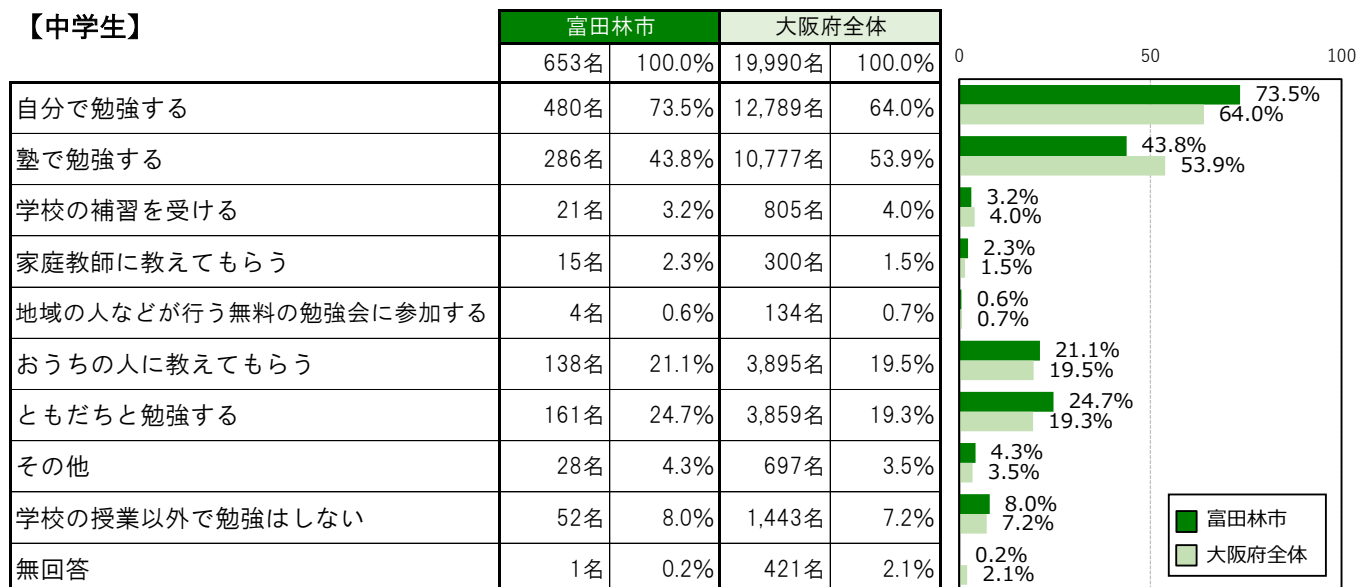
全体は、「自分で勉強する」が72.2%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が34.9%、「おうちの人に教えてもらう」が31.3%、「ともだちと勉強する」が25.2%となっている。

小学生は、「自分で勉強する」が71.3%で最も多く、次いで「おうちの人に教えてもらう」が40.1%、「塾で勉強する」が27.3%、「ともだちと勉強する」が25.6%となっている。

中学生は、「自分で勉強する」が73.5%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が43.8%、「ともだちと勉強する」が24.7%、「おうちの人に教えてもらう」が21.1%となっている。



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）

全体は、「30分以上、1時間より少ない」が25.9%で最も多く、次いで「30分より少ない」が20.4%、「1時間以上、2時間より少ない」が20.0%、「まったくしない」が9.8%となっている。

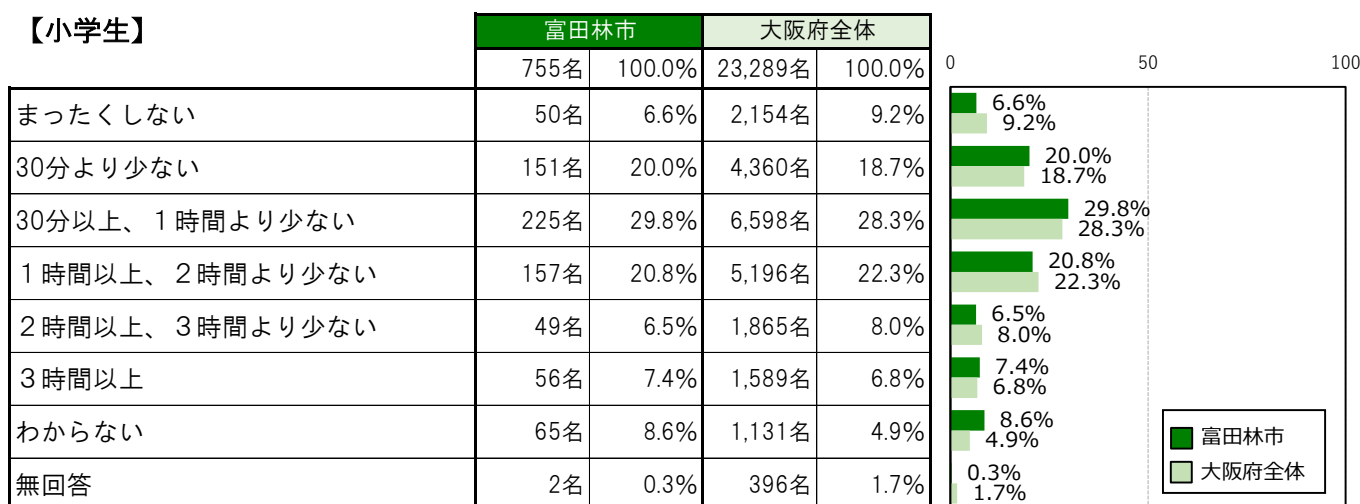
小学生は、「30分以上、1時間より少ない」が29.8%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が20.8%、「30分より少ない」が20.0%、「3時間以上」が7.4%となっている。

中学生は、「30分以上、1時間より少ない」が21.3%で最も多く、次いで「30分より少ない」が21.0%、「1時間以上、2時間より少ない」が19.1%、「まったくしない」が13.3%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）

全体は、「30分より少ない」が23.9%で最も多く、次いで「まったくしない」が23.2%、「30分以上、1時間より少ない」が20.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が11.3%となっている。

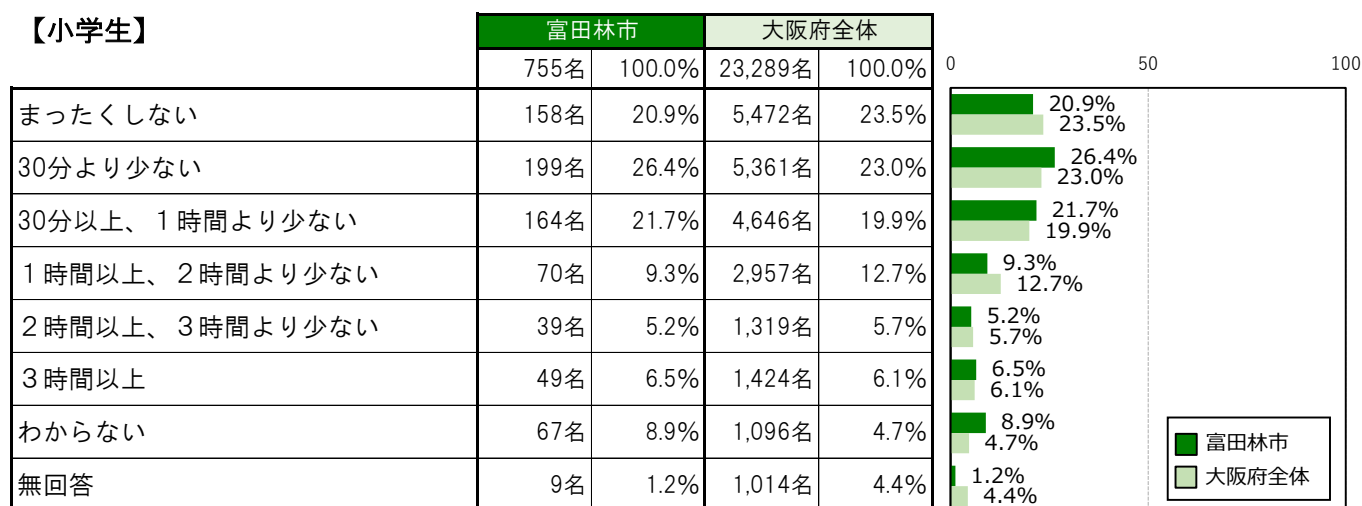
小学生は、「30分より少ない」が26.4%で最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が21.7%、「まったくしない」が20.9%、「1時間以上、2時間より少ない」が9.3%となっている。

中学生は、「まったくしない」が25.6%で最も多く、次いで「30分より少ない」が21.1%、「30分以上、1時間より少ない」が18.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が13.8%となっている。

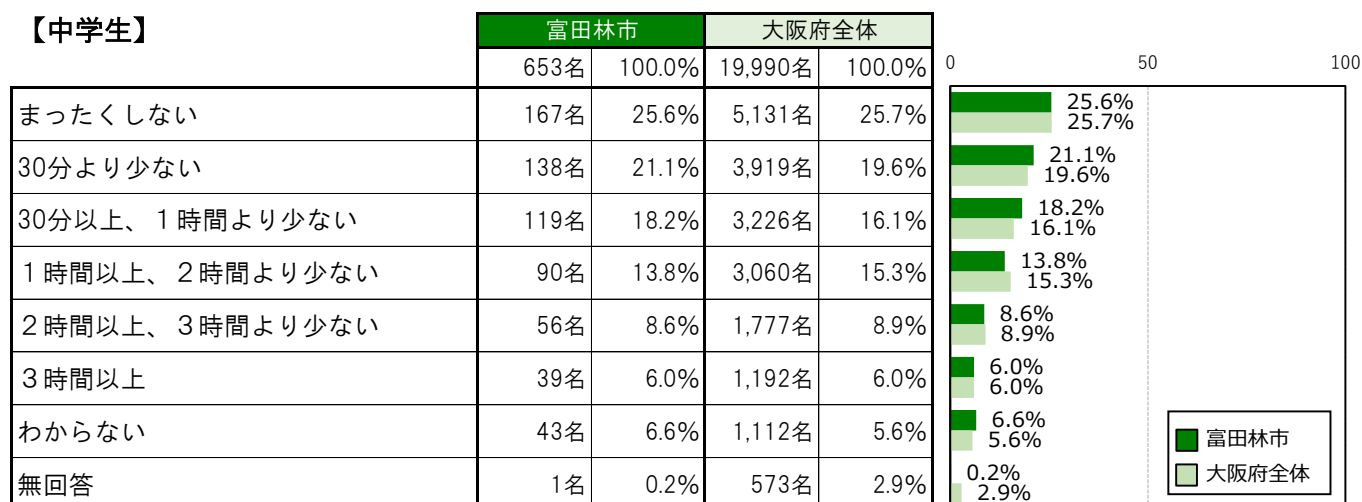
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

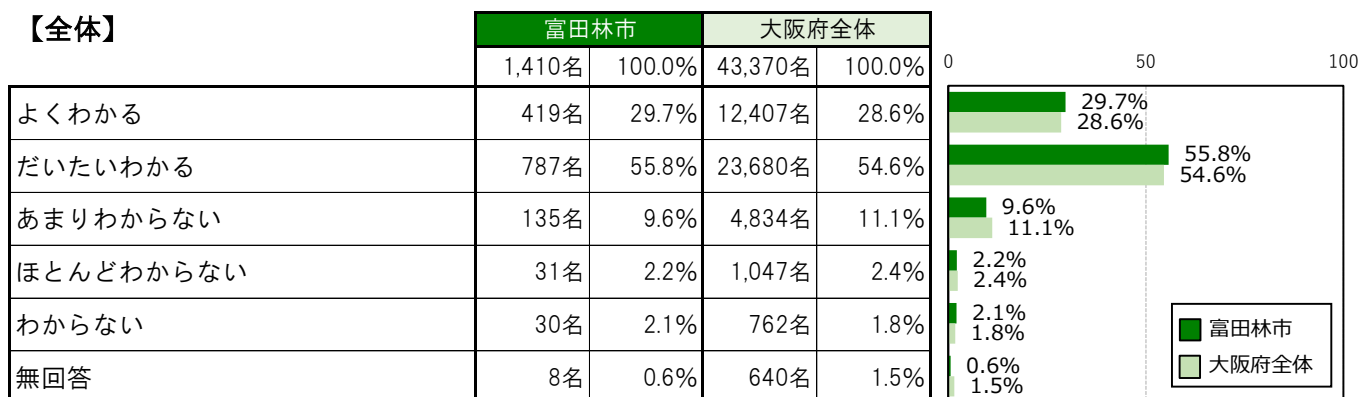
問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

全体は、「だいたいわかる」が55.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が29.7%、「あまりわからない」が9.6%となっている。

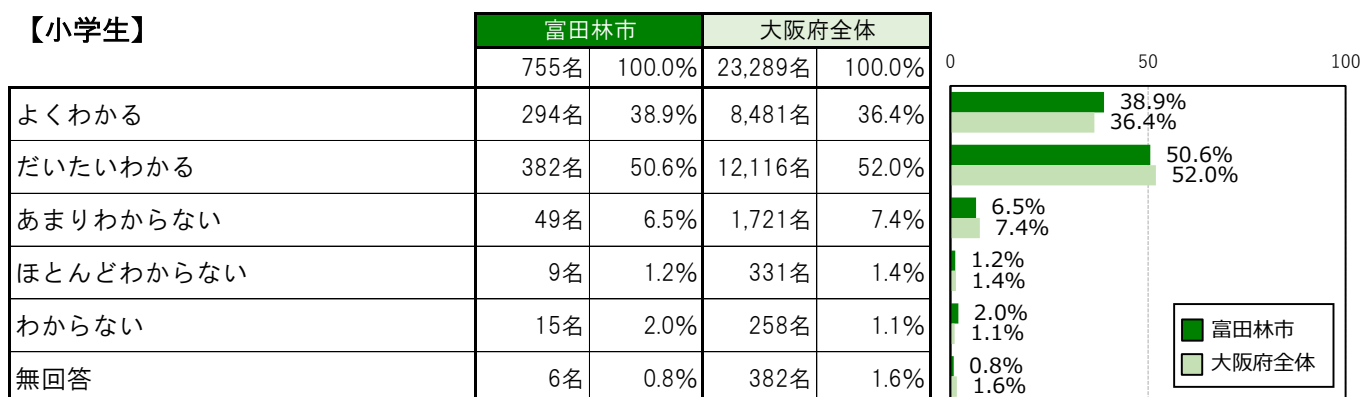
小学生は、「だいたいわかる」が50.6%で最も多く、次いで「よくわかる」が38.9%、「あまりわからない」が6.5%となっている。

中学生は、「だいたいわかる」が61.7%で最も多く、次いで「よくわかる」が19.1%、「あまりわからない」が13.2%となっている。

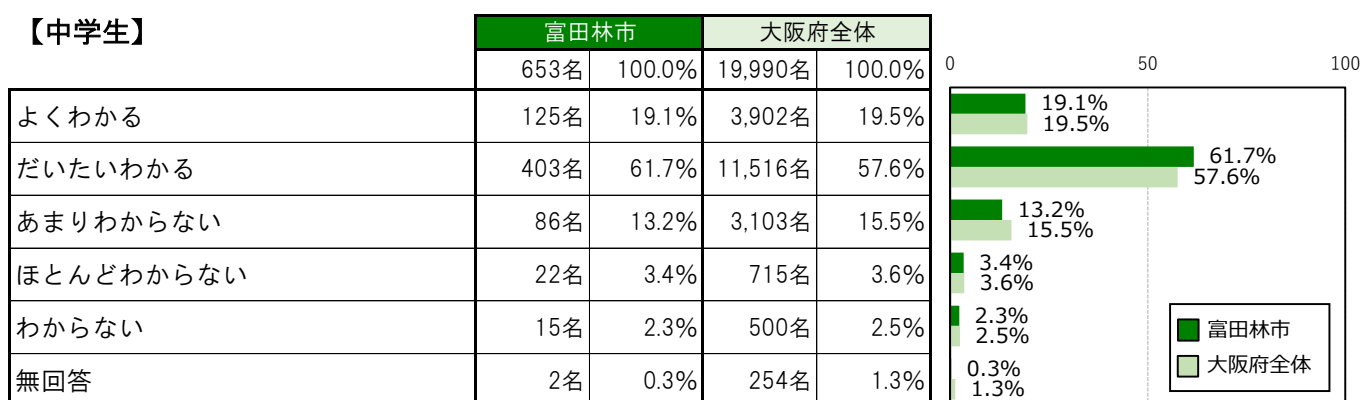
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問14（２）授業がわからなくなった時期

全体は、「中学１年生のころ」が26.5%で最も多く、次いで「小学３・４年生のころ」が25.0%、「中学２年生になってから」が16.3%、「小学５年生になってから」が14.8%となっている。

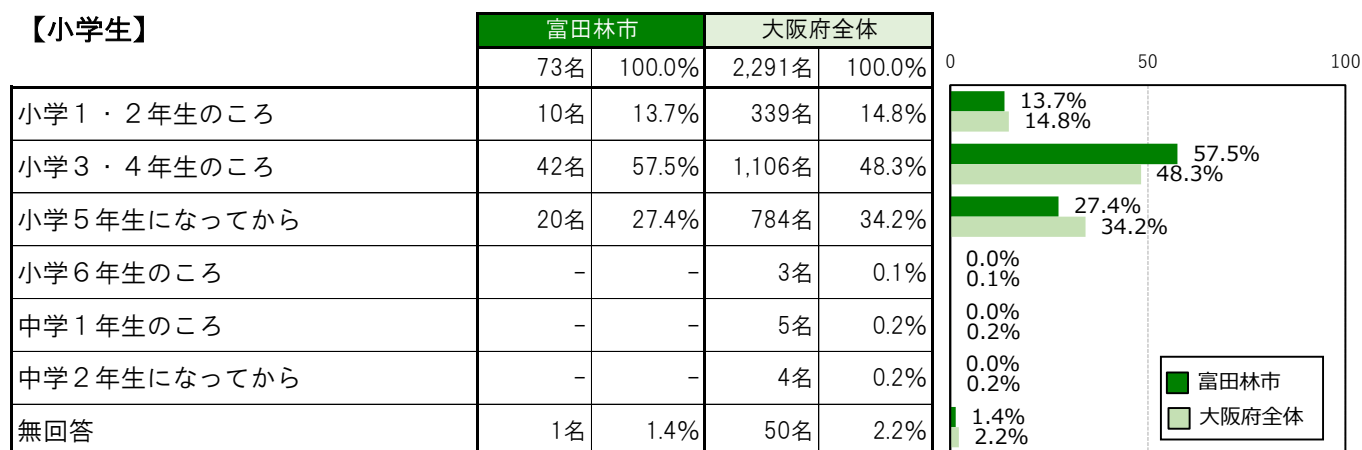
小学生は、「小学３・４年生のころ」が57.5%で最も多く、次いで「小学５年生になってから」が27.4%、「小学１・２年生のころ」が13.7%となっている。

中学生は、「中学１年生のころ」が42.3%で最も多く、次いで「中学２年生になってから」が26.0%、「小学６年生のころ」が10.6%、「小学１・２年生のころ」と「小学５年生になってから」がそれぞれ7.3%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問15 授業以外の読書時間

全体は、「まったくしない」が33.5%で最も多く、次いで「30分より少ない」が33.3%、「30分以上、1時間より少ない」が15.0%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.7%となっている。

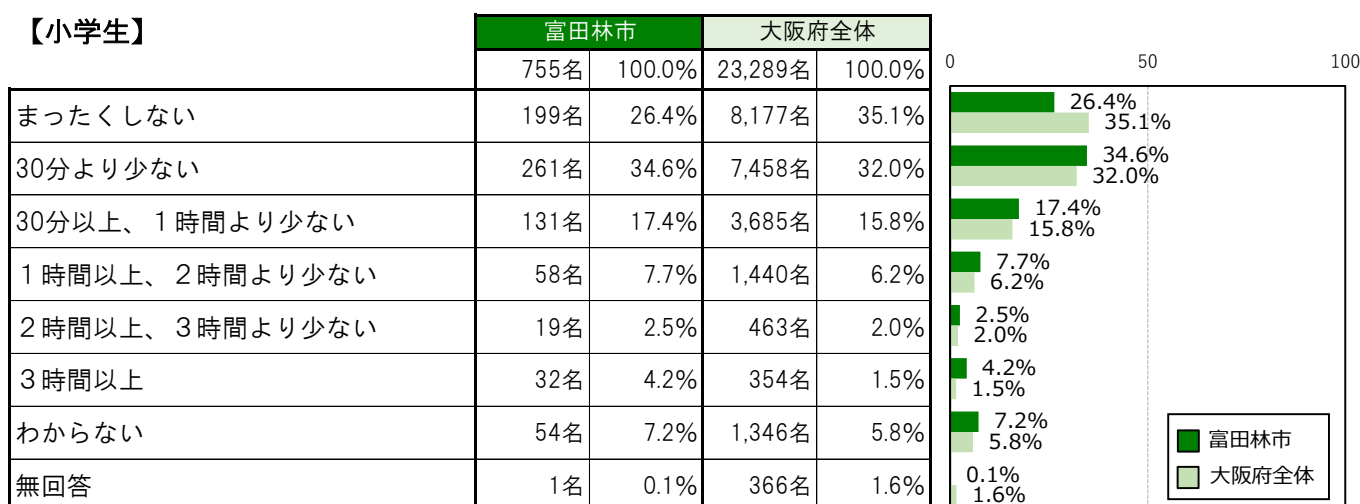
小学生は、「30分より少ない」が34.6%で最も多く、次いで「まったくしない」が26.4%、「30分以上、1時間より少ない」が17.4%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.7%となっている。

中学生は、「まったくしない」が41.7%で最も多く、次いで「30分より少ない」が32.0%、「30分以上、1時間より少ない」が12.4%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.8%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



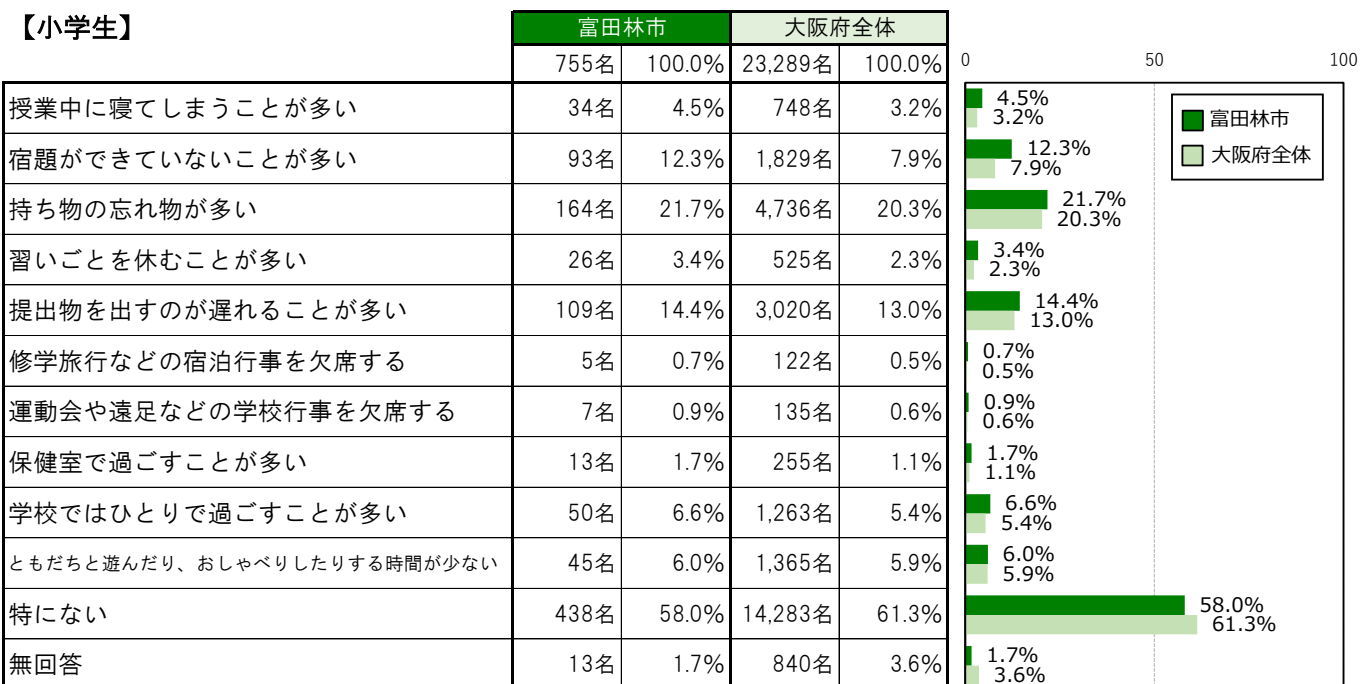
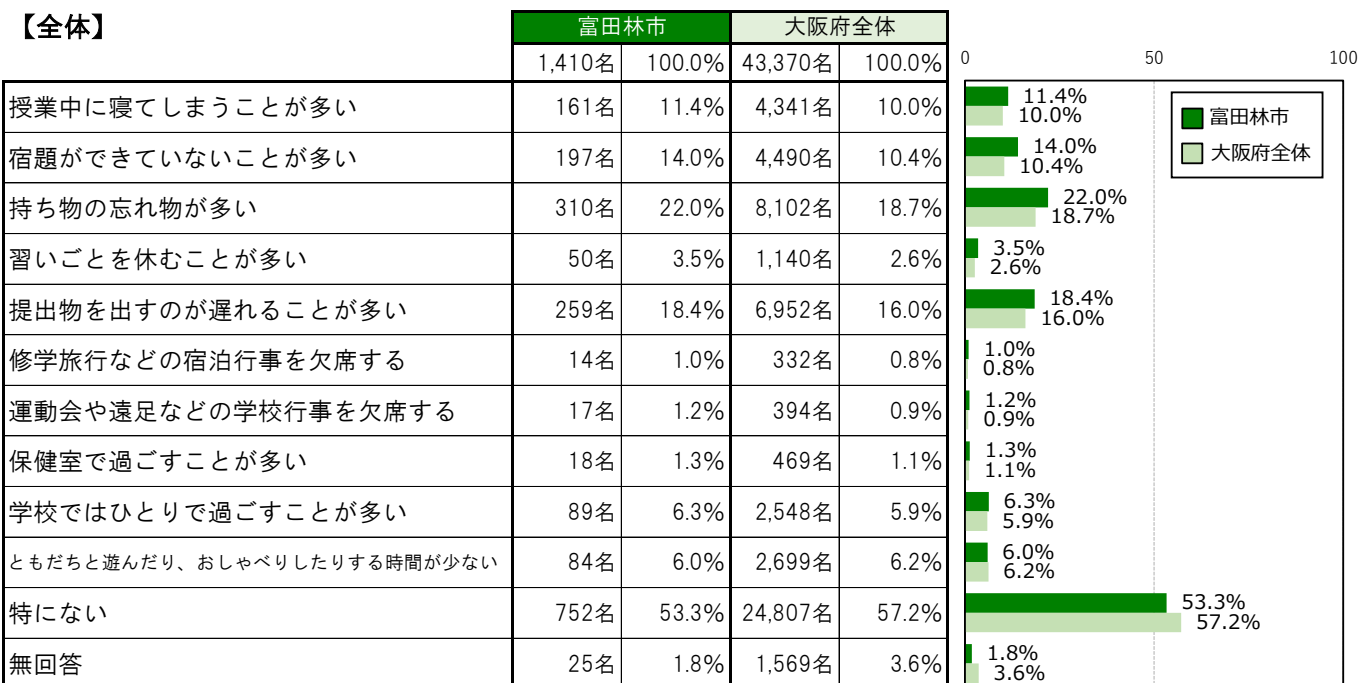
ふだんの生活のことについて

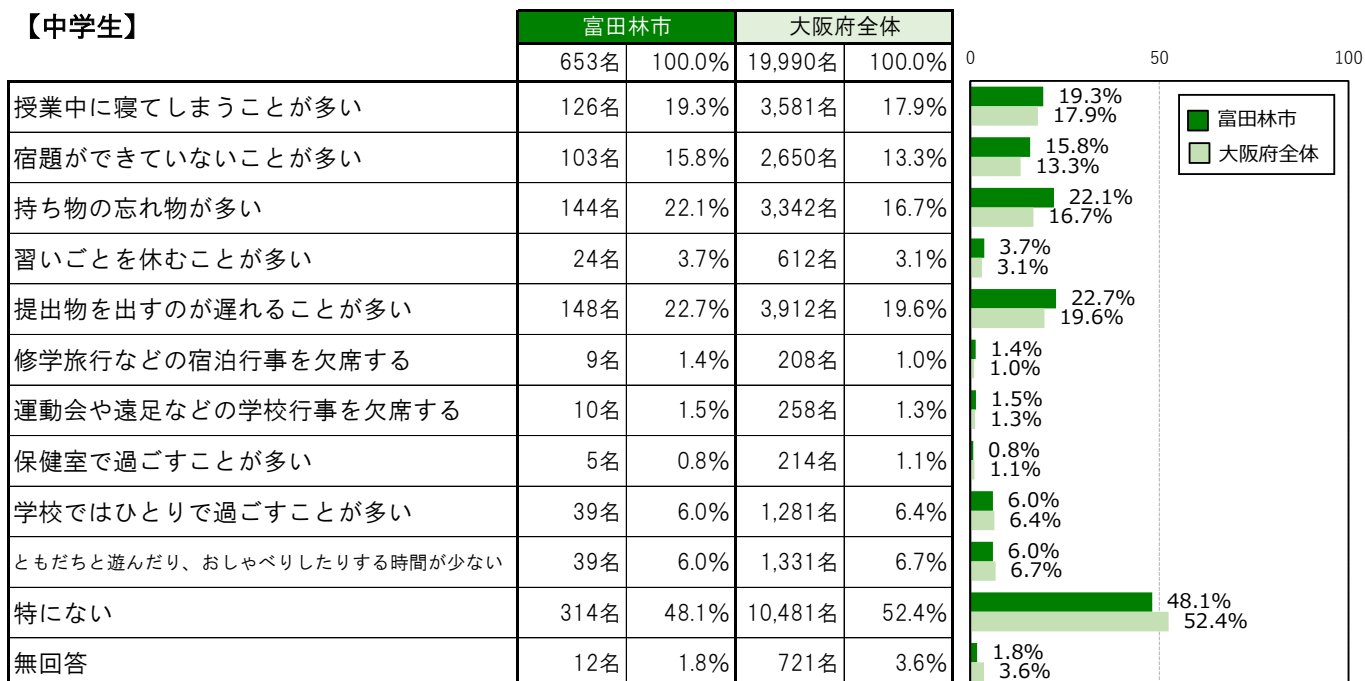
問16 学校や学校の行事等の状況

全体は、「持ち物の忘れ物が多い」が22.0%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が18.4%、「宿題ができていないことが多い」が14.0%、「授業中に寝てしまうことが多い」が11.4%となっている。一方、「特にない」は53.3%となっている。

小学生は、「持ち物の忘れ物が多い」が21.7%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が14.4%、「宿題ができていないことが多い」が12.3%、「学校ではひとりで過ごすことが多い」が6.6%となっている。一方、「特にない」は58.0%となっている。

中学生は、「提出物を出すのが遅れることが多い」が22.7%で最も多く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が22.1%、「授業中に寝てしまうことが多い」が19.3%、「宿題ができていないことが多い」が15.8%となっている。一方、「特にない」は48.1%となっている。





ふだんの生活のことについて

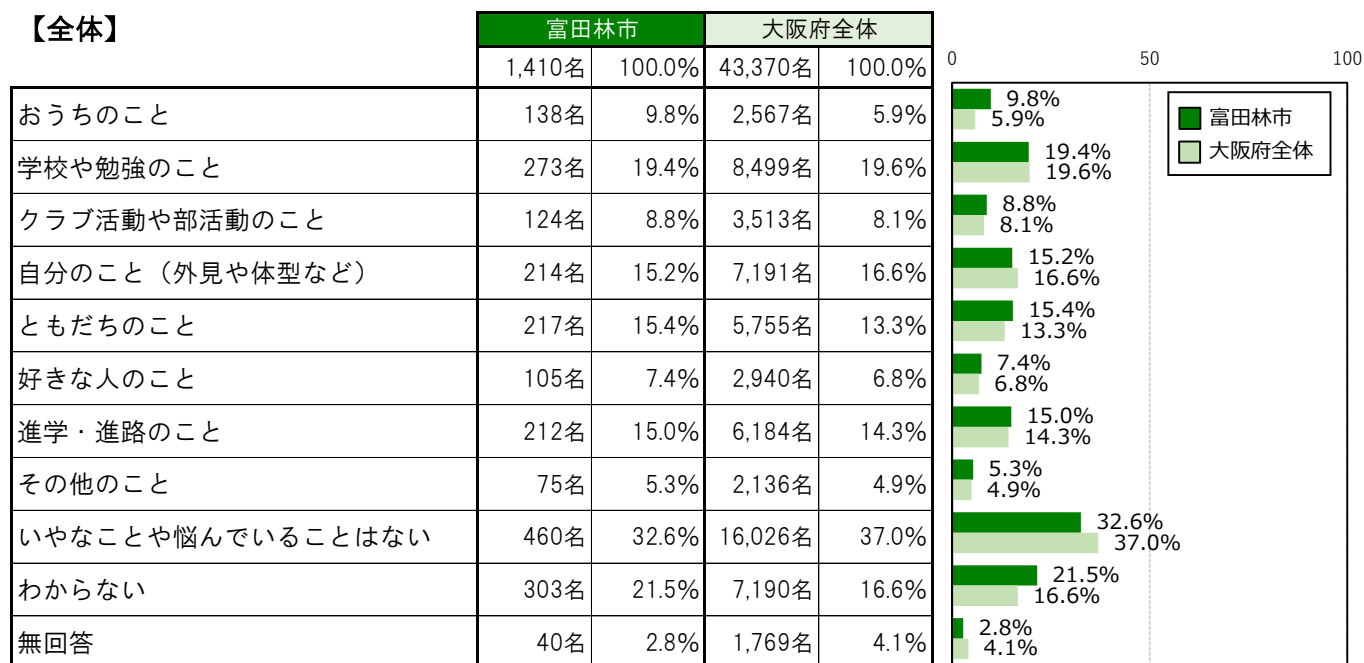
問17 嫌なことや悩んでいること

全体は、「いやなことや悩んでいることはない」が32.6%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が19.4%、「ともだちのこと」が15.4%、「自分のこと（外見や体型など）」が15.2%となっている。

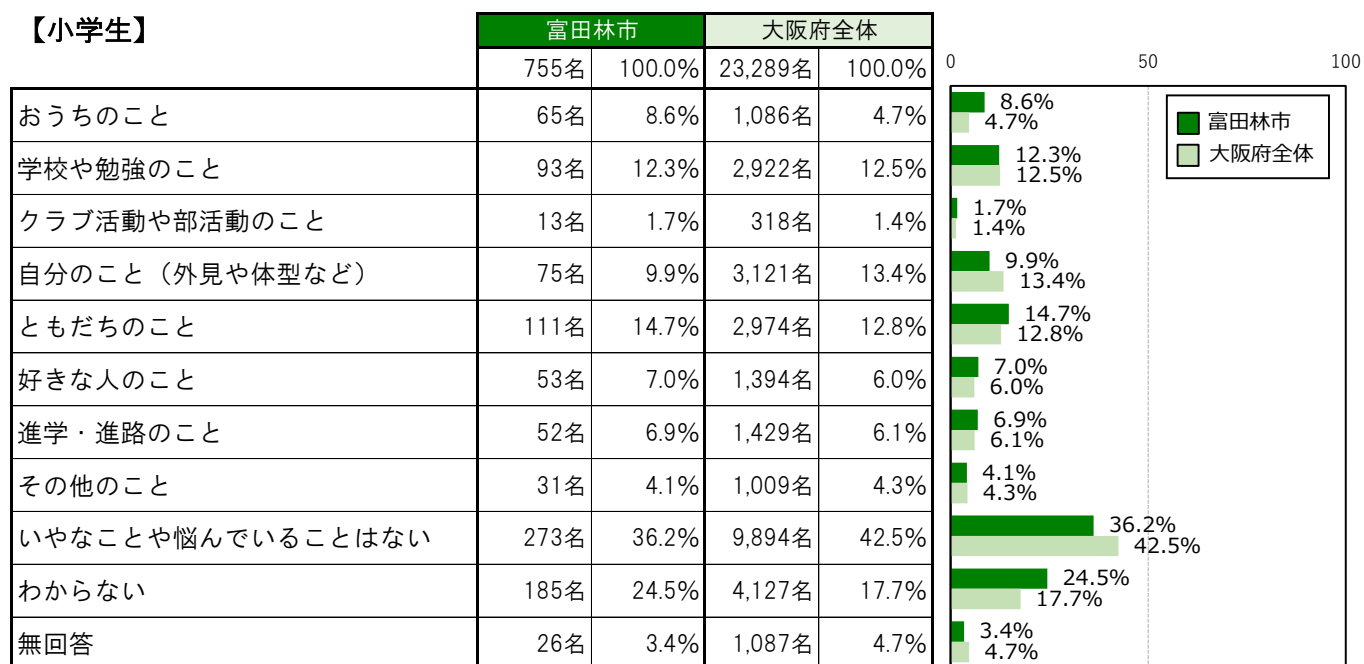
小学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が36.2%で最も多く、次いで「ともだちのこと」が14.7%、「学校や勉強のこと」が12.3%、「自分のこと（外見や体型など）」が9.9%となっている。

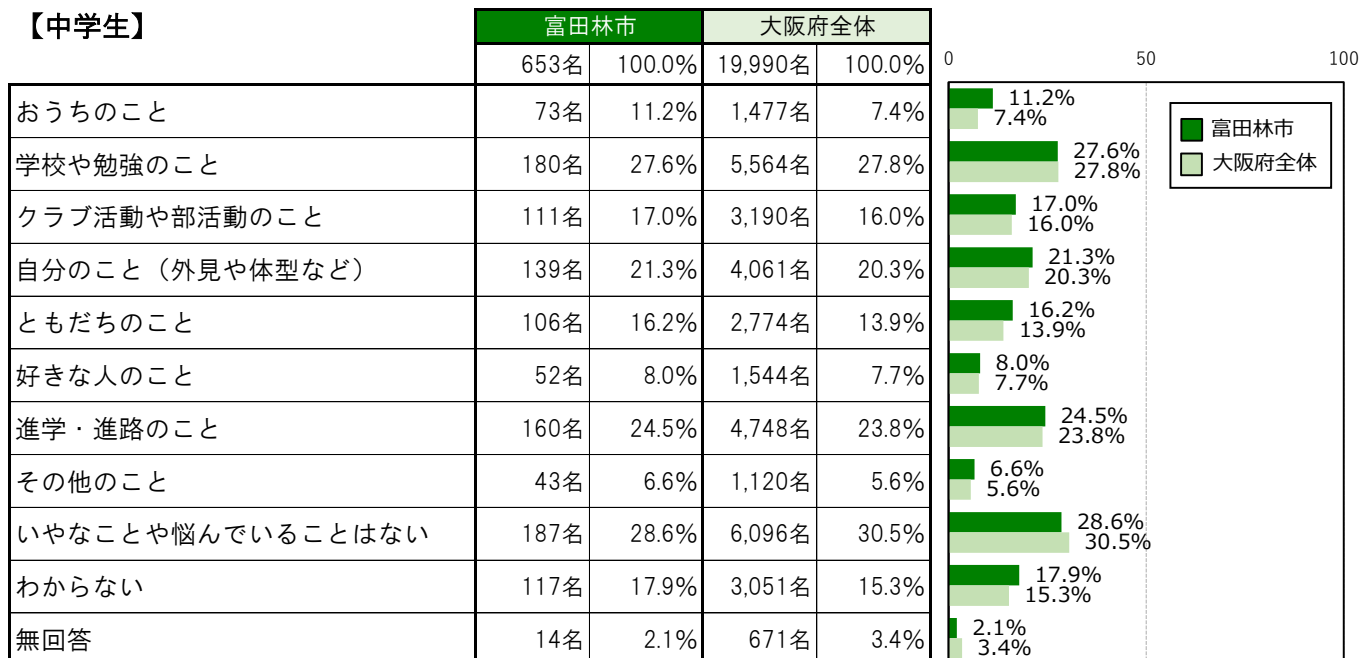
中学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が28.6%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が27.6%、「進学・進路のこと」が24.5%、「自分のこと（外見や体型など）」が21.3%となっている。

【全体】



【小学生】





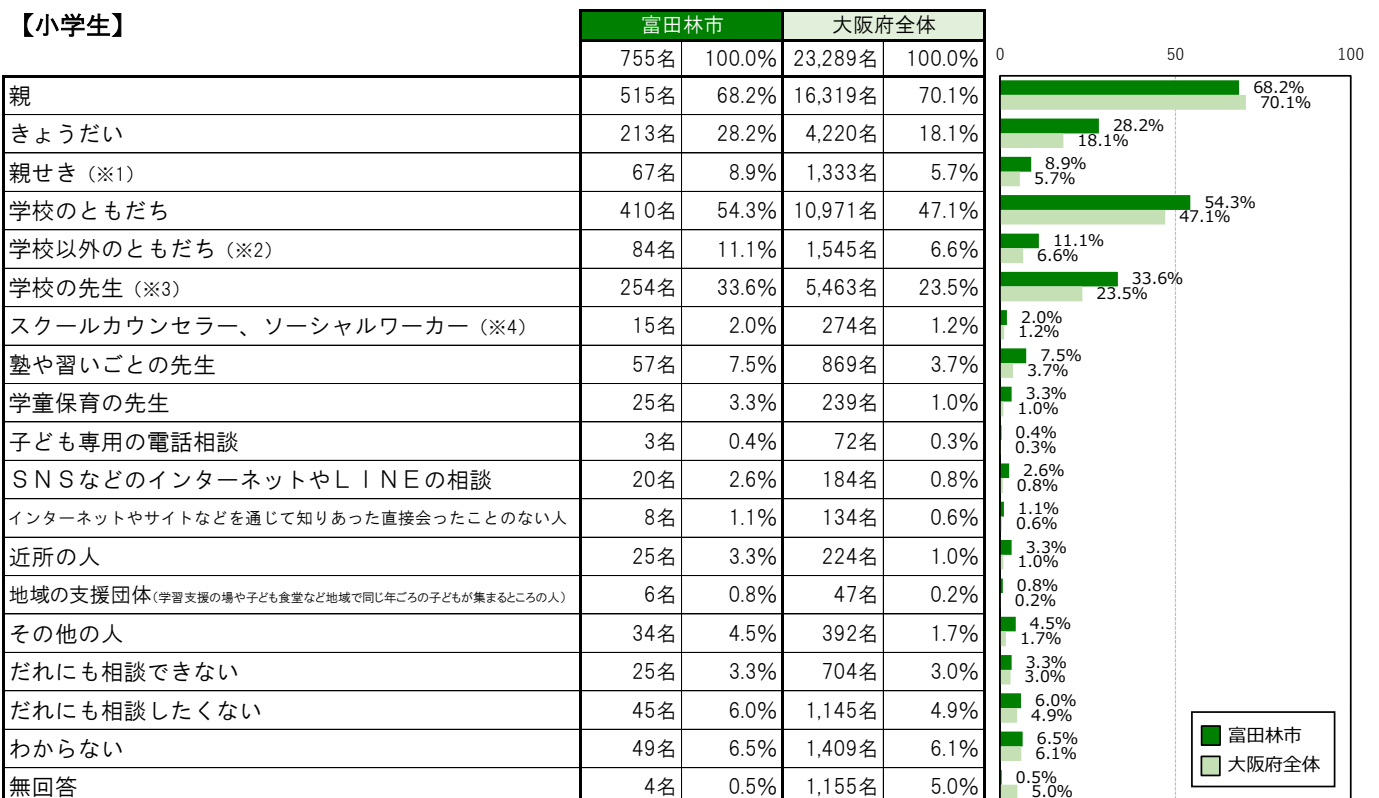
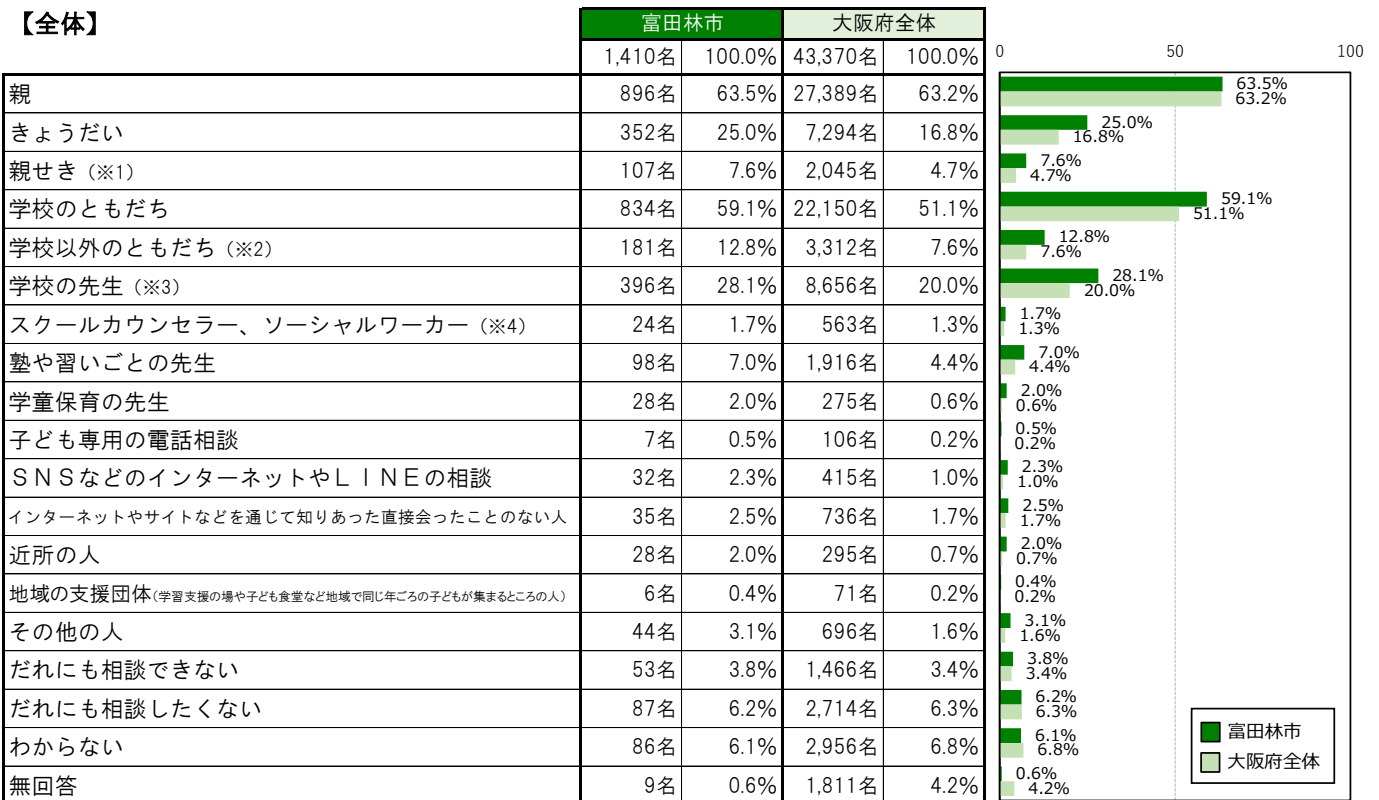
ふだんの生活のことについて

問18 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

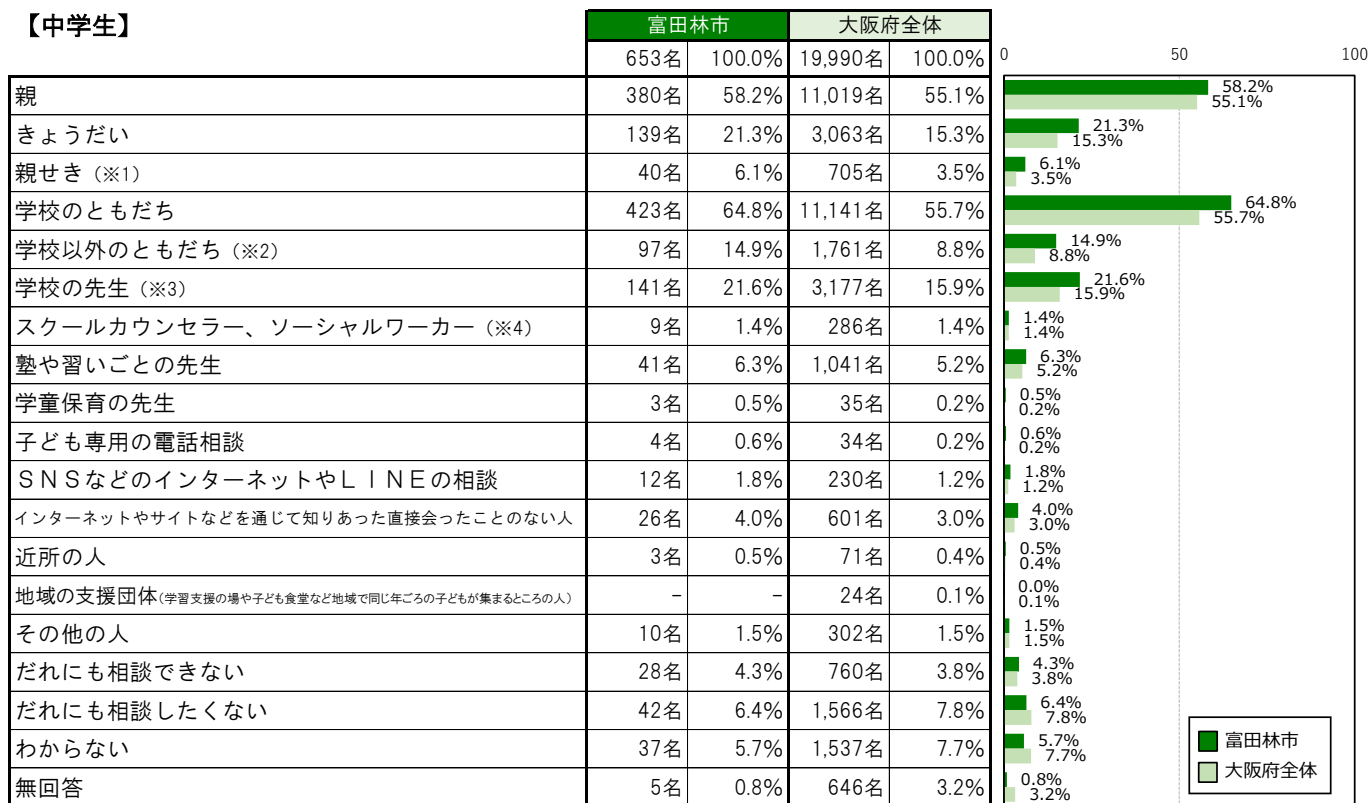
全体は、「親」が63.5%で最も多く、次いで「学校のともだち」が59.1%、「学校の先生」が28.1%、「きょうだい」が25.0%となっている。

小学生は、「親」が68.2%で最も多く、次いで「学校のともだち」が54.3%、「学校の先生」が33.6%、「きょうだい」が28.2%となっている。

中学生は、「学校のともだち」が64.8%で最も多く、次いで「親」が58.2%、「学校の先生」が21.6%、「きょうだい」が21.3%となっている。



【中学生】



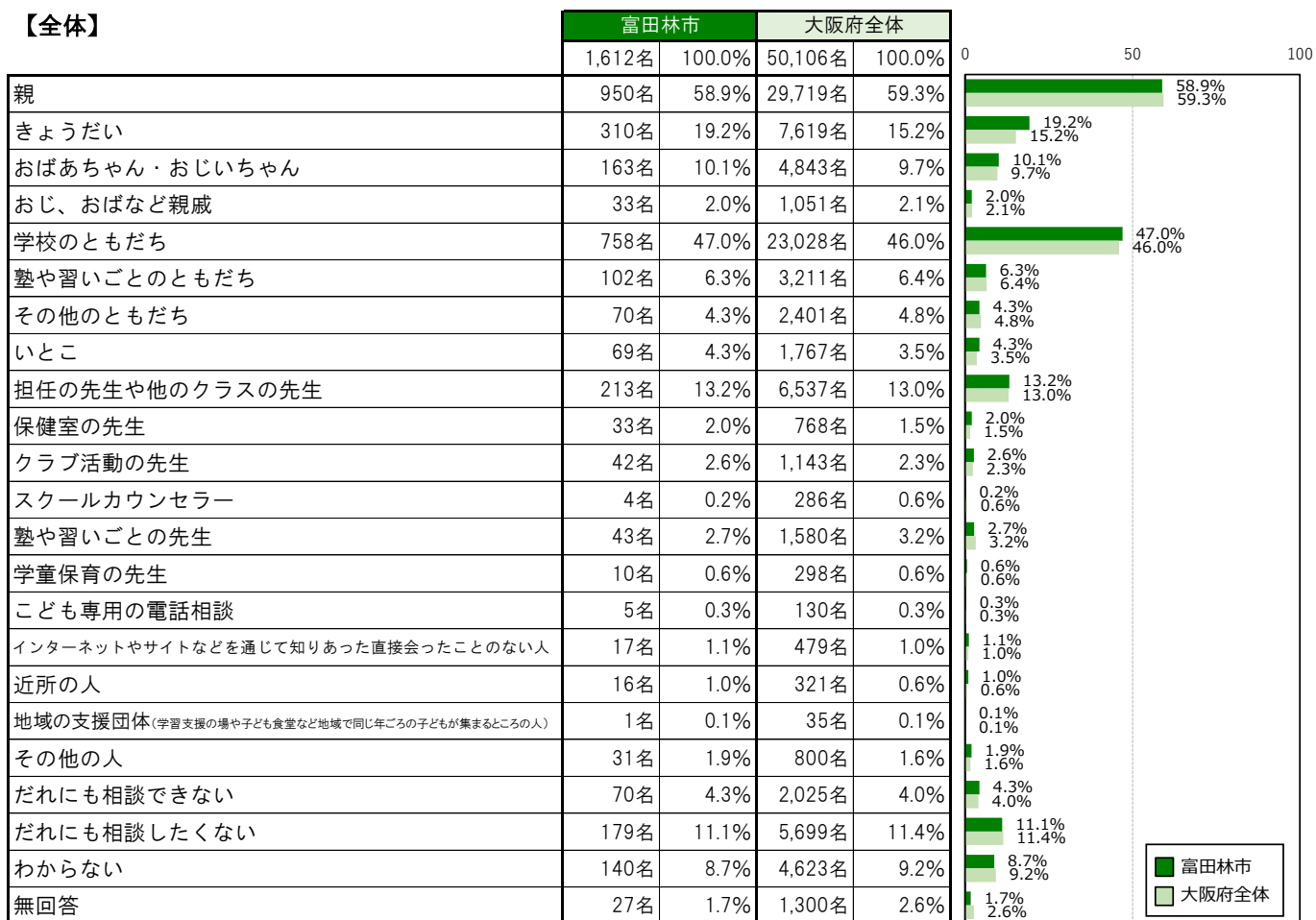
- ※1 2016年調査では「おじ、おばなど親戚」
 ※2 2016年調査では「塾や習いごとのともだち」「その他のともだち」
 ※3 2016年調査では「担任の先生や他のクラスの先生」「保健室の先生」
 ※4 2016年調査では「スクールカウンセラー」

●2016年度 調査結果〔参考データ〕

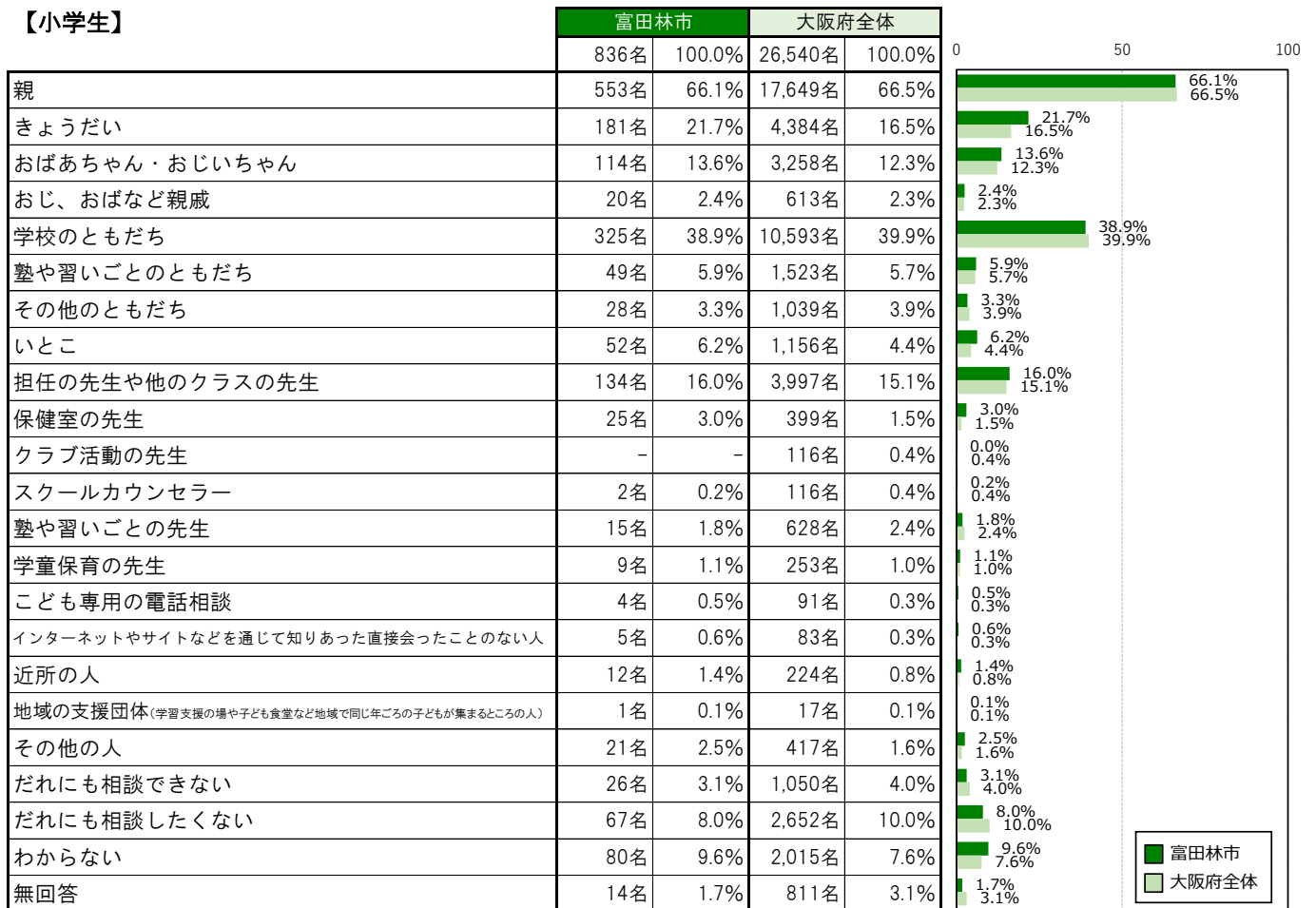
2016年度調査と比較すると、全体は、「学校の先生」（2016年度は「担任の先生や他のクラスの先生」と「保健室の先生」をあわせた割合）が12.9ポイント、「学校のともだち」が12.1ポイント、それぞれ高くなっている。

小学生は、「学校のともだち」が15.4ポイント、「学校の先生」が14.6ポイント、それぞれ高くなっている。

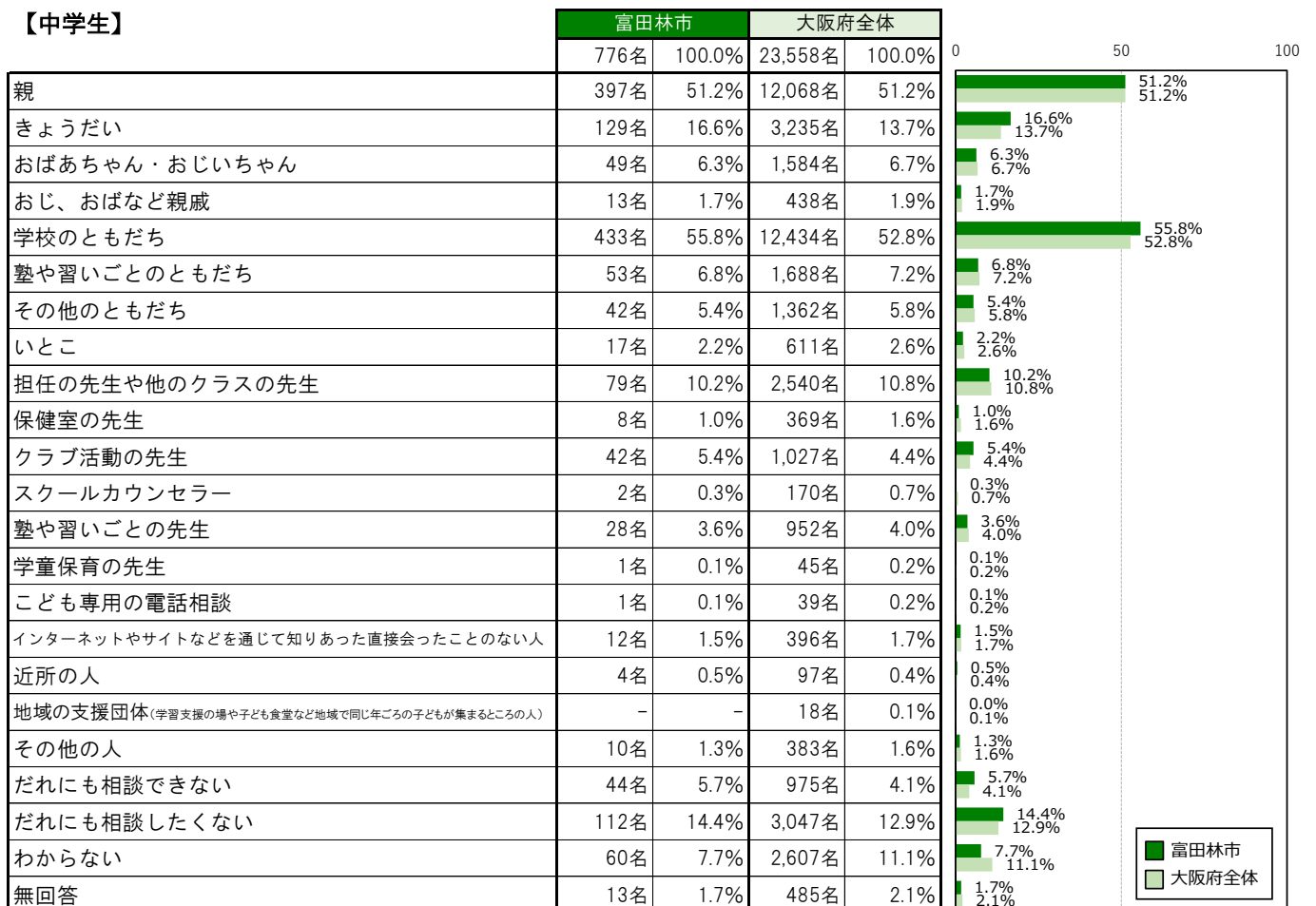
中学生は、「学校の先生」が10.4ポイント、「学校のともだち」が9.0ポイント、それぞれ高くなっている。



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

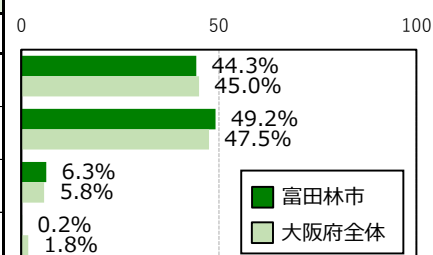
全体は、「ときどきそうだ」が49.2%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が44.3%、「そんなことはない」が6.3%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が48.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が47.5%、「そんなことはない」が4.0%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が51.1%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が39.7%、「そんなことはない」が9.0%となっている。

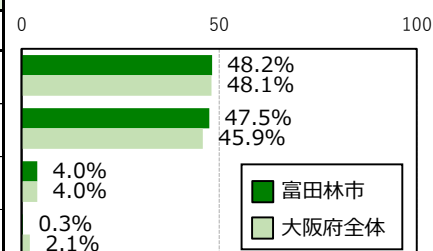
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	624名	44.3%	19,505名	45.0%
ときどきそうだ	694名	49.2%	20,583名	47.5%
そんなことはない	89名	6.3%	2,517名	5.8%
無回答	3名	0.2%	765名	1.8%



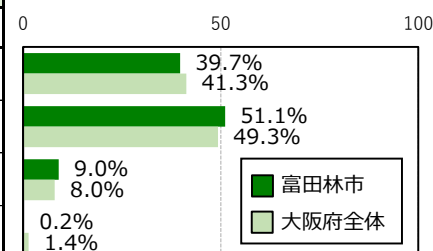
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	364名	48.2%	11,206名	48.1%
ときどきそうだ	359名	47.5%	10,683名	45.9%
そんなことはない	30名	4.0%	922名	4.0%
無回答	2名	0.3%	478名	2.1%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	259名	39.7%	8,256名	41.3%
ときどきそうだ	334名	51.1%	9,858名	49.3%
そんなことはない	59名	9.0%	1,595名	8.0%
無回答	1名	0.2%	281名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

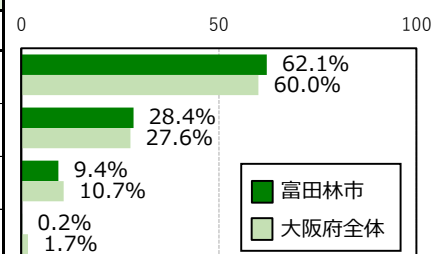
全体は、「いつもそうだ」が62.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が28.4%、「そんなことはない」が9.4%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が64.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が27.8%、「そんなことはない」が7.0%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が58.7%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.1%、「そんなことはない」が12.1%となっている。

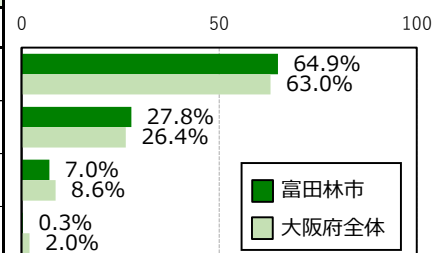
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	875名	62.1%	26,039名	60.0%
ときどきそうだ	400名	28.4%	11,956名	27.6%
そんなことはない	132名	9.4%	4,638名	10.7%
無回答	3名	0.2%	737名	1.7%



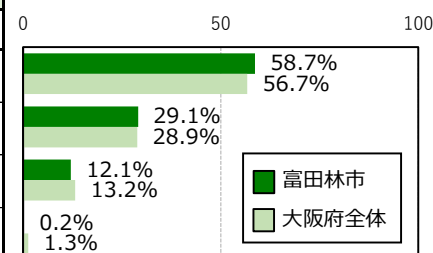
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	490名	64.9%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	210名	27.8%	6,154名	26.4%
そんなことはない	53名	7.0%	1,996名	8.6%
無回答	2名	0.3%	473名	2.0%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	383名	58.7%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	190名	29.1%	5,773名	28.9%
そんなことはない	79名	12.1%	2,634名	13.2%
無回答	1名	0.2%	258名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

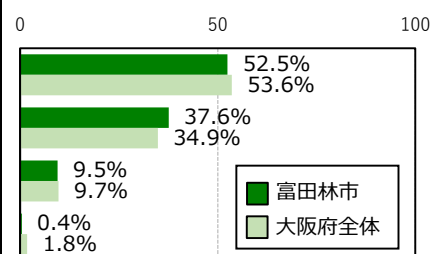
全体は、「いつもそうだ」が52.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が37.6%、「そんなことはない」が9.5%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が59.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が35.1%、「そんなことはない」が5.4%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が44.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が40.4%、「そんなことはない」が14.2%となっている。

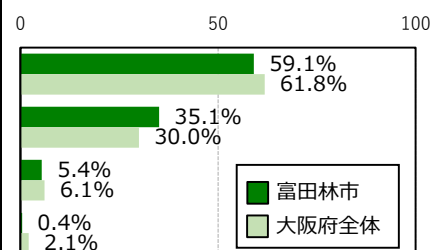
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	740名	52.5%	23,234名	53.6%
ときどきそうだ	530名	37.6%	15,146名	34.9%
そんなことはない	134名	9.5%	4,217名	9.7%
無回答	6名	0.4%	773名	1.8%



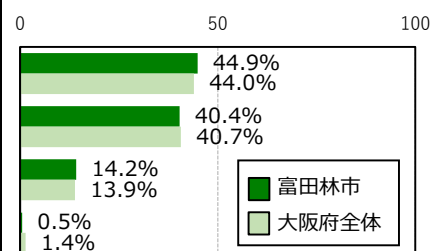
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	446名	59.1%	14,397名	61.8%
ときどきそうだ	265名	35.1%	6,978名	30.0%
そんなことはない	41名	5.4%	1,431名	6.1%
無回答	3名	0.4%	483名	2.1%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	293名	44.9%	8,796名	44.0%
ときどきそうだ	264名	40.4%	8,128名	40.7%
そんなことはない	93名	14.2%	2,782名	13.9%
無回答	3名	0.5%	284名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

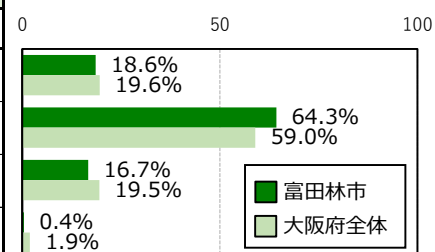
全体は、「ときどきそうだ」が64.3%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が18.6%、「そんなことはない」が16.7%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が65.0%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が22.4%、「そんなことはない」が12.2%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が63.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が21.7%、「いつもそうだ」が14.2%となっている。

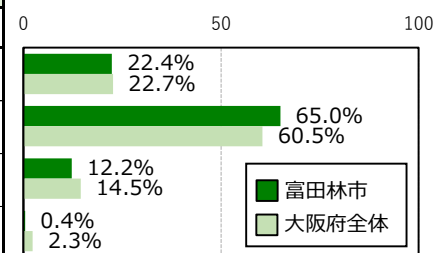
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	262名	18.6%	8,503名	19.6%
ときどきそうだ	907名	64.3%	25,567名	59.0%
そんなことはない	235名	16.7%	8,460名	19.5%
無回答	6名	0.4%	840名	1.9%



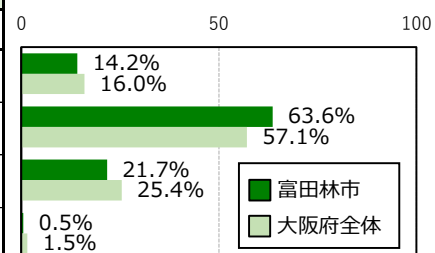
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	169名	22.4%	5,283名	22.7%
ときどきそうだ	491名	65.0%	14,099名	60.5%
そんなことはない	92名	12.2%	3,367名	14.5%
無回答	3名	0.4%	540名	2.3%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	93名	14.2%	3,199名	16.0%
ときどきそうだ	415名	63.6%	11,416名	57.1%
そんなことはない	142名	21.7%	5,081名	25.4%
無回答	3名	0.5%	294名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

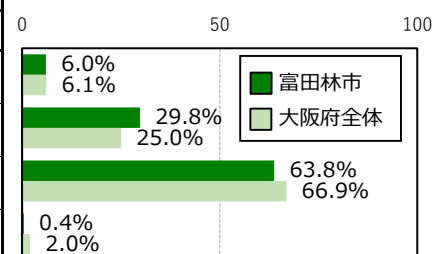
全体は、「そんなことはない」が63.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.8%、「いつもそうだ」が6.0%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が66.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が27.9%、「いつもそうだ」が5.0%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が60.3%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が32.0%、「いつもそうだ」が7.2%となっている。

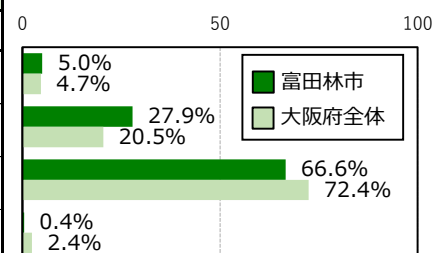
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	85名	6.0%	2,628名	6.1%
ときどきそうだ	420名	29.8%	10,860名	25.0%
そんなことはない	899名	63.8%	29,021名	66.9%
無回答	6名	0.4%	861名	2.0%



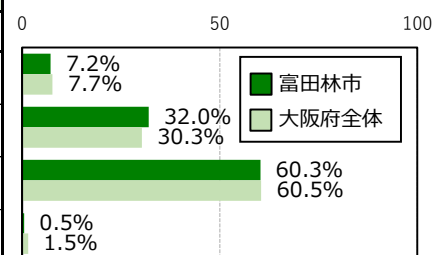
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	38名	5.0%	1,091名	4.7%
ときどきそうだ	211名	27.9%	4,776名	20.5%
そんなことはない	503名	66.6%	16,872名	72.4%
無回答	3名	0.4%	550名	2.4%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	47名	7.2%	1,534名	7.7%
ときどきそうだ	209名	32.0%	6,057名	30.3%
そんなことはない	394名	60.3%	12,095名	60.5%
無回答	3名	0.5%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

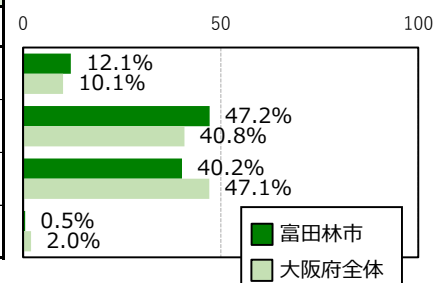
全体は、「ときどきそうだ」が47.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が40.2%、「いつもそうだ」が12.1%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が46.5%で最も多く、次いで「そんなことはない」が43.3%、「いつもそうだ」が9.5%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が48.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が36.6%、「いつもそうだ」が15.0%となっている。

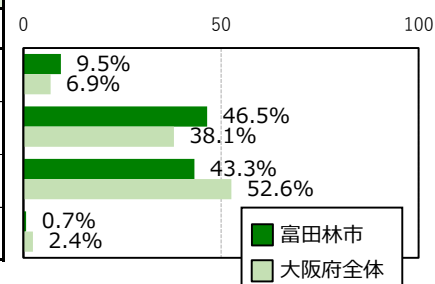
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	170名	12.1%	4,369名	10.1%
ときどきそうだ	666名	47.2%	17,713名	40.8%
そんなことはない	567名	40.2%	20,421名	47.1%
無回答	7名	0.5%	867名	2.0%



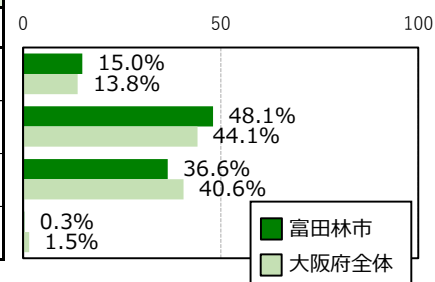
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	72名	9.5%	1,616名	6.9%
ときどきそうだ	351名	46.5%	8,865名	38.1%
そんなことはない	327名	43.3%	12,251名	52.6%
無回答	5名	0.7%	557名	2.4%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	98名	15.0%	2,750名	13.8%
ときどきそうだ	314名	48.1%	8,814名	44.1%
そんなことはない	239名	36.6%	8,122名	40.6%
無回答	2名	0.3%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

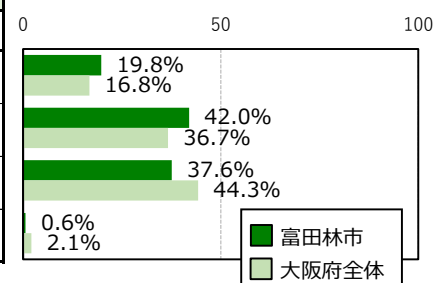
全体は、「ときどきそうだ」が42.0%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.6%、「いつもそうだ」が19.8%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が42.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が41.6%、「いつもそうだ」が15.1%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が42.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が31.5%、「いつもそうだ」が25.3%となっている。

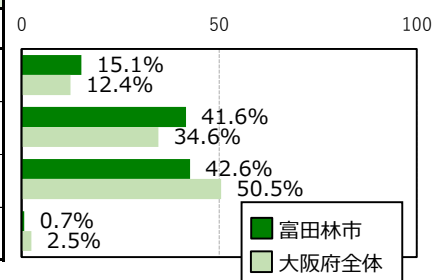
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	279名	19.8%	7,300名	16.8%
ときどきそうだ	592名	42.0%	15,932名	36.7%
そんなことはない	530名	37.6%	19,222名	44.3%
無回答	9名	0.6%	916名	2.1%



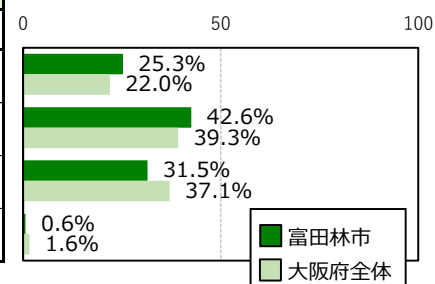
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	114名	15.1%	2,893名	12.4%
ときどきそうだ	314名	41.6%	8,049名	34.6%
そんなことはない	322名	42.6%	11,759名	50.5%
無回答	5名	0.7%	588名	2.5%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	165名	25.3%	4,399名	22.0%
ときどきそうだ	278名	42.6%	7,848名	39.3%
そんなことはない	206名	31.5%	7,422名	37.1%
無回答	4名	0.6%	321名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

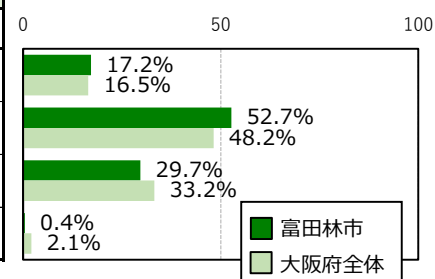
全体は、「ときどきそうだ」が52.7%で最も多く、次いで「そんなことはない」が29.7%、「いつもそうだ」が17.2%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が50.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が38.5%、「いつもそうだ」が10.7%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が55.4%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が24.8%、「そんなことはない」が19.4%となっている。

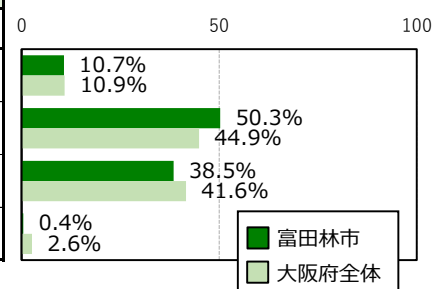
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	243名	17.2%	7,152名	16.5%
ときどきそうだ	743名	52.7%	20,902名	48.2%
そんなことはない	419名	29.7%	14,387名	33.2%
無回答	5名	0.4%	929名	2.1%



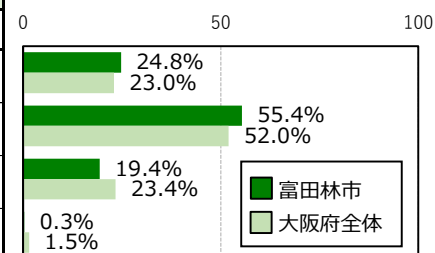
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	81名	10.7%	2,541名	10.9%
ときどきそうだ	380名	50.3%	10,454名	44.9%
そんなことはない	291名	38.5%	9,677名	41.6%
無回答	3名	0.4%	617名	2.6%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	162名	24.8%	4,606名	23.0%
ときどきそうだ	362名	55.4%	10,396名	52.0%
そんなことはない	127名	19.4%	4,682名	23.4%
無回答	2名	0.3%	306名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

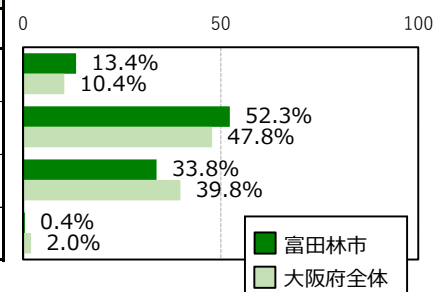
全体は、「ときどきそうだ」が52.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が33.8%、「いつもそうだ」が13.4%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が52.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が34.2%、「いつもそうだ」が12.8%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が52.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が33.4%、「いつもそうだ」が14.1%となっている。

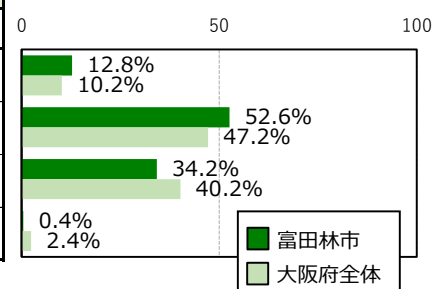
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	189名	13.4%	4,525名	10.4%
ときどきそうだ	738名	52.3%	20,712名	47.8%
そんなことはない	477名	33.8%	17,270名	39.8%
無回答	6名	0.4%	863名	2.0%



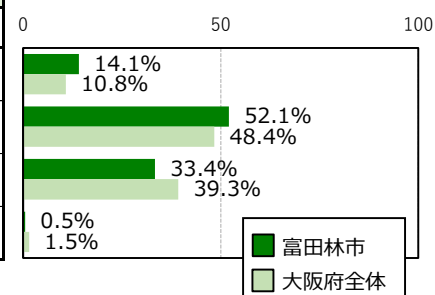
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	97名	12.8%	2,364名	10.2%
ときどきそうだ	397名	52.6%	10,997名	47.2%
そんなことはない	258名	34.2%	9,370名	40.2%
無回答	3名	0.4%	558名	2.4%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	92名	14.1%	2,152名	10.8%
ときどきそうだ	340名	52.1%	9,674名	48.4%
そんなことはない	218名	33.4%	7,865名	39.3%
無回答	3名	0.5%	299名	1.5%



ふだんの生活のことについて

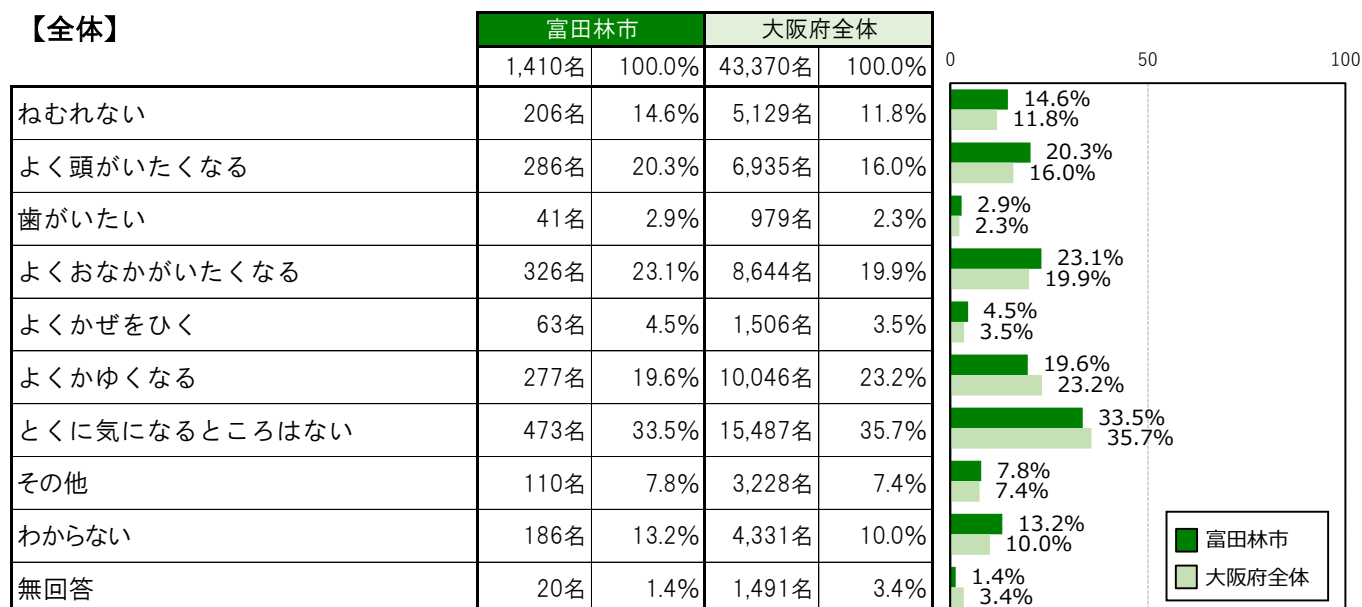
問20 自分の体の状態で気になること

全体は、「とくに気になるところはない」が33.5%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が23.1%、「よく頭がいたくなる」が20.3%、「よくかゆくなる」が19.6%となっている。

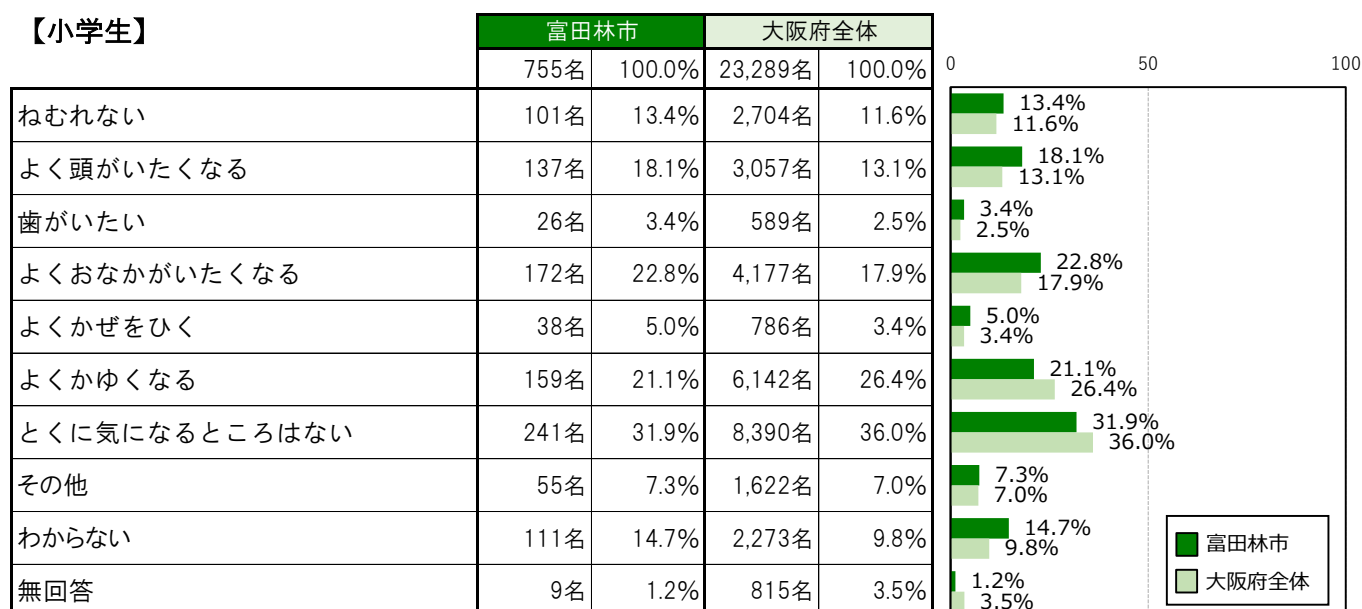
小学生は、「とくに気になるところはない」が31.9%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が22.8%、「よくかゆくなる」が21.1%、「よく頭がいたくなる」が18.1%となっている。

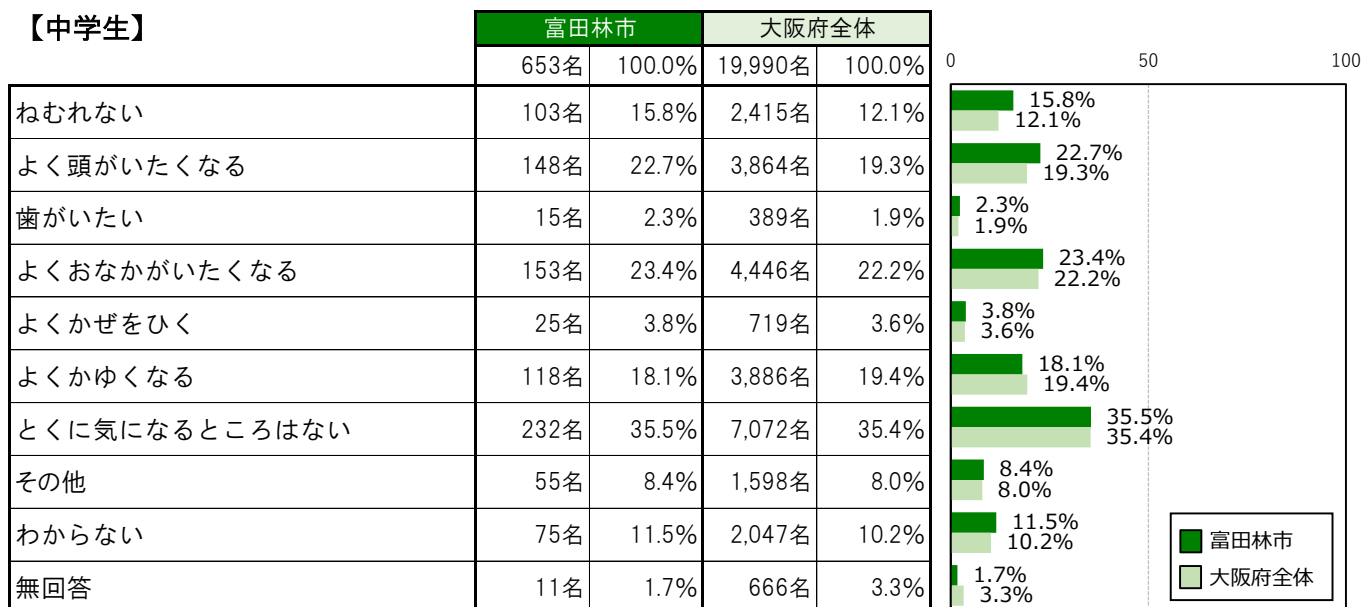
中学生は、「とくに気になるところはない」が35.5%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が23.4%、「よく頭がいたくなる」が22.7%、「よくかゆくなる」が18.1%となっている。

【全体】



【小学生】





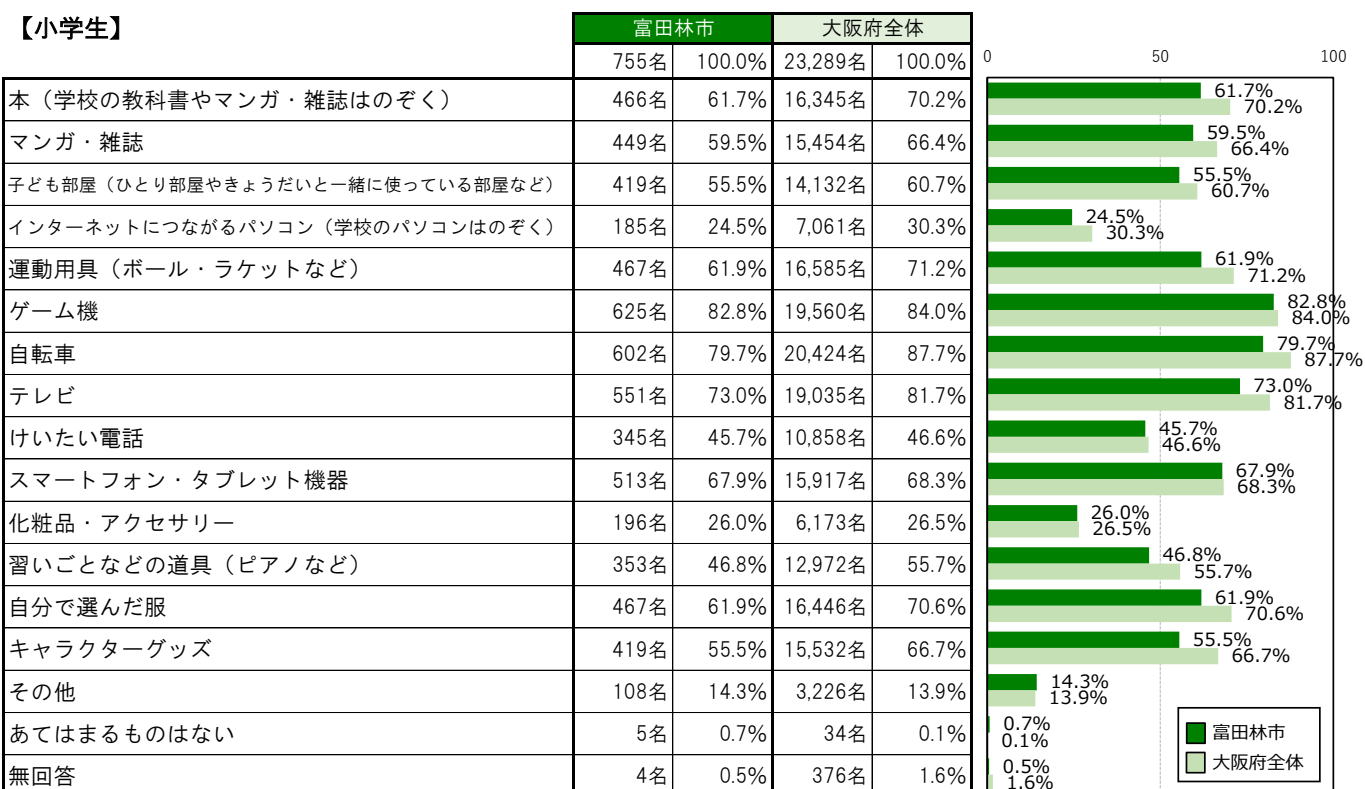
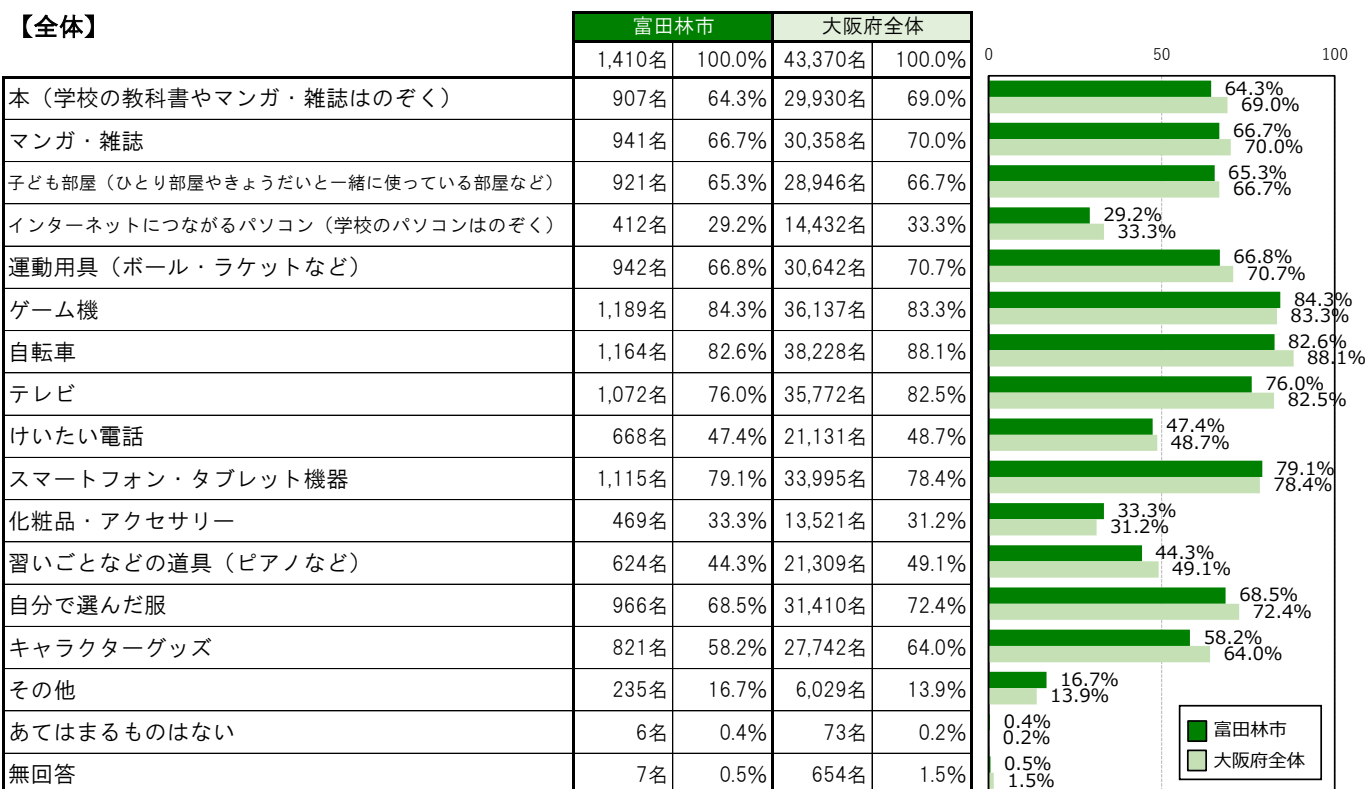
ふだんの生活のことについて

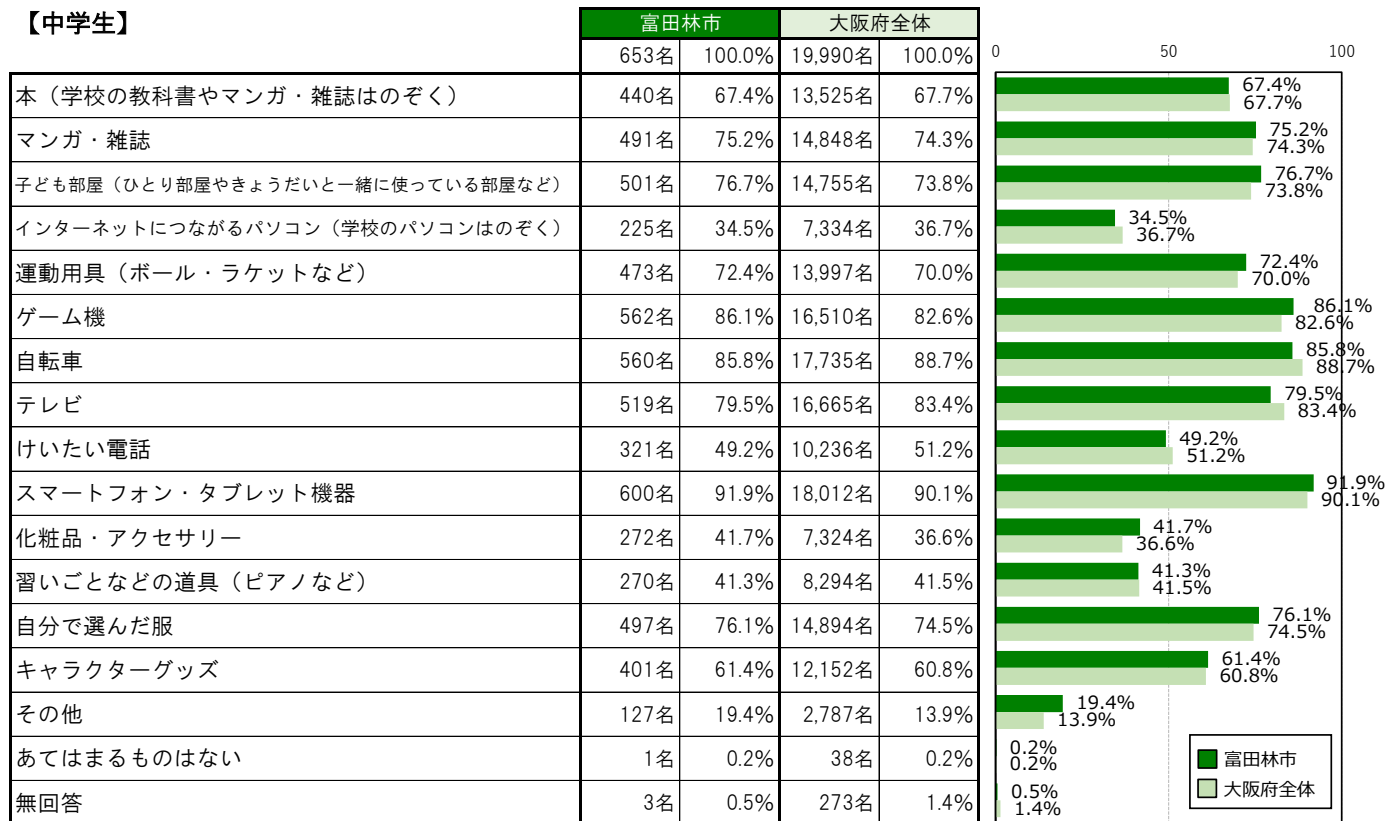
問21 持っているもの、使うことができるもの

全体は、「ゲーム機」が84.3%で最も多く、次いで「自転車」が82.6%、「スマートフォン・タブレット機器」が79.1%、「テレビ」が76.0%となっている。

小学生は、「ゲーム機」が82.8%で最も多く、次いで「自転車」が79.7%、「テレビ」が73.0%、「スマートフォン・タブレット機器」が67.9%となっている。

中学生は、「スマートフォン・タブレット機器」が91.9%で最も多く、次いで「ゲーム機」が86.1%、「自転車」が85.8%、「テレビ」が79.5%となっている。



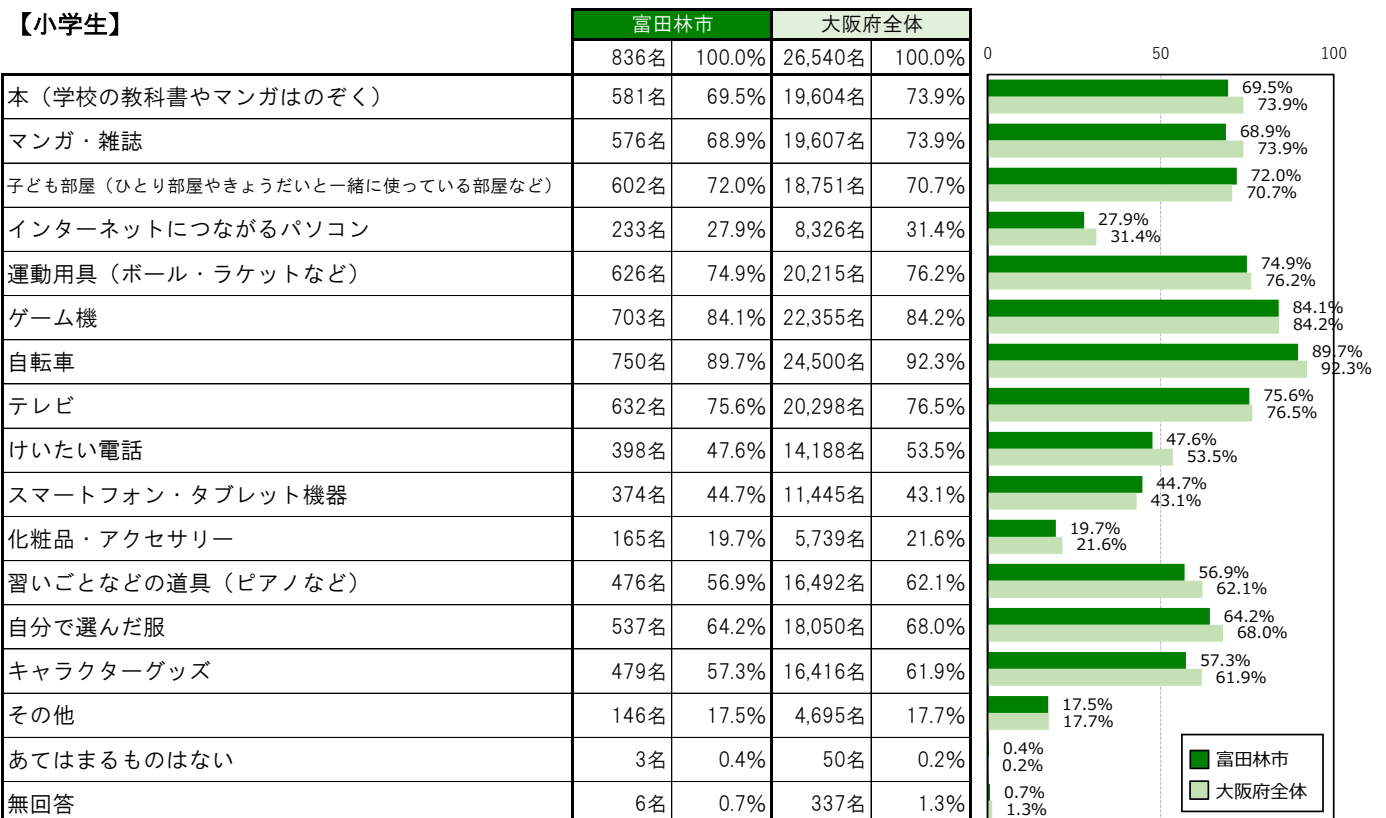
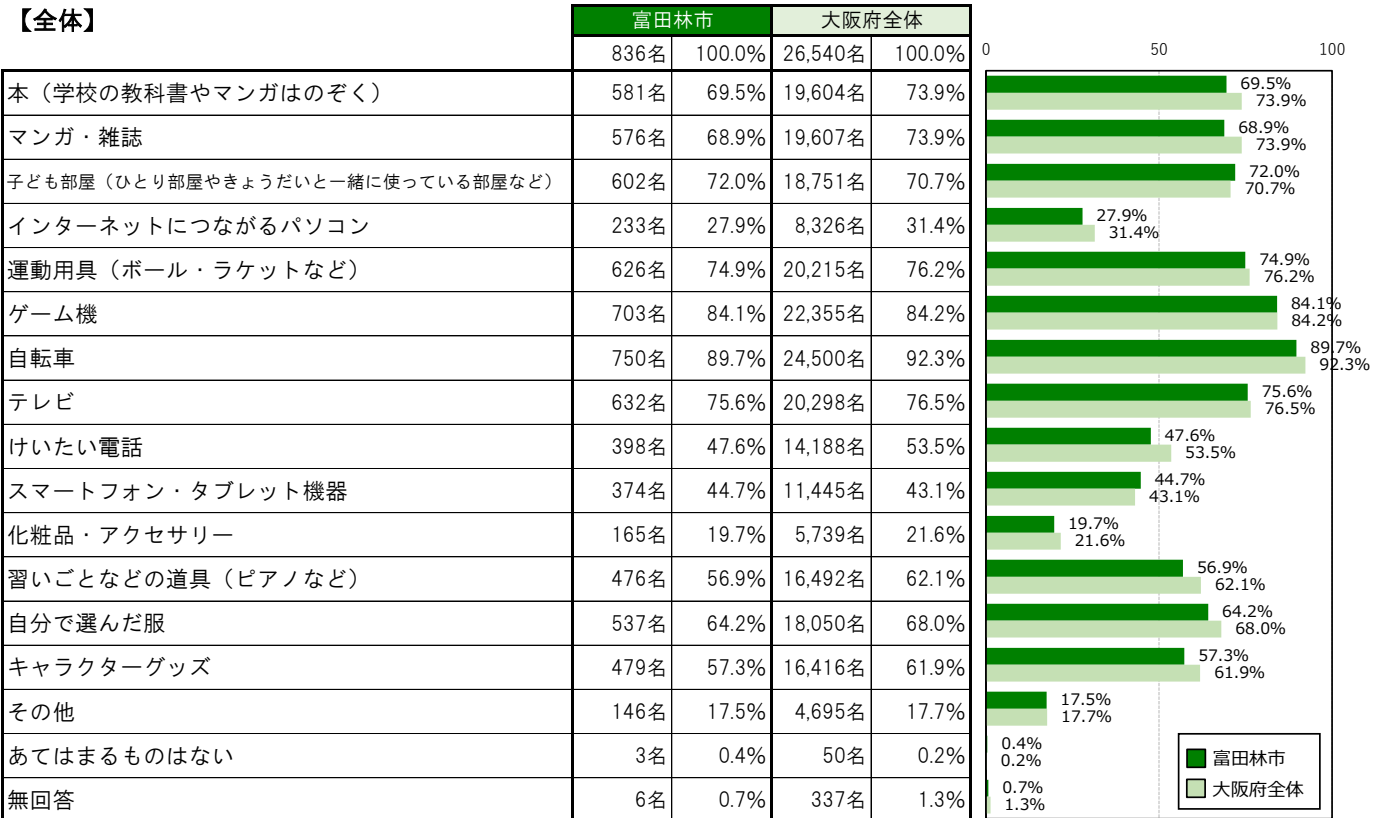


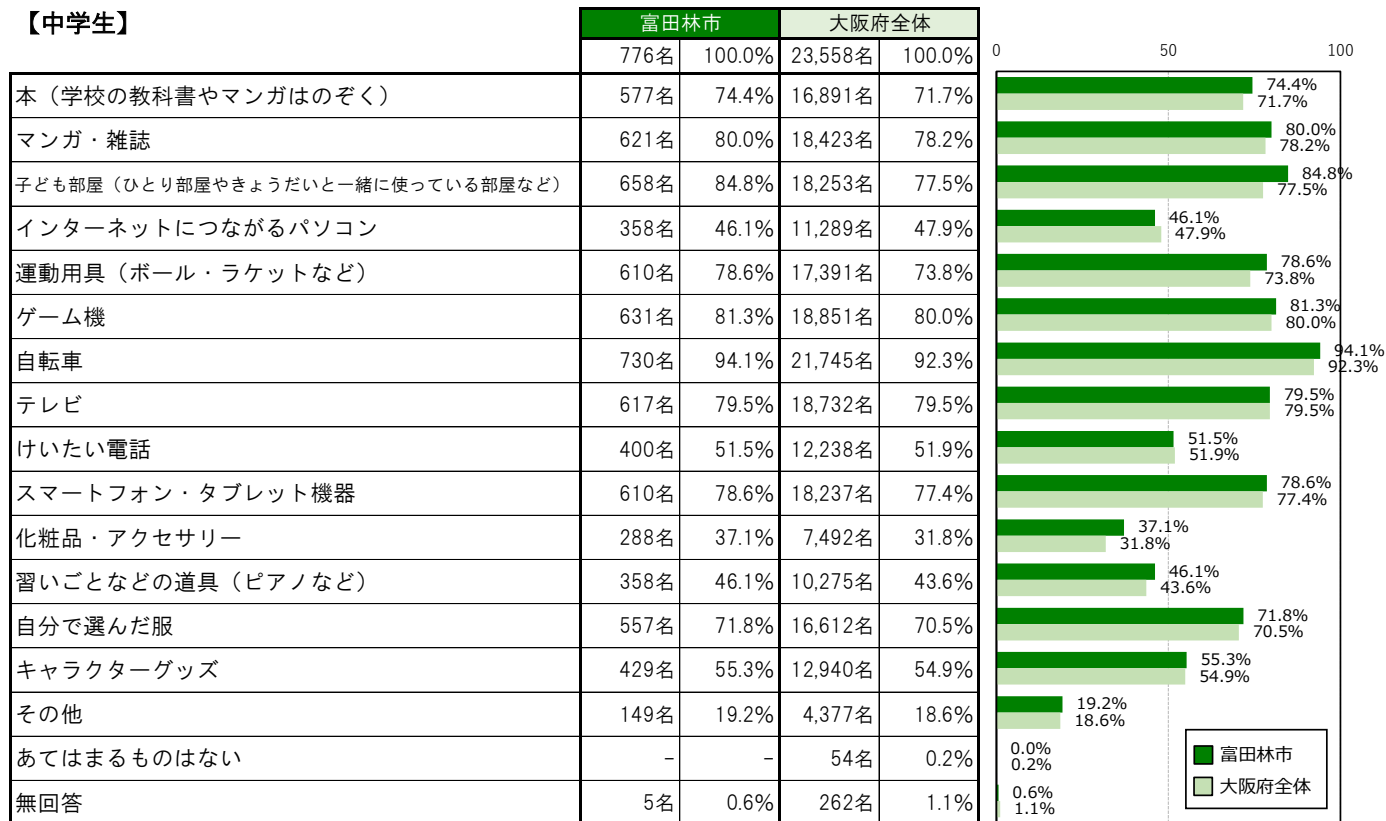
●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、全体は、「スマートフォン・タブレット機器」は34.4ポイント高いが、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」は12.6ポイント低くなっている。

小学生は、「スマートフォン・タブレット機器」は23.2ポイント高いが、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」は16.5ポイント低くなっている。

中学生は、「スマートフォン・タブレット機器」は13.3ポイント高いが、「インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）」は11.6ポイント低くなっている。





ふだん考えていることについて

問22 すぐに立ち直ることができる

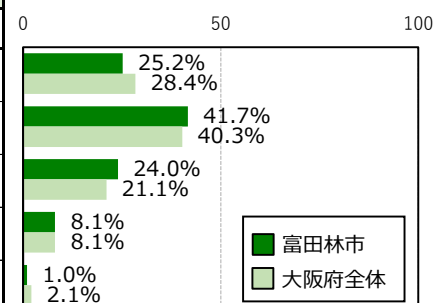
全体は、「どちらかというと思う」が41.7%で最も多く、次いで「そう思う」が25.2%、「どちらかというと思わない」が24.0%となっている。

小学生は、「どちらかというと思う」が42.8%で最も多く、次いで「そう思う」が26.6%、「どちらかというと思わない」が22.5%、「そう思わない」が7.3%となっている。

中学生は、「どちらかというと思う」が40.4%で最も多く、次いで「どちらかというと思わない」が25.9%、「そう思う」が23.4%、「そう思わない」が9.0%となっている。

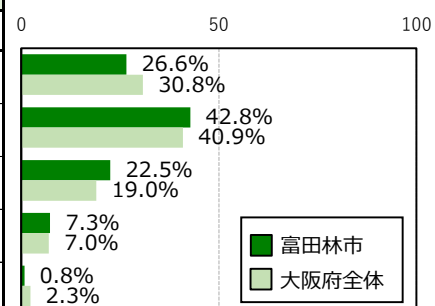
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
そう思う	355名	25.2%	12,318名	28.4%
どちらかというと思う	588名	41.7%	17,480名	40.3%
どちらかというと思わない	339名	24.0%	9,144名	21.1%
そう思わない	114名	8.1%	3,521名	8.1%
無回答	14名	1.0%	907名	2.1%



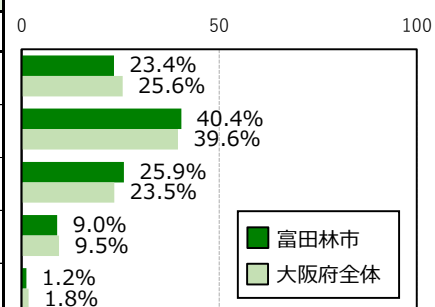
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
そう思う	201名	26.6%	7,172名	30.8%
どちらかというと思う	323名	42.8%	9,521名	40.9%
どちらかというと思わない	170名	22.5%	4,431名	19.0%
そう思わない	55名	7.3%	1,625名	7.0%
無回答	6名	0.8%	540名	2.3%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
そう思う	153名	23.4%	5,119名	25.6%
どちらかというと思う	264名	40.4%	7,917名	39.6%
どちらかというと思わない	169名	25.9%	4,703名	23.5%
そう思わない	59名	9.0%	1,891名	9.5%
無回答	8名	1.2%	360名	1.8%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（１）自分に自信がある

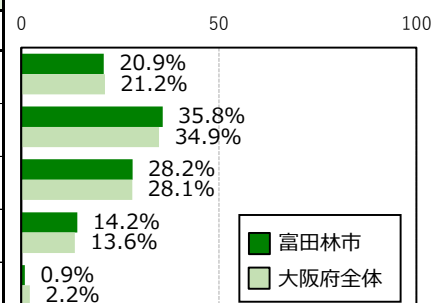
全体は、「どちらかというところある」が35.8%で最も多く、次いで「どちらかというところない」が28.2%、「ある」が20.9%、「ない」が14.2%となっている。

小学生は、「どちらかというところある」が38.4%で最も多く、次いで「ある」が25.7%、「どちらかというところない」が24.8%、「ない」が10.1%となっている。

中学生は、「どちらかというところある」が32.9%で最も多く、次いで「どちらかというところない」が32.0%、「ない」が19.0%、「ある」が15.3%となっている。

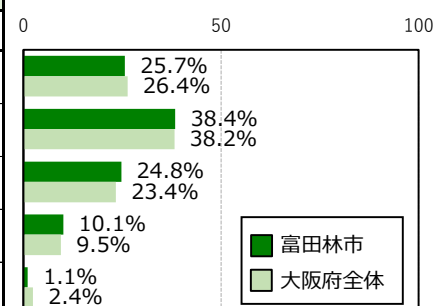
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,410名	100.0%	43,370名	100.0%
ある	295名	20.9%	9,192名	21.2%
どちらかというところある	505名	35.8%	15,132名	34.9%
どちらかというところない	397名	28.2%	12,192名	28.1%
ない	200名	14.2%	5,898名	13.6%
無回答	13名	0.9%	956名	2.2%



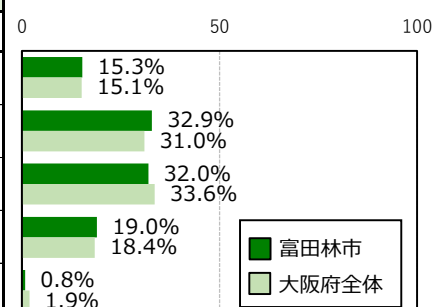
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	755名	100.0%	23,289名	100.0%
ある	194名	25.7%	6,157名	26.4%
どちらかというところある	290名	38.4%	8,904名	38.2%
どちらかというところない	187名	24.8%	5,450名	23.4%
ない	76名	10.1%	2,211名	9.5%
無回答	8名	1.1%	567名	2.4%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	653名	100.0%	19,990名	100.0%
ある	100名	15.3%	3,011名	15.1%
どちらかというところある	215名	32.9%	6,202名	31.0%
どちらかというところない	209名	32.0%	6,716名	33.6%
ない	124名	19.0%	3,679名	18.4%
無回答	5名	0.8%	382名	1.9%



ふだん考えていることについて

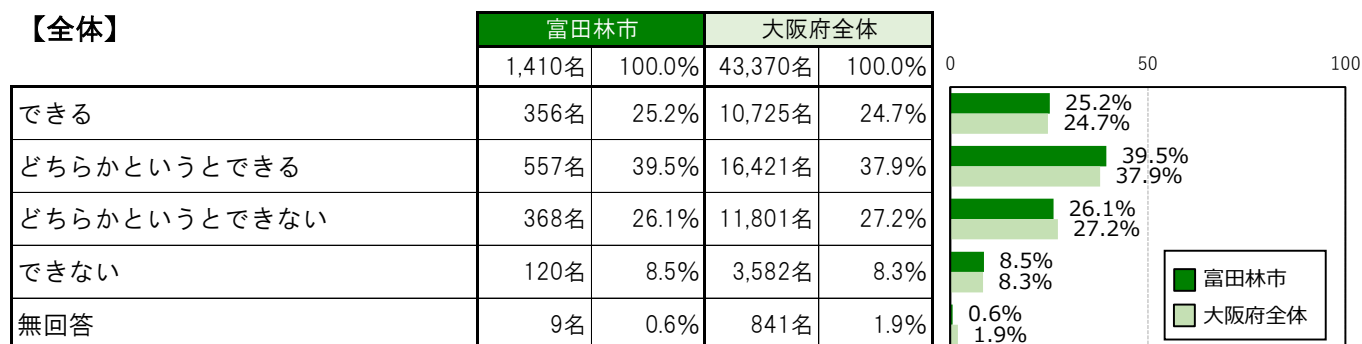
問23 ふだん考えていること（2）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

全体は、「どちらかというとできる」が39.5%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が26.1%、「できる」が25.2%、「できない」が8.5%となっている。

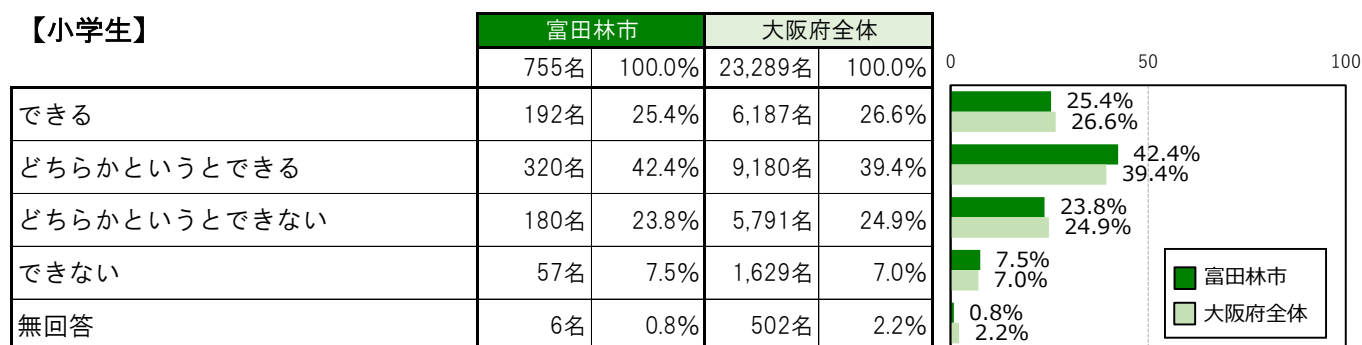
小学生は、「どちらかというとできる」が42.4%で最も多く、次いで「できる」が25.4%、「どちらかというとできない」が23.8%、「できない」が7.5%となっている。

中学生は、「どちらかというとできる」が36.3%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が28.8%、「できる」が25.0%、「できない」が9.5%となっている。

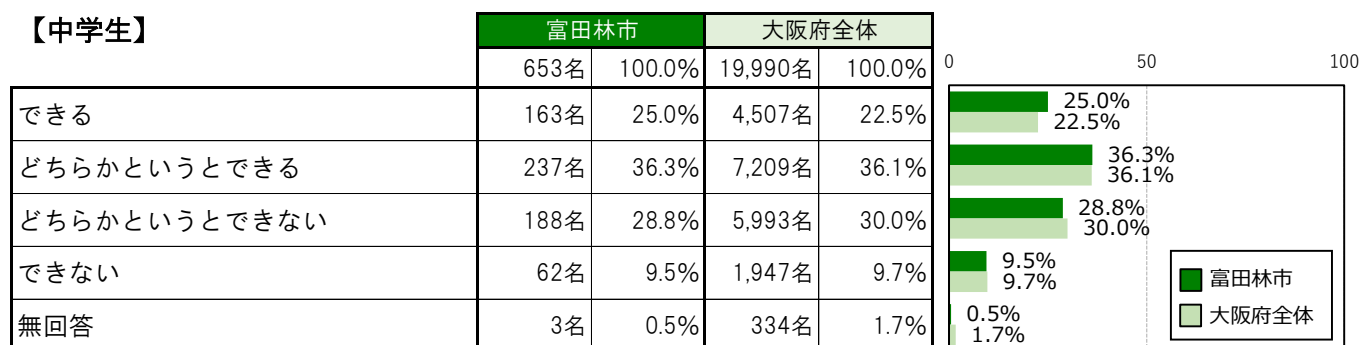
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（3）自分の将来の夢や目標を持っている

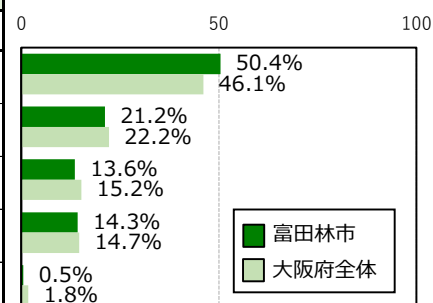
全体は、「持っている」が50.4%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が21.2%、「持っていない」が14.3%、「どちらかという持っていない」が13.6%となっている。

小学生は、「持っている」が64.1%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が18.8%、「どちらかという持っていない」が8.9%、「持っていない」が7.7%となっている。

中学生は、「持っている」が34.5%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が24.0%、「持っていない」が21.9%、「どちらかという持っていない」が19.1%となっている。

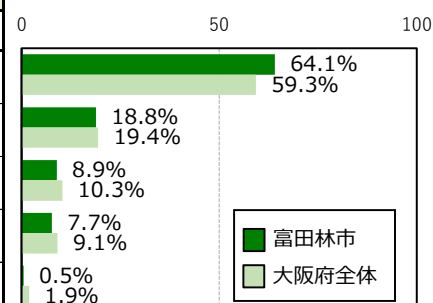
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	711名	50.4%	19,990名	46.1%
どちらかというを持っている	299名	21.2%	9,645名	22.2%
どちらかという持っていない	192名	13.6%	6,609名	15.2%
持っていない	201名	14.3%	6,354名	14.7%
無回答	7名	0.5%	772名	1.8%



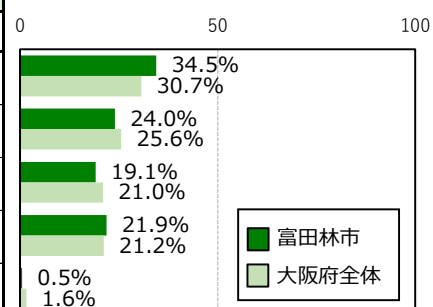
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	484名	64.1%	13,811名	59.3%
どちらかというを持っている	142名	18.8%	4,518名	19.4%
どちらかという持っていない	67名	8.9%	2,398名	10.3%
持っていない	58名	7.7%	2,108名	9.1%
無回答	4名	0.5%	454名	1.9%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	225名	34.5%	6,139名	30.7%
どちらかというを持っている	157名	24.0%	5,108名	25.6%
どちらかという持っていない	125名	19.1%	4,195名	21.0%
持っていない	143名	21.9%	4,235名	21.2%
無回答	3名	0.5%	313名	1.6%



ふだん考えていることについて

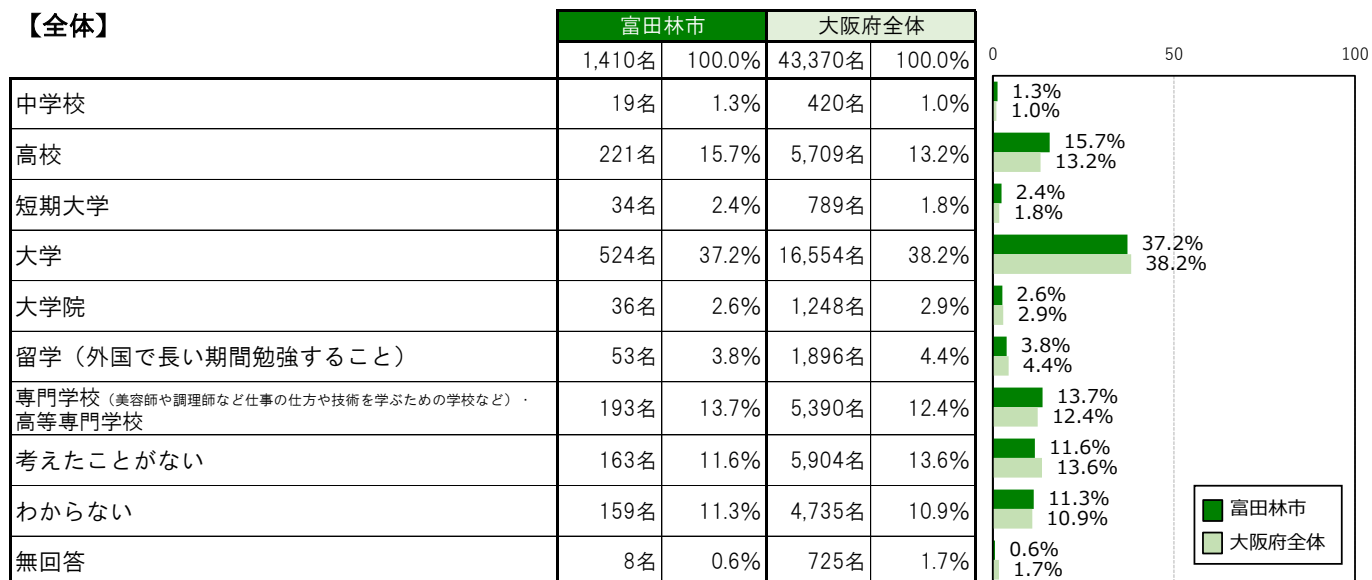
問24 希望する進学先

全体は、「大学」が37.2%で最も多く、次いで「高校」が15.7%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が13.7%、「考えたことがない」が11.6%となっている。

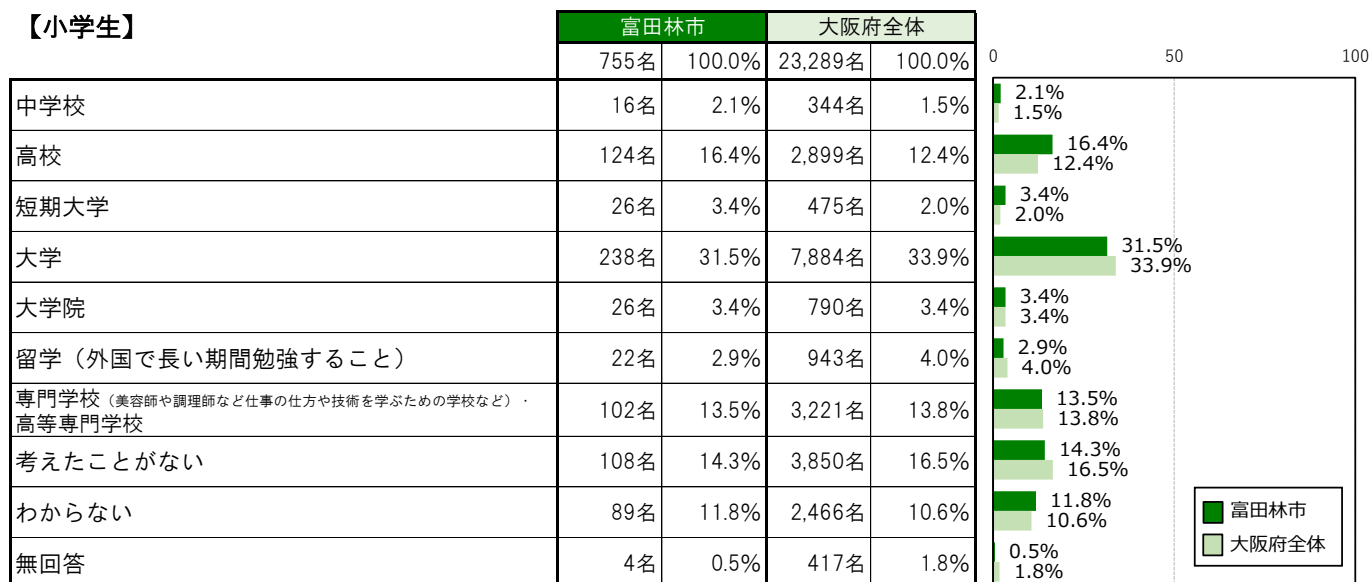
小学生は、「大学」が31.5%で最も多く、次いで「高校」が16.4%、「考えたことがない」が14.3%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が13.5%となっている。

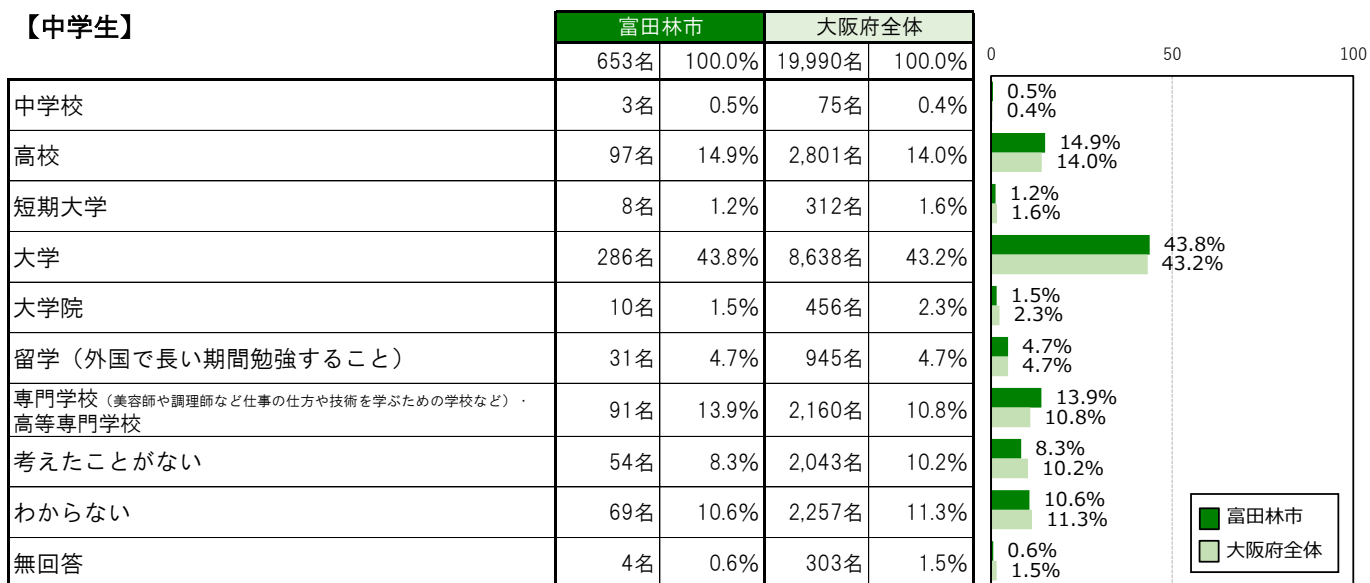
中学生は、「大学」が43.8%で最も多く、次いで「高校」が14.9%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が13.9%、「考えたことがない」が8.3%となっている。

【全体】



【小学生】





あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況 ①平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が37.9%で最も多く、次いで「利用したことがある」が29.6%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.8%となっている。

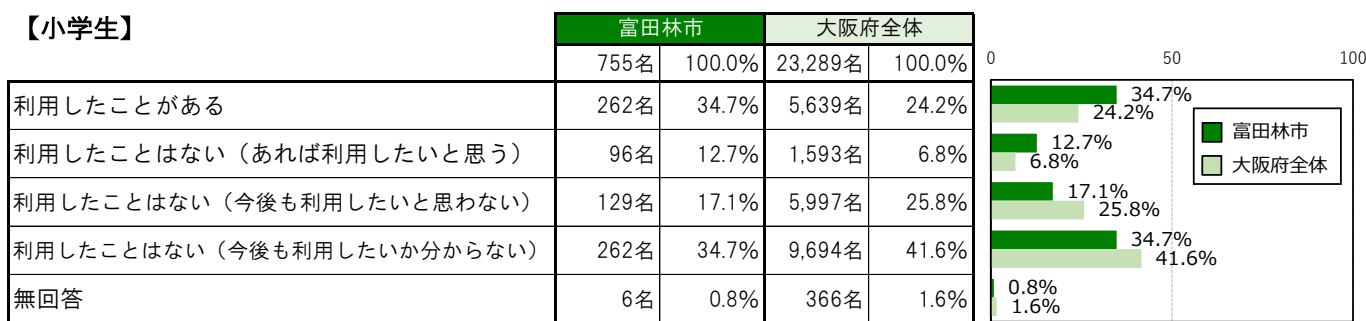
小学生は、「利用したことがある」、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」がそれぞれ34.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が17.1%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が41.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.3%、「利用したことがある」が23.7%となっている。

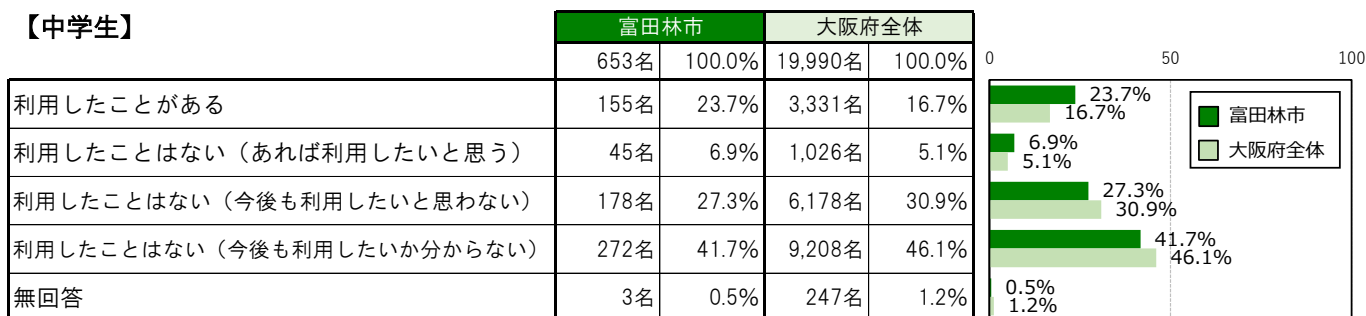
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

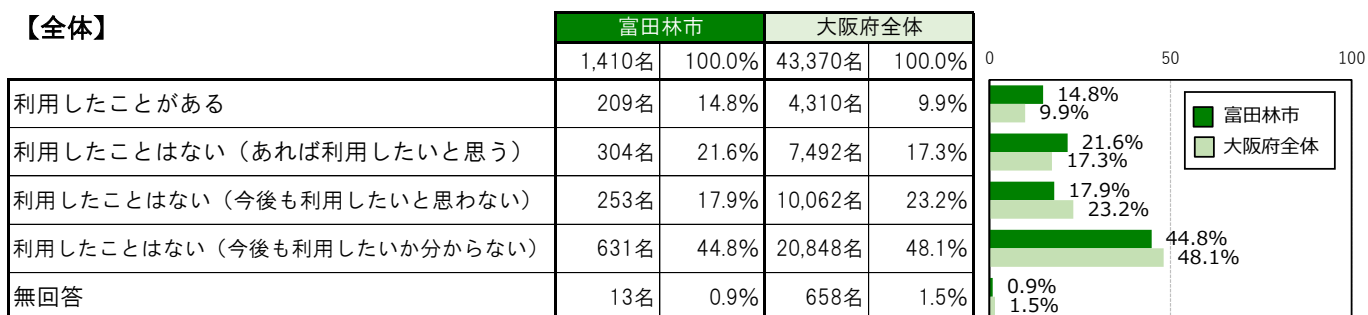
②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が44.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が21.6%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が17.9%となっている。

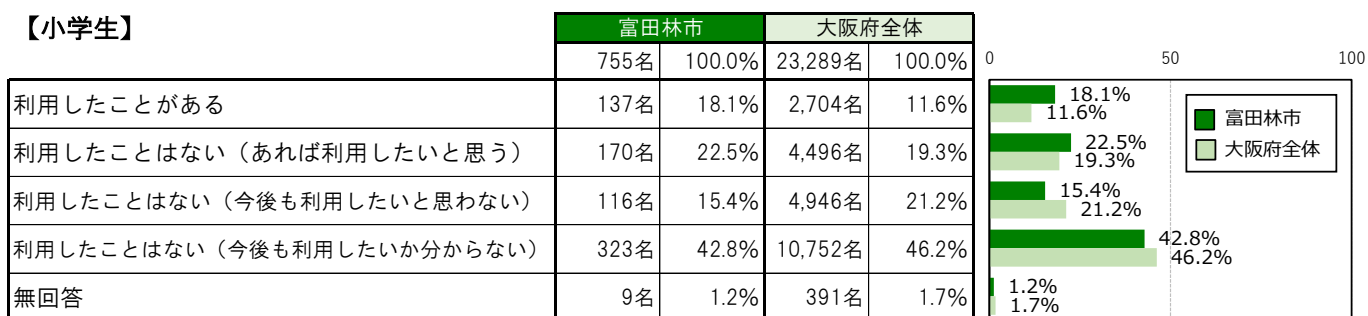
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が22.5%、「利用したことがある」が18.1%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が46.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.0%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が20.5%となっている。

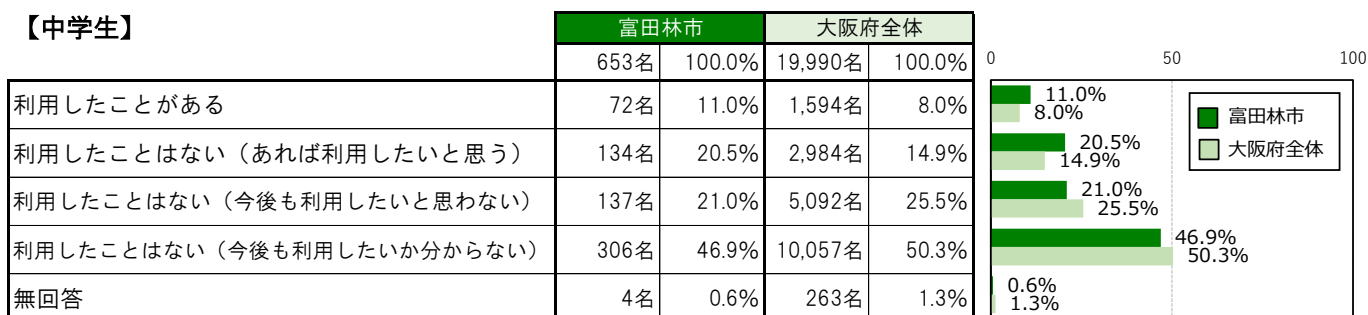
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

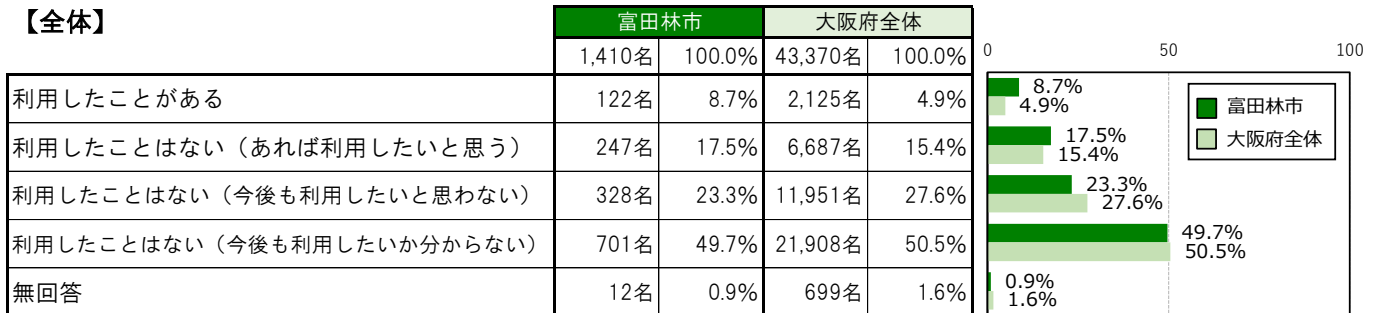
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が49.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.3%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.5%となっている。

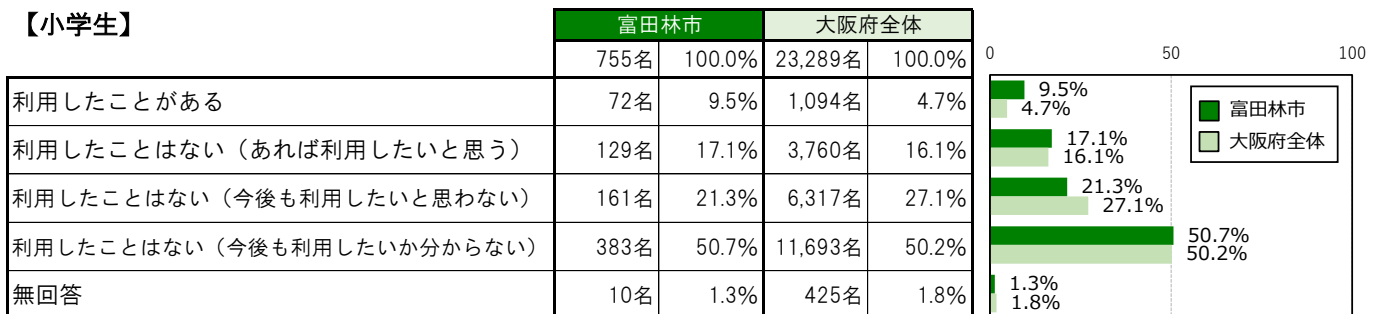
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.3%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.1%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.6%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が18.1%となっている。

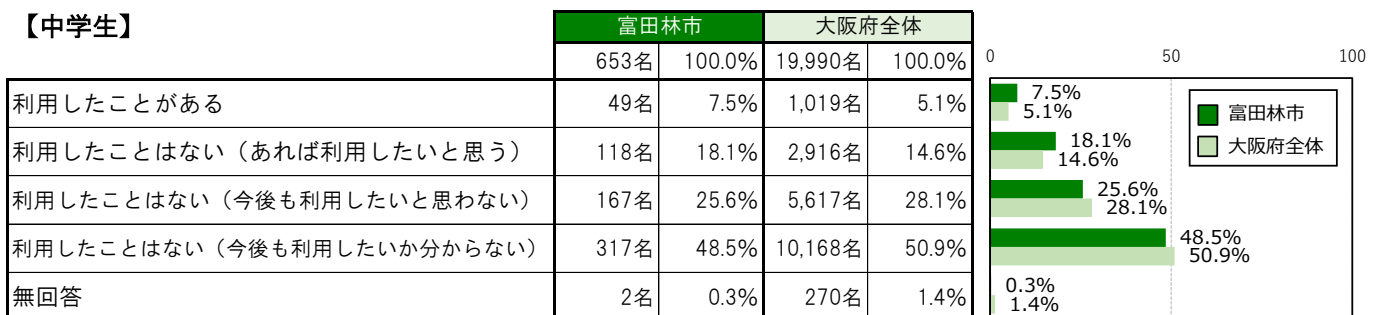
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

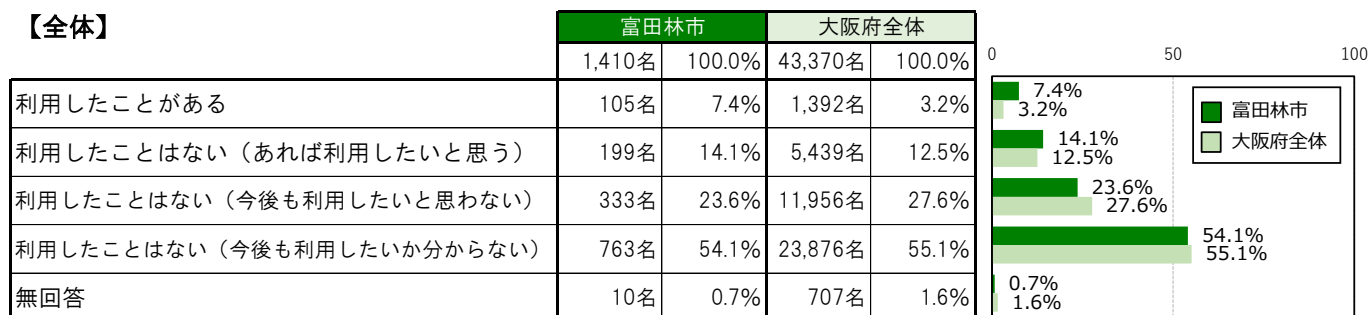
問25（１）子どもの居場所の利用状況 ④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が54.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.6%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が14.1%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が52.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が20.9%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が15.5%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が55.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が26.8%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が12.6%となっている。

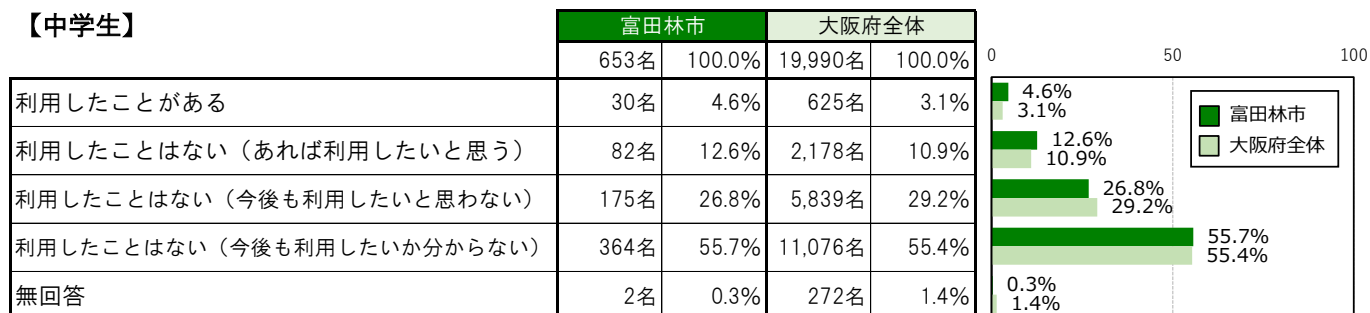
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

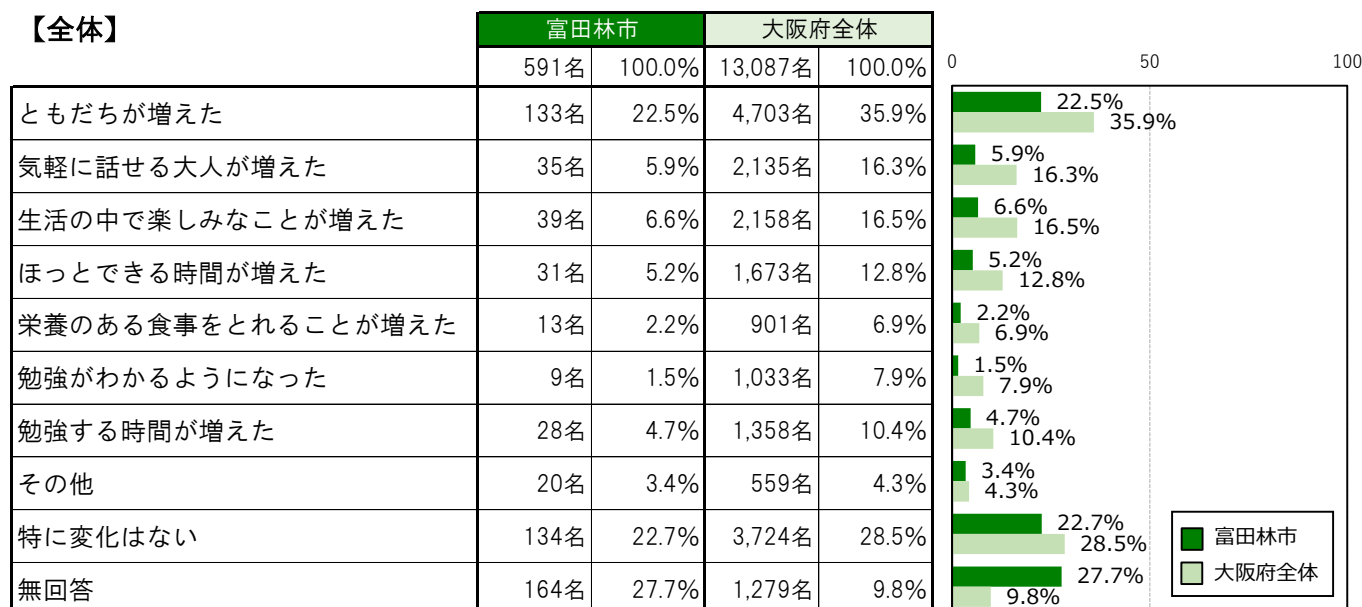
問25（２）子どもの居場所を利用したときの変化

全体は、「ともだちが増えた」が22.5%で最も多く、次いで「生活の中で楽しいことが増えた」が6.6%、「気軽に話せる大人が増えた」が5.9%、「ほっとできる時間が増えた」が5.2%となっている。一方、「特に変化はない」は22.7%となっている。

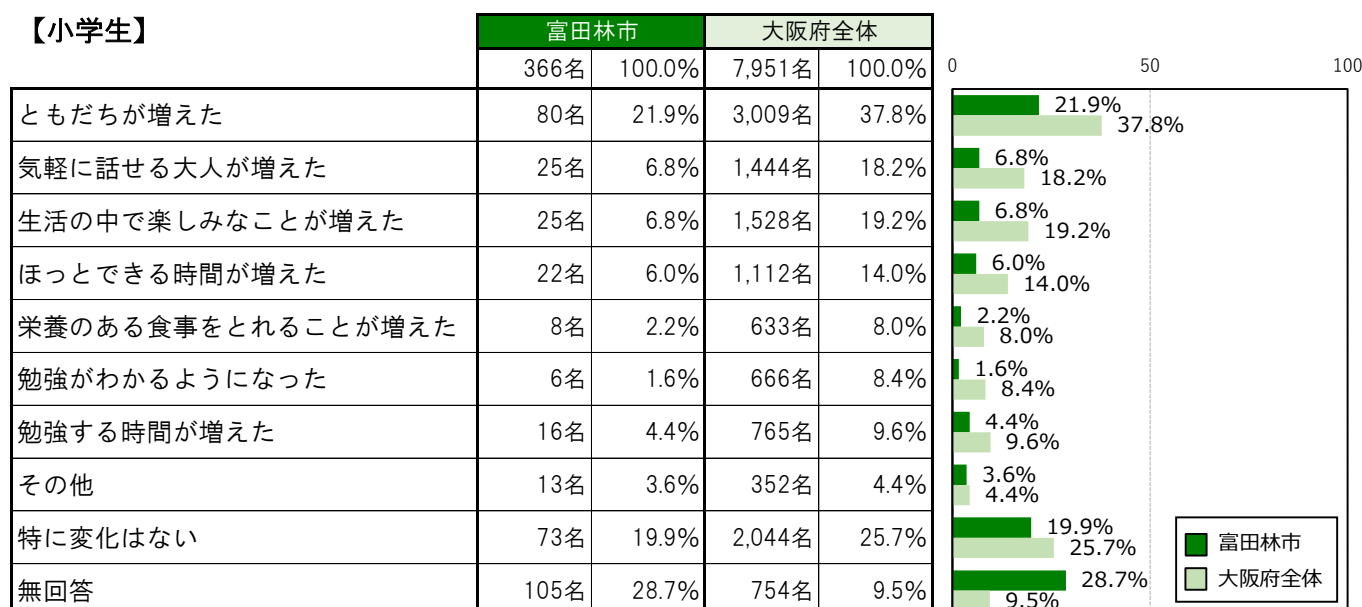
小学生は、「ともだちが増えた」が21.9%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」、「生活の中で楽しいことが増えた」がそれぞれ6.8%、「ほっとできる時間が増えた」が6.0%となっている。一方、「特に変化はない」は19.9%となっている。

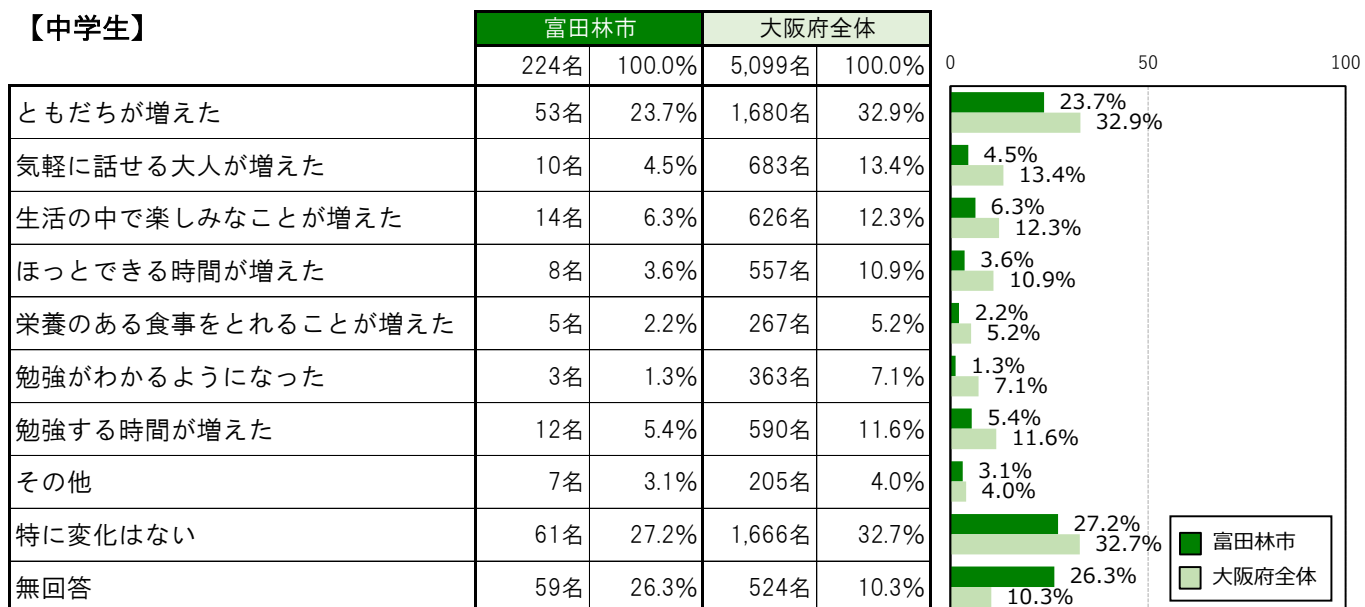
中学生は、「ともだちが増えた」が23.7%で最も多く、次いで「生活の中で楽しいことが増えた」が6.3%、「勉強する時間が増えた」が5.4%、「気軽に話せる大人が増えた」が4.5%となっている。一方、「特に変化はない」は27.2%となっている。

【全体】



【小学生】





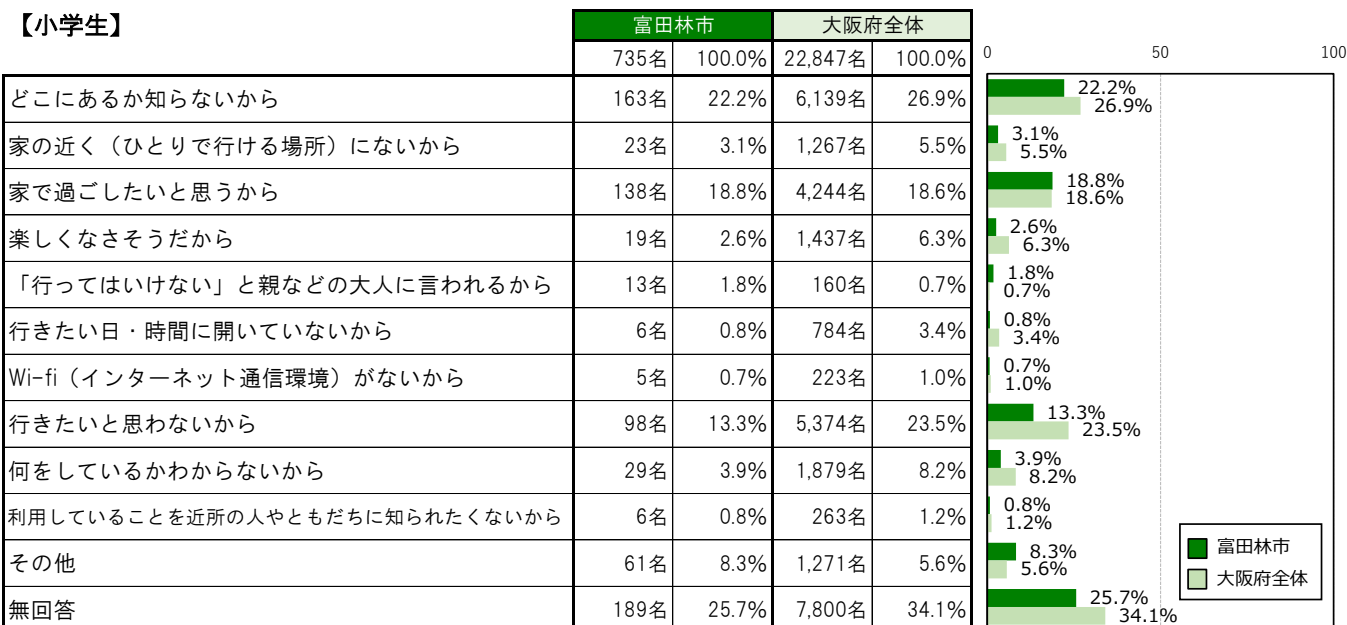
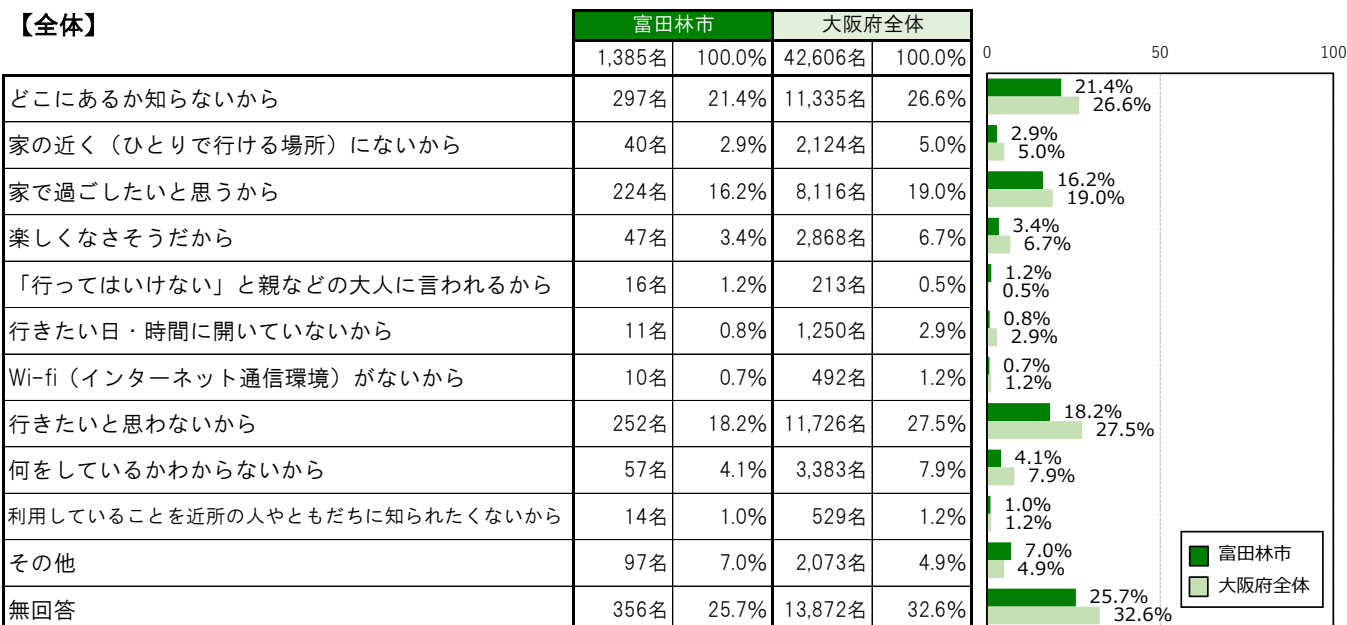
あなたのことについて

問25（3）子どもの居場所を利用したことがない理由

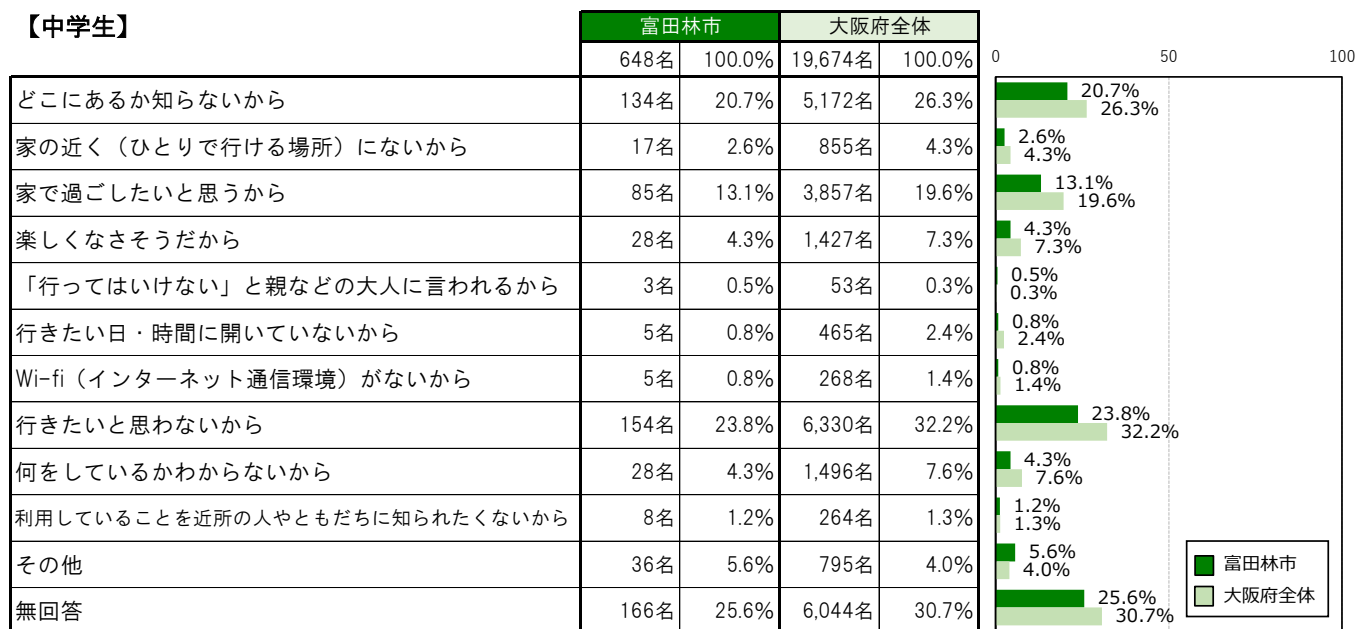
全体は、「どこにあるか知らないから」が21.4%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が18.2%、「家で過ごしたいと思うから」が16.2%、「何をしているかわからないから」が4.1%となっている。

小学生は、「どこにあるか知らないから」が22.2%で最も多く、次いで「家で過ごしたいと思うから」が18.8%、「行きたいと思わないから」が13.3%、「何をしているかわからないから」が3.9%となっている。

中学生は、「行きたいと思わないから」が23.8%で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が20.7%、「家で過ごしたいと思うから」が13.1%、「楽しくなさそうだから」と「何をしているかわからないから」がそれぞれ4.3%となっている。



【中学生】



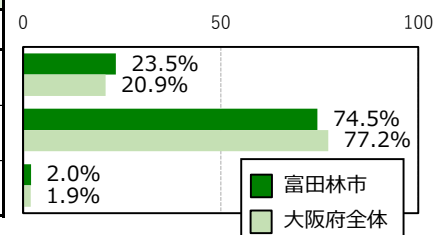
あなたのことについて

問26（１）自分が世話をしている人の有無

全体は、「いる」が23.5%、「いない」が74.5%となっている。
 小学生は、「いる」が32.5%、「いない」が65.2%となっている。
 中学生は、「いる」が13.2%、「いない」が85.3%となっている。

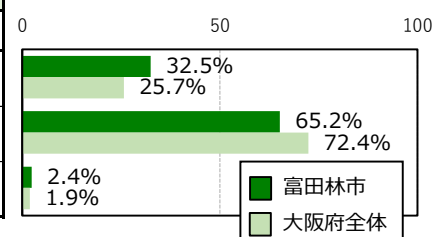
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	332名	23.5%	9,054名	20.9%
いない	1,050名	74.5%	33,476名	77.2%
無回答	28名	2.0%	840名	1.9%



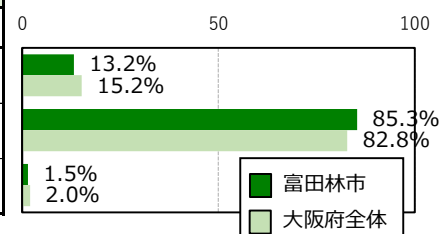
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	245名	32.5%	5,988名	25.7%
いない	492名	65.2%	16,856名	72.4%
無回答	18名	2.4%	445名	1.9%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	86名	13.2%	3,045名	15.2%
いない	557名	85.3%	16,553名	82.8%
無回答	10名	1.5%	392名	2.0%



あなたのことについて

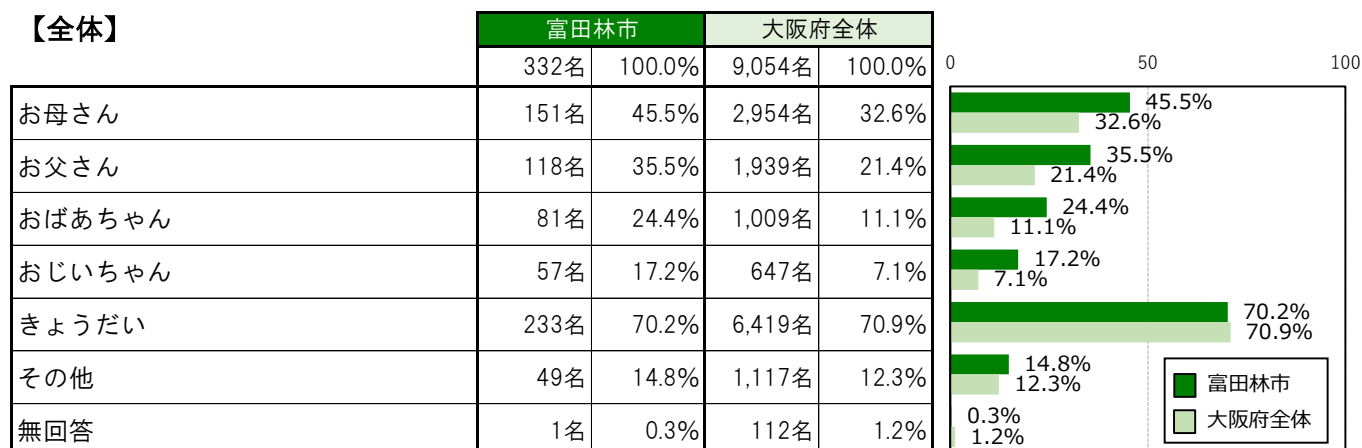
問26（2）世話をしている相手

全体は、「きょうだい」が70.2%で最も多く、次いで「お母さん」が45.5%、「お父さん」が35.5%、「おばあちゃん」が24.4%となっている。

小学生は、「きょうだい」が67.8%で最も多く、次いで「お母さん」が49.0%、「お父さん」が39.6%、「おばあちゃん」が25.7%となっている。

中学生は、「きょうだい」が77.9%で最も多く、次いで「お母さん」が36.0%、「お父さん」が24.4%、「おばあちゃん」が20.9%となっている。

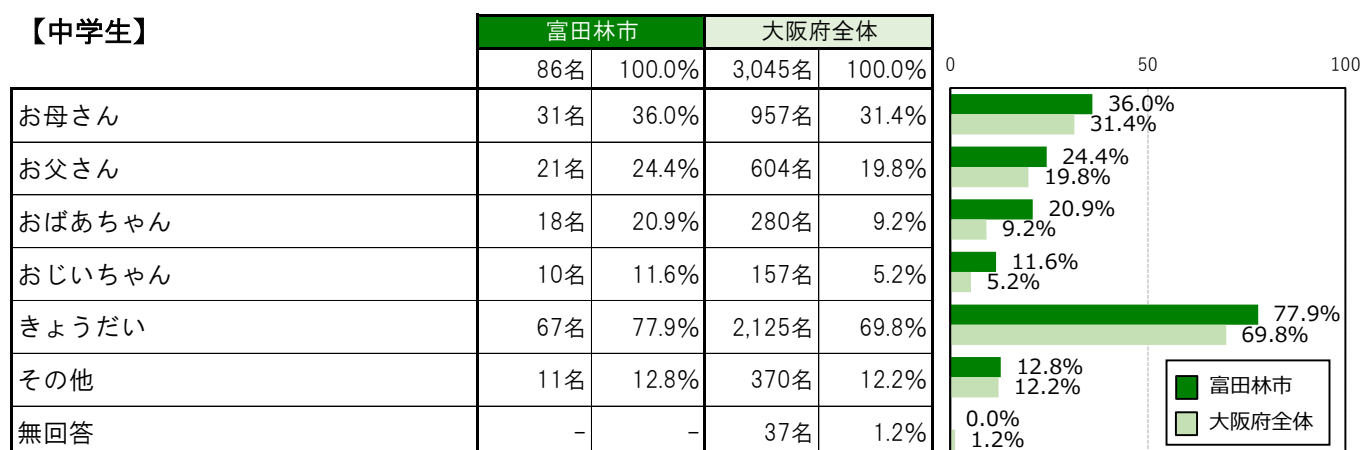
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

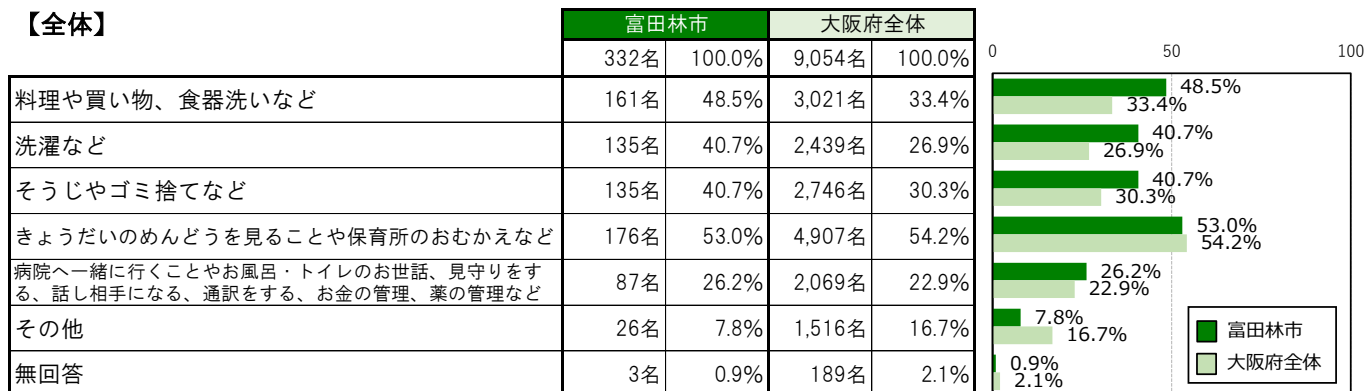
問26（3）世話をしている内容

全体は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が53.0%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が48.5%、「洗濯など」と「そうじやゴミ捨てなど」がそれぞれ40.7%となっている。

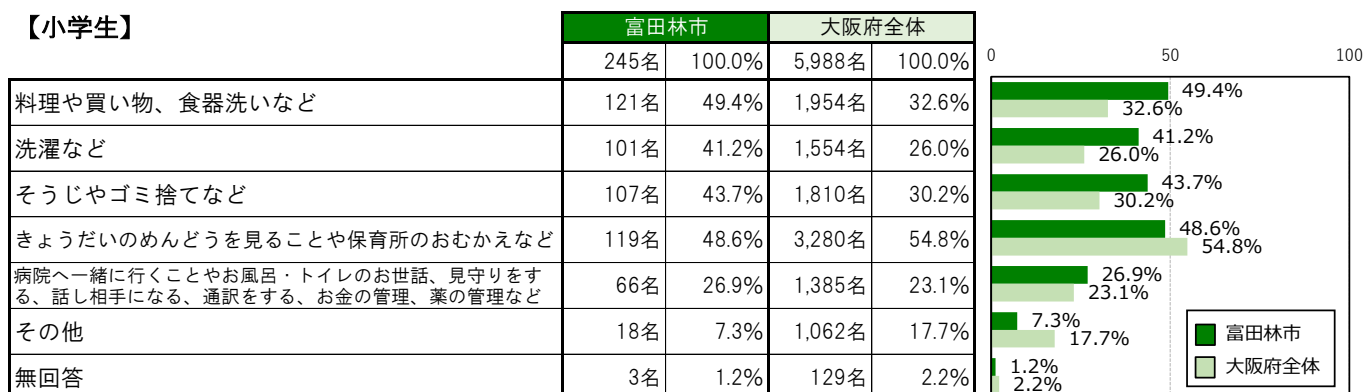
小学生は、「料理や買い物、食器洗いなど」が49.4%で最も多く、次いで「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が48.6%、「そうじやゴミ捨てなど」が43.7%、「洗濯など」が41.2%となっている。

中学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が66.3%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が45.3%、「洗濯など」が38.4%、「そうじやゴミ捨てなど」が31.4%となっている。

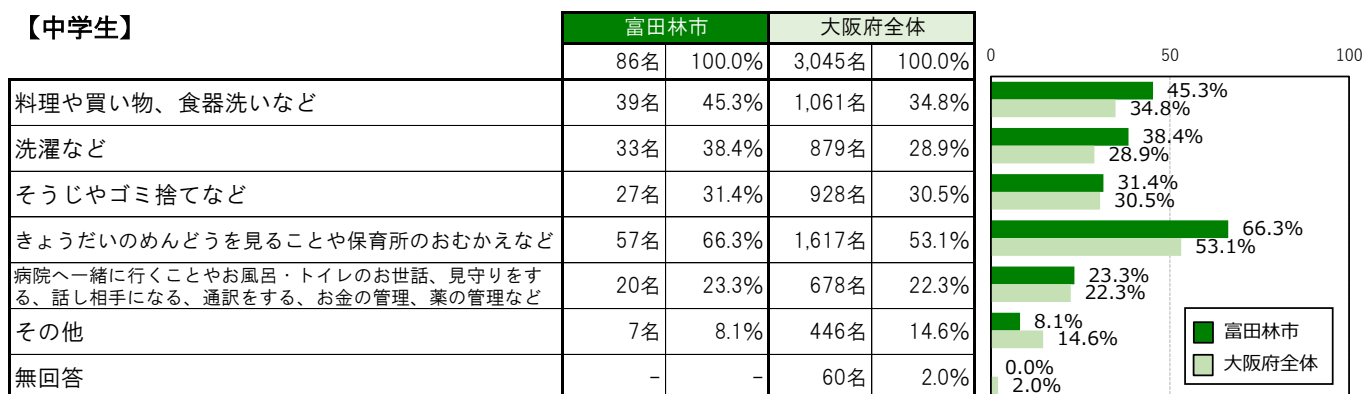
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問26（５）世話をする頻度

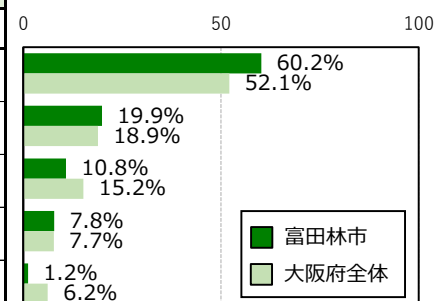
全体は、「ほぼ毎日」が60.2%で最も多く、次いで「週に3日～5日」が19.9%、「週に1日または2日」が10.8%となっている。

小学生は、「ほぼ毎日」が60.8%で最も多く、次いで「週に3日～5日」が19.6%、「週に1日または2日」が11.0%となっている。

中学生は、「ほぼ毎日」が58.1%で最も多く、次いで「週に3日～5日」が20.9%、「週に1日または2日」が10.5%となっている。

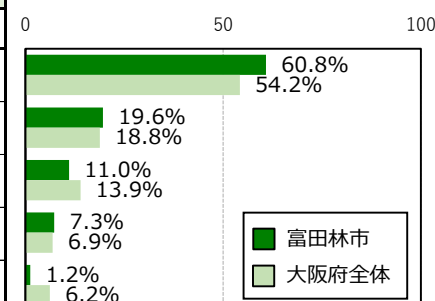
【全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日	200名	60.2%	4,716名	52.1%
週に3日～5日	66名	19.9%	1,708名	18.9%
週に1日または2日	36名	10.8%	1,375名	15.2%
1か月に数日	26名	7.8%	694名	7.7%
無回答	4名	1.2%	561名	6.2%



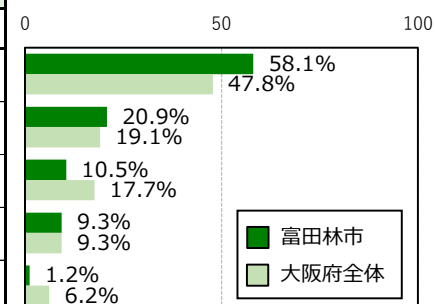
【小学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日	149名	60.8%	3,246名	54.2%
週に3日～5日	48名	19.6%	1,125名	18.8%
週に1日または2日	27名	11.0%	832名	13.9%
1か月に数日	18名	7.3%	412名	6.9%
無回答	3名	1.2%	373名	6.2%



【中学生】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日	50名	58.1%	1,455名	47.8%
週に3日～5日	18名	20.9%	582名	19.1%
週に1日または2日	9名	10.5%	538名	17.7%
1か月に数日	8名	9.3%	282名	9.3%
無回答	1名	1.2%	188名	6.2%



あなたのことについて

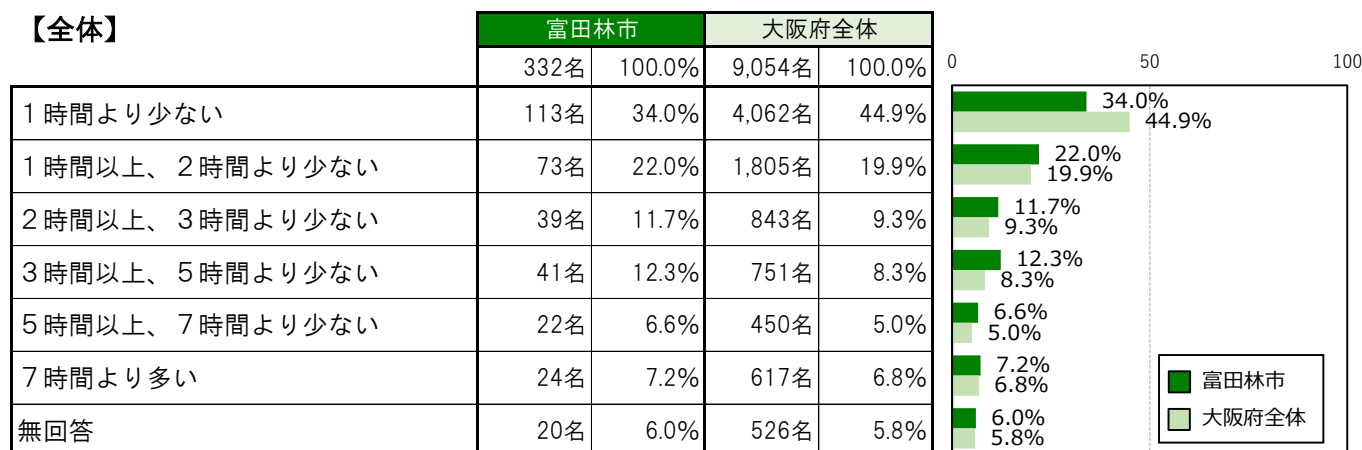
問26（6）学校がある日に世話をする1日の時間

全体は、「1時間より少ない」が34.0%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が22.0%、「3時間以上、5時間より少ない」が12.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が11.7%となっている。

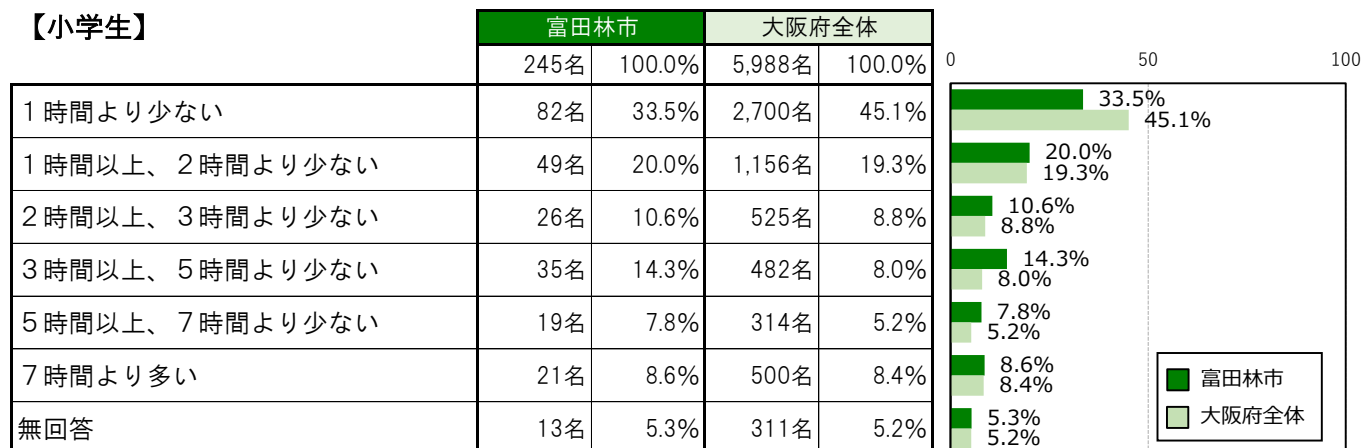
小学生は、「1時間より少ない」が33.5%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が20.0%、「3時間以上、5時間より少ない」が14.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が10.6%となっている。

中学生は、「1時間より少ない」が36.0%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が27.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が14.0%、「3時間以上、5時間より少ない」が7.0%となっている。

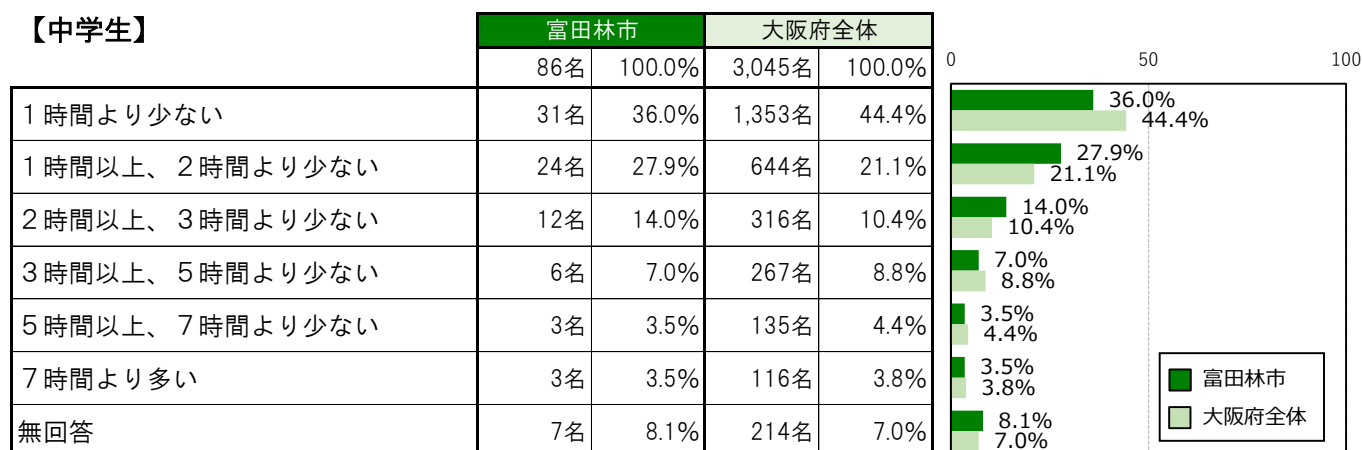
【全体】



【小学生】



【中学生】



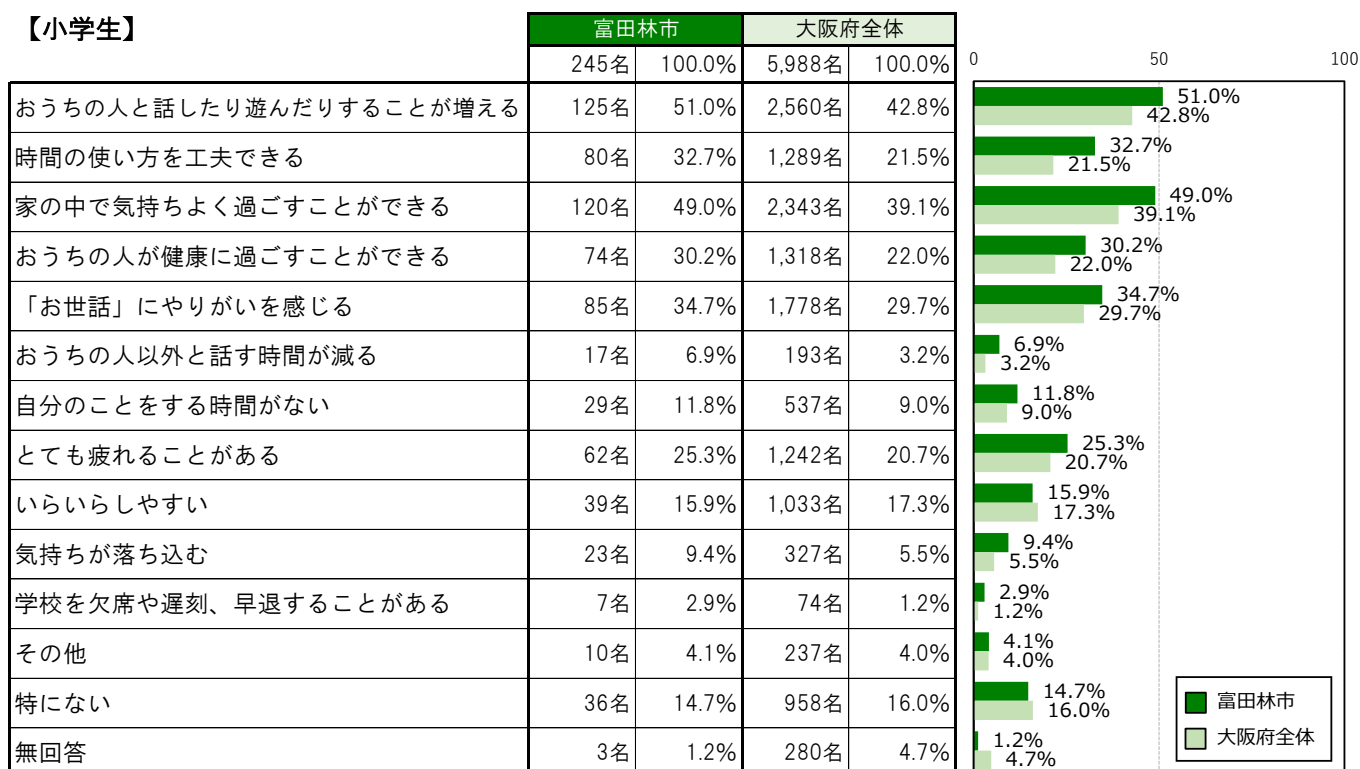
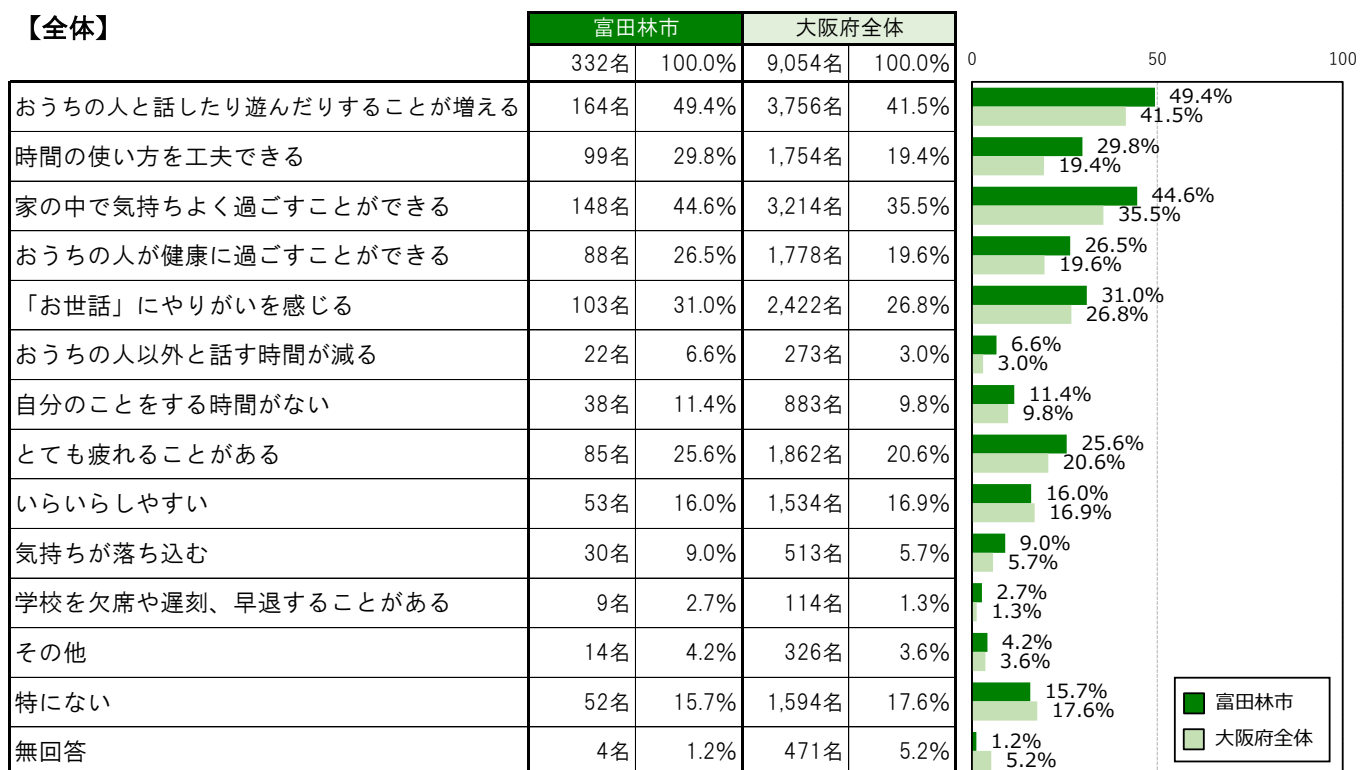
あなたのことについて

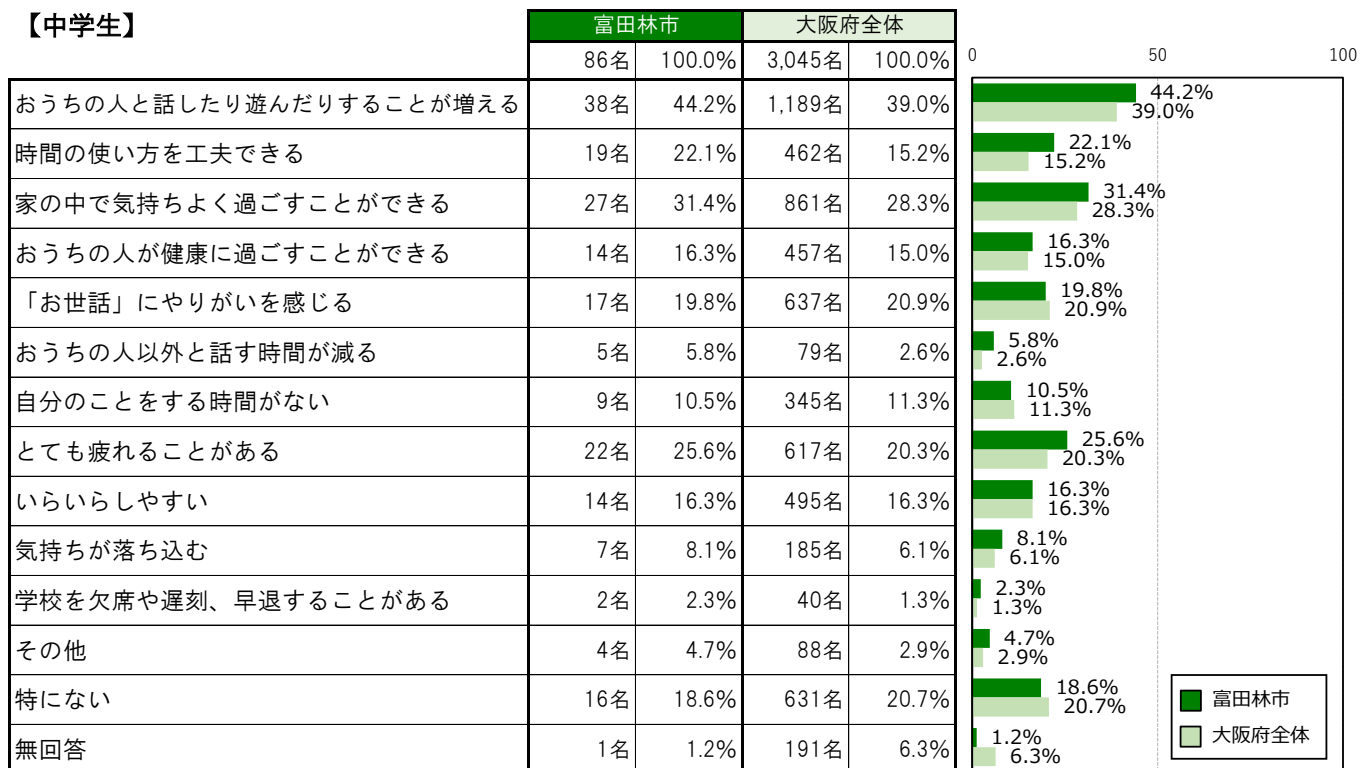
問26（7）世話をしていることの影響

全体は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が49.4%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が44.6%、「「お世話」にやりがいを感じる」が31.0%、「時間の使い方を工夫できる」が29.8%となっている。

小学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が51.0%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が49.0%、「「お世話」にやりがいを感じる」が34.7%、「時間の使い方を工夫できる」が32.7%となっている。

中学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が44.2%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が31.4%、「とても疲れることがある」が25.6%、「時間の使い方を工夫できる」が22.1%となっている。





2. 単純集計結果〔保護者〕

富田林市

子どもとの関係について

問1 子どもとの続柄

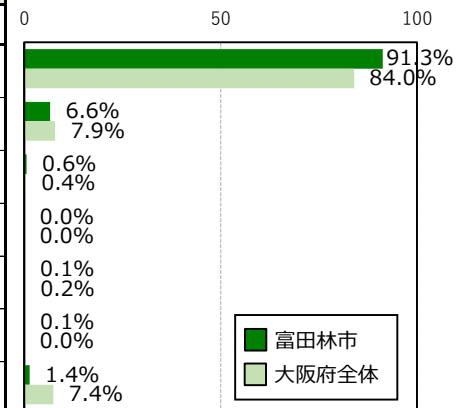
保護者全体は、「お母さん」が91.3%で最も多く、次いで「お父さん」が6.6%、「おじいさん・おばあさん」が0.6%となっている。

小学生の保護者は、「お母さん」が90.6%で最も多く、次いで「お父さん」が6.9%、「おじいさん・おばあさん」が0.6%となっている。

中学生の保護者は、「お母さん」が91.6%で最も多く、次いで「お父さん」が6.6%、「おじいさん・おばあさん」が0.7%となっている。

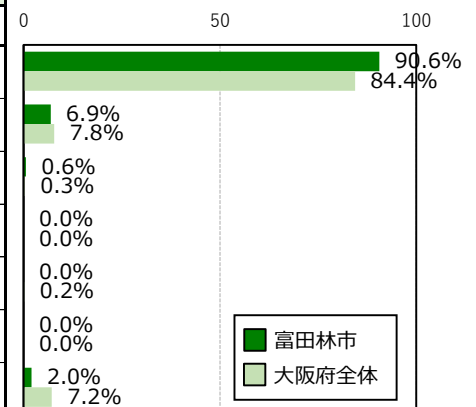
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,358名	100.0%
お母さん	961名	91.3%	36,436名	84.0%
お父さん	69名	6.6%	3,426名	7.9%
おじいさん・おばあさん	6名	0.6%	154名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	15名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	1名	0.1%	91名	0.2%
その他の人	1名	0.1%	14名	0.0%
無回答	15名	1.4%	3,222名	7.4%



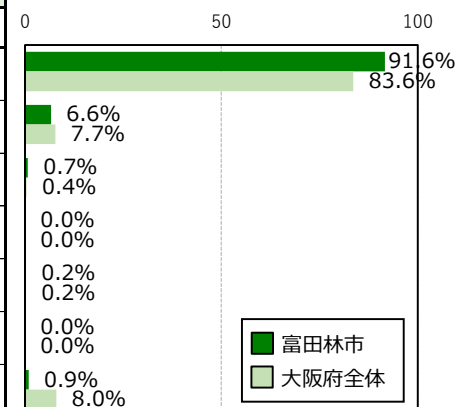
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,819名	100.0%
お母さん	489名	90.6%	19,261名	84.4%
お父さん	37名	6.9%	1,776名	7.8%
おじいさん・おばあさん	3名	0.6%	75名	0.3%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	47名	0.2%
その他の人	-	-	3名	0.0%
無回答	11名	2.0%	1,650名	7.2%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,390名	100.0%
お母さん	414名	91.6%	16,208名	83.6%
お父さん	30名	6.6%	1,488名	7.7%
おじいさん・おばあさん	3名	0.7%	77名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	1名	0.2%	44名	0.2%
その他の人	-	-	8名	0.0%
無回答	4名	0.9%	1,558名	8.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ①おばあさん

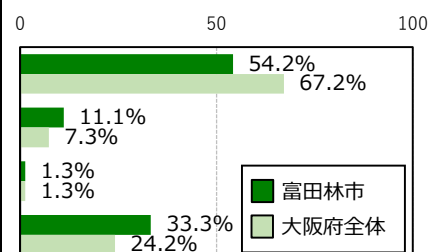
保護者全体は、「いない」が54.2%で最も多く、次いで「1人」が11.1%、「2人」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が53.1%で最も多く、次いで「1人」が11.5%、「2人」が1.5%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が56.6%で最も多く、次いで「1人」が10.0%、「2人」が0.9%となっている。

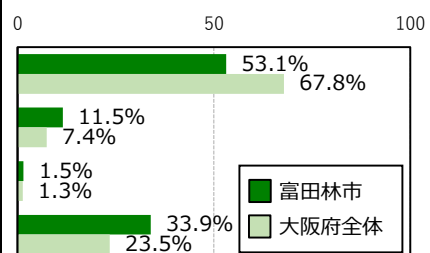
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	571名	54.2%	29,081名	67.2%
1人	117名	11.1%	3,181名	7.3%
2人	14名	1.3%	555名	1.3%
無回答	351名	33.3%	10,483名	24.2%



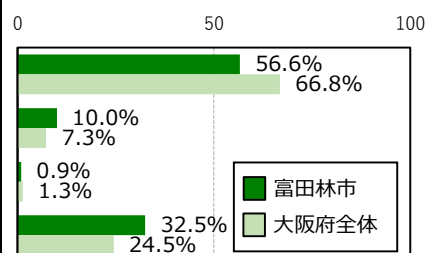
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	287名	53.1%	15,456名	67.8%
1人	62名	11.5%	1,681名	7.4%
2人	8名	1.5%	286名	1.3%
無回答	183名	33.9%	5,363名	23.5%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	256名	56.6%	12,942名	66.8%
1人	45名	10.0%	1,422名	7.3%
2人	4名	0.9%	257名	1.3%
無回答	147名	32.5%	4,744名	24.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ②おじいさん

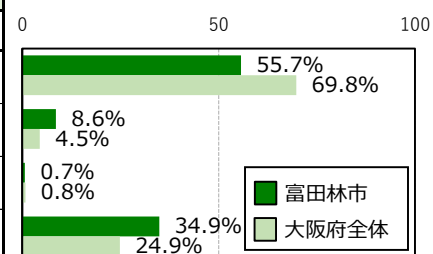
保護者全体は、「いない」が55.7%で最も多く、次いで「1人」が8.6%、「2人」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が55.0%で最も多く、次いで「1人」が8.9%、「2人」が0.9%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が57.3%で最も多く、次いで「1人」が8.6%、「2人」が0.2%となっている。

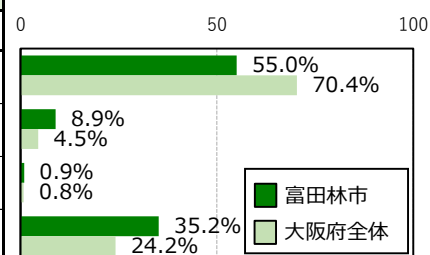
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	587名	55.7%	30,230名	69.8%
1人	91名	8.6%	1,932名	4.5%
2人	7名	0.7%	340名	0.8%
無回答	368名	34.9%	10,798名	24.9%



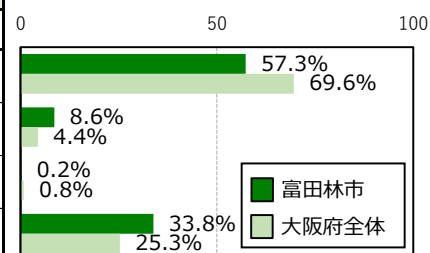
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	297名	55.0%	16,050名	70.4%
1人	48名	8.9%	1,031名	4.5%
2人	5名	0.9%	186名	0.8%
無回答	190名	35.2%	5,519名	24.2%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	259名	57.3%	13,474名	69.6%
1人	39名	8.6%	853名	4.4%
2人	1名	0.2%	148名	0.8%
無回答	153名	33.8%	4,890名	25.3%

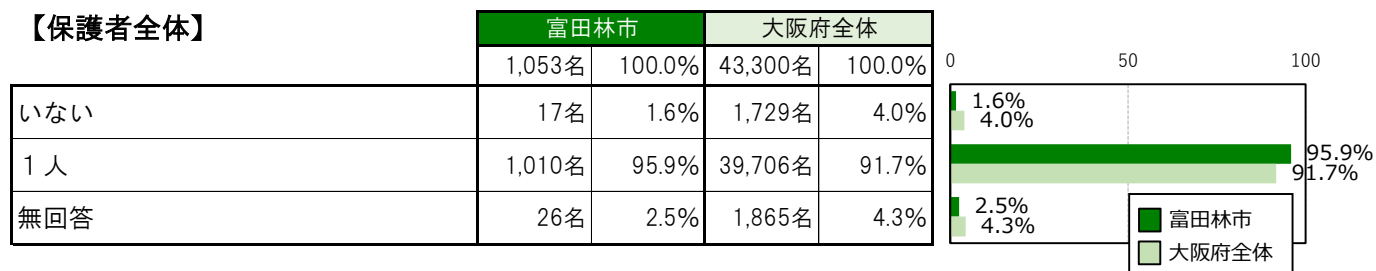


世帯の状況について

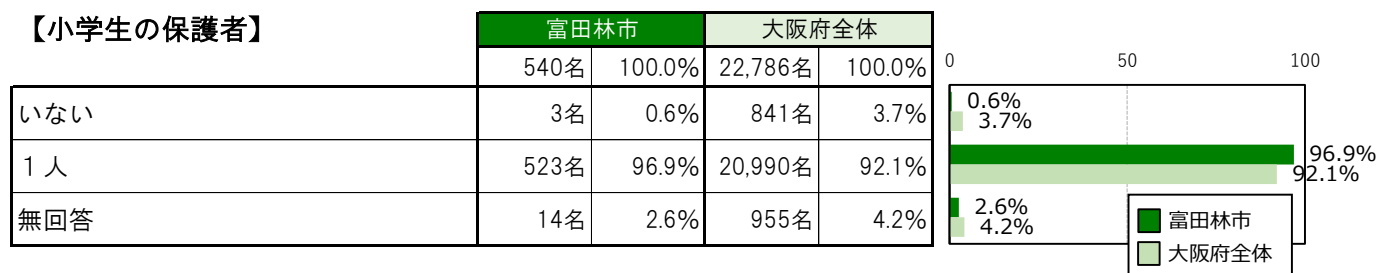
問2 世帯構成 ③お母さん

保護者全体は、「いない」が1.6%、「1人」が95.9%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が0.6%、「1人」が96.9%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が2.9%、「1人」が94.9%となっている。

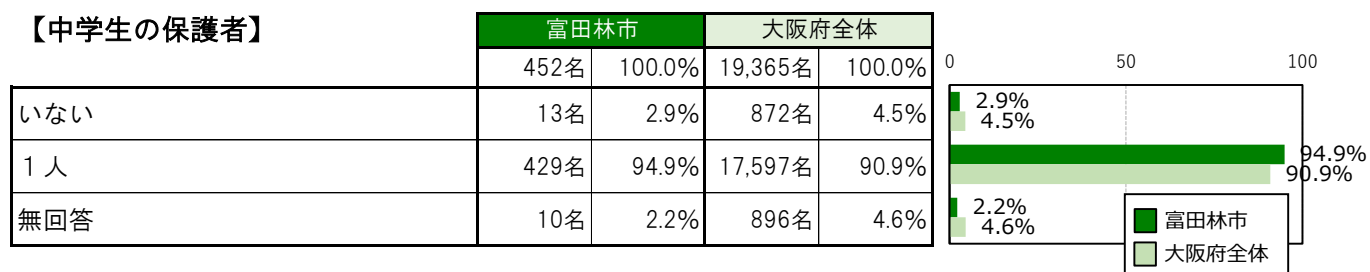
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



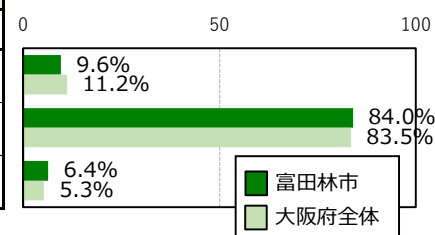
世帯の状況について

問2 世帯構成 ④お父さん

保護者全体は、「いない」が9.6%、「1人」が84.0%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が8.3%、「1人」が86.3%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が10.4%、「1人」が82.7%となっている。

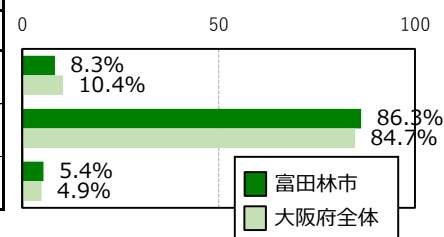
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	101名	9.6%	4,852名	11.2%
1人	885名	84.0%	36,166名	83.5%
無回答	67名	6.4%	2,282名	5.3%



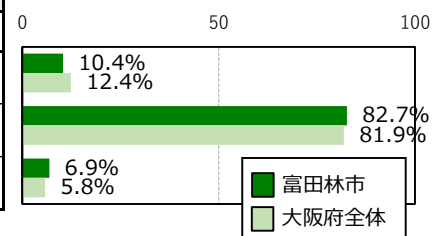
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	45名	8.3%	2,372名	10.4%
1人	466名	86.3%	19,301名	84.7%
無回答	29名	5.4%	1,113名	4.9%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	47名	10.4%	2,394名	12.4%
1人	374名	82.7%	15,852名	81.9%
無回答	31名	6.9%	1,119名	5.8%



世帯の状況について

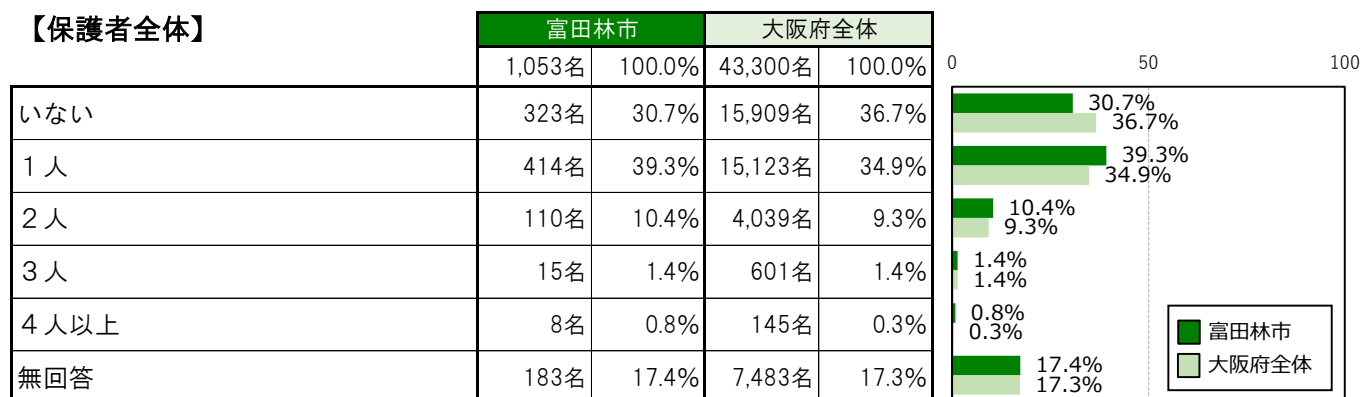
問2 世帯構成 ⑤姉・兄

保護者全体は、「1人」が39.3%で最も多く、次いで「いない」が30.7%、「2人」が10.4%、「3人」が1.4%となっている。

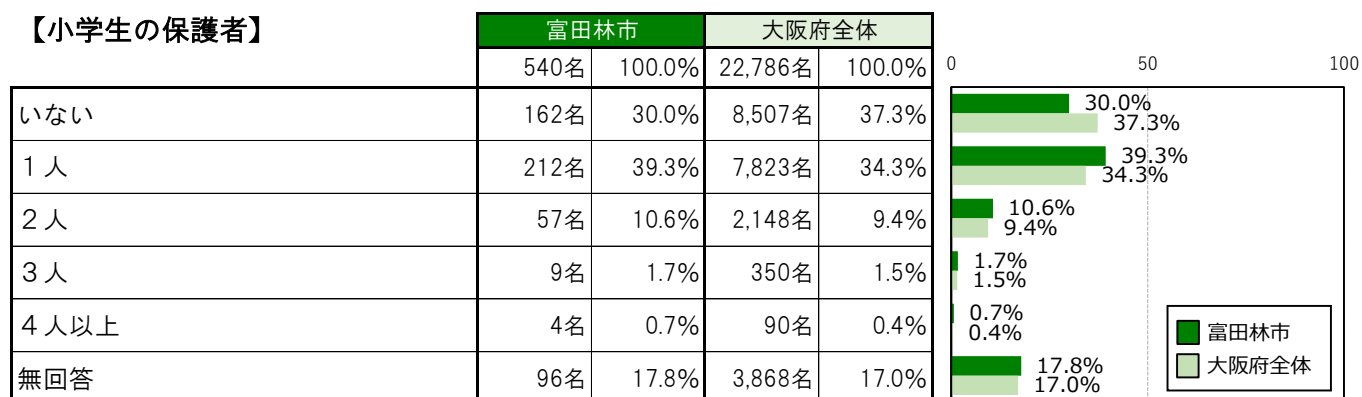
小学生の保護者は、「1人」が39.3%で最も多く、次いで「いない」が30.0%、「2人」が10.6%、「3人」が1.7%となっている。

中学生の保護者は、「1人」が38.3%で最も多く、次いで「いない」が32.7%、「2人」が10.4%、「3人」が1.1%となっている。

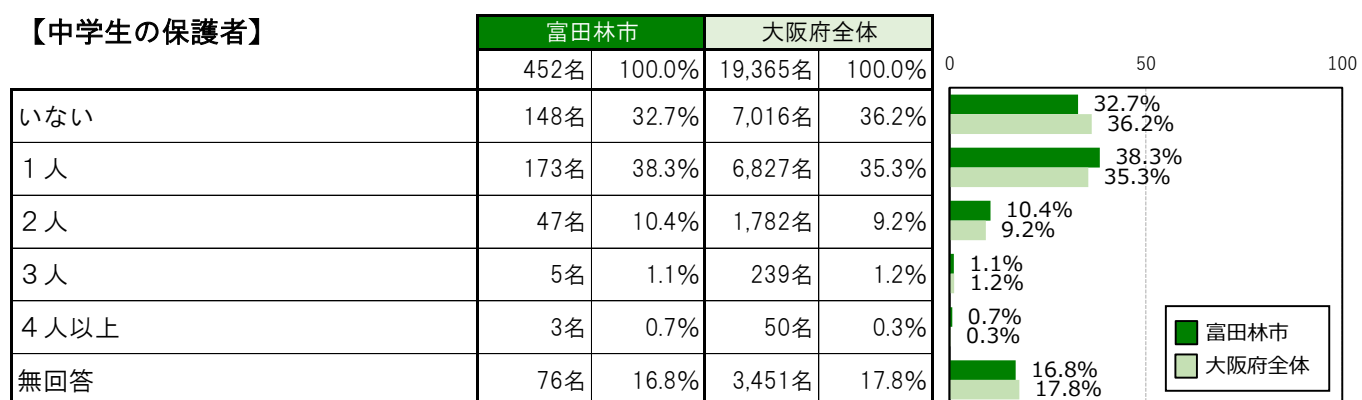
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

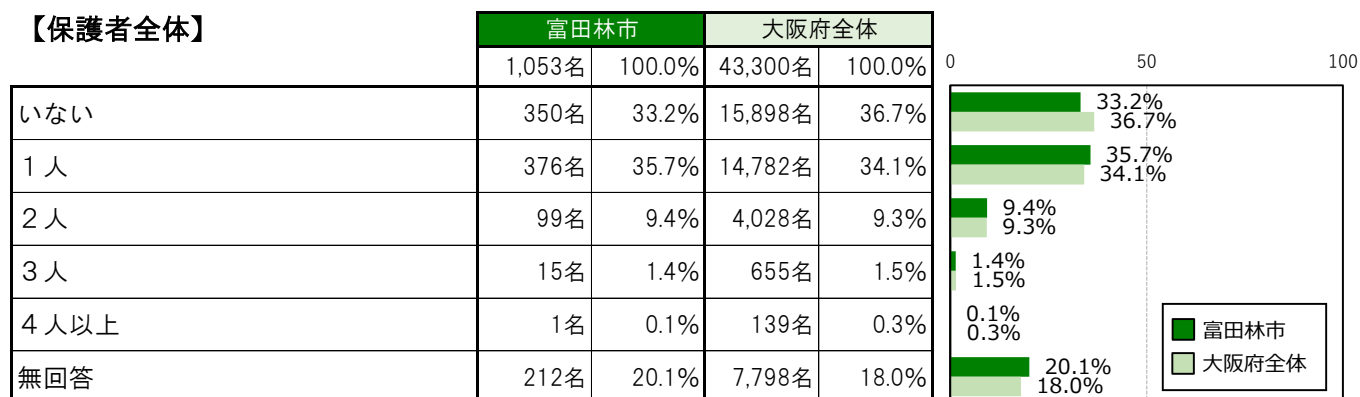
問2 世帯構成 ⑥妹・弟

保護者全体は、「1人」が35.7%で最も多く、次いで「いない」が33.2%、「2人」が9.4%、「3人」が1.4%となっている。

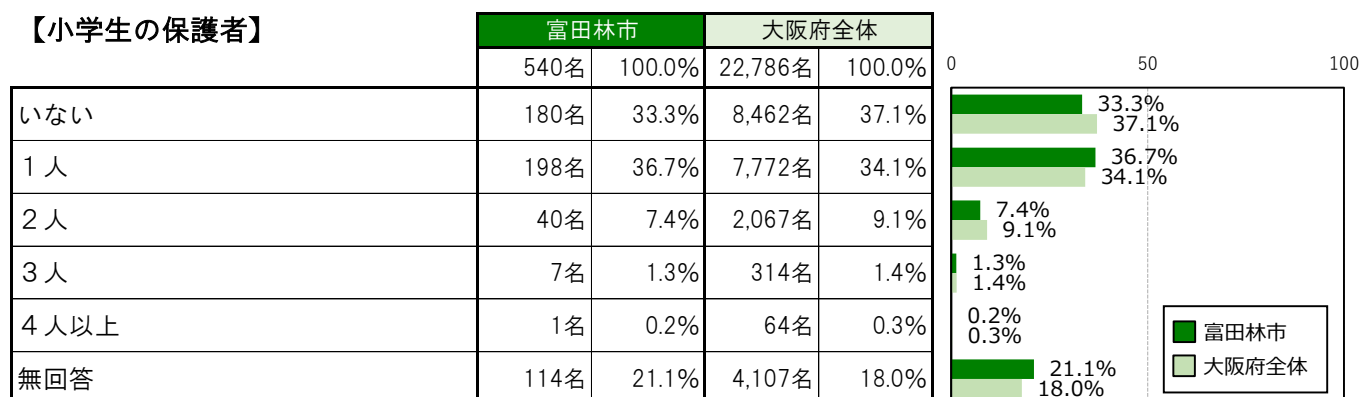
小学生の保護者は、「1人」が36.7%で最も多く、次いで「いない」が33.3%、「2人」が7.4%、「3人」が1.3%となっている。

中学生の保護者は、「1人」が36.1%で最も多く、次いで「いない」が32.5%、「2人」が11.7%、「3人」が1.1%となっている。

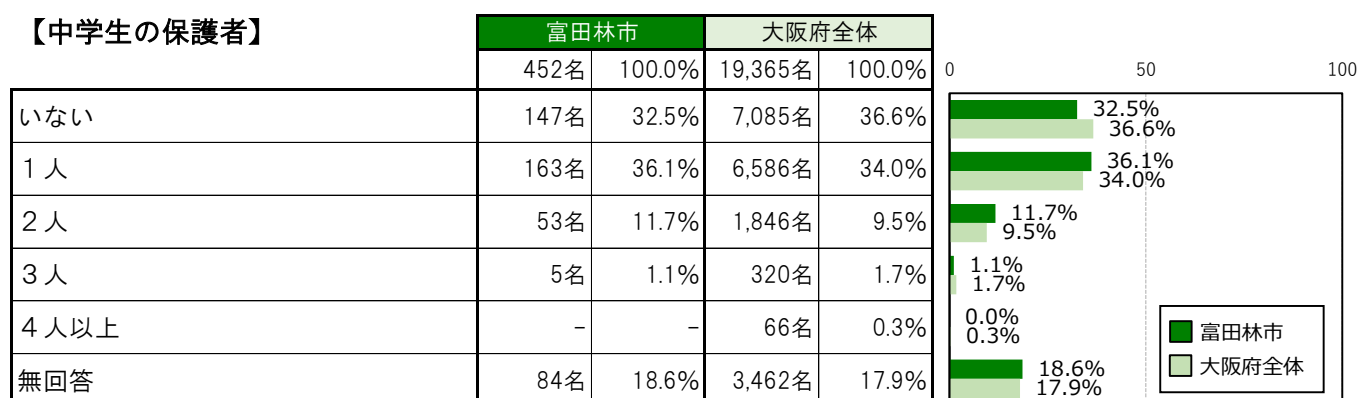
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑦その他

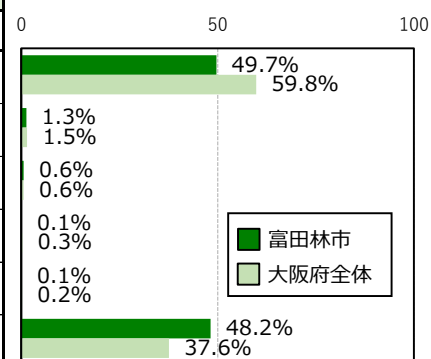
保護者全体は、「いない」が49.7%で最も多く、次いで「1人」が1.3%、「2人」が0.6%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が50.4%で最も多く、次いで「1人」が1.7%、「2人」が0.7%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が49.8%で最も多く、次いで「1人」が1.1%、「2人」が0.4%となっている。

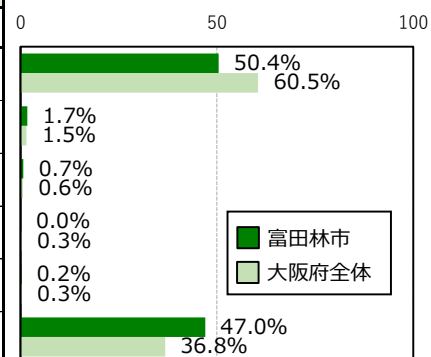
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	523名	49.7%	25,890名	59.8%
1人	14名	1.3%	628名	1.5%
2人	6名	0.6%	261名	0.6%
3人	1名	0.1%	133名	0.3%
4人以上	1名	0.1%	98名	0.2%
無回答	508名	48.2%	16,290名	37.6%



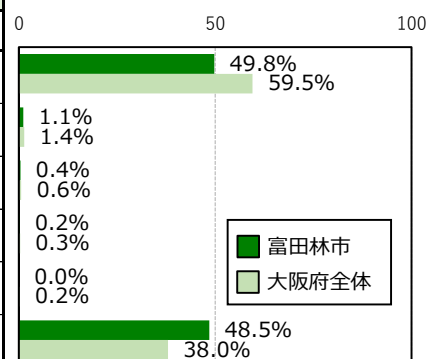
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	272名	50.4%	13,780名	60.5%
1人	9名	1.7%	347名	1.5%
2人	4名	0.7%	139名	0.6%
3人	-	-	73名	0.3%
4人以上	1名	0.2%	59名	0.3%
無回答	254名	47.0%	8,388名	36.8%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	225名	49.8%	11,529名	59.5%
1人	5名	1.1%	275名	1.4%
2人	2名	0.4%	119名	0.6%
3人	1名	0.2%	55名	0.3%
4人以上	-	-	36名	0.2%
無回答	219名	48.5%	7,351名	38.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 <世帯員の続柄>

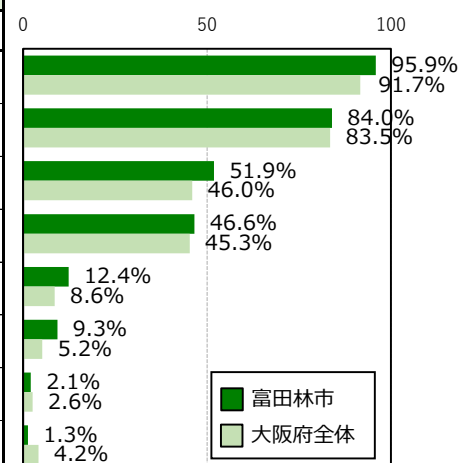
保護者全体は、「お母さん」が95.9%で最も多く、次いで「お父さん」が84.0%、「姉・兄」が51.9%、「妹・弟」が46.6%となっている。

小学生の保護者は、「お母さん」が96.9%で最も多く、次いで「お父さん」が86.3%、「姉・兄」が52.2%、「妹・弟」が45.6%となっている。

中学生の保護者は、「お母さん」が94.9%で最も多く、次いで「お父さん」が82.7%、「姉・兄」が50.4%、「妹・弟」が48.9%となっている。

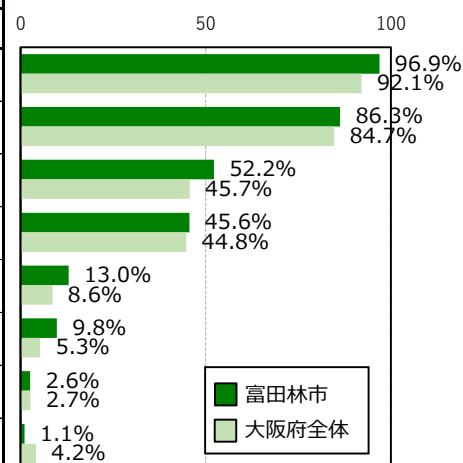
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
お母さん	1,010名	95.9%	39,706名	91.7%
お父さん	885名	84.0%	36,166名	83.5%
姉・兄	547名	51.9%	19,908名	46.0%
妹・弟	491名	46.6%	19,604名	45.3%
おばあさん	131名	12.4%	3,736名	8.6%
おじいさん	98名	9.3%	2,272名	5.2%
その他	22名	2.1%	1,120名	2.6%
無回答	14名	1.3%	1,839名	4.2%



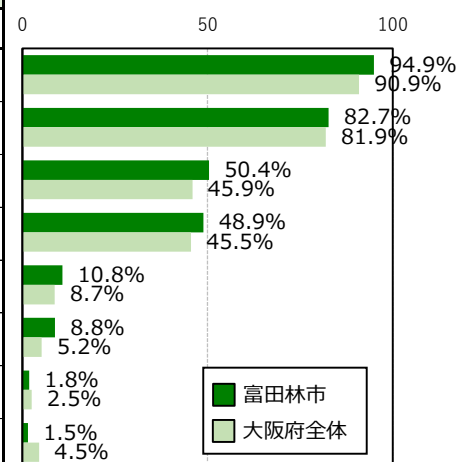
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
お母さん	523名	96.9%	20,990名	92.1%
お父さん	466名	86.3%	19,301名	84.7%
姉・兄	282名	52.2%	10,411名	45.7%
妹・弟	246名	45.6%	10,217名	44.8%
おばあさん	70名	13.0%	1,967名	8.6%
おじいさん	53名	9.8%	1,217名	5.3%
その他	14名	2.6%	618名	2.7%
無回答	6名	1.1%	953名	4.2%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
お母さん	429名	94.9%	17,597名	90.9%
お父さん	374名	82.7%	15,852名	81.9%
姉・兄	228名	50.4%	8,898名	45.9%
妹・弟	221名	48.9%	8,818名	45.5%
おばあさん	49名	10.8%	1,679名	8.7%
おじいさん	40名	8.8%	1,001名	5.2%
その他	8名	1.8%	485名	2.5%
無回答	7名	1.5%	876名	4.5%



世帯の状況について

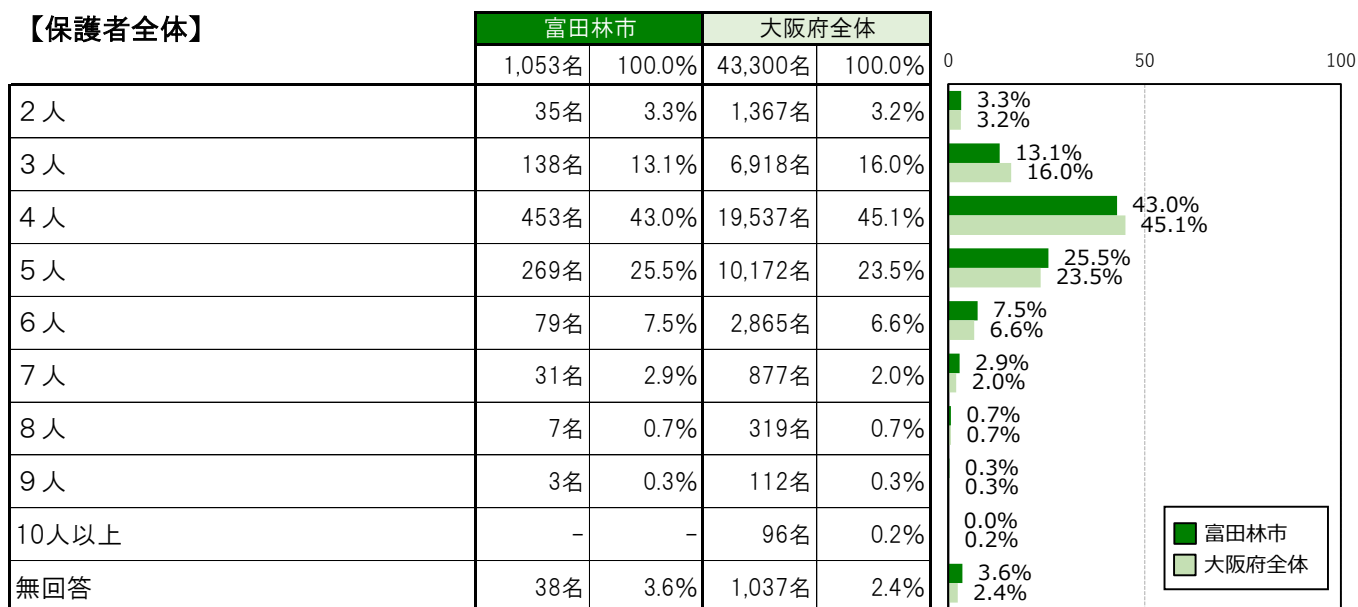
問2 世帯構成 ⑧世帯人数

保護者全体は、「4人」が43.0%で最も多く、次いで「5人」が25.5%、「3人」が13.1%、「6人」が7.5%となっている。

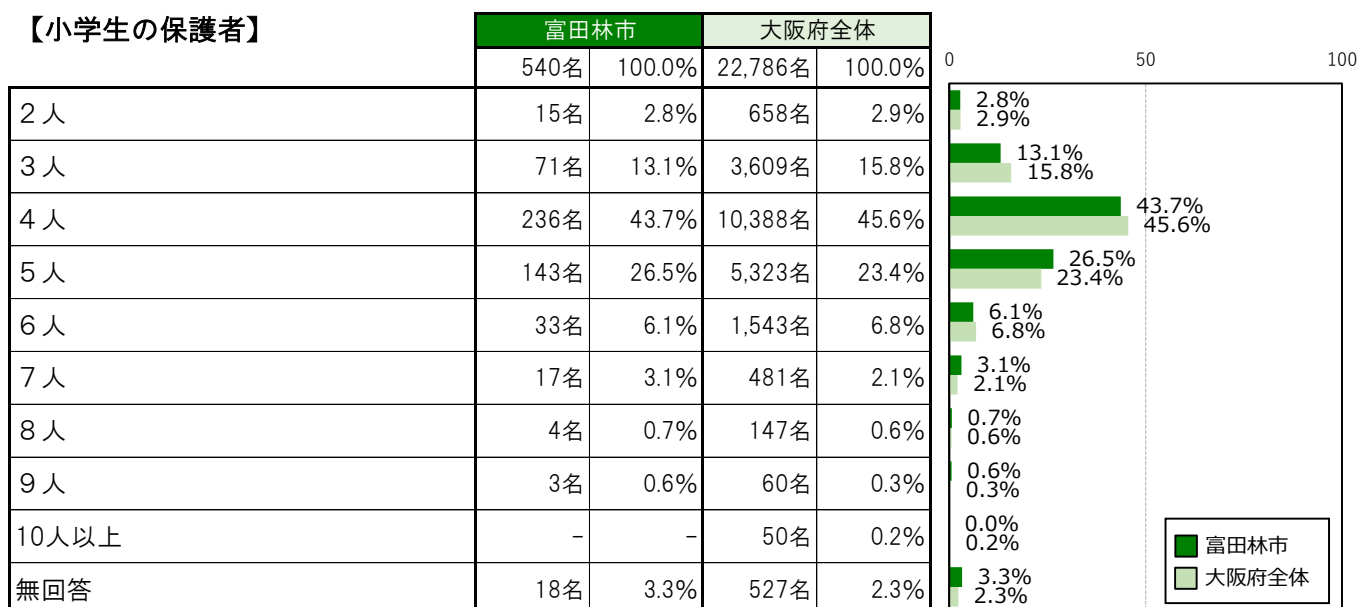
小学生の保護者は、「4人」が43.7%で最も多く、次いで「5人」が26.5%、「3人」が13.1%、「6人」が6.1%となっている。

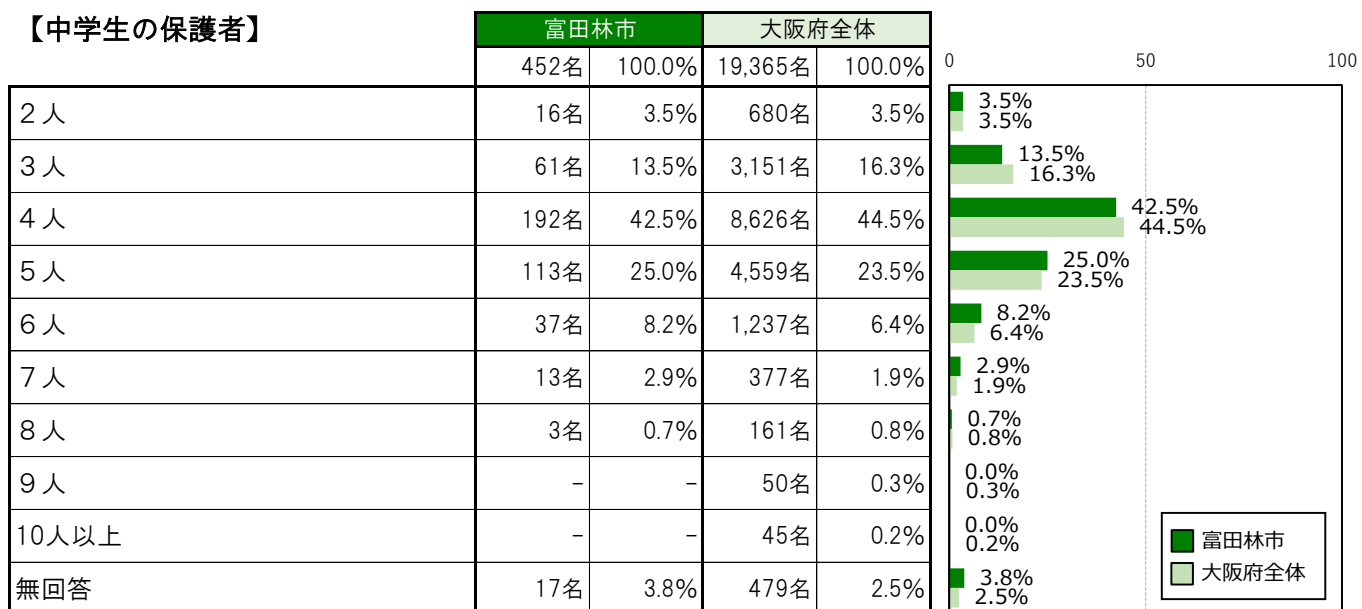
中学生の保護者は、「4人」が42.5%で最も多く、次いで「5人」が25.0%、「3人」が13.5%、「6人」が8.2%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





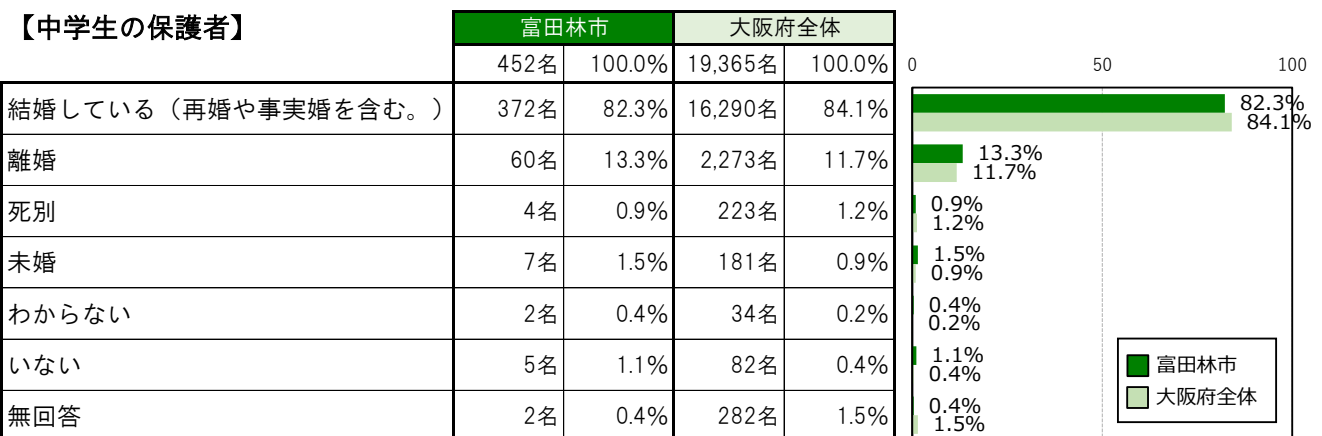
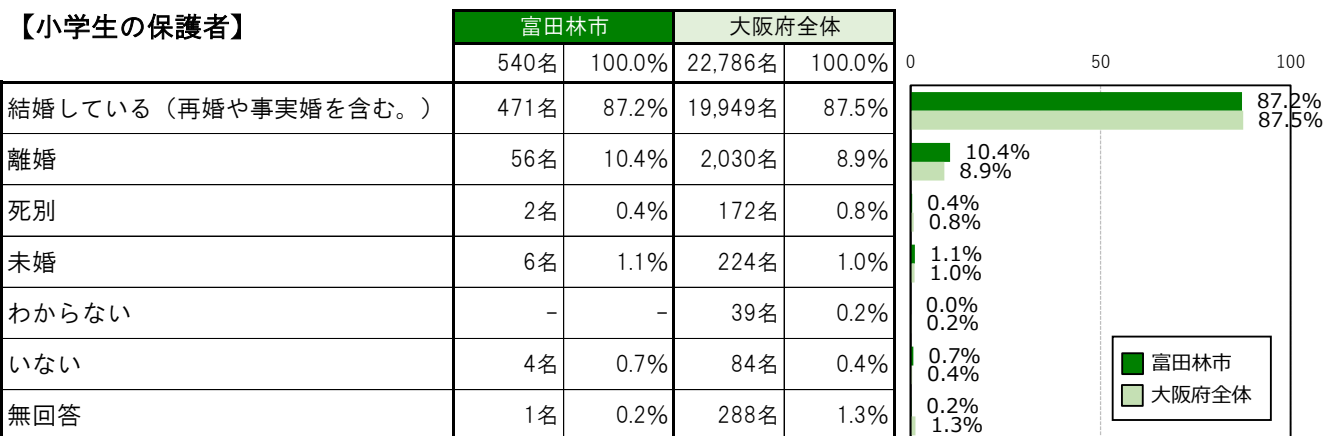
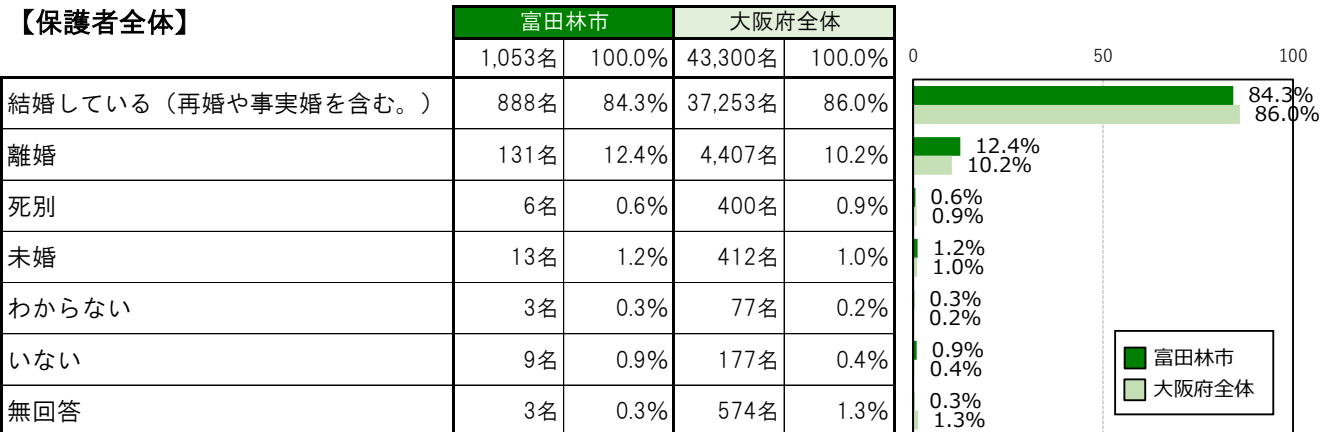
世帯の状況について

問3 親の婚姻状況

保護者全体は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が84.3%で最も多く、次いで「離婚」が12.4%、「未婚」が1.2%となっている。

小学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が87.2%で最も多く、次いで「離婚」が10.4%、「未婚」が1.1%となっている。

中学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が82.3%で最も多く、次いで「離婚」が13.3%、「未婚」が1.5%となっている。



世帯の状況について

問4 離婚相手との養育費の取り決めや受け取り

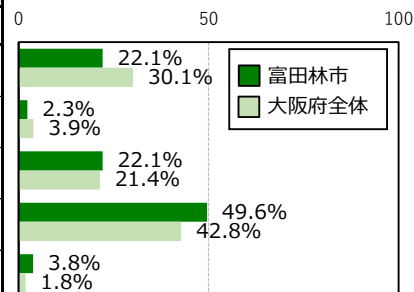
保護者全体は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が49.6%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」、「取り決めをしているが、受け取っていない」がそれぞれ22.1%となっている。

小学生の保護者は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が50.0%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が23.2%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.4%となっている。

中学生の保護者は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が43.3%で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が26.7%、「取り決めをしており、受け取っている」が23.3%となっている。

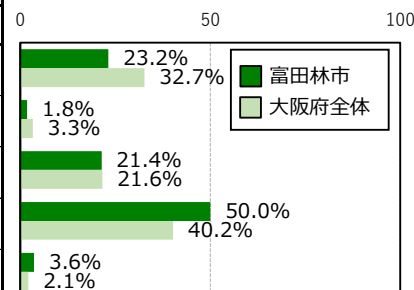
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	131名	100.0%	4,407名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	29名	22.1%	1,325名	30.1%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	3名	2.3%	174名	3.9%
取り決めをしているが、受け取っていない	29名	22.1%	941名	21.4%
取り決めをしておらず、受け取っていない	65名	49.6%	1,888名	42.8%
無回答	5名	3.8%	79名	1.8%



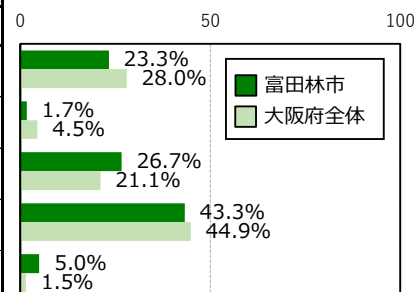
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	56名	100.0%	2,030名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	13名	23.2%	664名	32.7%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	1名	1.8%	68名	3.3%
取り決めをしているが、受け取っていない	12名	21.4%	438名	21.6%
取り決めをしておらず、受け取っていない	28名	50.0%	817名	40.2%
無回答	2名	3.6%	43名	2.1%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	60名	100.0%	2,273名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	14名	23.3%	636名	28.0%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	1名	1.7%	103名	4.5%
取り決めをしているが、受け取っていない	16名	26.7%	479名	21.1%
取り決めをしておらず、受け取っていない	26名	43.3%	1,020名	44.9%
無回答	3名	5.0%	35名	1.5%



世帯の状況について

問5 住居形態

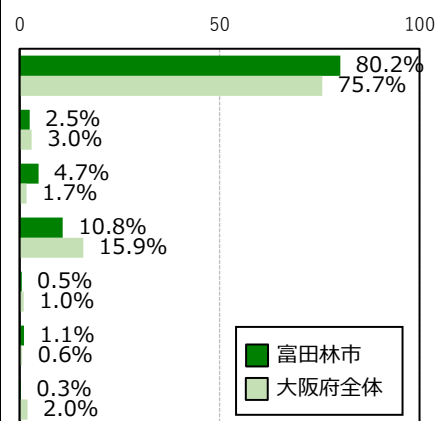
保護者全体は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が80.2%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が10.8%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が4.7%、「府営・市営の住宅」が2.5%となっている。

小学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が82.4%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が9.8%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が4.4%、「府営・市営の住宅」が2.0%となっている。

中学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が78.5%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が11.9%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が4.9%、「府営・市営の住宅」が2.0%となっている。

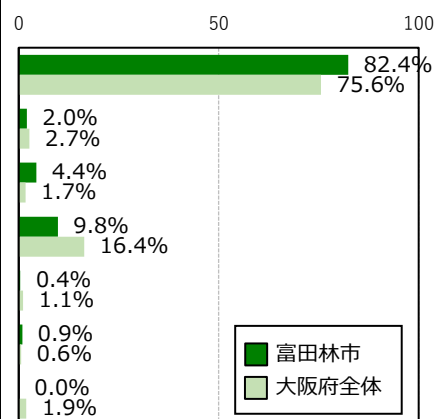
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	844名	80.2%	32,784名	75.7%
府営・市営の住宅	26名	2.5%	1,316名	3.0%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	49名	4.7%	752名	1.7%
民間の賃貸住宅	114名	10.8%	6,890名	15.9%
官舎・社宅	5名	0.5%	438名	1.0%
その他	12名	1.1%	257名	0.6%
無回答	3名	0.3%	863名	2.0%



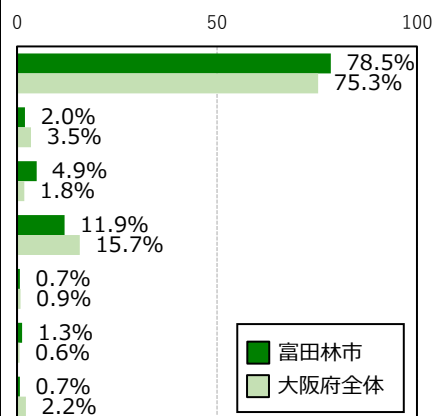
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	445名	82.4%	17,221名	75.6%
府営・市営の住宅	11名	2.0%	620名	2.7%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	24名	4.4%	386名	1.7%
民間の賃貸住宅	53名	9.8%	3,738名	16.4%
官舎・社宅	2名	0.4%	255名	1.1%
その他	5名	0.9%	129名	0.6%
無回答	-	-	437名	1.9%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	355名	78.5%	14,585名	75.3%
府営・市営の住宅	9名	2.0%	676名	3.5%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	22名	4.9%	356名	1.8%
民間の賃貸住宅	54名	11.9%	3,036名	15.7%
官舎・社宅	3名	0.7%	171名	0.9%
その他	6名	1.3%	121名	0.6%
無回答	3名	0.7%	420名	2.2%



世帯の状況について

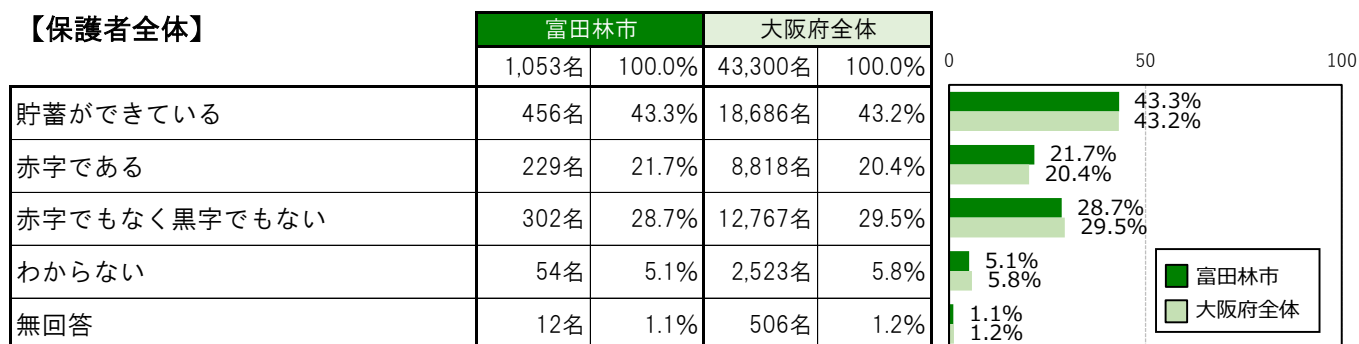
問6（1）家計の状況

保護者全体は、「貯蓄ができています」が43.3%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が28.7%、「赤字である」が21.7%となっている。

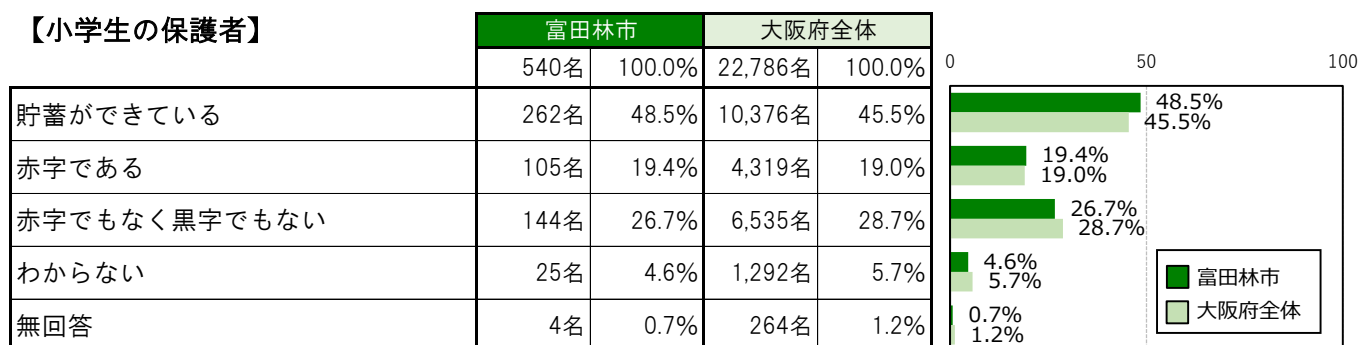
小学生の保護者は、「貯蓄ができています」が48.5%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が26.7%、「赤字である」が19.4%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄ができています」が37.8%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が31.0%、「赤字である」が23.7%となっている。

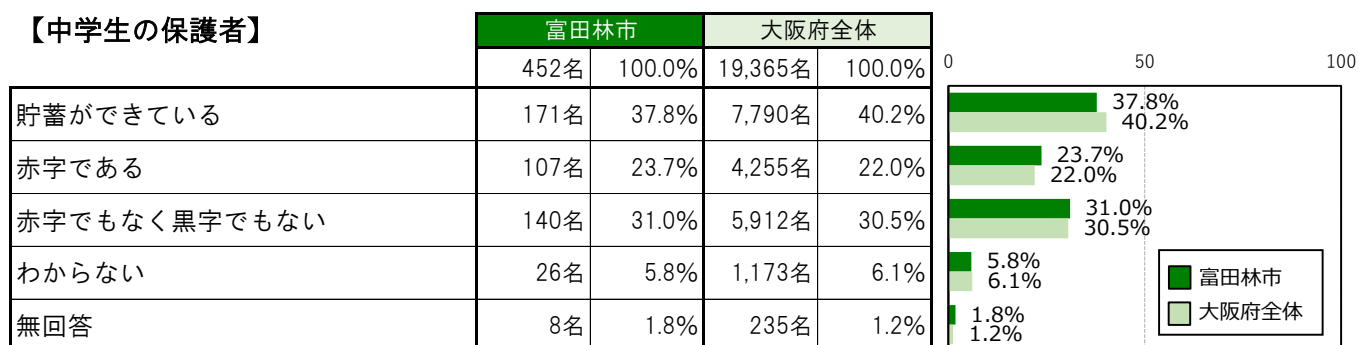
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問6（2）子どもの将来のための貯蓄状況

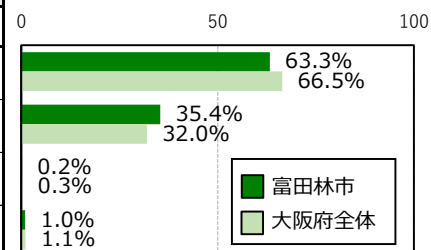
保護者全体は、「貯蓄をしている」が63.3%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が35.4%、「貯蓄をするつもりはない」が0.2%となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄をしている」が66.7%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が32.6%、「貯蓄をするつもりはない」が0.2%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄をしている」が59.7%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が38.3%、「貯蓄をするつもりはない」が0.2%となっている。

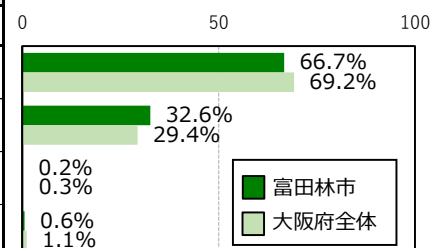
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄をしている	667名	63.3%	28,802名	66.5%
貯蓄をしたいが、できていない	373名	35.4%	13,877名	32.0%
貯蓄をするつもりはない	2名	0.2%	138名	0.3%
無回答	11名	1.0%	483名	1.1%



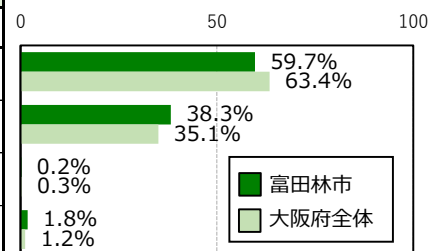
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄をしている	360名	66.7%	15,765名	69.2%
貯蓄をしたいが、できていない	176名	32.6%	6,698名	29.4%
貯蓄をするつもりはない	1名	0.2%	74名	0.3%
無回答	3名	0.6%	249名	1.1%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄をしている	270名	59.7%	12,277名	63.4%
貯蓄をしたいが、できていない	173名	38.3%	6,798名	35.1%
貯蓄をするつもりはない	1名	0.2%	63名	0.3%
無回答	8名	1.8%	227名	1.2%



世帯の状況について

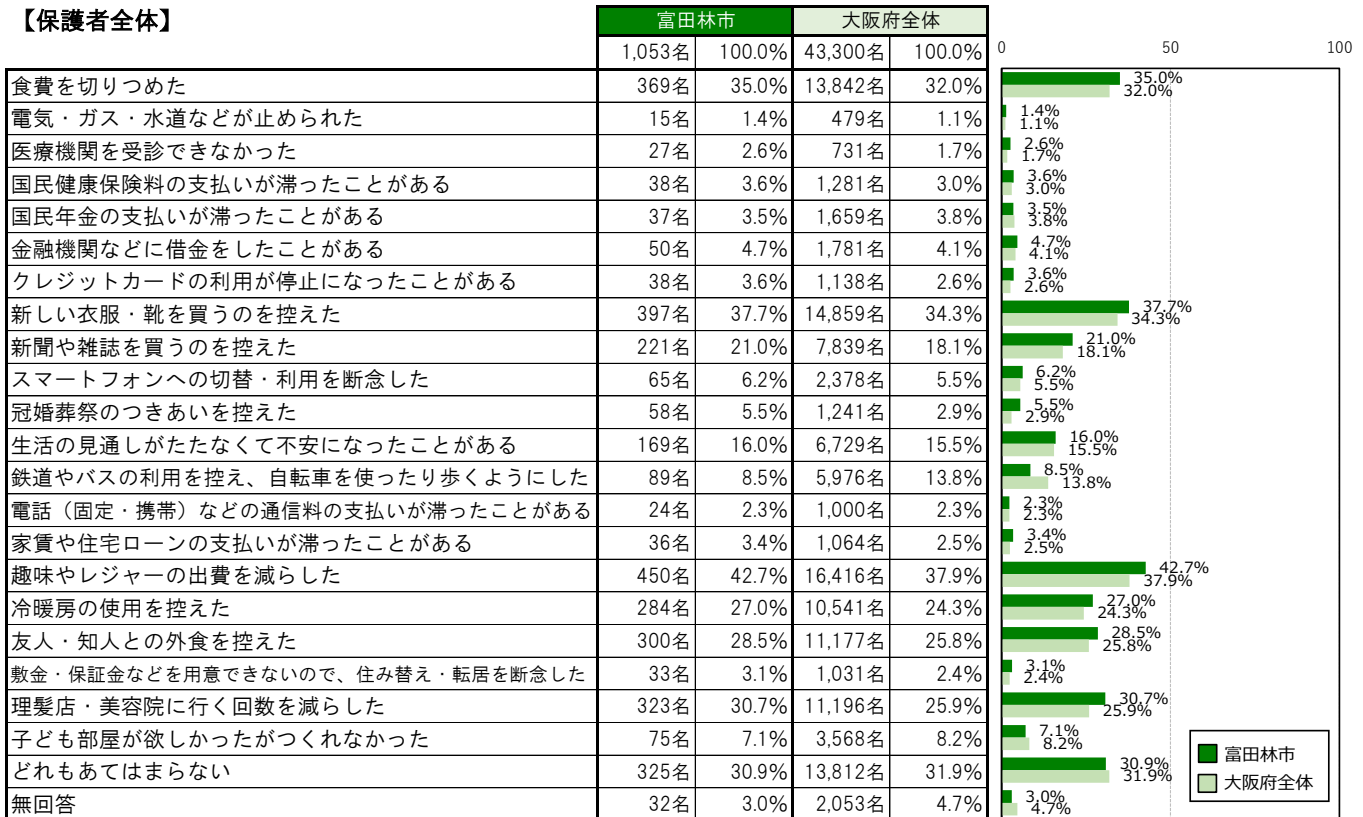
問7 経済的な理由による経験

保護者全体は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が42.7%で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が37.7%、「食費を切りつめた」が35.0%、「どれもあてはまらない」が30.9%となっている。

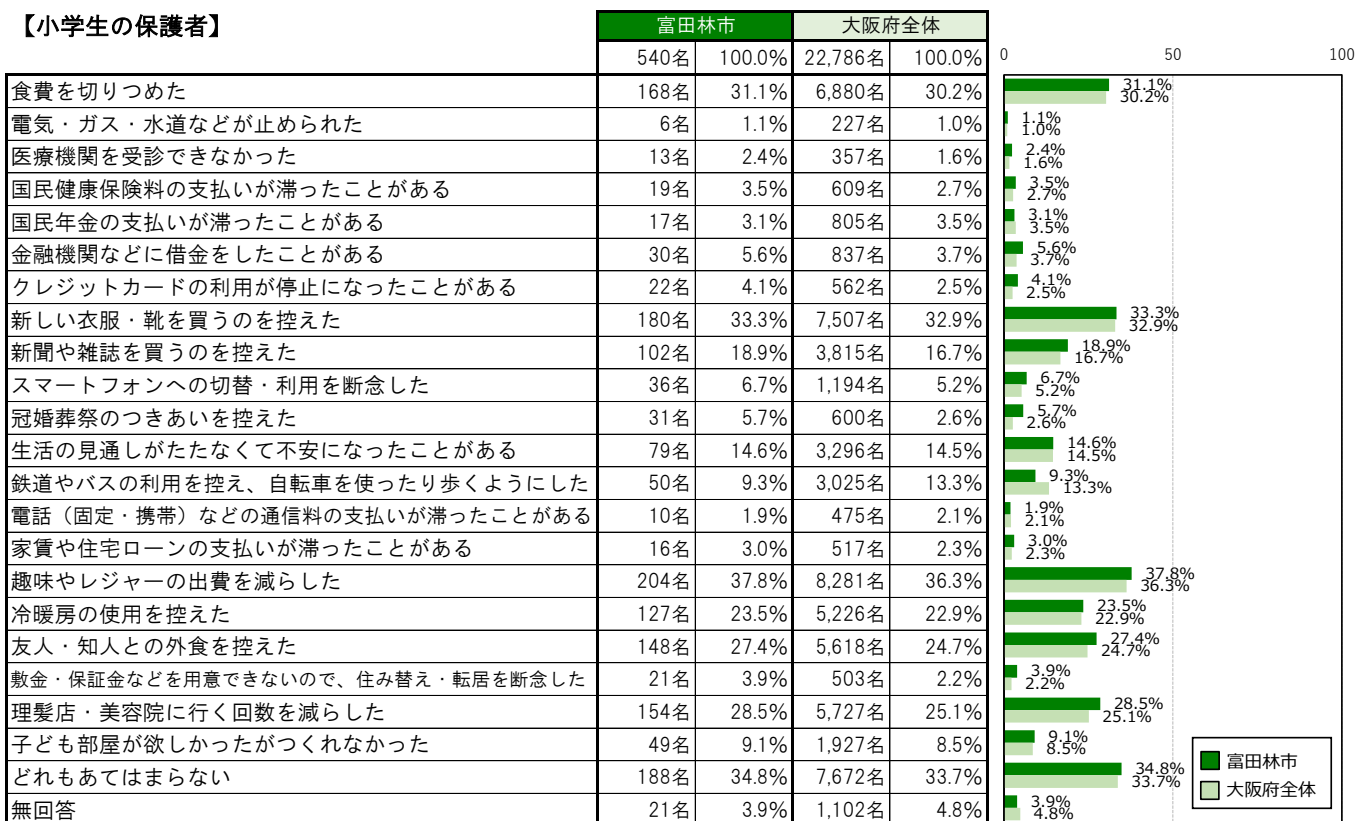
小学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が37.8%で最も多く、次いで「どれもあてはまらない」が34.8%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が33.3%、「食費を切りつめた」が31.1%となっている。

中学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が47.6%で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が42.9%、「食費を切りつめた」が38.1%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が32.3%となっている。

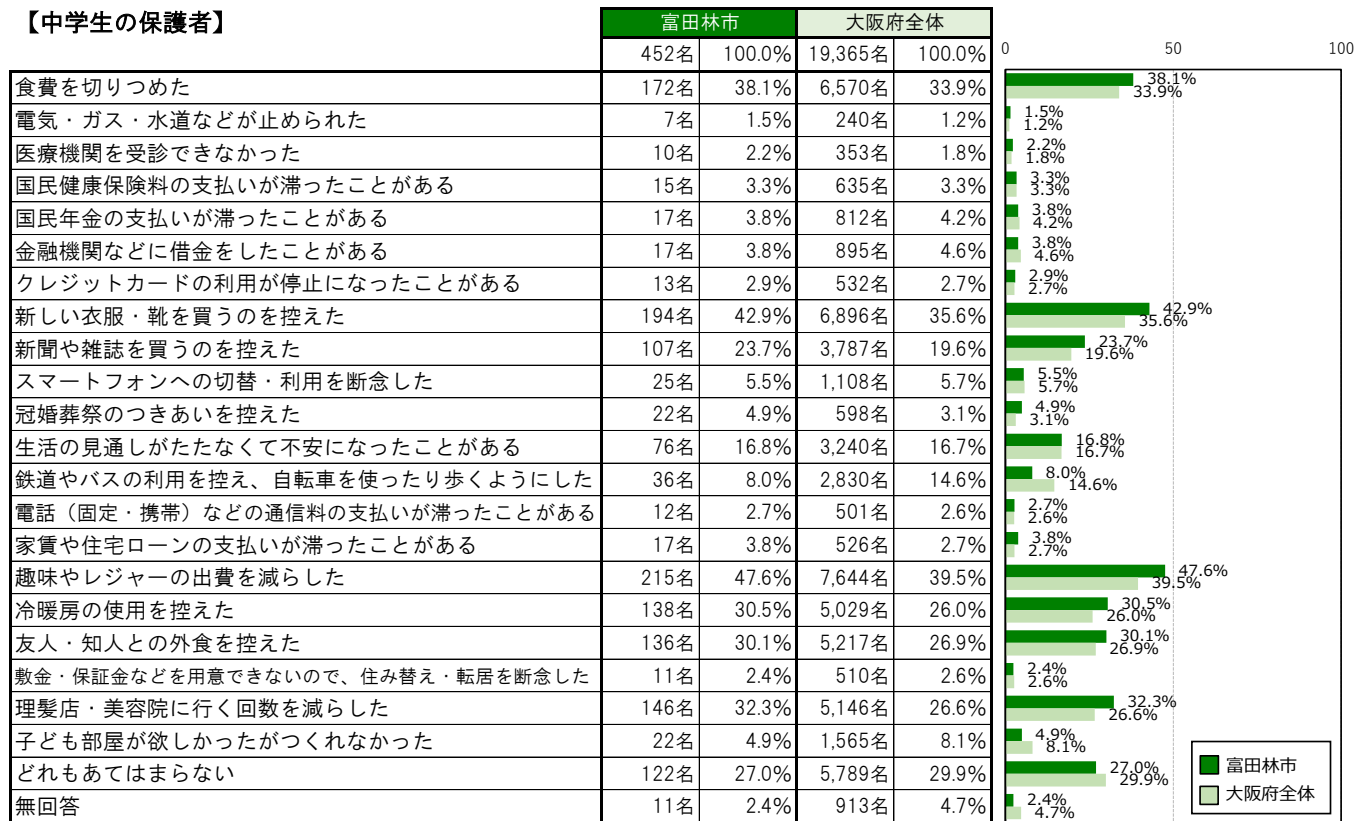
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】

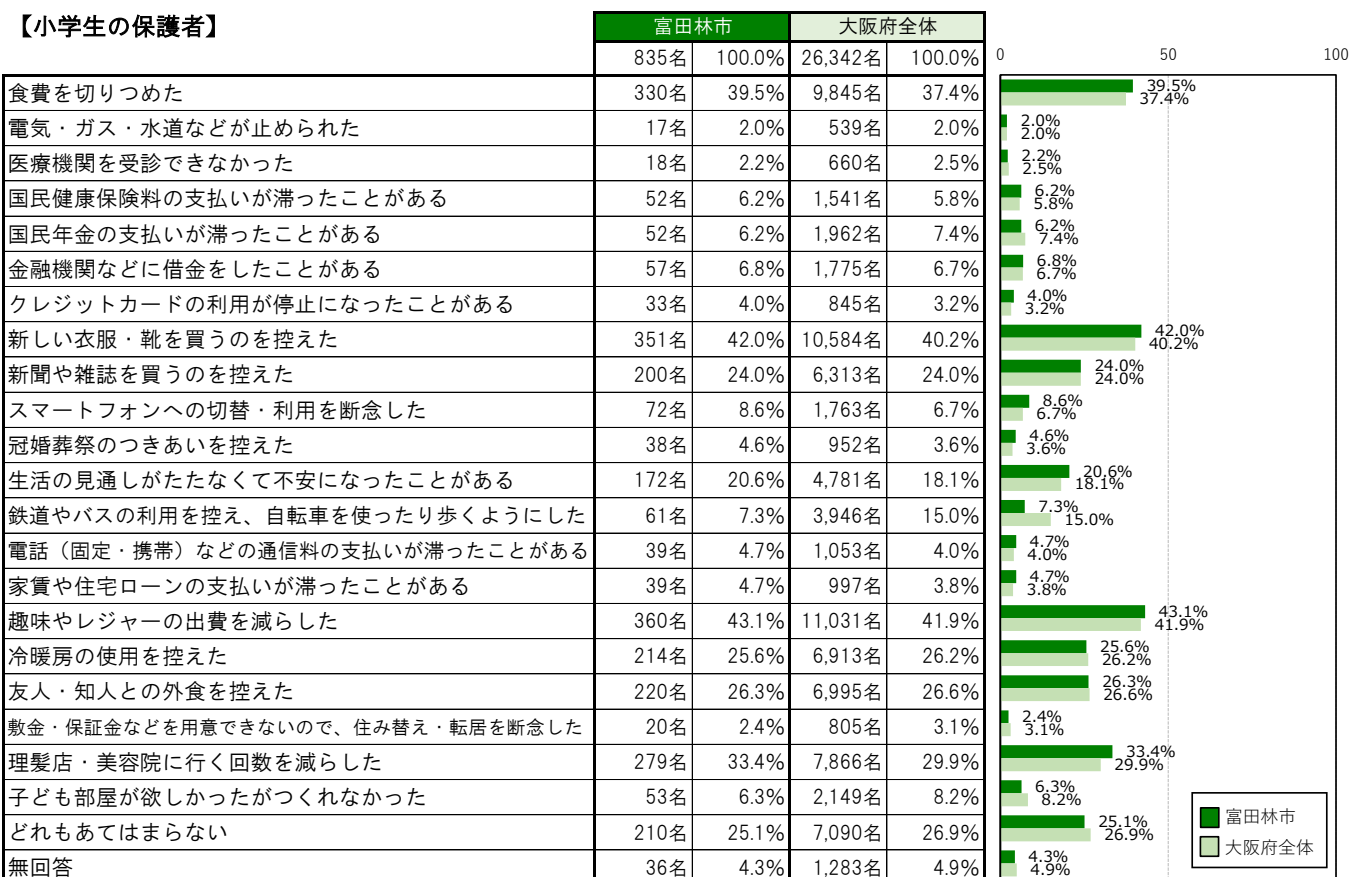
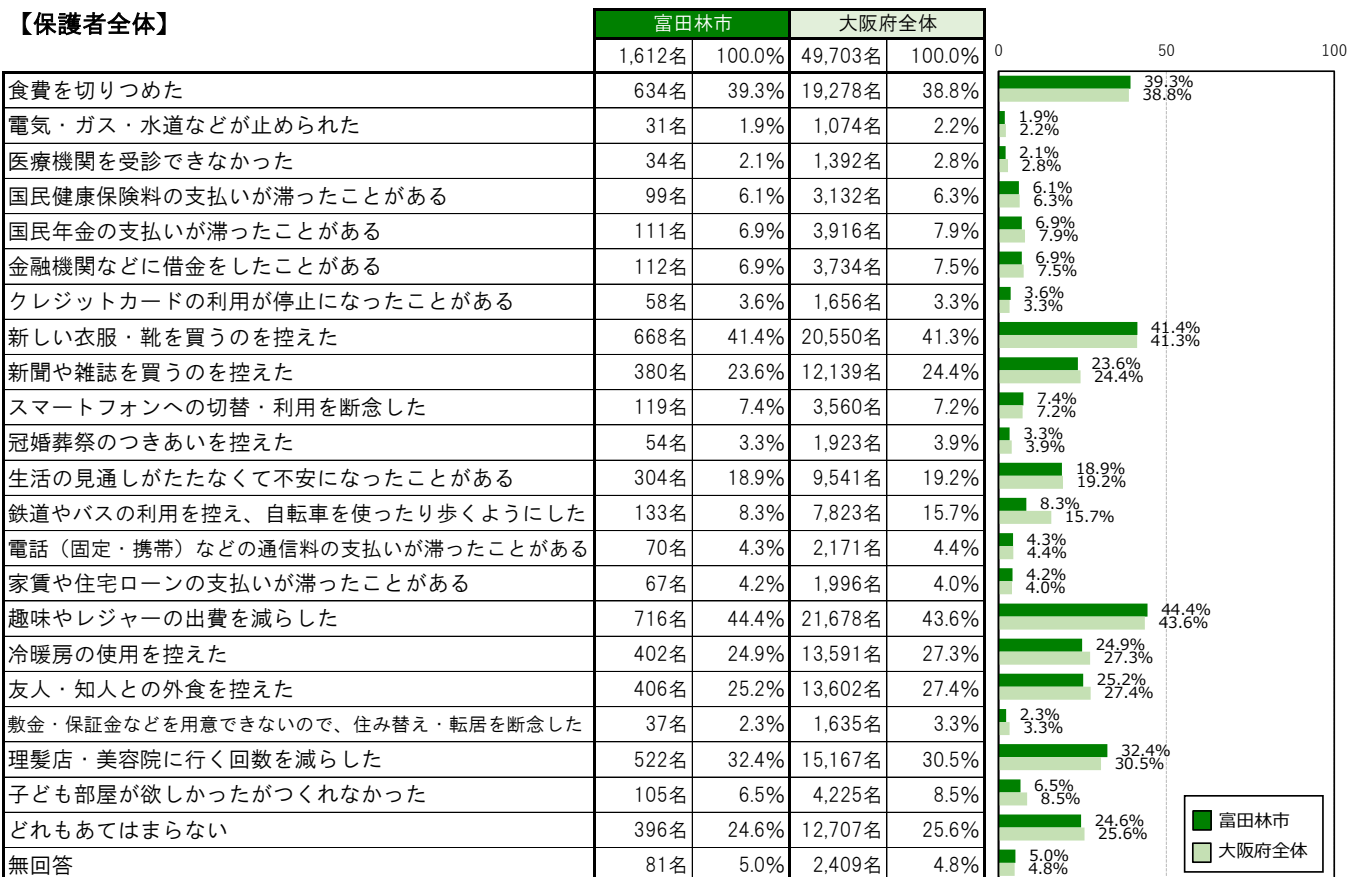


●2016年度 調査結果〔参考データ〕

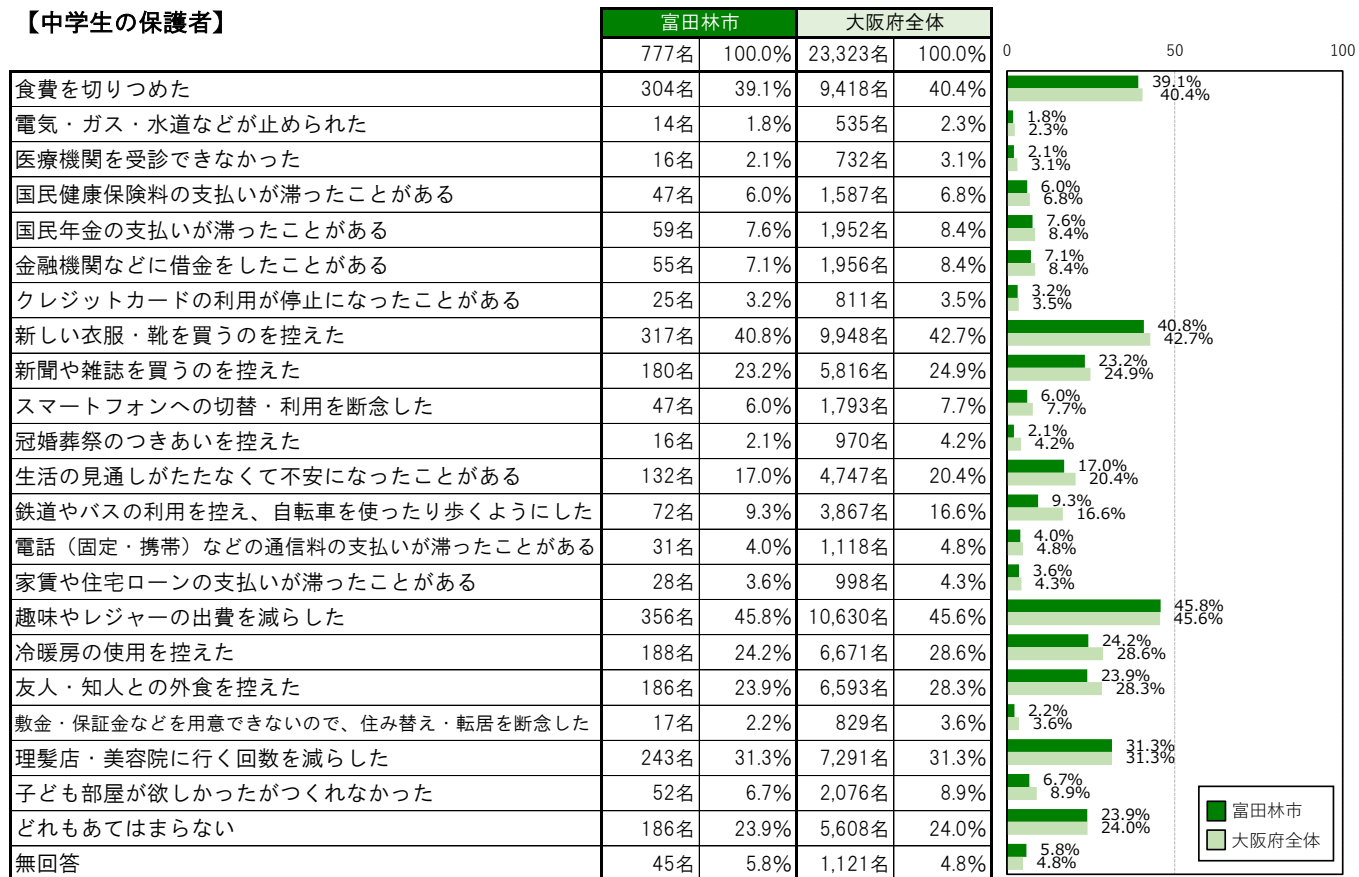
2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「どれもあてはまらない」が6.3ポイント、「友人・知人との外食を控えた」が3.3ポイント、それぞれ高くなっている。

小学生の保護者は、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が8.7ポイント、「食費を切りつめた」が8.4ポイント、それぞれ低くなっている。

中学生の保護者は、「冷暖房の使用を控えた」が6.3ポイント、「友人・知人との外食を控えた」が6.2ポイント、それぞれ高くなっている。



【中学生の保護者】



世帯の状況について

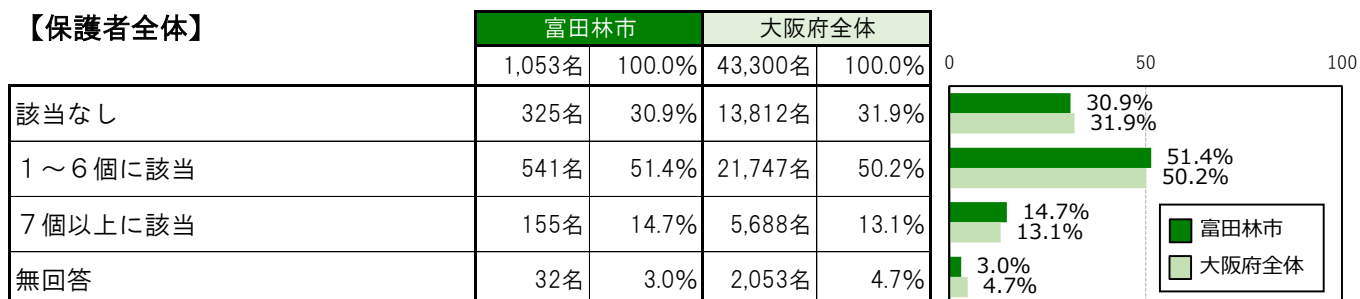
問7 経済的な理由による経験（はく奪指標）

経済的な理由による経験について、はく奪指標でみると、保護者全体は、「1～6個に該当」が51.4%で最も多く、次いで「該当なし」が30.9%、「7個以上に該当」が14.7%となっている。

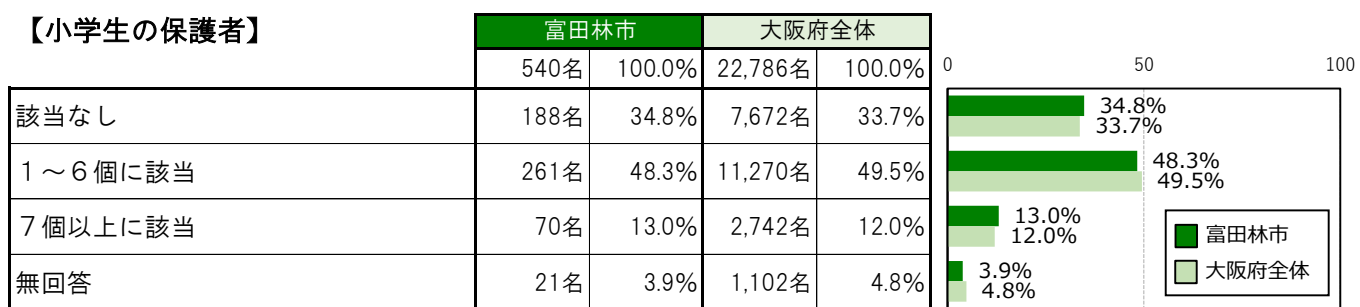
小学生の保護者は、「1～6個に該当」が48.3%で最も多く、次いで「該当なし」が34.8%、「7個以上に該当」が13.0%となっている。

中学生の保護者は、「1～6個に該当」が55.1%で最も多く、次いで「該当なし」が27.0%、「7個以上に該当」が15.5%となっている。

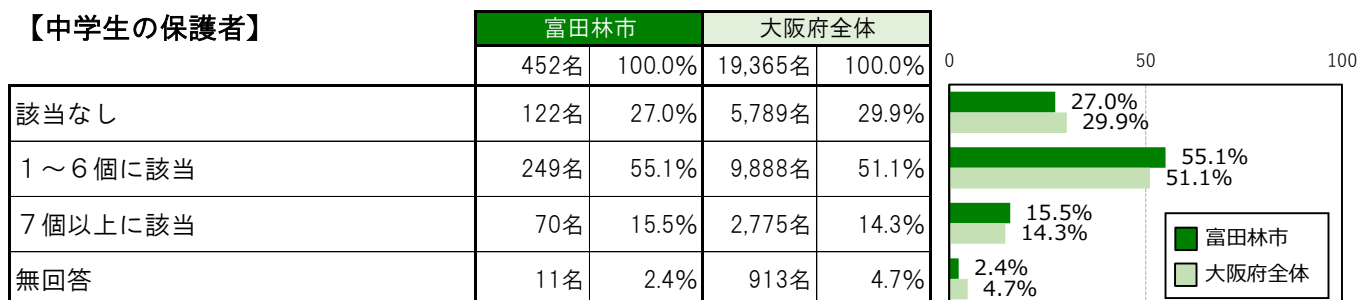
【保護者全体】



【小学生の保護者】



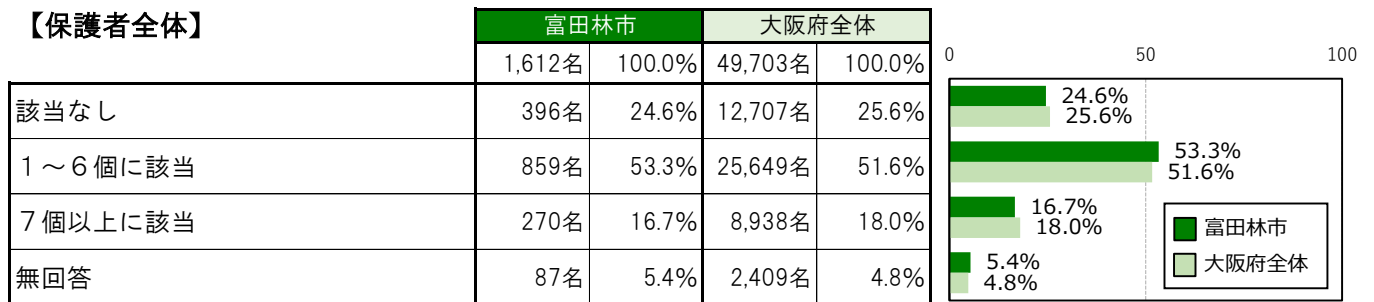
【中学生の保護者】



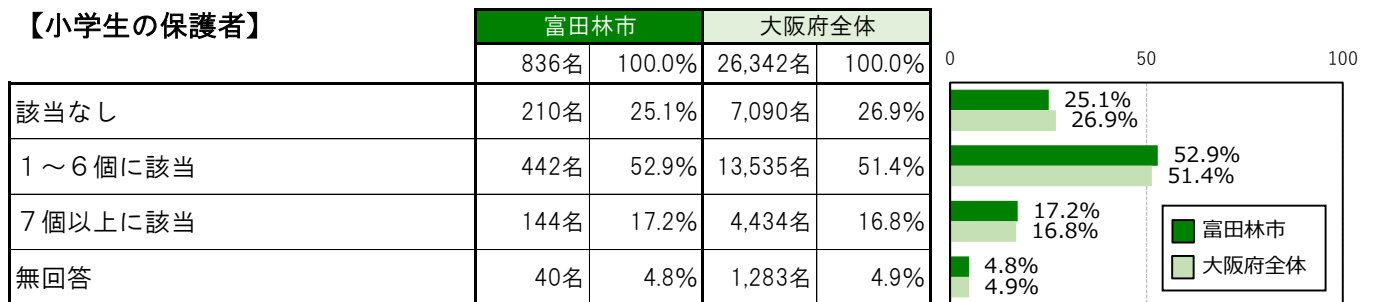
●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「該当なし」が6.3ポイント高くなっている。
 小学生の保護者は、「該当なし」が9.7ポイント高くなっている。
 中学生の保護者は、「該当なし」が3.0ポイント高くなっている。

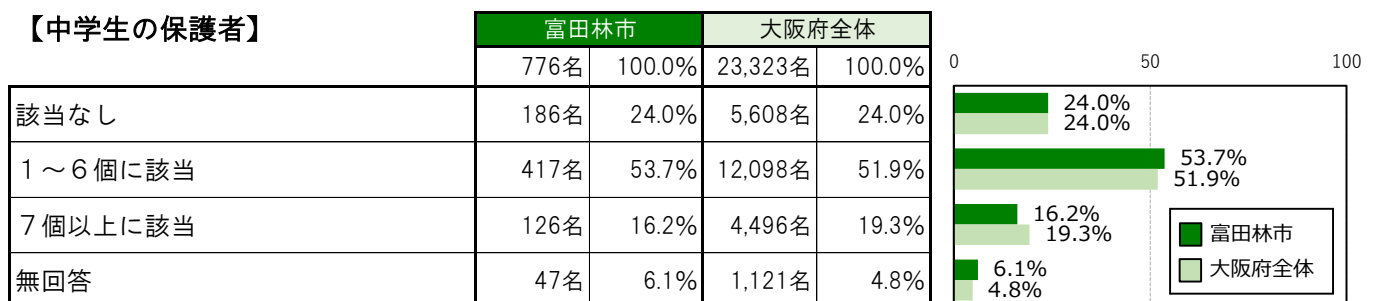
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

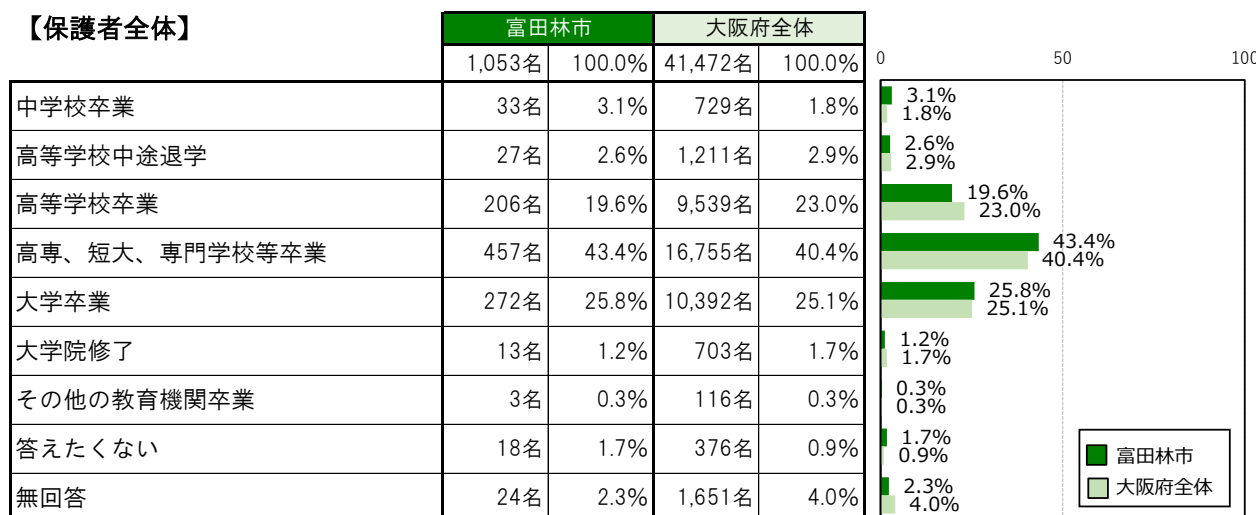
問8 お母さんの最終学歴

保護者全体は、「高専、短大、専門学校等卒業」が43.4%で最も多く、次いで「大学卒業」が25.8%、「高等学校卒業」が19.6%、「中学校卒業」が3.1%となっている。

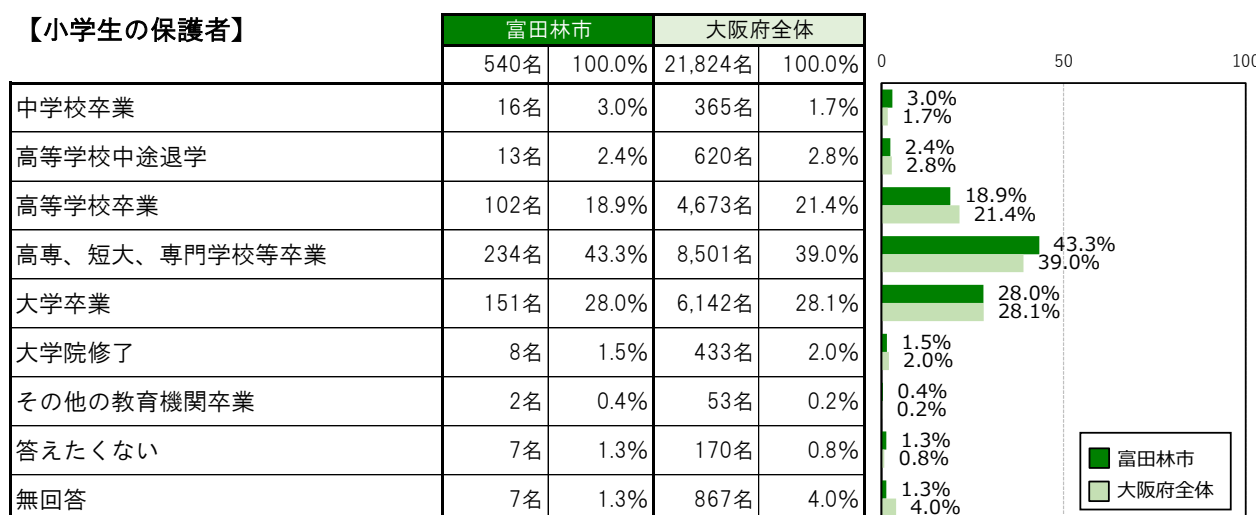
小学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が43.3%で最も多く、次いで「大学卒業」が28.0%、「高等学校卒業」が18.9%、「中学校卒業」が3.0%となっている。

中学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が44.2%で最も多く、次いで「大学卒業」が23.7%、「高等学校卒業」が19.7%、「中学校卒業」が3.5%となっている。

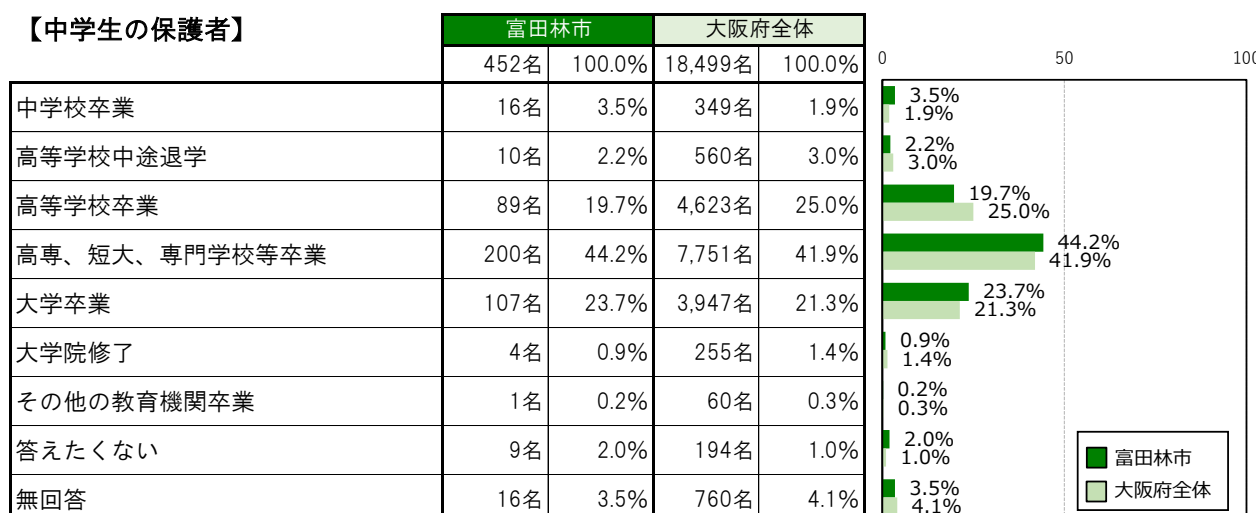
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

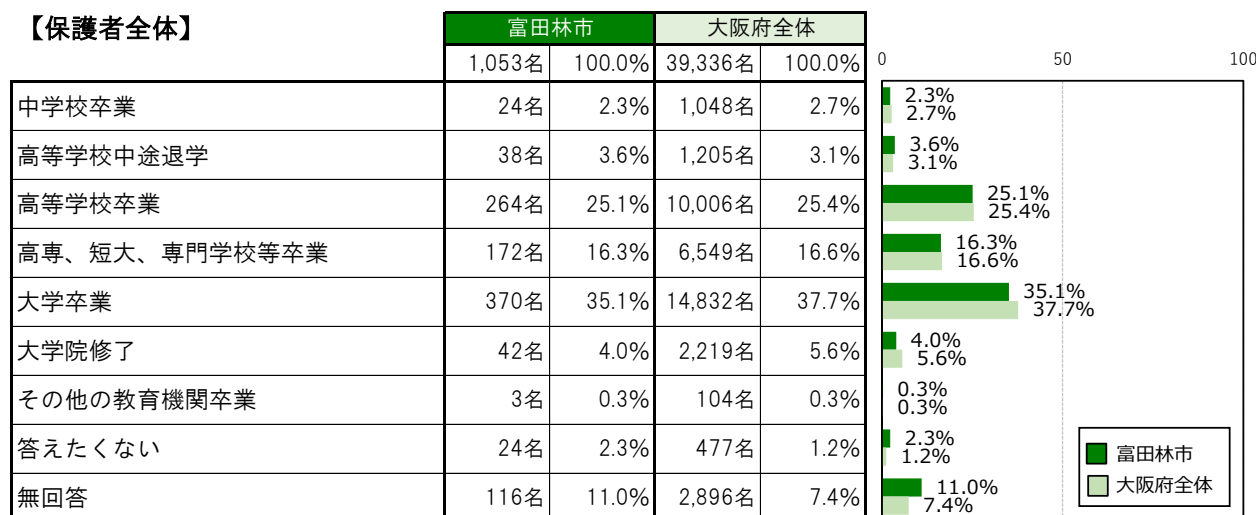
問8 お父さんの最終学歴

保護者全体は、「大学卒業」が35.1%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が25.1%、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.3%、「大学院修了」が4.0%となっている。

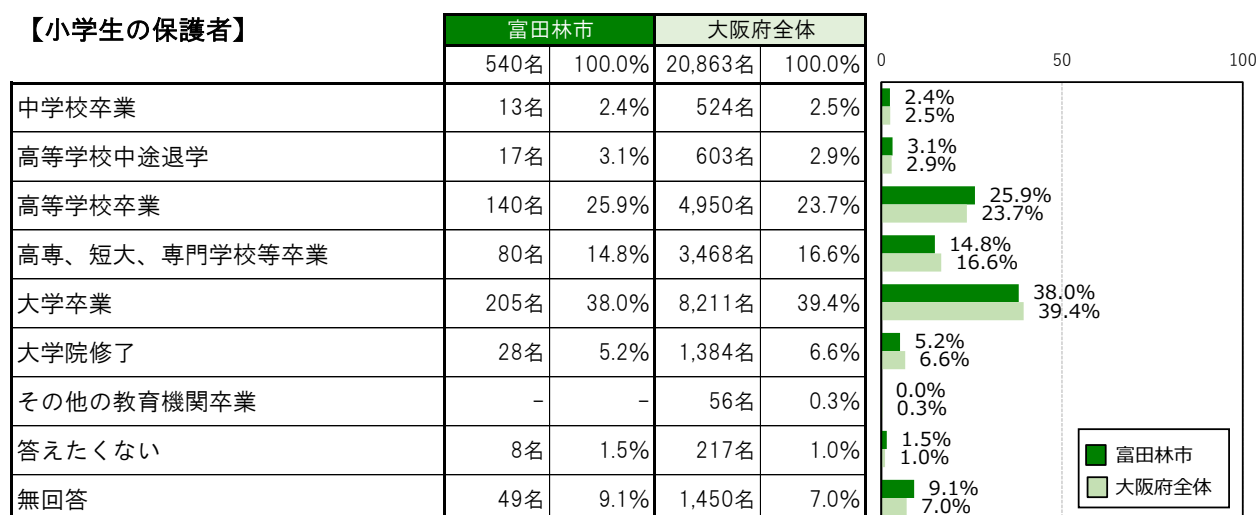
小学生の保護者は、「大学卒業」が38.0%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が25.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」が14.8%、「大学院修了」が5.2%となっている。

中学生の保護者は、「大学卒業」が33.8%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が24.1%、「高専、短大、専門学校等卒業」が17.7%、「高等学校中途退学」が3.3%となっている。

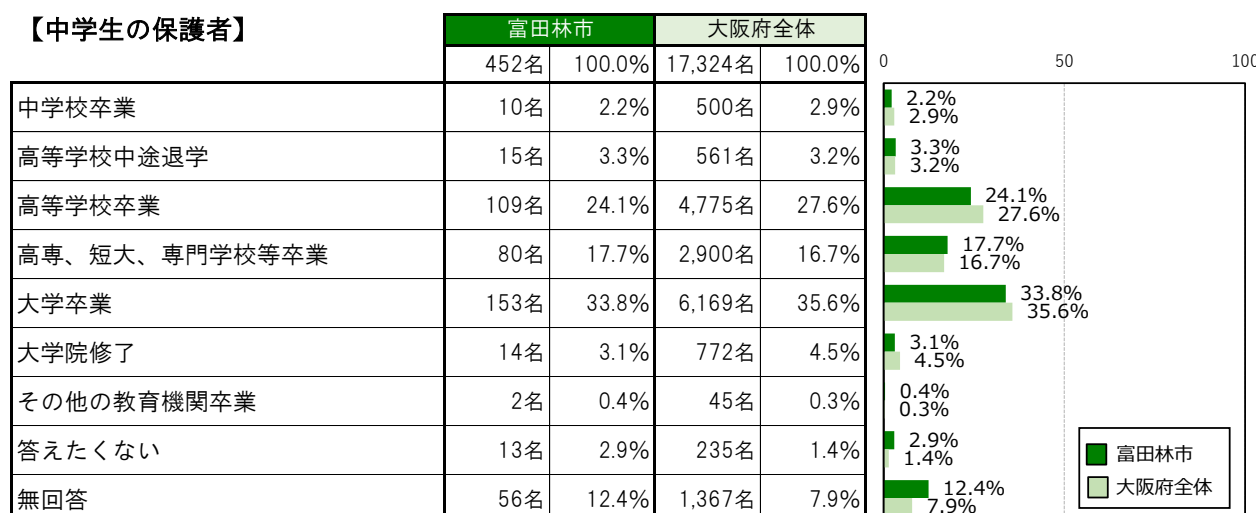
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



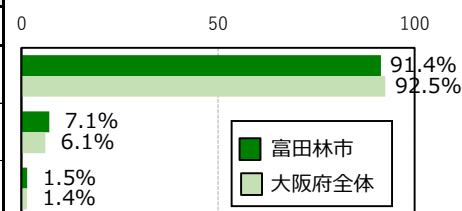
世帯の状況について

問9 お母さんの有無

保護者全体は、「いる」が91.4%、「いない」が7.1%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が90.2%、「いない」が8.5%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が92.5%、「いない」が5.5%となっている。

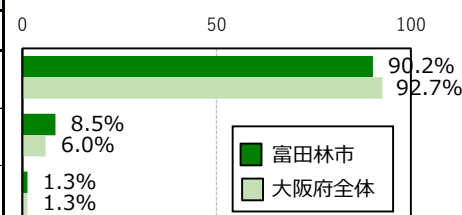
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	962名	91.4%	40,053名	92.5%
いない	75名	7.1%	2,634名	6.1%
無回答	16名	1.5%	613名	1.4%



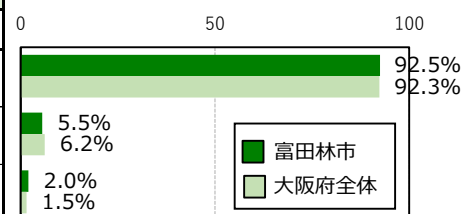
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	487名	90.2%	21,115名	92.7%
いない	46名	8.5%	1,368名	6.0%
無回答	7名	1.3%	303名	1.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	418名	92.5%	17,877名	92.3%
いない	25名	5.5%	1,192名	6.2%
無回答	9名	2.0%	296名	1.5%



世帯の状況について

問9 お母さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が44.6%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が27.0%、「仕事を探していない」が9.3%、「自営業・家業」が7.5%となっている。

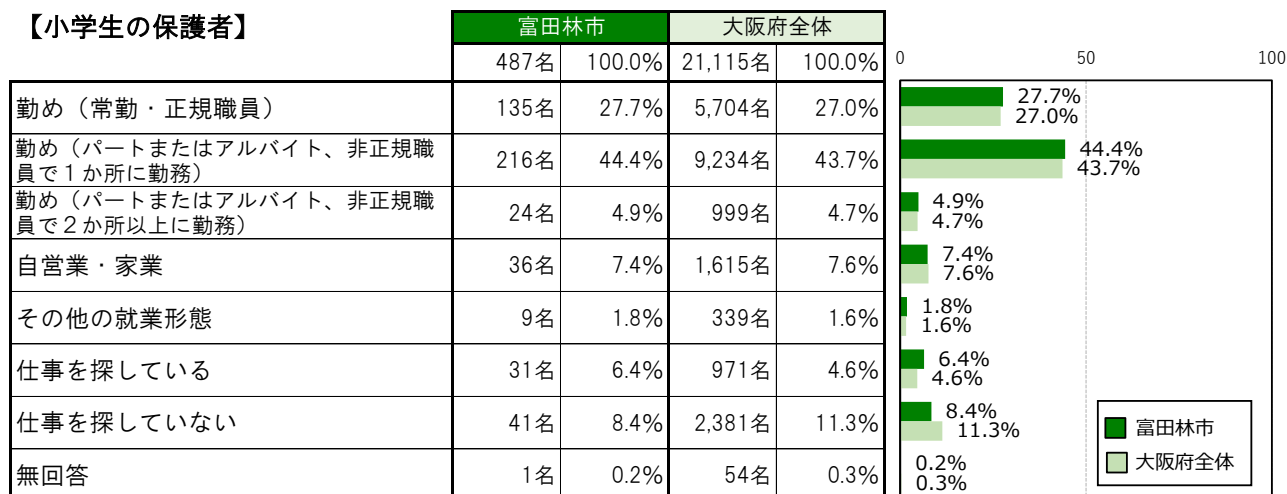
小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が44.4%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が27.7%、「仕事を探していない」が8.4%、「自営業・家業」が7.4%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が45.0%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が25.8%、「仕事を探していない」が10.8%、「自営業・家業」が7.2%となっている。

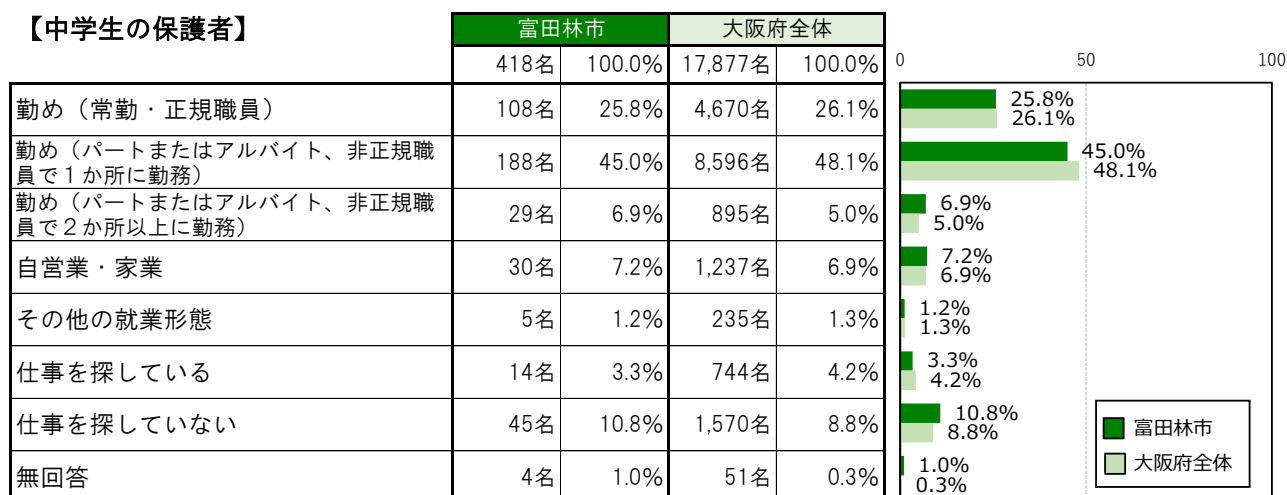
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】

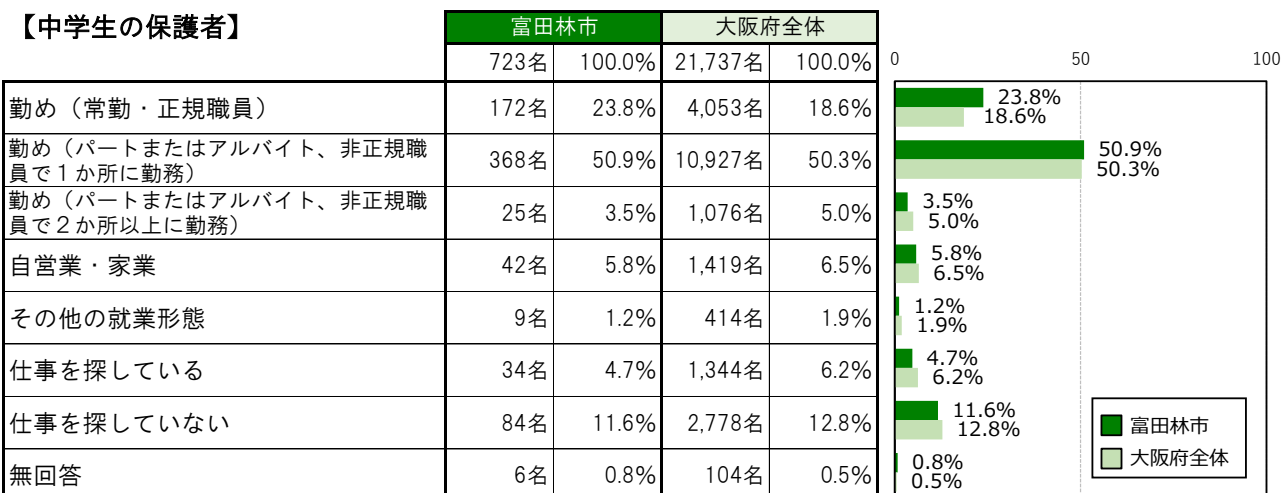


●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「仕事を探していない」は4.9ポイント、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」は4.4ポイント低いが、「勤め（常勤・正規職員）」は5.3ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「仕事を探していない」は8.3ポイント低いが、「勤め（常勤・正規職員）」は8.0ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」は5.9ポイント低くなっている。



世帯の状況について

問9 お母さんが仕事を探していない理由

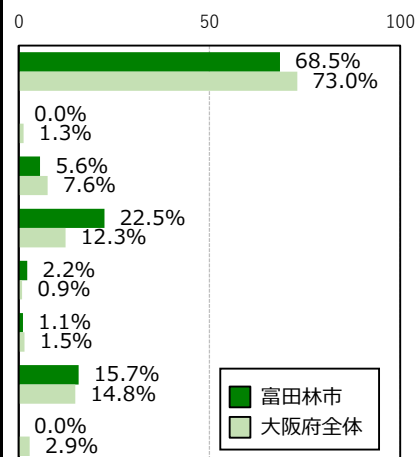
保護者全体は、「家事や育児に専念したいため」が68.5%で最も多く、次いで「病気療養のため」が22.5%、「おうちの人の介護や介助のため」が5.6%となっている。

小学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が73.2%で最も多く、次いで「病気療養のため」が12.2%、「おうちの人の介護や介助のため」が4.9%となっている。

中学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が64.4%で最も多く、次いで「病気療養のため」が33.3%、「おうちの人の介護や介助のため」が6.7%となっている。

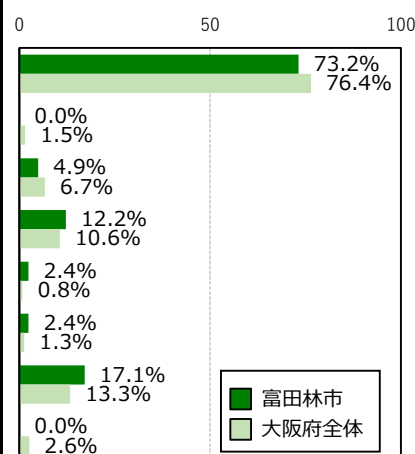
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	89名	100.0%	4,027名	100.0%
家事や育児に専念したいため	61名	68.5%	2,939名	73.0%
学生のため	-	-	51名	1.3%
おうちの人の介護や介助のため	5名	5.6%	307名	7.6%
病気療養のため	20名	22.5%	496名	12.3%
年金収入があるため	2名	2.2%	35名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	1名	1.1%	62名	1.5%
その他	14名	15.7%	595名	14.8%
無回答	-	-	115名	2.9%



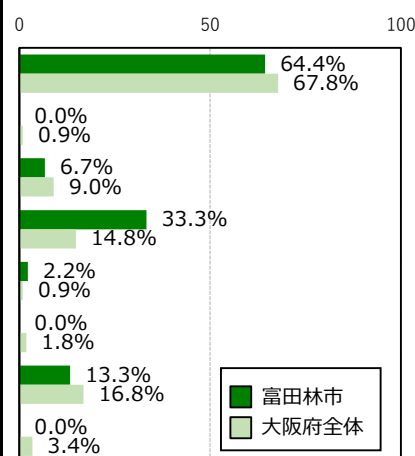
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	41名	100.0%	2,381名	100.0%
家事や育児に専念したいため	30名	73.2%	1,820名	76.4%
学生のため	-	-	36名	1.5%
おうちの人の介護や介助のため	2名	4.9%	160名	6.7%
病気療養のため	5名	12.2%	252名	10.6%
年金収入があるため	1名	2.4%	20名	0.8%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	1名	2.4%	32名	1.3%
その他	7名	17.1%	317名	13.3%
無回答	-	-	61名	2.6%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	45名	100.0%	1,570名	100.0%
家事や育児に専念したいため	29名	64.4%	1,064名	67.8%
学生のため	-	-	14名	0.9%
おうちの人の介護や介助のため	3名	6.7%	141名	9.0%
病気療養のため	15名	33.3%	232名	14.8%
年金収入があるため	1名	2.2%	14名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	29名	1.8%
その他	6名	13.3%	263名	16.8%
無回答	-	-	54名	3.4%



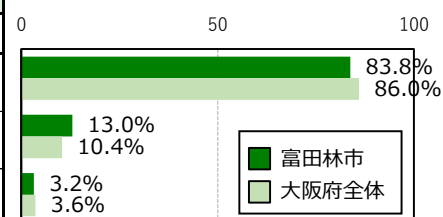
世帯の状況について

問9 お父さんの有無

保護者全体は、「いる」が83.8%、「いない」が13.0%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が85.2%、「いない」が11.1%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が83.4%、「いない」が14.2%となっている。

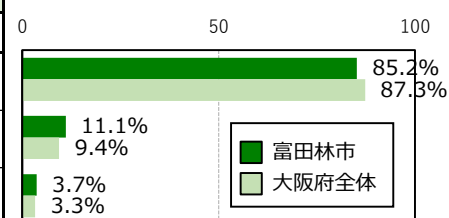
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	882名	83.8%	37,256名	86.0%
いない	137名	13.0%	4,504名	10.4%
無回答	34名	3.2%	1,540名	3.6%



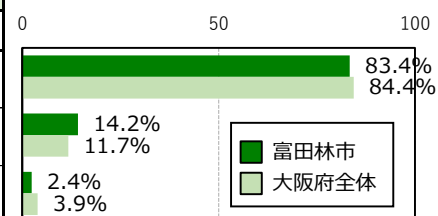
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	460名	85.2%	19,882名	87.3%
いない	60名	11.1%	2,149名	9.4%
無回答	20名	3.7%	755名	3.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	377名	83.4%	16,352名	84.4%
いない	64名	14.2%	2,261名	11.7%
無回答	11名	2.4%	752名	3.9%



世帯の状況について

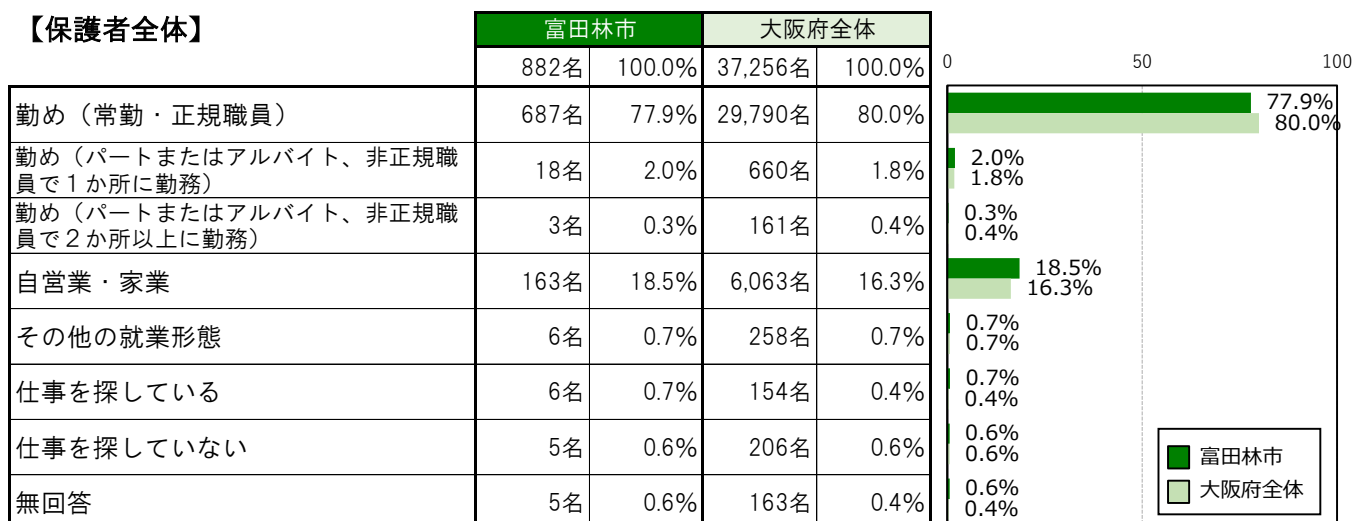
問9 お父さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が77.9%で最も多く、次いで「自営業・家業」が18.5%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が2.0%となっている。

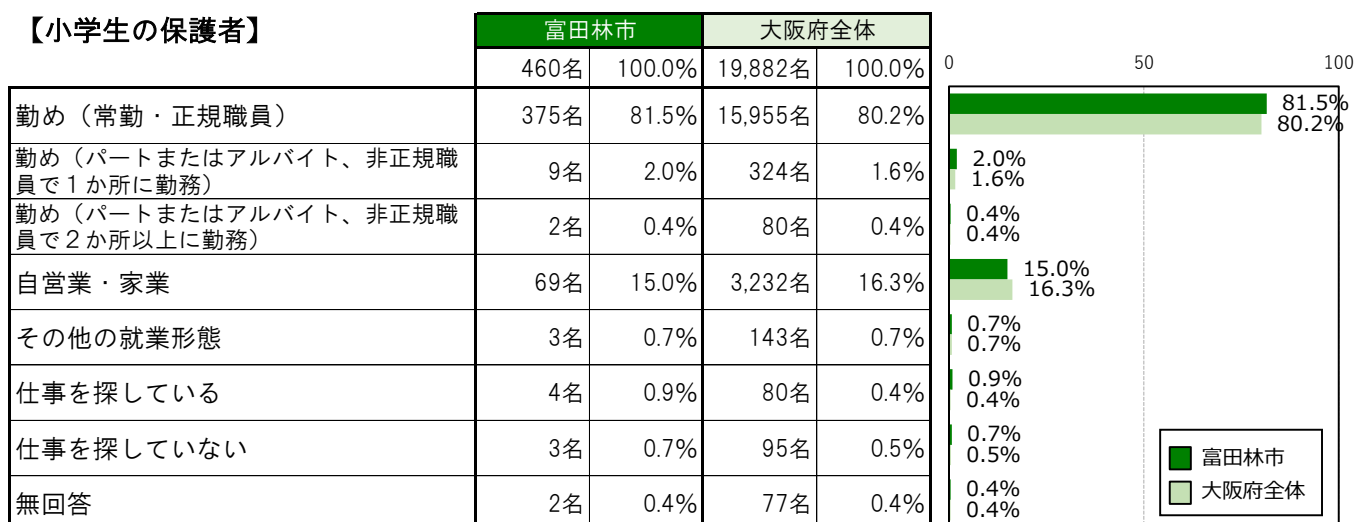
小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が81.5%で最も多く、次いで「自営業・家業」が15.0%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が2.0%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が74.0%で最も多く、次いで「自営業・家業」が21.8%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が2.4%となっている。

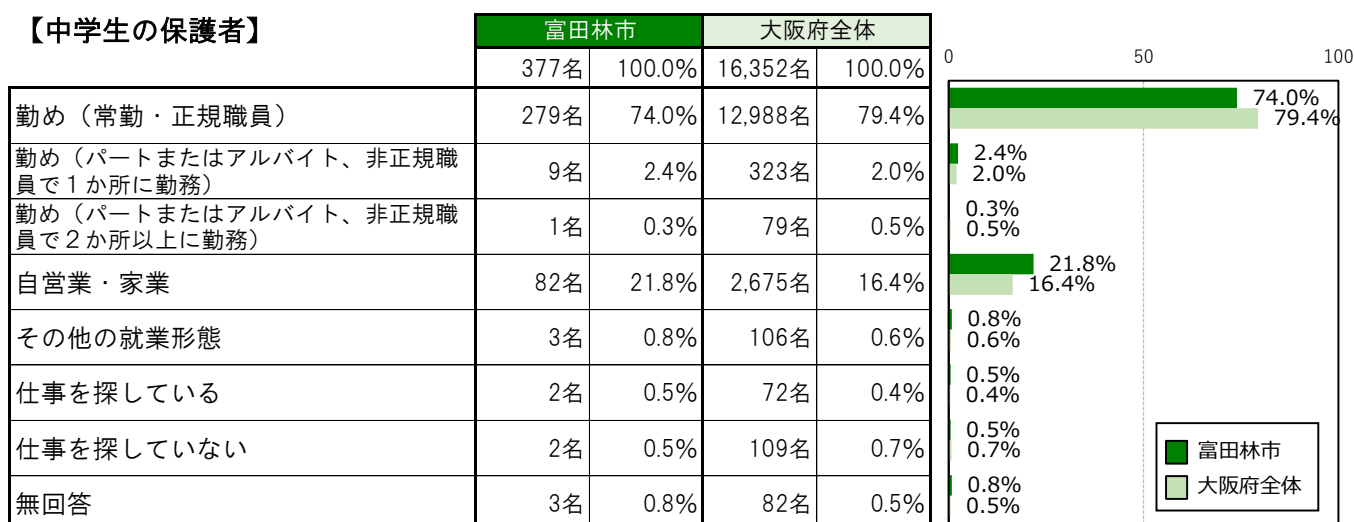
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



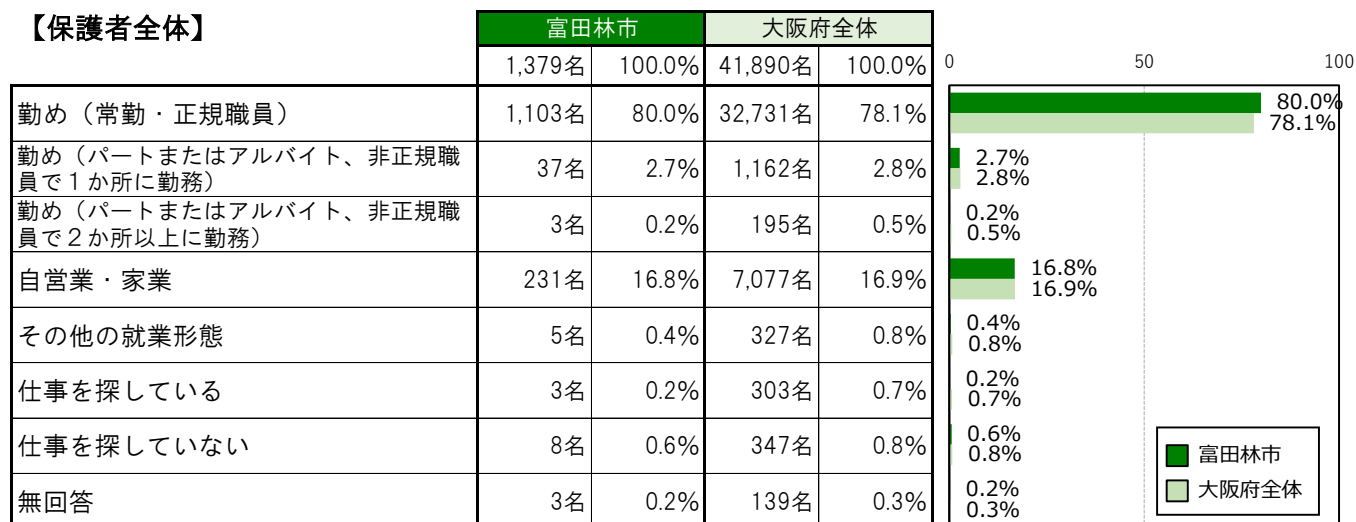
●2016年度 調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」は2.1ポイント低くなっている。

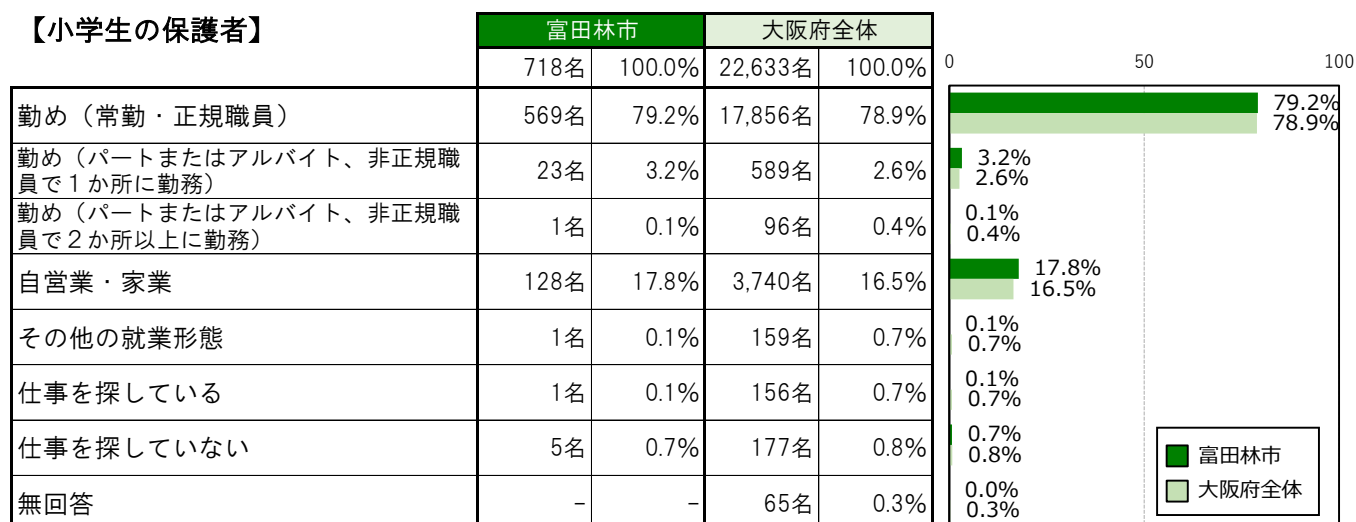
小学生の保護者は、「自営業・家業」は2.8ポイント低い、「勤め（常勤・正規職員）」は2.3ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「自営業・家業」は6.2ポイント高い、「勤め（常勤・正規職員）」は6.8ポイント低くなっている。

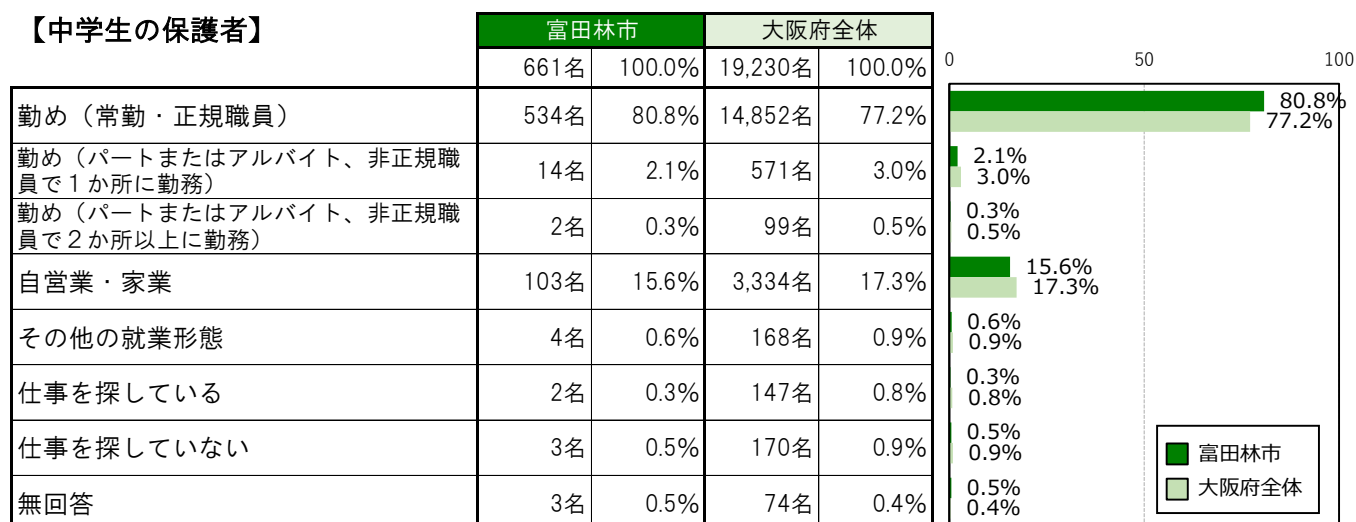
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



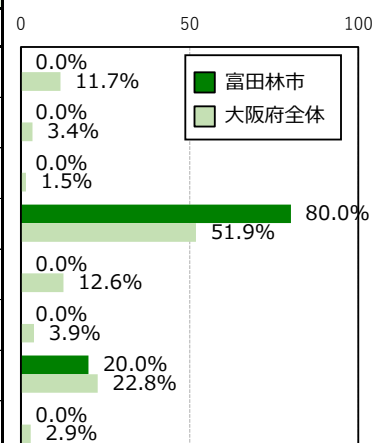
世帯の状況について

問9 お父さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「病気療養のため」が80.0%（4名）となっている。
 小学生の保護者は、「病気療養のため」が66.7%（2名）となっている。
 中学生の保護者は、「病気療養のため」が100.0%（2名）となっている。

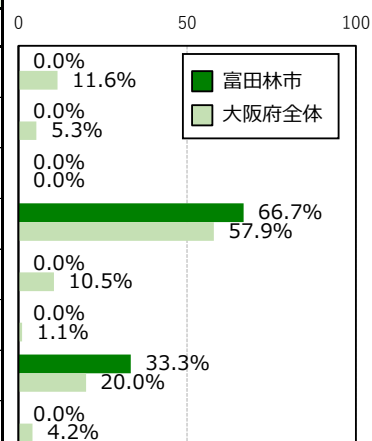
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	5名	100.0%	206名	100.0%
家事や育児に専念したいため	-	-	24名	11.7%
学生のため	-	-	7名	3.4%
おうちの人の介護や介助のため	-	-	3名	1.5%
病気療養のため	4名	80.0%	107名	51.9%
年金収入があるため	-	-	26名	12.6%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	8名	3.9%
その他	1名	20.0%	47名	22.8%
無回答	-	-	6名	2.9%



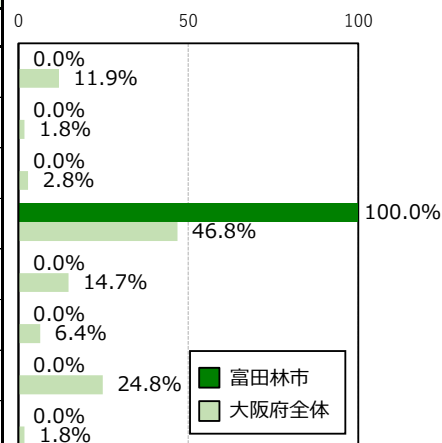
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	3名	100.0%	95名	100.0%
家事や育児に専念したいため	-	-	11名	11.6%
学生のため	-	-	5名	5.3%
おうちの人の介護や介助のため	-	-	-	-
病気療養のため	2名	66.7%	55名	57.9%
年金収入があるため	-	-	10名	10.5%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	1名	1.1%
その他	1名	33.3%	19名	20.0%
無回答	-	-	4名	4.2%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	2名	100.0%	109名	100.0%
家事や育児に専念したいため	-	-	13名	11.9%
学生のため	-	-	2名	1.8%
おうちの人の介護や介助のため	-	-	3名	2.8%
病気療養のため	2名	100.0%	51名	46.8%
年金収入があるため	-	-	16名	14.7%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	7名	6.4%
その他	-	-	27名	24.8%
無回答	-	-	2名	1.8%



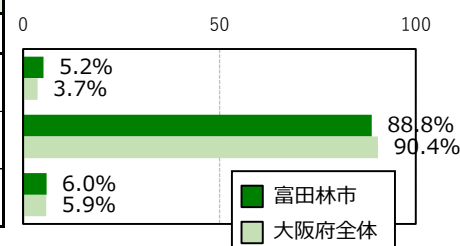
世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人の有無

保護者全体は、「いる」が5.2%、「いない」が88.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が5.6%、「いない」が88.9%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が4.6%、「いない」が88.9%となっている。

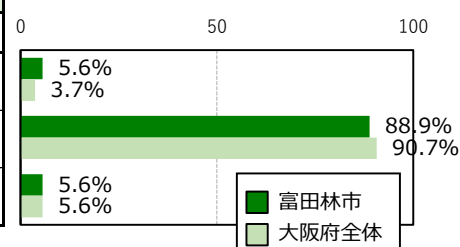
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	55名	5.2%	1,611名	3.7%
いない	935名	88.8%	39,140名	90.4%
無回答	63名	6.0%	2,549名	5.9%



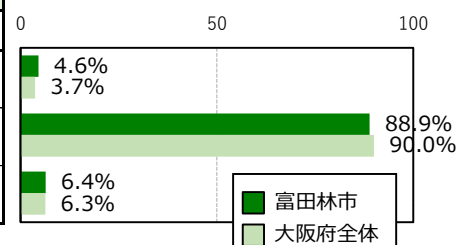
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	30名	5.6%	854名	3.7%
いない	480名	88.9%	20,666名	90.7%
無回答	30名	5.6%	1,266名	5.6%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	21名	4.6%	718名	3.7%
いない	402名	88.9%	17,432名	90.0%
無回答	29名	6.4%	1,215名	6.3%



世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人の就業状況

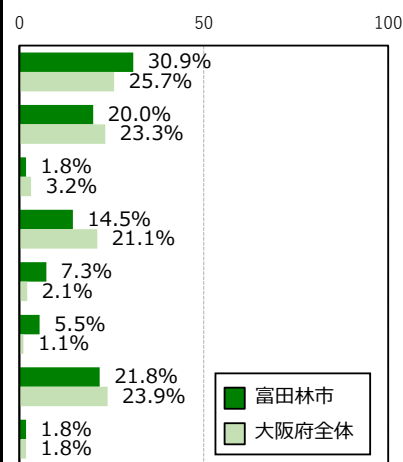
保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が30.9%で最も多く、次いで「仕事を探していない」が21.8%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が20.0%、「自営業・家業」が14.5%となっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が30.0%（9名）で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が23.3%（7名）、「仕事を探していない」が16.7%（5名）となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が33.3%（7名）で最も多く、次いで「仕事を探していない」が23.8%（5名）、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」と「自営業・家業」がそれぞれ19.0%（4名）となっている。

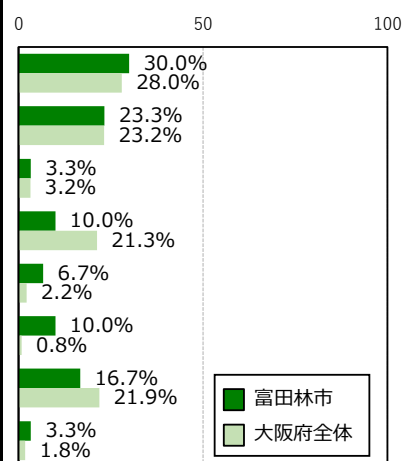
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	55名	100.0%	1,611名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	17名	30.9%	414名	25.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	11名	20.0%	375名	23.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	1名	1.8%	51名	3.2%
自営業・家業	8名	14.5%	340名	21.1%
その他の就業形態	4名	7.3%	34名	2.1%
仕事を探している	3名	5.5%	18名	1.1%
仕事を探していない	12名	21.8%	385名	23.9%
無回答	1名	1.8%	29名	1.8%



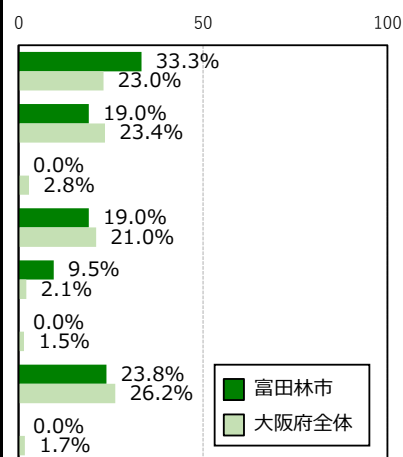
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	30名	100.0%	854名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	9名	30.0%	239名	28.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	7名	23.3%	198名	23.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	1名	3.3%	27名	3.2%
自営業・家業	3名	10.0%	182名	21.3%
その他の就業形態	2名	6.7%	19名	2.2%
仕事を探している	3名	10.0%	7名	0.8%
仕事を探していない	5名	16.7%	187名	21.9%
無回答	1名	3.3%	15名	1.8%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	21名	100.0%	718名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	7名	33.3%	165名	23.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	4名	19.0%	168名	23.4%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	-	-	20名	2.8%
自営業・家業	4名	19.0%	151名	21.0%
その他の就業形態	2名	9.5%	15名	2.1%
仕事を探している	-	-	11名	1.5%
仕事を探していない	5名	23.8%	188名	26.2%
無回答	-	-	12名	1.7%



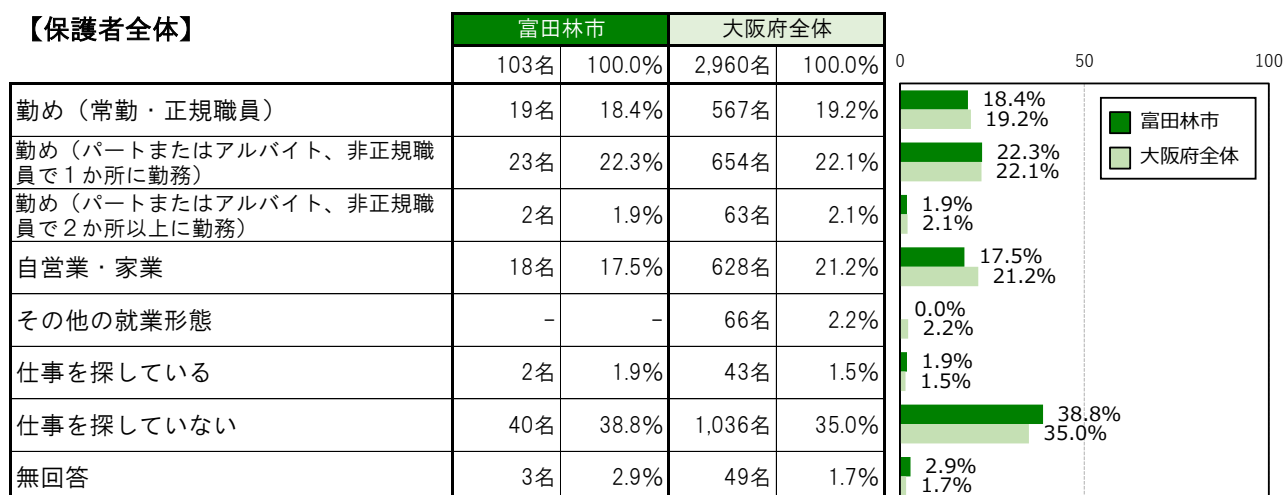
●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」は12.5ポイント高く、「仕事を探していない」が17.0ポイント低くなっている。

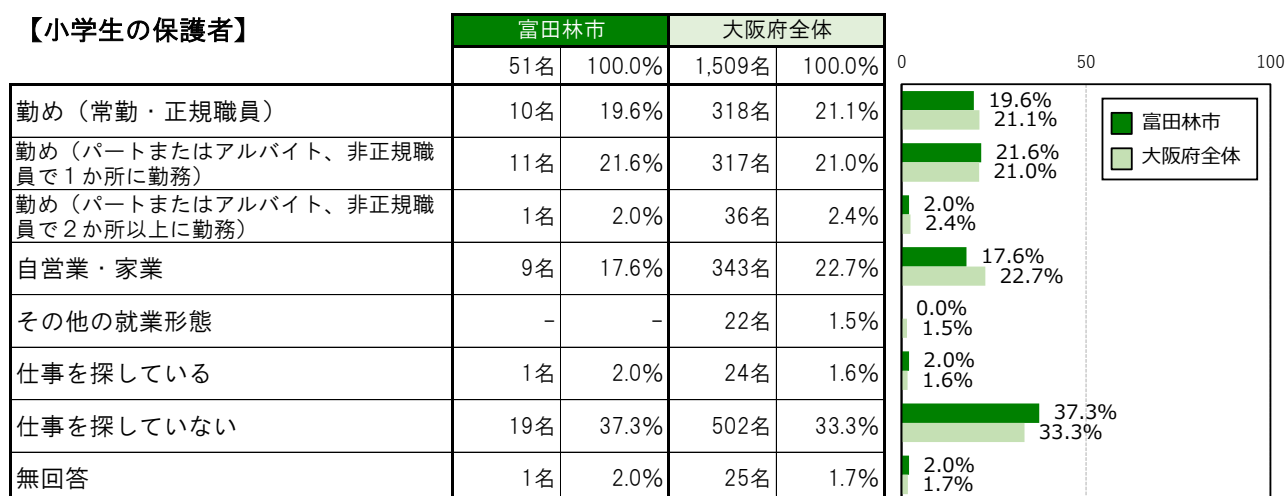
小学生の保護者は、「仕事を探していない」は20.6ポイント低くなっている。

中学生の保護者は、「仕事を探していない」は16.6ポイント低くなっている。

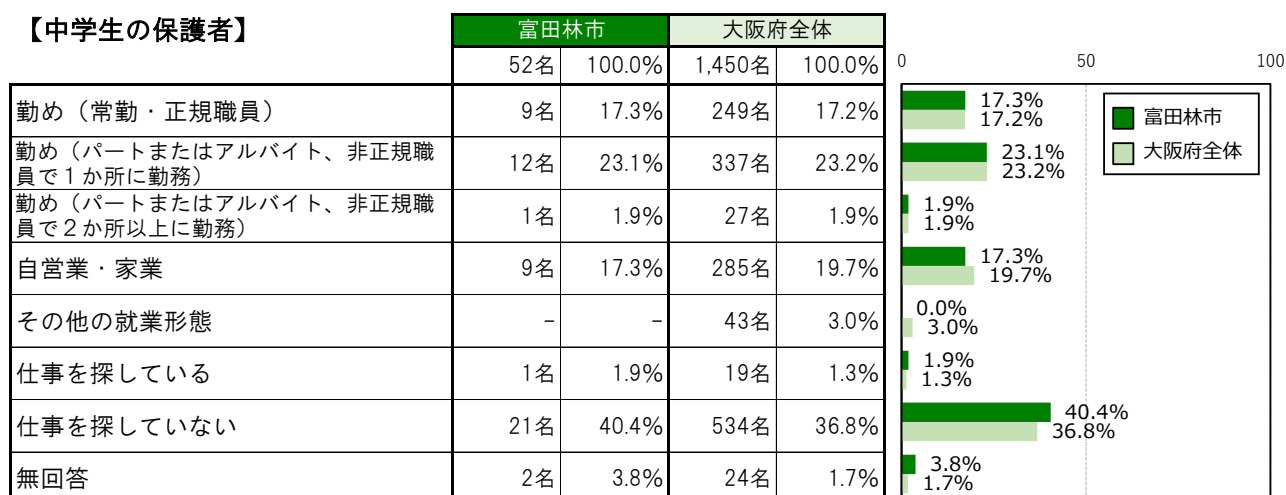
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

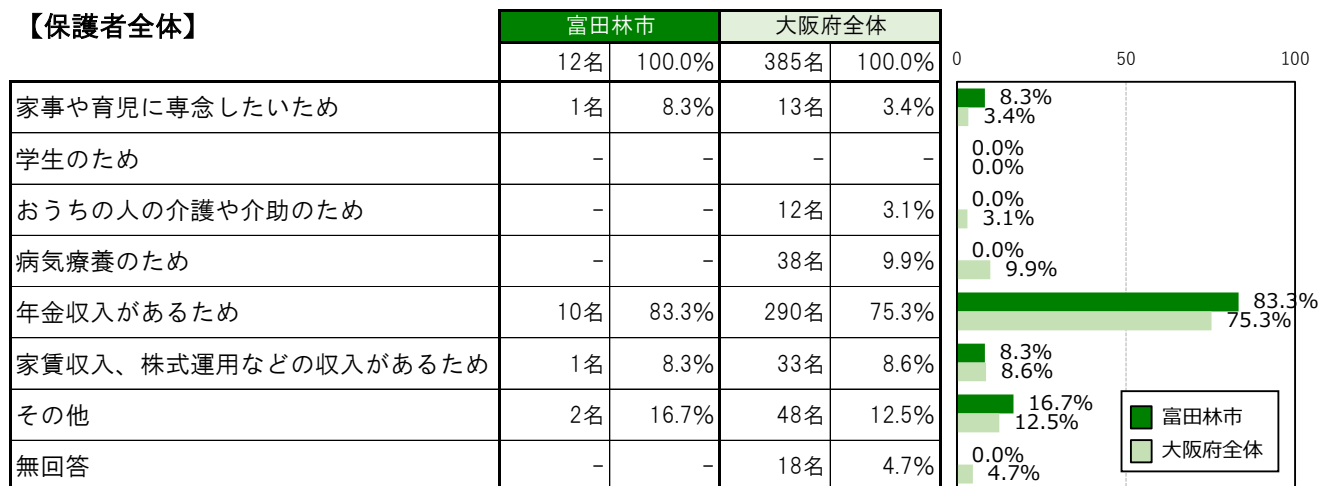
問9 親以外に主として家計を支えている人が仕事を探していない理由

保護者全体は、「年金収入があるため」が83.3%（10名）で最も多く、次いで「家事や育児に専念したいため」と「家賃収入、株式運用などの収入があるため」がそれぞれ8.3%（1名）となっている。

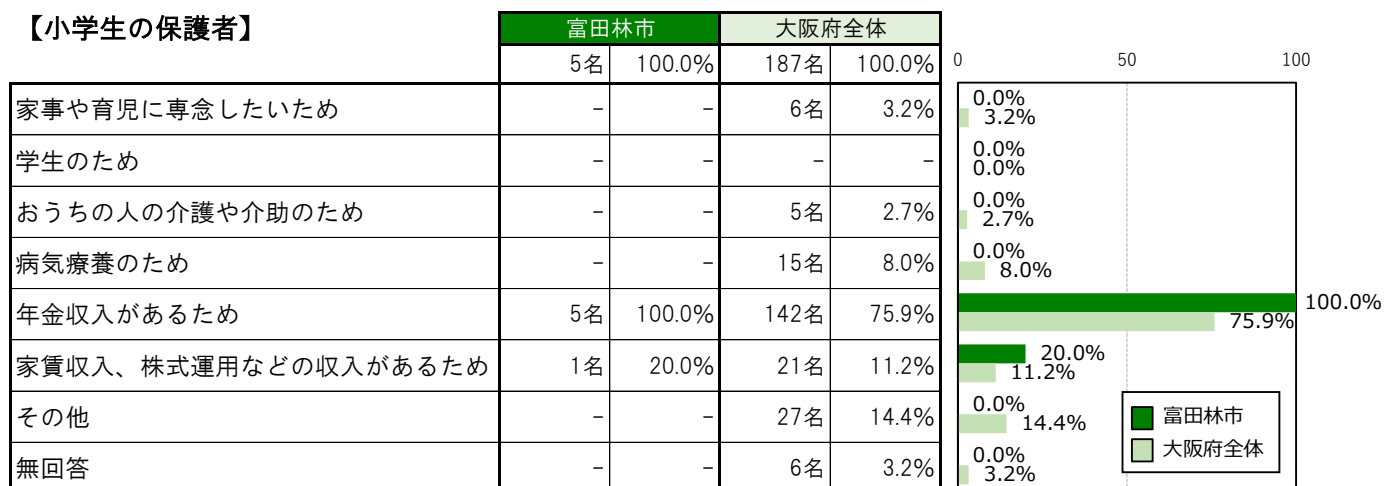
小学生の保護者は、「年金収入があるため」が100.0%（5名）で最も多く、次いで「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が20.0%（1名）となっている。

中学生の保護者は、「年金収入があるため」が80.0%（4名）で最も多く、次いで「家事や育児に専念したいため」が20.0%（1名）となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問10 保護者が家にいる時間帯

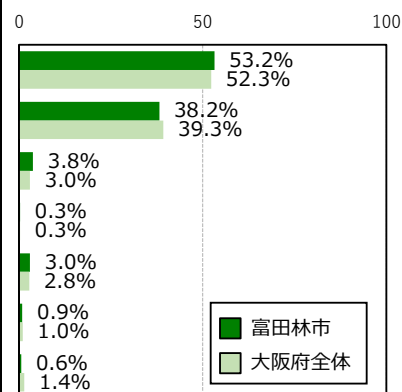
保護者全体は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が53.2%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が38.2%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.8%、「帰宅時間が決まっていない」が3.0%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が56.1%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が35.4%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.5%、「帰宅時間が決まっていない」が2.8%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が50.0%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が40.9%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が4.4%、「帰宅時間が決まっていない」が3.3%となっている。

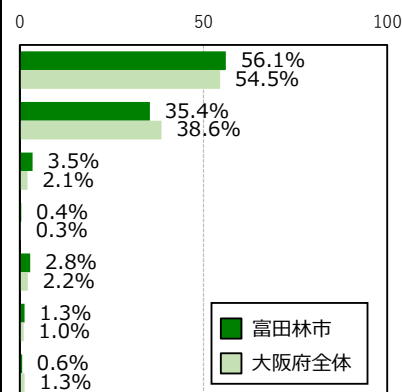
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	560名	53.2%	22,638名	52.3%
お子さんの夕食時間には家にいる	402名	38.2%	17,029名	39.3%
お子さんの寝る時間には家にいる	40名	3.8%	1,283名	3.0%
お子さんが寝た後に帰ってくる	3名	0.3%	129名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	32名	3.0%	1,212名	2.8%
その他	10名	0.9%	416名	1.0%
無回答	6名	0.6%	593名	1.4%



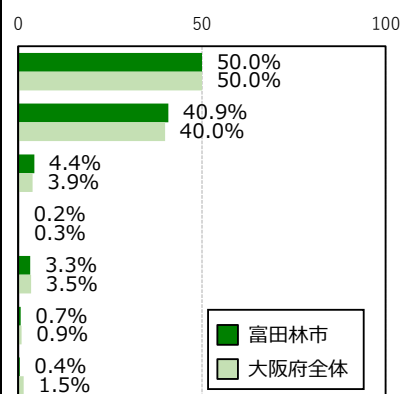
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	303名	56.1%	12,408名	54.5%
お子さんの夕食時間には家にいる	191名	35.4%	8,796名	38.6%
お子さんの寝る時間には家にいる	19名	3.5%	489名	2.1%
お子さんが寝た後に帰ってくる	2名	0.4%	66名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	15名	2.8%	505名	2.2%
その他	7名	1.3%	222名	1.0%
無回答	3名	0.6%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	226名	50.0%	9,674名	50.0%
お子さんの夕食時間には家にいる	185名	40.9%	7,739名	40.0%
お子さんの寝る時間には家にいる	20名	4.4%	747名	3.9%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.2%	61名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	15名	3.3%	676名	3.5%
その他	3名	0.7%	182名	0.9%
無回答	2名	0.4%	286名	1.5%



世帯の状況について

問11 日本語以外の言語の使用状況

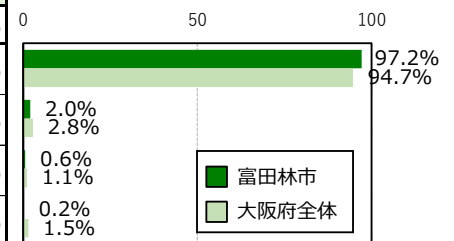
保護者全体は、「日本語のみを使用している」が97.2%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.0%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.6%となっている。

小学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が96.1%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.8%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.7%となっている。

中学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が98.2%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.3%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.4%となっている。

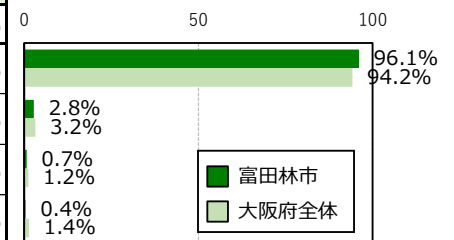
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
日本語のみを使用している	1,024名	97.2%	40,991名	94.7%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	21名	2.0%	1,201名	2.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	6名	0.6%	476名	1.1%
無回答	2名	0.2%	632名	1.5%



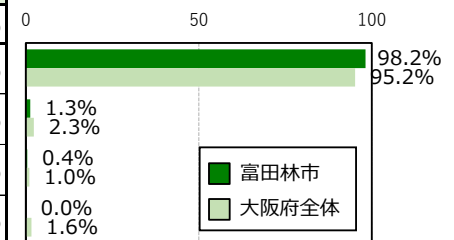
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
日本語のみを使用している	519名	96.1%	21,457名	94.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	15名	2.8%	729名	3.2%
日本語以外の言語を使うことが多い	4名	0.7%	280名	1.2%
無回答	2名	0.4%	320名	1.4%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
日本語のみを使用している	444名	98.2%	18,426名	95.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	6名	1.3%	446名	2.3%
日本語以外の言語を使うことが多い	2名	0.4%	188名	1.0%
無回答	-	-	305名	1.6%



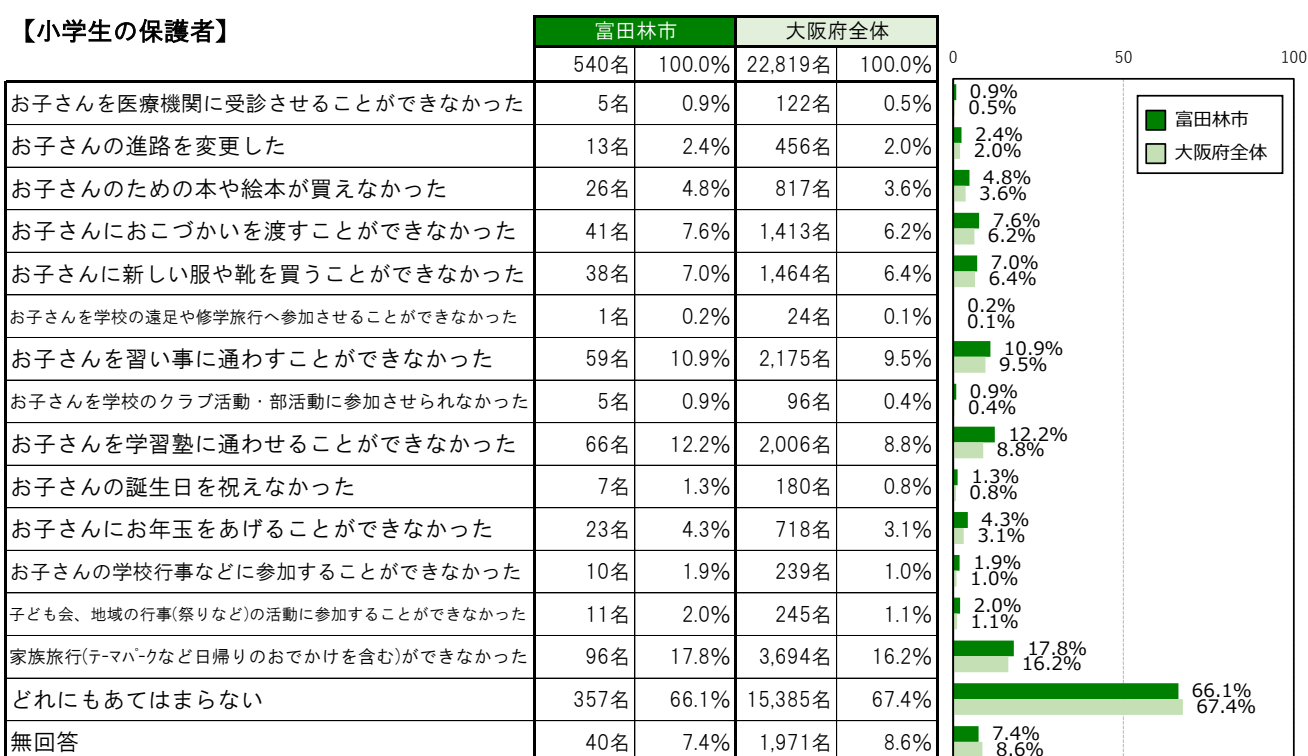
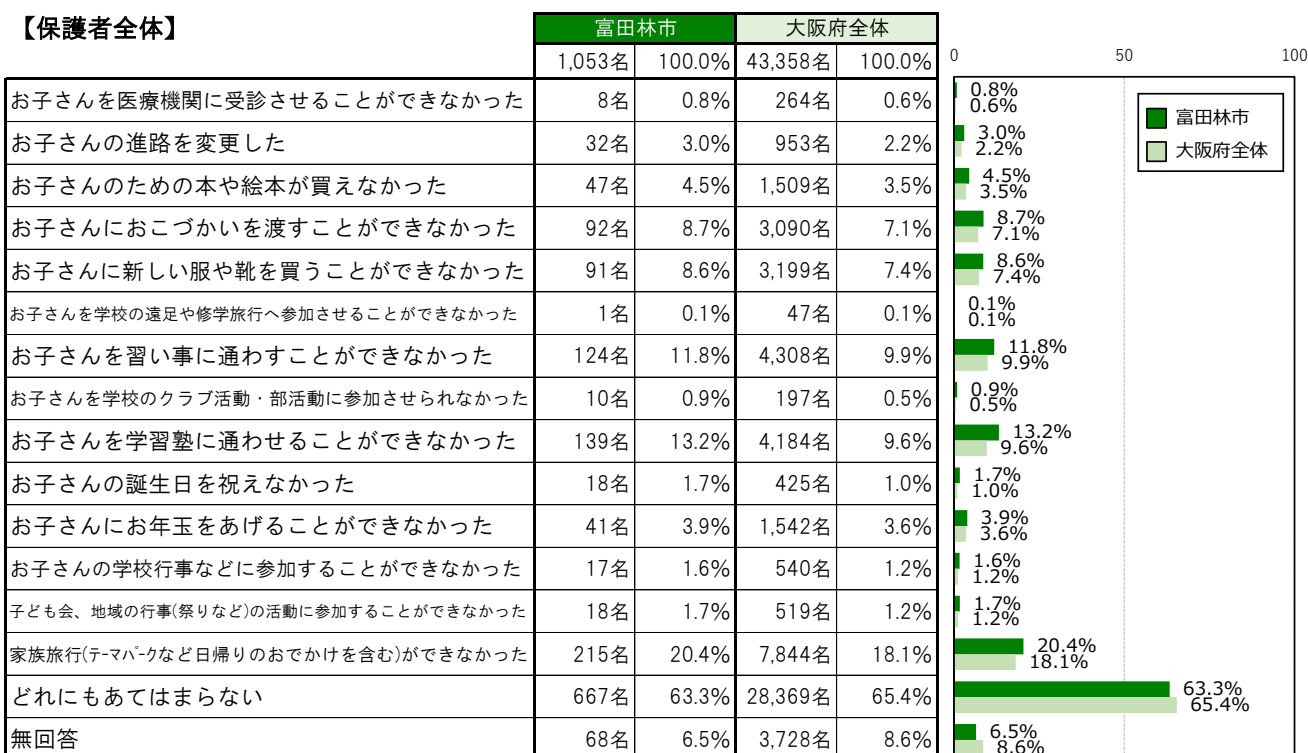
子どもに関することについて

問12 経済的な理由による子どもに関する経験

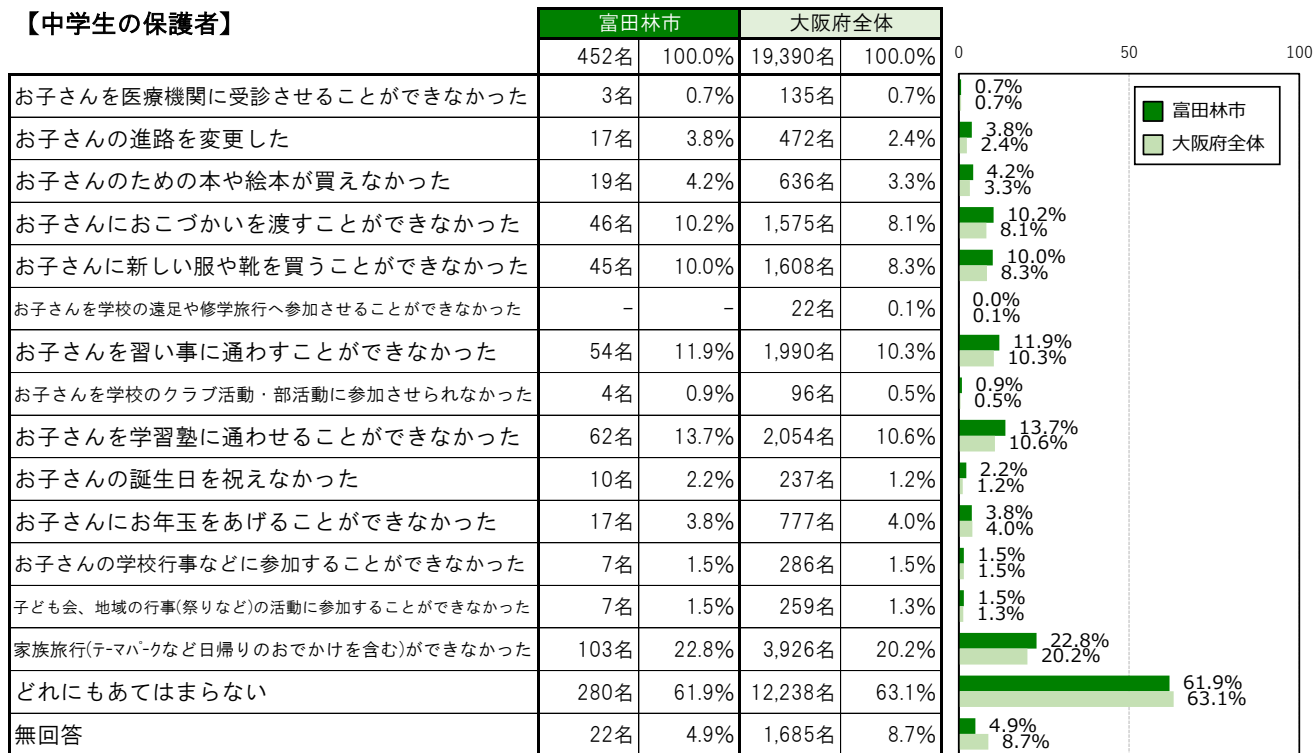
保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が63.3%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が20.4%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が13.2%、「お子さんを習い事に通わせることができなかった」が11.8%となっている。

小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が66.1%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が17.8%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が12.2%、「お子さんを習い事に通わせることができなかった」が10.9%となっている。

中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が61.9%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が22.8%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が13.7%、「お子さんを習い事に通わせることができなかった」が11.9%となっている。

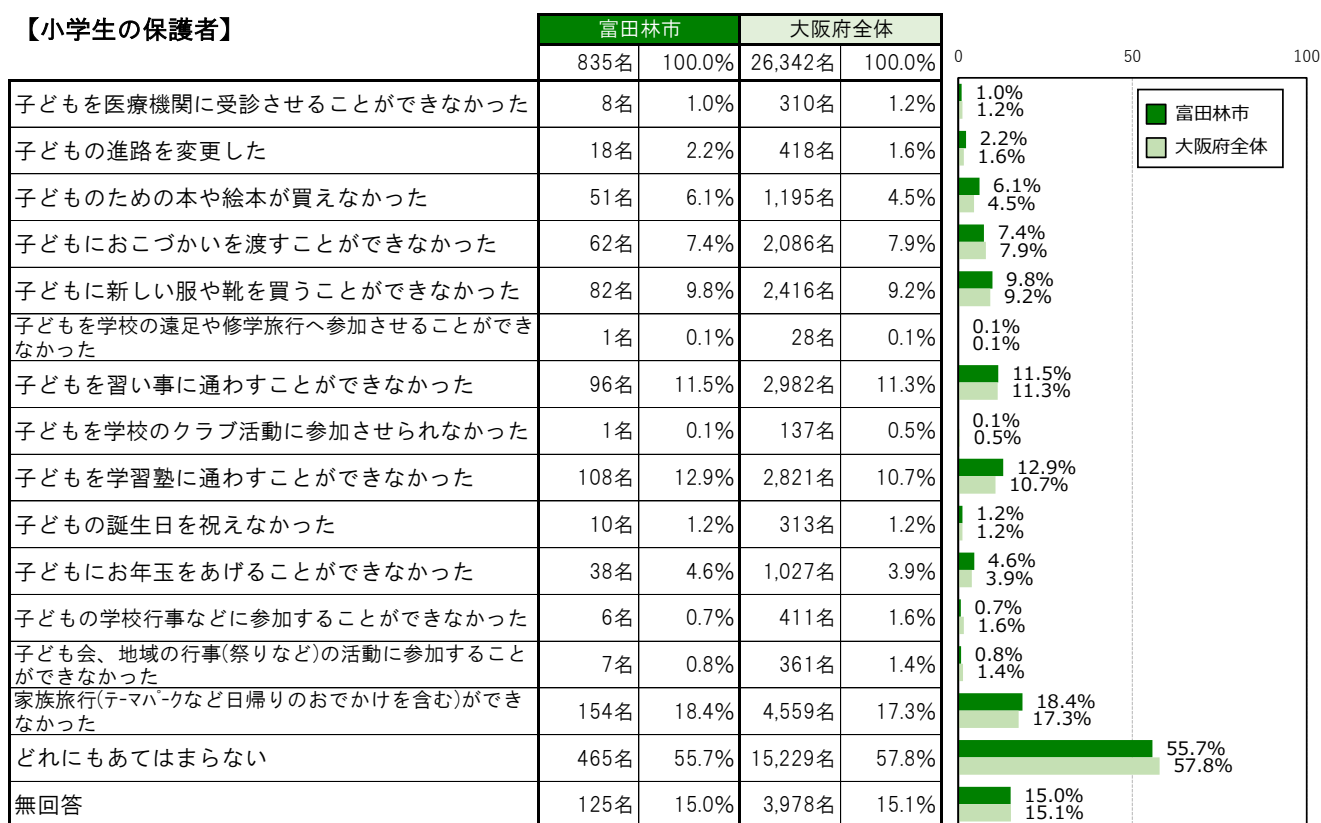
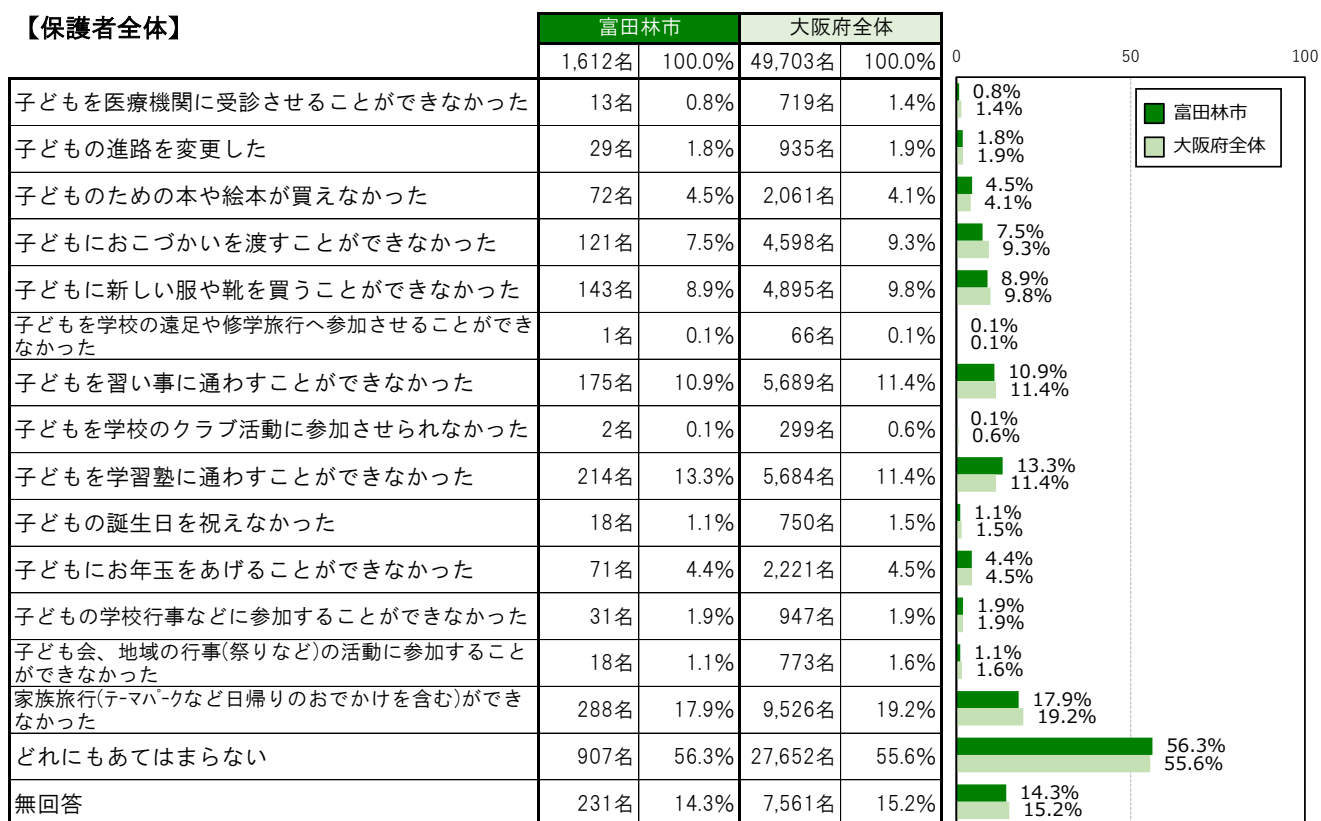


【中学生の保護者】

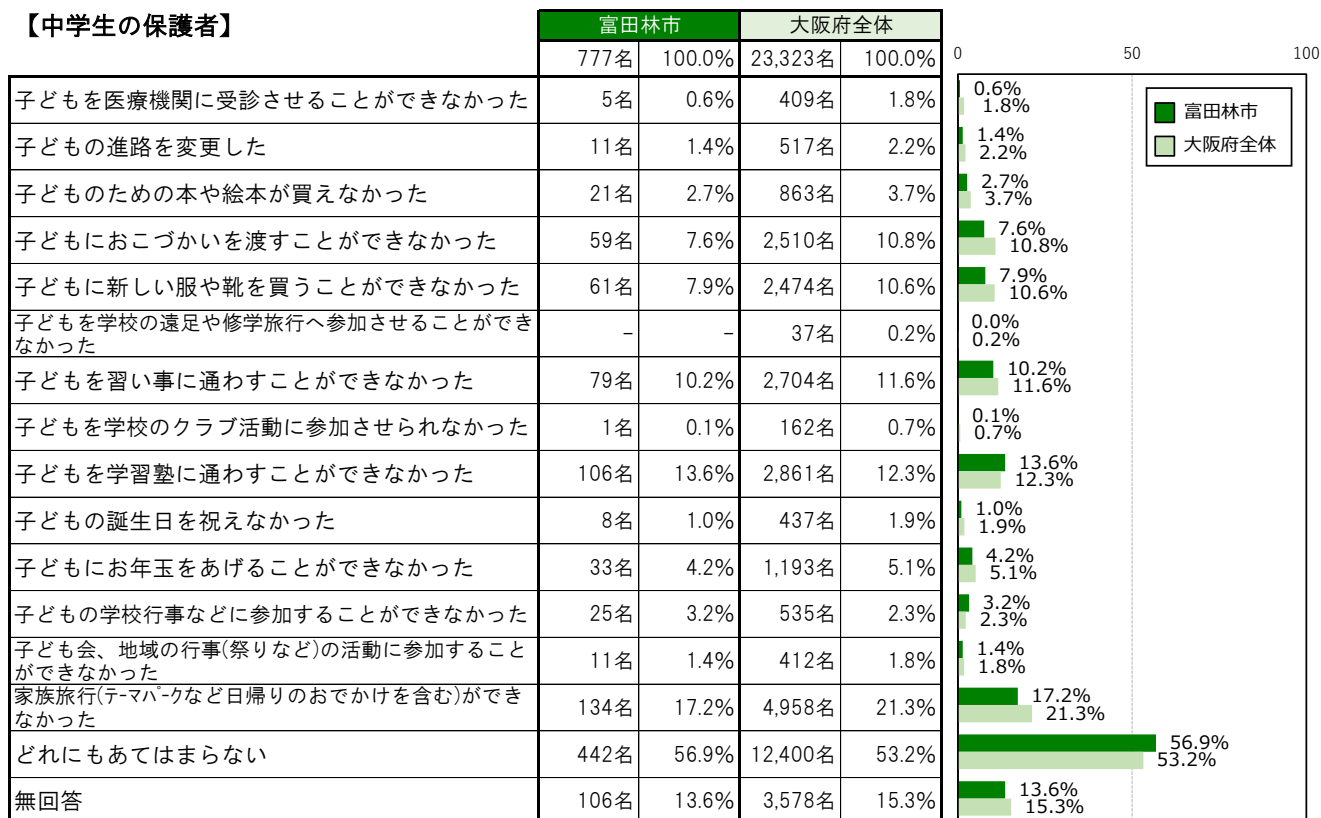


●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が7.0ポイント高くなっている。
 小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が10.4ポイント高くなっている。
 中学生の保護者は、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が5.6ポイント高くなっている。



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問13（１）子どもへの信頼度

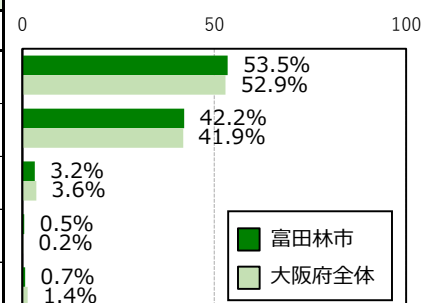
保護者全体は、「とても信頼している」が53.5%で最も多く、次いで「信頼している」が42.2%、「あまり信頼していない」が3.2%、「信頼していない」が0.5%となっている。

小学生の保護者は、「とても信頼している」が55.2%で最も多く、次いで「信頼している」が41.7%、「あまり信頼していない」が2.0%、「信頼していない」が0.4%となっている。

中学生の保護者は、「とても信頼している」が51.5%で最も多く、次いで「信頼している」が43.1%、「あまり信頼していない」が4.4%、「信頼していない」が0.4%となっている。

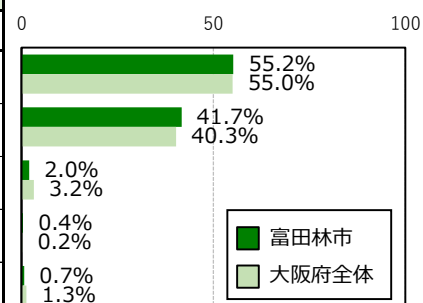
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,358名	100.0%
とても信頼している	563名	53.5%	22,948名	52.9%
信頼している	444名	42.2%	18,151名	41.9%
あまり信頼していない	34名	3.2%	1,566名	3.6%
信頼していない	5名	0.5%	101名	0.2%
無回答	7名	0.7%	592名	1.4%



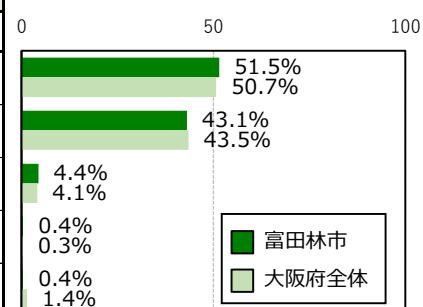
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,819名	100.0%
とても信頼している	298名	55.2%	12,553名	55.0%
信頼している	225名	41.7%	9,191名	40.3%
あまり信頼していない	11名	2.0%	720名	3.2%
信頼していない	2名	0.4%	48名	0.2%
無回答	4名	0.7%	307名	1.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,390名	100.0%
とても信頼している	233名	51.5%	9,835名	50.7%
信頼している	195名	43.1%	8,429名	43.5%
あまり信頼していない	20名	4.4%	796名	4.1%
信頼していない	2名	0.4%	50名	0.3%
無回答	2名	0.4%	280名	1.4%



子どもに関することについて

問13（２）子どもとの会話頻度

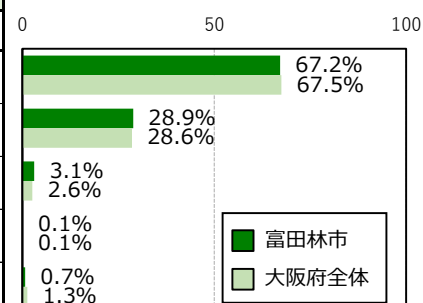
保護者全体は、「よくする」が67.2%で最も多く、次いで「する」が28.9%、「あまりしない」が3.1%となっている。

小学生の保護者は、「よくする」が71.9%で最も多く、次いで「する」が25.7%、「あまりしない」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「よくする」が62.2%で最も多く、次いで「する」が33.2%、「あまりしない」が3.8%となっている。

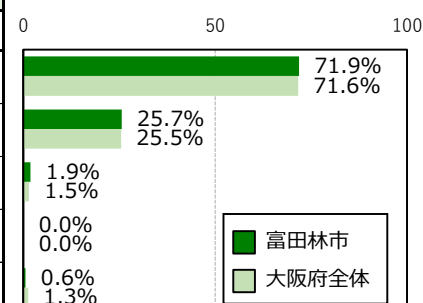
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,358名	100.0%
よくする	708名	67.2%	29,262名	67.5%
する	304名	28.9%	12,391名	28.6%
あまりしない	33名	3.1%	1,110名	2.6%
しない	1名	0.1%	30名	0.1%
無回答	7名	0.7%	565名	1.3%



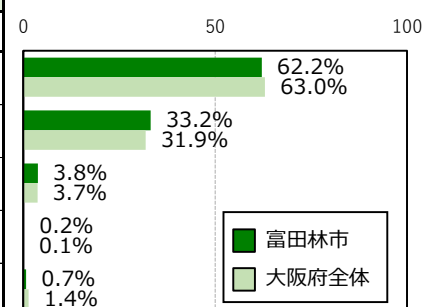
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,819名	100.0%
よくする	388名	71.9%	16,345名	71.6%
する	139名	25.7%	5,827名	25.5%
あまりしない	10名	1.9%	337名	1.5%
しない	-	-	10名	0.0%
無回答	3名	0.6%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,390名	100.0%
よくする	281名	62.2%	12,214名	63.0%
する	150名	33.2%	6,176名	31.9%
あまりしない	17名	3.8%	719名	3.7%
しない	1名	0.2%	19名	0.1%
無回答	3名	0.7%	262名	1.4%



子どもに関することについて

問13（３）平日での子どもとの関わり時間

保護者全体は、「１時間～２時間未満」が27.1%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が20.5%、「２時間～３時間未満」が16.7%、「４時間以上」が11.3%となっている。

小学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が26.3%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が18.1%、「２時間～３時間未満」が16.3%、「４時間以上」が13.5%となっている。

中学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が28.5%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が21.9%、「２時間～３時間未満」が18.1%、「15分～30分未満」が10.0%となっている。

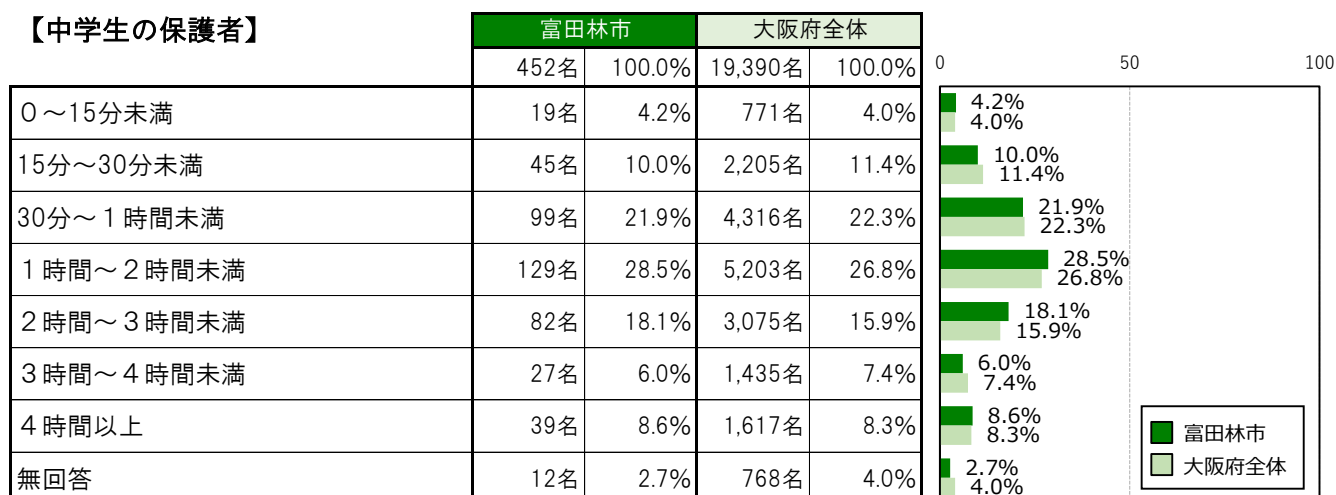
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問13（３）休日での子どもとの関わり時間

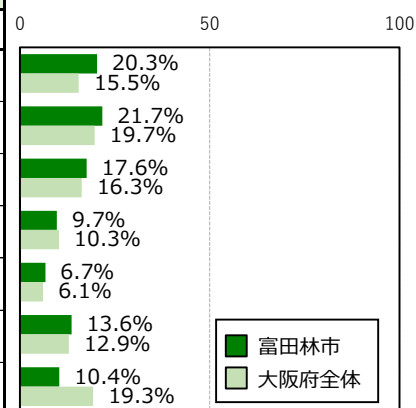
保護者全体は、「２時間～４時間未満」が21.7%で最も多く、次いで「２時間未満」が20.3%、「４時間～６時間未満」が17.6%、「10時間以上」が13.6%となっている。

小学生の保護者は、「10時間以上」が19.4%で最も多く、次いで「２時間～４時間未満」が18.9%、「４時間～６時間未満」が17.0%、「２時間未満」が16.5%となっている。

中学生の保護者は、「２時間～４時間未満」が25.9%で最も多く、次いで「２時間未満」が23.7%、「４時間～６時間未満」が18.4%、「６時間～８時間未満」が7.5%となっている。

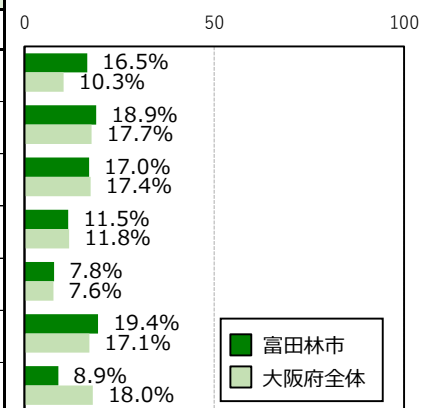
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,358名	100.0%
２時間未満	214名	20.3%	6,723名	15.5%
２時間～４時間未満	228名	21.7%	8,521名	19.7%
４時間～６時間未満	185名	17.6%	7,050名	16.3%
６時間～８時間未満	102名	9.7%	4,454名	10.3%
８時間～10時間未満	71名	6.7%	2,659名	6.1%
10時間以上	143名	13.6%	5,577名	12.9%
無回答	110名	10.4%	8,374名	19.3%



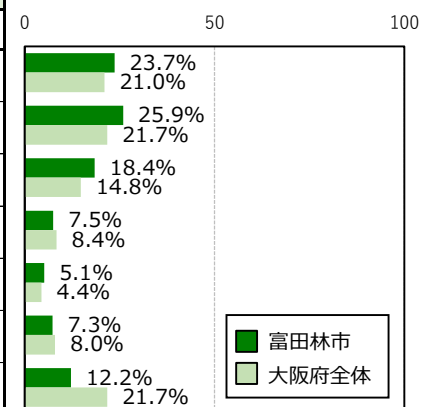
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,819名	100.0%
２時間未満	89名	16.5%	2,357名	10.3%
２時間～４時間未満	102名	18.9%	4,031名	17.7%
４時間～６時間未満	92名	17.0%	3,977名	17.4%
６時間～８時間未満	62名	11.5%	2,700名	11.8%
８時間～10時間未満	42名	7.8%	1,740名	7.6%
10時間以上	105名	19.4%	3,896名	17.1%
無回答	48名	8.9%	4,118名	18.0%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,390名	100.0%
２時間未満	107名	23.7%	4,070名	21.0%
２時間～４時間未満	117名	25.9%	4,216名	21.7%
４時間～６時間未満	83名	18.4%	2,876名	14.8%
６時間～８時間未満	34名	7.5%	1,632名	8.4%
８時間～10時間未満	23名	5.1%	845名	4.4%
10時間以上	33名	7.3%	1,542名	8.0%
無回答	55名	12.2%	4,209名	21.7%



子どもに関することについて

問13（４）子どもの将来への期待度

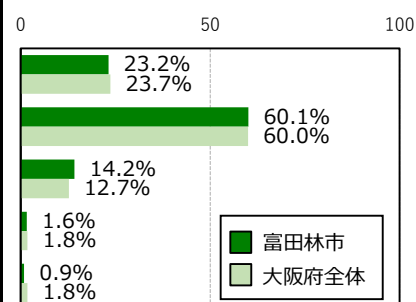
保護者全体は、「期待している」が60.1%で最も多く、次いで「とても期待している」が23.2%、「あまり期待していない」が14.2%、「期待していない」が1.6%となっている。

小学生の保護者は、「期待している」が60.9%で最も多く、次いで「とても期待している」が24.3%、「あまり期待していない」が12.6%、「期待していない」が1.5%となっている。

中学生の保護者は、「期待している」が59.7%で最も多く、次いで「とても期待している」が22.8%、「あまり期待していない」が14.6%、「期待していない」が2.0%となっている。

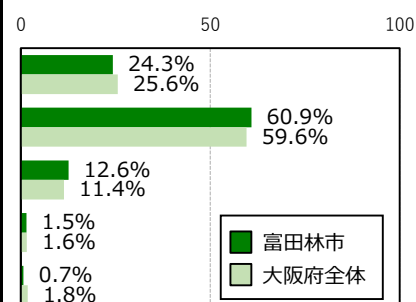
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,358名	100.0%
とても期待している	244名	23.2%	10,264名	23.7%
期待している	633名	60.1%	26,035名	60.0%
あまり期待していない	150名	14.2%	5,485名	12.7%
期待していない	17名	1.6%	779名	1.8%
無回答	9名	0.9%	795名	1.8%



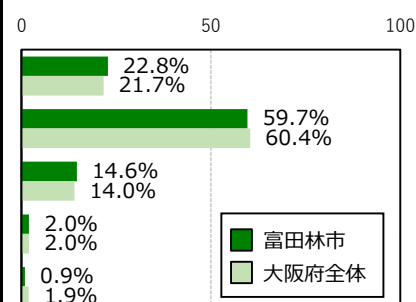
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,819名	100.0%
とても期待している	131名	24.3%	5,831名	25.6%
期待している	329名	60.9%	13,610名	59.6%
あまり期待していない	68名	12.6%	2,603名	11.4%
期待していない	8名	1.5%	363名	1.6%
無回答	4名	0.7%	412名	1.8%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,390名	100.0%
とても期待している	103名	22.8%	4,207名	21.7%
期待している	270名	59.7%	11,704名	60.4%
あまり期待していない	66名	14.6%	2,717名	14.0%
期待していない	9名	2.0%	388名	2.0%
無回答	4名	0.9%	374名	1.9%



子どもに関することについて

問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況

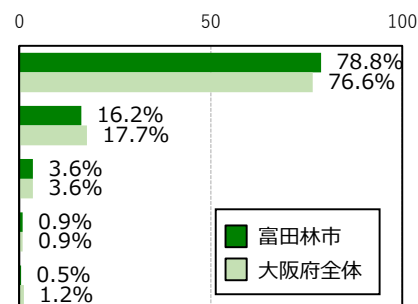
保護者全体は、「よく参加している」が78.8%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が16.2%、「あまり参加していない」が3.6%となっている。

小学生の保護者は、「よく参加している」が87.6%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が10.7%、「あまり参加していない」が1.1%となっている。

中学生の保護者は、「よく参加している」が69.7%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が22.3%、「あまり参加していない」が6.2%となっている。

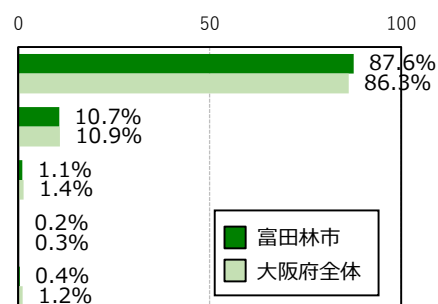
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,358名	100.0%
よく参加している	830名	78.8%	33,215名	76.6%
ときどき参加している	171名	16.2%	7,691名	17.7%
あまり参加していない	38名	3.6%	1,550名	3.6%
まったく参加していない	9名	0.9%	376名	0.9%
無回答	5名	0.5%	526名	1.2%



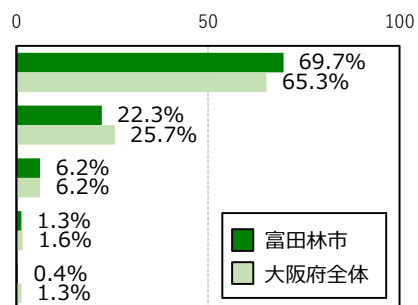
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,819名	100.0%
よく参加している	473名	87.6%	19,697名	86.3%
ときどき参加している	58名	10.7%	2,477名	10.9%
あまり参加していない	6名	1.1%	309名	1.4%
まったく参加していない	1名	0.2%	58名	0.3%
無回答	2名	0.4%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,390名	100.0%
よく参加している	315名	69.7%	12,665名	65.3%
ときどき参加している	101名	22.3%	4,975名	25.7%
あまり参加していない	28名	6.2%	1,202名	6.2%
まったく参加していない	6名	1.3%	304名	1.6%
無回答	2名	0.4%	244名	1.3%



子どもに関することについて

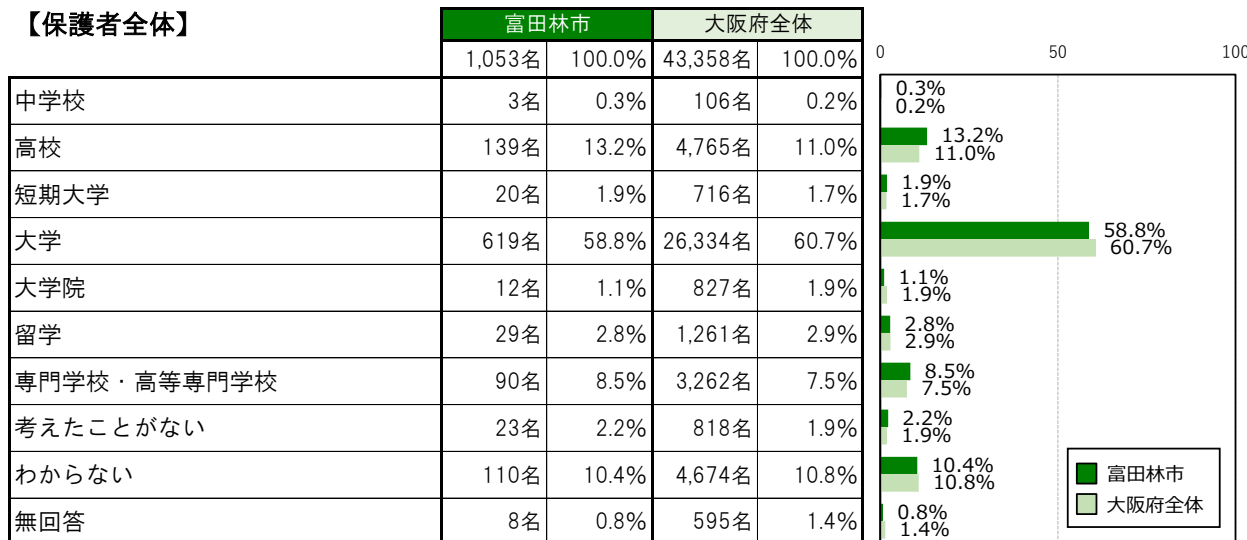
問14 子どもに希望する進学

保護者全体は、「大学」が58.8%で最も多く、次いで「高校」が13.2%、「専門学校・高等専門学校」が8.5%、「留学」が2.8%となっている。

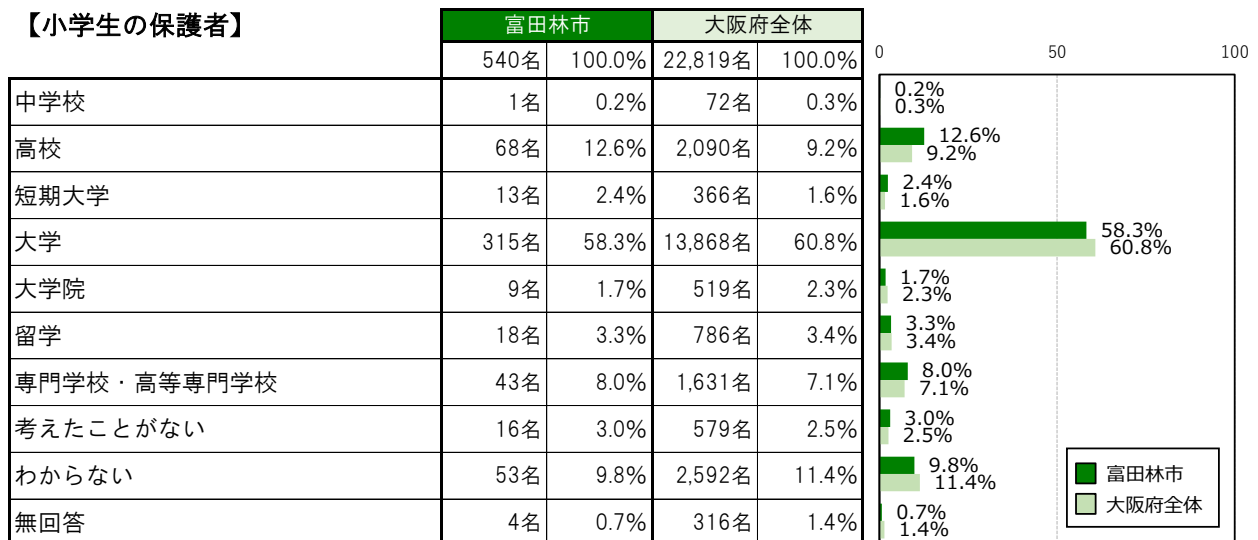
小学生の保護者は、「大学」が58.3%で最も多く、次いで「高校」が12.6%、「専門学校・高等専門学校」が8.0%、「留学」が3.3%となっている。

中学生の保護者は、「大学」が61.5%で最も多く、次いで「高校」が13.1%、「専門学校・高等専門学校」が8.0%、「留学」が2.0%となっている。

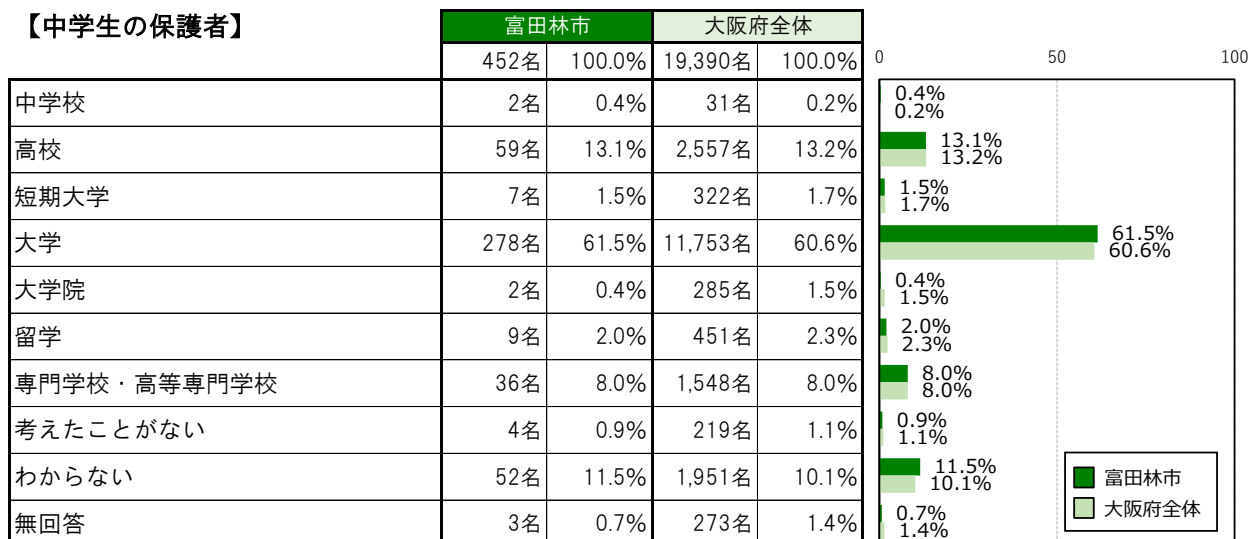
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問15 子どもの通学状況

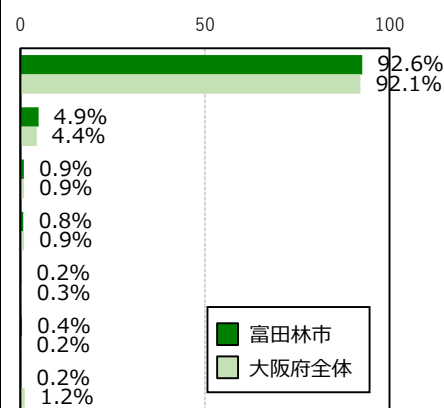
保護者全体は、「ほぼ毎日通っている」が92.6%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.9%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が0.9%となっている。

小学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が95.4%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が3.3%となっている。

中学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が90.7%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が5.5%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が2.0%となっている。

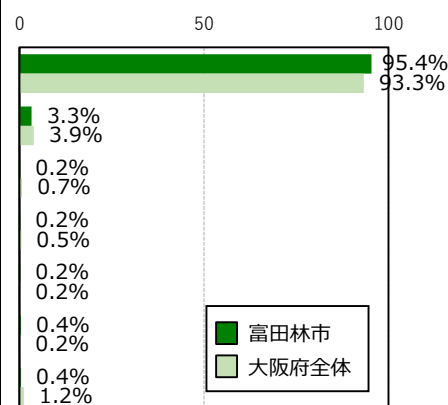
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,358名	100.0%
ほぼ毎日通っている	975名	92.6%	39,916名	92.1%
欠席は年間30日未満である	52名	4.9%	1,900名	4.4%
欠席が年間30日以上、60日未満である	10名	0.9%	406名	0.9%
欠席が年間60日以上、1年未満である	8名	0.8%	379名	0.9%
欠席が1年以上続いている	2名	0.2%	127名	0.3%
わからない	4名	0.4%	108名	0.2%
無回答	2名	0.2%	522名	1.2%



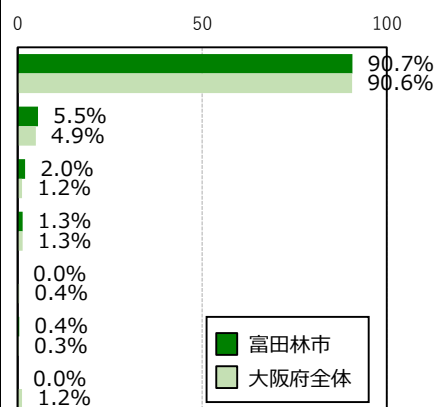
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,819名	100.0%
ほぼ毎日通っている	515名	95.4%	21,301名	93.3%
欠席は年間30日未満である	18名	3.3%	895名	3.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	1名	0.2%	158名	0.7%
欠席が年間60日以上、1年未満である	1名	0.2%	107名	0.5%
欠席が1年以上続いている	1名	0.2%	36名	0.2%
わからない	2名	0.4%	44名	0.2%
無回答	2名	0.4%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

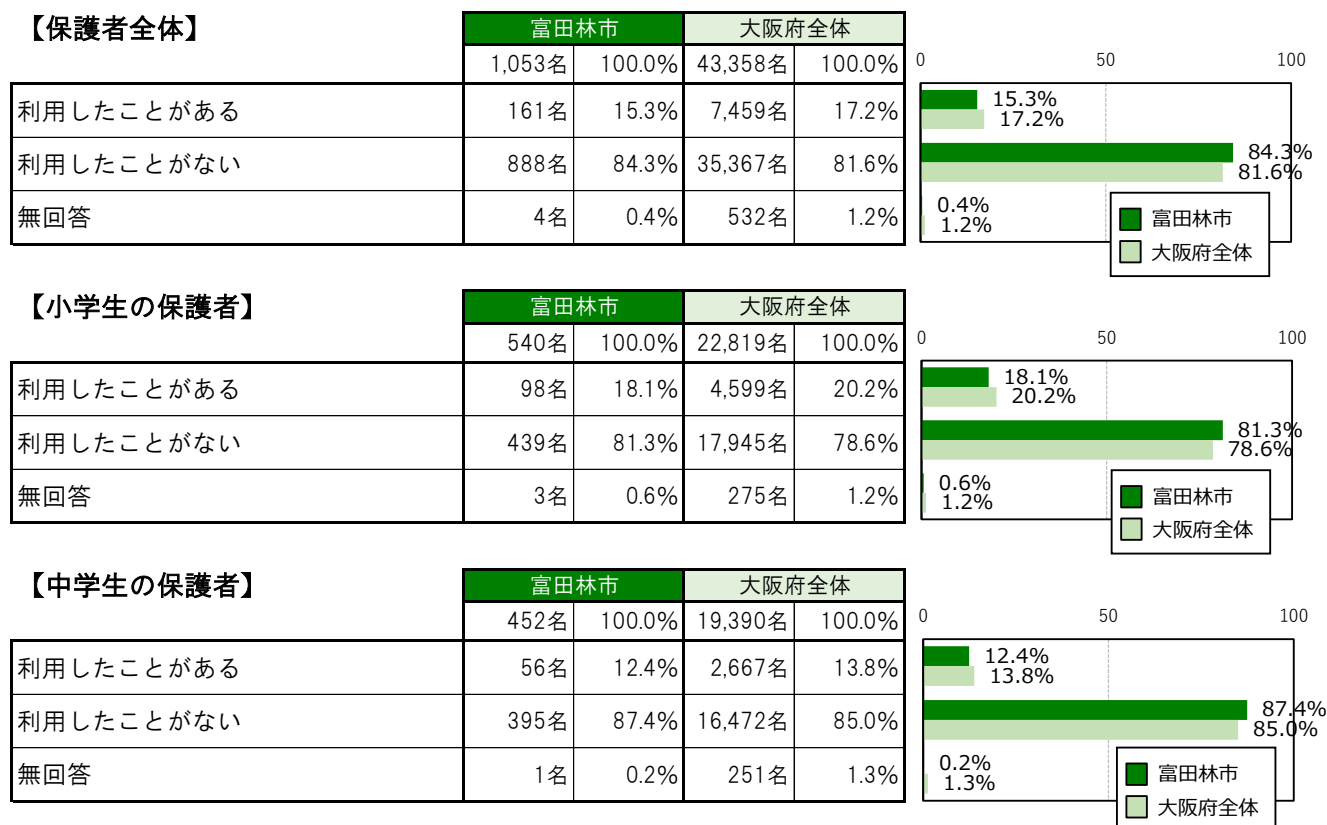
	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,390名	100.0%
ほぼ毎日通っている	410名	90.7%	17,568名	90.6%
欠席は年間30日未満である	25名	5.5%	945名	4.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	9名	2.0%	232名	1.2%
欠席が年間60日以上、1年未満である	6名	1.3%	257名	1.3%
欠席が1年以上続いている	-	-	86名	0.4%
わからない	2名	0.4%	62名	0.3%
無回答	-	-	240名	1.2%



子どもに関することについて

問16（１）子どもの居場所の利用経験

保護者全体は、「利用したことがある」が15.3%、「利用したことがない」が84.3%となっている。
 小学生の保護者は、「利用したことがある」が18.1%、「利用したことがない」が81.3%となっている。
 中学生の保護者は、「利用したことがある」が12.4%、「利用したことがない」が87.4%となっている。



子どもに関することについて

問16（2）子どもの居場所を利用することで良いと思うこと

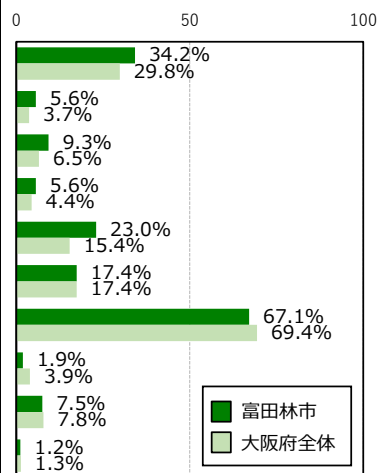
保護者全体は、「お子さんが楽しんでいるから」が67.1%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が34.2%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が23.0%、「宿題など勉強を見てくれるから」が17.4%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が78.6%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が37.8%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が26.5%、「宿題など勉強を見てくれるから」が13.3%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が51.8%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が28.6%、「宿題など勉強を見てくれるから」が23.2%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が19.6%となっている。

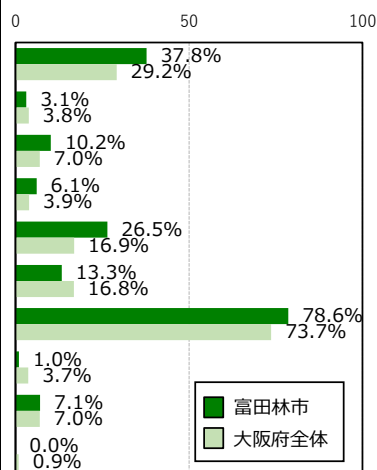
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	161名	100.0%	7,459名	100.0%
地域の人とつながれるから	55名	34.2%	2,226名	29.8%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	9名	5.6%	275名	3.7%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	15名	9.3%	484名	6.5%
運営者が相談に乗ってくれるから	9名	5.6%	329名	4.4%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	37名	23.0%	1,152名	15.4%
宿題など勉強を見てくれるから	28名	17.4%	1,301名	17.4%
お子さんが楽しんでいるから	108名	67.1%	5,178名	69.4%
特になし	3名	1.9%	291名	3.9%
その他	12名	7.5%	579名	7.8%
無回答	2名	1.2%	95名	1.3%



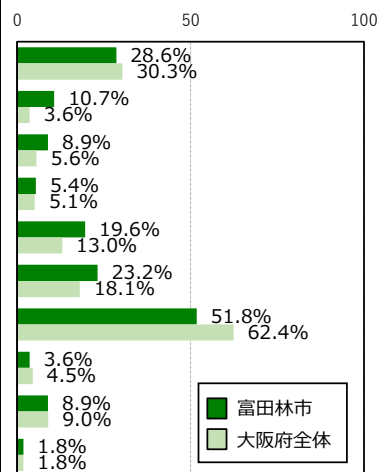
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	98名	100.0%	4,599名	100.0%
地域の人とつながれるから	37名	37.8%	1,344名	29.2%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	3名	3.1%	173名	3.8%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	10名	10.2%	322名	7.0%
運営者が相談に乗ってくれるから	6名	6.1%	180名	3.9%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	26名	26.5%	778名	16.9%
宿題など勉強を見てくれるから	13名	13.3%	773名	16.8%
お子さんが楽しんでいるから	77名	78.6%	3,388名	73.7%
特になし	1名	1.0%	168名	3.7%
その他	7名	7.1%	324名	7.0%
無回答	-	-	43名	0.9%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	56名	100.0%	2,667名	100.0%
地域の人とつながれるから	16名	28.6%	808名	30.3%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	6名	10.7%	97名	3.6%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	5名	8.9%	150名	5.6%
運営者が相談に乗ってくれるから	3名	5.4%	136名	5.1%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	11名	19.6%	348名	13.0%
宿題など勉強を見てくれるから	13名	23.2%	482名	18.1%
お子さんが楽しんでいるから	29名	51.8%	1,664名	62.4%
特になし	2名	3.6%	120名	4.5%
その他	5名	8.9%	241名	9.0%
無回答	1名	1.8%	47名	1.8%



子どもに関することについて

問16（3）子どもの居場所を利用しない理由

保護者全体は、「どこにあるか知らないから」が41.8%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が33.7%、「家の近く（小学校区内）にないから」が15.1%、「家で過ごしてほしいと思うから」が12.5%となっている。

小学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が42.6%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が28.7%、「家の近く（小学校区内）にないから」が16.6%、「家で過ごしてほしいと思うから」が13.7%となっている。

中学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が41.3%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が39.5%、「家の近く（小学校区内）にないから」が13.9%、「家で過ごしてほしいと思うから」が11.6%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

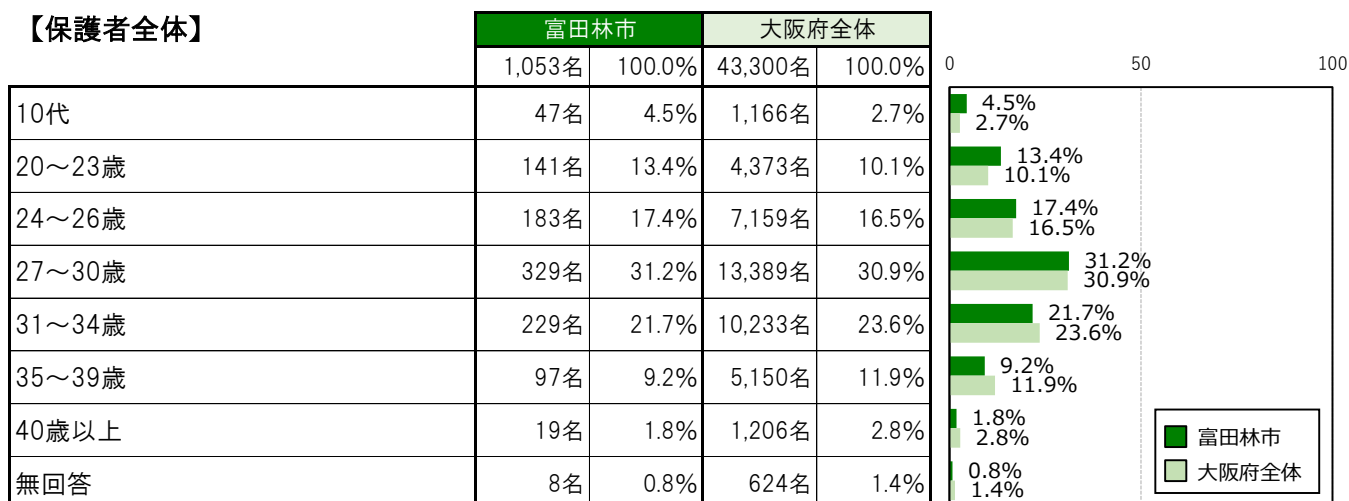
問17 初めて親となった年齢

保護者全体は、「27～30歳」が31.2%で最も多く、次いで「31～34歳」が21.7%、「24～26歳」が17.4%、「20～23歳」が13.4%となっている。

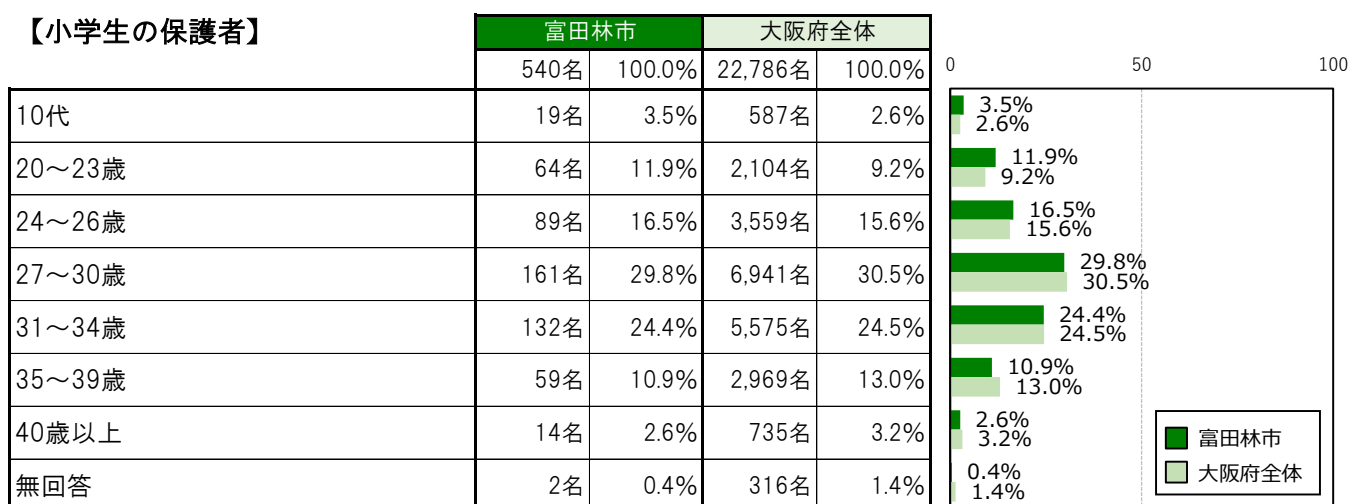
小学生の保護者は、「27～30歳」が29.8%で最も多く、次いで「31～34歳」が24.4%、「24～26歳」が16.5%、「20～23歳」が11.9%となっている。

中学生の保護者は、「27～30歳」が34.3%で最も多く、次いで「31～34歳」が18.8%、「24～26歳」が17.9%、「20～23歳」が14.4%となっている。

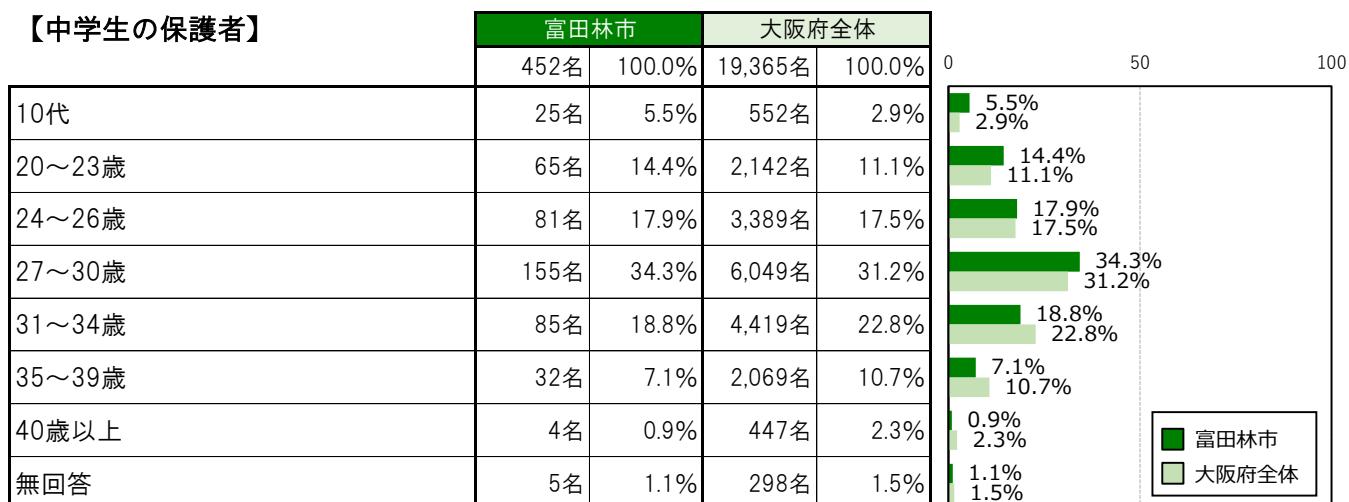
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

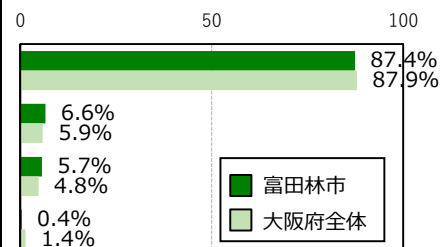
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

①心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者全体は、「いる」が87.4%、「いない」が6.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が88.5%、「いない」が5.7%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が86.3%、「いない」が7.3%となっている。

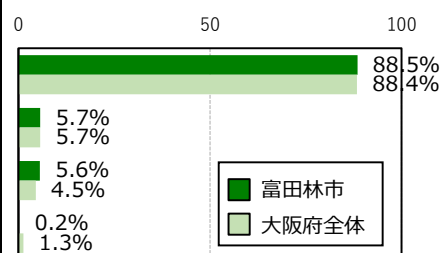
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	920名	87.4%	38,049名	87.9%
いない	69名	6.6%	2,548名	5.9%
わからない	60名	5.7%	2,099名	4.8%
無回答	4名	0.4%	604名	1.4%



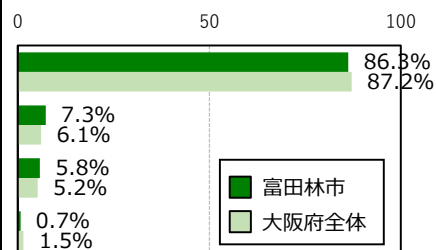
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	478名	88.5%	20,150名	88.4%
いない	31名	5.7%	1,304名	5.7%
わからない	30名	5.6%	1,026名	4.5%
無回答	1名	0.2%	306名	1.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	390名	86.3%	16,885名	87.2%
いない	33名	7.3%	1,173名	6.1%
わからない	26名	5.8%	1,016名	5.2%
無回答	3名	0.7%	291名	1.5%



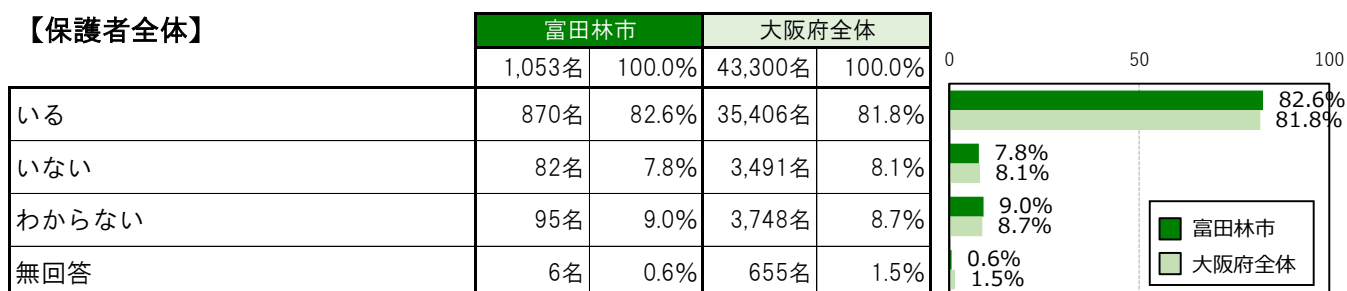
保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

②気持ちを察して思いやってくれる人

保護者全体は、「いる」が82.6%、「いない」が7.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が82.0%、「いない」が7.4%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が83.4%、「いない」が8.4%となっている。

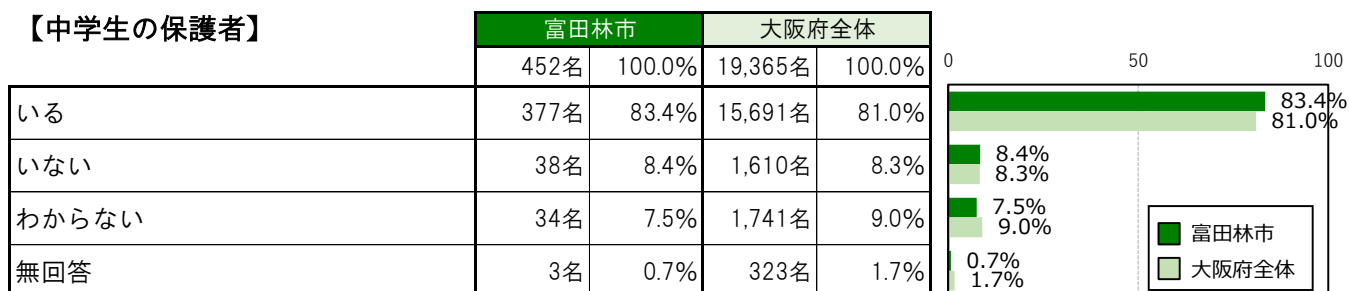
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

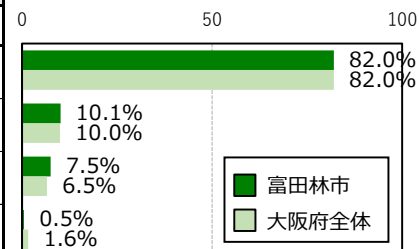
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者全体は、「いる」が82.0%、「いない」が10.1%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が82.6%、「いない」が9.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が82.3%、「いない」が9.5%となっている。

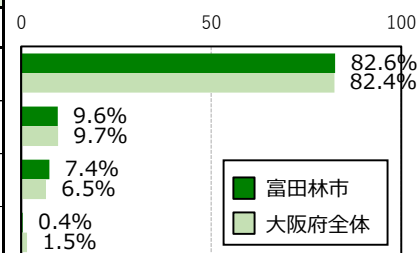
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	863名	82.0%	35,496名	82.0%
いない	106名	10.1%	4,317名	10.0%
わからない	79名	7.5%	2,806名	6.5%
無回答	5名	0.5%	681名	1.6%



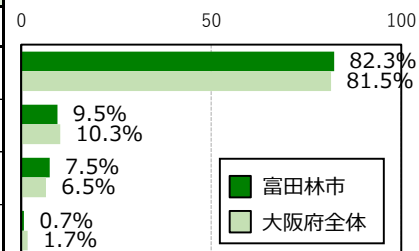
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	446名	82.6%	18,771名	82.4%
いない	52名	9.6%	2,201名	9.7%
わからない	40名	7.4%	1,474名	6.5%
無回答	2名	0.4%	340名	1.5%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	372名	82.3%	15,782名	81.5%
いない	43名	9.5%	1,990名	10.3%
わからない	34名	7.5%	1,259名	6.5%
無回答	3名	0.7%	334名	1.7%



保護者のことについて

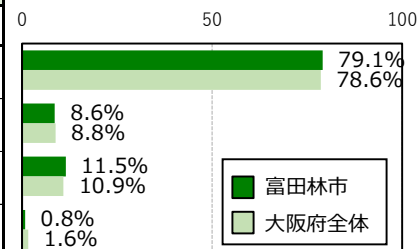
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者全体は、「いる」が79.1%、「いない」が8.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が80.9%、「いない」が6.3%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が77.0%、「いない」が11.7%となっている。

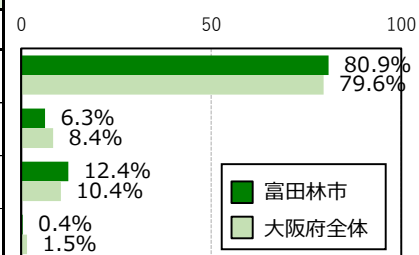
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	833名	79.1%	34,034名	78.6%
いない	91名	8.6%	3,824名	8.8%
わからない	121名	11.5%	4,731名	10.9%
無回答	8名	0.8%	711名	1.6%



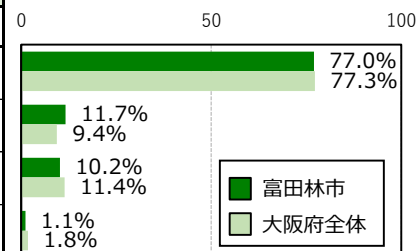
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	437名	80.9%	18,149名	79.6%
いない	34名	6.3%	1,912名	8.4%
わからない	67名	12.4%	2,381名	10.4%
無回答	2名	0.4%	344名	1.5%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	348名	77.0%	14,966名	77.3%
いない	53名	11.7%	1,826名	9.4%
わからない	46名	10.2%	2,217名	11.4%
無回答	5名	1.1%	356名	1.8%



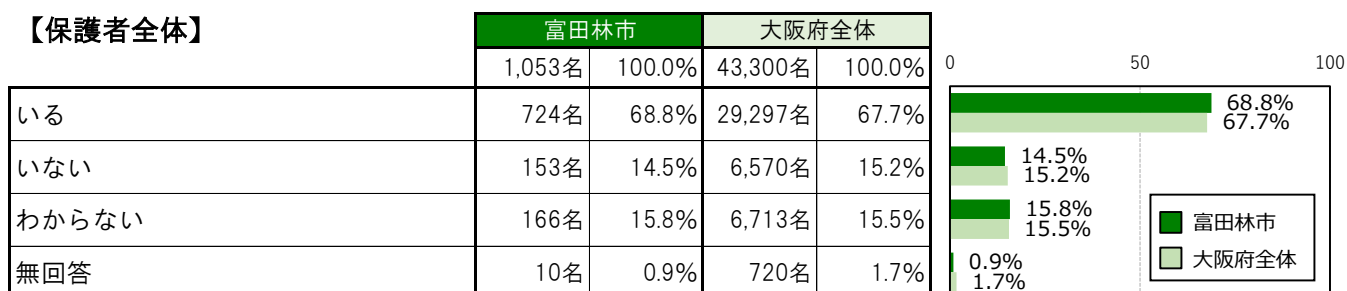
保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者全体は、「いる」が68.8%、「いない」が14.5%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が70.7%、「いない」が12.4%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が66.4%、「いない」が17.5%となっている。

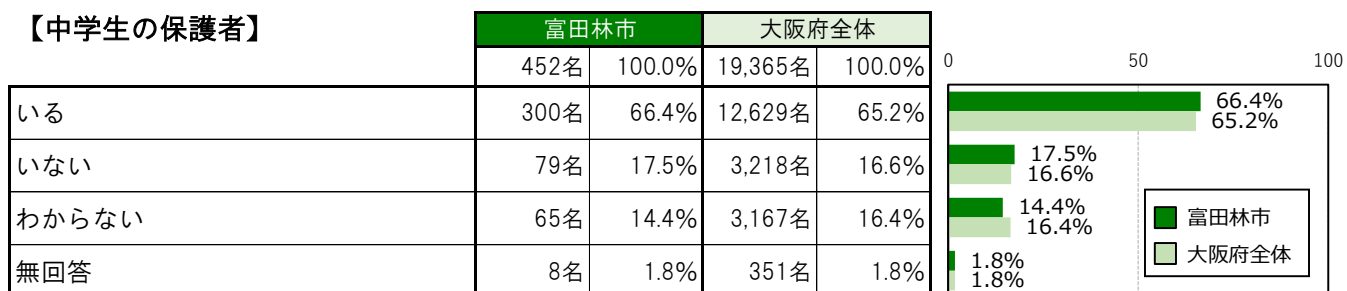
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



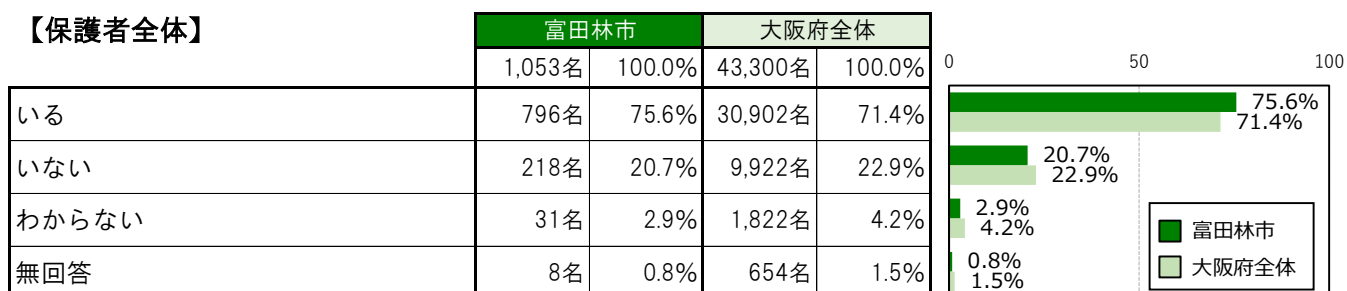
保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

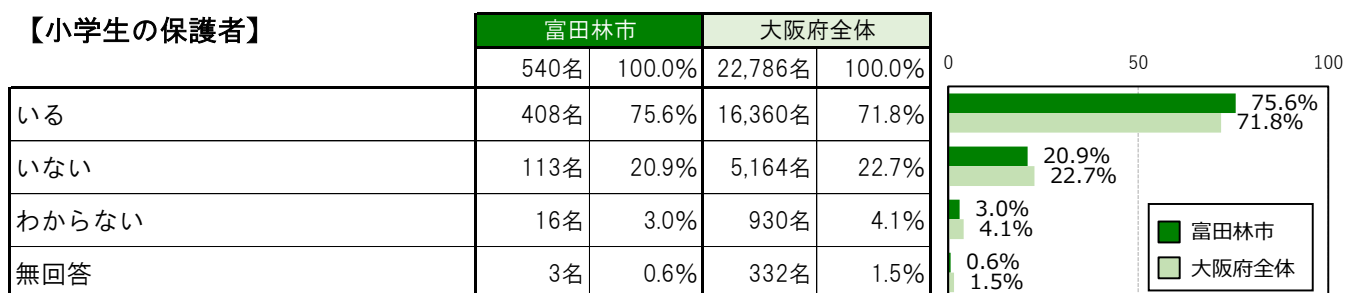
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者全体は、「いる」が75.6%、「いない」が20.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が75.6%、「いない」が20.9%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が75.9%、「いない」が20.6%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

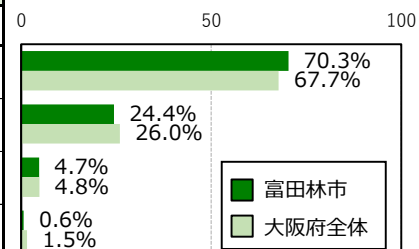
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑦留守を頼める人

保護者全体は、「いる」が70.3%、「いない」が24.4%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が70.0%、「いない」が23.9%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が70.8%、「いない」が24.6%となっている。

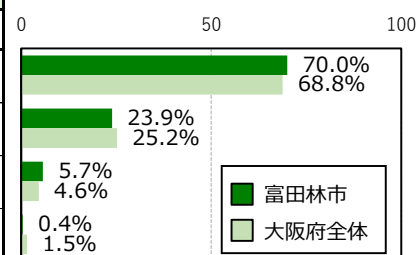
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	740名	70.3%	29,312名	67.7%
いない	257名	24.4%	11,256名	26.0%
わからない	50名	4.7%	2,066名	4.8%
無回答	6名	0.6%	666名	1.5%



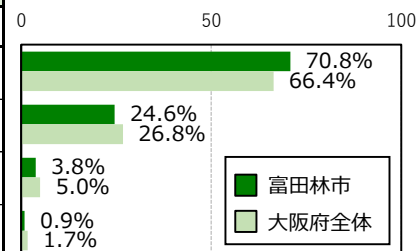
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	378名	70.0%	15,668名	68.8%
いない	129名	23.9%	5,746名	25.2%
わからない	31名	5.7%	1,037名	4.6%
無回答	2名	0.4%	335名	1.5%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	320名	70.8%	12,868名	66.4%
いない	111名	24.6%	5,198名	26.8%
わからない	17名	3.8%	977名	5.0%
無回答	4名	0.9%	322名	1.7%



保護者のことについて

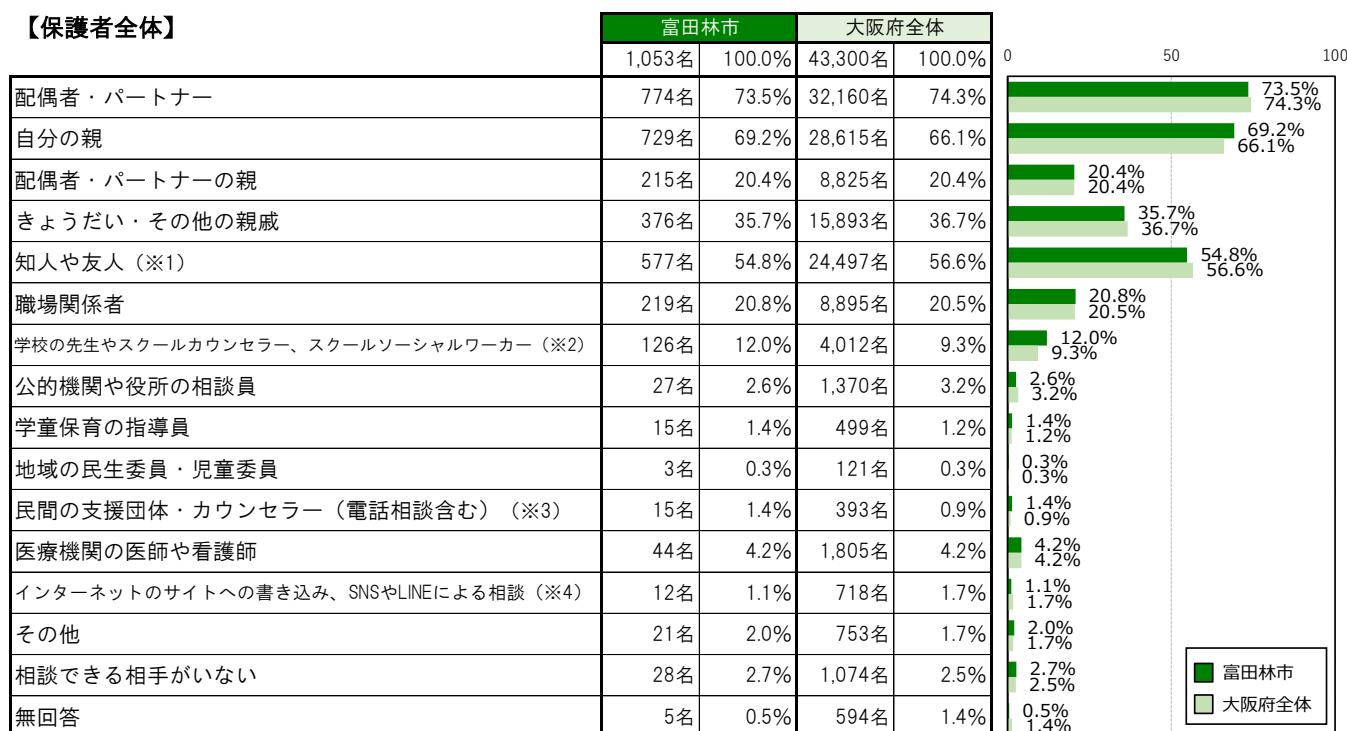
問19 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

保護者全体は、「配偶者・パートナー」が73.5%で最も多く、次いで「自分の親」が69.2%、「知人や友人」が54.8%、「きょうだい・その他の親戚」が35.7%となっている。

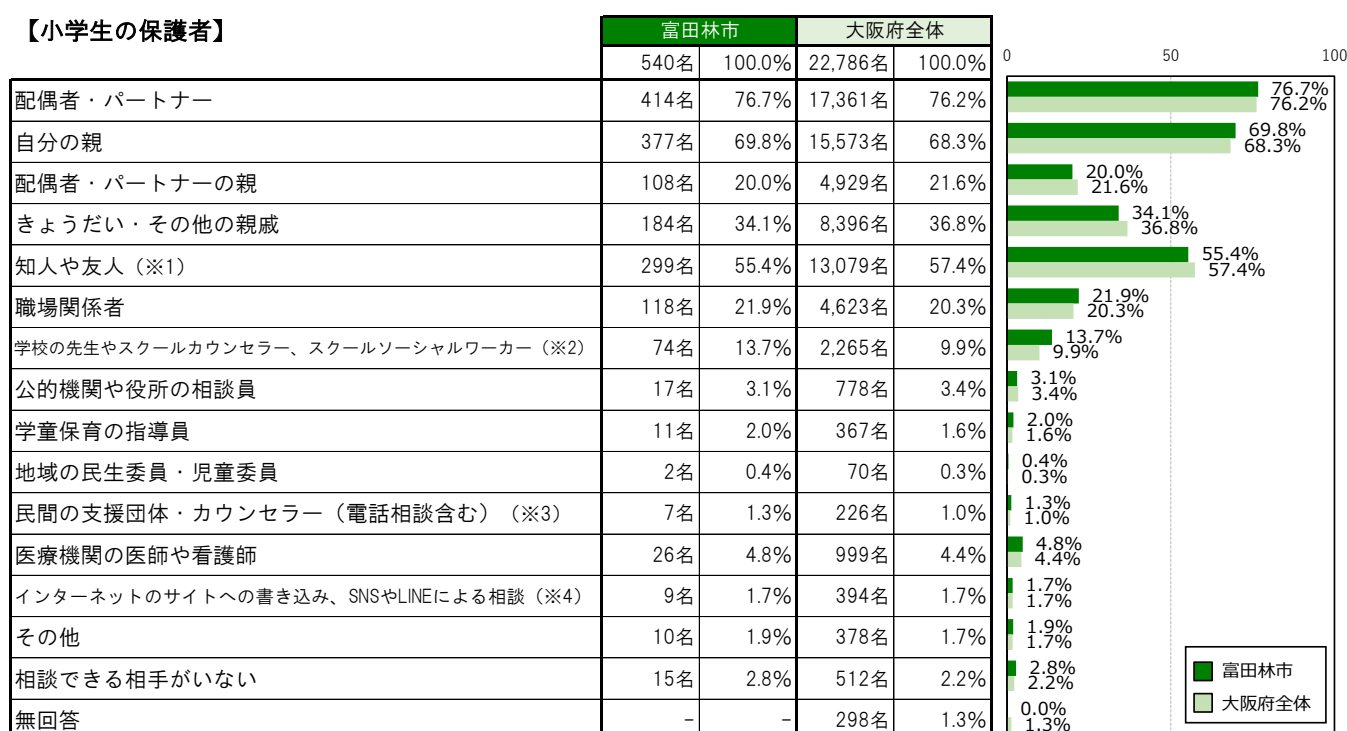
小学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が76.7%で最も多く、次いで「自分の親」が69.8%、「知人や友人」が55.4%、「きょうだい・その他の親戚」が34.1%となっている。

中学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が71.7%で最も多く、次いで「自分の親」が68.6%、「知人や友人」が54.0%、「きょうだい・その他の親戚」が38.5%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



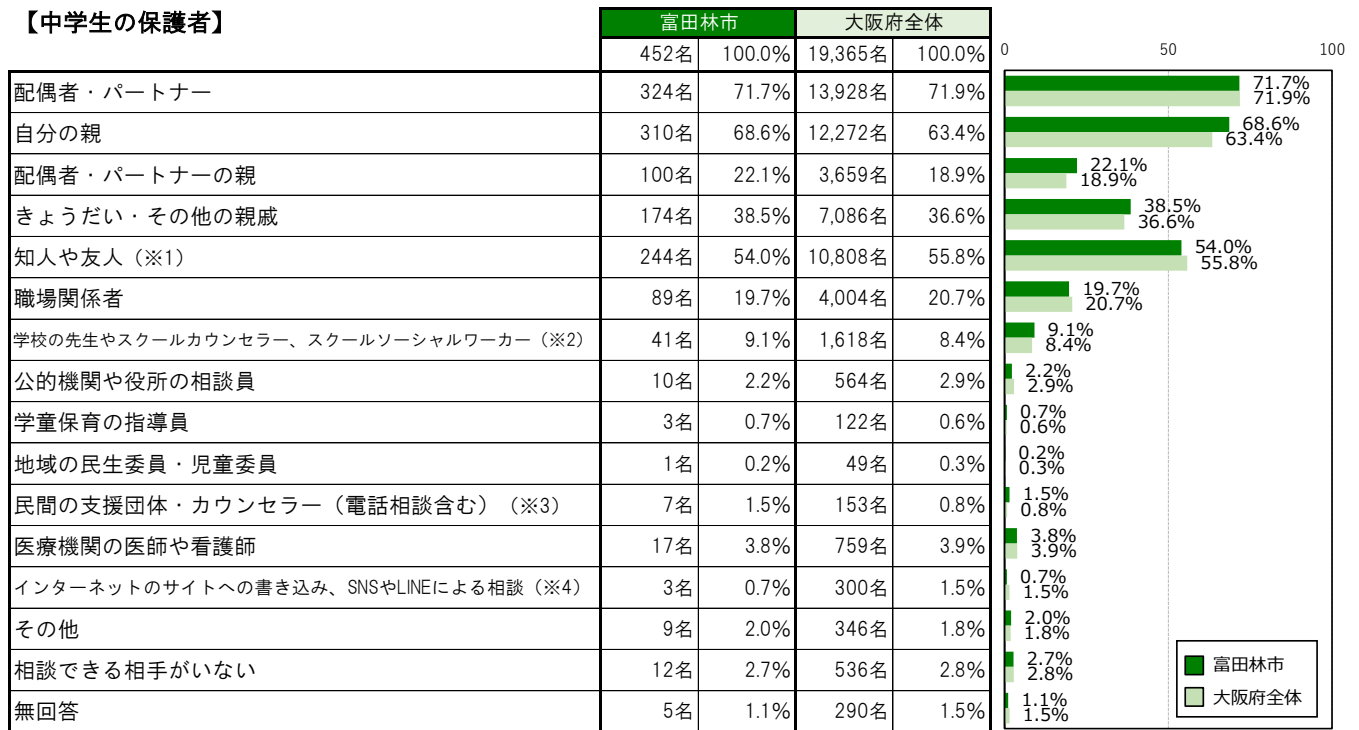
※1 2016年度調査の「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」を「知人や友人」に変更

※2 2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」

※3 2016年度調査の「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」を「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」に変更

※4 2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

【中学生の保護者】



※1 2016年度調査の「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」を「知人や友人」に変更

※2 2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」

※3 2016年度調査の「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」を「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」に変更

※4 2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

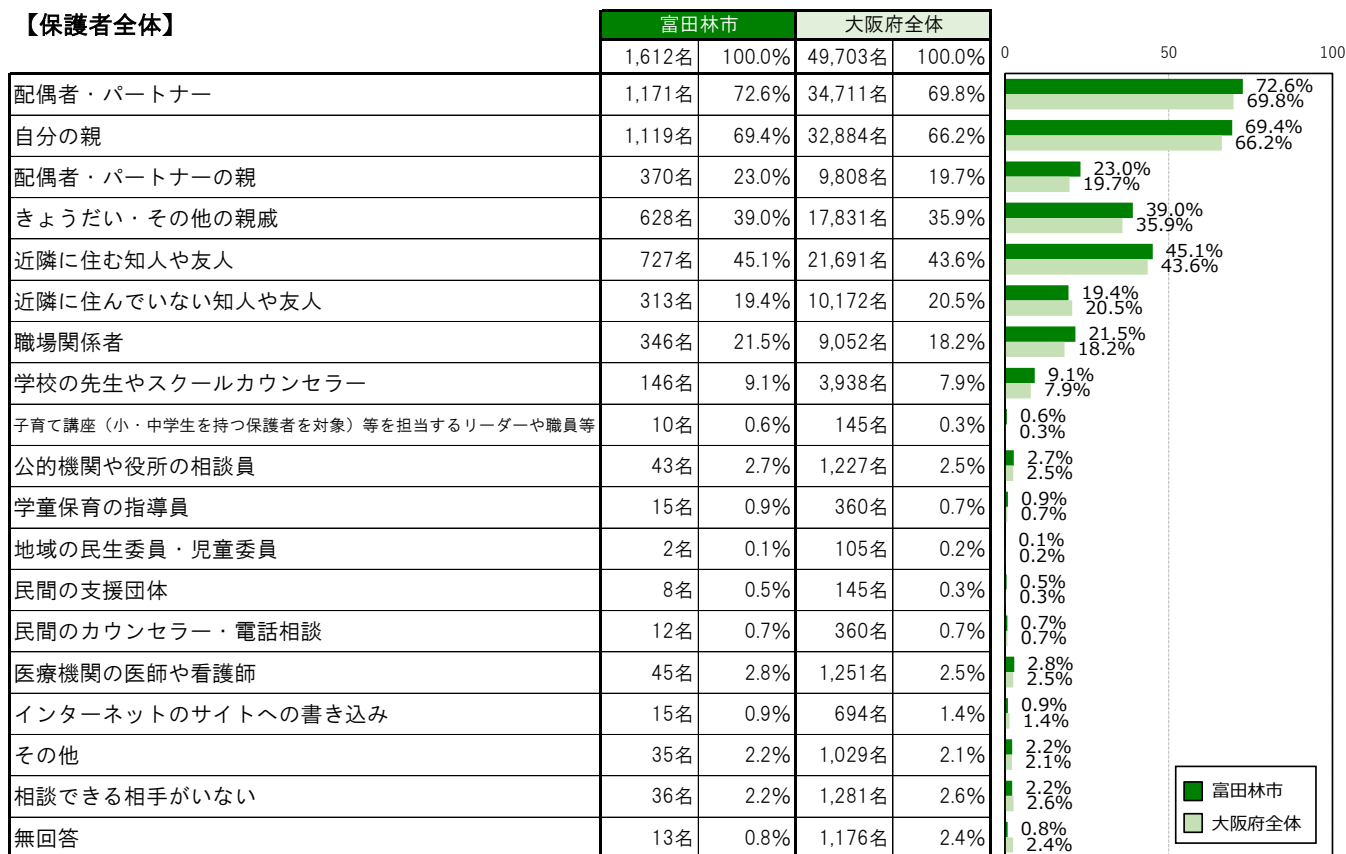
●2016年度 調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「知人や友人」（2016年度は「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」の合計）が9.7ポイント低くなっている。

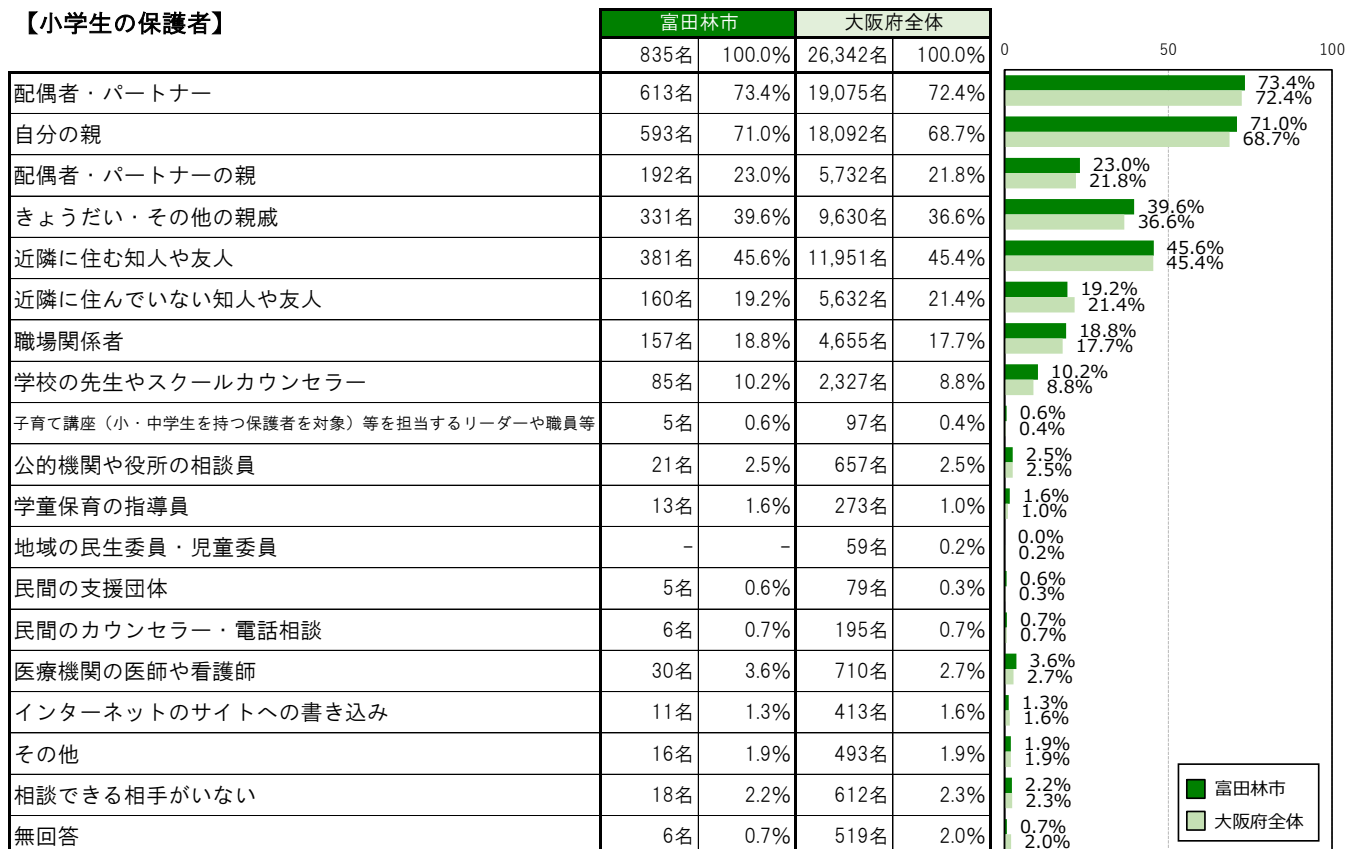
小学生の保護者は、「知人や友人」が9.4ポイント低く、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」が3.5ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「知人や友人」が10.2ポイント、「職場関係者」が4.6ポイント、それぞれ低くなっている。

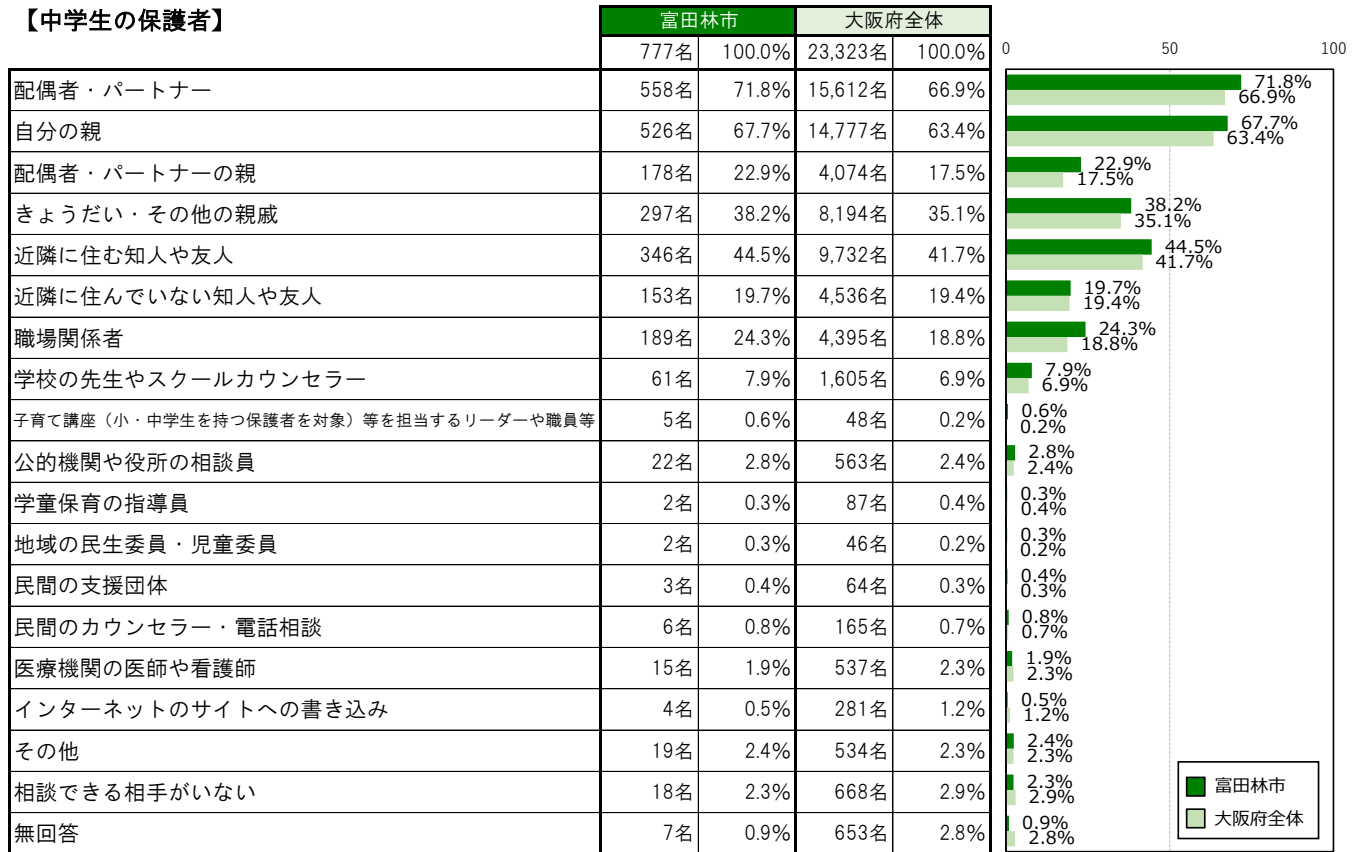
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



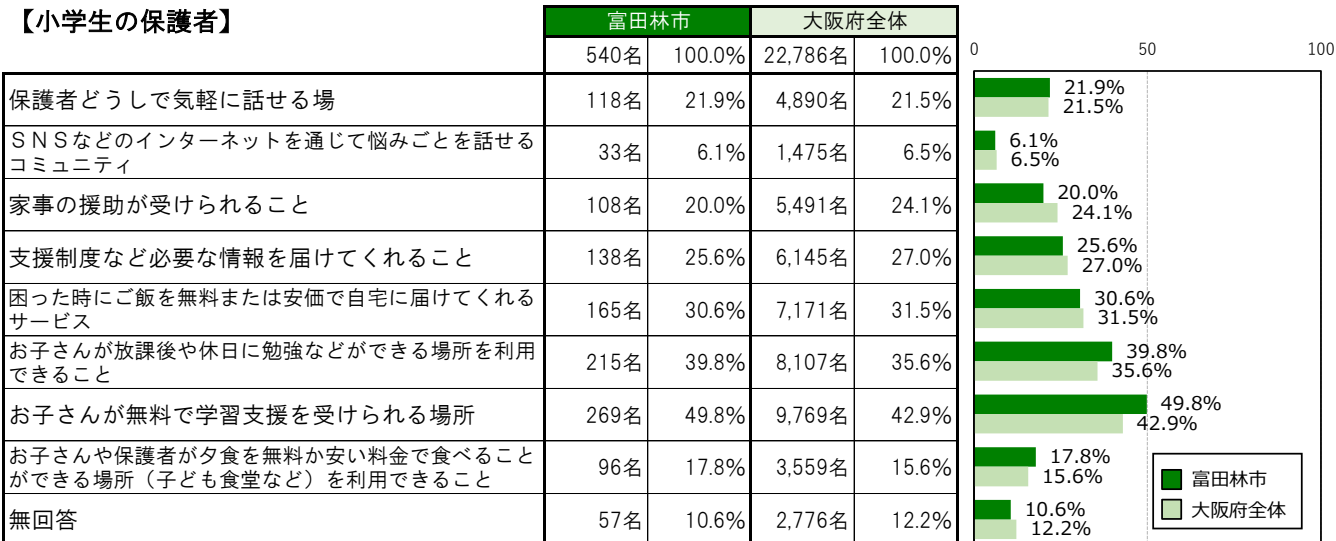
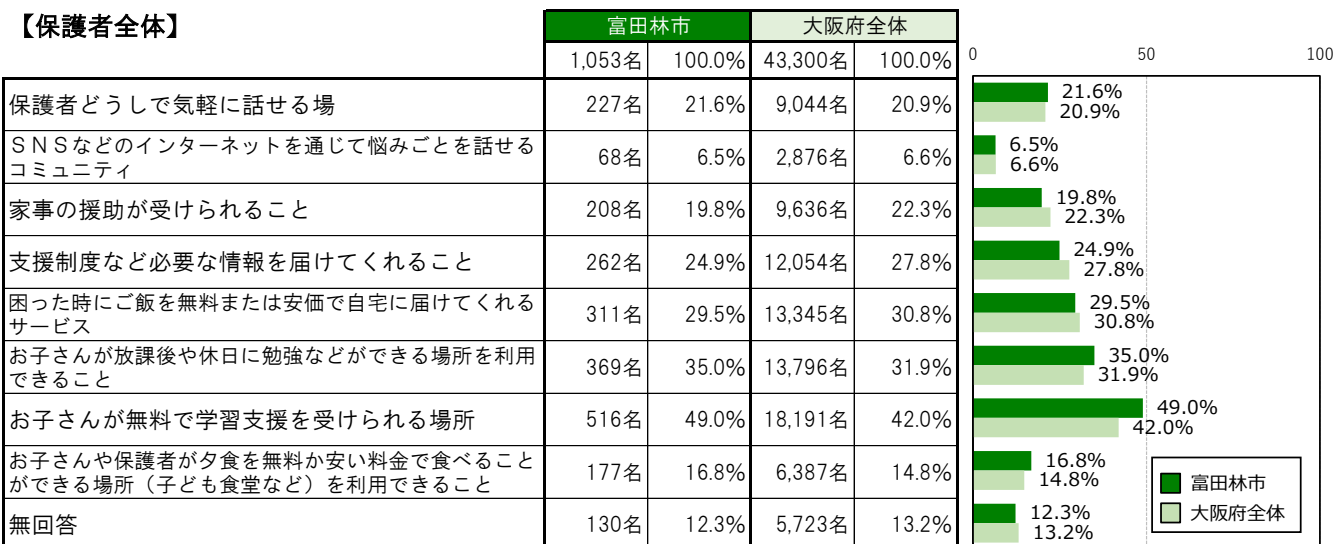
保護者のことについて

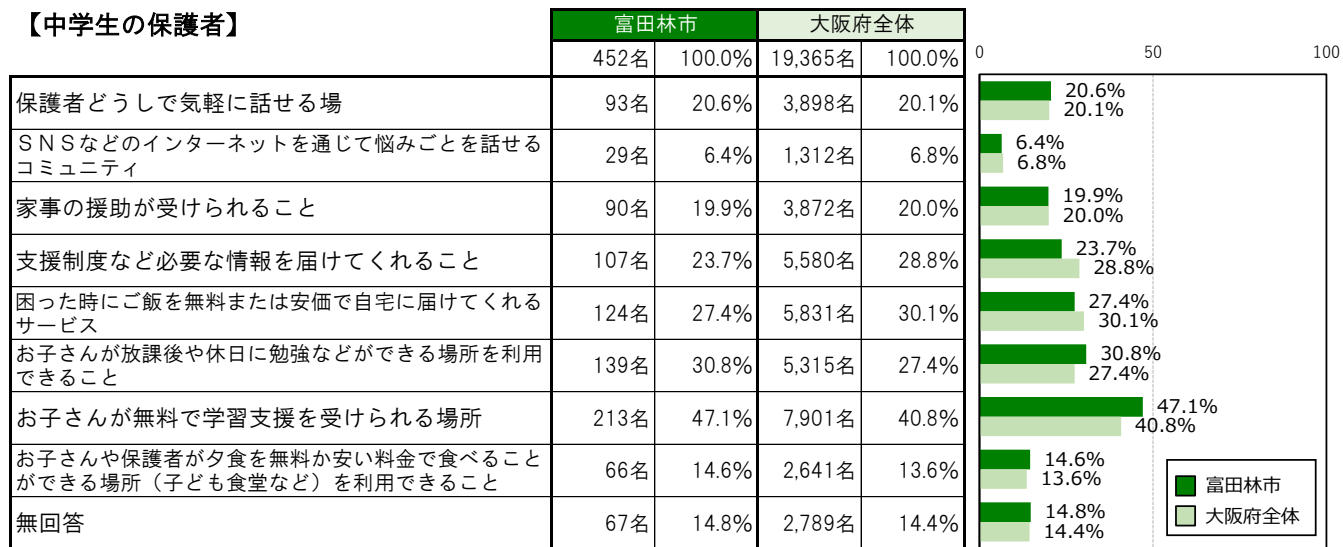
問20 身近にあると思うこと

保護者全体は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が49.0%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が35.0%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が29.5%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が24.9%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が49.8%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が39.8%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が30.6%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が47.1%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が30.8%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が27.4%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が23.7%となっている。





保護者のことについて

問21（１）生活を楽しんでいるか

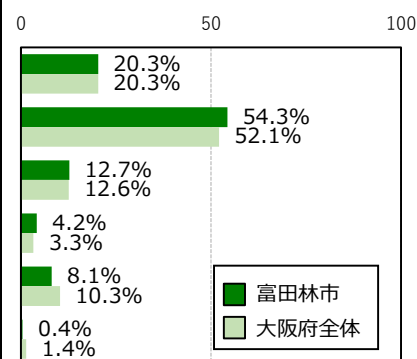
保護者全体は、「楽しんでいる」が54.3%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が20.3%、「あまり楽しんでいない」が12.7%、「楽しんでいない」が4.2%となっている。

小学生の保護者は、「楽しんでいる」が55.4%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が20.7%、「あまり楽しんでいない」が12.2%、「楽しんでいない」が3.3%となっている。

中学生の保護者は、「楽しんでいる」が55.3%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が19.2%、「あまり楽しんでいない」が12.4%、「楽しんでいない」が5.1%となっている。

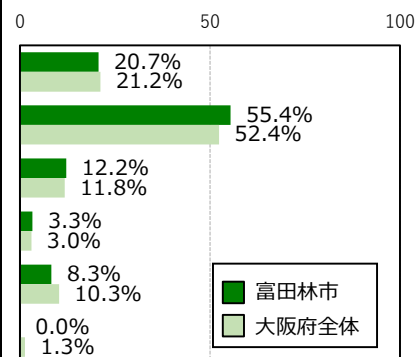
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
とても楽しんでいる	214名	20.3%	8,791名	20.3%
楽しんでいる	572名	54.3%	22,555名	52.1%
あまり楽しんでいない	134名	12.7%	5,466名	12.6%
楽しんでいない	44名	4.2%	1,411名	3.3%
わからない	85名	8.1%	4,473名	10.3%
無回答	4名	0.4%	604名	1.4%



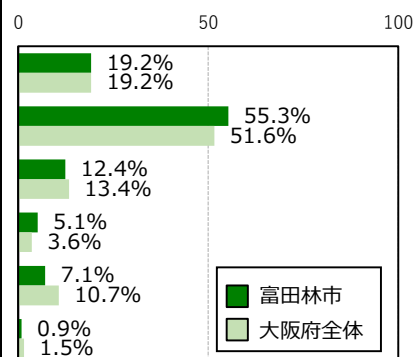
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
とても楽しんでいる	112名	20.7%	4,835名	21.2%
楽しんでいる	299名	55.4%	11,934名	52.4%
あまり楽しんでいない	66名	12.2%	2,699名	11.8%
楽しんでいない	18名	3.3%	680名	3.0%
わからない	45名	8.3%	2,340名	10.3%
無回答	-	-	298名	1.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
とても楽しんでいる	87名	19.2%	3,719名	19.2%
楽しんでいる	250名	55.3%	9,994名	51.6%
あまり楽しんでいない	56名	12.4%	2,592名	13.4%
楽しんでいない	23名	5.1%	690名	3.6%
わからない	32名	7.1%	2,070名	10.7%
無回答	4名	0.9%	300名	1.5%



保護者のことについて

問21（２）将来に対して希望を持っているか

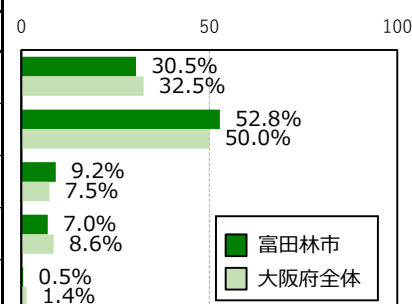
保護者全体は、「希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある」が52.8%で最も多く、次いで「希望が持てる」が30.5%、「希望が持てない」が9.2%となっている。

小学生の保護者は、「希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある」が51.3%で最も多く、次いで「希望が持てる」が33.1%、「希望が持てない」が8.1%となっている。

中学生の保護者は、「希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある」が54.9%で最も多く、次いで「希望が持てる」が28.1%、「希望が持てない」が9.5%となっている。

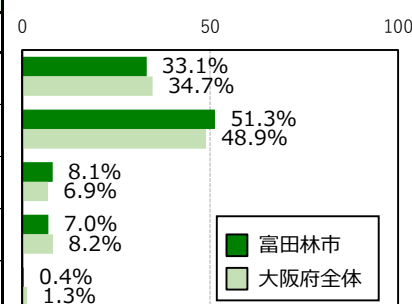
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
希望が持てる	321名	30.5%	14,080名	32.5%
希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある	556名	52.8%	21,662名	50.0%
希望が持てない	97名	9.2%	3,239名	7.5%
わからない	74名	7.0%	3,718名	8.6%
無回答	5名	0.5%	601名	1.4%



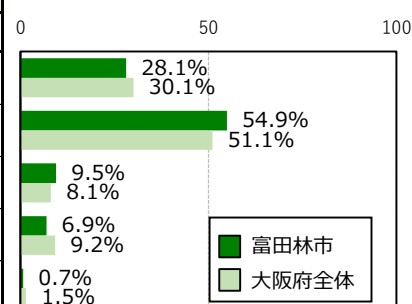
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
希望が持てる	179名	33.1%	7,896名	34.7%
希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある	277名	51.3%	11,142名	48.9%
希望が持てない	44名	8.1%	1,575名	6.9%
わからない	38名	7.0%	1,874名	8.2%
無回答	2名	0.4%	299名	1.3%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
希望が持てる	127名	28.1%	5,831名	30.1%
希望が持てる」ときもあれば、持てないときもある	248名	54.9%	9,890名	51.1%
希望が持てない	43名	9.5%	1,574名	8.1%
わからない	31名	6.9%	1,774名	9.2%
無回答	3名	0.7%	296名	1.5%



保護者のことについて

問21（3）ストレスを発散できるものがあるか

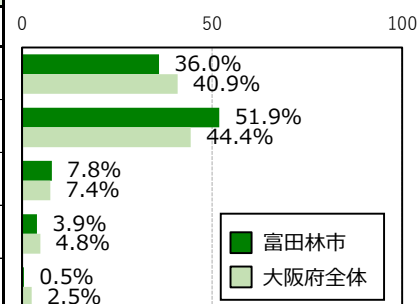
保護者全体は、「あるときもあれば、ないときもある」が51.9%で最も多く、次いで「ある」が36.0%、「ない」が7.8%となっている。

小学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が52.6%で最も多く、次いで「ある」が36.7%、「ない」が6.5%となっている。

中学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が51.5%で最も多く、次いで「ある」が35.6%、「ない」が8.4%となっている。

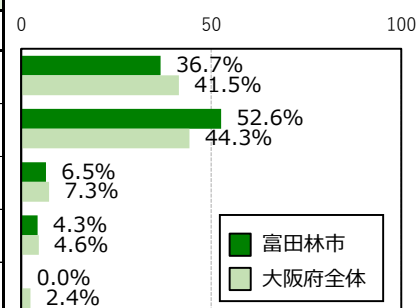
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
ある	379名	36.0%	17,707名	40.9%
あるときもあれば、ないときもある	546名	51.9%	19,240名	44.4%
ない	82名	7.8%	3,221名	7.4%
わからない	41名	3.9%	2,061名	4.8%
無回答	5名	0.5%	1,071名	2.5%



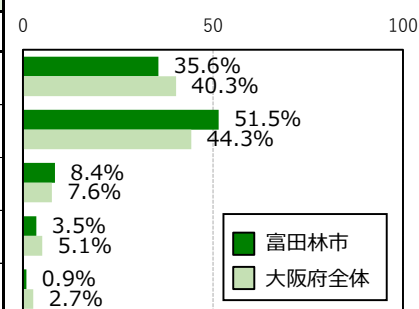
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
ある	198名	36.7%	9,455名	41.5%
あるときもあれば、ないときもある	284名	52.6%	10,090名	44.3%
ない	35名	6.5%	1,668名	7.3%
わからない	23名	4.3%	1,037名	4.6%
無回答	-	-	536名	2.4%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
ある	161名	35.6%	7,803名	40.3%
あるときもあれば、ないときもある	233名	51.5%	8,576名	44.3%
ない	38名	8.4%	1,467名	7.6%
わからない	16名	3.5%	990名	5.1%
無回答	4名	0.9%	529名	2.7%



保護者のことについて

問21（４）自分が幸せだと思うか

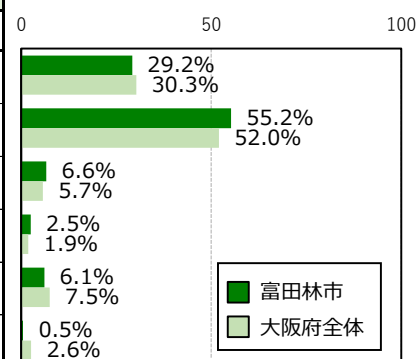
保護者全体は、「幸せだと思う」が55.2%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が29.2%、「あまり幸せだと思わない」が6.6%、「幸せだと思わない」が2.5%となっている。

小学生の保護者は、「幸せだと思う」が53.5%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が33.1%、「あまり幸せだと思わない」が5.2%、「幸せだと思わない」が2.4%となっている。

中学生の保護者は、「幸せだと思う」が58.2%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が25.4%、「あまり幸せだと思わない」が6.6%、「幸せだと思わない」が2.7%となっている。

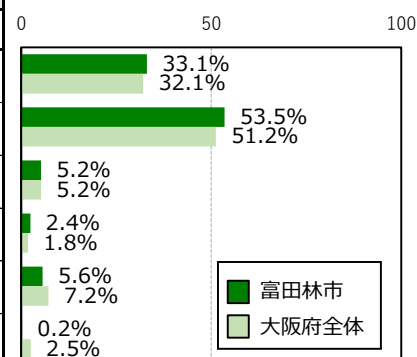
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
とても幸せだと思う	307名	29.2%	13,119名	30.3%
幸せだと思う	581名	55.2%	22,517名	52.0%
あまり幸せだと思わない	70名	6.6%	2,464名	5.7%
幸せだと思わない	26名	2.5%	819名	1.9%
わからない	64名	6.1%	3,246名	7.5%
無回答	5名	0.5%	1,135名	2.6%



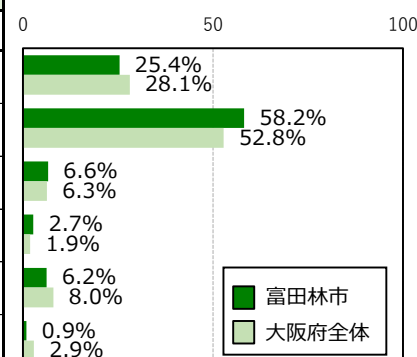
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
とても幸せだと思う	179名	33.1%	7,323名	32.1%
幸せだと思う	289名	53.5%	11,664名	51.2%
あまり幸せだと思わない	28名	5.2%	1,176名	5.2%
幸せだと思わない	13名	2.4%	413名	1.8%
わからない	30名	5.6%	1,640名	7.2%
無回答	1名	0.2%	570名	2.5%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
とても幸せだと思う	115名	25.4%	5,439名	28.1%
幸せだと思う	263名	58.2%	10,225名	52.8%
あまり幸せだと思わない	30名	6.6%	1,211名	6.3%
幸せだと思わない	12名	2.7%	376名	1.9%
わからない	28名	6.2%	1,555名	8.0%
無回答	4名	0.9%	559名	2.9%



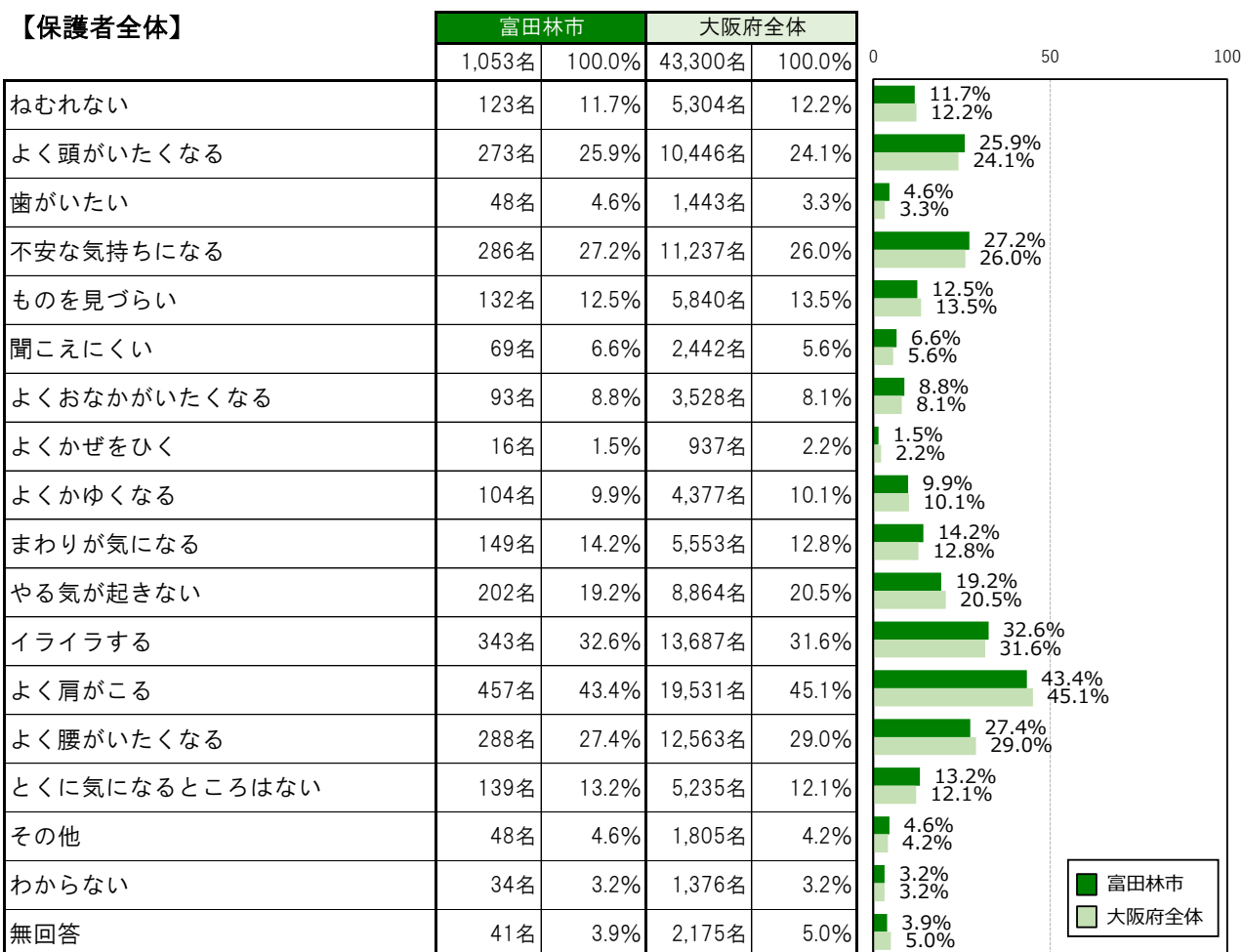
保護者のことについて

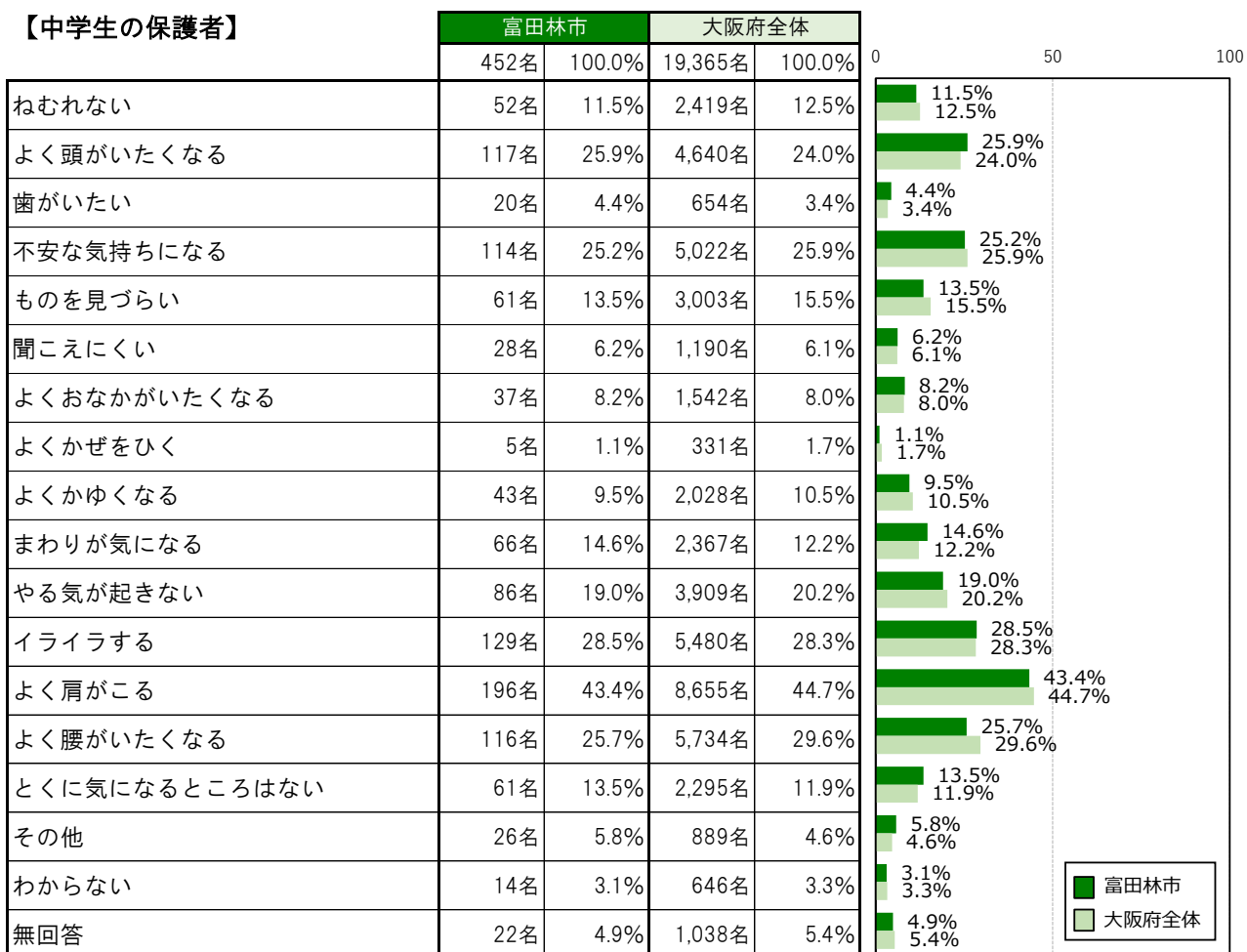
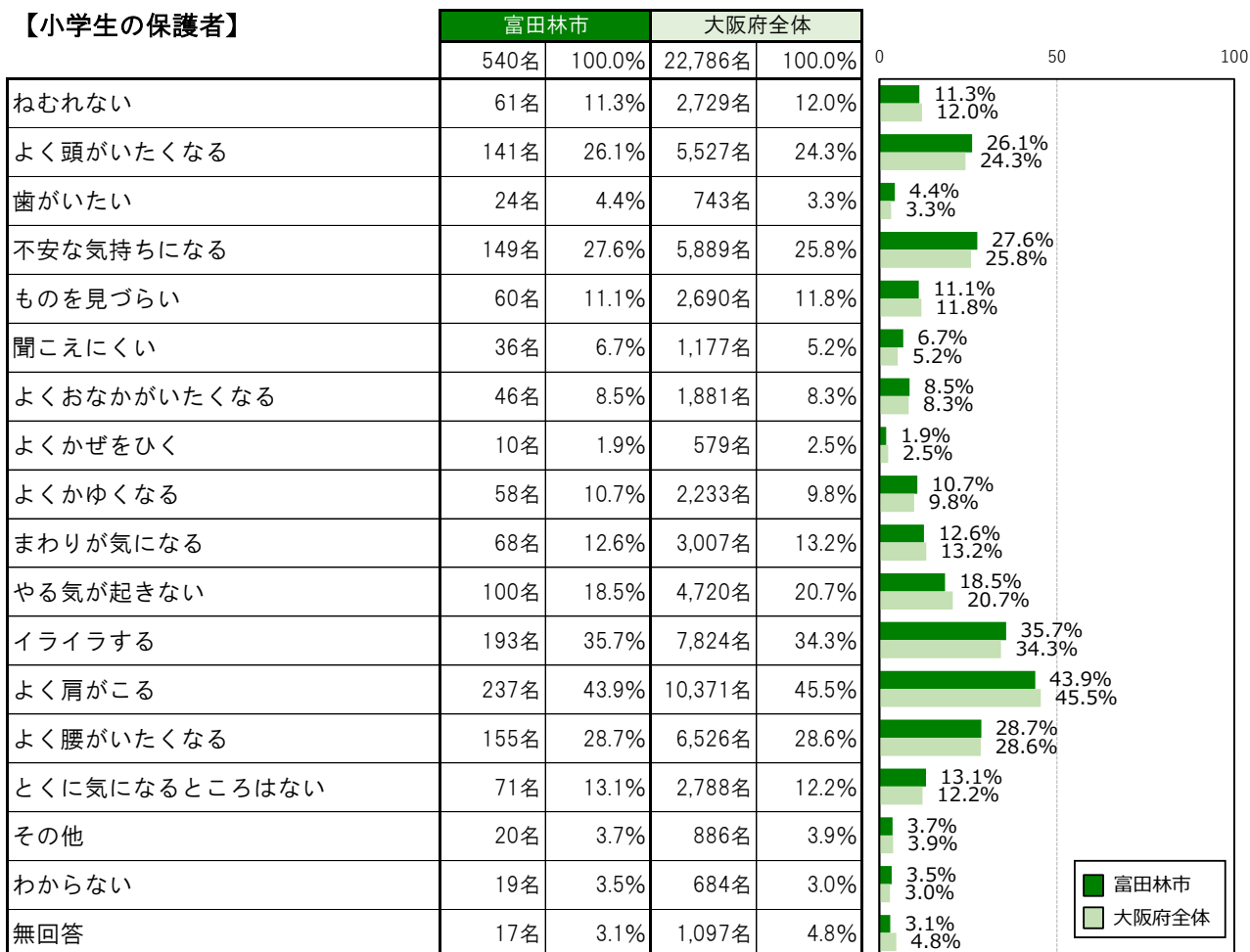
問22 自分の体や気持ちで気になること

保護者全体は、「よく肩がこる」が43.4%で最も多く、次いで「イライラする」が32.6%、「よく腰がいたくなる」が27.4%、「不安な気持ちになる」が27.2%、「よく頭がいたくなる」が25.9%となっている。

小学生の保護者は、「よく肩がこる」が43.9%で最も多く、次いで「イライラする」が35.7%、「よく腰がいたくなる」が28.7%、「不安な気持ちになる」が27.6%、「よく頭がいたくなる」が26.1%となっている。

中学生の保護者は、「よく肩がこる」が43.4%で最も多く、次いで「イライラする」が28.5%、「よく頭がいたくなる」が25.9%、「よく腰がいたくなる」が25.7%、「不安な気持ちになる」が25.2%となっている。





保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助

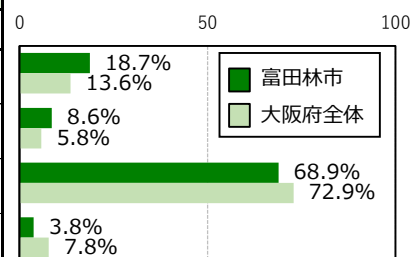
保護者全体は、「利用したことがない」が68.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が18.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が8.6%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が72.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が16.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.2%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が65.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が21.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が9.1%となっている。

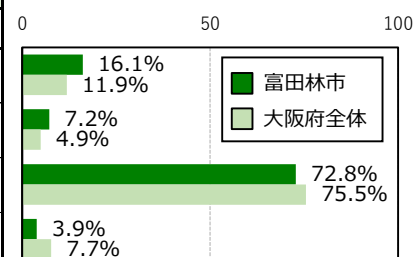
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	197名	18.7%	5,869名	13.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	91名	8.6%	2,503名	5.8%
利用したことがない	725名	68.9%	31,557名	72.9%
無回答	40名	3.8%	3,371名	7.8%



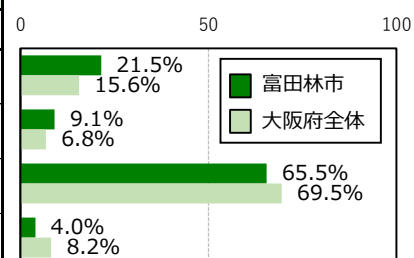
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	87名	16.1%	2,714名	11.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	39名	7.2%	1,110名	4.9%
利用したことがない	393名	72.8%	17,198名	75.5%
無回答	21名	3.9%	1,764名	7.7%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	97名	21.5%	3,020名	15.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	41名	9.1%	1,308名	6.8%
利用したことがない	296名	65.5%	13,453名	69.5%
無回答	18名	4.0%	1,584名	8.2%



※ 2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

●2016年度 調査結果【参考データ】

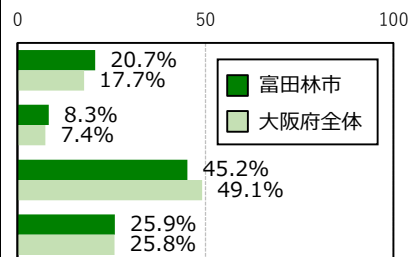
2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「利用したことがない」（2016年度調査では「受けたこと
はない」）が23.7ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が28.4ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が19.6ポイント高くなっている。

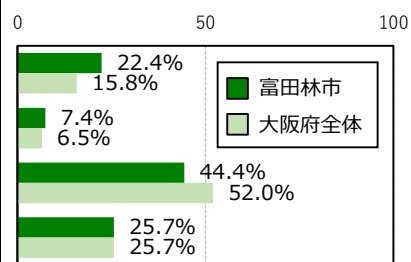
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,612名	100.0%	49,703名	100.0%
受けている	333名	20.7%	8,792名	17.7%
受けたことがある	133名	8.3%	3,669名	7.4%
受けたことはない	728名	45.2%	24,429名	49.1%
無回答	418名	25.9%	12,813名	25.8%



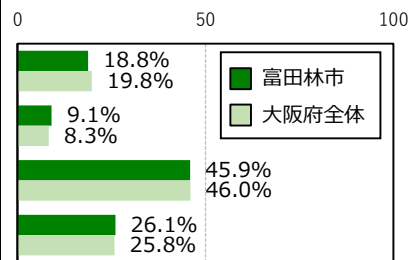
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	835名	100.0%	26,342名	100.0%
受けている	187名	22.4%	4,154名	15.8%
受けたことがある	62名	7.4%	1,724名	6.5%
受けたことはない	371名	44.4%	13,686名	52.0%
無回答	215名	25.7%	6,778名	25.7%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	777名	100.0%	23,323名	100.0%
受けている	146名	18.8%	4,628名	19.8%
受けたことがある	71名	9.1%	1,942名	8.3%
受けたことはない	357名	45.9%	10,733名	46.0%
無回答	203名	26.1%	6,020名	25.8%



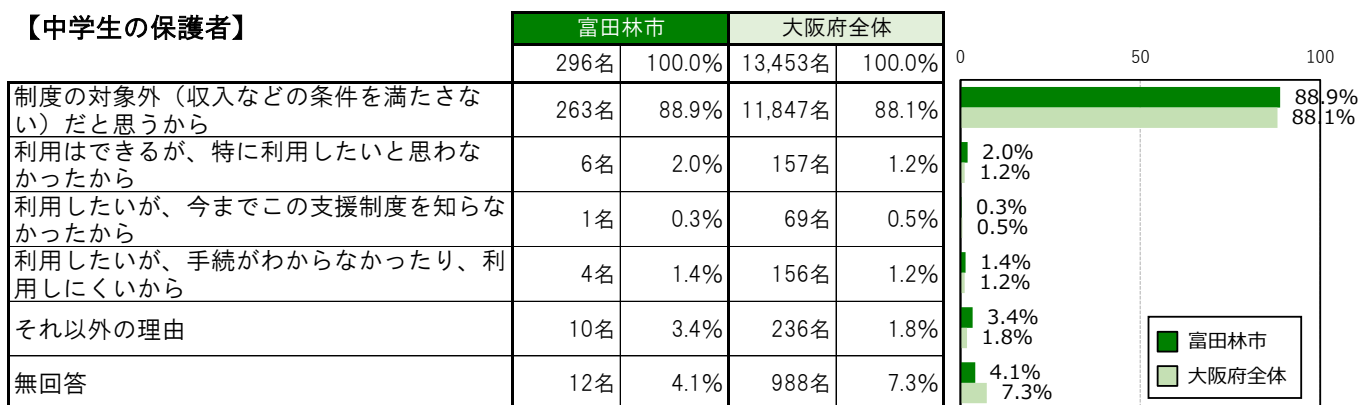
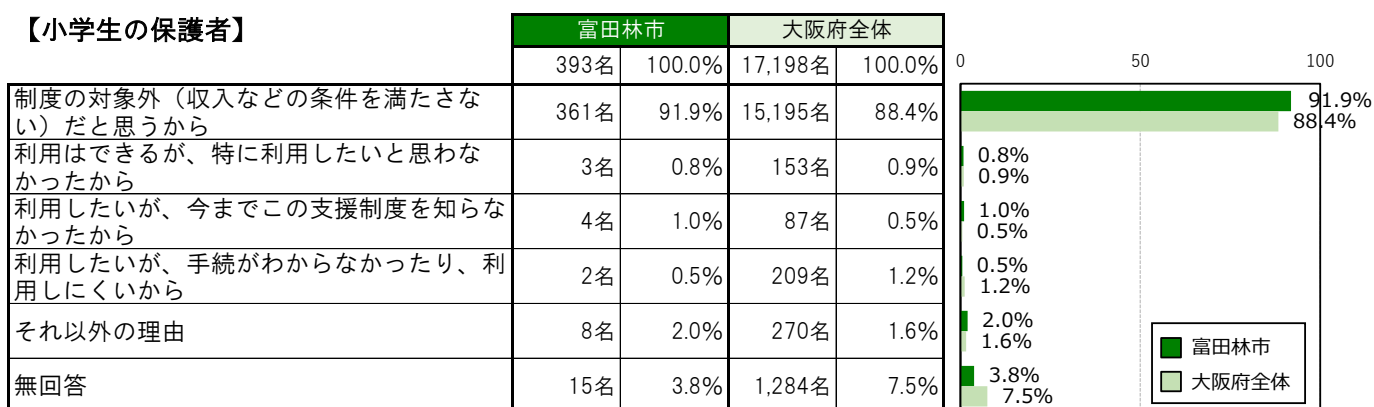
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助 <利用したことがない理由>

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.0%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護

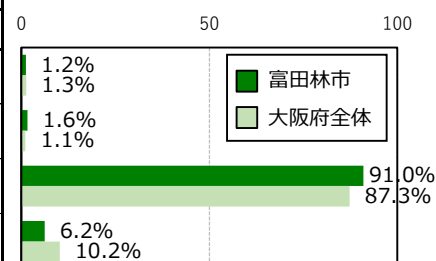
保護者全体は、「利用したことがない」が91.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.6%、「現在利用している」が1.2%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が91.1%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%、「現在利用している」が1.1%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が90.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%、「現在利用している」が1.3%となっている。

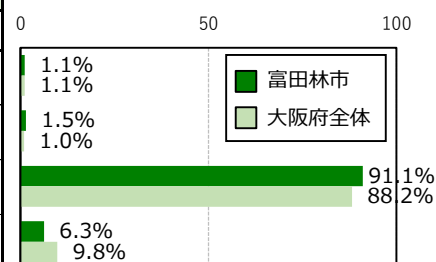
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	13名	1.2%	580名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	17名	1.6%	497名	1.1%
利用したことがない	958名	91.0%	37,793名	87.3%
無回答	65名	6.2%	4,430名	10.2%



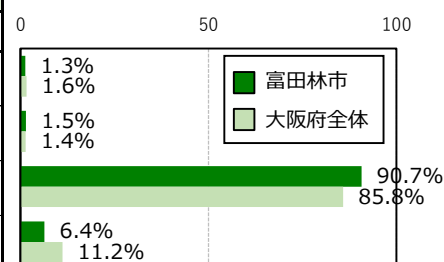
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	6名	1.1%	254名	1.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	8名	1.5%	218名	1.0%
利用したことがない	492名	91.1%	20,090名	88.2%
無回答	34名	6.3%	2,224名	9.8%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	6名	1.3%	316名	1.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	7名	1.5%	267名	1.4%
利用したことがない	410名	90.7%	16,608名	85.8%
無回答	29名	6.4%	2,174名	11.2%



※ 2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

●2016年度 調査結果【参考データ】

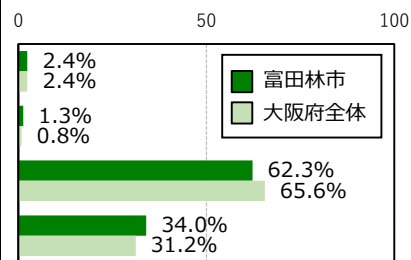
2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「利用したことがない」（2016年度調査では「受けたこと
はない」）が28.7ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が28.8ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が27.4ポイント高くなっている。

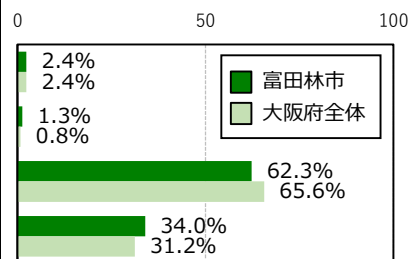
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	835名	100.0%	26,342名	100.0%
受けている	20名	2.4%	622名	2.4%
受けたことがある	11名	1.3%	211名	0.8%
受けたことはない	520名	62.3%	17,286名	65.6%
無回答	284名	34.0%	8,223名	31.2%



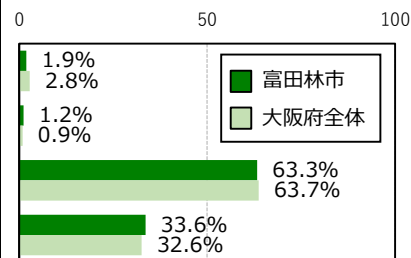
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	835名	100.0%	26,342名	100.0%
受けている	20名	2.4%	622名	2.4%
受けたことがある	11名	1.3%	211名	0.8%
受けたことはない	520名	62.3%	17,286名	65.6%
無回答	284名	34.0%	8,223名	31.2%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	777名	100.0%	23,323名	100.0%
受けている	15名	1.9%	650名	2.8%
受けたことがある	9名	1.2%	211名	0.9%
受けたことはない	492名	63.3%	14,855名	63.7%
無回答	261名	33.6%	7,607名	32.6%



保護者のことについて

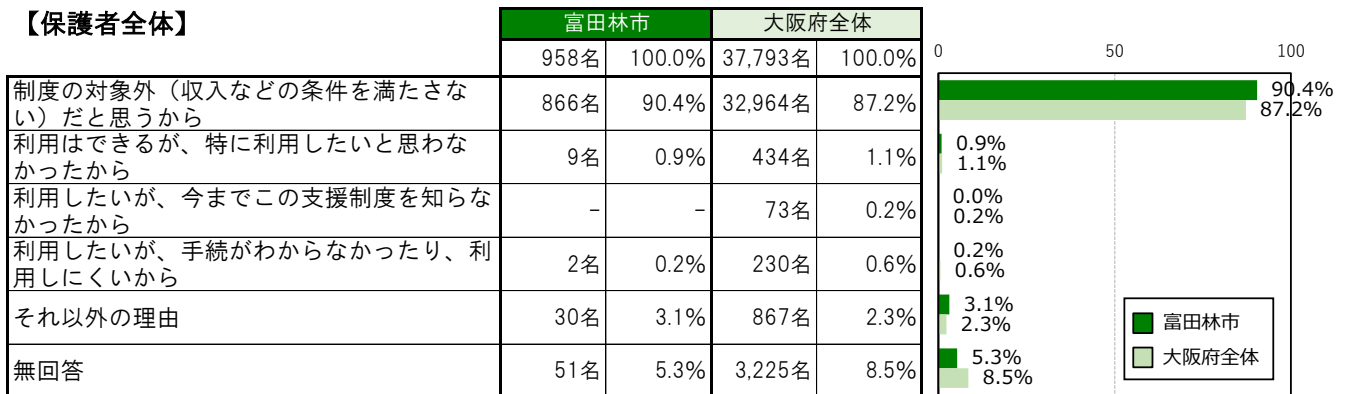
問23 支援制度の利用状況 b 生活保護 <利用したことがない理由>

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が0.9%となっている。

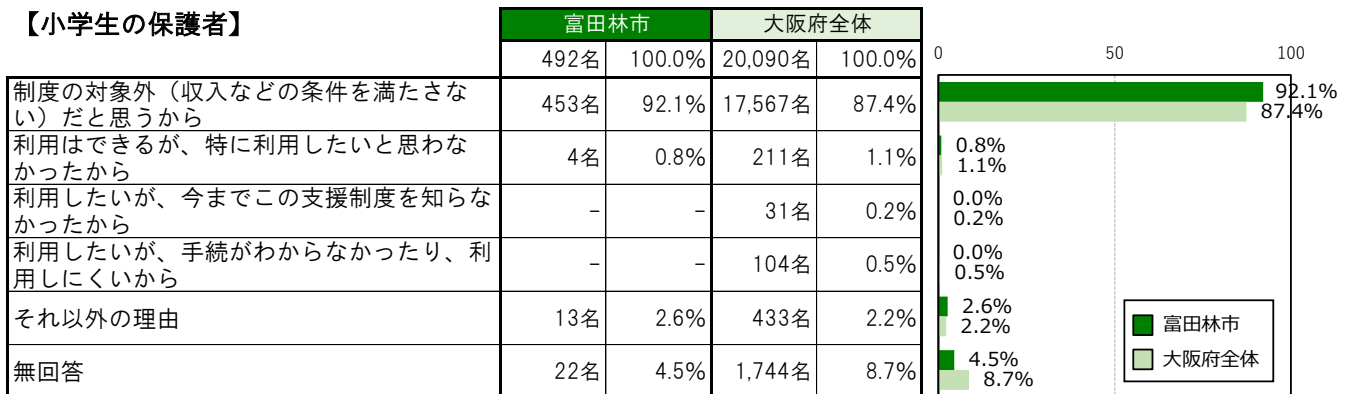
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が0.8%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.9%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.0%となっている。

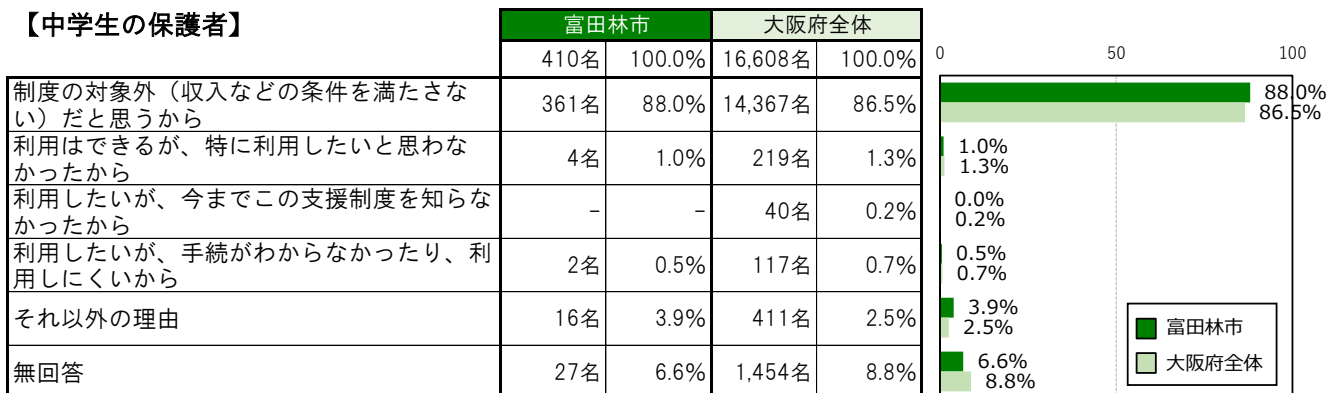
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



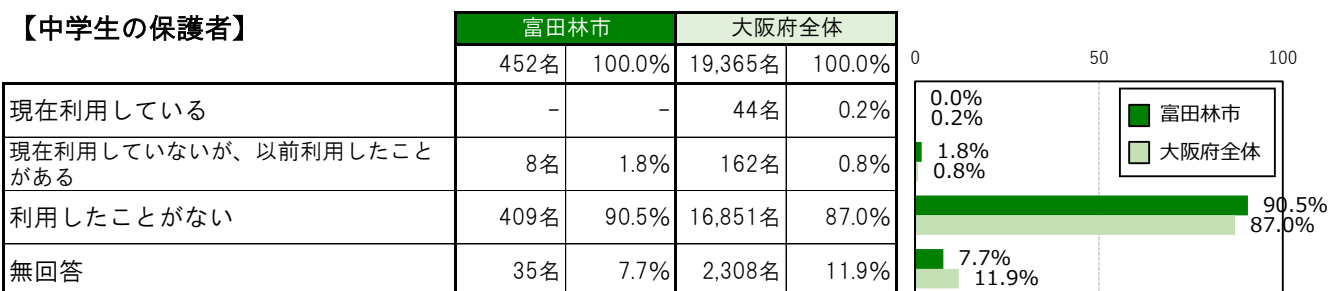
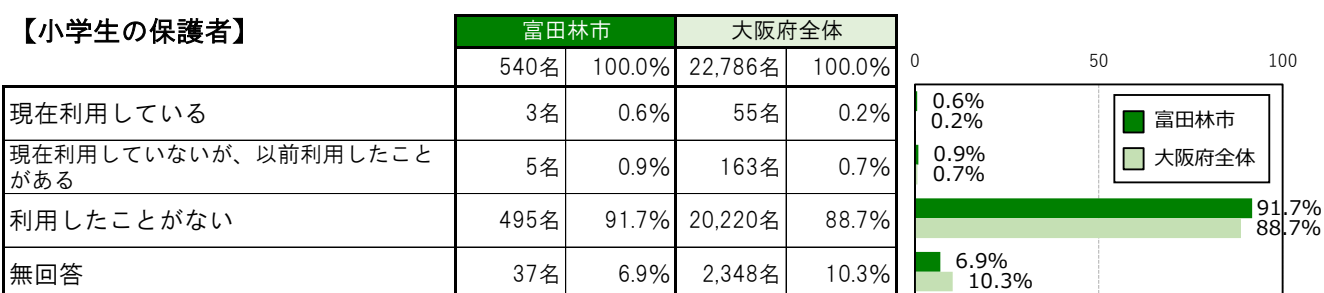
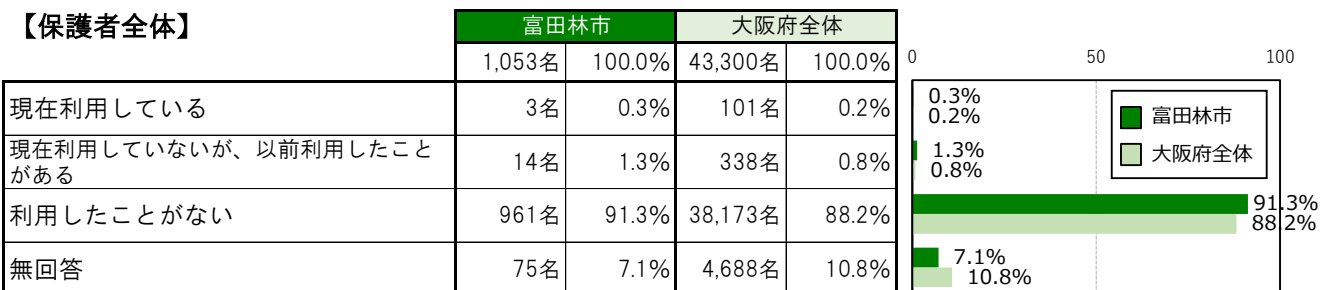
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口

保護者全体は、「利用したことがない」が91.3%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.3%、「現在利用している」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が91.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.9%、「現在利用している」が0.6%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が90.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.8%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口 <利用したことがない理由>

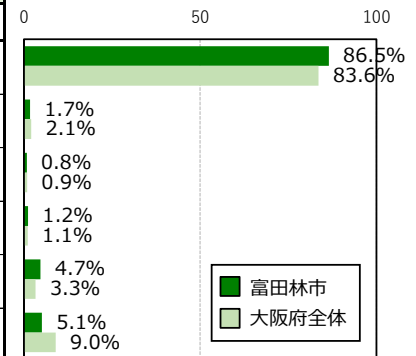
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.7%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.2%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.2%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.2%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.4%となっている。

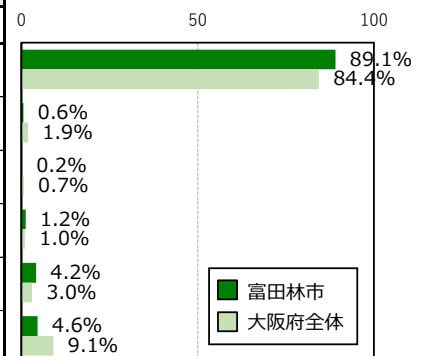
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	961名	100.0%	38,173名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	831名	86.5%	31,919名	83.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	16名	1.7%	790名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	8名	0.8%	332名	0.9%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	12名	1.2%	410名	1.1%
それ以外の理由	45名	4.7%	1,275名	3.3%
無回答	49名	5.1%	3,447名	9.0%



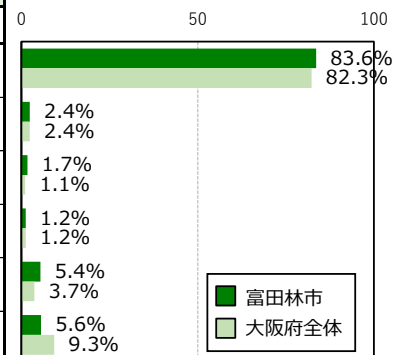
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	495名	100.0%	20,220名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	441名	89.1%	17,059名	84.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	0.6%	382名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.2%	134名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	6名	1.2%	193名	1.0%
それ以外の理由	21名	4.2%	609名	3.0%
無回答	23名	4.6%	1,843名	9.1%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	409名	100.0%	16,851名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	342名	83.6%	13,863名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	10名	2.4%	397名	2.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	7名	1.7%	192名	1.1%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	5名	1.2%	204名	1.2%
それ以外の理由	22名	5.4%	625名	3.7%
無回答	23名	5.6%	1,570名	9.3%



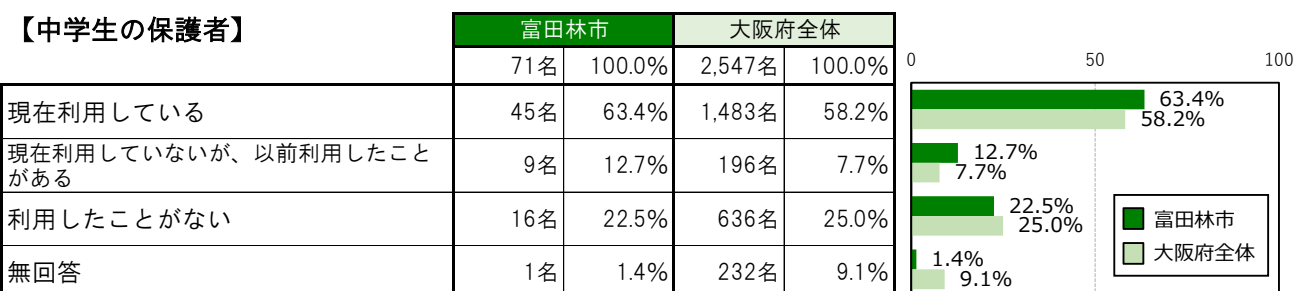
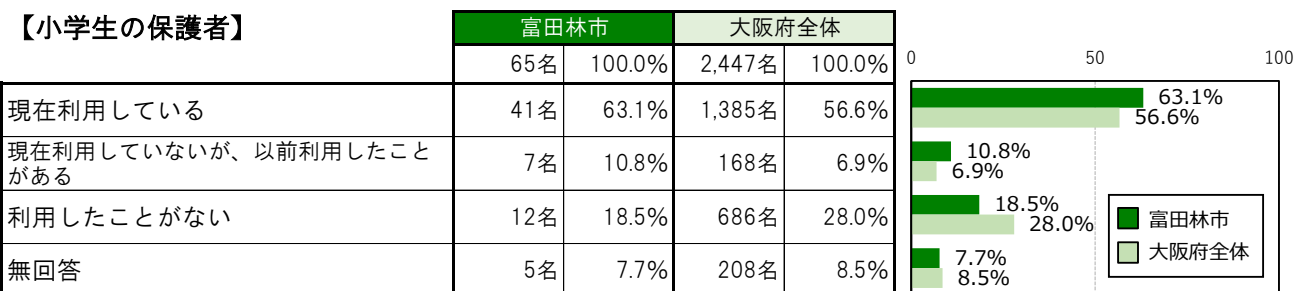
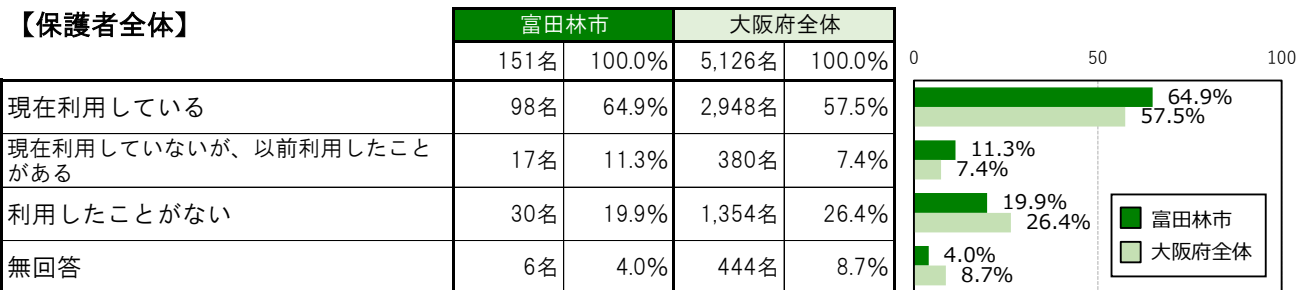
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯のみでみると、保護者全体は、「現在利用している」が64.9%で最も多く、次いで「利用したことがない」が19.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が11.3%となっている。

小学生の保護者は、「現在利用している」が63.1%で最も多く、次いで「利用したことがない」が18.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が10.8%となっている。

中学生の保護者は、「現在利用している」が63.4%で最も多く、次いで「利用したことがない」が22.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が12.7%となっている。



※ 2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

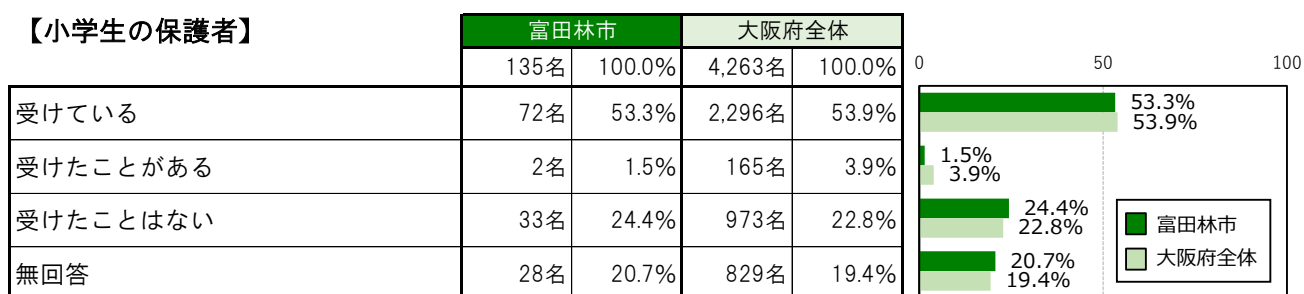
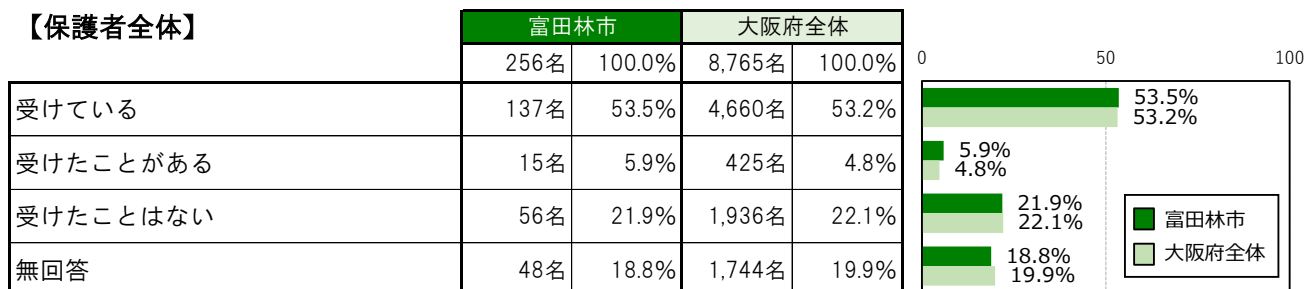
※ ひとり親世帯のみで集計。

●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「現在利用している」（2016年度調査では「受けている」）が11.4ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「現在利用している」が9.8ポイント、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が9.3ポイント、それぞれ高くなっている。

中学生の保護者は、「現在利用している」が9.7ポイント高くなっている。



※ ひとり親世帯のみで集計。

保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当 <利用したことがない理由> (ひとり親世帯のみ)

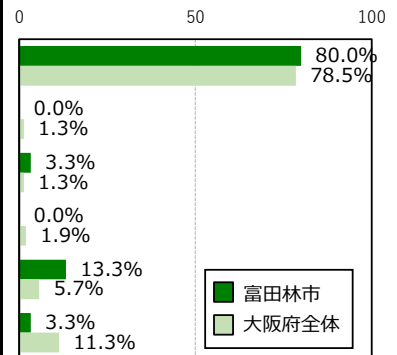
ひとり親世帯のみでみると、保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから」が80.0%（24名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が13.3%（4名）、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が3.3%（1名）となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから」が83.3%（10名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が16.7%（2名）となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから」が81.3%（13名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が12.5%（2名）となっている。

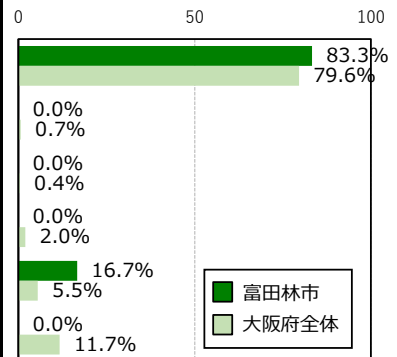
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	30名	100.0%	1,354名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから	24名	80.0%	1,063名	78.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	17名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	3.3%	18名	1.3%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	26名	1.9%
それ以外の理由	4名	13.3%	77名	5.7%
無回答	1名	3.3%	153名	11.3%



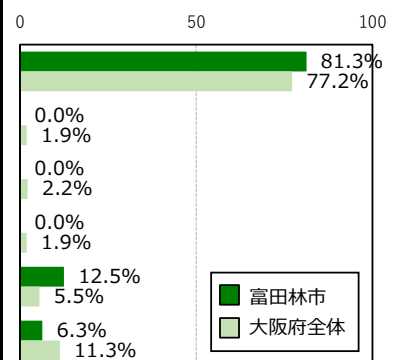
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	12名	100.0%	686名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから	10名	83.3%	546名	79.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	5名	0.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	3名	0.4%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	14名	2.0%
それ以外の理由	2名	16.7%	38名	5.5%
無回答	-	-	80名	11.7%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	16名	100.0%	636名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから	13名	81.3%	491名	77.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	12名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	14名	2.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	12名	1.9%
それ以外の理由	2名	12.5%	35名	5.5%
無回答	1名	6.3%	72名	11.3%



※ ひとり親世帯のみで集計。

保護者のことについて

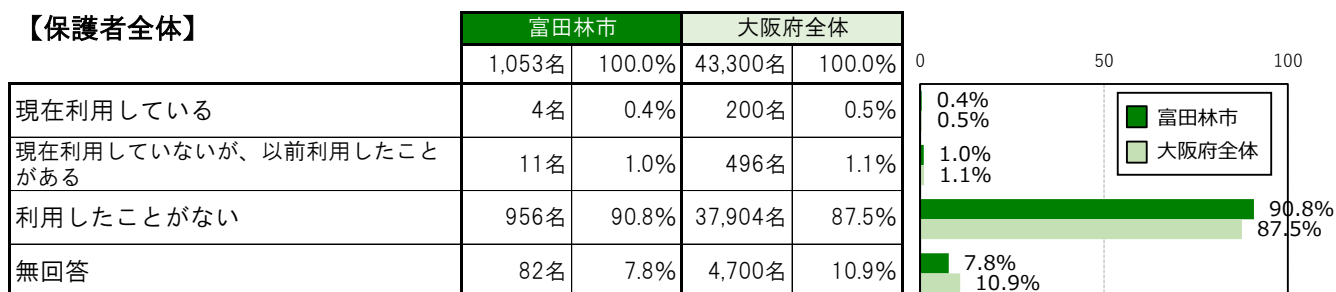
問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター

保護者全体は、「利用したことがない」が90.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%、「現在利用している」が0.4%となっている。

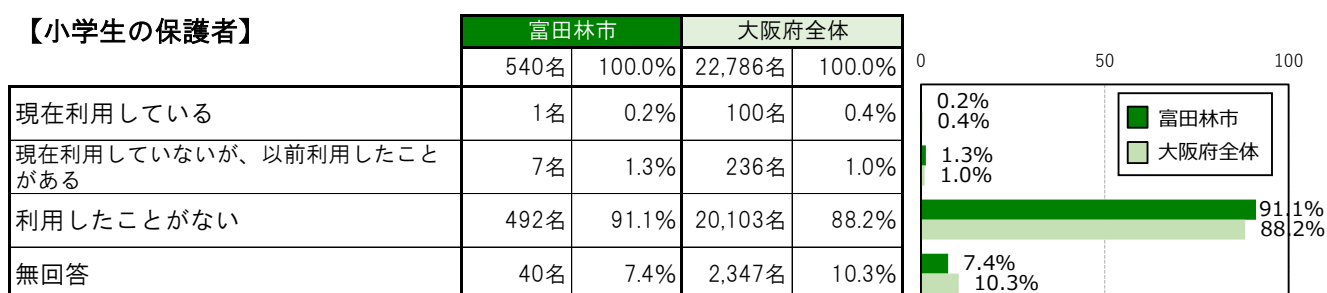
小学生の保護者は、「利用したことがない」が91.1%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.3%、「現在利用している」が0.2%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が90.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「現在利用している」が0.4%となっている。

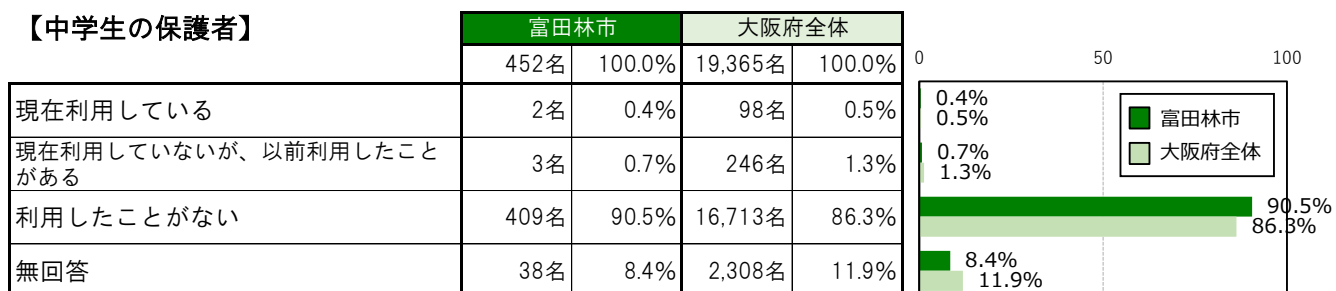
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター <利用したことがない理由>

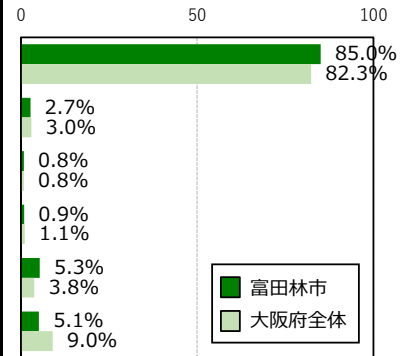
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が85.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.7%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.2%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.9%となっている。

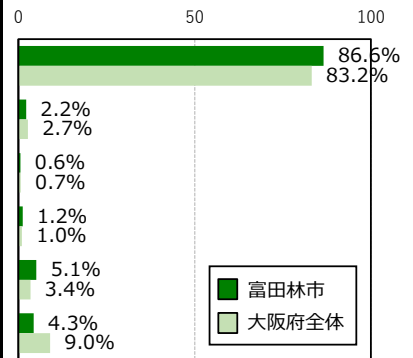
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	956名	100.0%	37,904名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	813名	85.0%	31,197名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	26名	2.7%	1,139名	3.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	8名	0.8%	316名	0.8%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	9名	0.9%	401名	1.1%
それ以外の理由	51名	5.3%	1,448名	3.8%
無回答	49名	5.1%	3,403名	9.0%



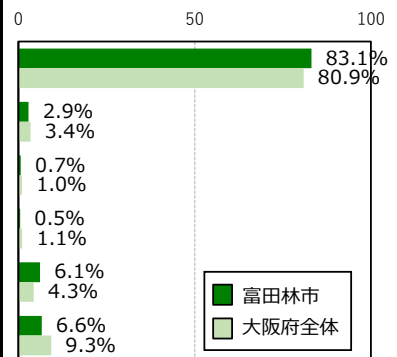
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	492名	100.0%	20,103名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	426名	86.6%	16,718名	83.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	11名	2.2%	540名	2.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.6%	138名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	6名	1.2%	203名	1.0%
それ以外の理由	25名	5.1%	686名	3.4%
無回答	21名	4.3%	1,818名	9.0%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	409名	100.0%	16,713名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	340名	83.1%	13,516名	80.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	12名	2.9%	572名	3.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.7%	169名	1.0%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	2名	0.5%	188名	1.1%
それ以外の理由	25名	6.1%	714名	4.3%
無回答	27名	6.6%	1,554名	9.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

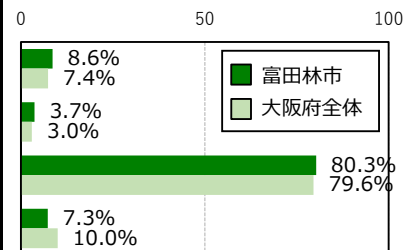
保護者全体は、「利用したことがない」が80.3%で最も多く、次いで「現在利用している」が8.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.7%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が81.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が7.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.1%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が79.2%で最も多く、次いで「現在利用している」が9.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.8%となっている。

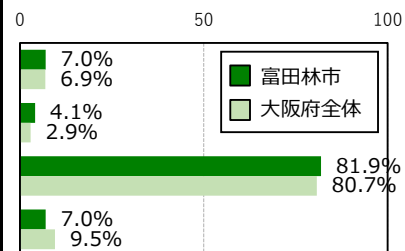
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	91名	8.6%	3,205名	7.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	39名	3.7%	1,293名	3.0%
利用したことがない	846名	80.3%	34,472名	79.6%
無回答	77名	7.3%	4,330名	10.0%



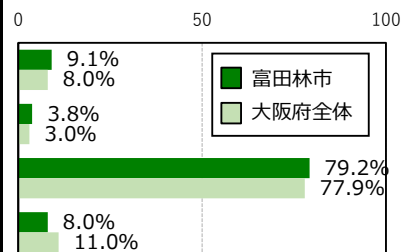
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	38名	7.0%	1,562名	6.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	22名	4.1%	672名	2.9%
利用したことがない	442名	81.9%	18,390名	80.7%
無回答	38名	7.0%	2,162名	9.5%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	41名	9.1%	1,557名	8.0%
現在利用していないが、以前利用したことがある	17名	3.8%	588名	3.0%
利用したことがない	358名	79.2%	15,094名	77.9%
無回答	36名	8.0%	2,126名	11.0%



保護者のことについて

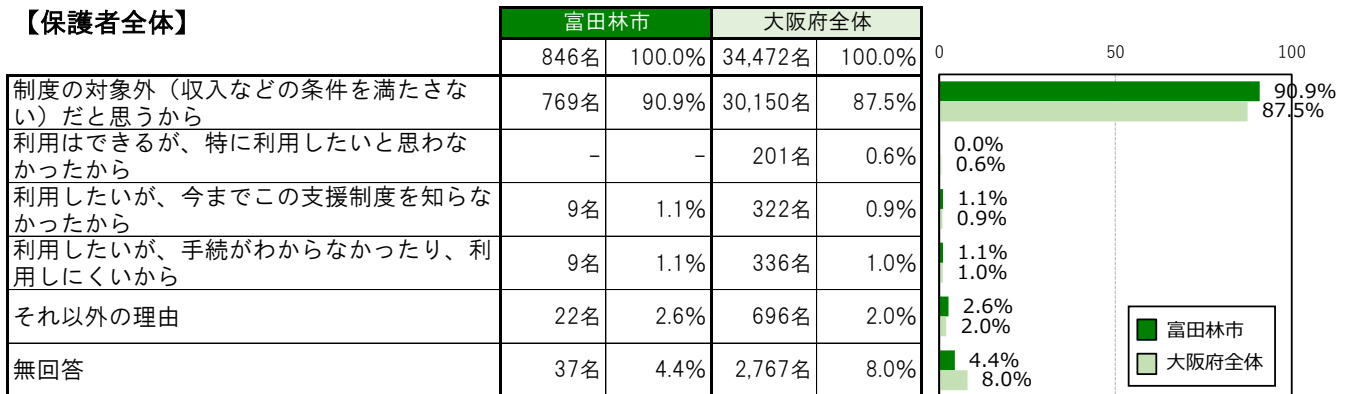
問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
＜利用したことがない理由＞

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.6%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ1.1%となっている。

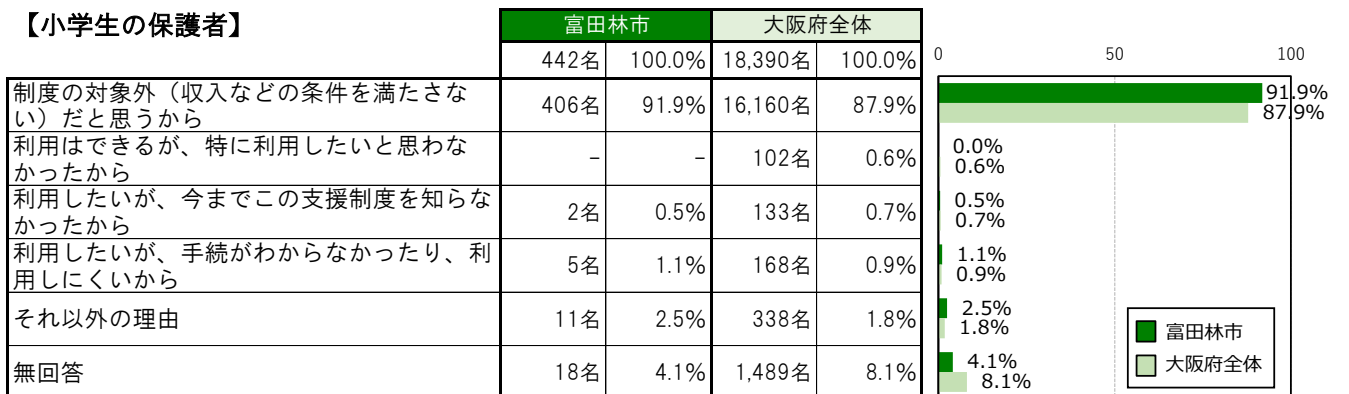
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.1%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.4%となっている。

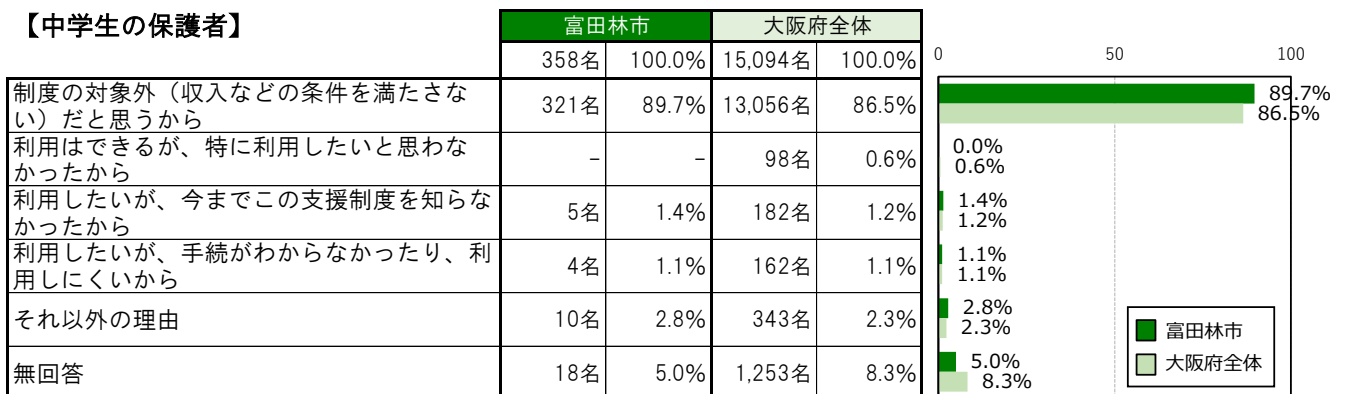
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）

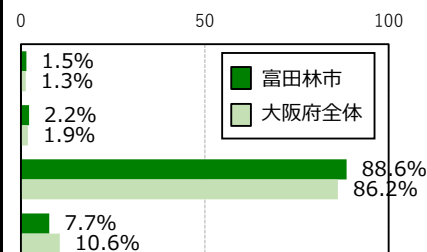
保護者全体は、「利用したことがない」が88.6%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.2%、「現在利用している」が1.5%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が88.5%で最も多く、次いで「現在利用している」、「現在利用していないが、以前利用したことがある」がそれぞれ1.9%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が88.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.9%、「現在利用している」が0.7%となっている。

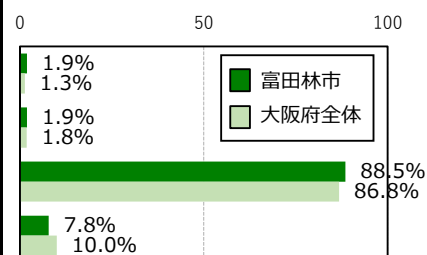
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	16名	1.5%	569名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	23名	2.2%	814名	1.9%
利用したことがない	933名	88.6%	37,313名	86.2%
無回答	81名	7.7%	4,604名	10.6%



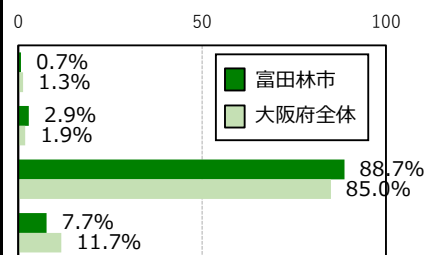
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	10名	1.9%	298名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	10名	1.9%	419名	1.8%
利用したことがない	478名	88.5%	19,782名	86.8%
無回答	42名	7.8%	2,287名	10.0%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	3名	0.7%	258名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	13名	2.9%	372名	1.9%
利用したことがない	401名	88.7%	16,467名	85.0%
無回答	35名	7.7%	2,268名	11.7%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）
＜利用したことがない理由＞

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が84.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.8%となっている。

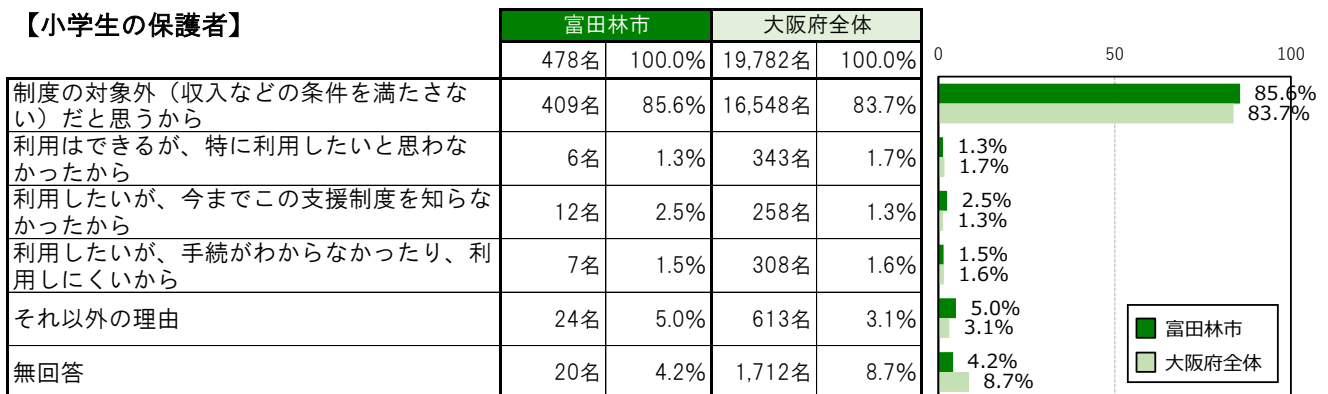
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が85.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が2.5%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が82.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が3.0%となっている。

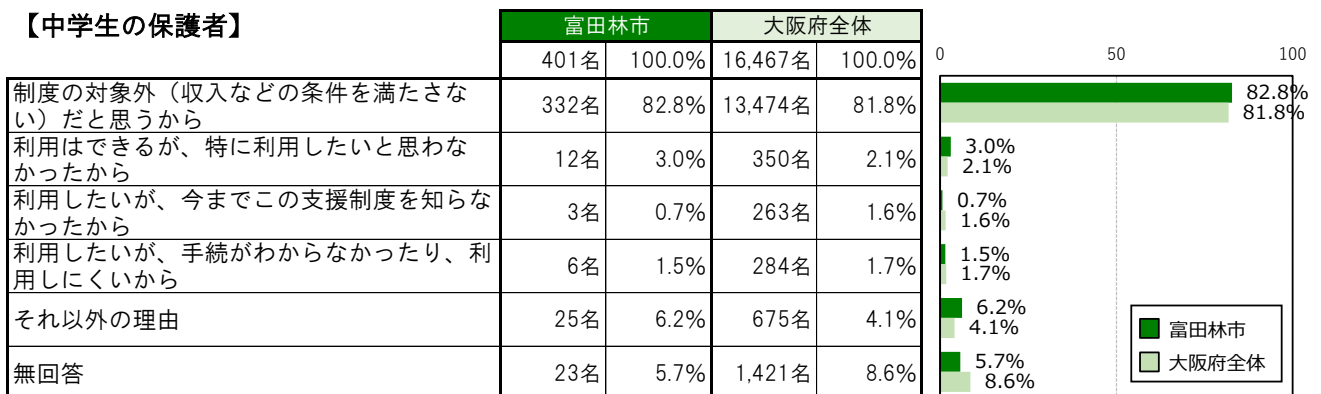
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



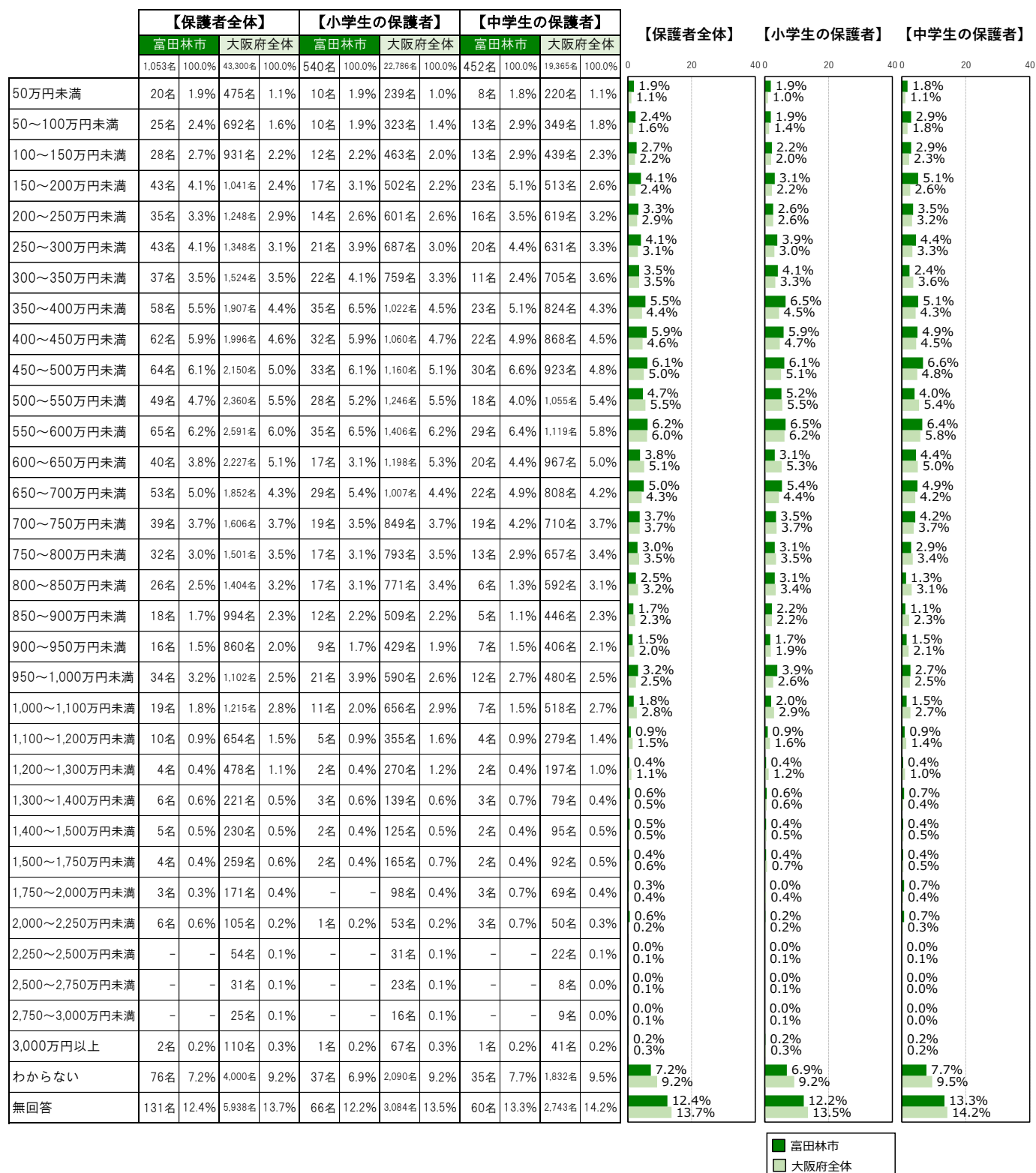
保護者のことについて

問24 世帯収入

保護者全体は、「550～600万円未満」が6.2%で最も多く、次いで「450～500万円未満」が6.1%、「400～450万円未満」が5.9%、「350～400万円未満」が5.5%、「650～700万円未満」が5.0%となっている。

小学生の保護者は、「350～400万円未満」、「550～600万円未満」がそれぞれ6.5%で最も多く、次いで「450～500万円未満」が6.1%、「400～450万円未満」が5.9%、「650～700万円未満」が5.4%となっている。

中学生の保護者は、「450～500万円未満」が6.6%で最も多く、次いで「550～600万円未満」が6.4%、「150～200万円未満」と「350～400万円未満」がそれぞれ5.1%、「400～450万円未満」と「650～700万円未満」がそれぞれ4.9%となっている。

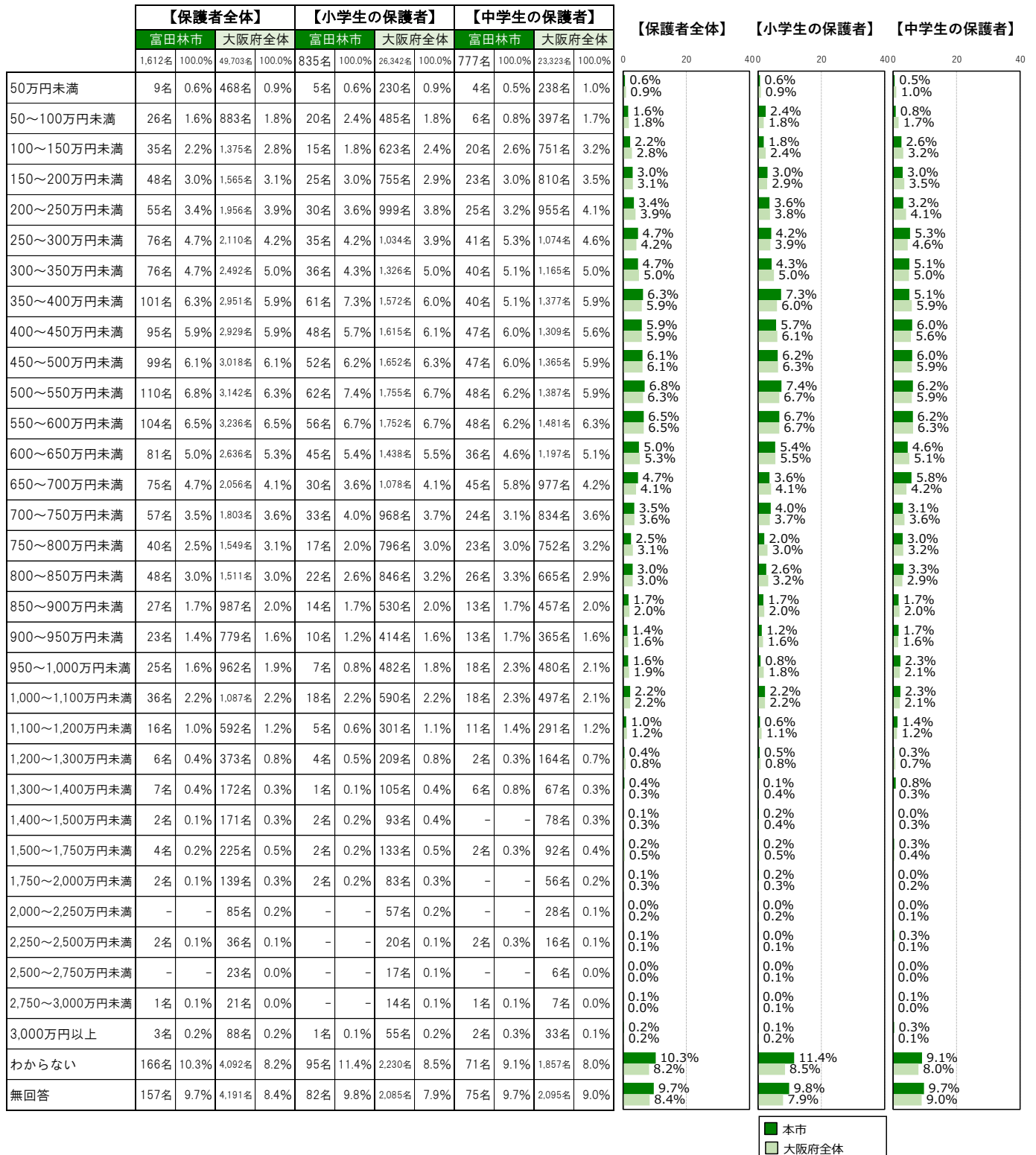


●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「950～1000万円未満」は1.6ポイント高くなっているが、「500～550万円未満」が2.1ポイント低くなっている。

小学生の保護者は、「950～1000万円未満」は3.1ポイント高くなっているが、「600～650万円未満」が2.3ポイント低くなっている。

中学生の保護者は、「300～350万円未満」が2.7ポイント、「500～550万円未満」が2.2ポイント、それぞれ低くなっている。



世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要がある、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

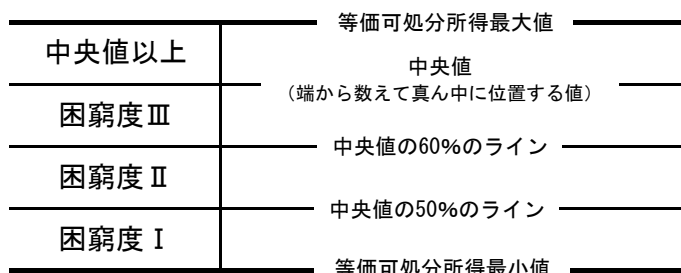
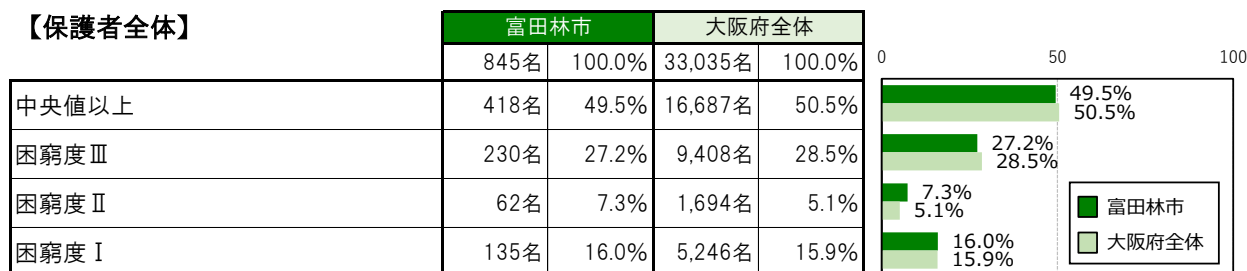


図 困窮度の分類と基準

中央値は245万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は16.0%であった。
なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。

【保護者全体】

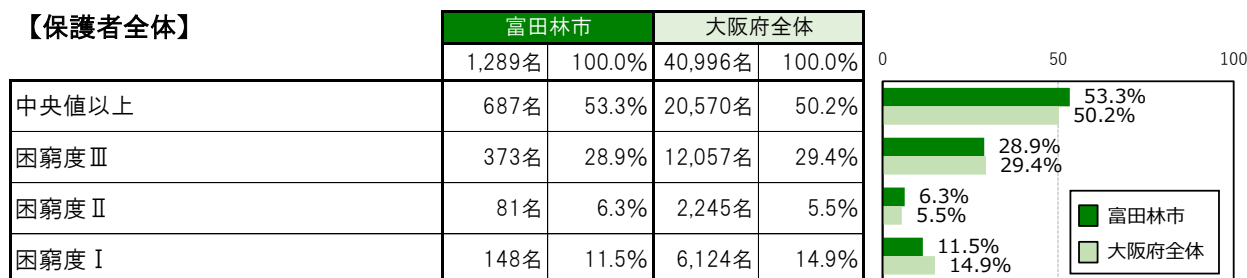


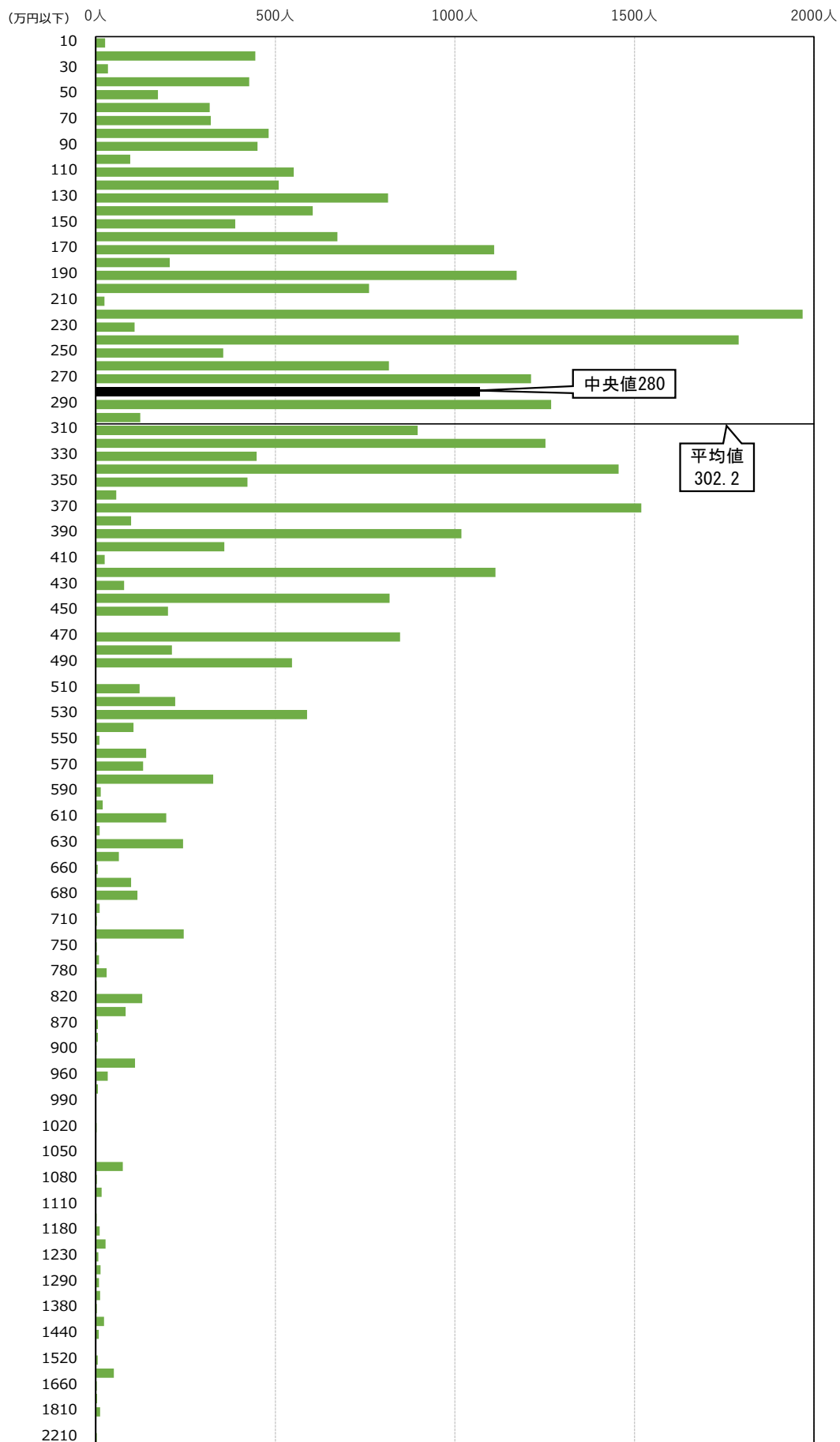
保護者全体は、「中央値以上」が49.5%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が27.2%、「困窮度Ⅰ」が16.0%、「困窮度Ⅱ」が7.3%となっている。

●2016年度 調査結果【参考データ】

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「困窮度Ⅰ」は4.5ポイント高くなっている。

【保護者全体】





※ 2016年度調査では、中央値255万円、平均値272.7万円であった。
 注) 2023年度調査ではグラフ作成方法を改訂している。

図 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者のことについて

問25 同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数

保護者全体は、「いない」が29.9%で最も多く、次いで「1回」が18.4%、「3回」が14.2%、「4回」が12.3%、「2回」が11.4%となっている。

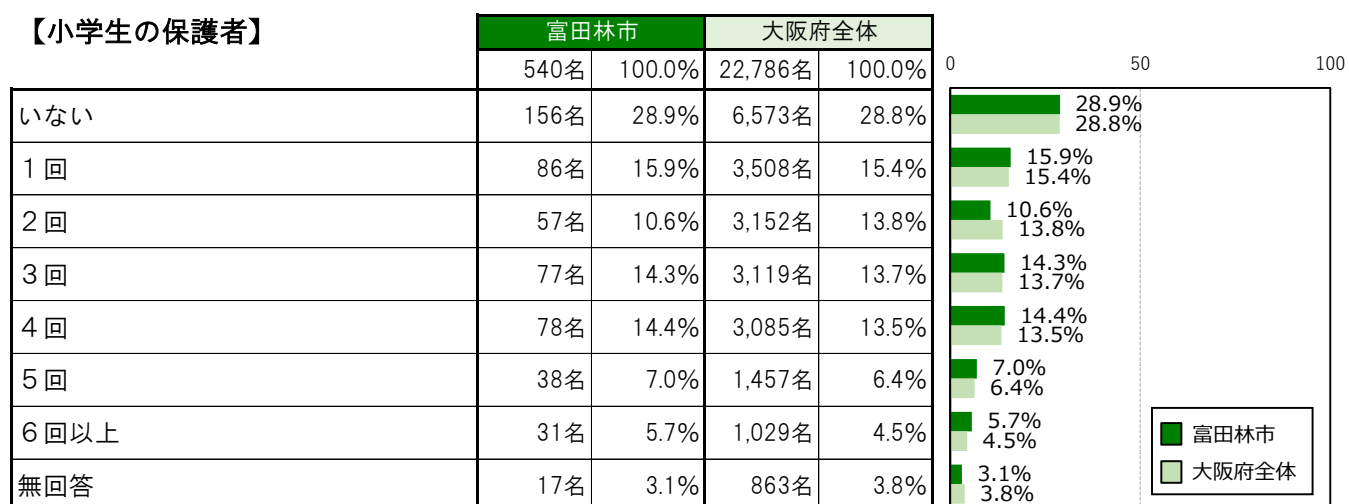
小学生の保護者は、「いない」が28.9%で最も多く、次いで「1回」が15.9%、「4回」が14.4%、「3回」が14.3%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が32.1%で最も多く、次いで「1回」が20.8%、「3回」が13.1%、「2回」が12.2%となっている。

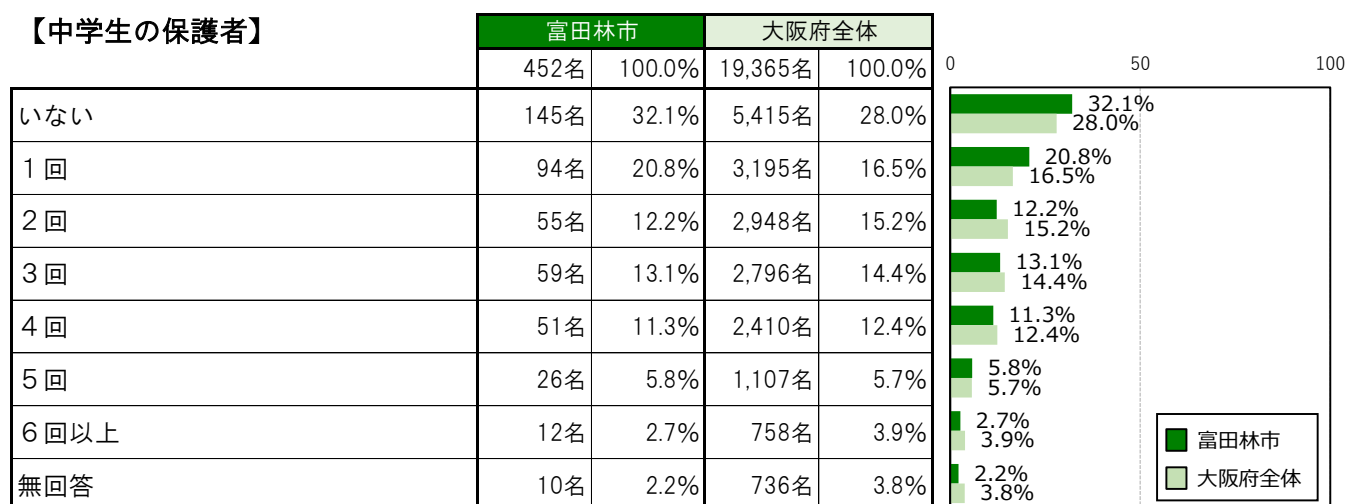
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問26（１）住居の間取り

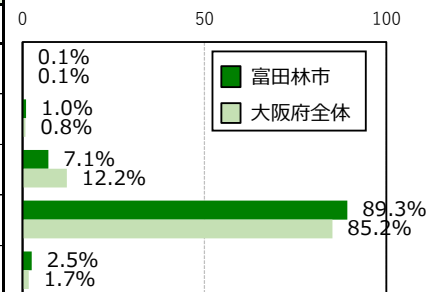
保護者全体は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.3%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.1%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が90.6%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が5.6%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が1.5%となっている。

中学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が88.3%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が8.2%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.7%となっている。

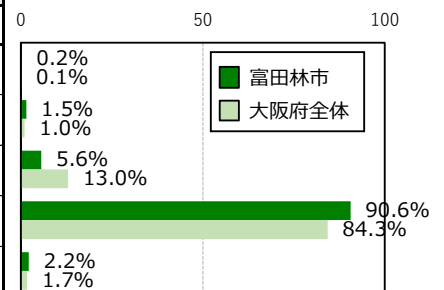
【保護者全体】

	富田林市		大阪府全体	
	1,053名	100.0%	43,300名	100.0%
ワンルーム	1名	0.1%	43名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	11名	1.0%	358名	0.8%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	75名	7.1%	5,272名	12.2%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	940名	89.3%	36,876名	85.2%
無回答	26名	2.5%	751名	1.7%



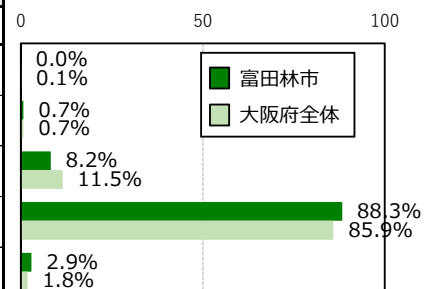
【小学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	540名	100.0%	22,786名	100.0%
ワンルーム	1名	0.2%	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	8名	1.5%	217名	1.0%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	30名	5.6%	2,951名	13.0%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	489名	90.6%	19,206名	84.3%
無回答	12名	2.2%	391名	1.7%



【中学生の保護者】

	富田林市		大阪府全体	
	452名	100.0%	19,365名	100.0%
ワンルーム	-	-	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	3名	0.7%	134名	0.7%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	37名	8.2%	2,233名	11.5%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	399名	88.3%	16,638名	85.9%
無回答	13名	2.9%	339名	1.8%



保護者のことについて

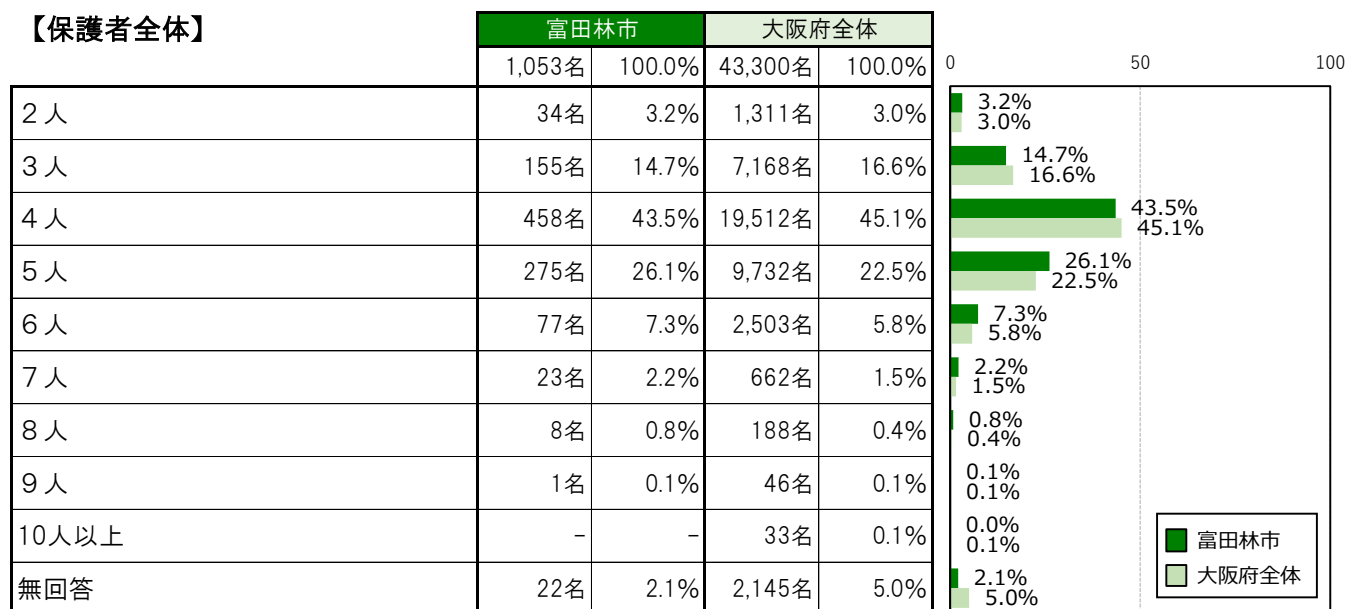
問26（2）同居人数

保護者全体は、「4人」が43.5%で最も多く、次いで「5人」が26.1%、「3人」が14.7%、「6人」が7.3%となっている。

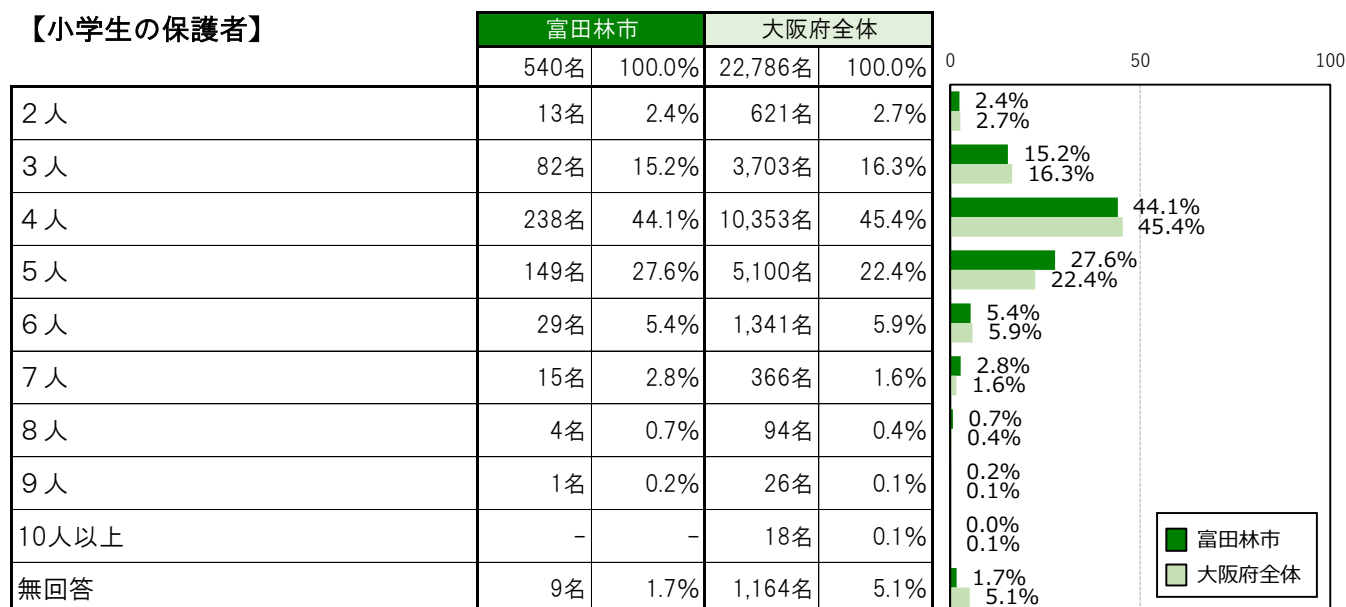
小学生の保護者は、「4人」が44.1%で最も多く、次いで「5人」が27.6%、「3人」が15.2%、「6人」が5.4%となっている。

中学生の保護者は、「4人」が43.1%で最も多く、次いで「5人」が25.0%、「3人」が14.4%、「6人」が8.6%となっている。

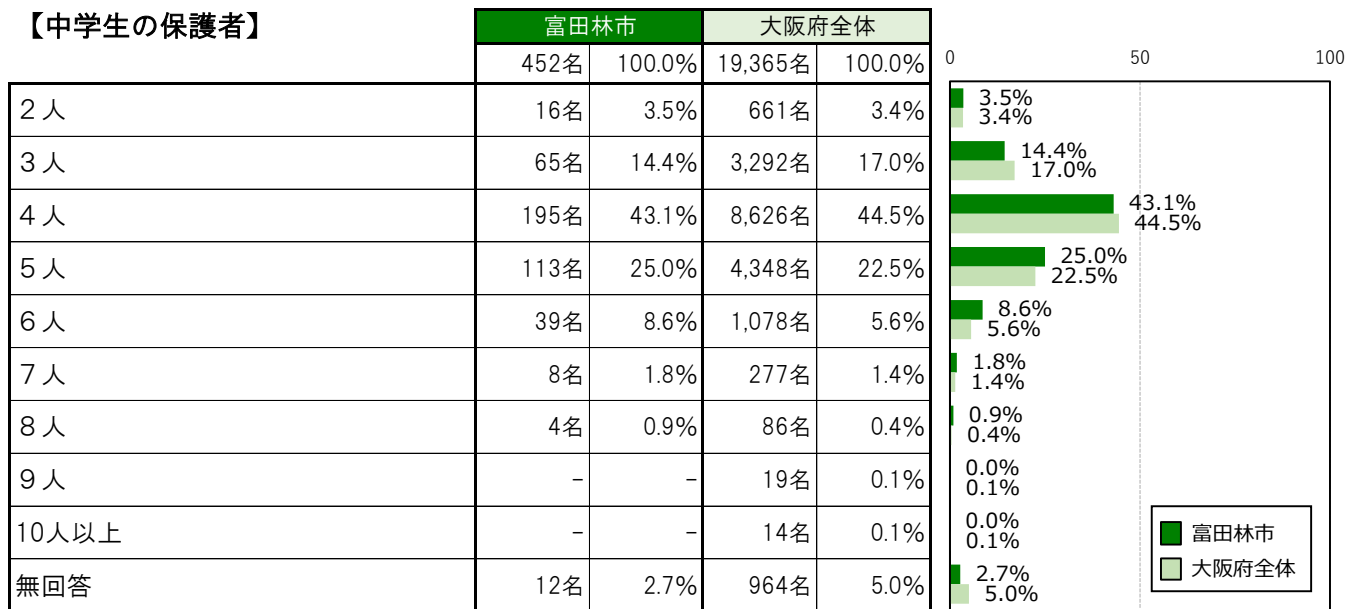
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



3. クロス集計および分析結果

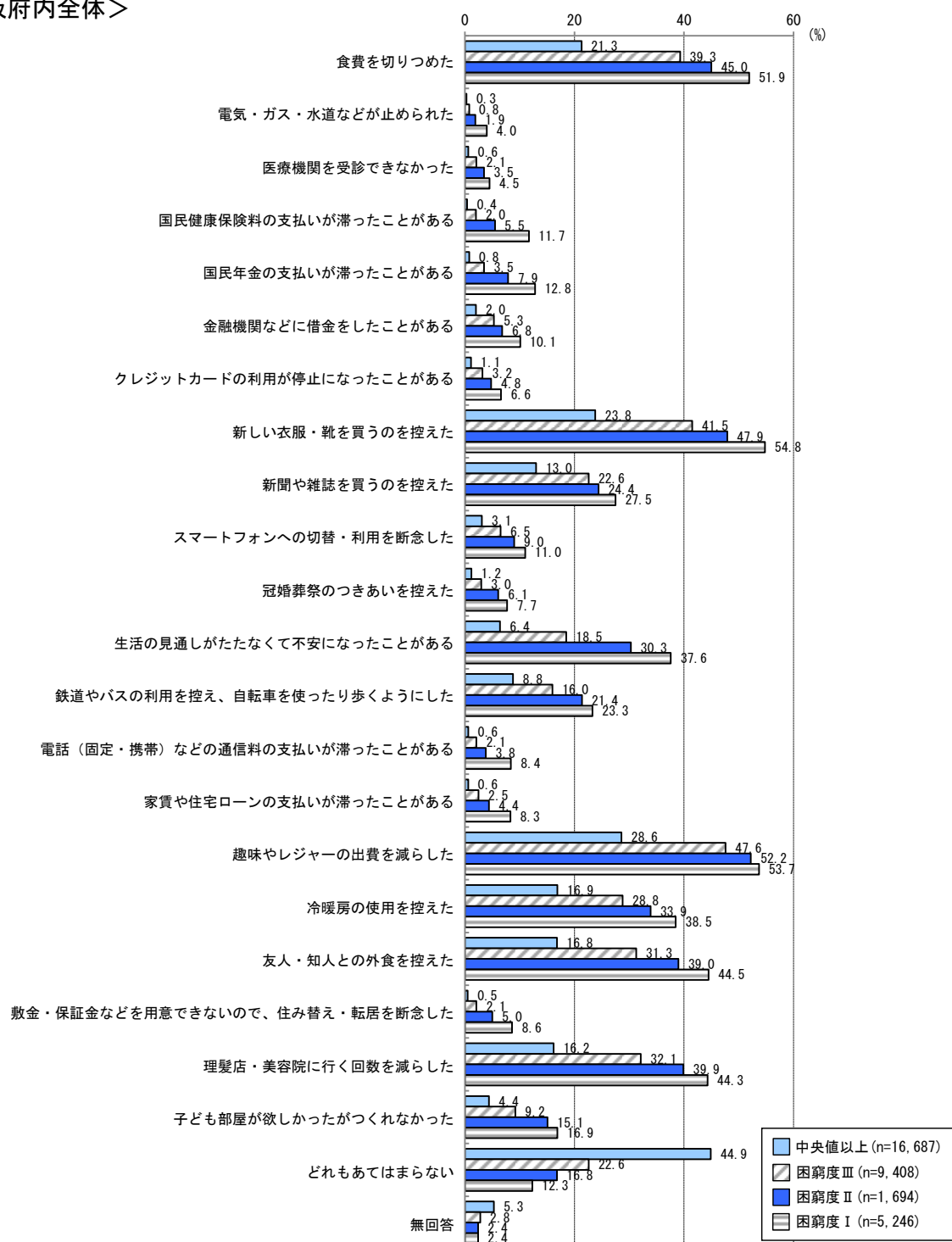
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<富田林市>

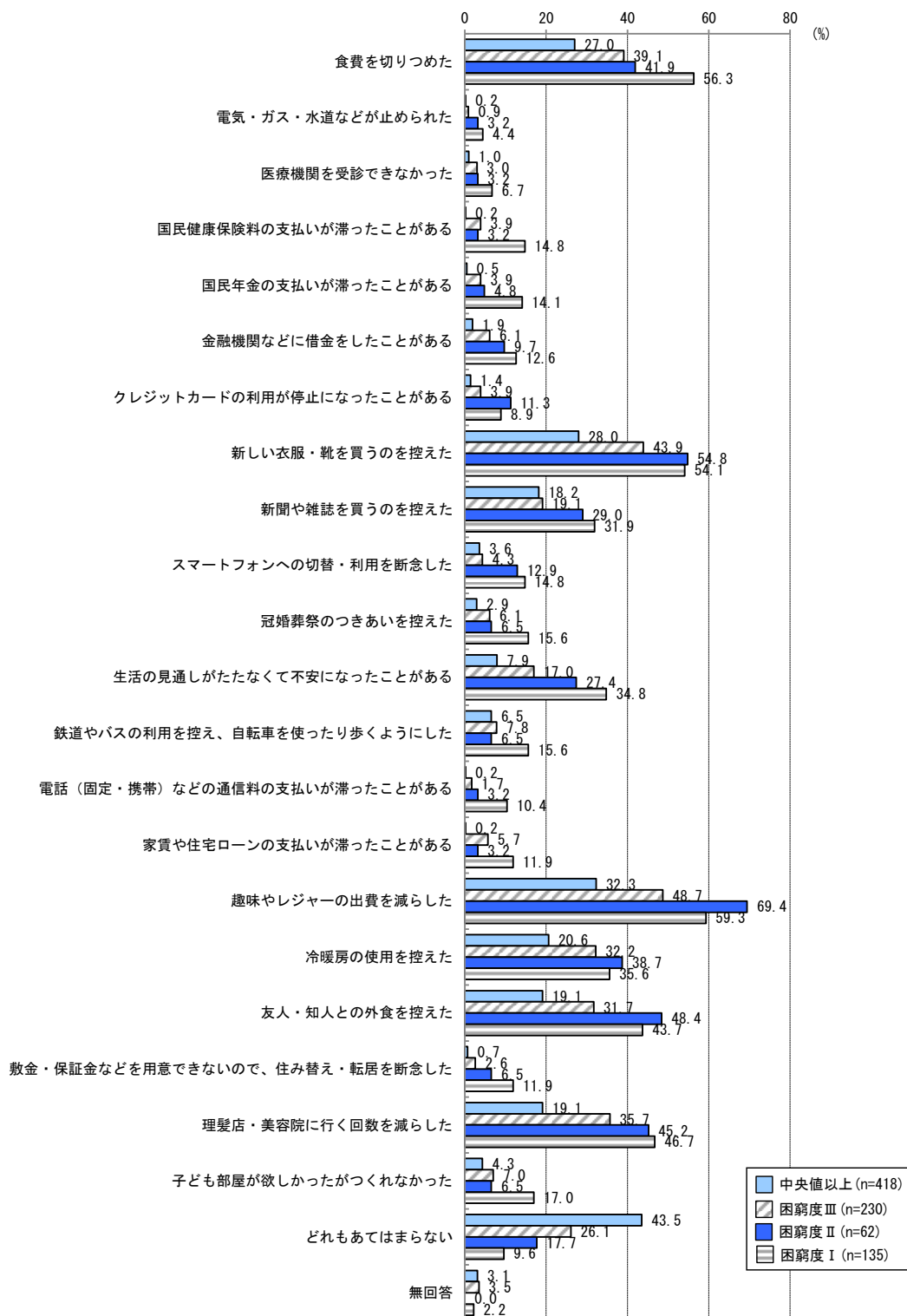
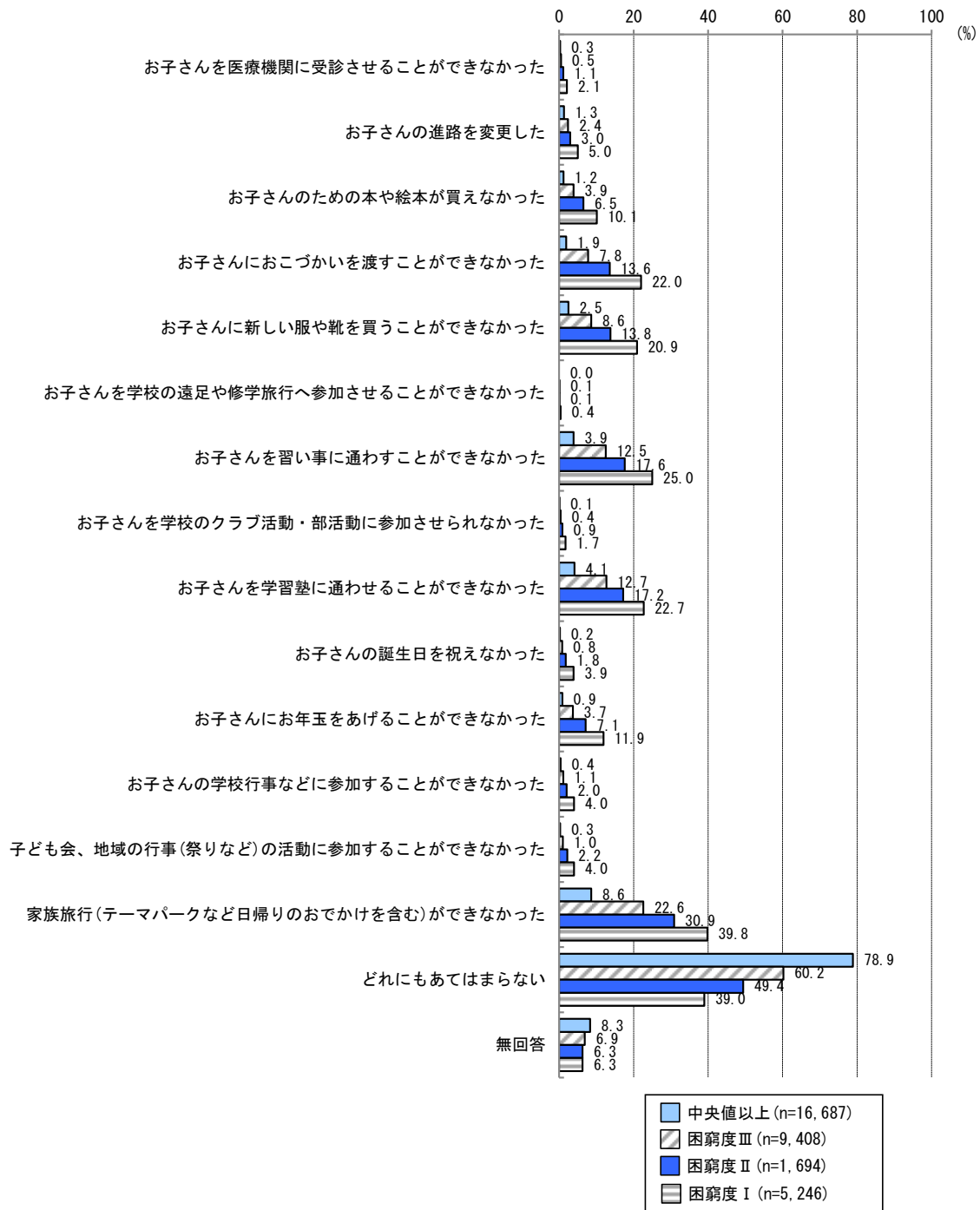


図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」が14.8%（中央値以上群に対して74.0倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」が11.9%（同じく59.5倍）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある」が10.4%（同じく52.0倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また「どれもあてはまらない」は中央値以上群で43.5%に対して、困窮度Ⅰ群において9.6%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<富田林市>

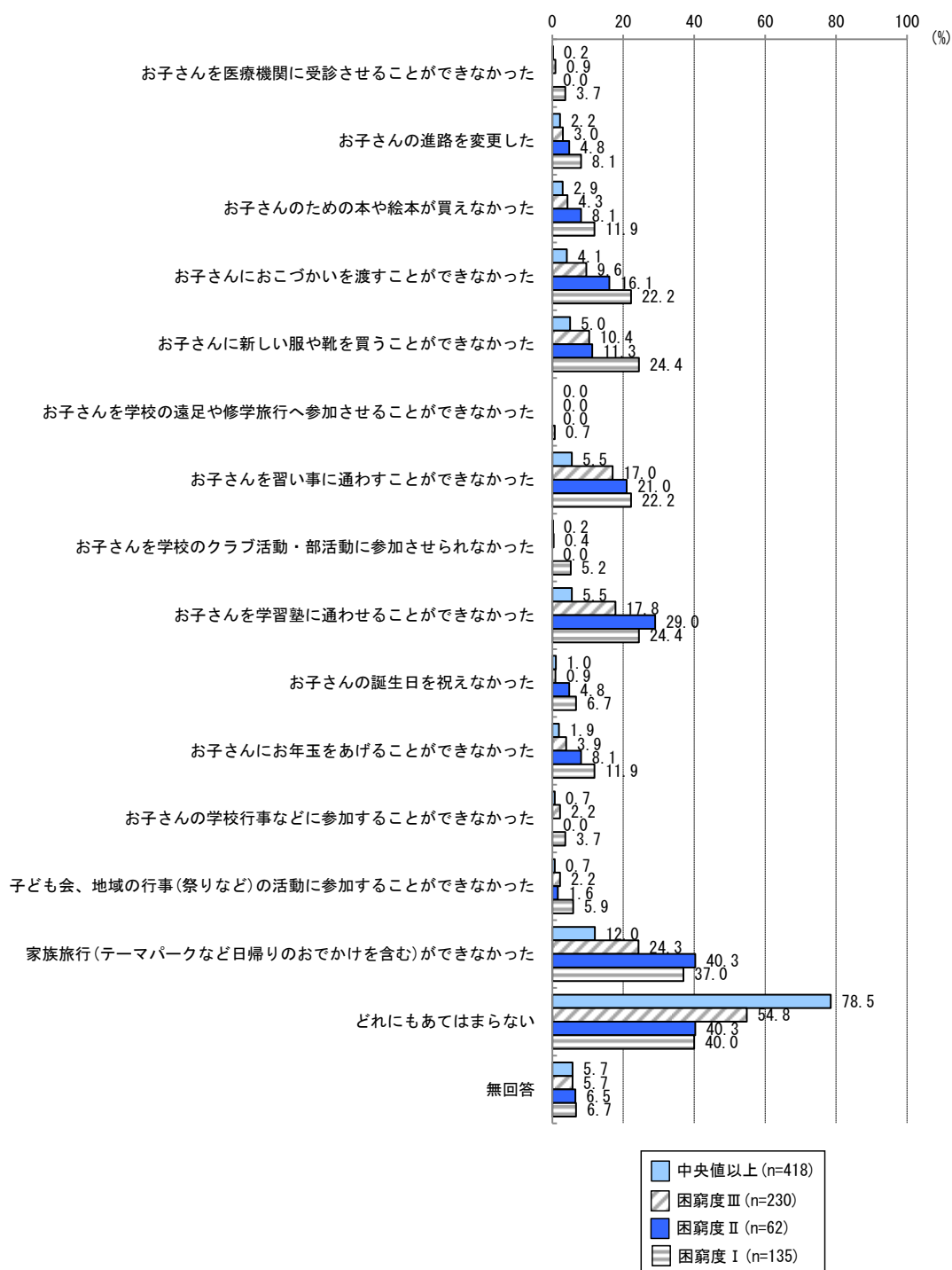


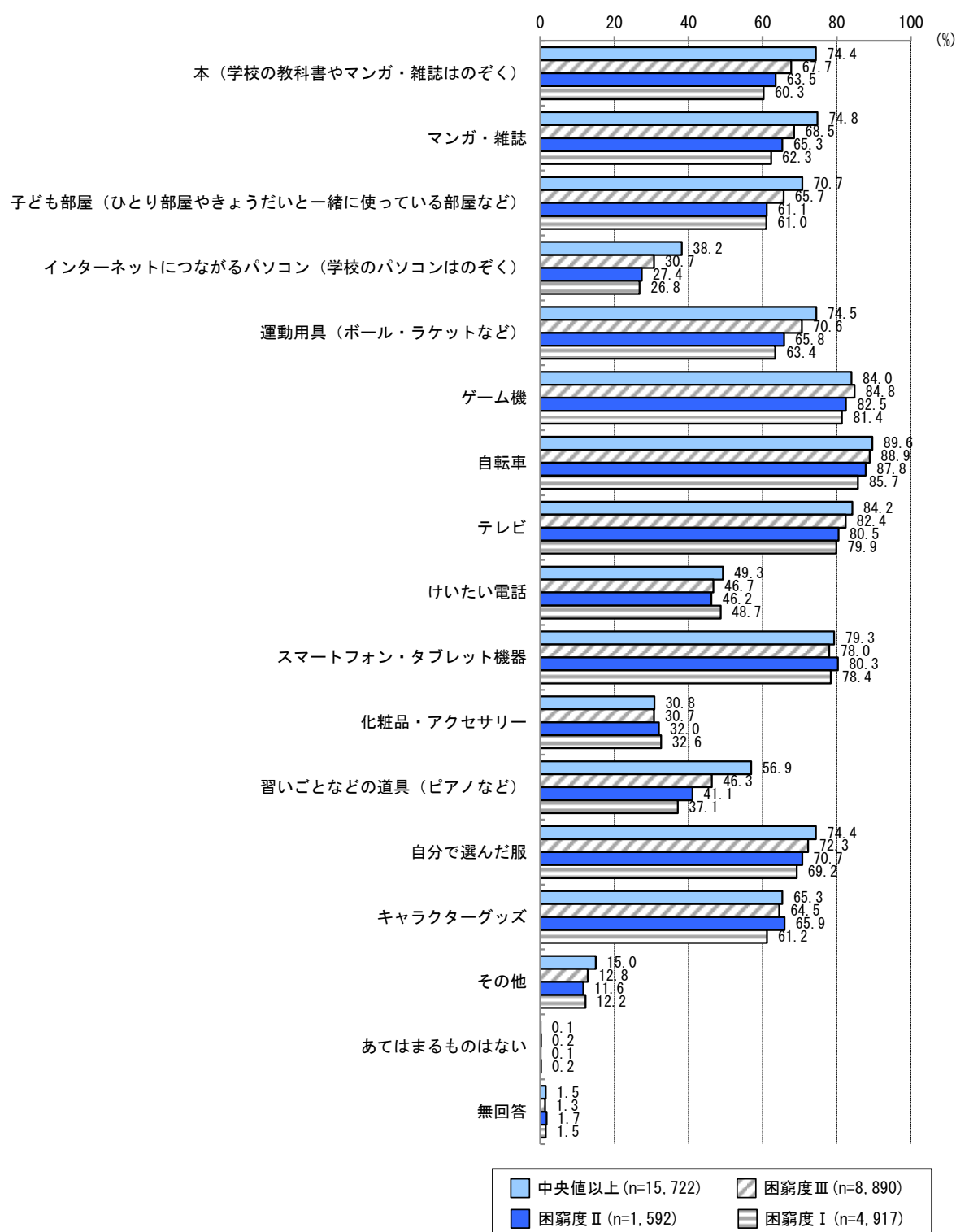
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった」が5.2%（中央値以上群に対して26.0倍）、「お子さんを医療機関に受診させることができなかった」が3.7%（同じく18.5倍）、「子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった」が5.9%（同じく8.4倍）となっている。

また、「どれにもあてはまらない」は中央値以上群で78.5%に対して、困窮度Ⅰ群において40.0%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<富田林市>

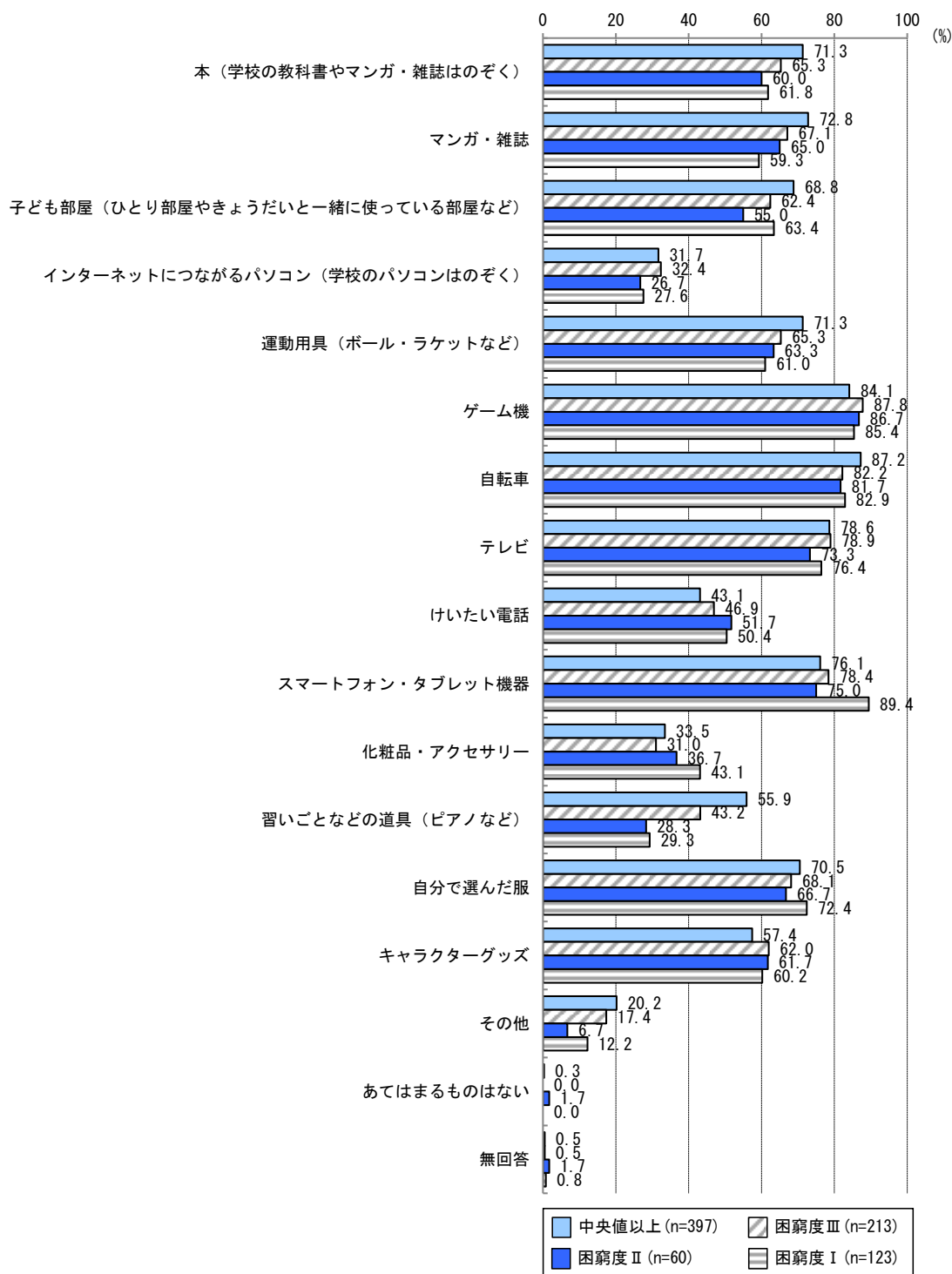
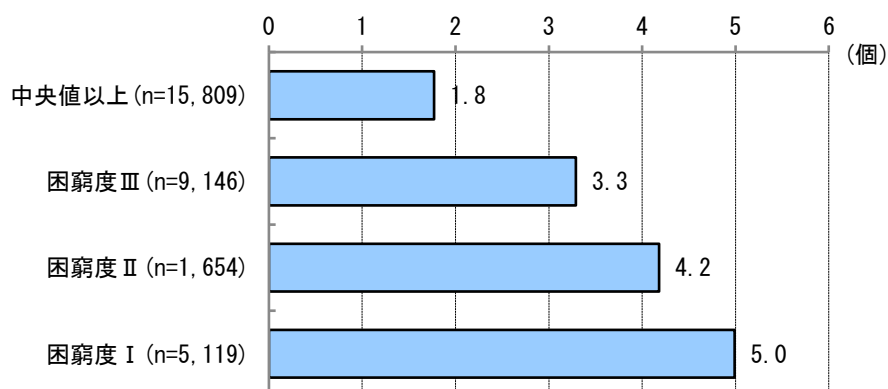


図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群を見ると、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」が55.9%（困窮度Ⅰ群に対して1.9倍）、「マンガ・雑誌」が72.8%（同じく1.2倍）、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が71.3%（同じく1.2倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<富田林市>

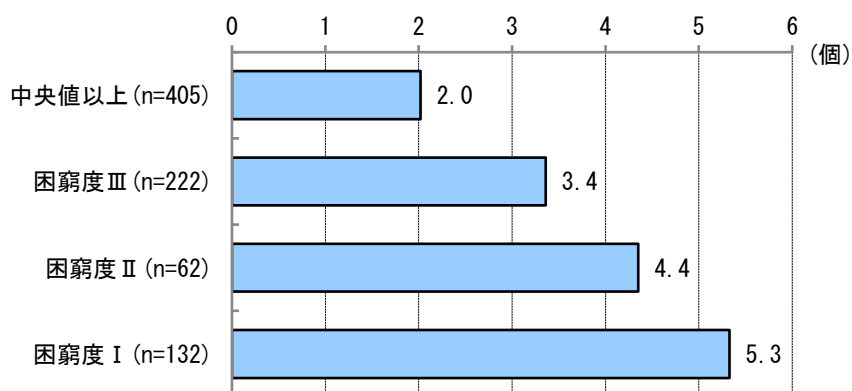


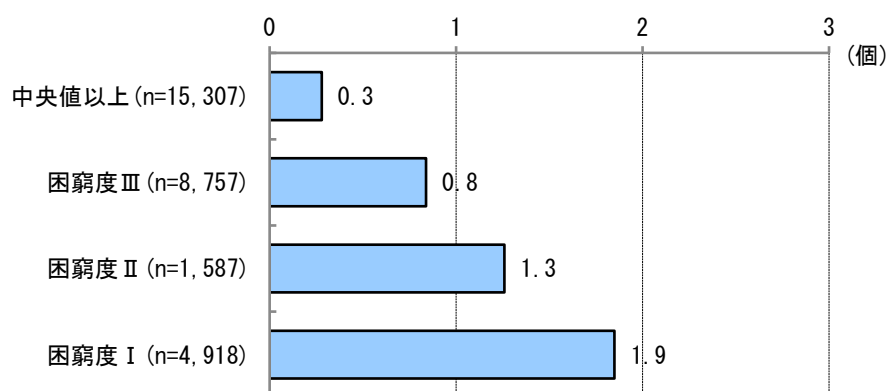
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<富田林市>

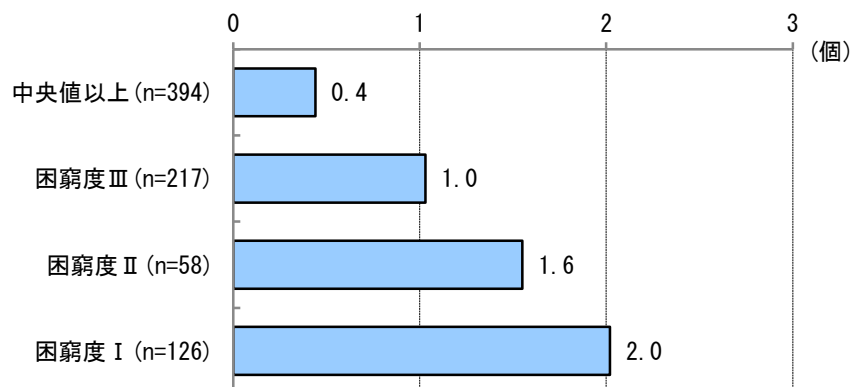


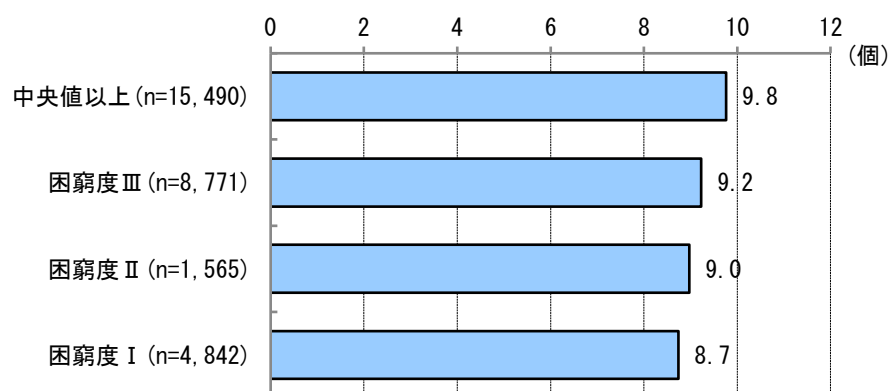
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<富田林市>

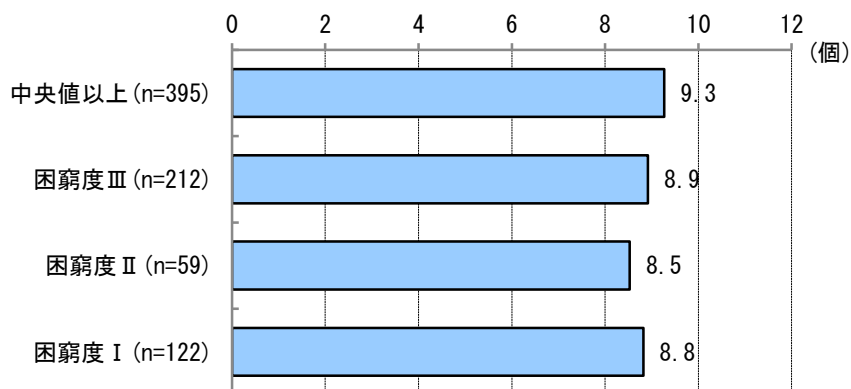


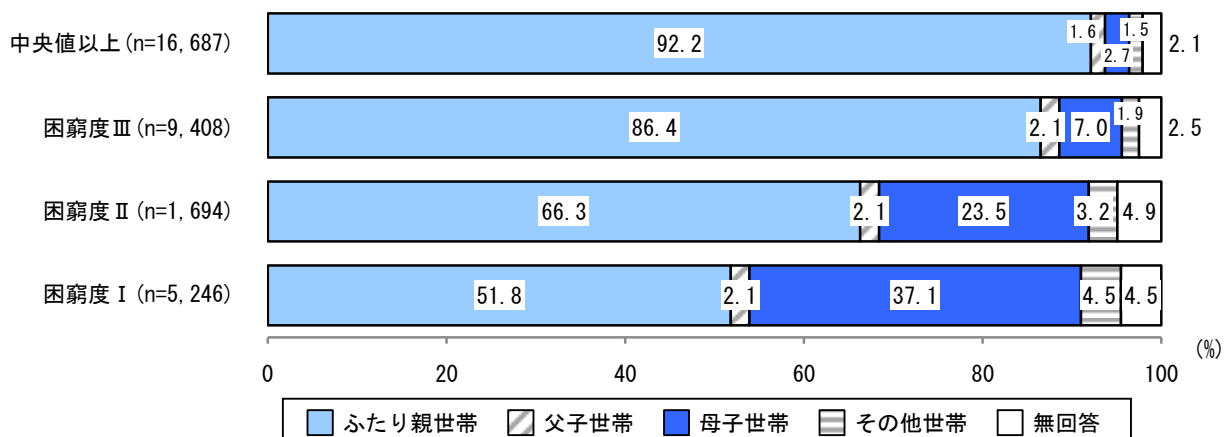
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度によって子どもの持ちもの、使えるものの該当数に大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<富田林市>

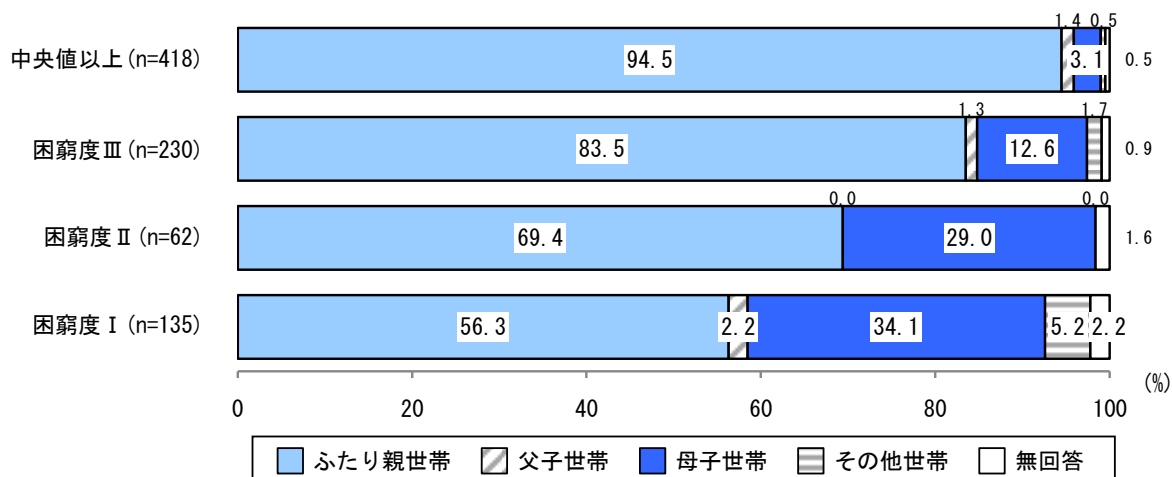


図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が94.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は56.3%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が3.1%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は34.1%だった。

<2016年度調査との比較／富田林市>

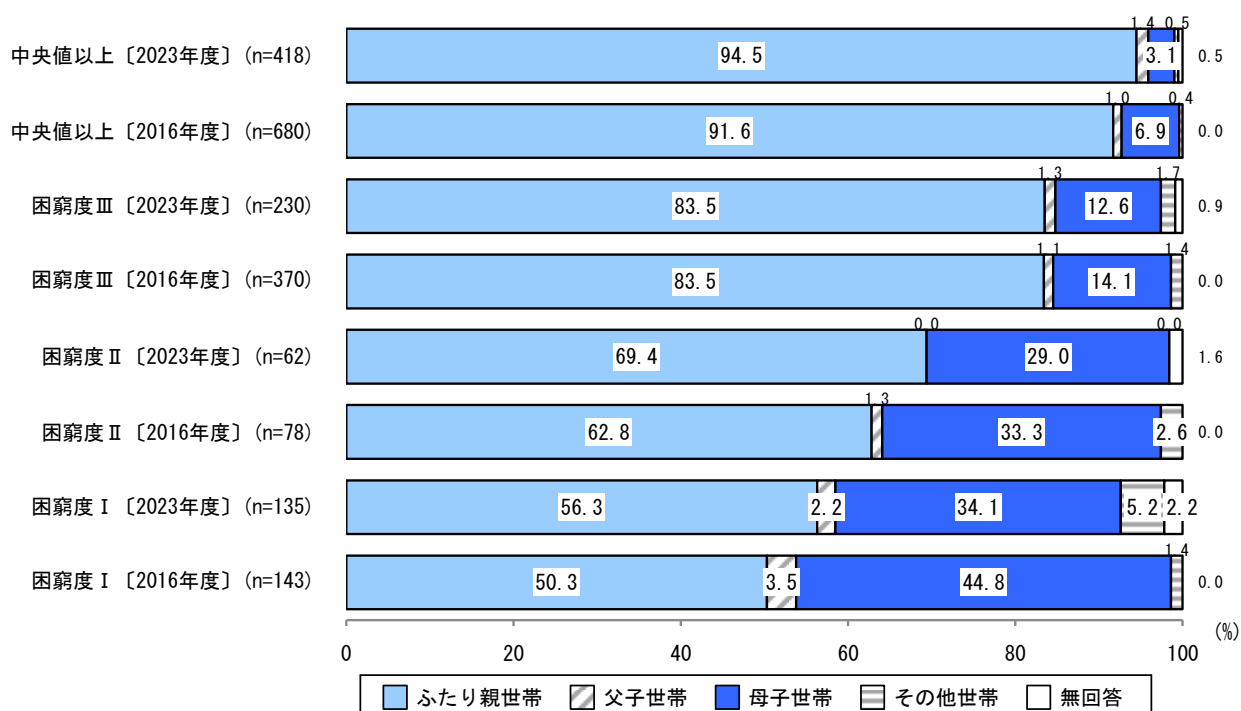
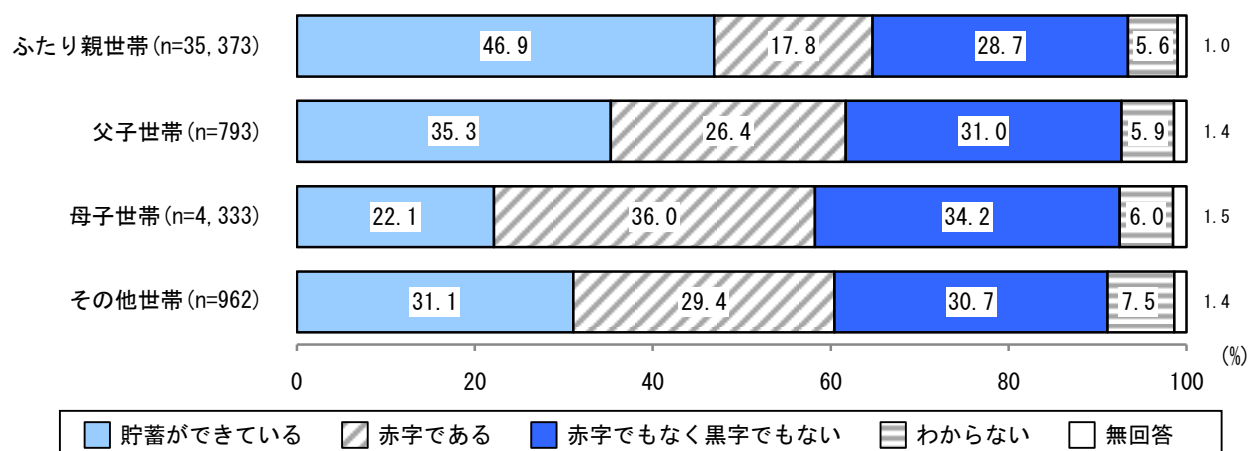


図 8. 困窮度別に見た、世帯員の構成（2016 年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「ふたり親世帯」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて概ね高くなっており、一方で、「母子世帯」は2016年度調査に比べて割合が低くなっている。

世帯構成別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

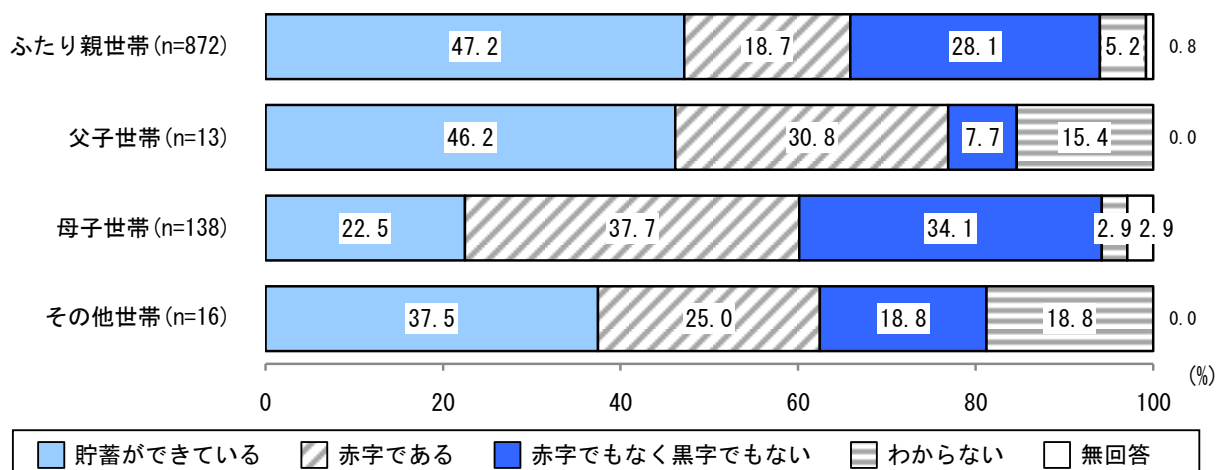
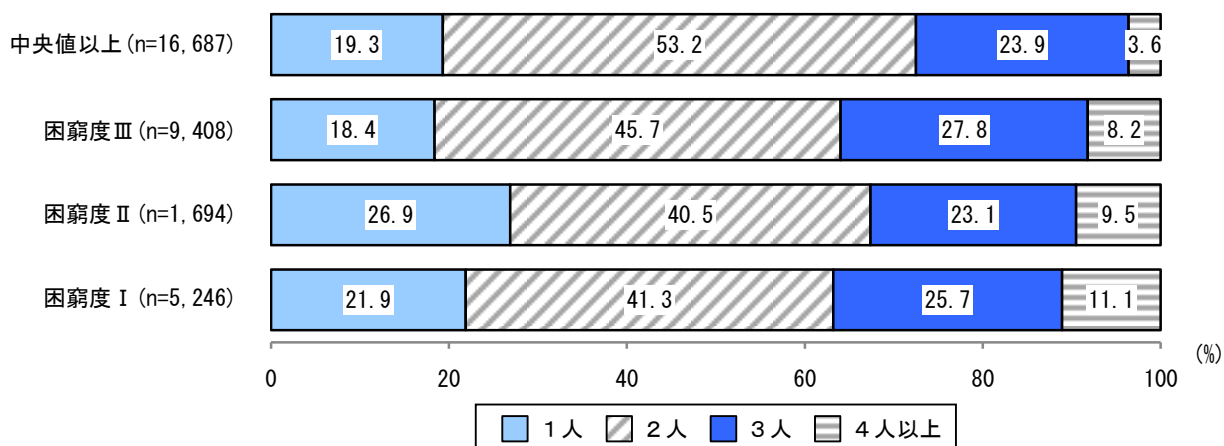


図 9. 世帯構成別に見た、家計の状況

世帯構成別に家計の状況を見ると、「貯蓄ができていない」と回答した割合は、ふたり親世帯が47.2%なのに対して、父子世帯46.2%、母子世帯22.5%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が18.7%なのに対して、母子世帯は37.7%だった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<富田林市>

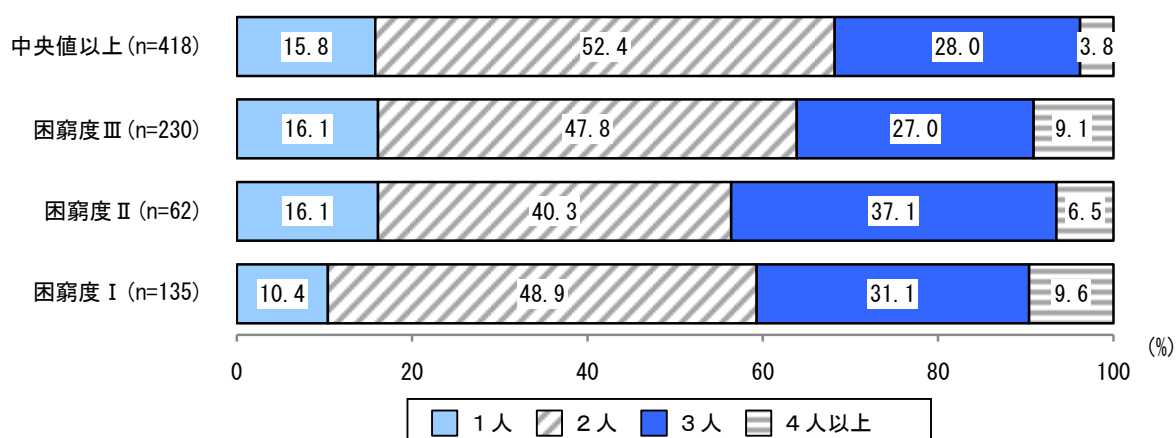
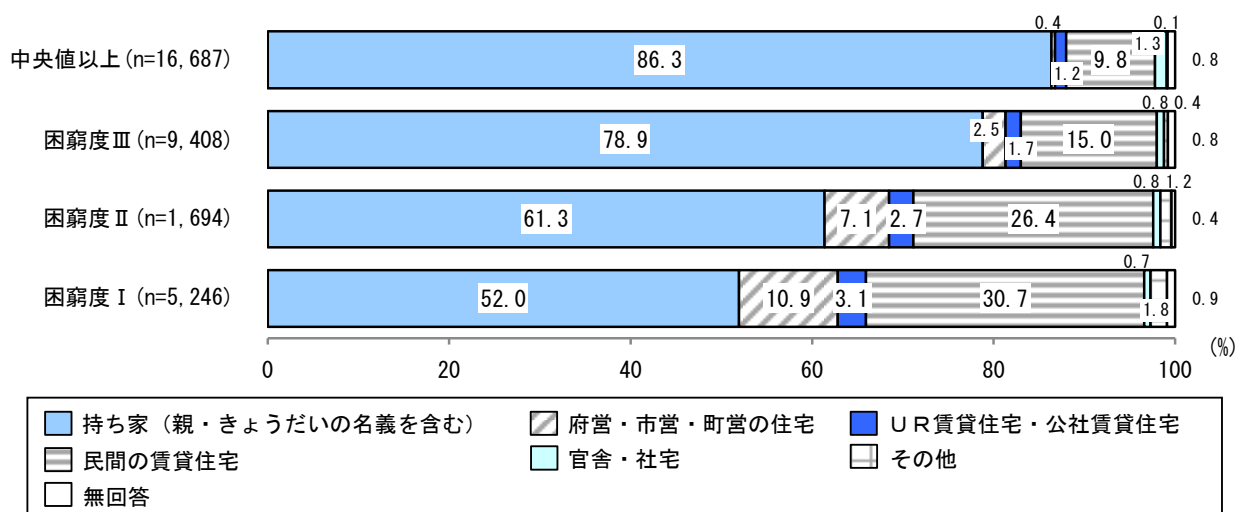


図 10. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が31.8%（3人28.0%、4人以上3.8%）であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、3人以上が40.7%（3人31.1%、4人以上9.6%）と高くなっている。

困窮度別に見た、住居形態（保護者票問5）

<大阪府内全体>



<富田林市>

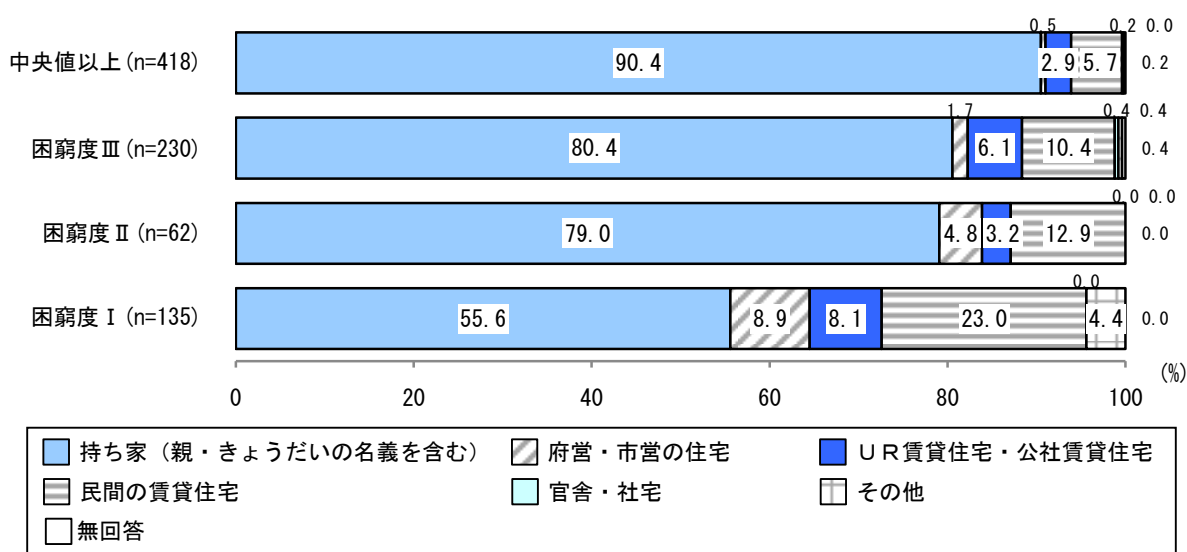
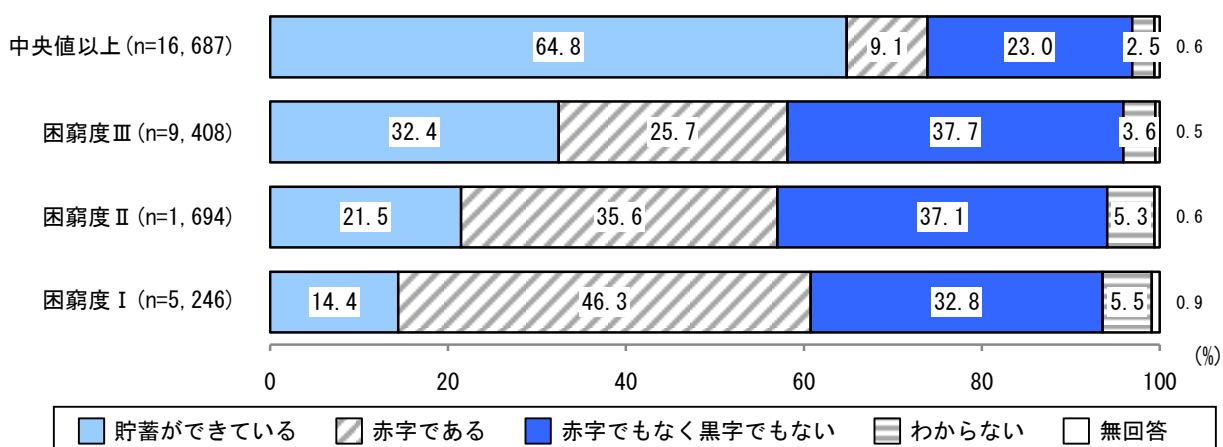


図 11. 困窮度別に見た、住居形態

困窮度別に住居形態を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は90.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、55.6%にとどまっている。

困窮度別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

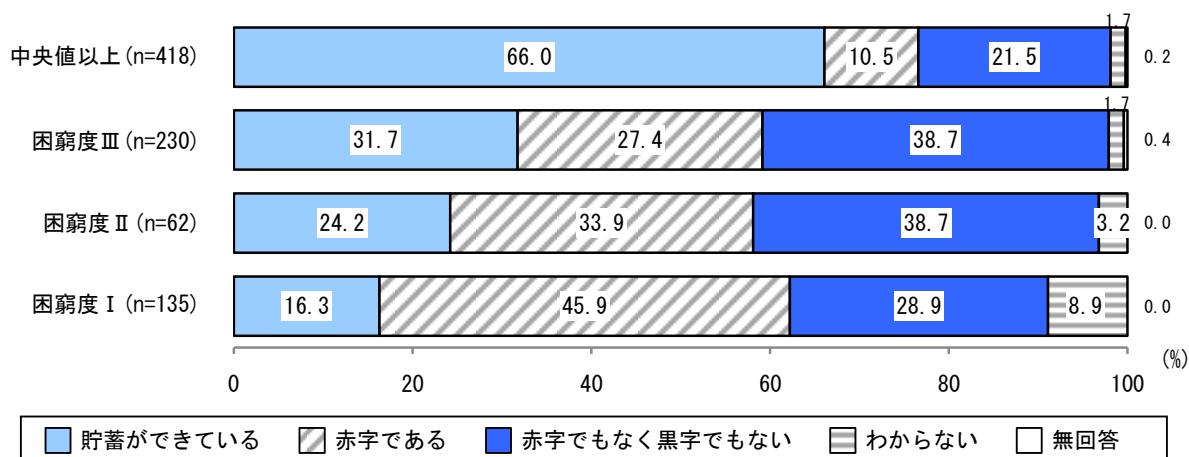
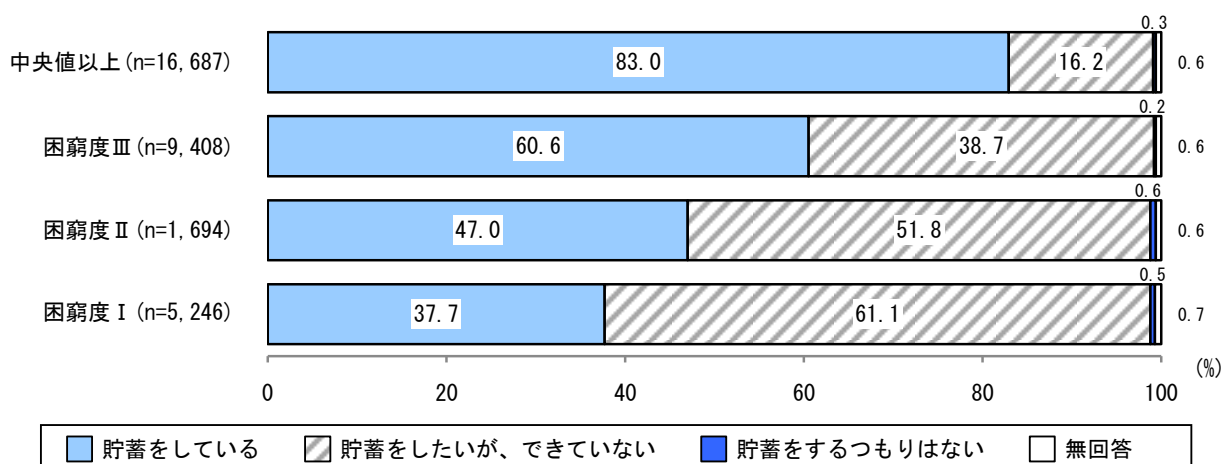


図 12. 困窮度別に見た、家計の状況

困窮度別に家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができています」と回答する割合が低くなり、逆に、「赤字である」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、10.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、45.9%となり、困窮度Ⅰ群で4割を超えている。

困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問 6(2)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

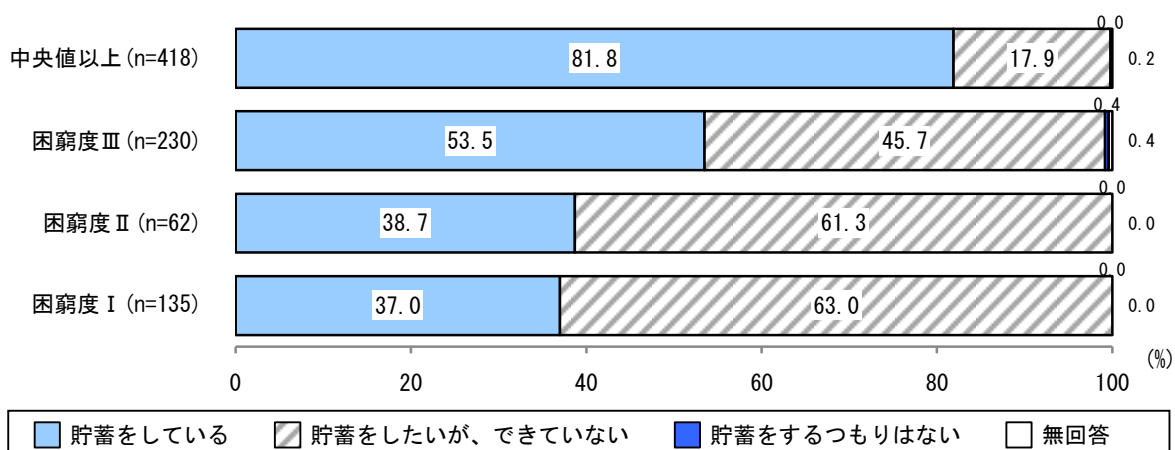
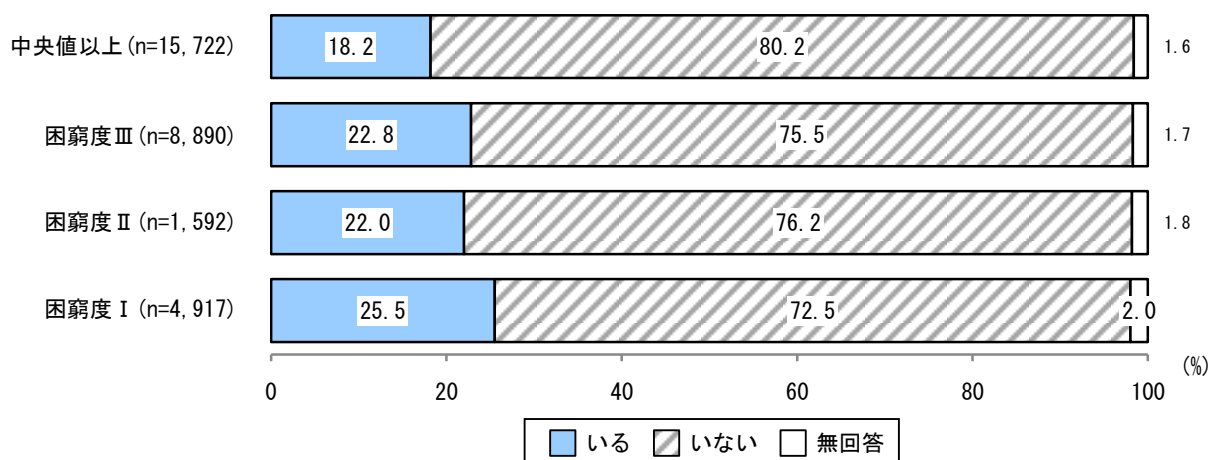


図 13. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

困窮度別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答した割合が81.8%を占めたが、困窮度Ⅰ群では37.0%にとどまり、約6割が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無（子ども票問 26(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

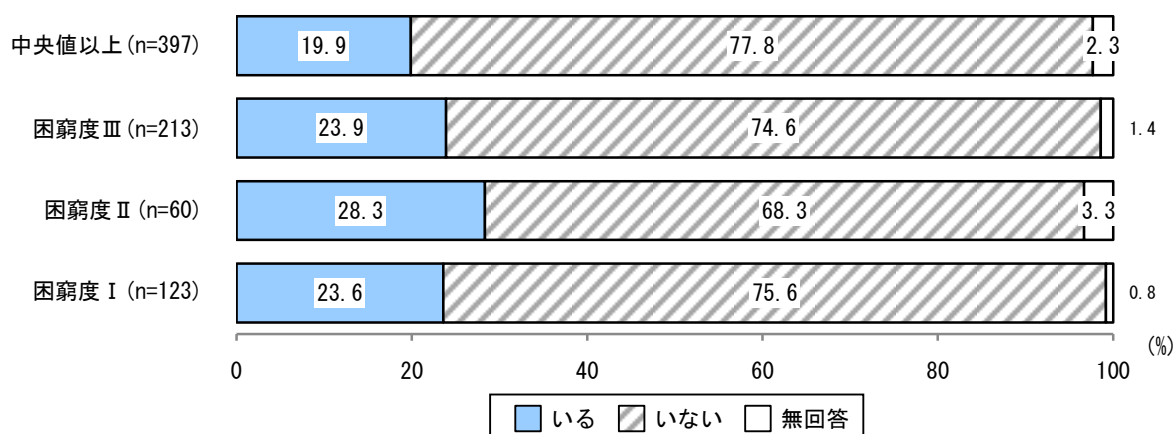


図 14. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無

困窮度別に自分が世話をしている人の有無を見ると、自分が世話をしている人が「いる」と回答した割合は困窮度Ⅱ群で28.3%と最も高くなっている。中央値以上群では、「いない」と回答した割合が77.8%を占め、最も高くなっている。

＜経済状況に関する考察＞

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上群で43.5%に対して、困窮度Ⅰ群では9.6%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「電気・ガス・水道などが止められた」（4.4%対0.2%）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」（11.9%対0.2%）、「電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある」（10.4%対0.2%）と回答した割合が高くなっており、生活面で大きな格差が存在する。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「国民年金の支払いが滞ったことがある」（14.1%対0.5%）と回答した割合が高くなっており、子どもの親（保護者）の将来（老後）の生活困窮を示唆するデータであると言える。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」（34.8%対7.9%）と回答した割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、生活インフラへの支払いの滞りや年金支払いの義務が果たせなくなることに加え、将来への不安感が多いことが示唆される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「お子さんの進路を変更した」（8.1%対2.2%）、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」（22.2%対5.5%）、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」（24.4%対5.5%）と回答した割合が高くなっており、子どもに与える教育の格差が示されている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境、家族以外の社会的交流を行う機会が制限されることが示唆される。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階層群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「家族旅行（日帰りのお出かけを含む）ができなかった」（37.0%対12.0%）といった経験に大きな差がある。その一方、「どれにもあてはまらない」が、中央値以上群では78.5%であり、困窮度Ⅰ群でも40.0%ある。所得階層群によって体験の機会に差が見られるが、どの階層群においても子どもに対して様々な体験や勉強の機会が提供できている世帯も多数いるという点がデータから読み取れる。

また、「子どもの将来のための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「貯蓄をしている」と回答した割合が高くなっている（81.8%対37.0%）。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており（63.0%対17.9%）、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的困難な家庭では、貯蓄不足により、将来子どもに起こり得るリスク（病気や進路選択など）に備えることや、子どもに対しての投資が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%（令和3年度実施）、中学2年生で5.7%（令和2年度実施）と報告されている（『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月17日）』）。全国調査の結果より、回答した小学6年生の15人に1人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をしていることが明らかになった。

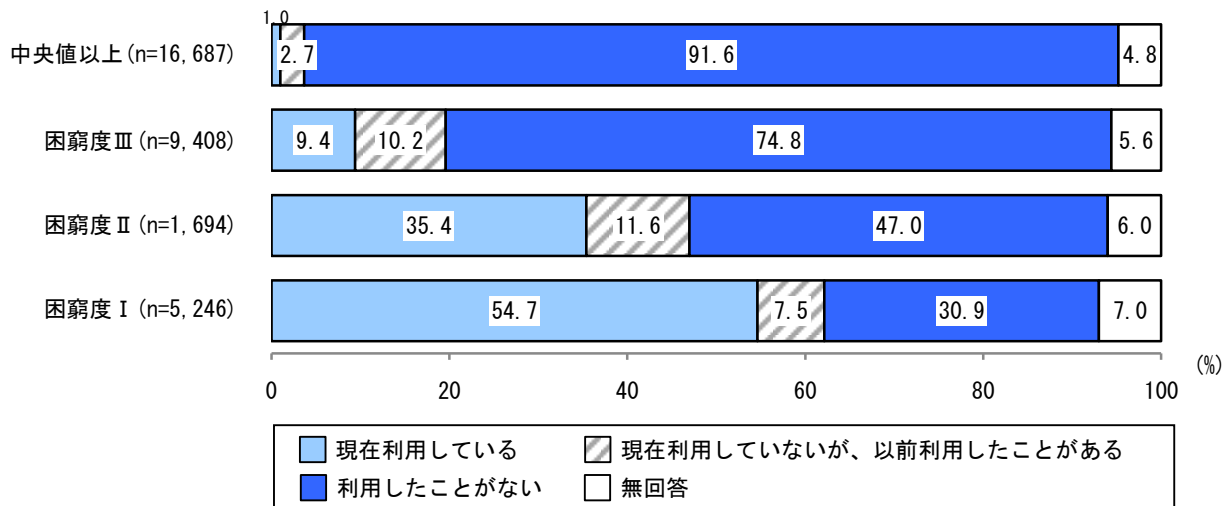
全国の状況を踏まえて、富田林市が令和5年に実施した、小学5年生、中学2年生を対象とする本調査では、「自分が世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、

全体においては22.5%であるが、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べて「いる」と答えた割合がやや高くなっている（23.6%対19.9%）。これは、困窮度Ⅰ群では、回答した4人に1人程度が、中央値以上群では、5人に1人程度が世話をしている人が「いる」と回答していることになる。これらの結果から、富田林市ではヤングケアラーと思われる子どもの割合が高く、特に経済的困難な家庭ではその割合が高いことが読み取れる。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、就学援助の利用状況（保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<富田林市>

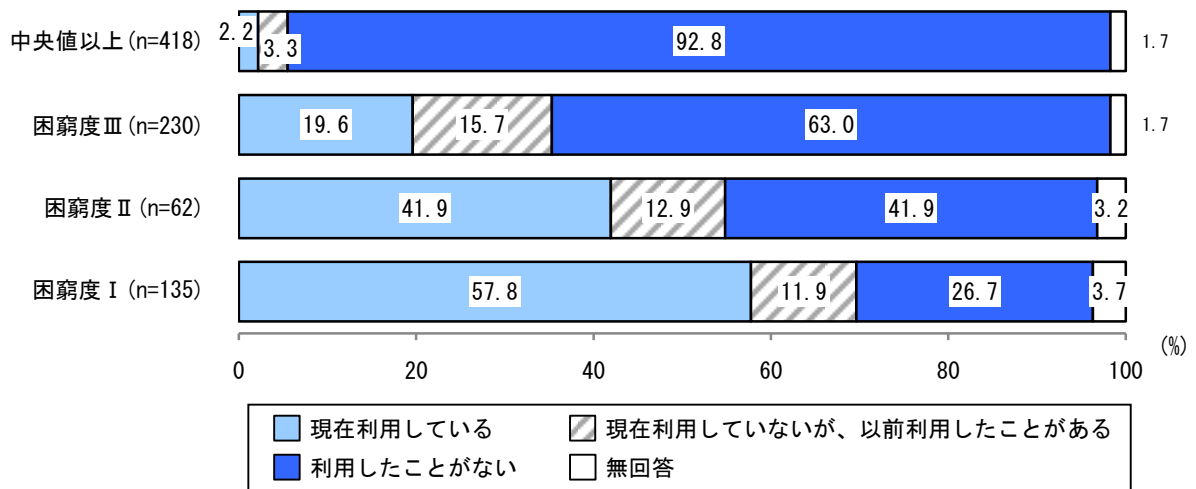
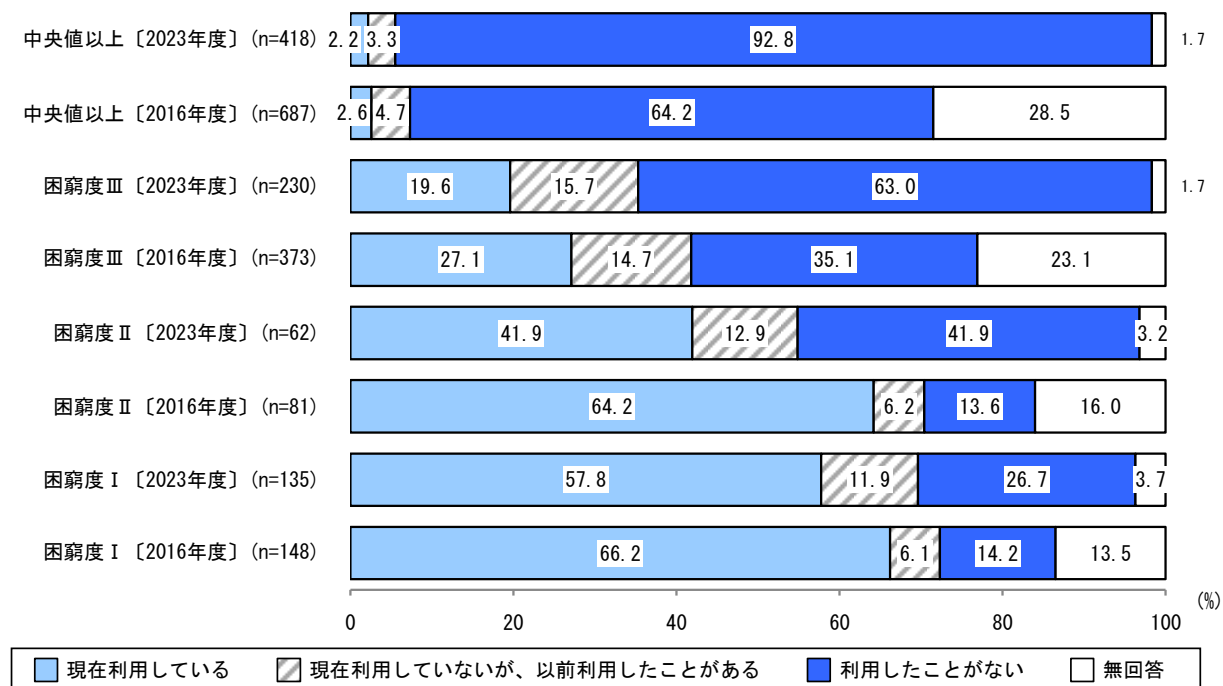


図 15. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況

困窮度別に就学援助の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

<2016年度調査との比較／富田林市>



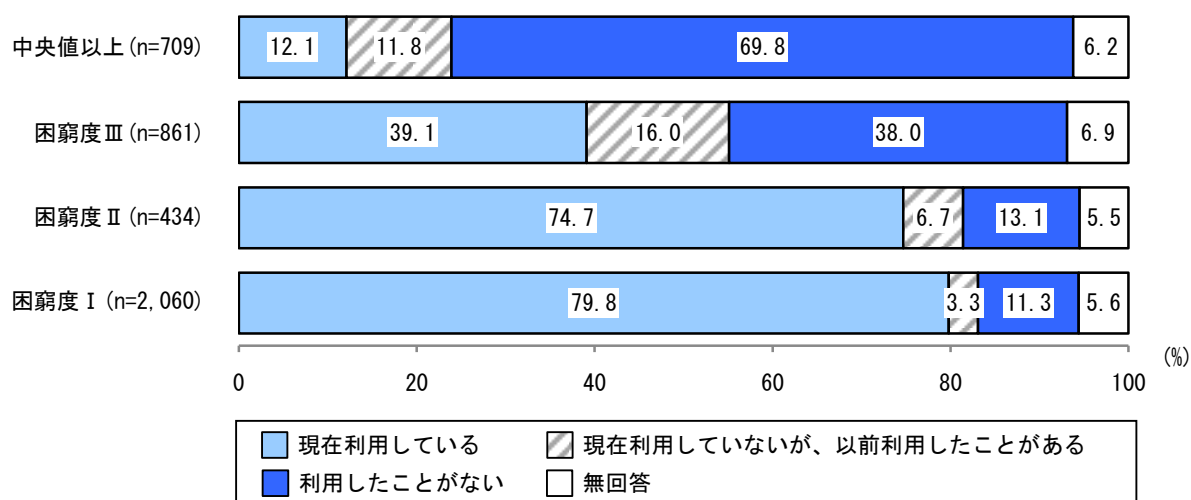
※ 2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

図 16. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて低くなっており、一方で、「利用したことがない」は2016年度調査に比べて割合が高くなっている。

困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（保護者票問 23-d）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

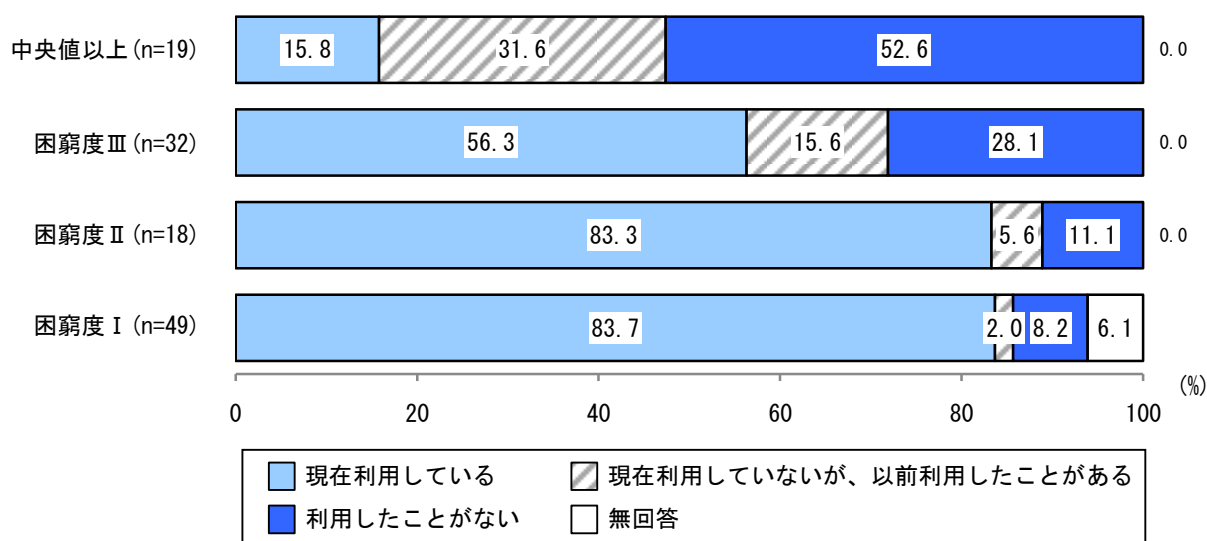


図 17. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に児童扶養手当の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では「利用したことがない」と回答した割合が8.2%を占めている。

<2016年度調査との比較／富田林市>

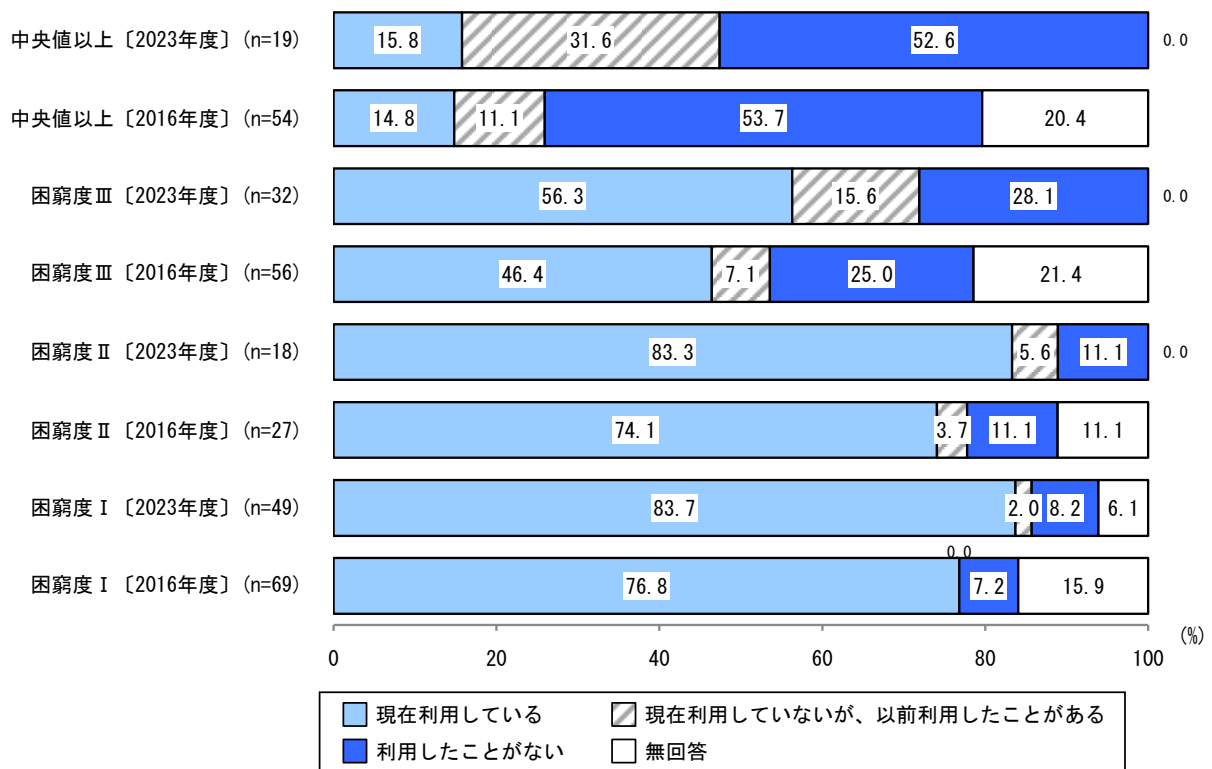
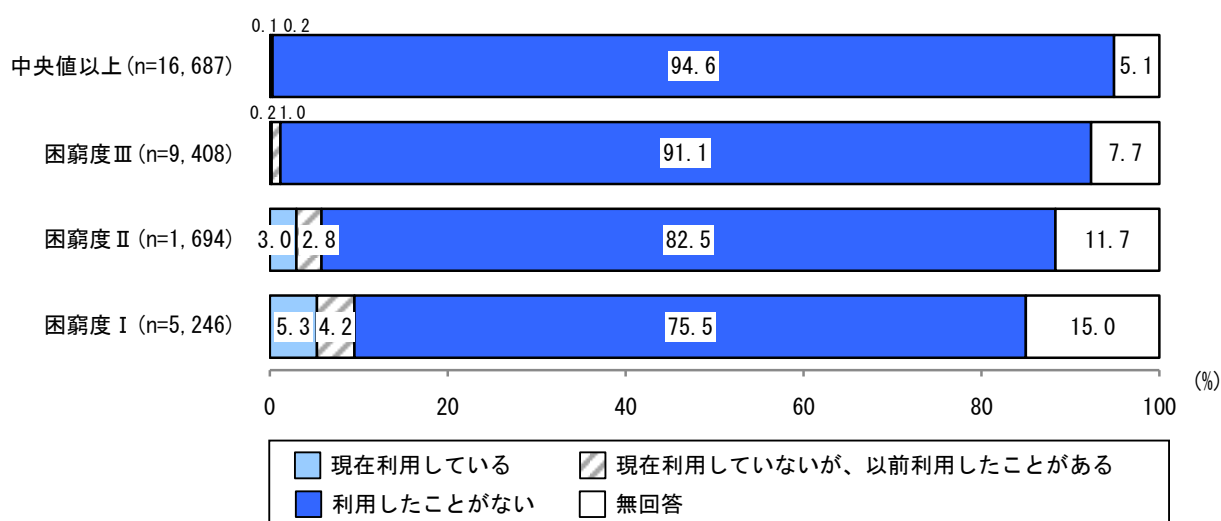


図 18. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査よりも高くなっている。

困窮度別に見た、生活保護の利用状況（保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<富田林市>

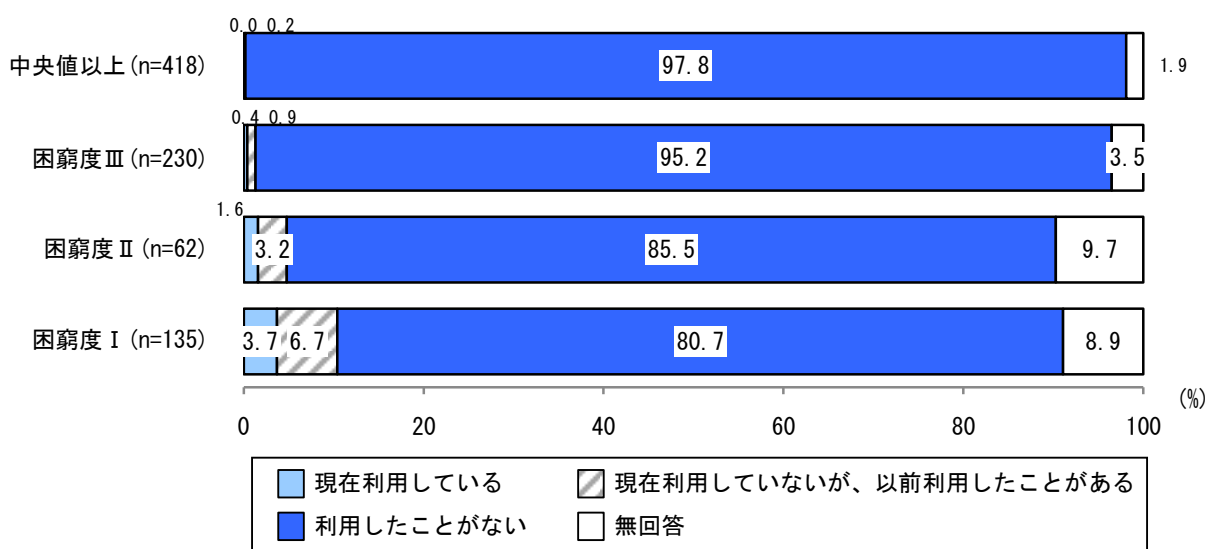


図 19. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、困窮度Ⅰ群においては「現在利用している」と回答した割合は3.7%であった。困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」の割合が高くなっている。

<2016年度調査との比較／富田林市>

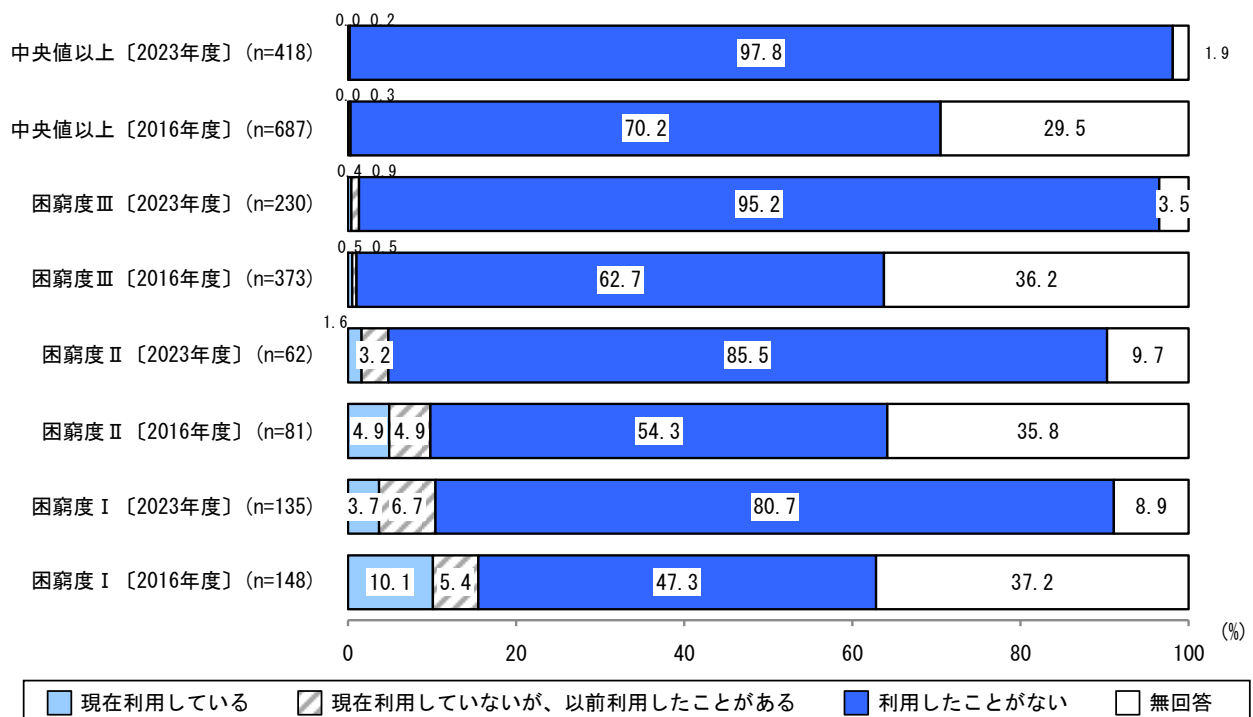
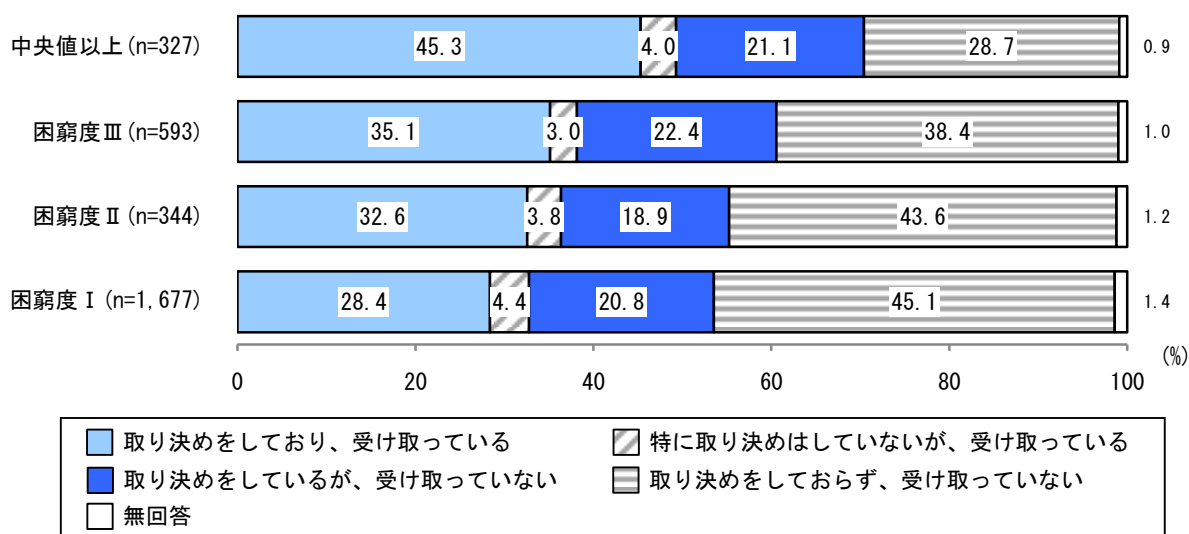


図 20. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度Ⅰ・Ⅱ・Ⅲとも2016年度調査よりも割合が低くなっている。

困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（保護者票問4）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

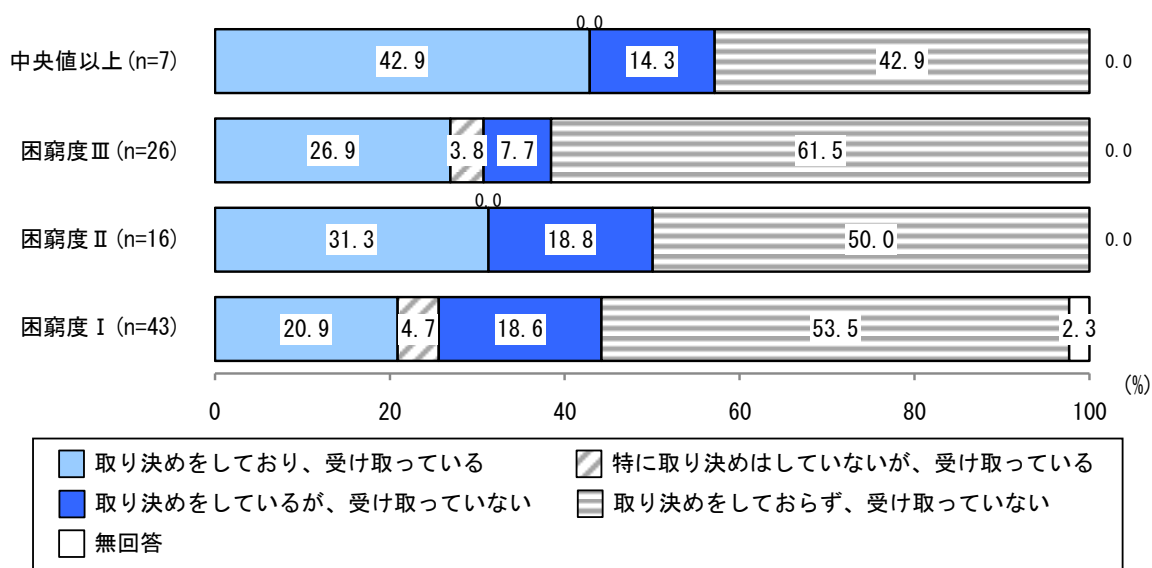
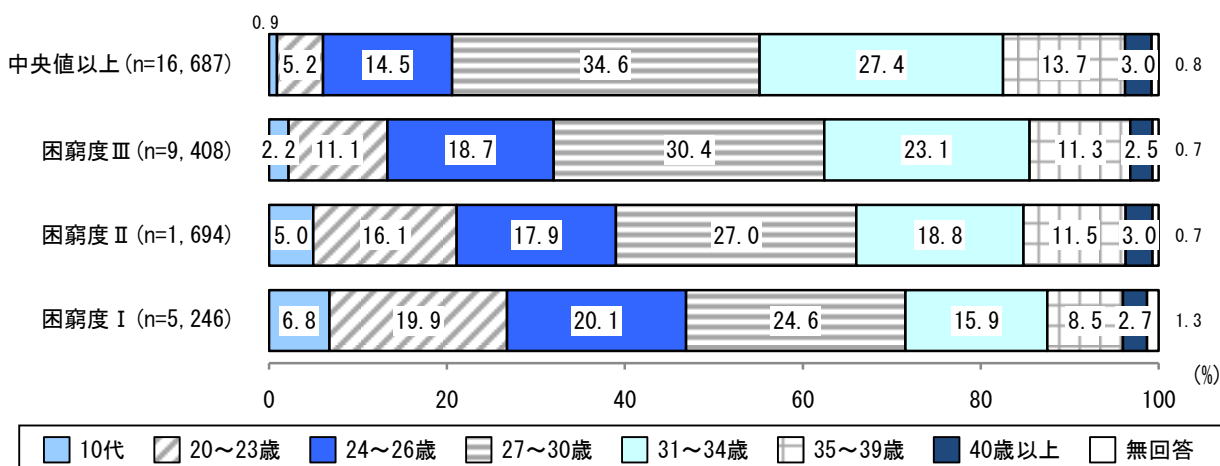


図 21. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に離婚相手との養育費の取り決めや受け取りを見ると、困窮度Ⅰ群においては「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合は20.9%であり、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が53.5%と高く「取り決めをしているが、受け取っていない」の18.6%をあわせた養育費を受け取っていない人が72.1%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）

<大阪府内全体>



<富田林市>

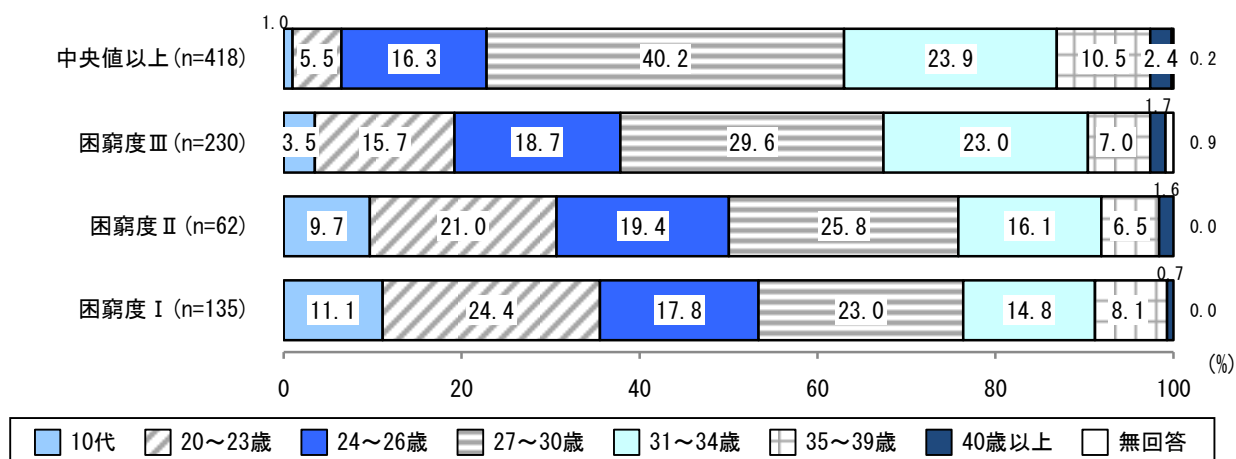
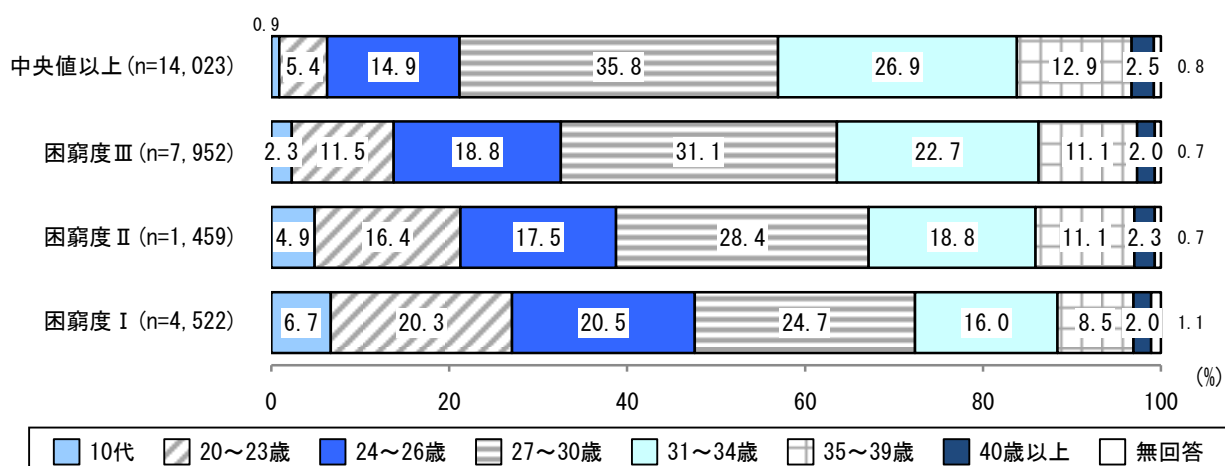


図 22. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、「10代」で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）・母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

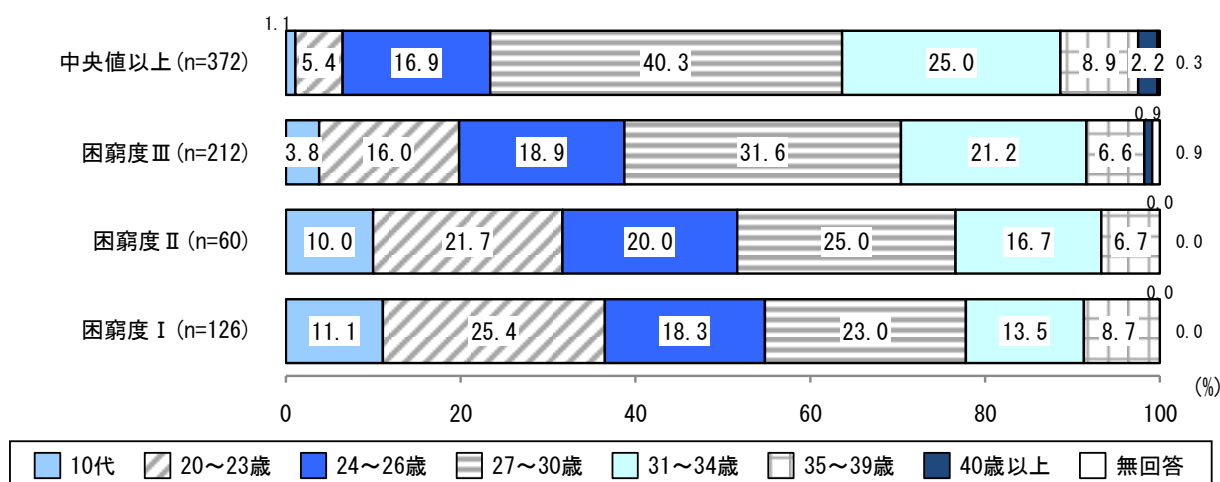
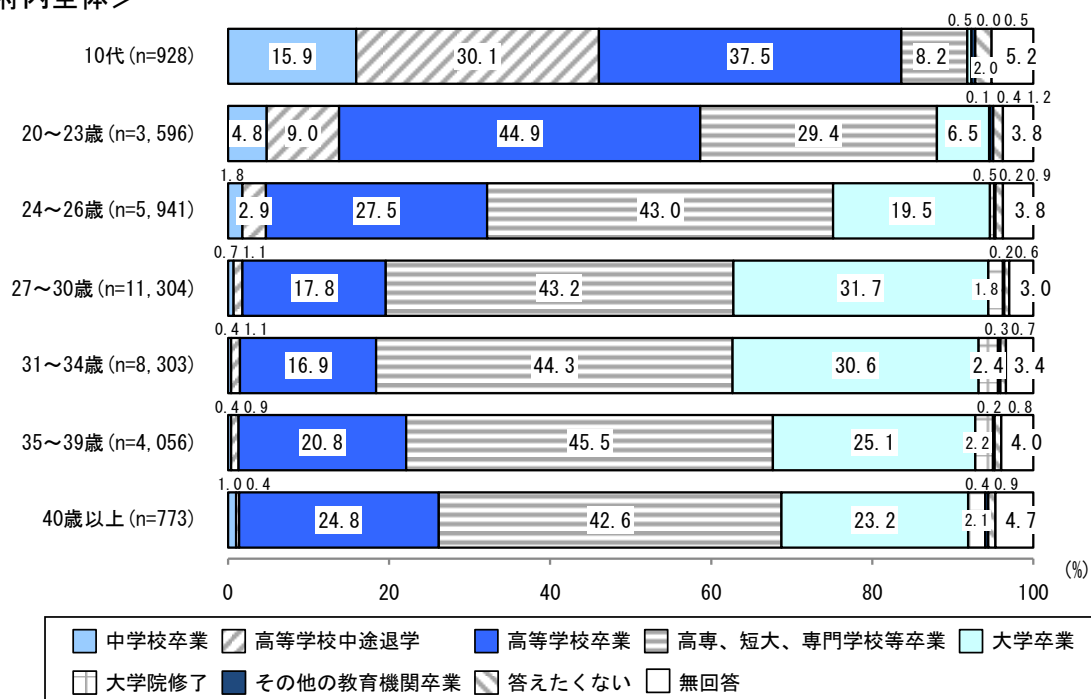


図 23. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、「10代」で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

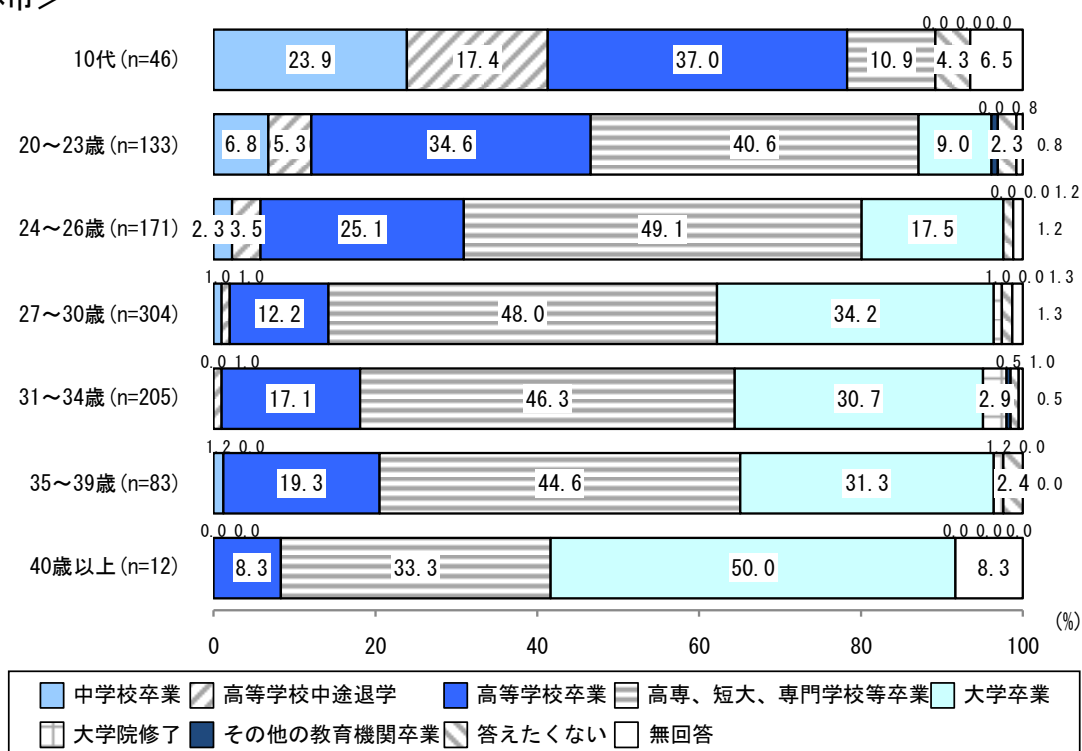
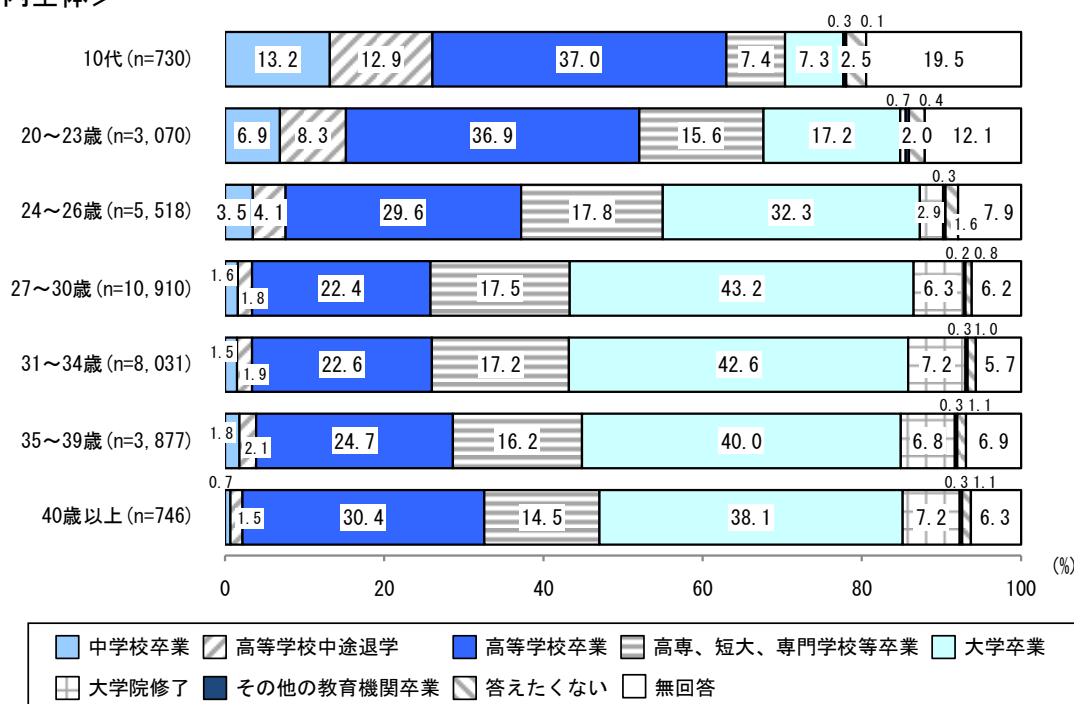


図 24. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に母親自身の最終学歴を見ると、10代において「中学校卒業」（23.9%）または「高等学校卒業」（37.0%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

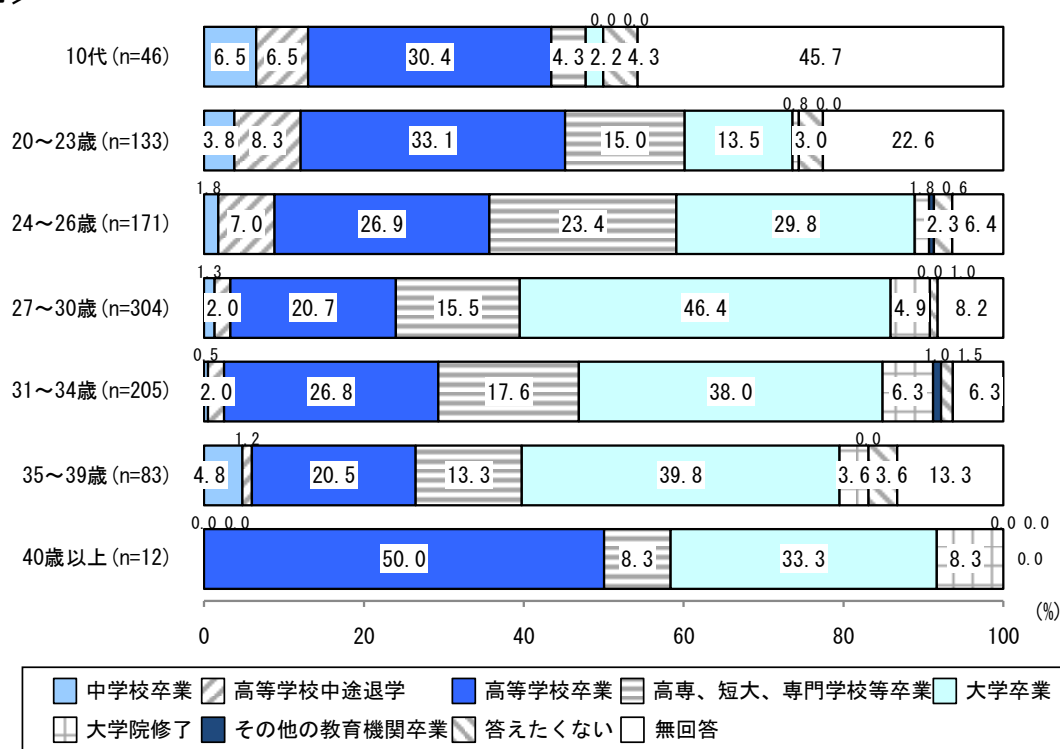
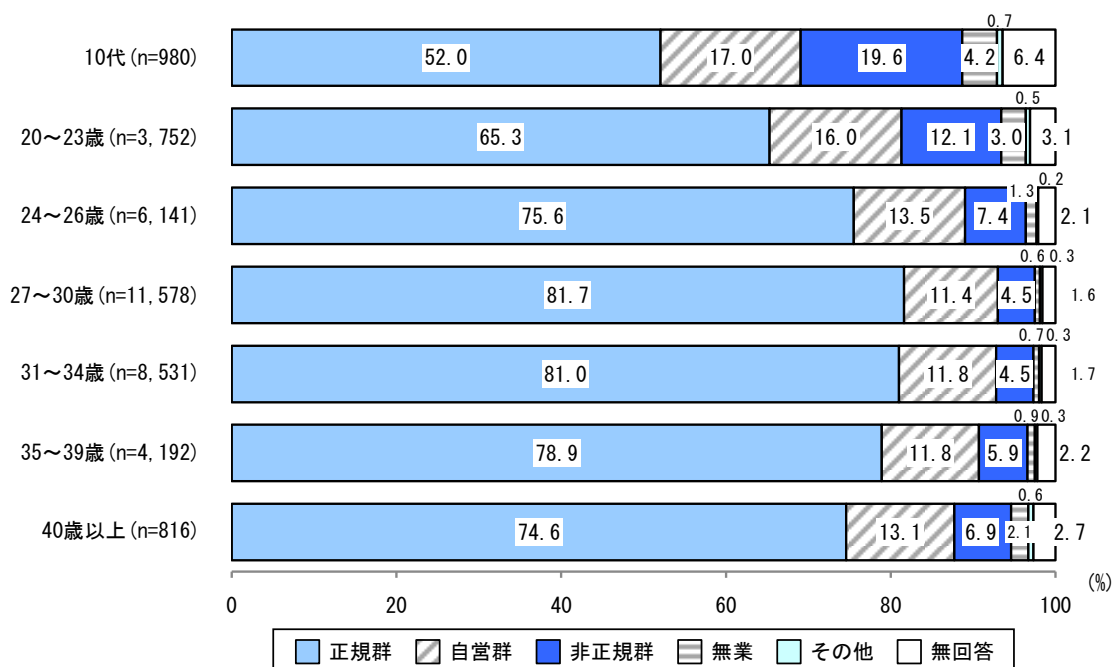


図 25. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に父親の最終学歴を見ると、「10代」において「中学校卒業」（6.5%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（保護者票問 17×保護者票問 9）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

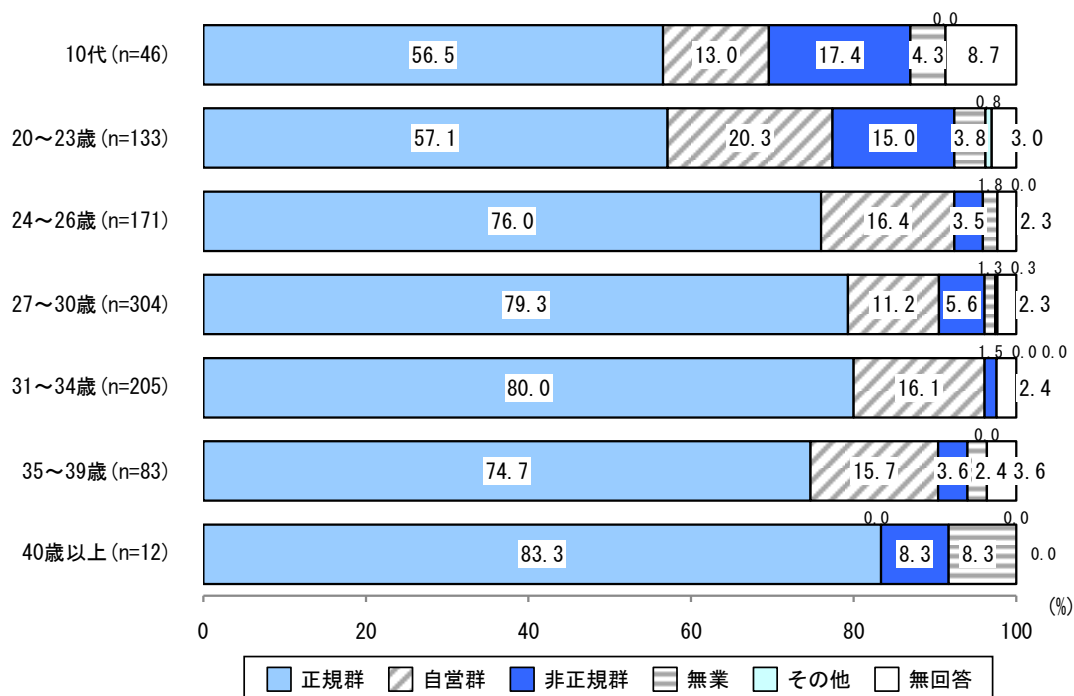
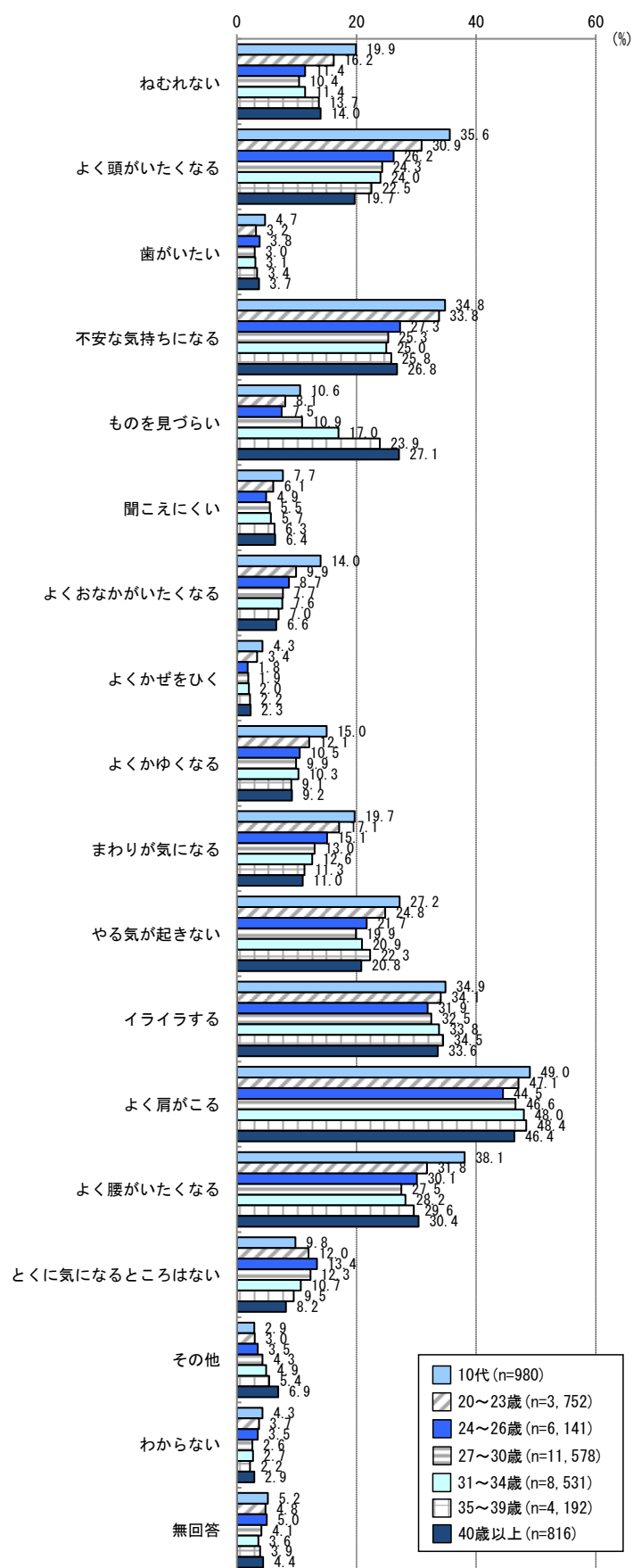


図 26. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）

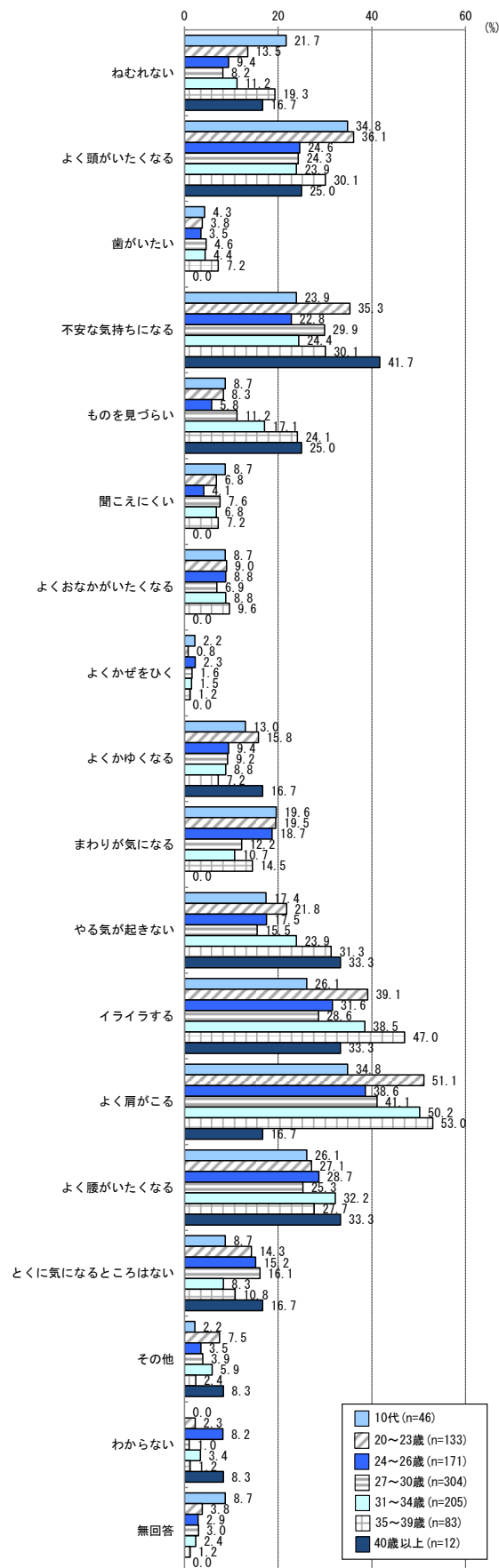
母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に就労状況を見ると、「10代」は他の群と比較して「正規群」の割合が低く、「非正規群」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 17×保護者票問 22) ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

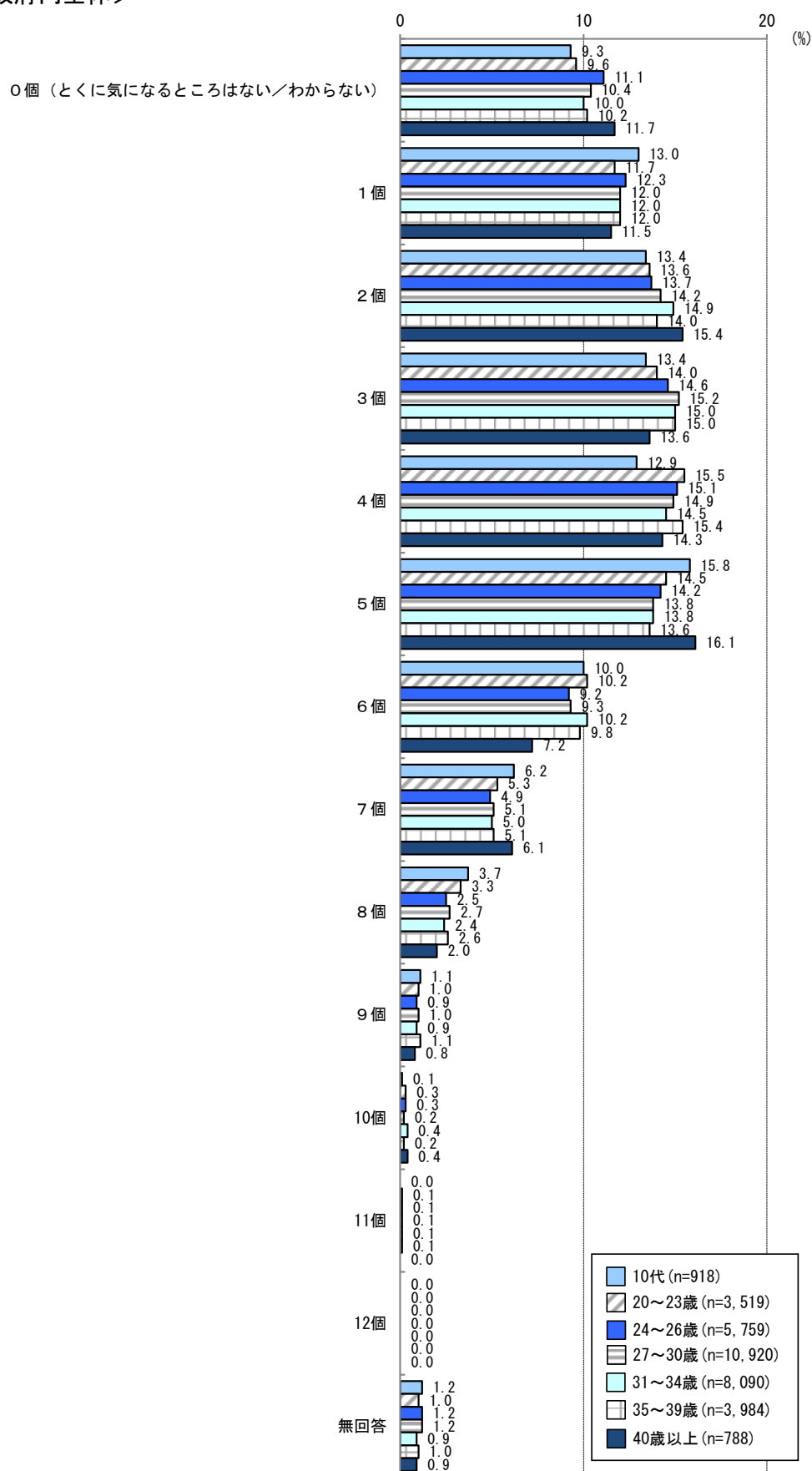


母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、「40歳以上」は他の年代と比較して「不安な気持ちになる」や「ものを見づらい」、「よくかゆくなる」、「やる気が起きない」、「よく腰がいたくなる」の割合が高かった。

図 27. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 17
×子ども票問 19・20） ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<富田林市>

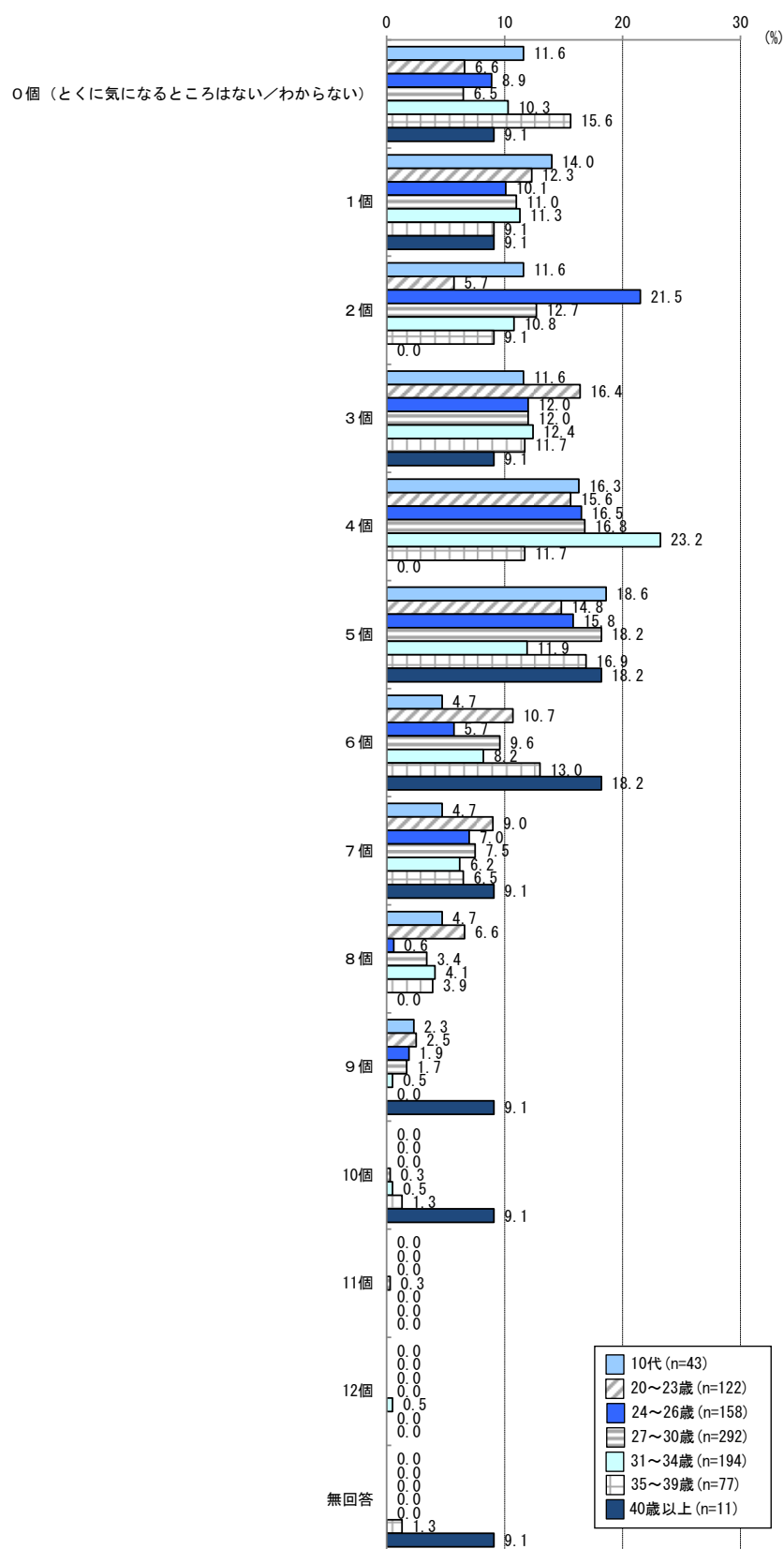
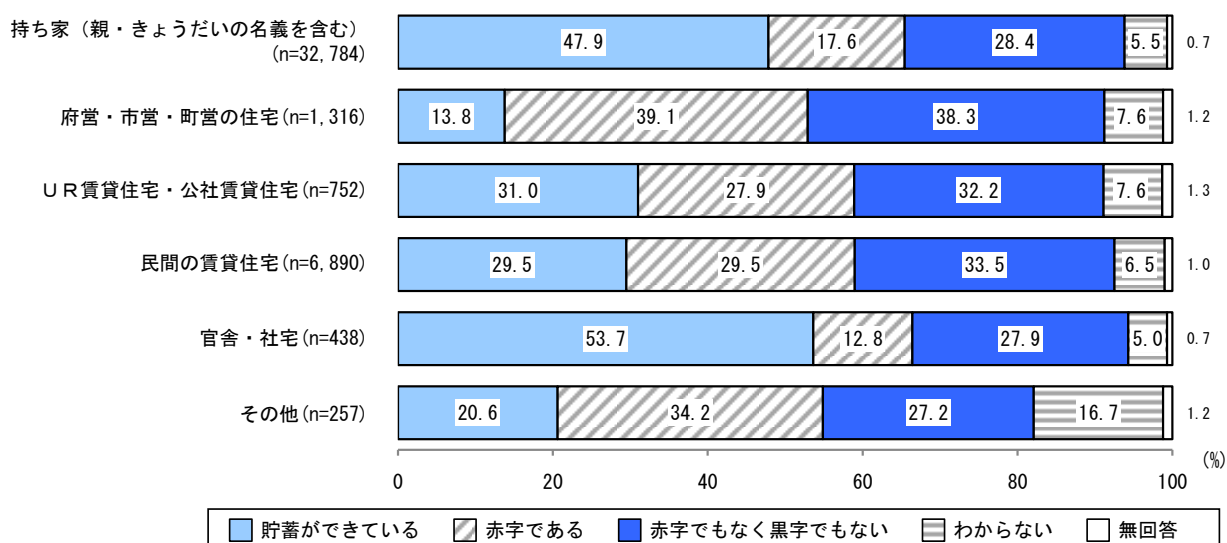


図 28. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「10代」は、他の年齢と比較して「5個」（18.6％）の割合が最も高かった。

住居形態別に見た、家計の状況（保護者票問5×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

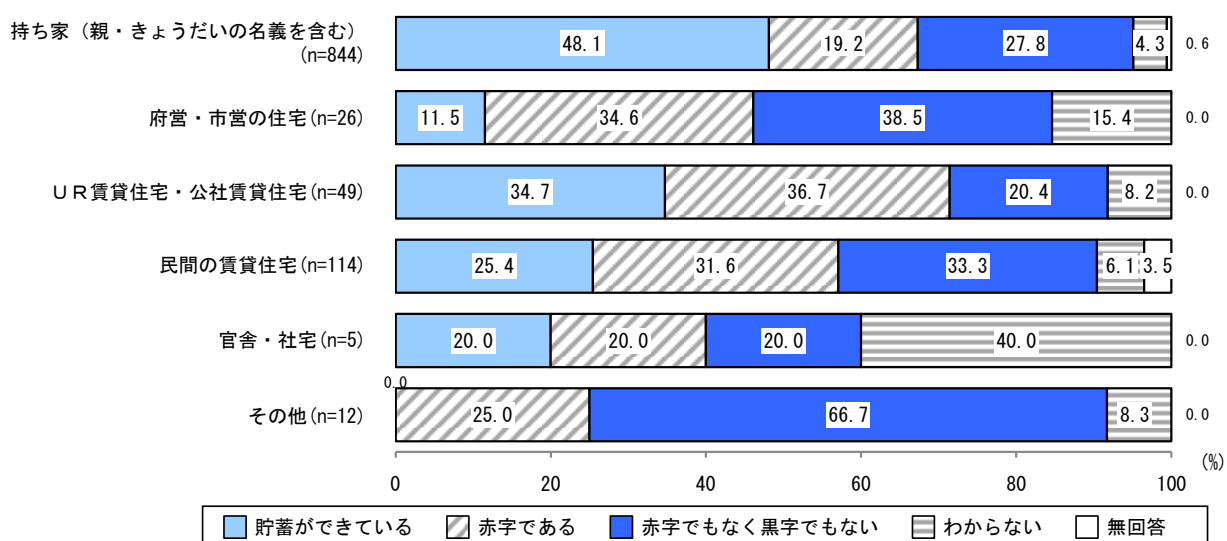
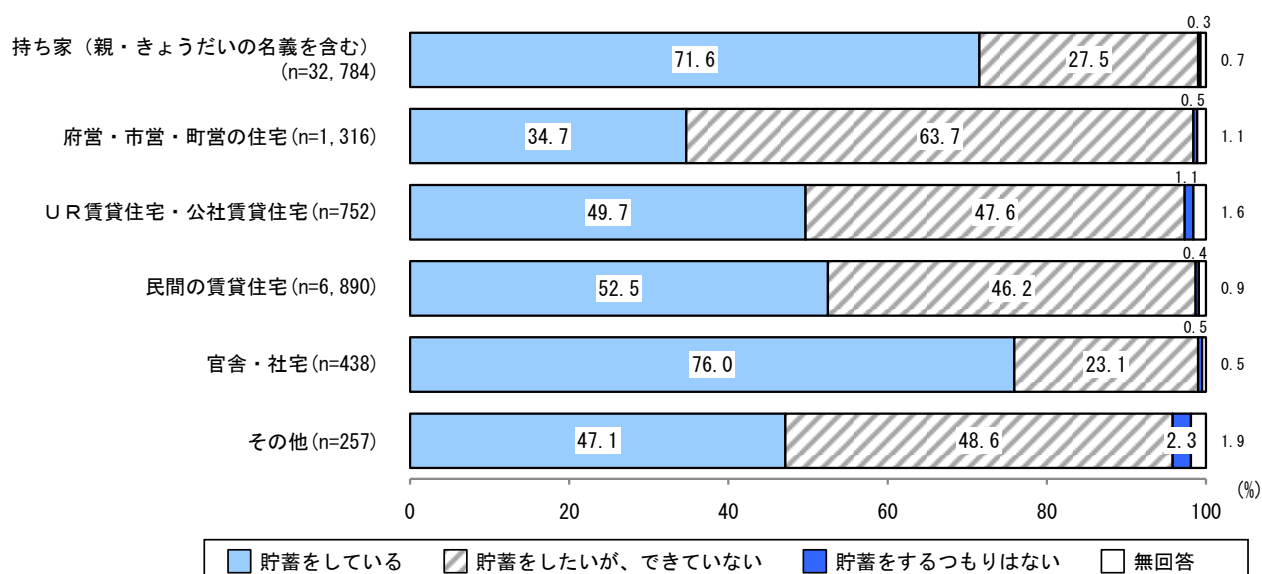


図 29. 住居形態別に見た、家計の状況

住居別に家計状況を見ると、「府営・市営の住宅」（34.6%）、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」（36.7%）に住む人で、「赤字である」と回答した割合が高かった。また、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」に住む人で「赤字である」と回答した割合は19.2%であった。

住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問5×保護者票問6(2)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

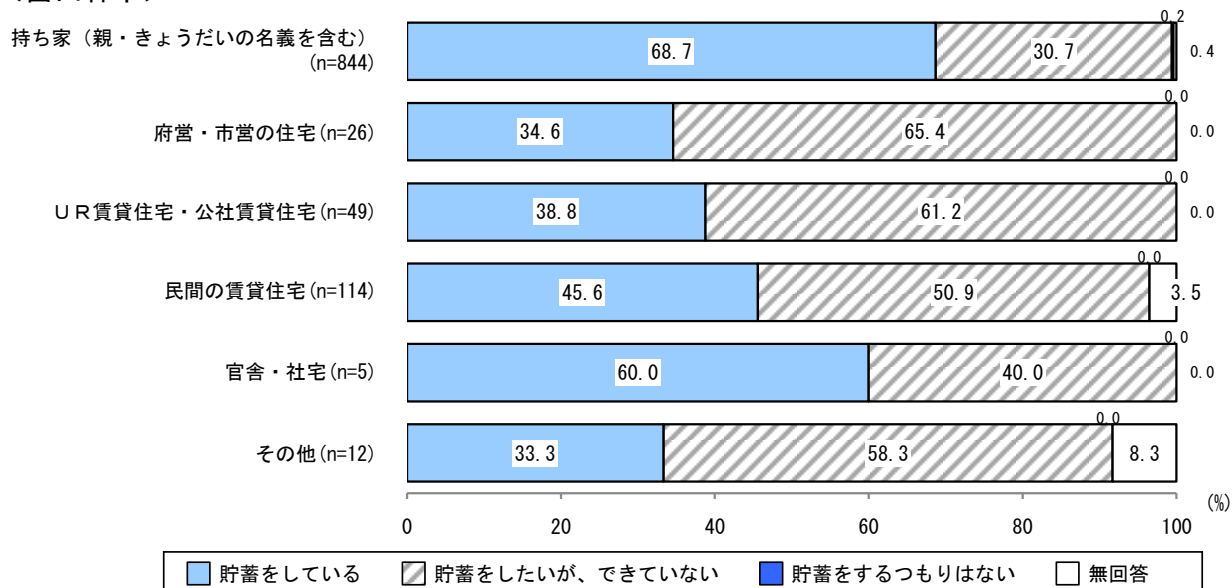
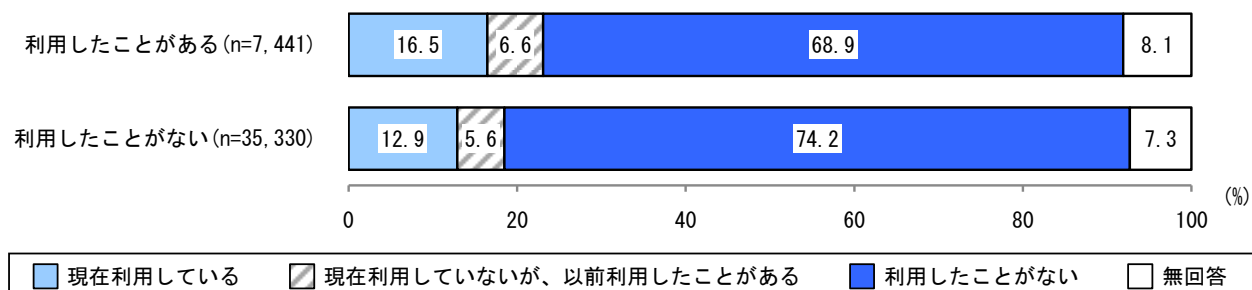


図 30. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

住居形態別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、「府営・市営の住宅」(65.4%)、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」(61.2%)、「民間の賃貸住宅」(50.9%)に住む人で、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高かった。

子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<富田林市>

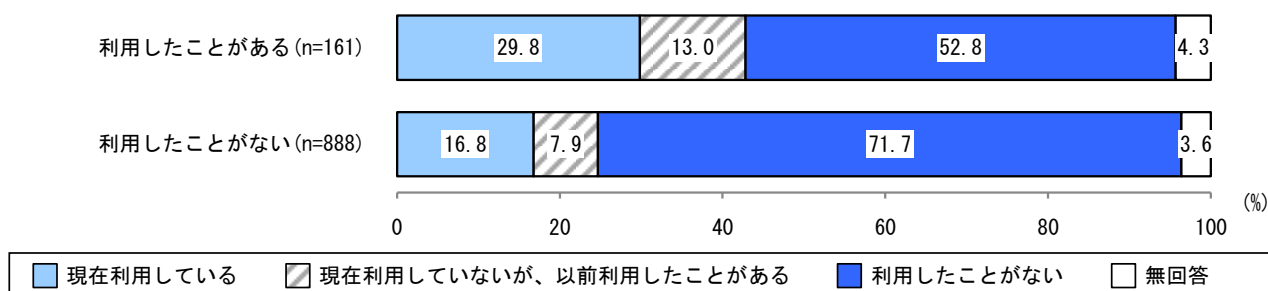
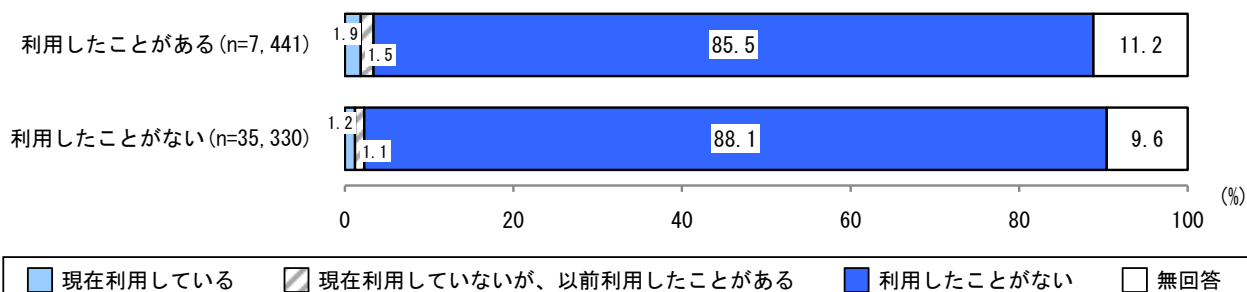


図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に就学援助の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが就学援助を「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<富田林市>

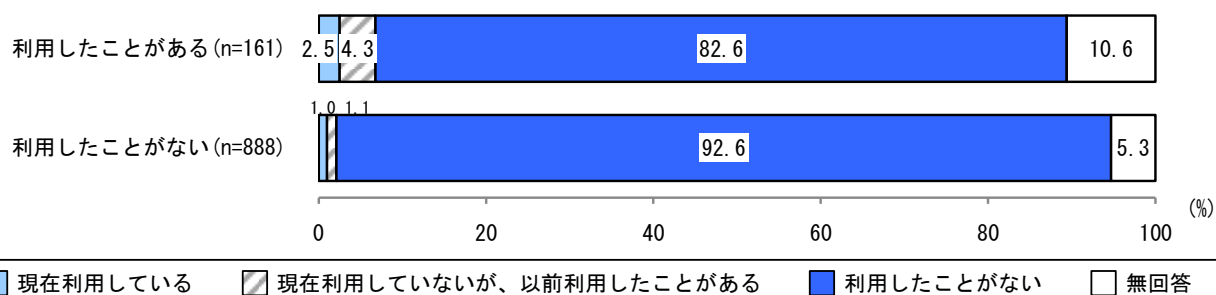
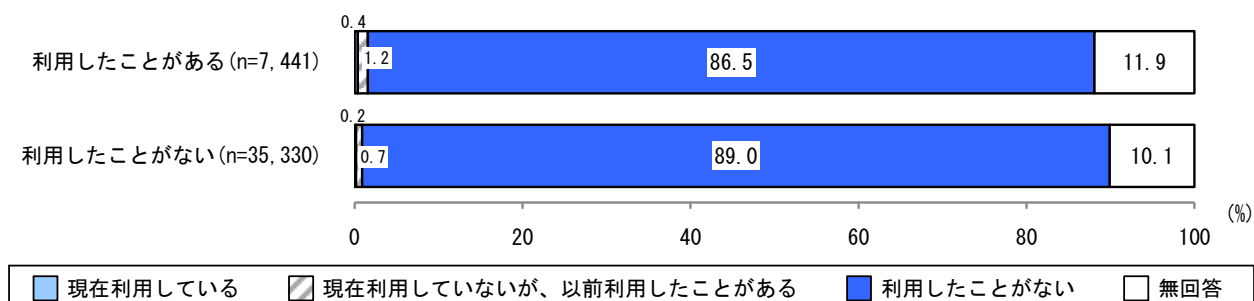


図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活保護の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活保護を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<富田林市>

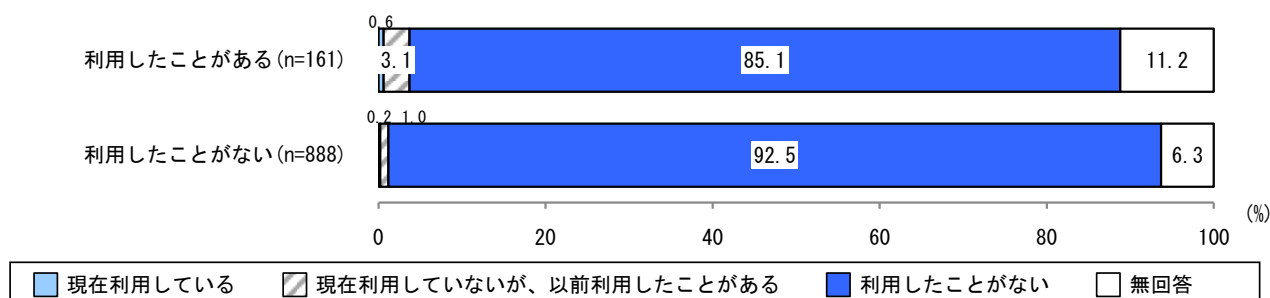
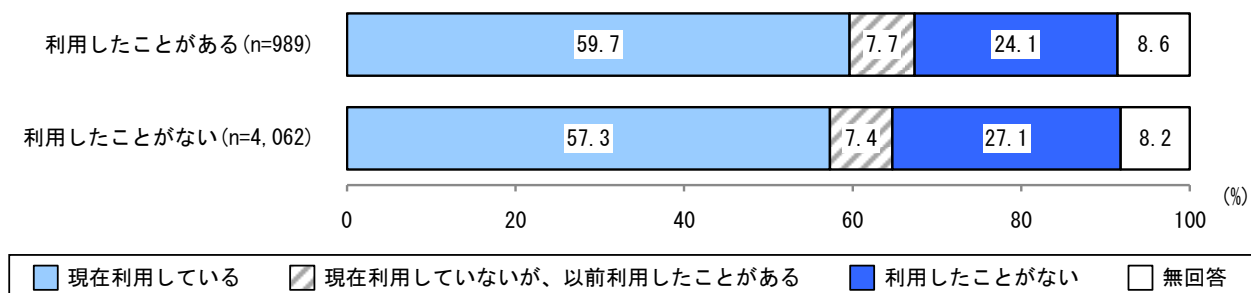


図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活困窮者の自立支援相談窓口を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-d)

<大阪府内全体>



<富田林市>

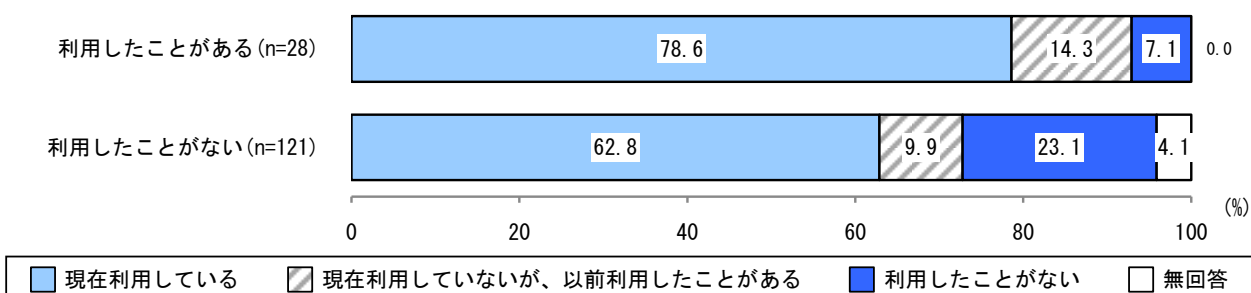
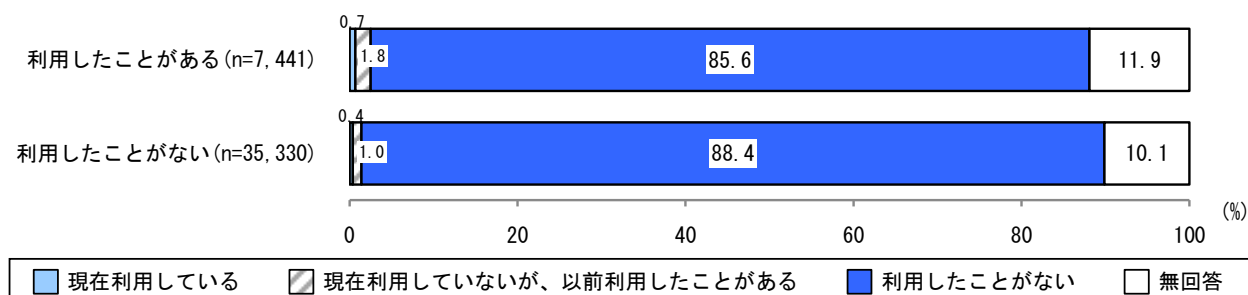


図 34. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

子どもの居場所の利用経験別に児童扶養手当の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが児童扶養手当を「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<富田林市>

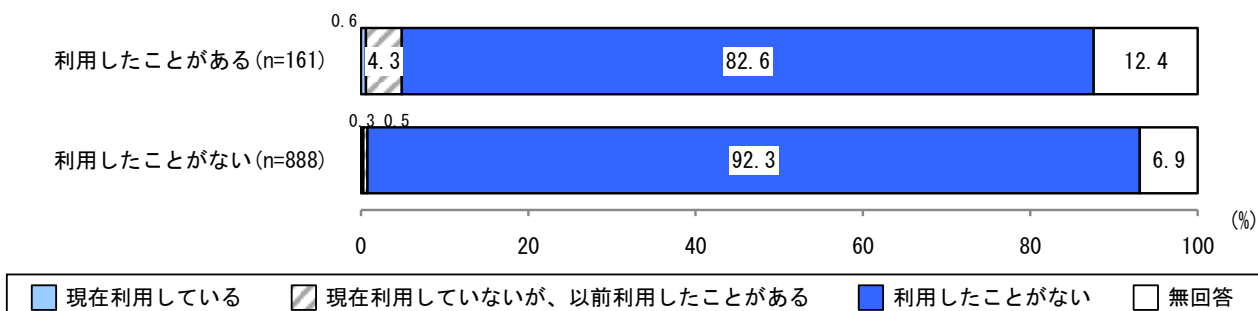
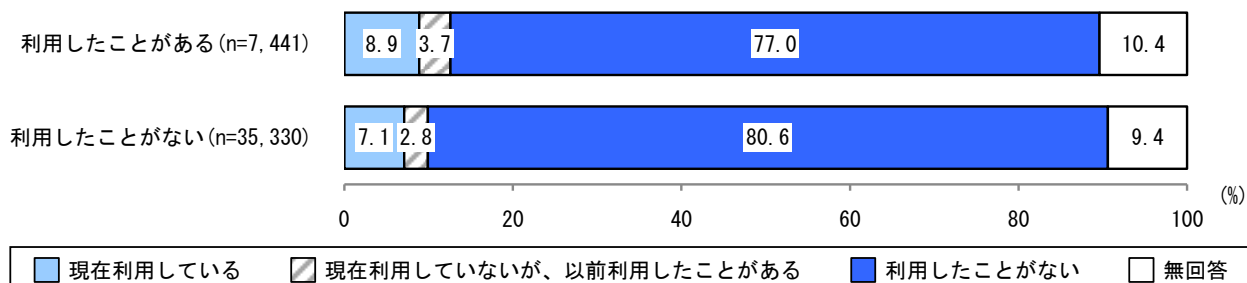


図 35. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

子どもの居場所の利用経験別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが母子家庭等就業・自立支援センターを「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-f)

<大阪府内全体>



<富田林市>

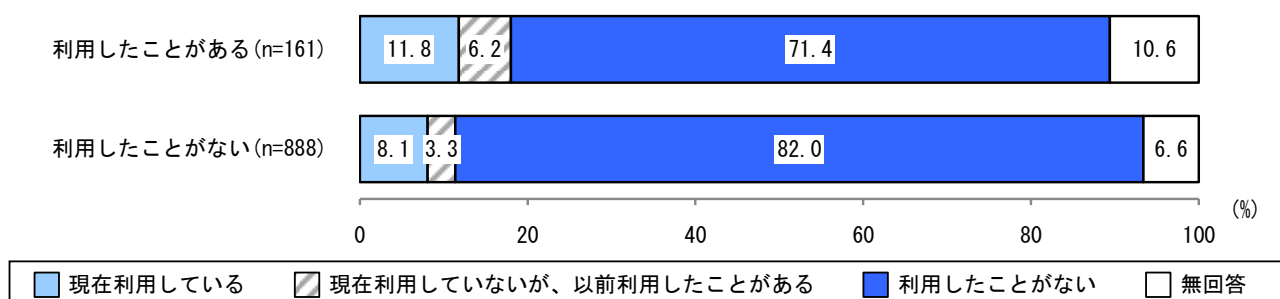
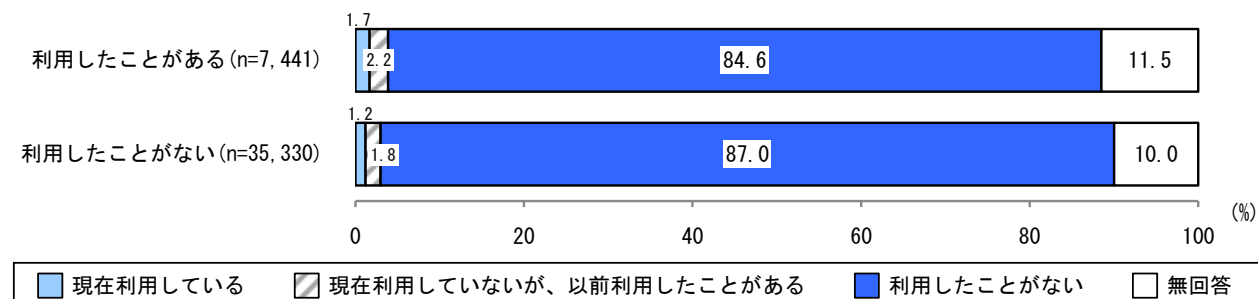


図 36. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-g)

<大阪府内全体>



<富田林市>

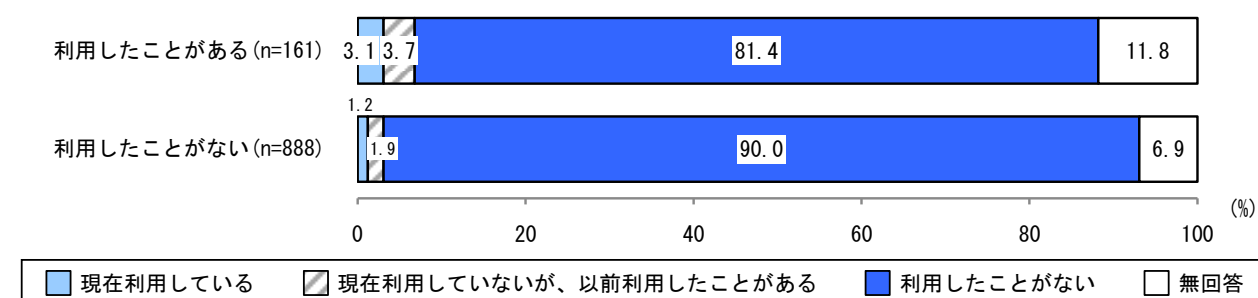
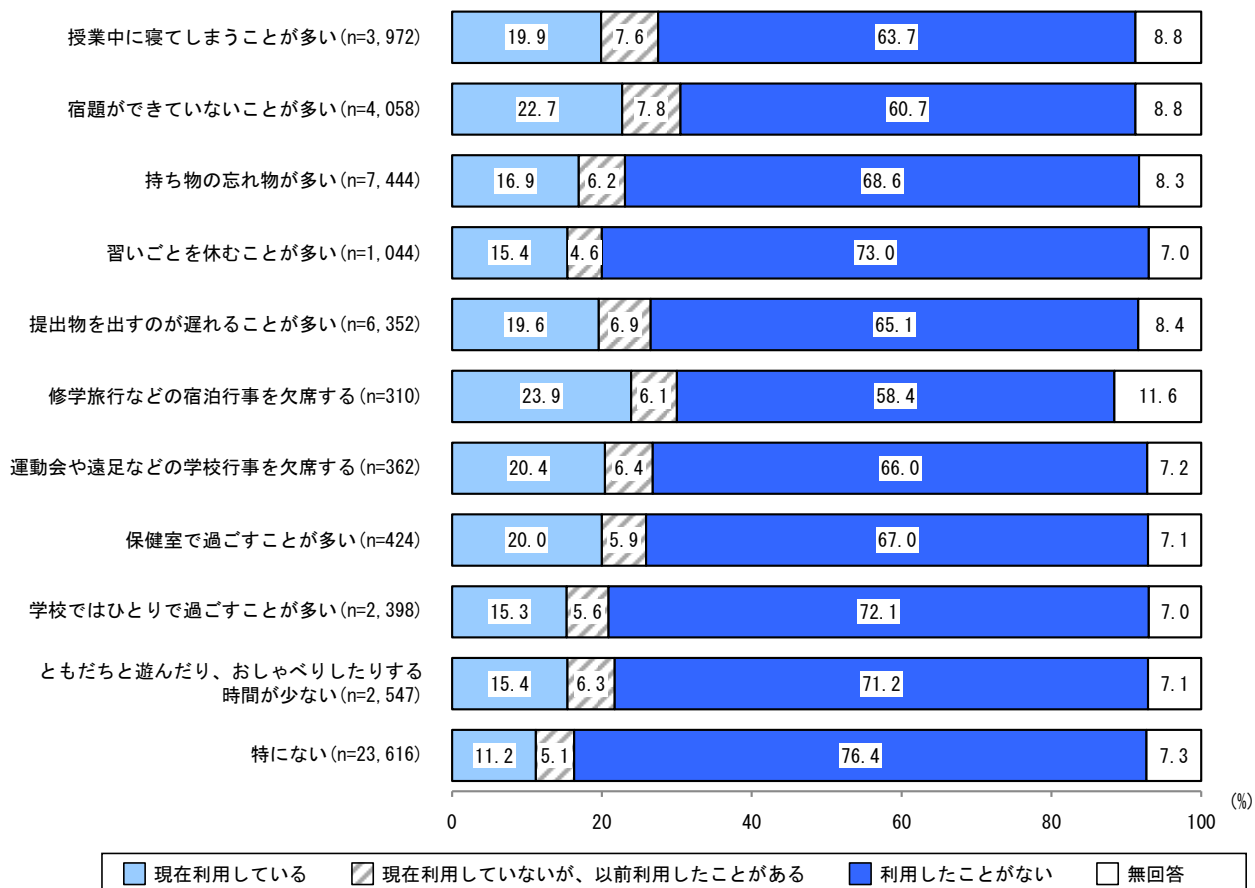


図 37. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<富田林市>

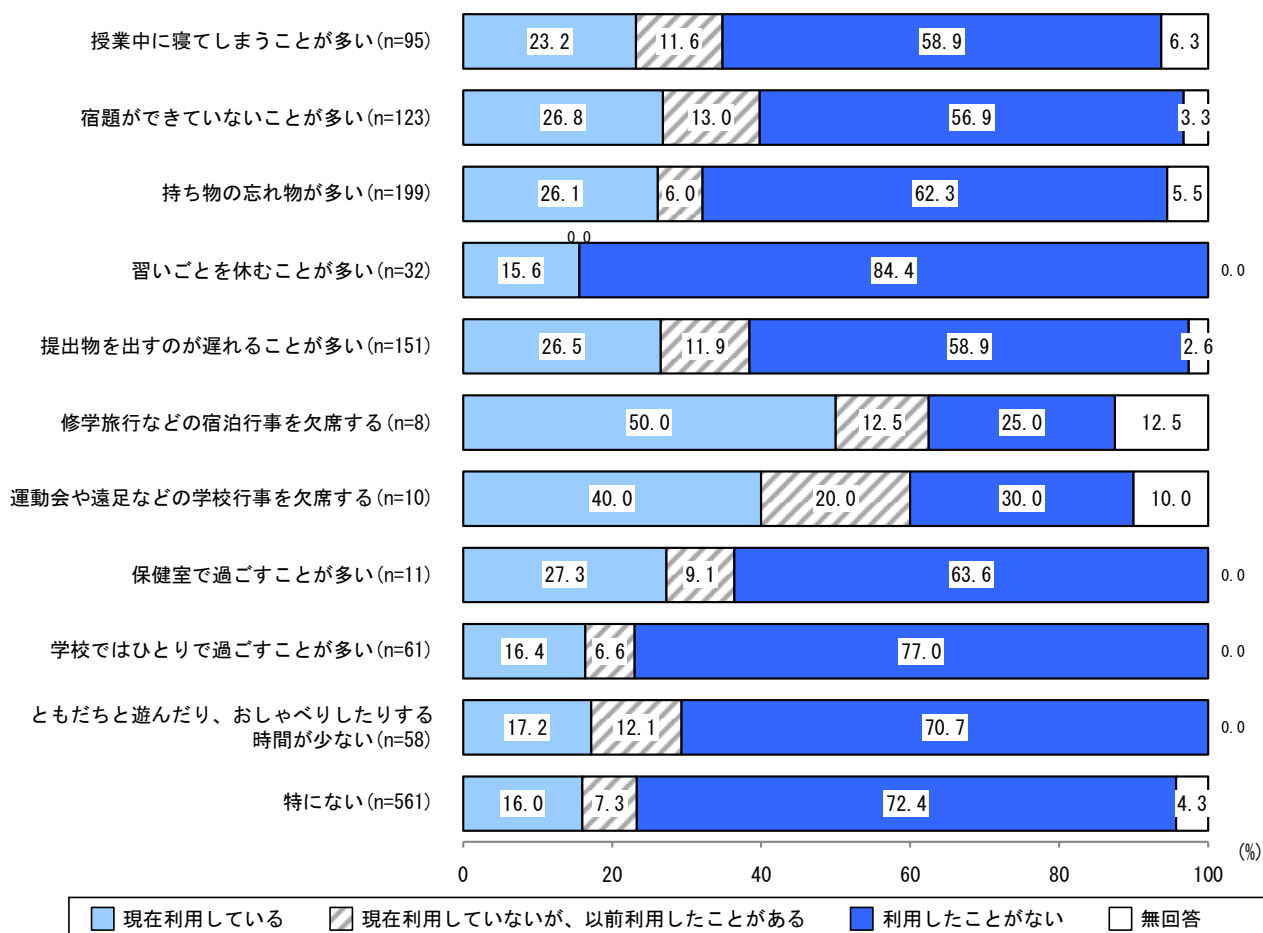
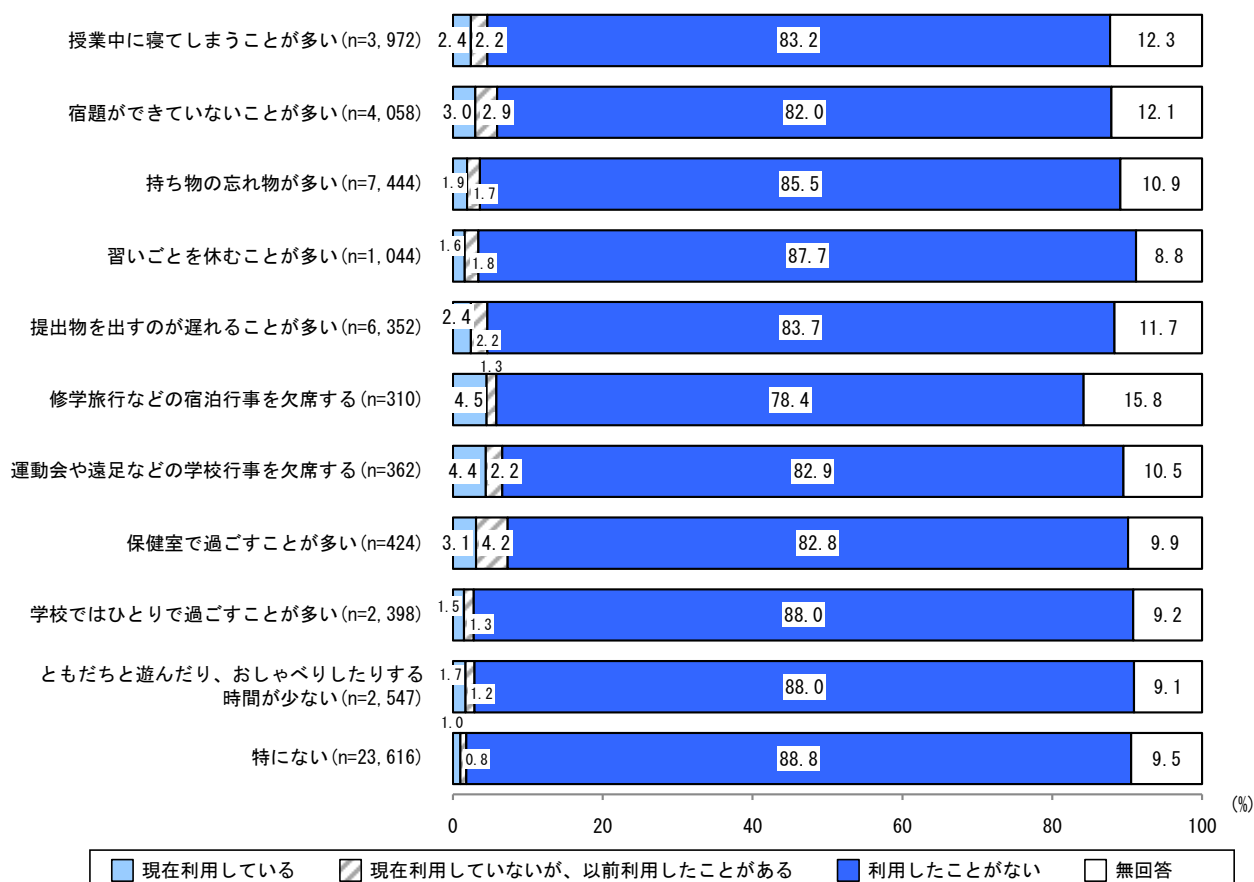


図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が50.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<富田林市>

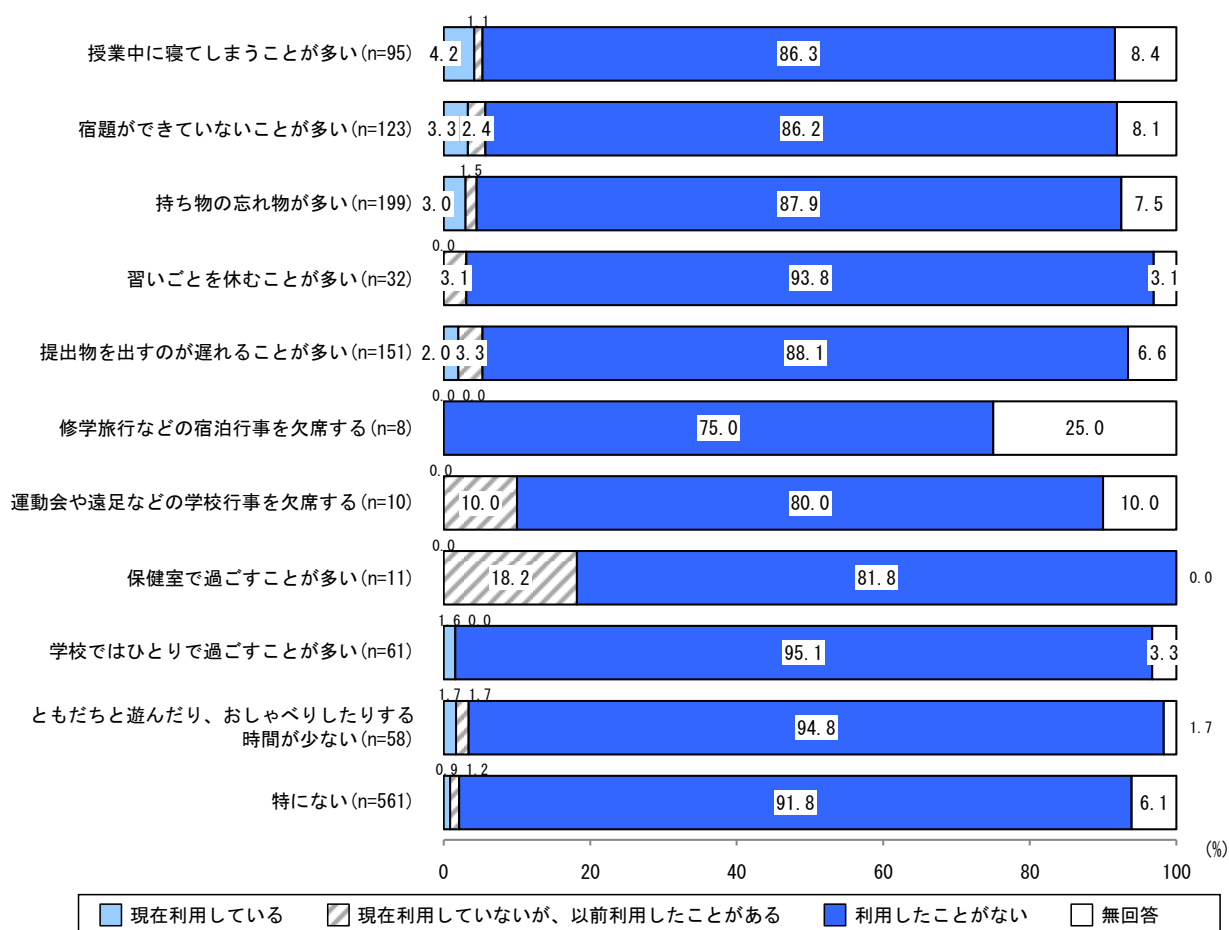
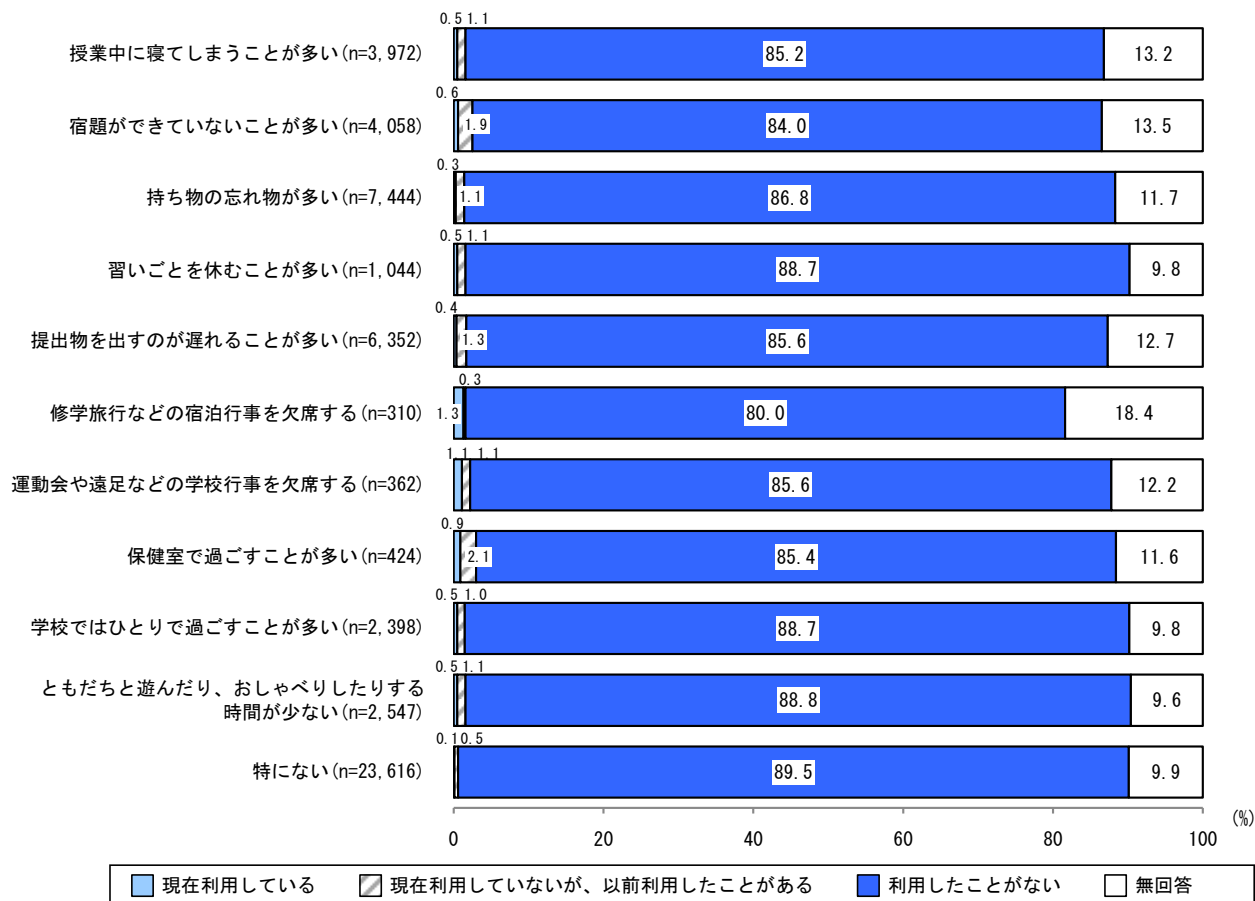


図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「授業中に寝てしまうことが多い」と回答した割合が4.2%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<富田林市>

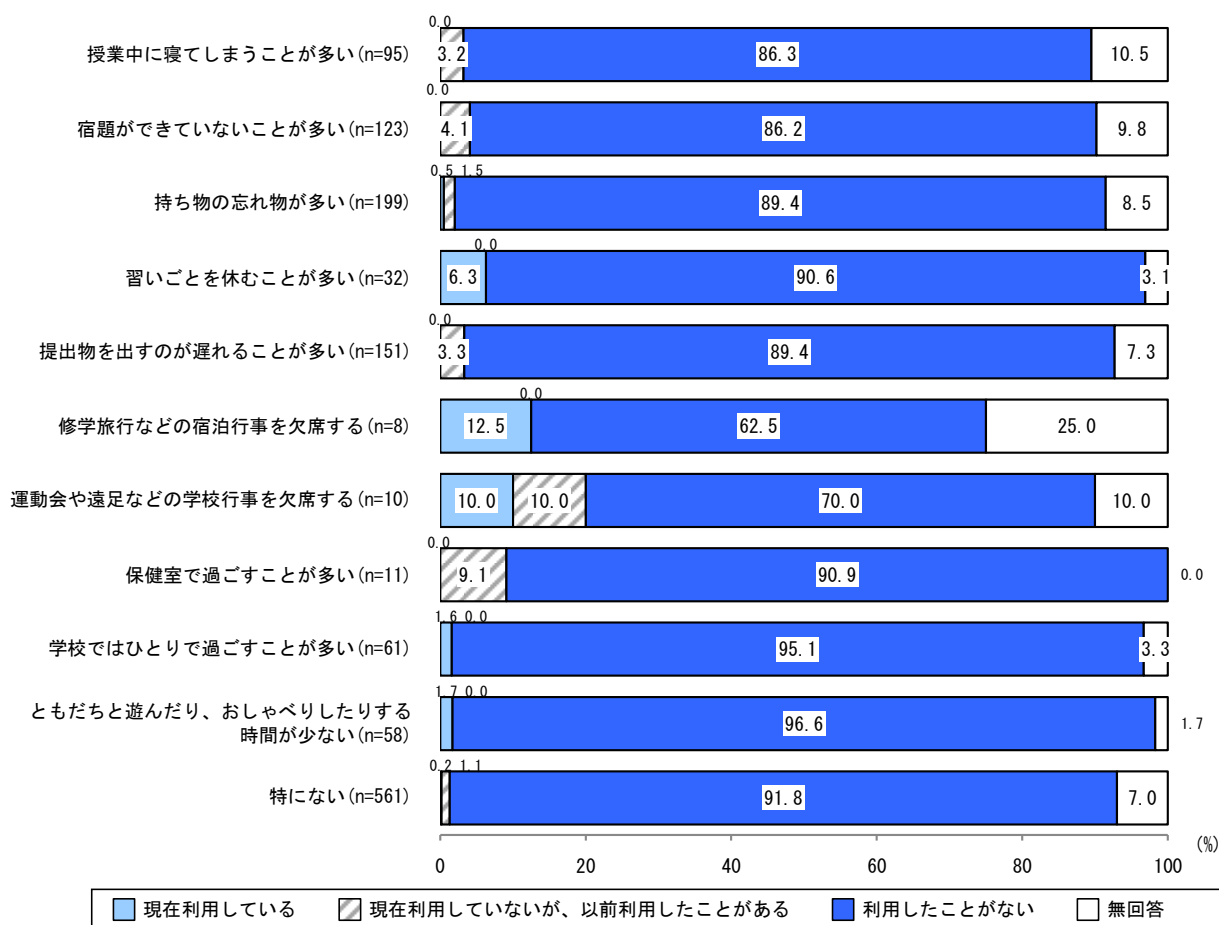
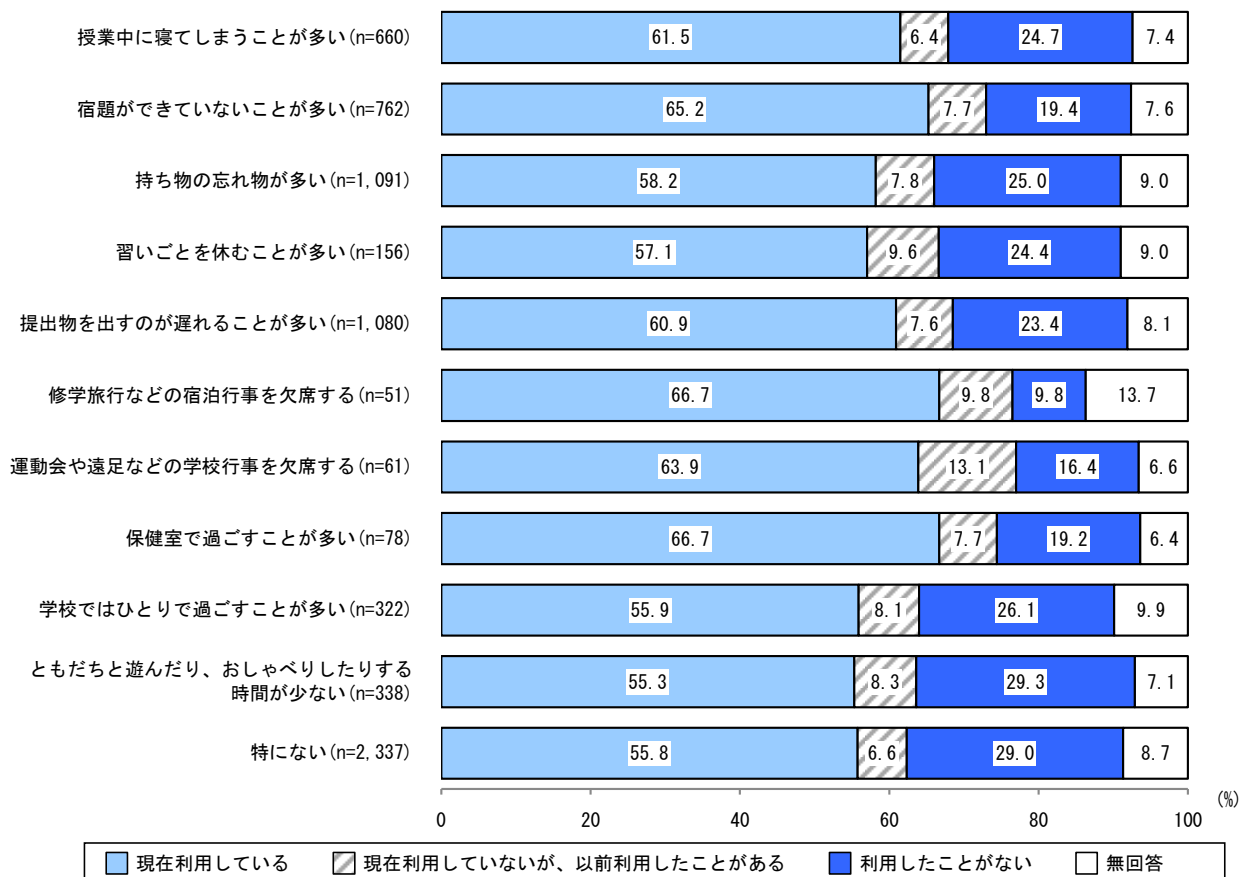


図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が12.5%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 16×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<富田林市>

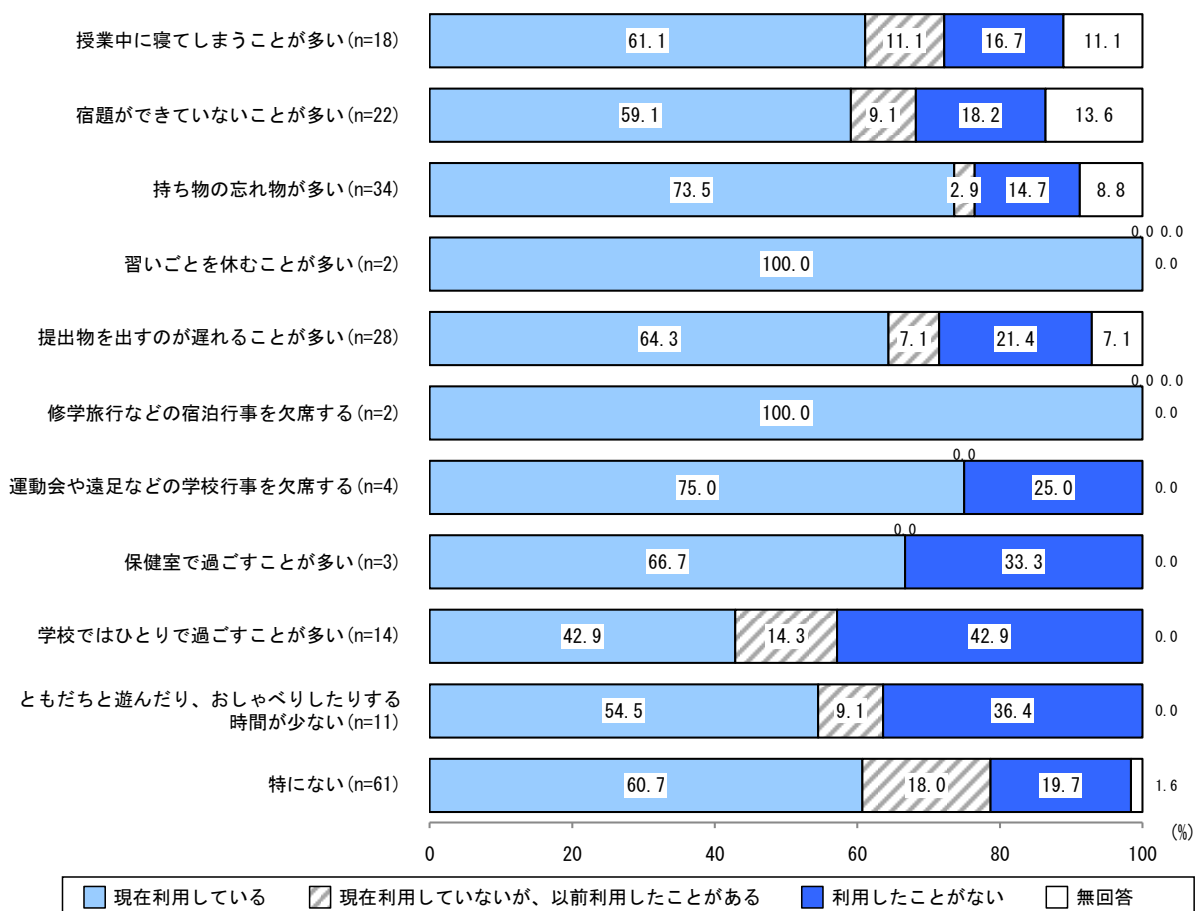
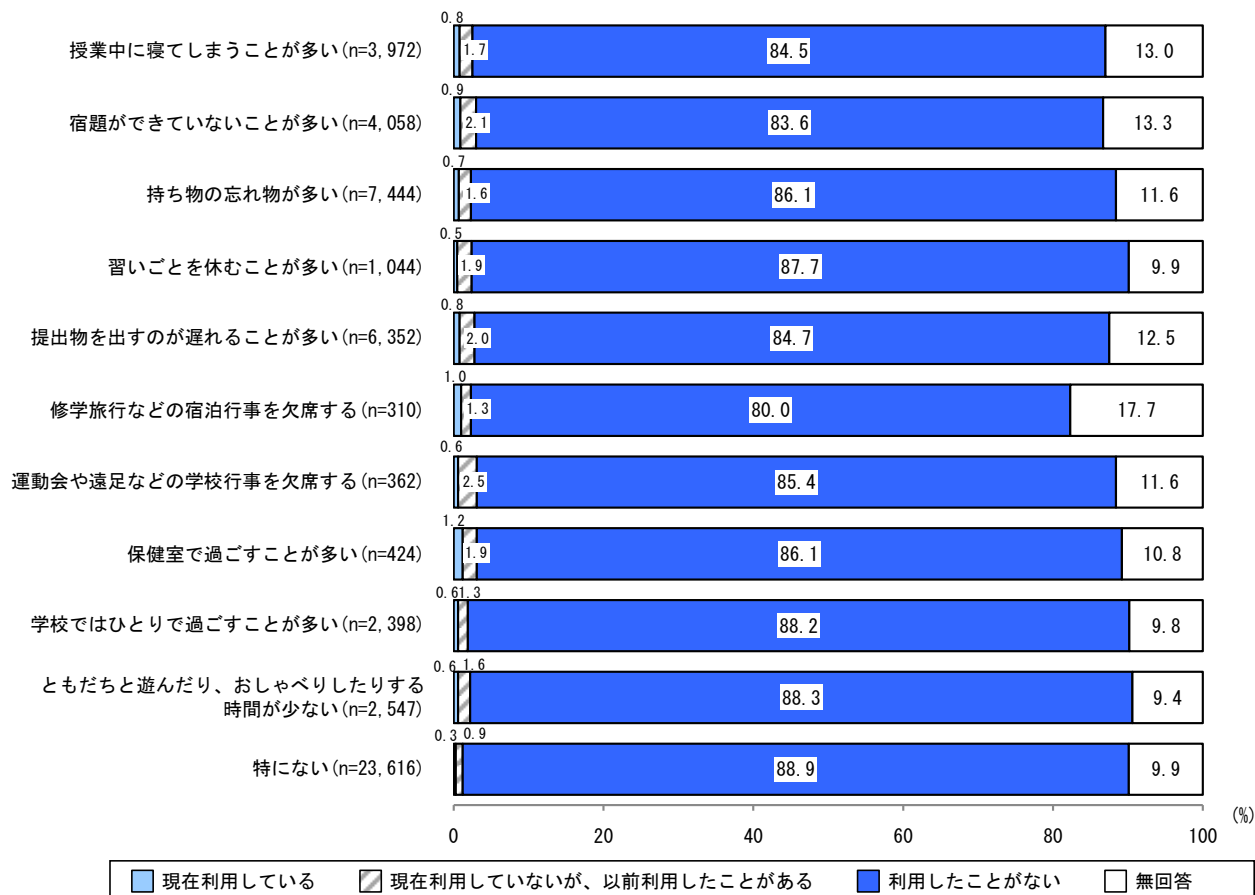


図 41. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

学校や学校の行事等の状況別に児童扶養手当の利用状況をひとり親世帯のみで見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「学校ではひとりで過ごすことが多い」と回答した割合が42.9%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<富田林市>

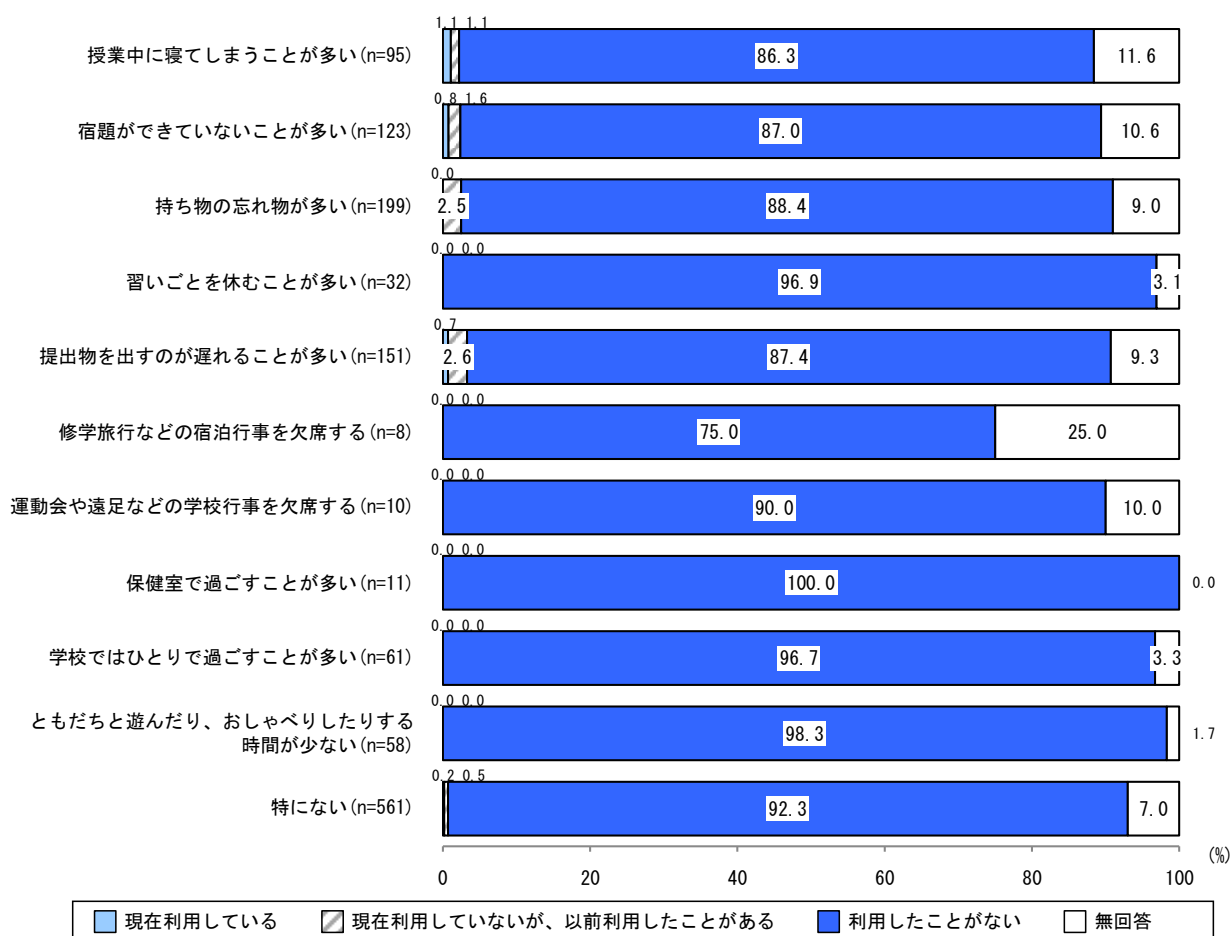
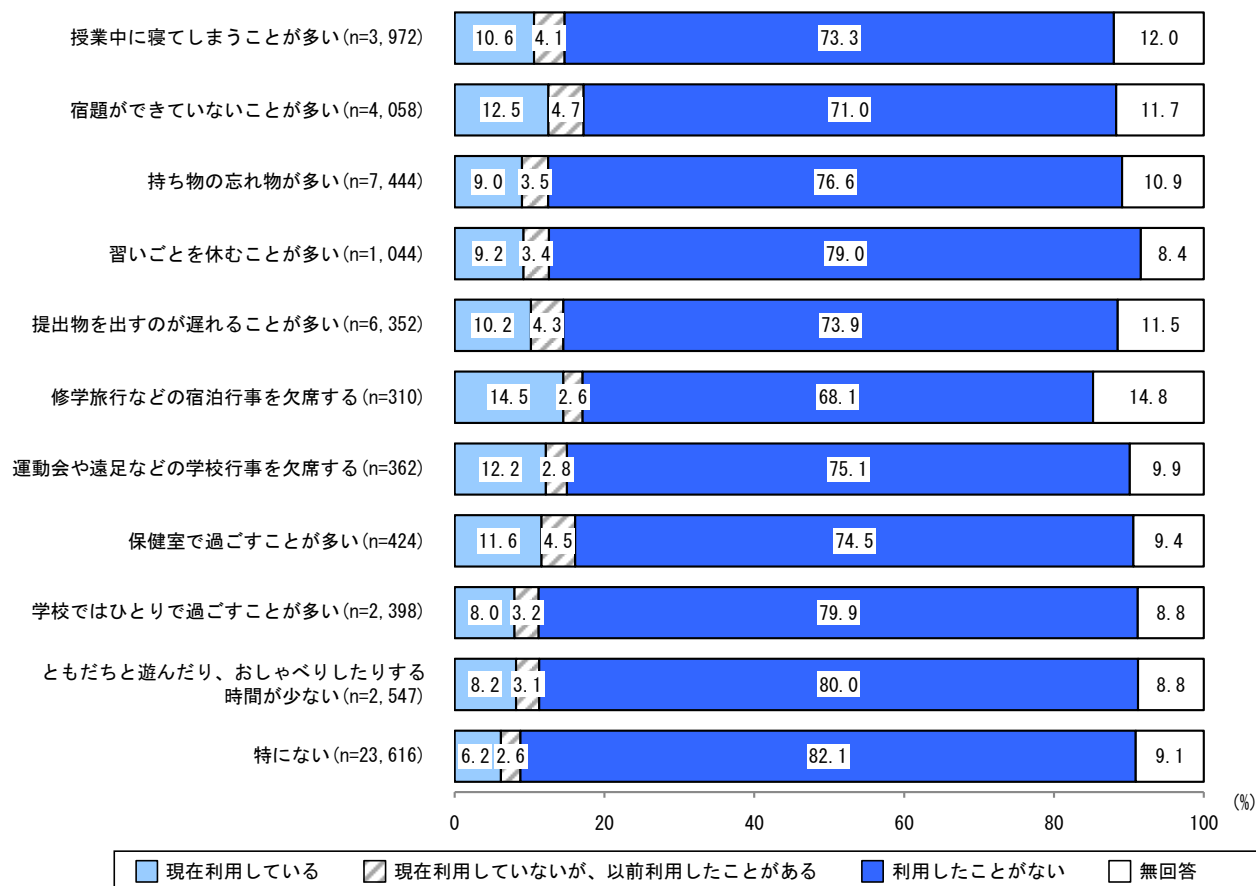


図 42. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

学校や学校の行事等の状況別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「授業中に寝てしまうことが多い」と回答した割合が1.1%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<富田林市>

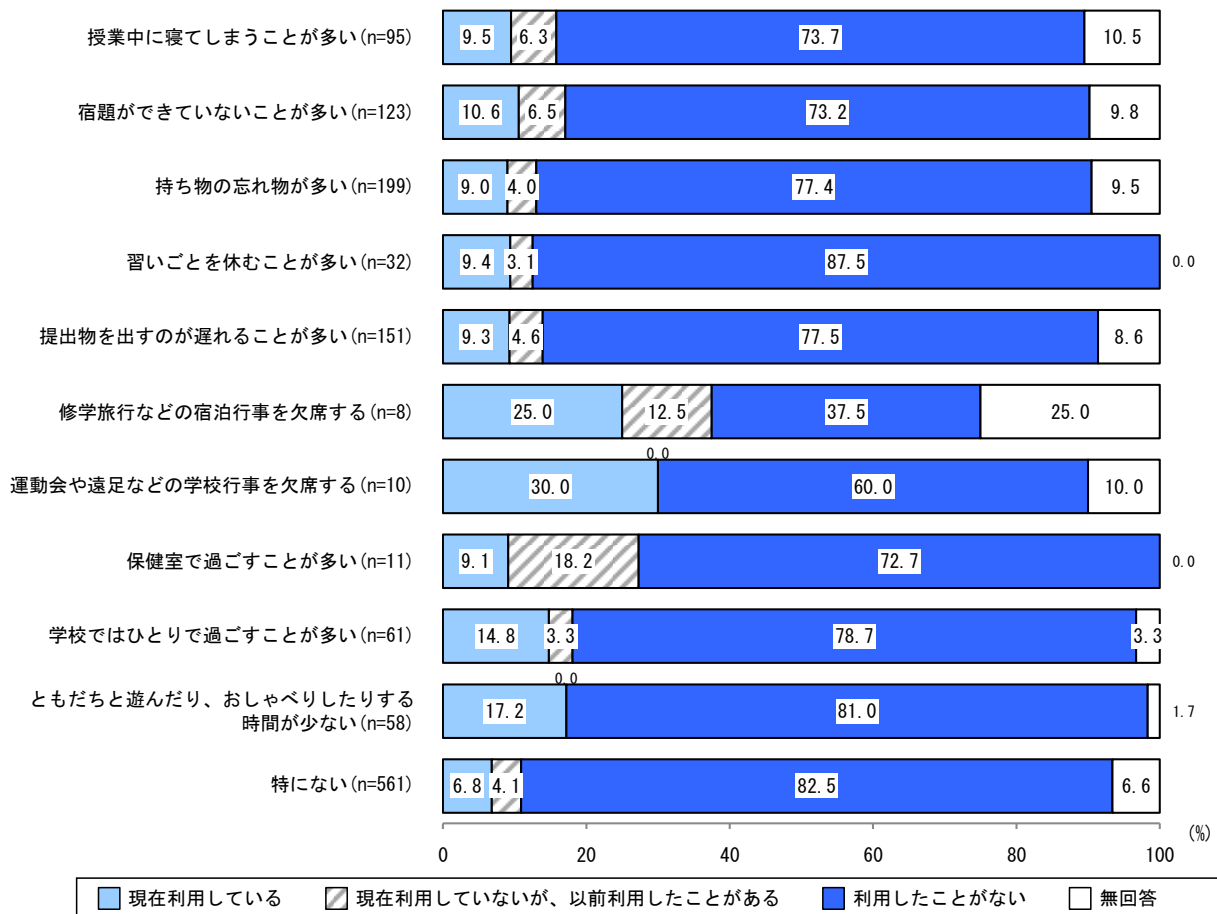
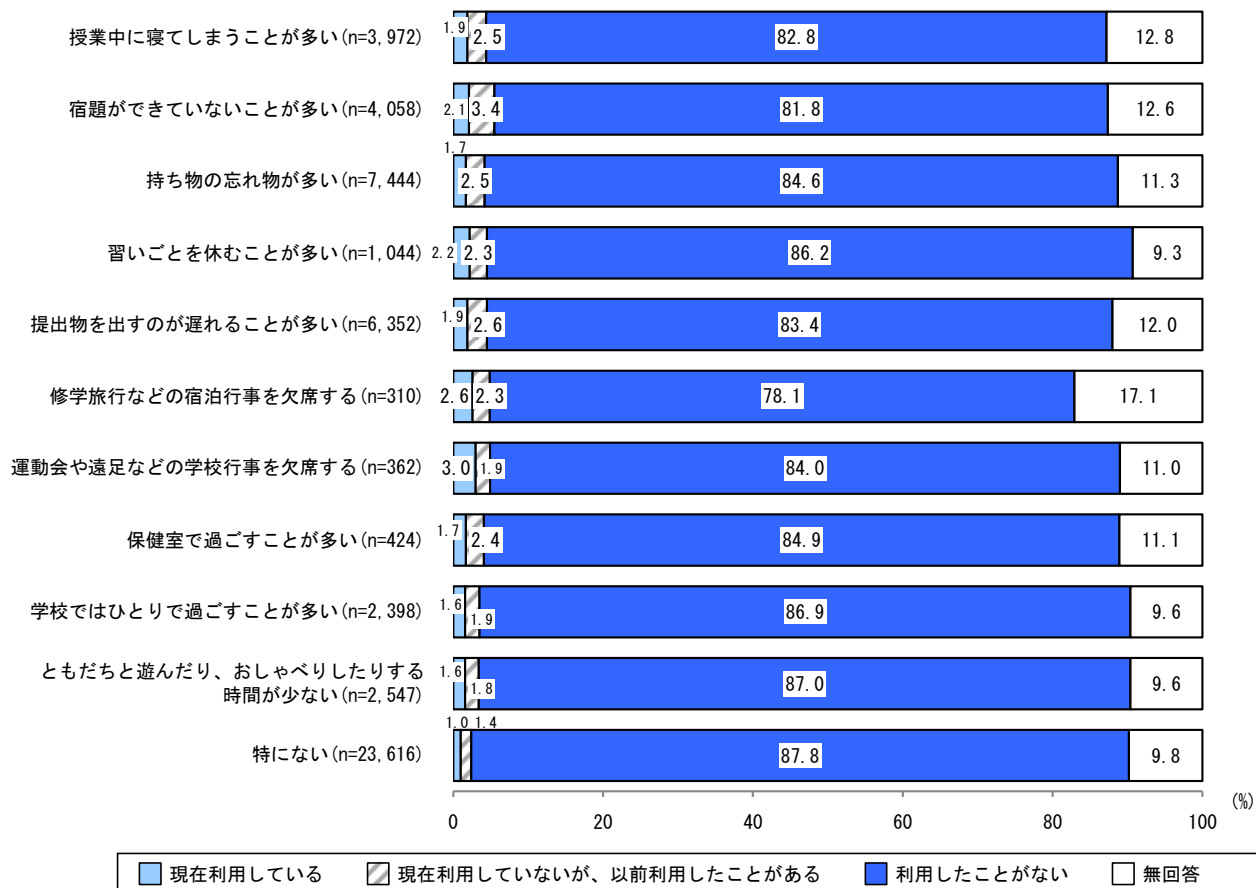


図 43. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「運動会や遠足などの学校行事を欠席する」と回答した割合が30.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<富田林市>

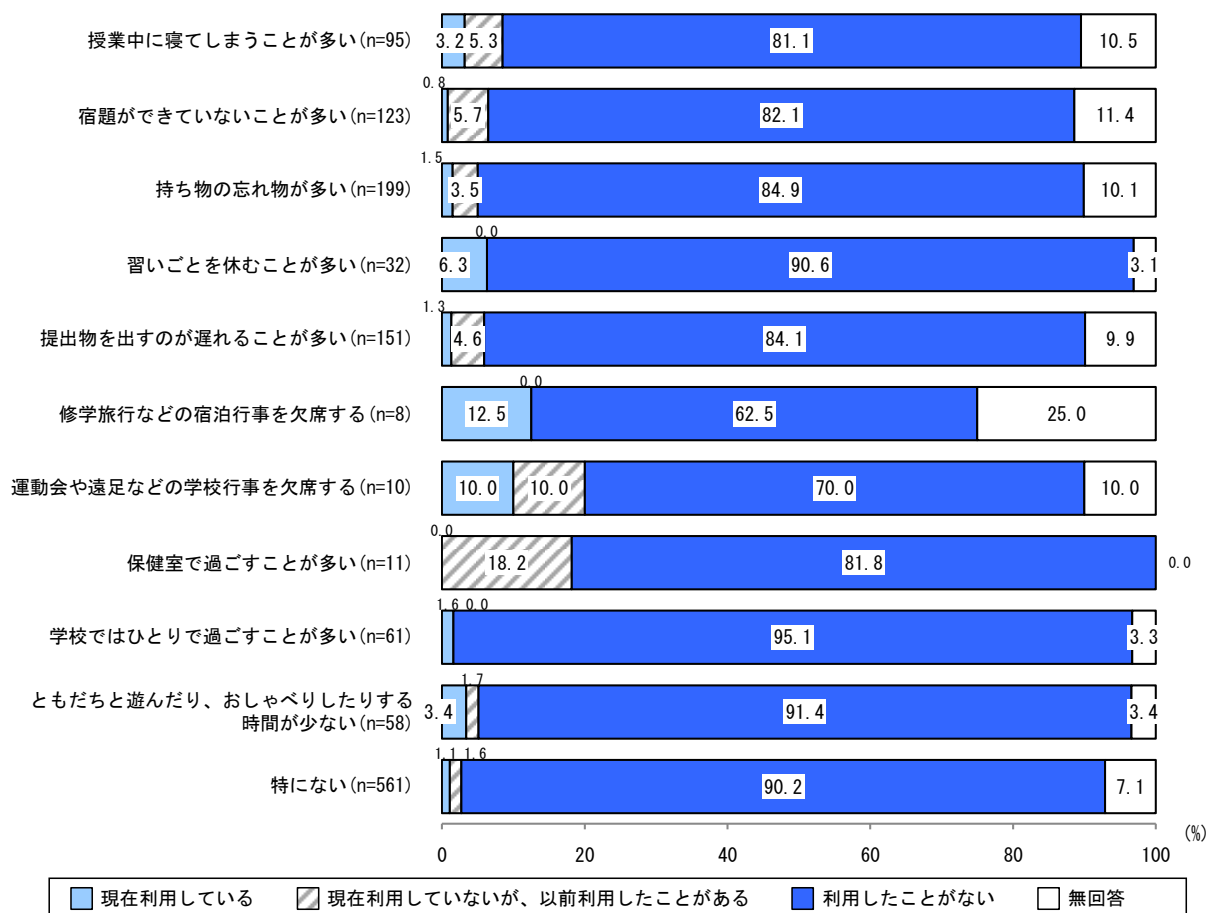
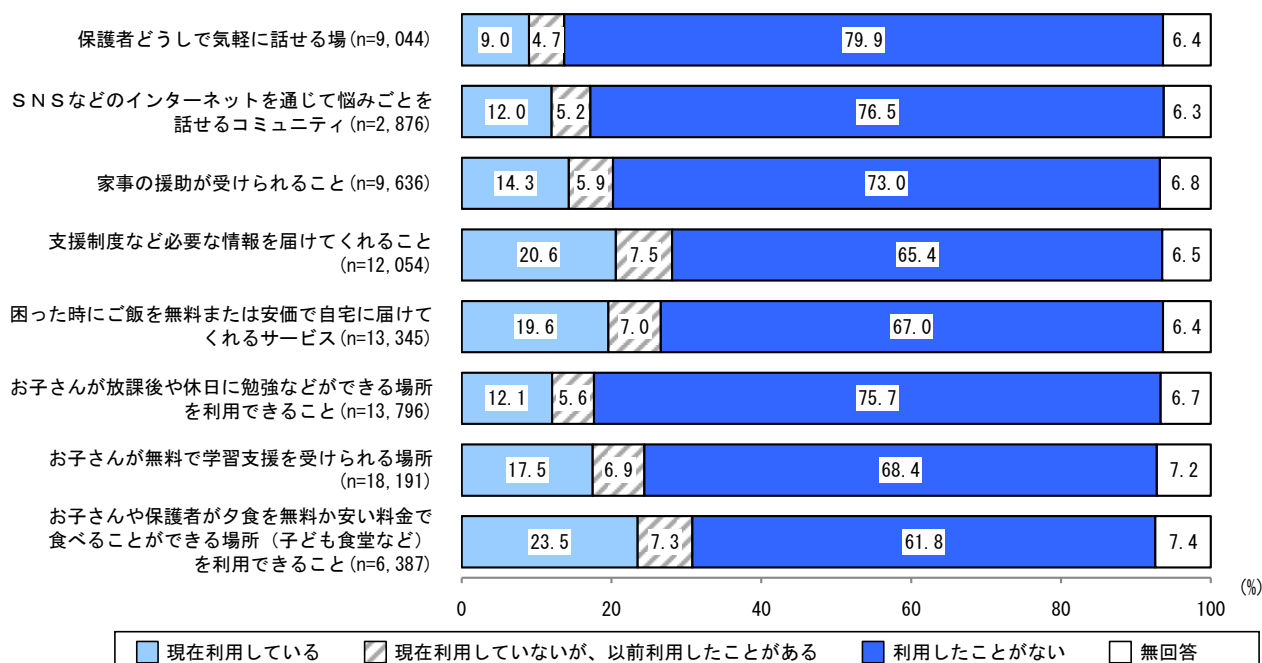


図 44. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が12.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に、就学援助の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<富田林市>

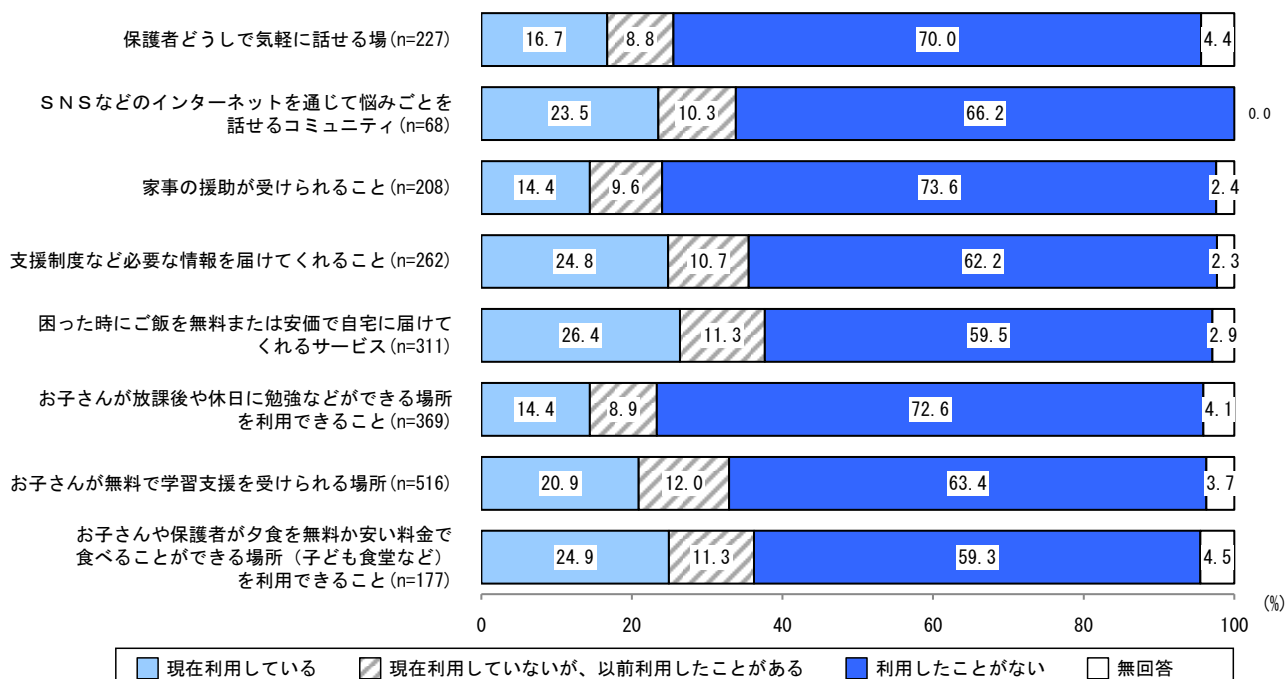
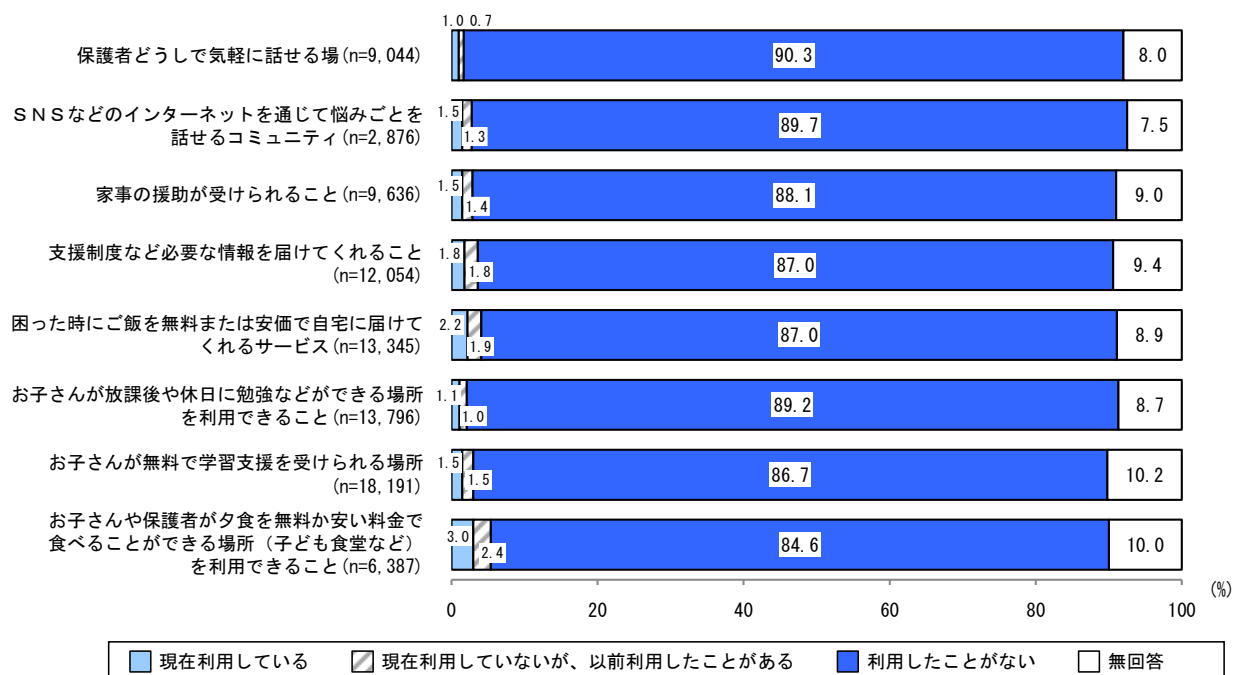


図 45. 身近にあるといいと思うこと別に、就学援助の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」と回答した割合が26.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<富田林市>

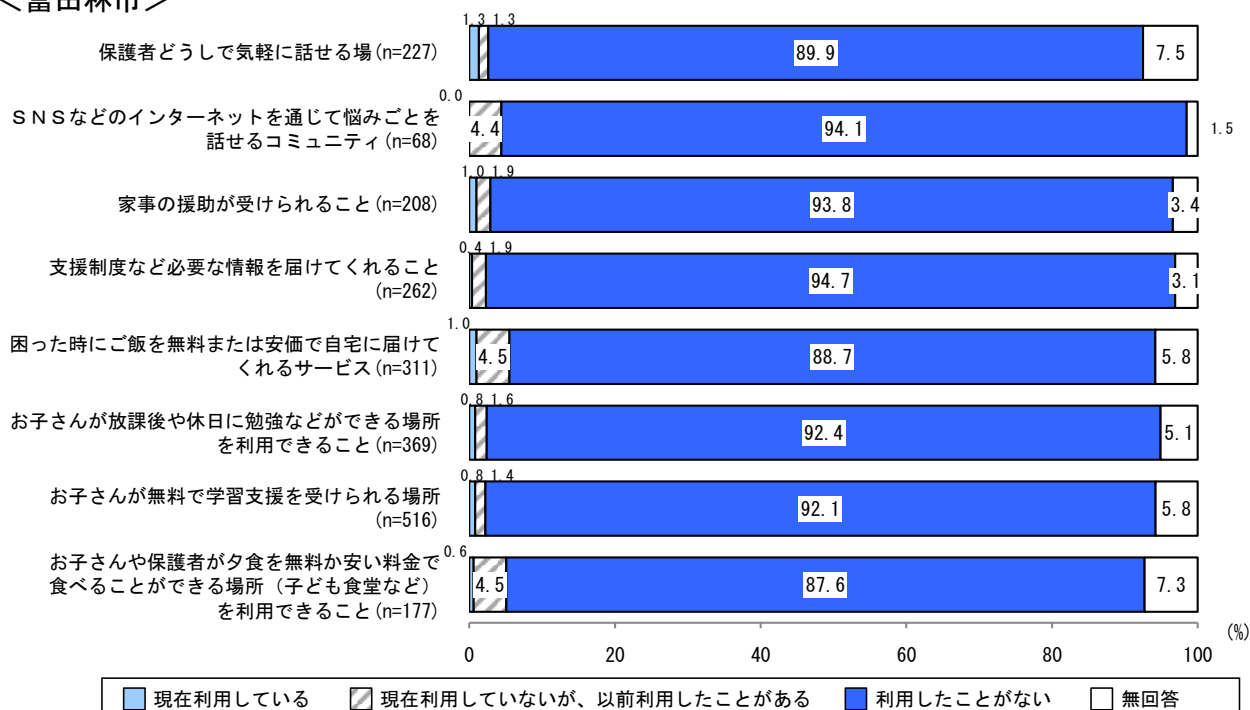
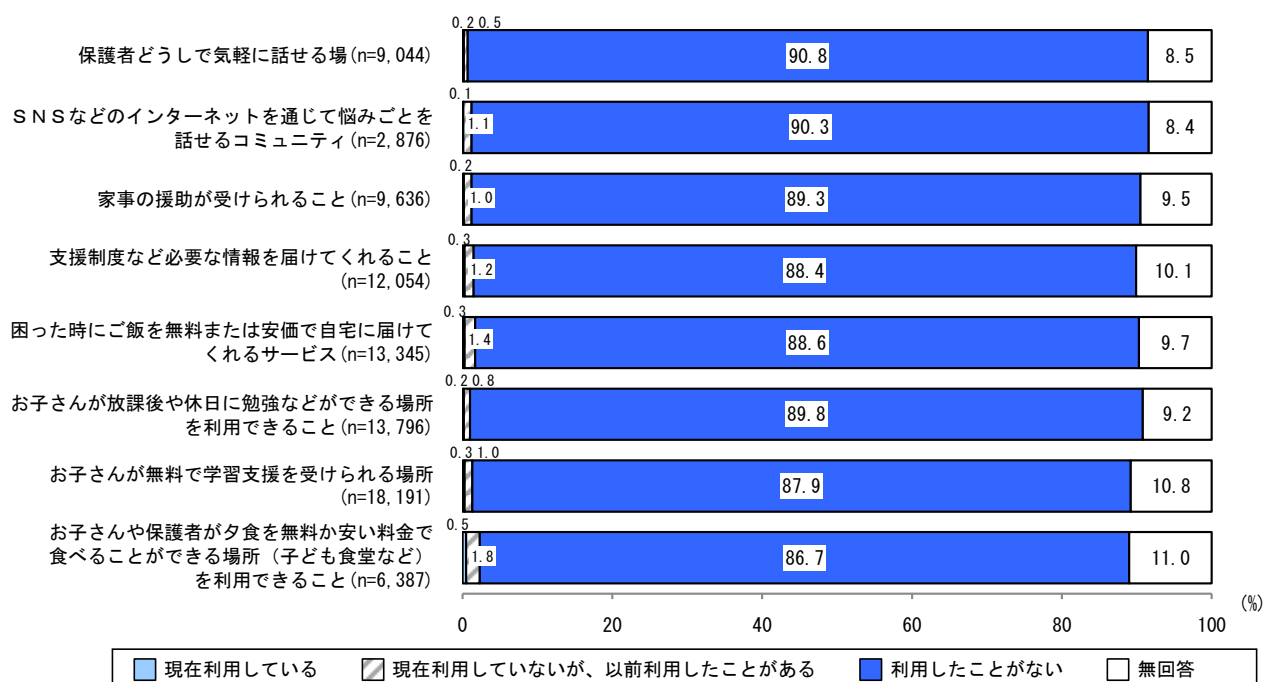


図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保護者どうして気軽に話せる場」と回答した割合が1.3%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<富田林市>

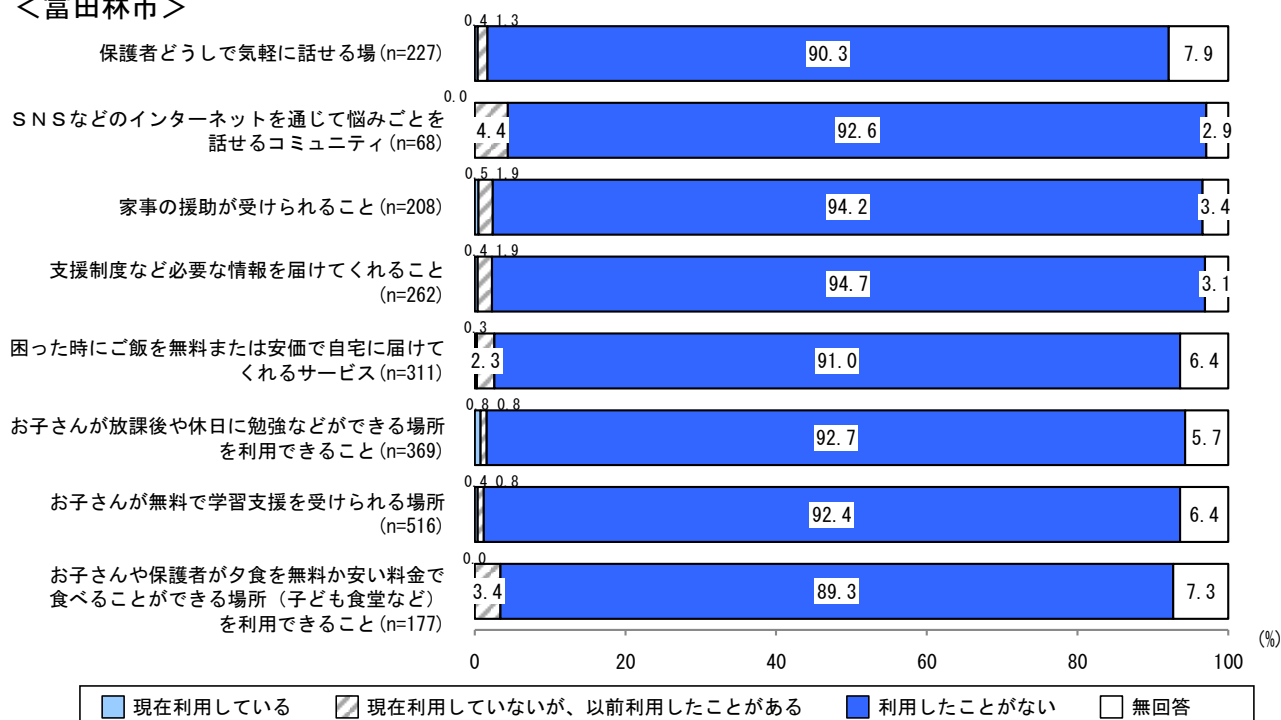
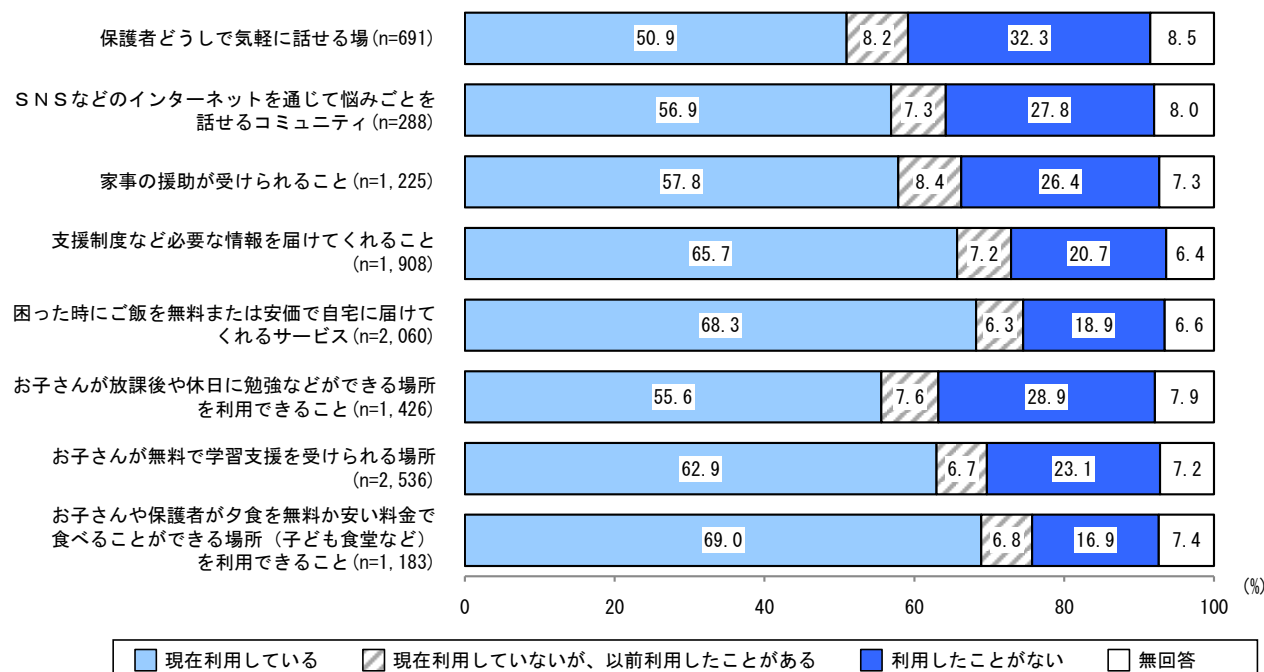


図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 20×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<富田林市>

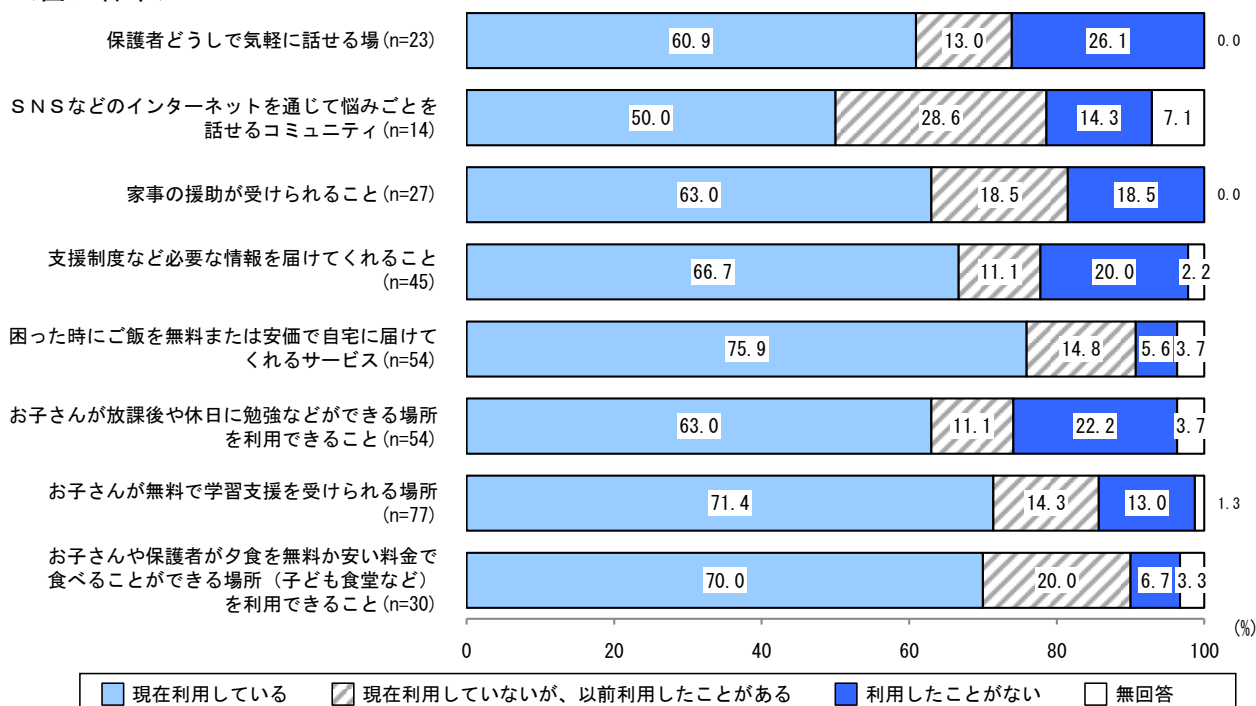
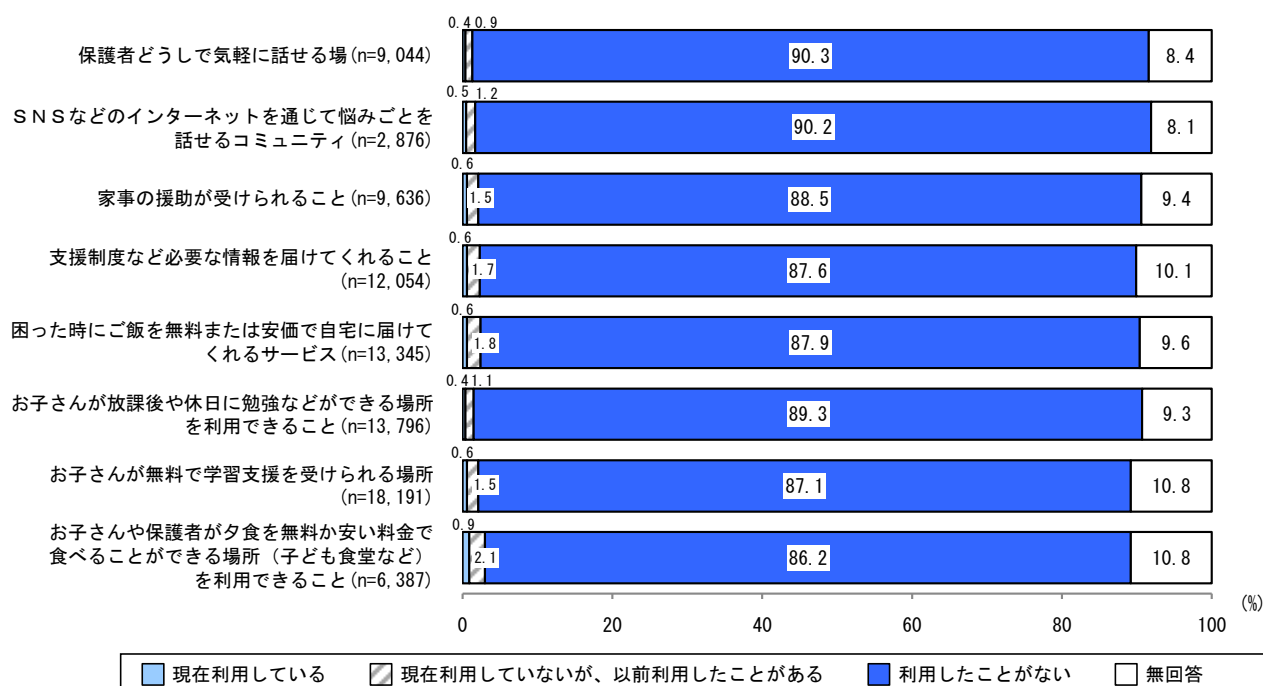


図 48. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

身近にあるといいと思うこと別に児童扶養手当の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」と回答した割合が75.9%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<富田林市>

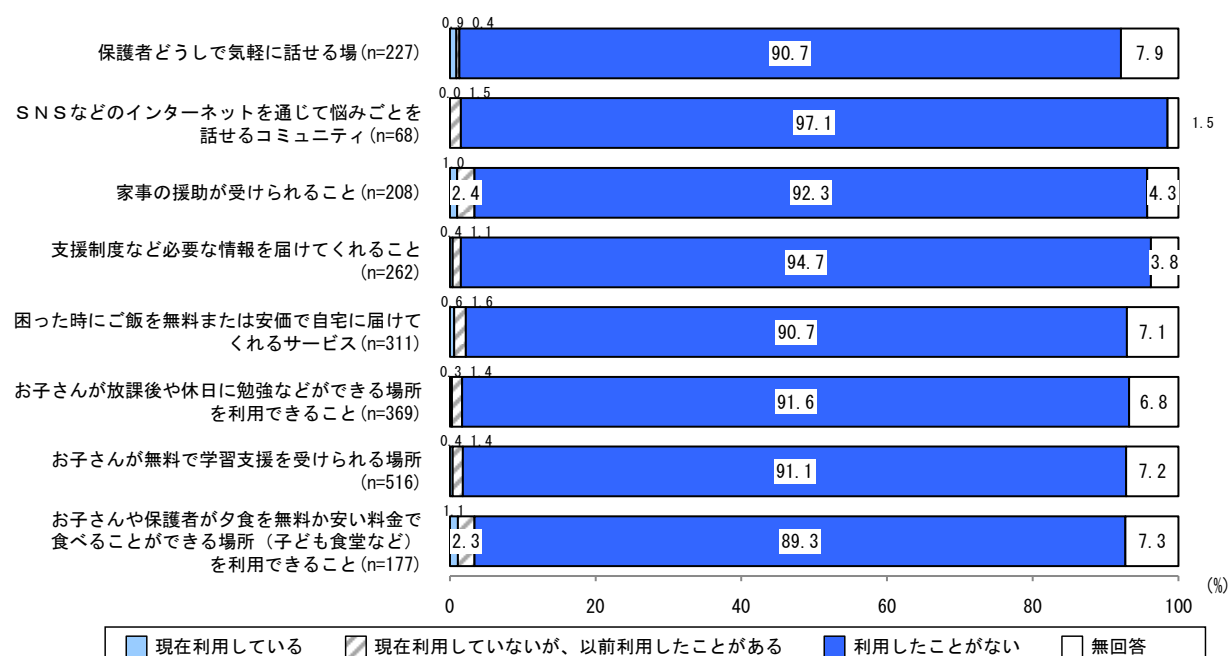
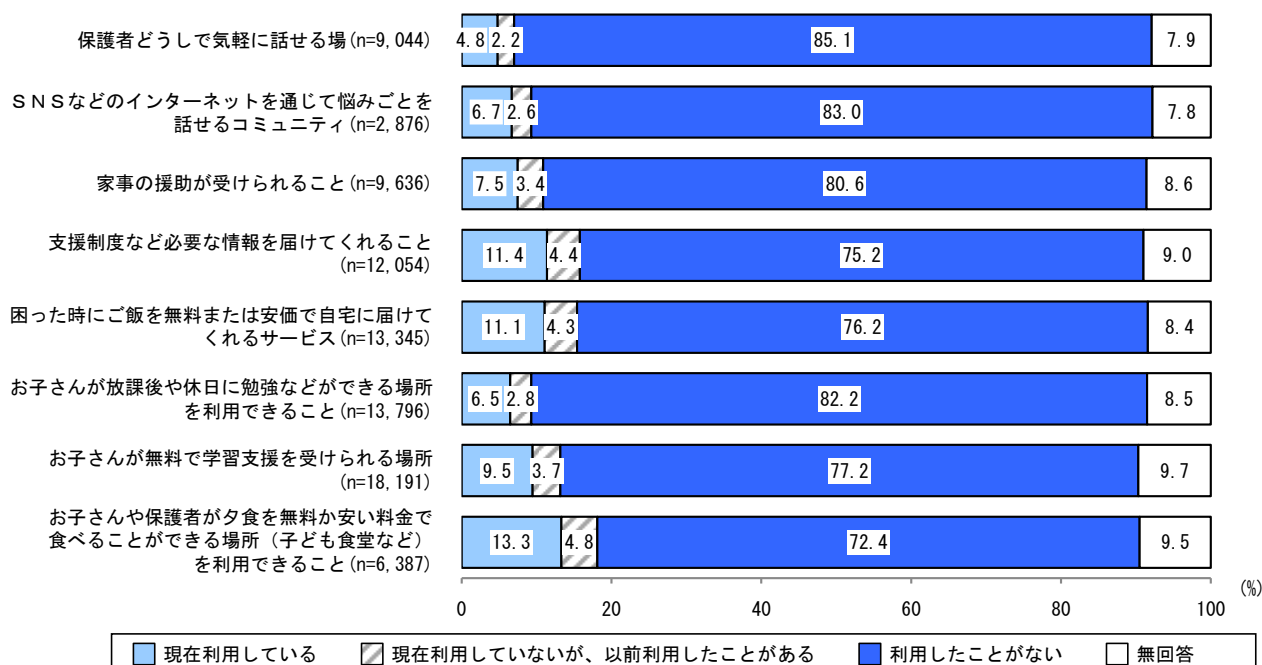


図 49. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

身近にあるといいと思うこと別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ても、大きな差はみられない。

身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<富田林市>

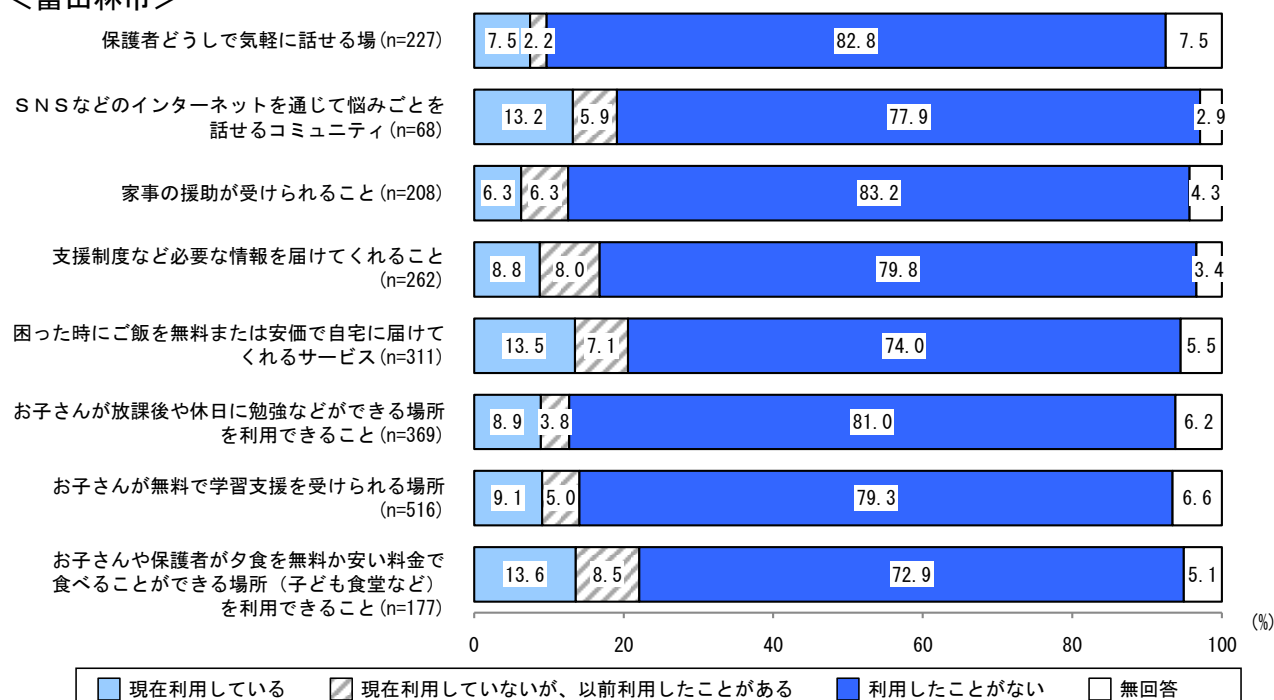
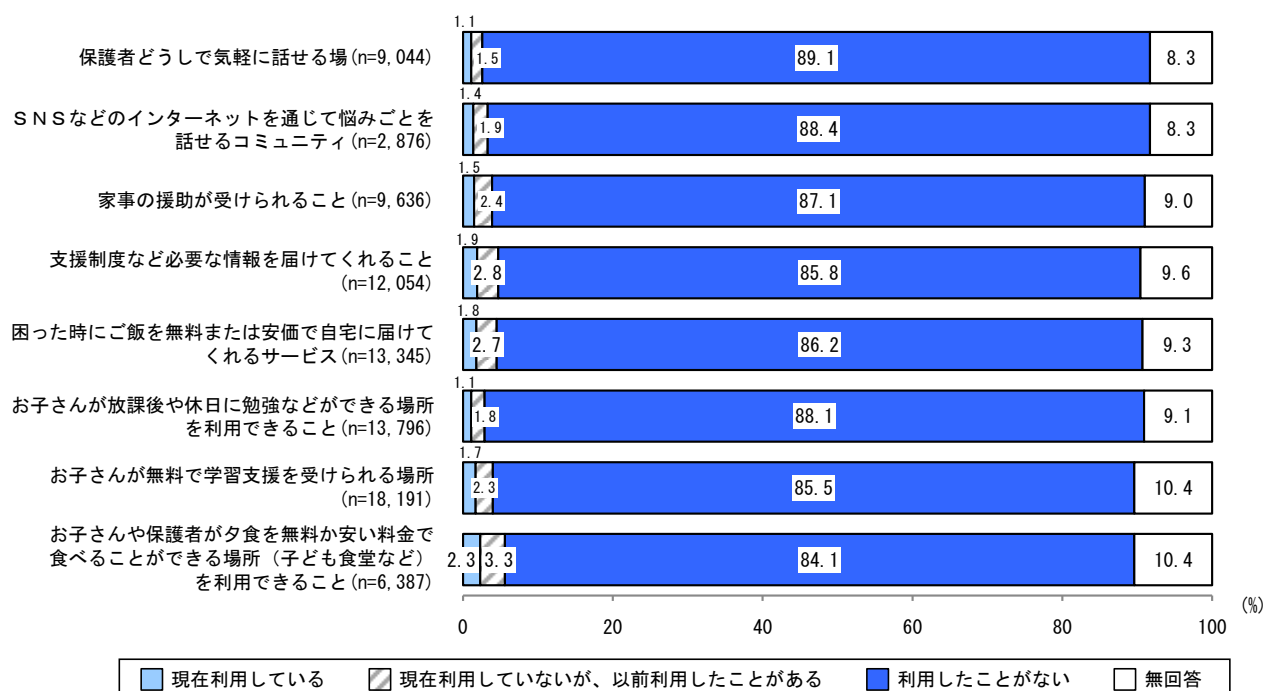


図 50. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が13.6%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<富田林市>

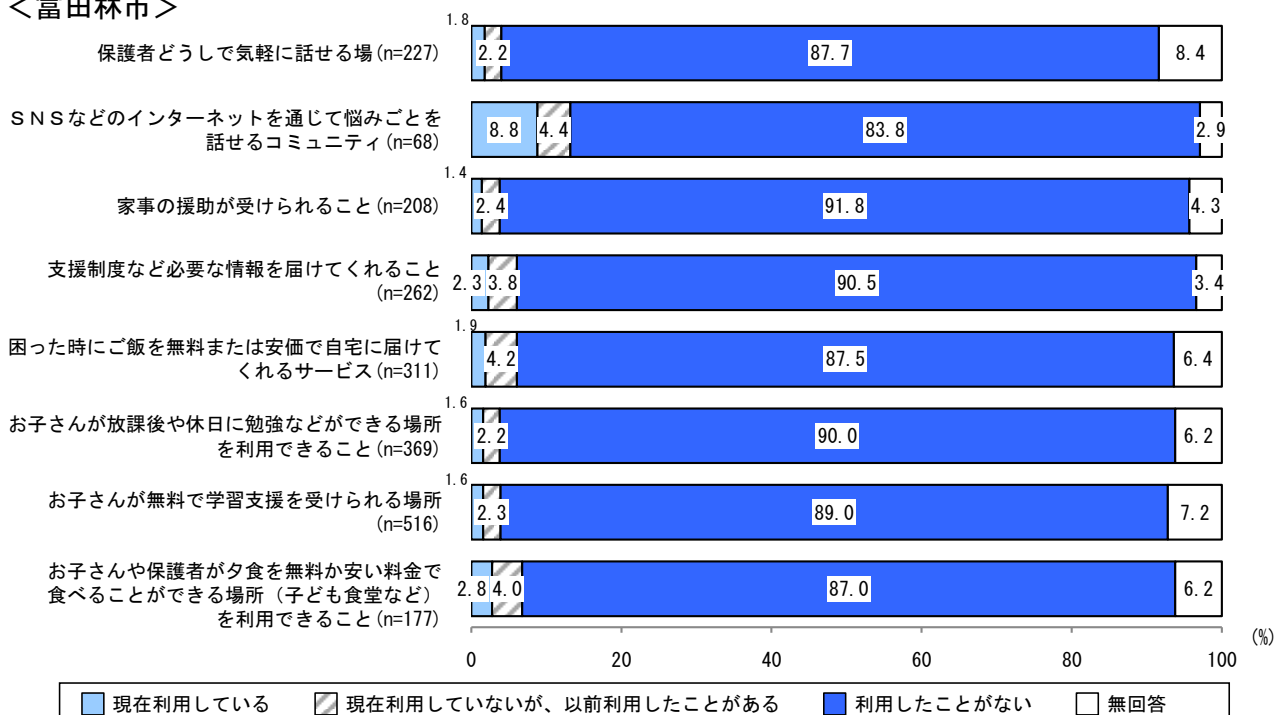


図 51. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」と回答した割合が8.8%で最も高くなっている。

<家庭状況（制度等）に関する考察>

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が18.7%となっている。困窮度Ⅰ群では、57.8%、困窮度Ⅱ群では、41.9%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で64.9%、困窮度Ⅰ群で83.7%、困窮度Ⅱ群で83.3%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で1.2%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰ群では、3.7%、困窮度Ⅱ群では1.6%となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。いずれにしても、社会保障制度の捕捉率を上げるために、給付を必要な世帯が利用しやすいような各制度の要件緩和、手続きの簡素化等の施策が求められている。

ひとり親世帯について、養育費の取り決めや受け取りをしている世帯は、全体で22.4%にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で53.5%、困窮度Ⅱ群で50.0%となっている。離別の場合、生活状況の激変のなか、ひとり親自身が養育費の取り決めを行うことは容易なことではないため、相談機関等の支援策の充実が求められる。

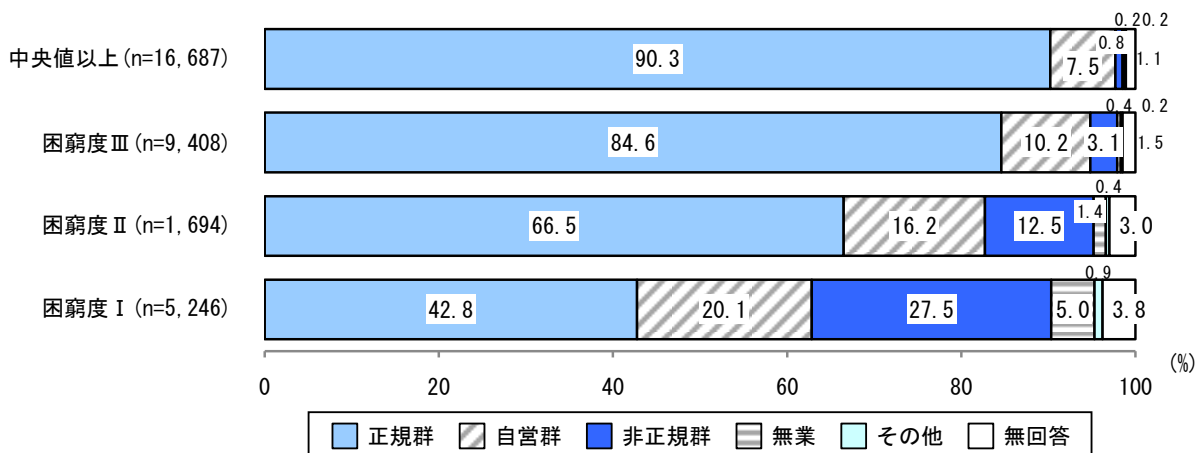
初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「10代」で中学校卒業が23.9%、高等学校中途退学が17.4%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても学修を中断せず継続できるような学修面でのサポート体制、子育て支援が求められる。また学びを一時中断した者についても、あとからでも「学び直し」を可能にするような学修機会の提供等が求められる。

住宅形態別に家計の状況をみると、「府営・市営の住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が34.6%と半数弱を占める。同様に、府営・市営の住宅については、「子どもの将来のための貯蓄状況」についても「貯蓄をしたいが、できていない」が65.4%と経済的余裕のなさが示されている。家賃分の負担軽減に加えて、生活費部分の経済的支援の必要性が示されている。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全体>



<富田林市>

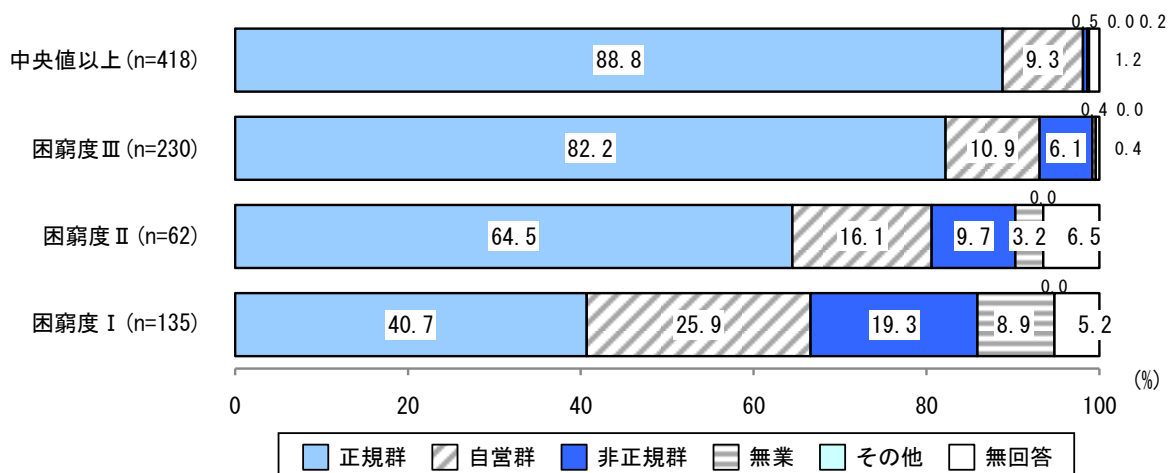


図 52. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」、「非正規群」、「無業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「非正規群」、「無業」の割合が高く、それぞれ19.3%、8.9%となっている。

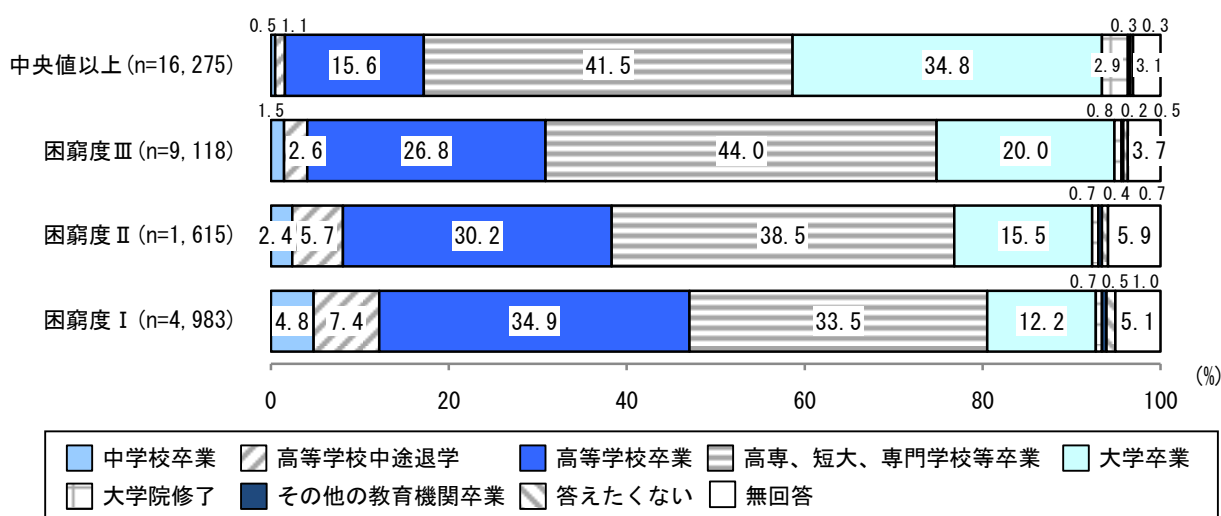
※分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
 上記以外で、誰も働いていなければ「無業」（問9選択肢6、7）。
 上記以外が「その他」となる。

ここでの無業とは、「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

困窮度別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問8）

<大阪府内全体>



<富田林市>

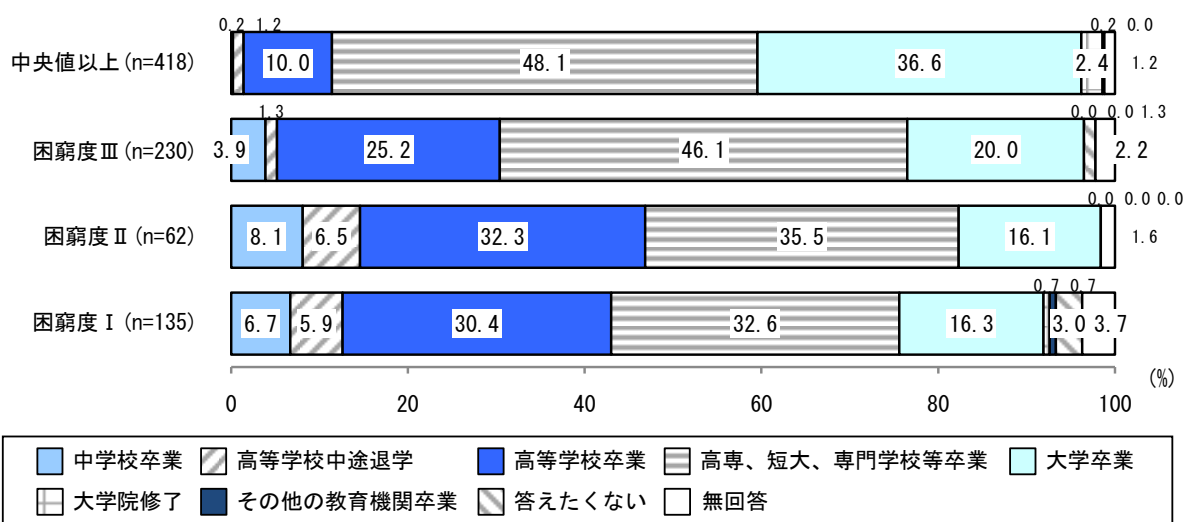
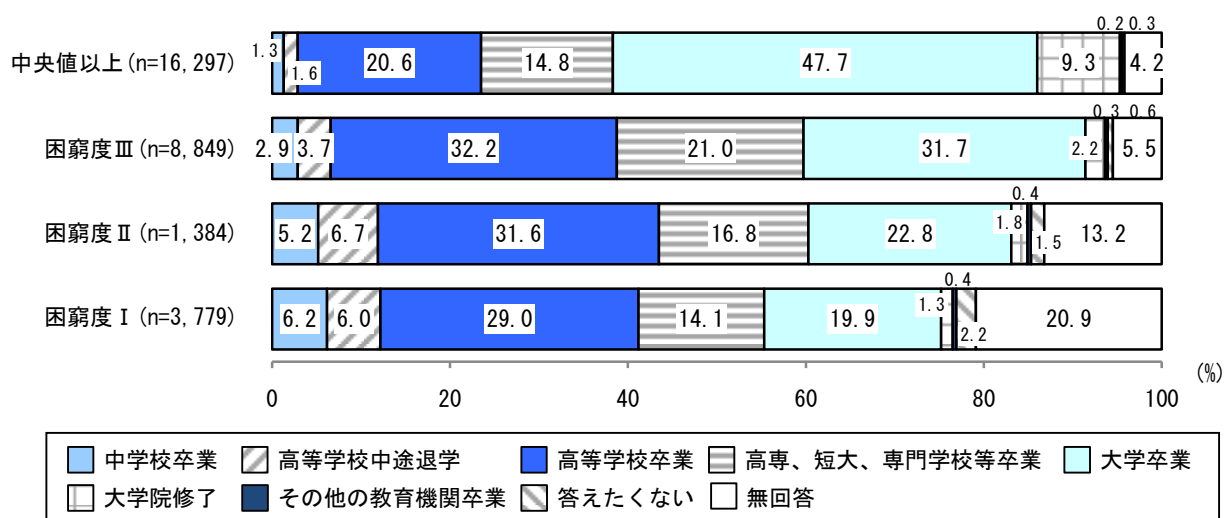


図 53. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、概ね困窮度が高まるにつれ、「中学校卒業」と「高等学校卒業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ～Ⅲ群では中央値以上群に比べ、「大学卒業」の割合が低くなっている。

困窮度別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 8）

<大阪府内全体>



<富田林市>

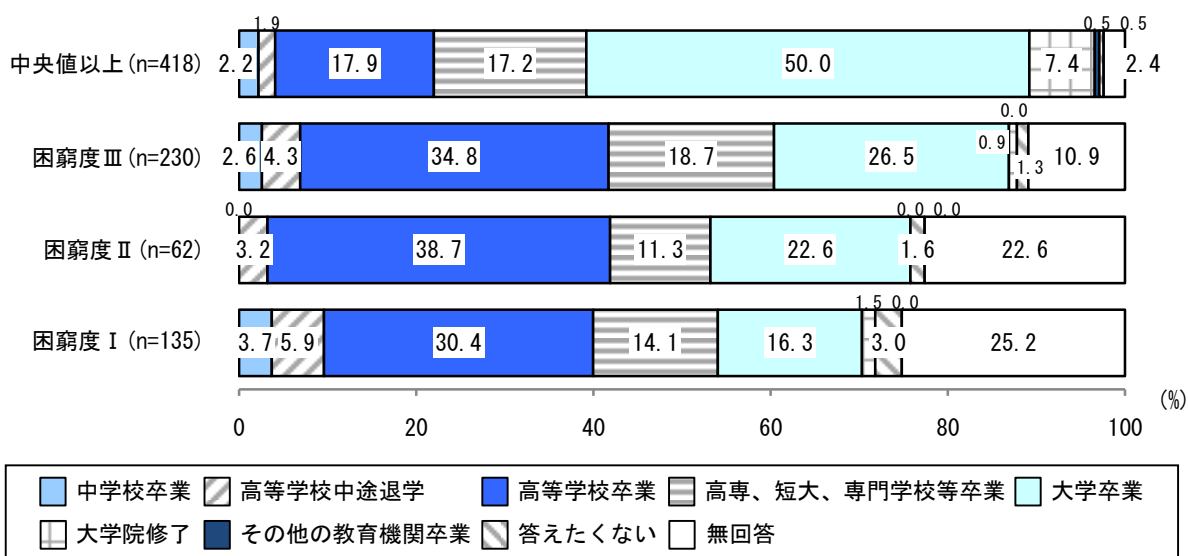
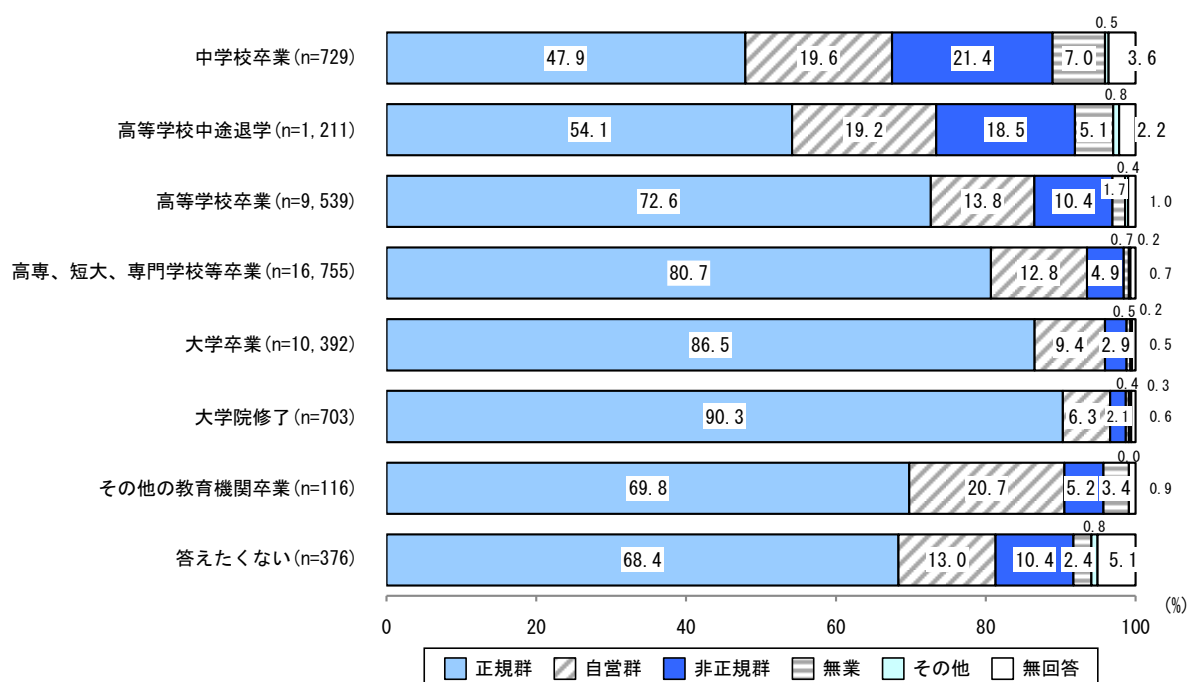


図 54. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、困窮度Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ群は、中央値以上群と比べて「高等学校卒業」の割合が高くなっている。「大学卒業」は中央値以上群が50.0%で最も高くなっており、困窮度があがるにつれて低くなっている。

お母さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問 8 × 保護者票問 9）

<大阪府内全体>



<富田林市>

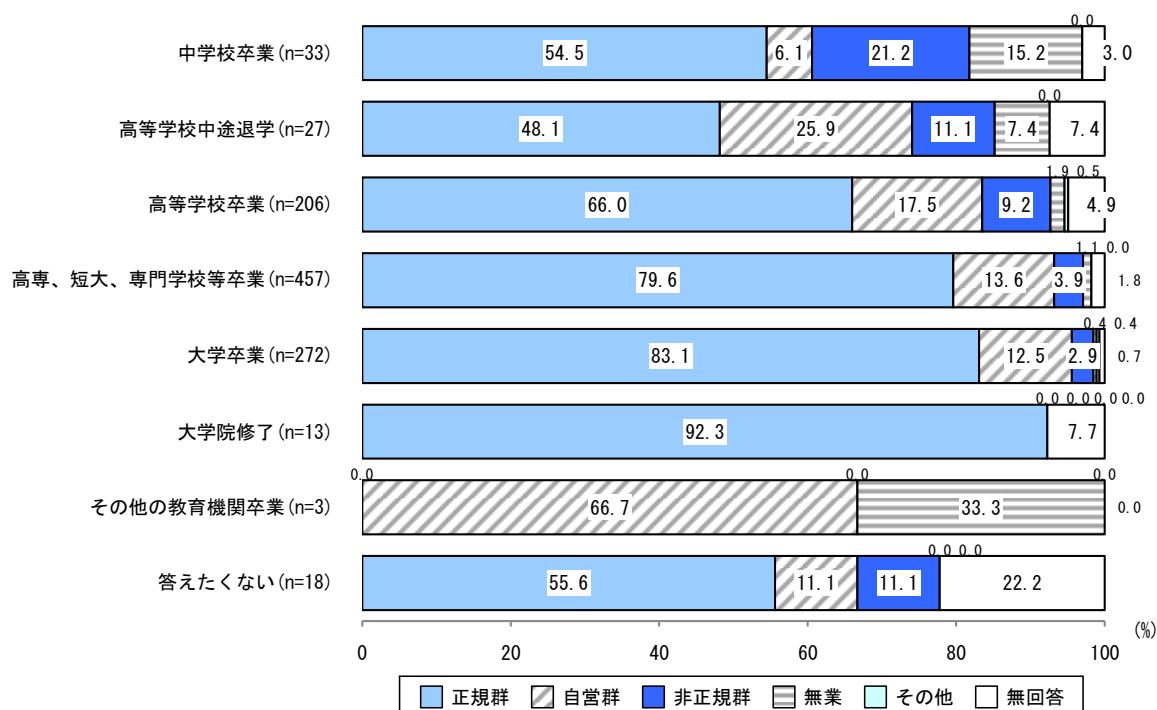
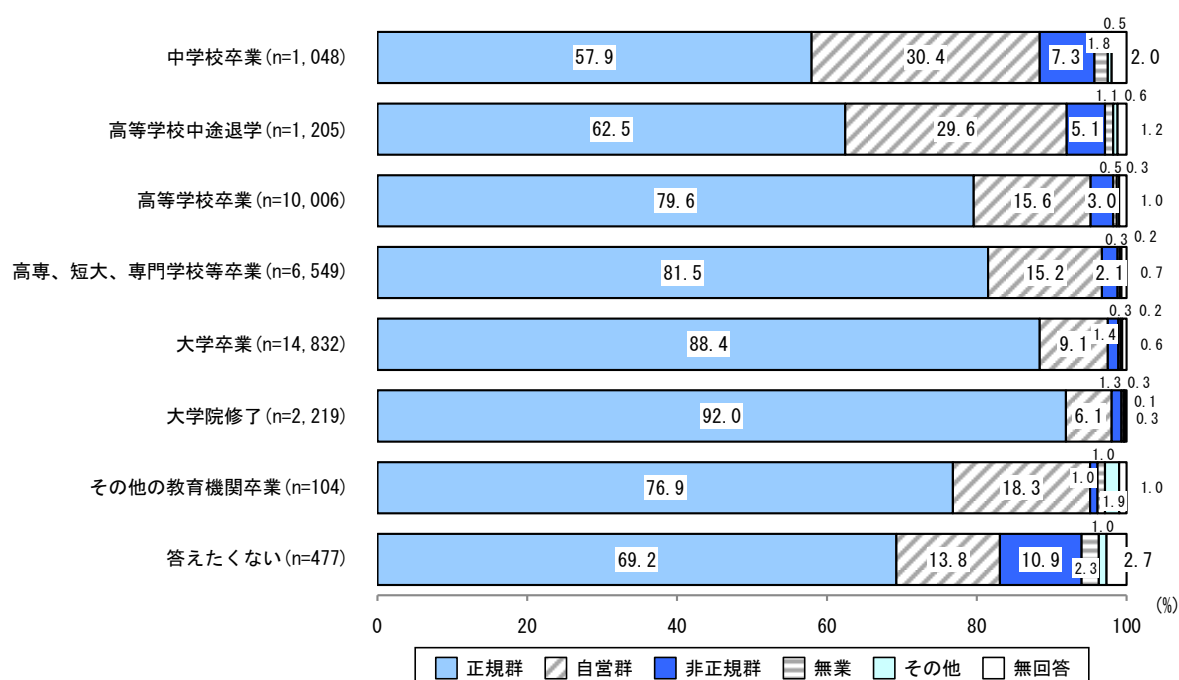


図 55. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなっている。

お父さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問8×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<富田林市>

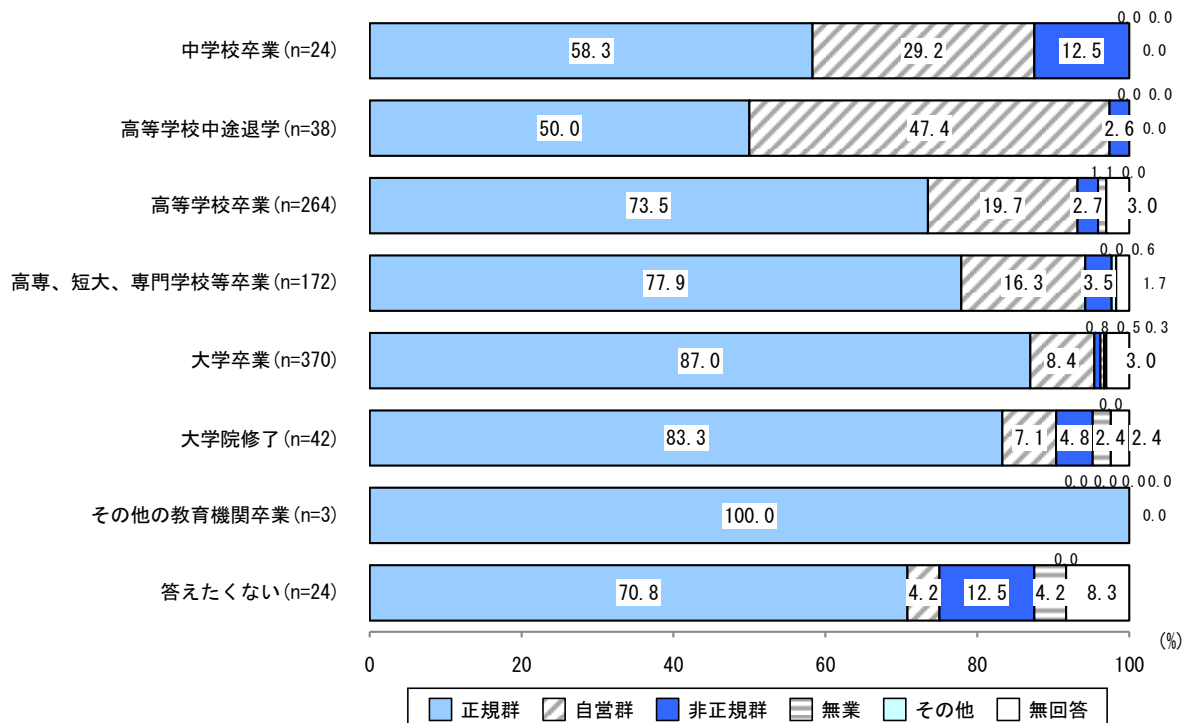
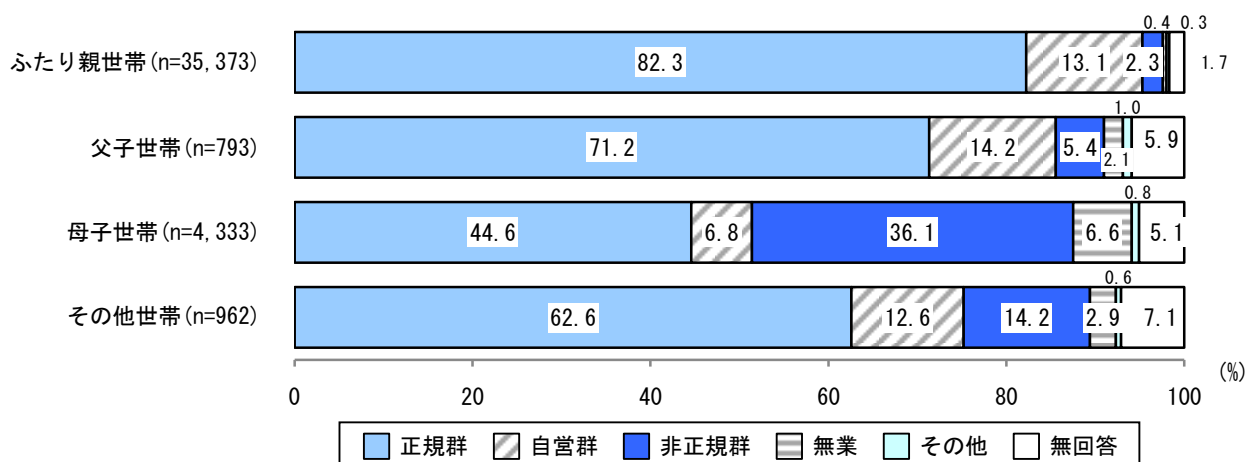


図 56. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね父親の最終学歴が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなっている。

世帯構成別に見た、就労状況（保護者票問2×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<富田林市>

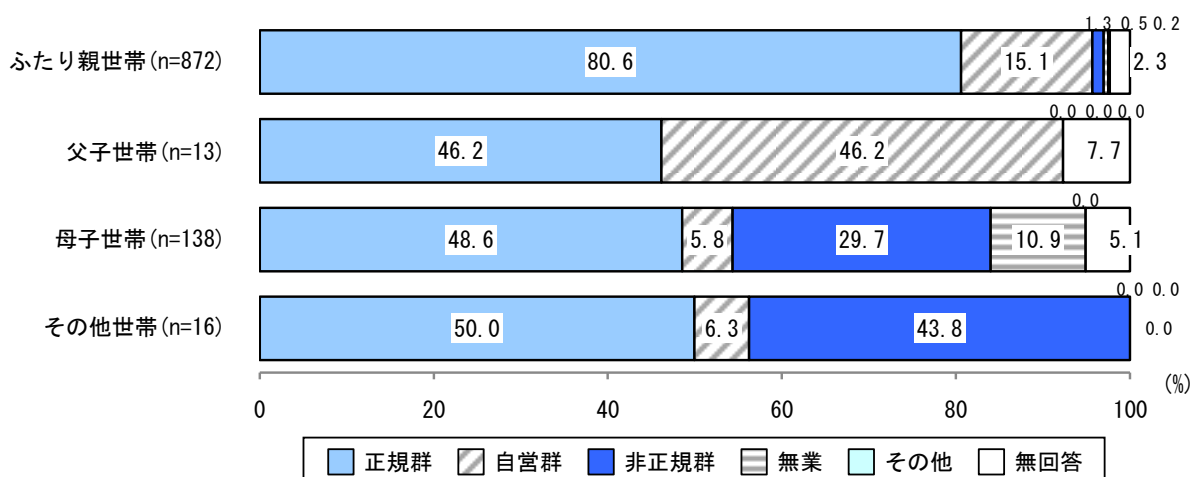
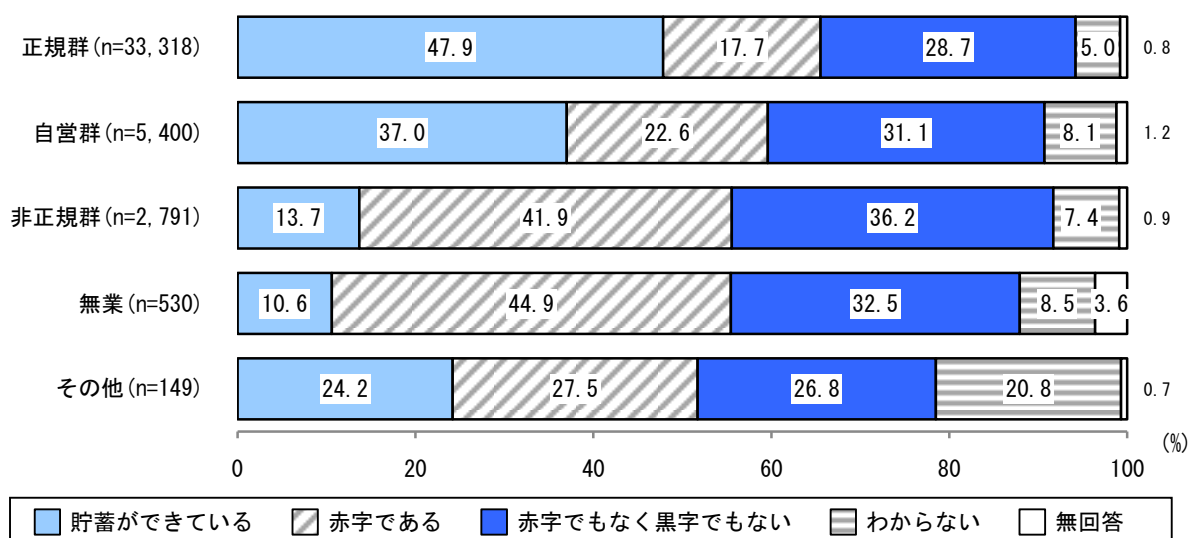


図 57. 世帯構成別に見た、就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が80.6%であるが、「父子世帯」では46.2%、「母子世帯」では48.6%と低くなっている。「非正規群」は、「母子世帯」では29.7%となっている。

就労状況別に見た、家計の状況（保護者票問9×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

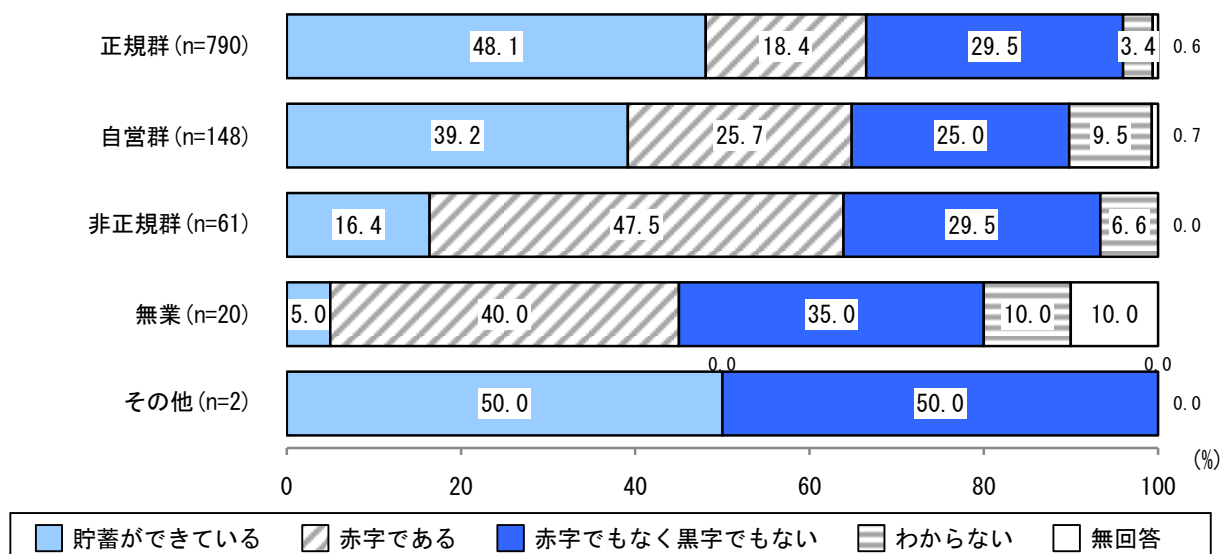


図 58. 就労状況別に見た、家計の状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」・「自営群」では「貯蓄ができています」割合がそれぞれ、48.1%、39.2%である。「非正規群」では「赤字である」と回答した人が47.5%にのぼっている。

<雇用に関する考察>

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。まず、親の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（88.8%対40.7%）が約48ポイント高く、大きな開きがある。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（19.3%対0.5%）が18ポイント以上高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、高学歴な「大学卒業」群（36.6%対16.3%）は約20ポイント高くなっている。困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（30.4%対10.0%）が約20ポイント高くなっている。同様に、父親の最終学歴においても、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、高学歴な「大学卒業」群（50.0%対16.3%）で33ポイント以上高くなっている。困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」（30.4%対17.9%）が12ポイント以上高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就業状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「中学校卒業」群および「高等学校中途退学」群の正規雇用の割合は5割程度（54.5%、48.1%）に対して、「高校卒業」群以上では6割以上が「正規」群である。一方で、父親の最終学歴別では「中学校卒業」群および「高等学校中途退学」群の「正規」群の比率は6割未満（58.3%、50.0%）にとどまっているのに対し、「高等学校卒業」群以上では7～8割である。これらの結果から、学歴が上がるほど「正規」群における就業比率が上昇する傾向が表れている。

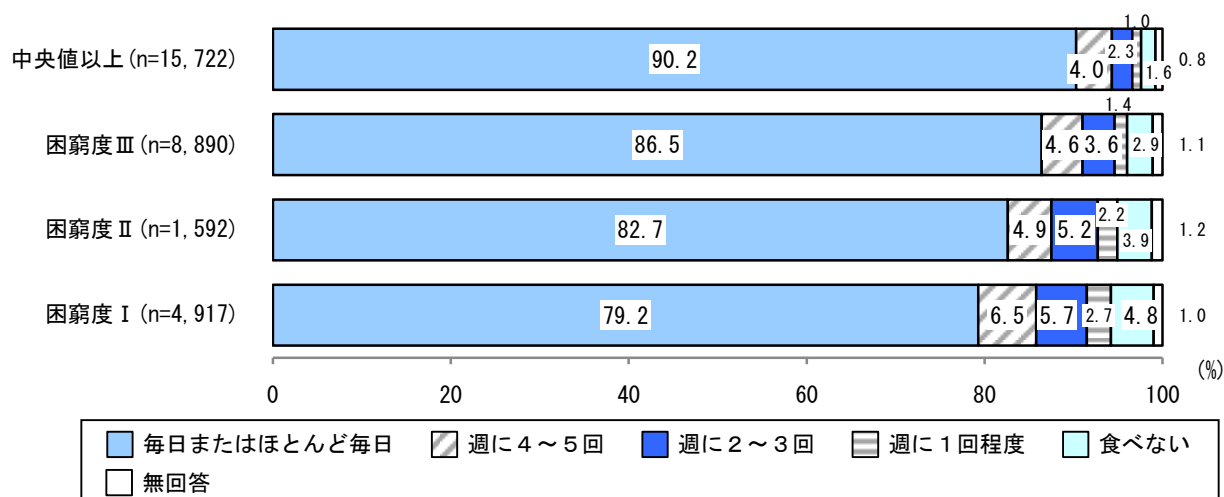
親の就労状況を世帯構成別に見ると、ふたり親世帯は母子世帯および父子世帯と比べ、「正規」群（80.6%対48.6%、46.2%）が32ポイント以上高く、母子世帯および父子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。母子世帯はふたり親世帯と比べ、「非正規」群（29.7%対1.3%）が高くなっており、不安定な就労状況にあることを示唆している。

最後に、保護者の就業状況別に家計状況に着目する。「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄が出来ている」（48.1%対16.4%）は30ポイント以上高くなっている。また、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（47.5%対18.4%）が2倍以上であるという対照的な状況が示された。この結果から、保護者の就業状況により貯蓄ができるか否かなど生活の安定に大きな影響を及ぼしていることが示唆されている。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

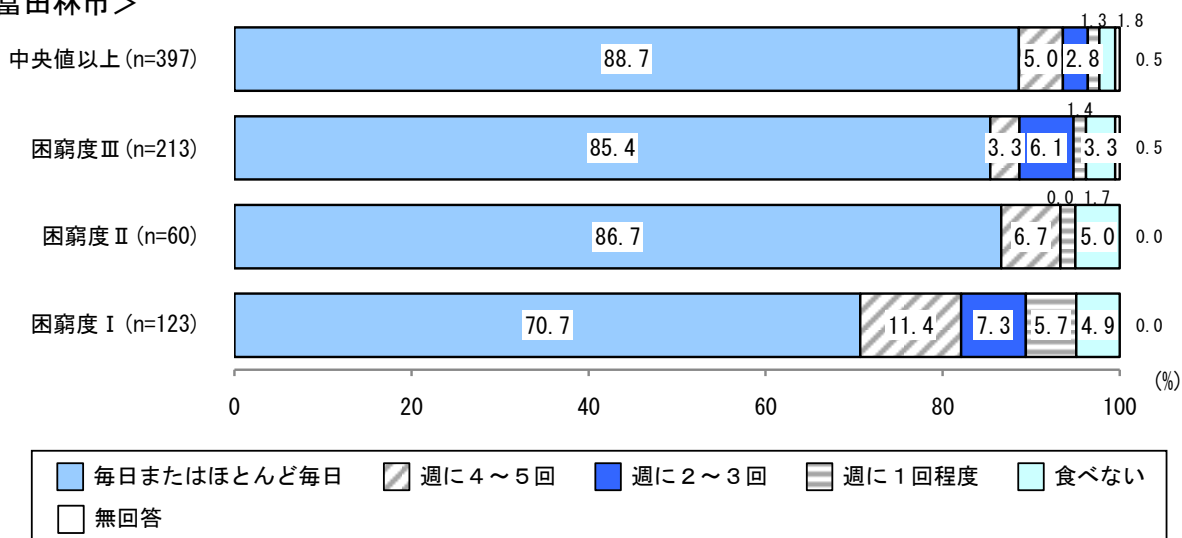
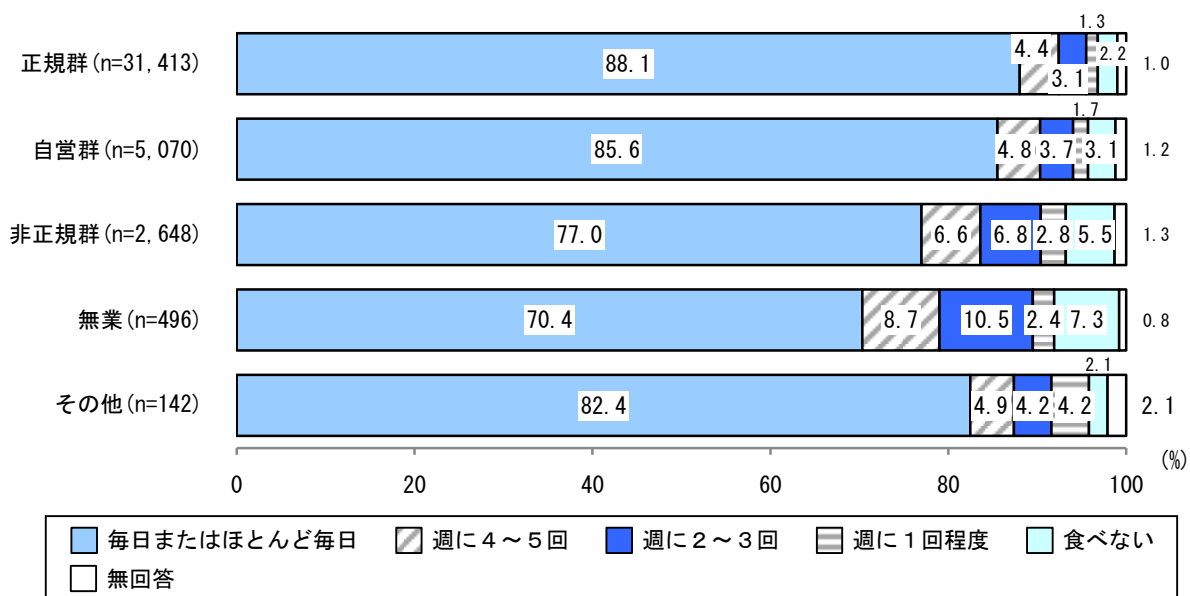


図 59. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、概ね困窮度が高くなるにつれて、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べる頻度が減る傾向が見られた。困窮度Ⅰ群では、約3割が「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていないと回答した。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

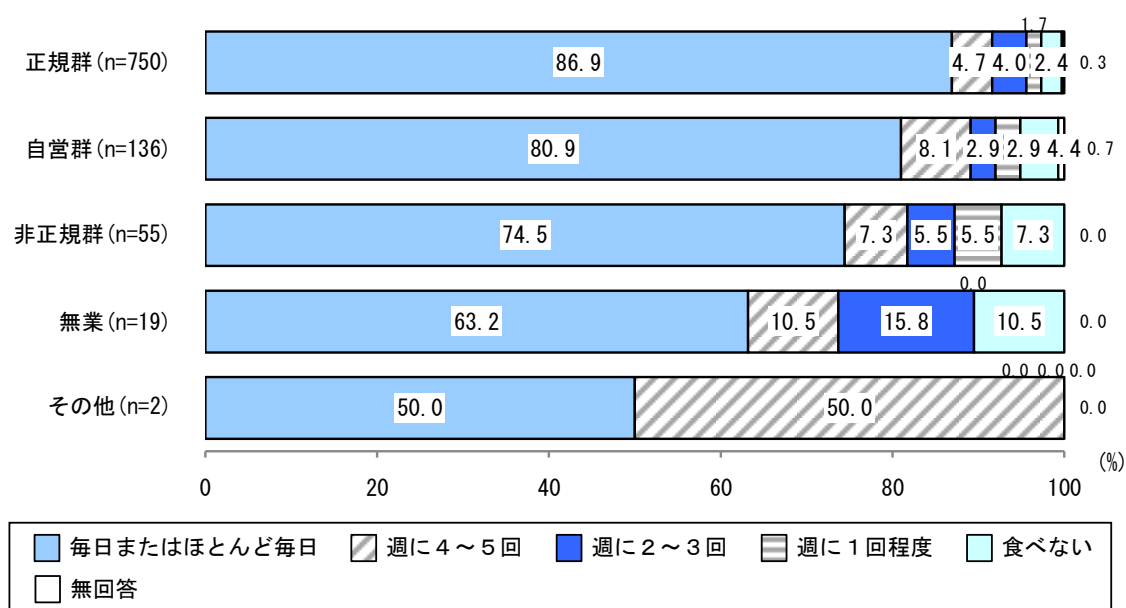
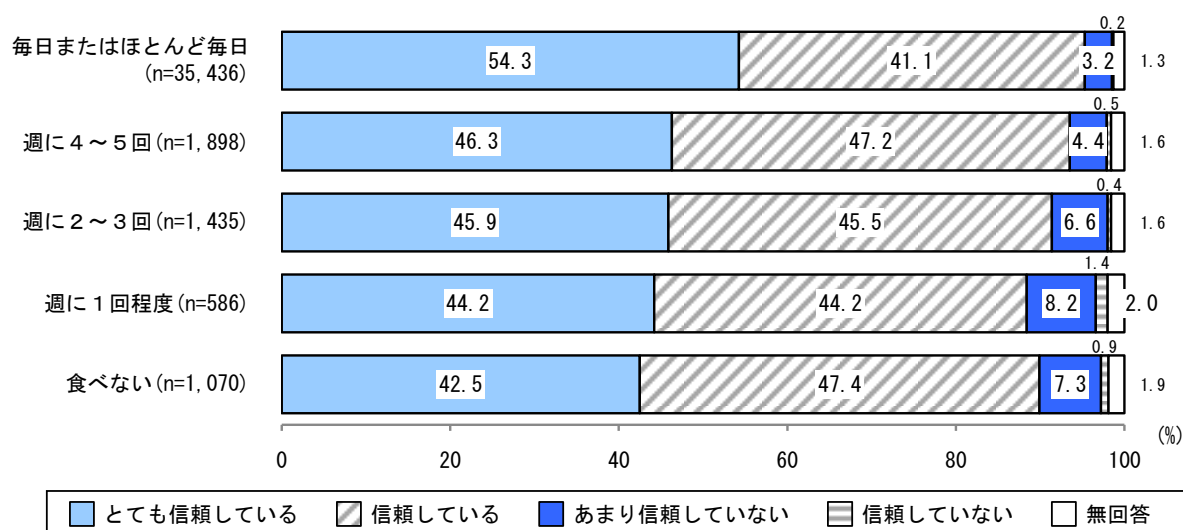


図 60. 就労状況別に見た、朝食の頻度

就労状況別に朝食の頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる割合は、「正規群」（86.9％）が最も高く、次いで、「自営群」（80.9％）、「非正規群」（74.5％）、「無業」（63.2％）の順で朝食の頻度が低くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問4(1)×保護者票問13(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

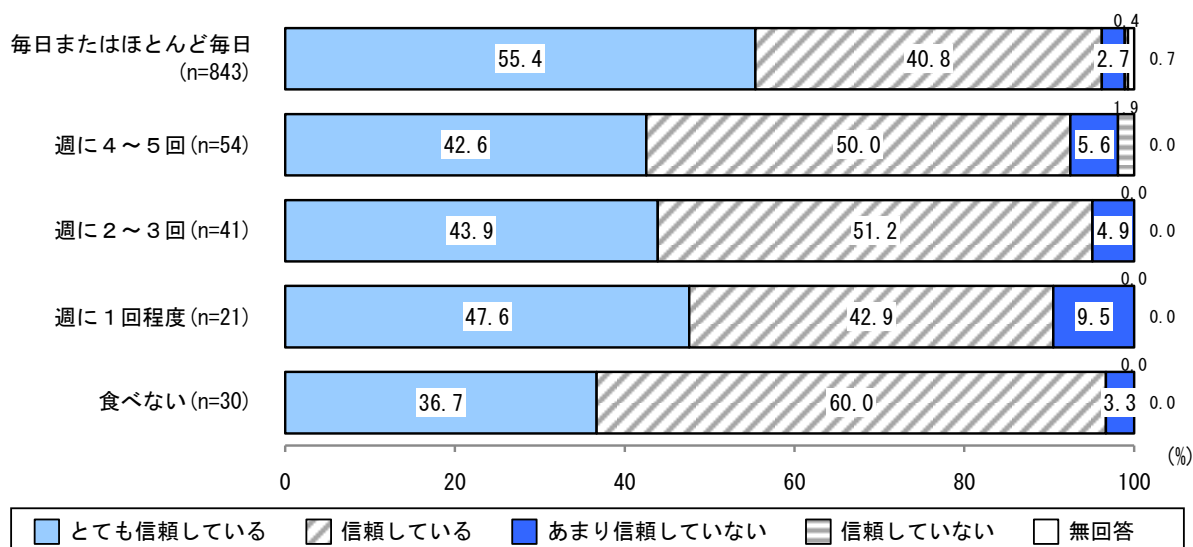
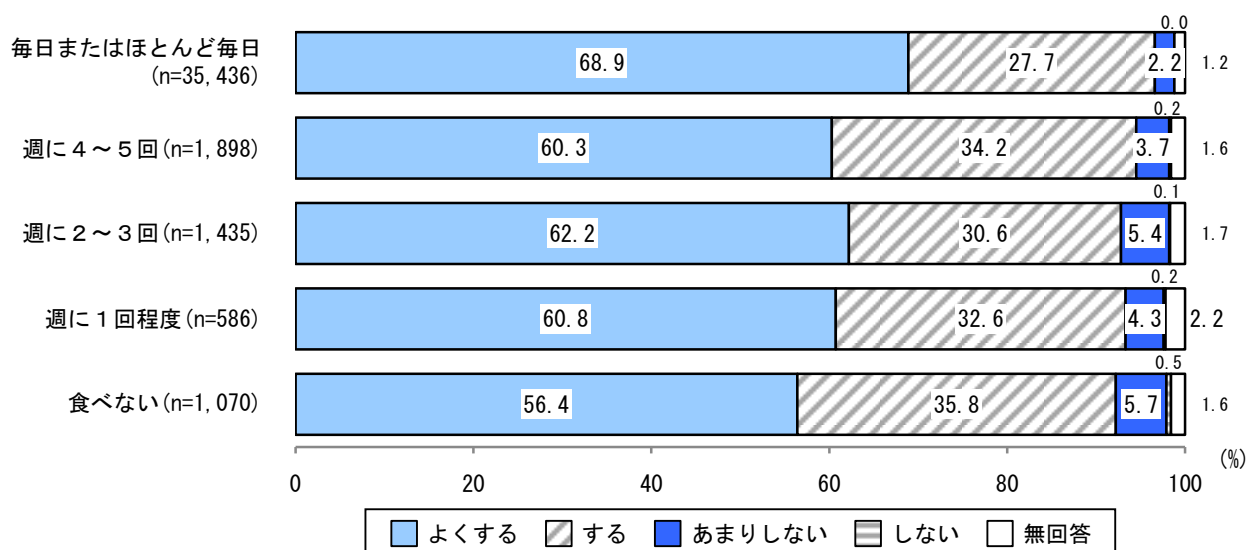


図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度

朝食の頻度別に子どもへの信頼度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とても信頼している」と回答した割合が55.4%であるのに対し、「食べない」と回答した人では36.7%と低い。

朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (2)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

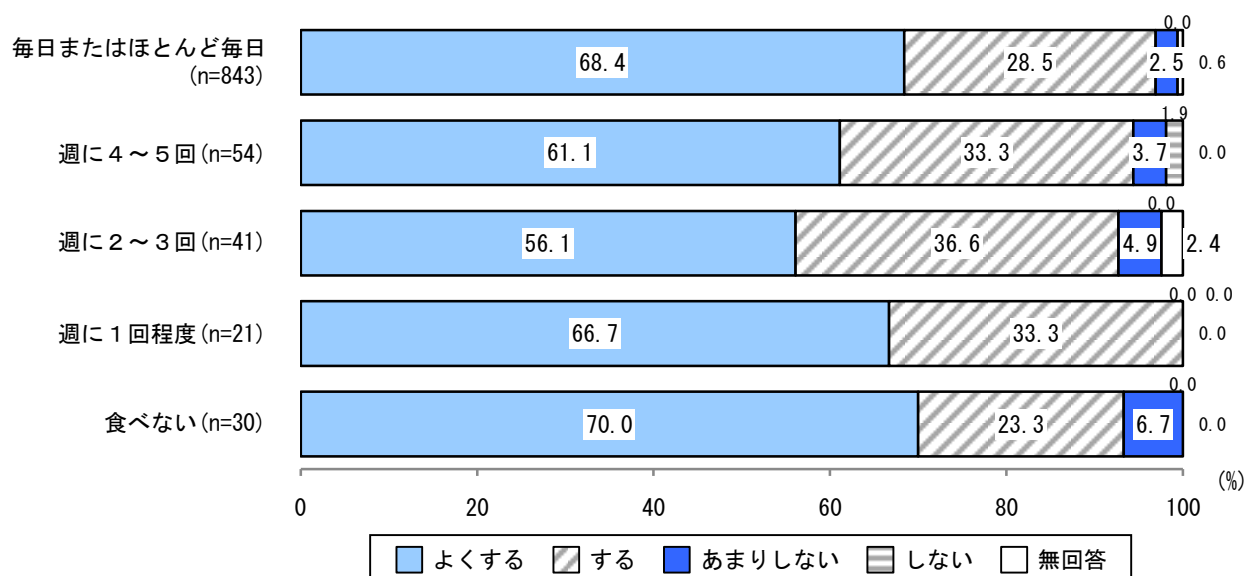
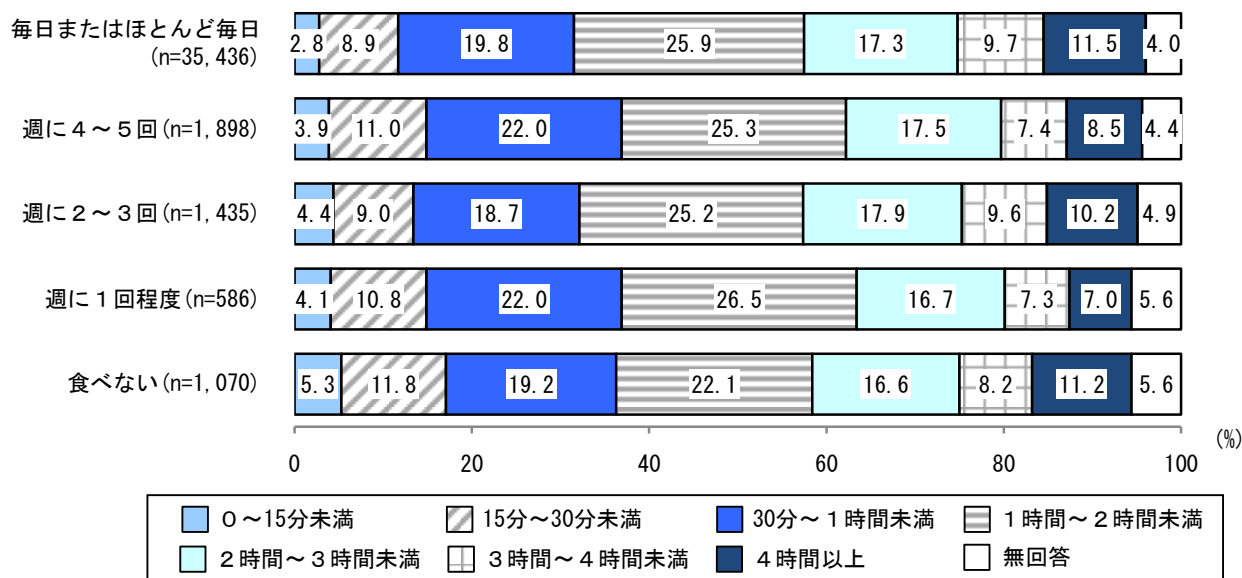


図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度

朝食の頻度別に子どもとの会話頻度を見ると、「食べない」と回答した人は、会話を「よくする」と回答した割合が70.0%で最も高く、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べる人よりも会話頻度が多くなっている。「週に 2～3 回」と回答した人は、「よくする」と回答した人の割合が56.1%で最も低くなっている。

朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

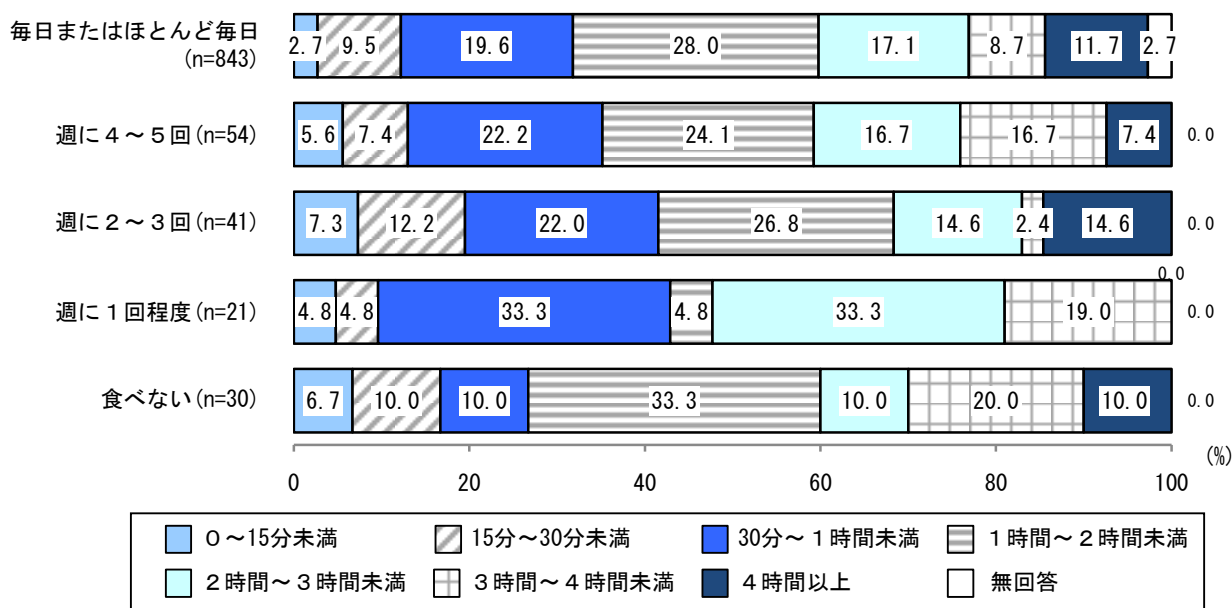
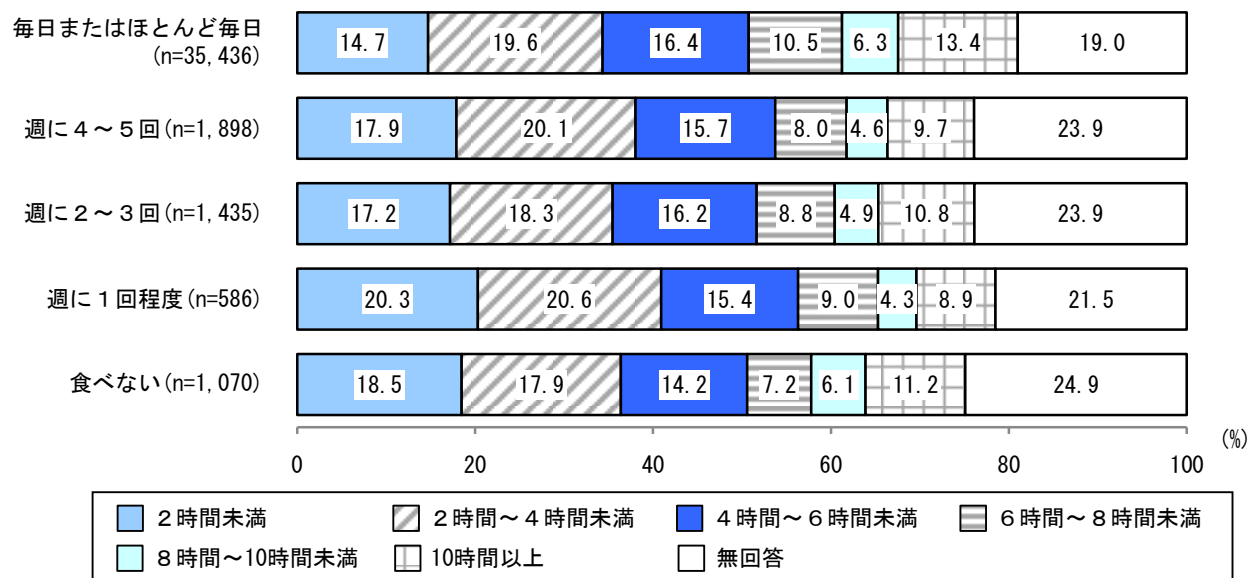


図 63. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、朝食を食べる頻度が「週に1回程度」の人は、他よりも平日に子どもと関わる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

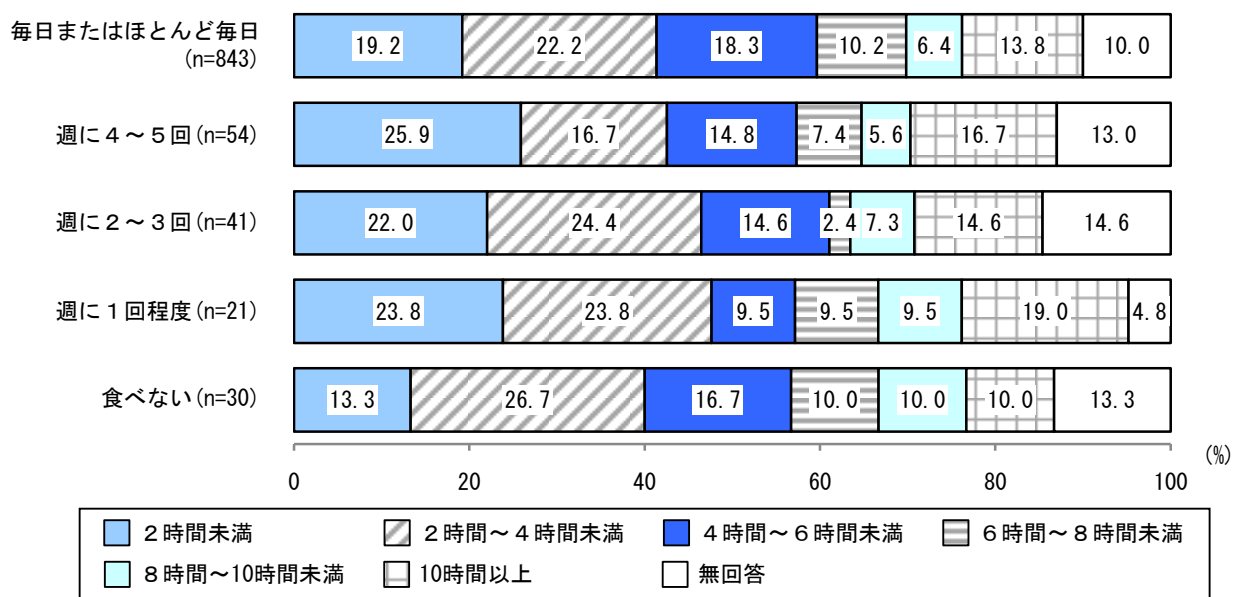
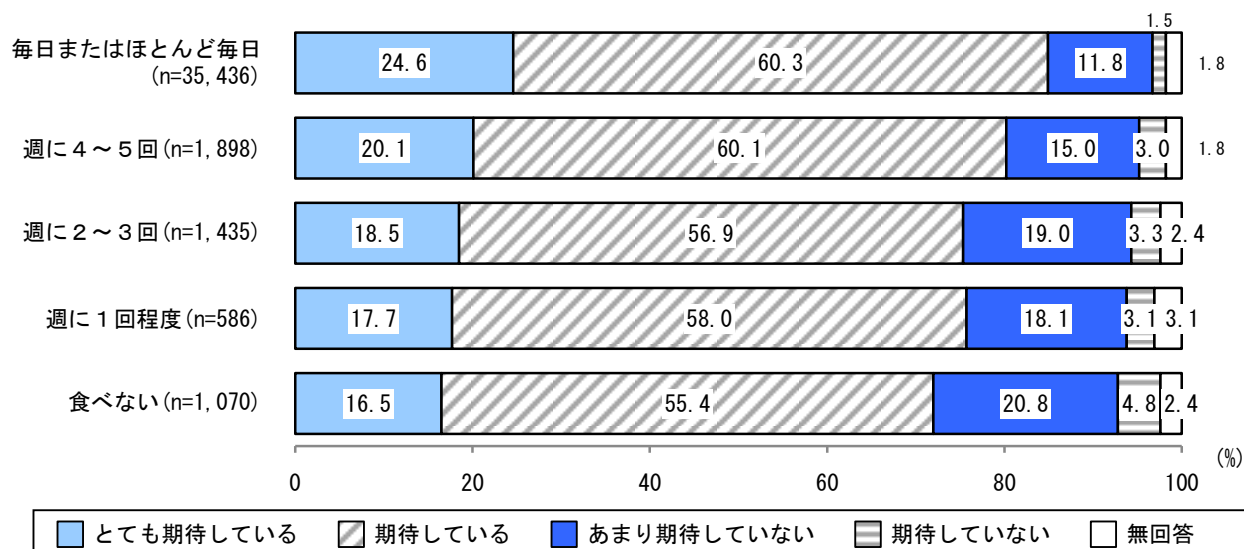


図 64. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、朝食を「食べない」人よりも、食べる人のほうが、休日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (4)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

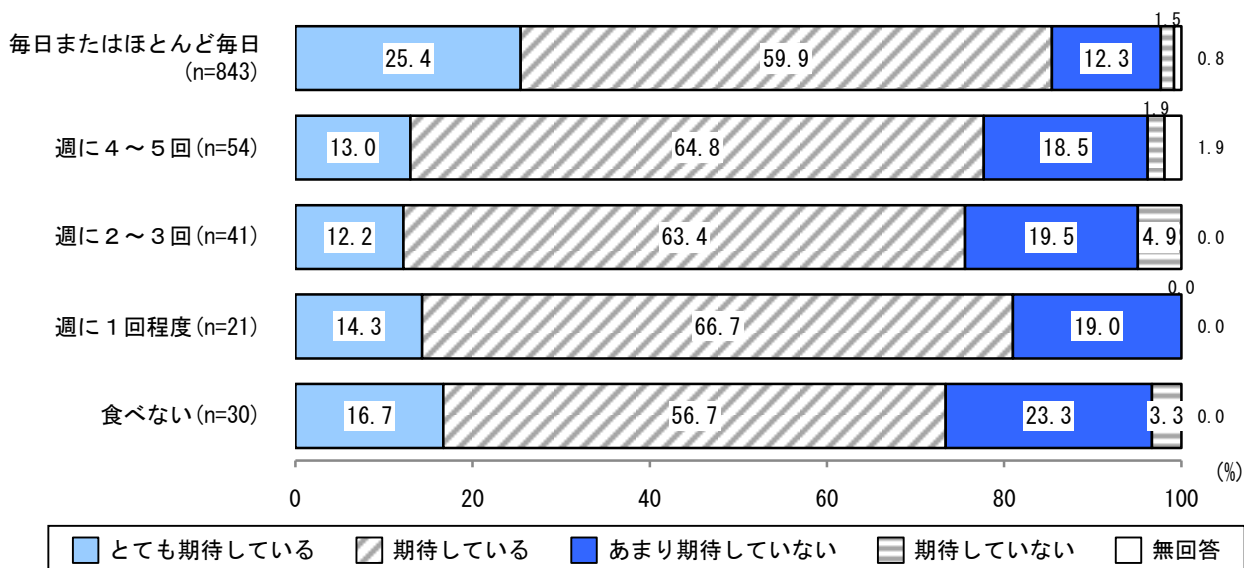


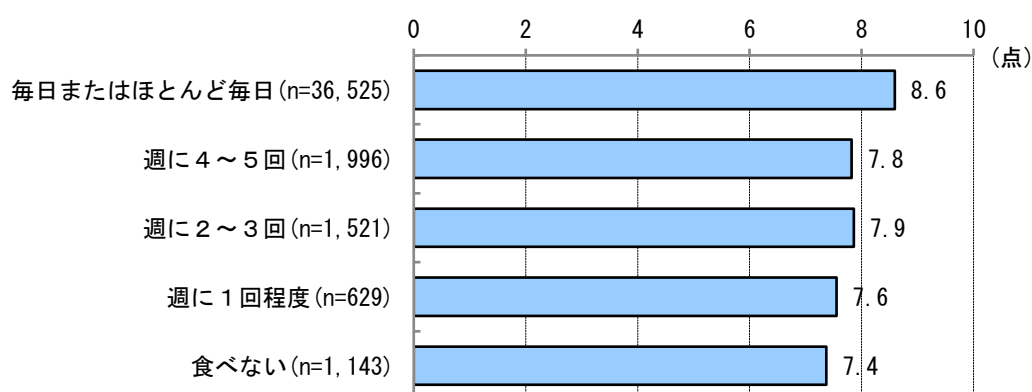
図 65. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度

朝食の頻度別に子どもの将来への期待度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、85.3%であるのに対して、「食べない」人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて73.4%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが子どもの将来に対する期待度が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問4（1）×子ども票問23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全体>



<富田林市>

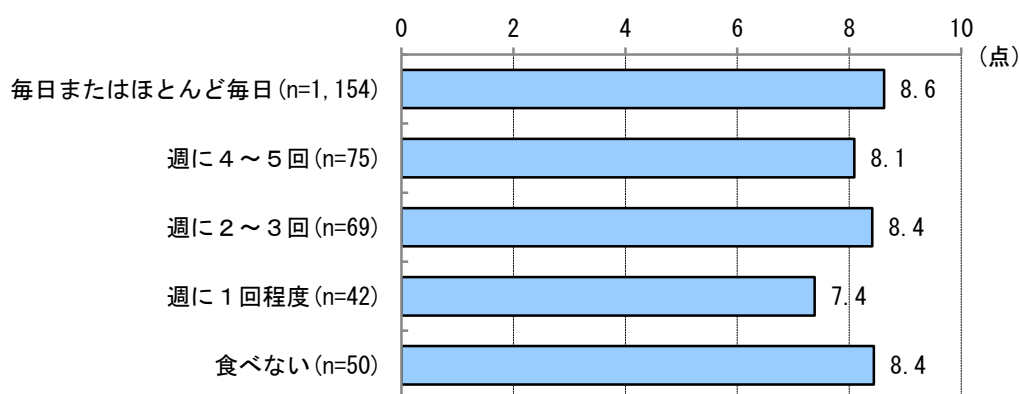
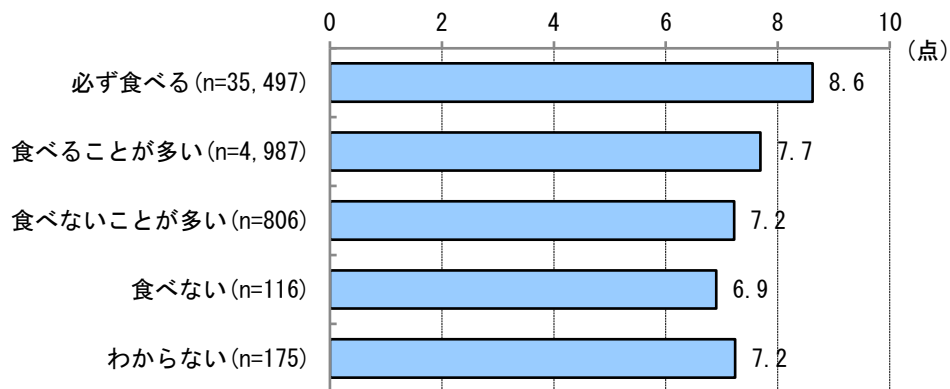


図 66. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、8.6点であるのに対して、「週に1回程度」では7.4点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問6(1)×子ども票問23)

<大阪府内全体>



<富田林市>

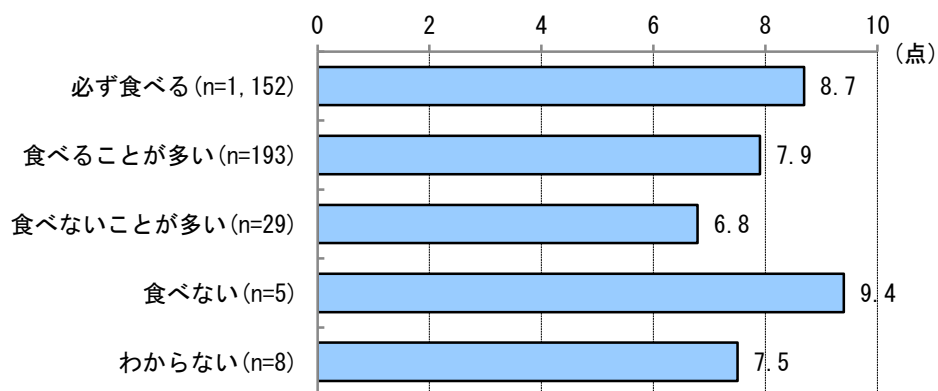
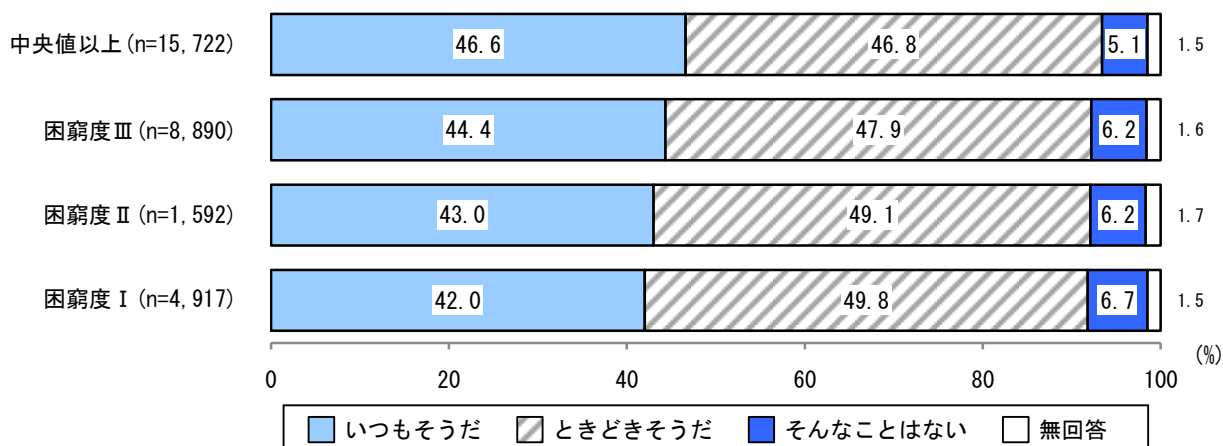


図 67. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「食べない」を除いて、昼食を食べる頻度が多いほど、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある
(子ども票問 19①)

<大阪府内全体>



<富田林市>

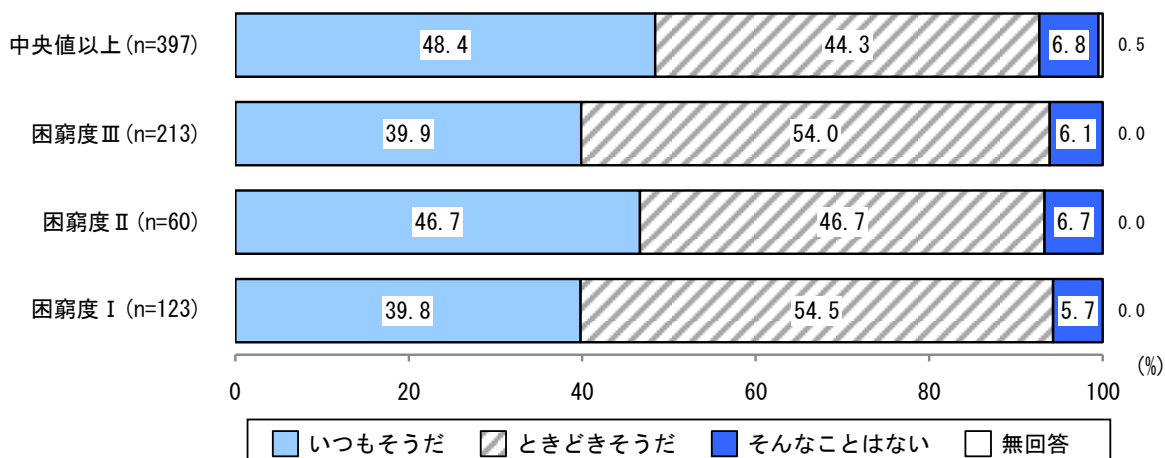
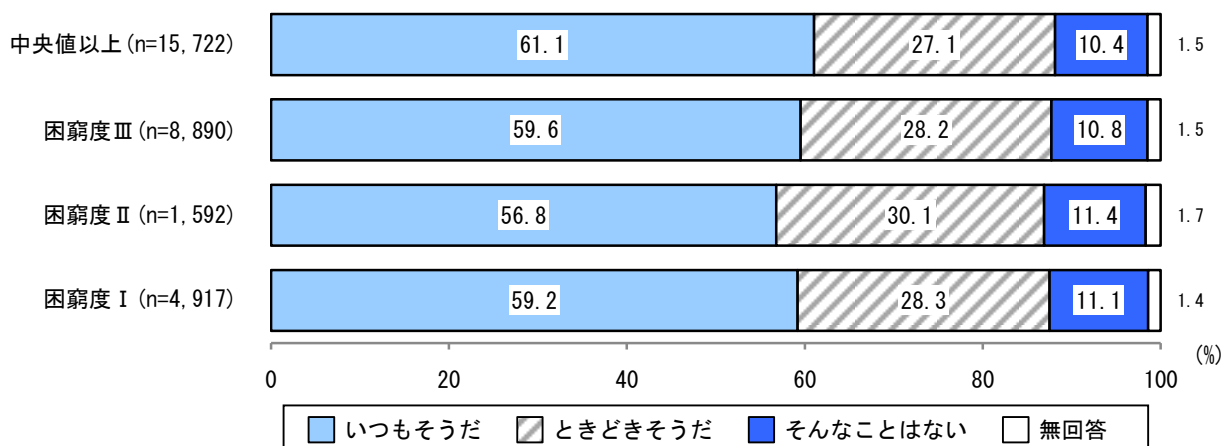


図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は、困窮度Ⅰ群 (39.8%) で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ(子ども票問 19②)

<大阪府内全体>



<富田林市>

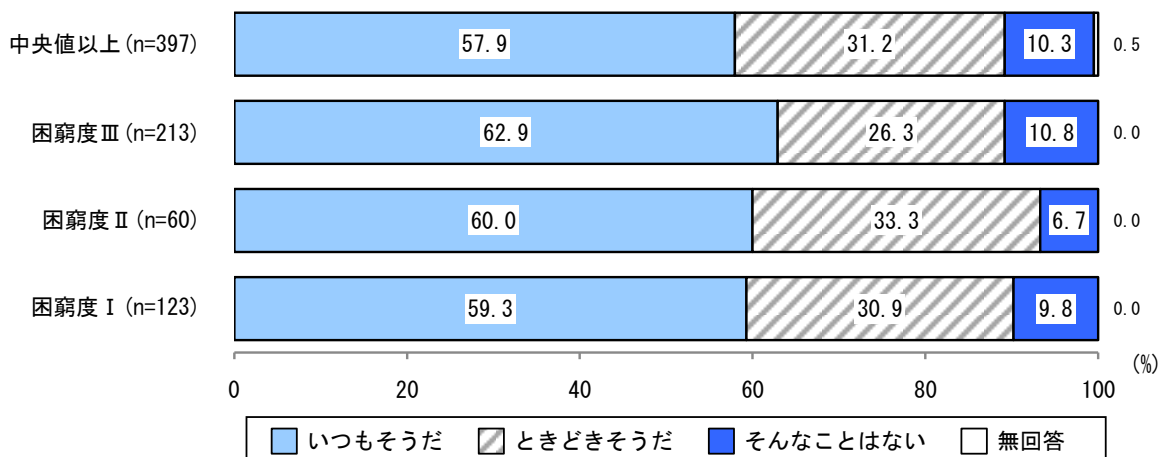
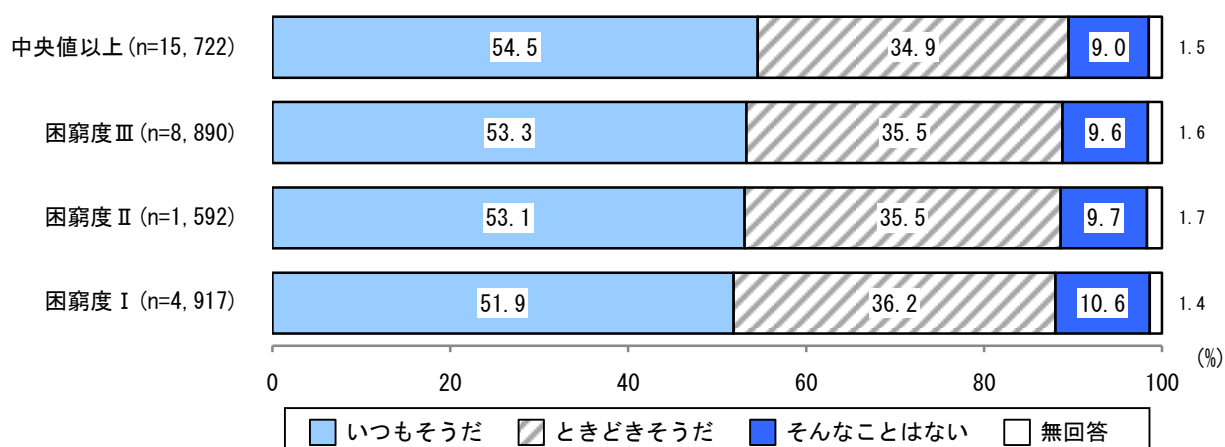


図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は、中央値以上群（57.9%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ（子ども票問 19③）

<大阪府内全体>



<富田林市>

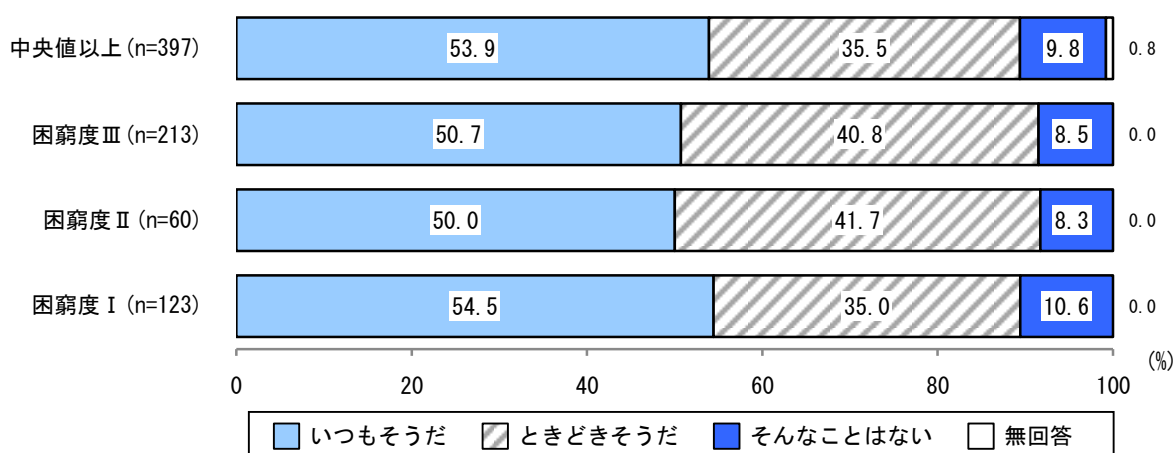
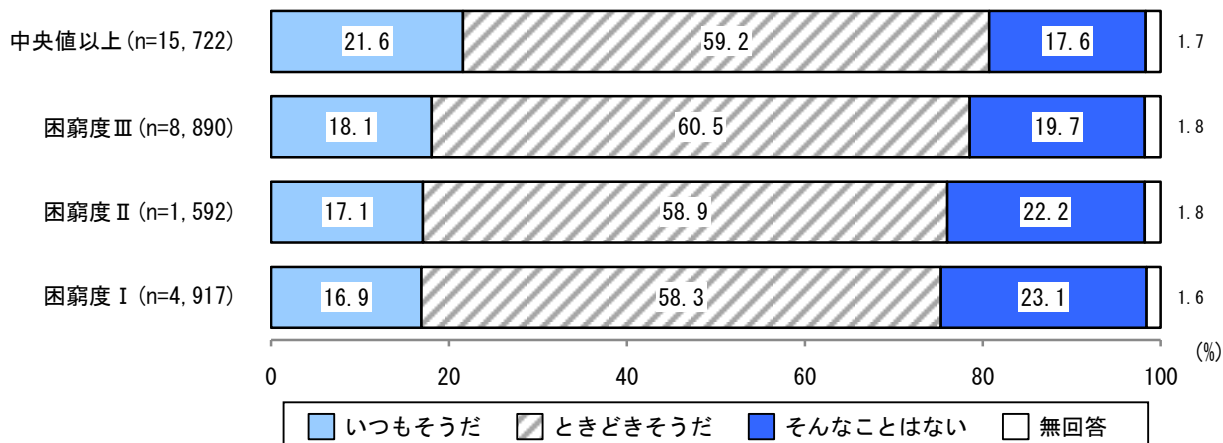


図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぴかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は、困窮度Ⅱ群（50.0%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる
(子ども票問 19④)

<大阪府内全体>



<富田林市>

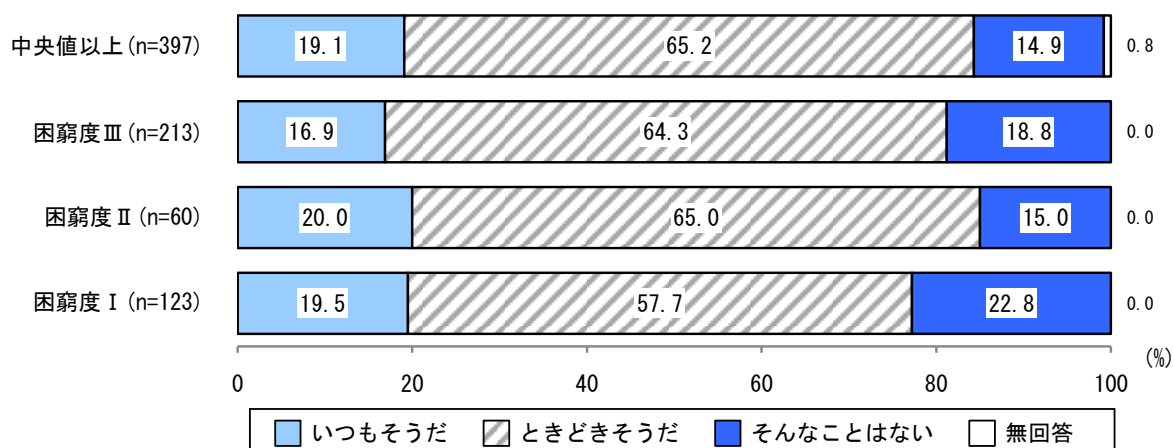
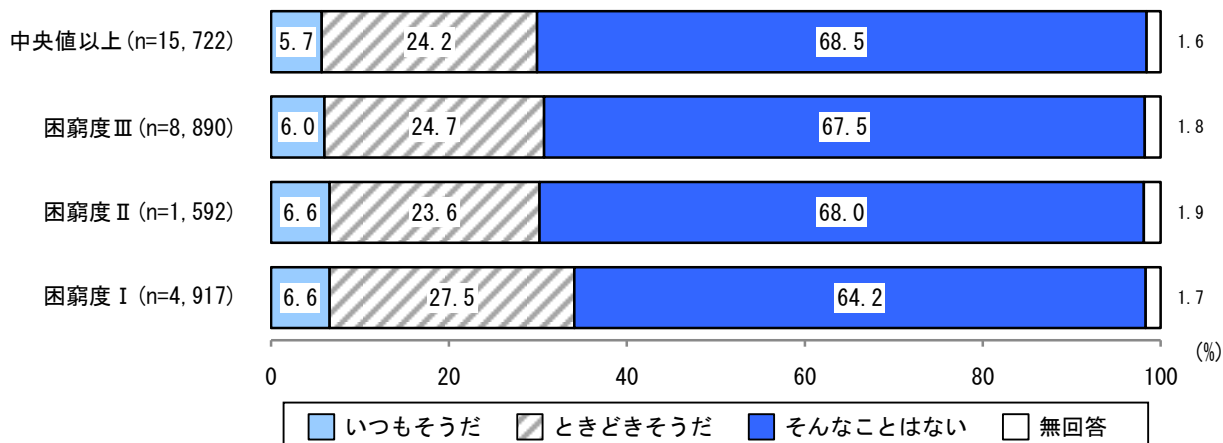


図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるかを見ると、「いつもそうだ」と「ときどきそうだ」を合わせた割合は、困窮度Ⅰ群（77.2%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする
(子ども票問 19⑤)

<大阪府内全体>



<富田林市>

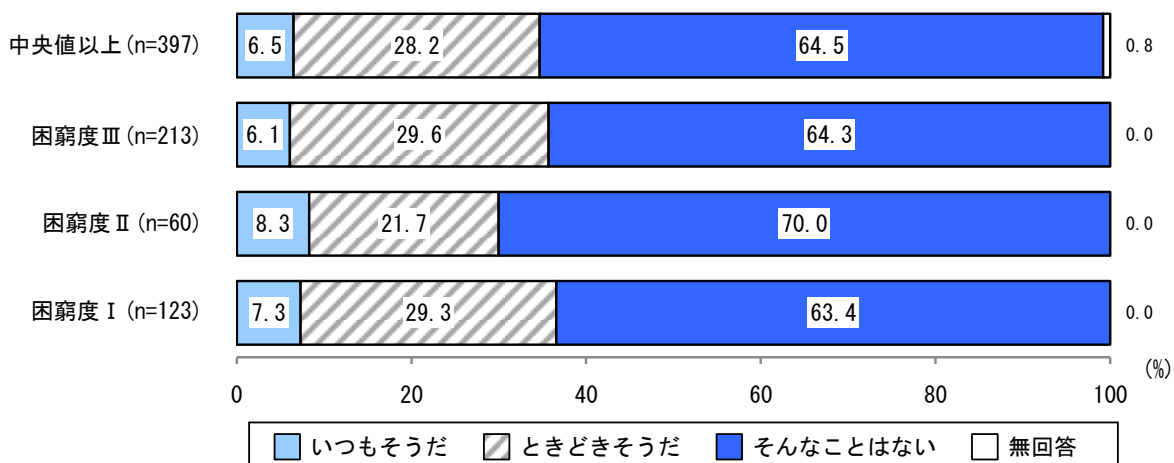
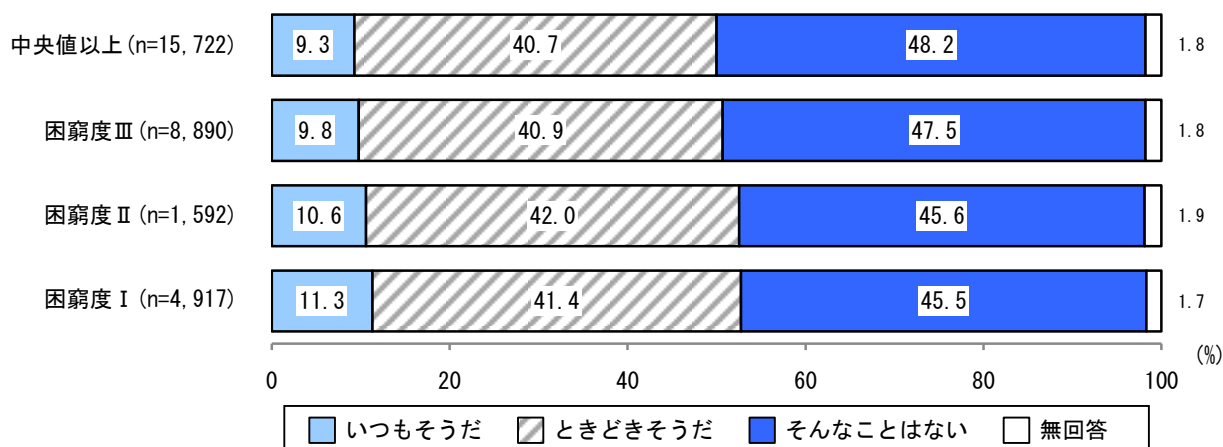


図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（8.3%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる（子ども票問 19⑥）

<大阪府内全体>



<富田林市>

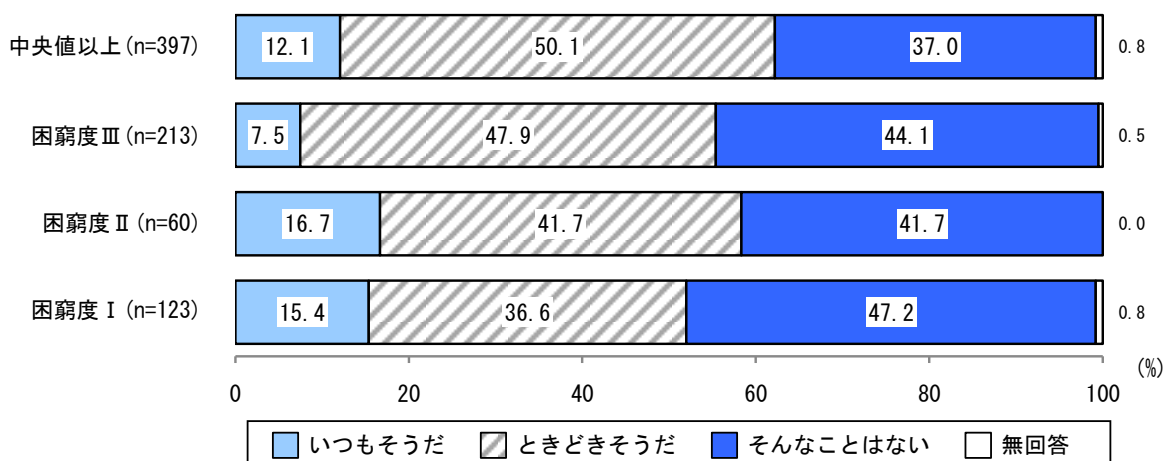
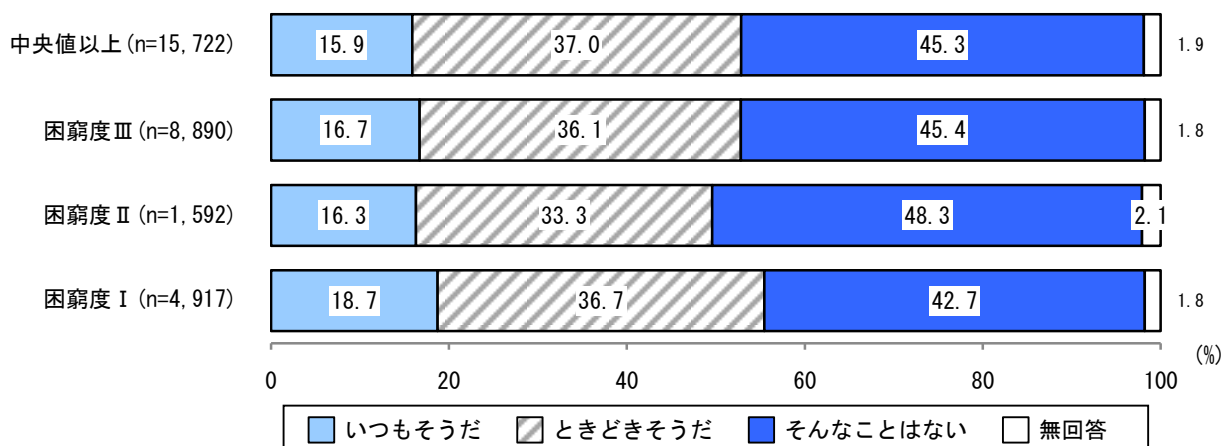


図 73. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（16.7%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる（子ども票問 19⑦）

<大阪府内全体>



<富田林市>

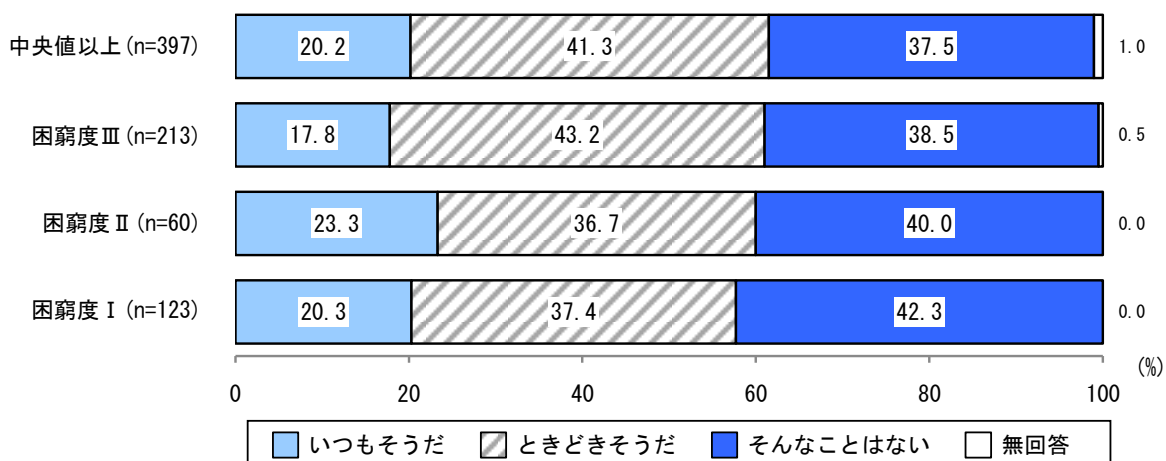
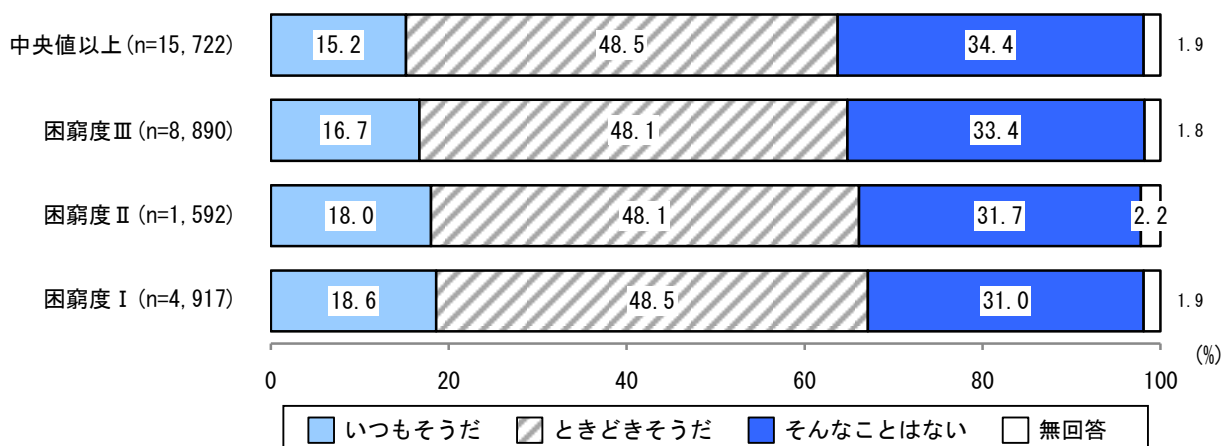


図 74. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（23.3%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない（子ども票問 19⑧）

<大阪府内全体>



<富田林市>

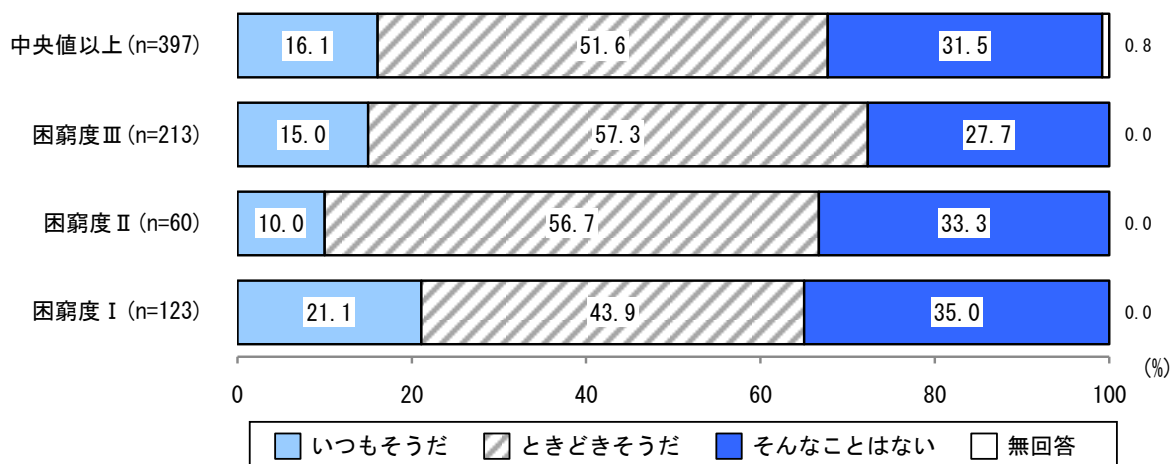
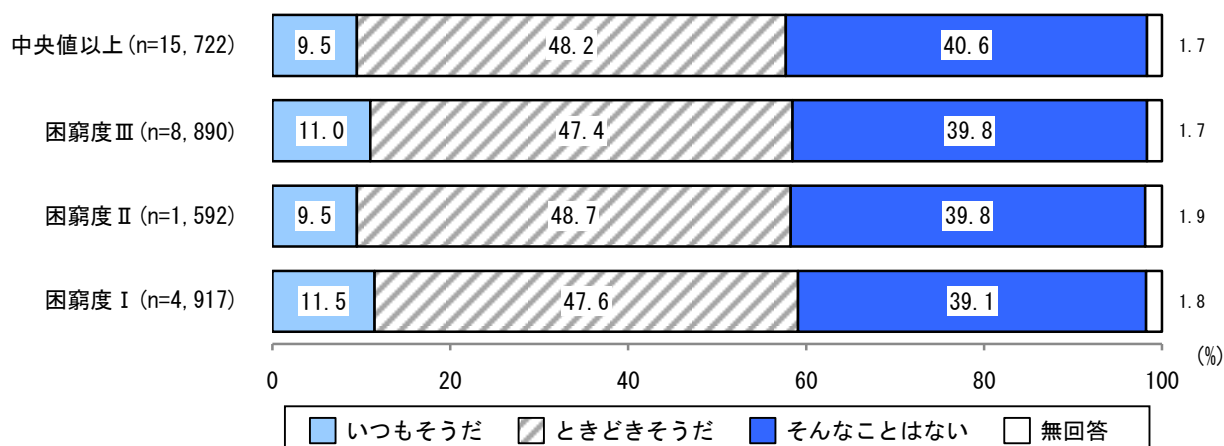


図 75. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（21.1%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする（子ども票問 19⑨）

<大阪府内全体>



<富田林市>

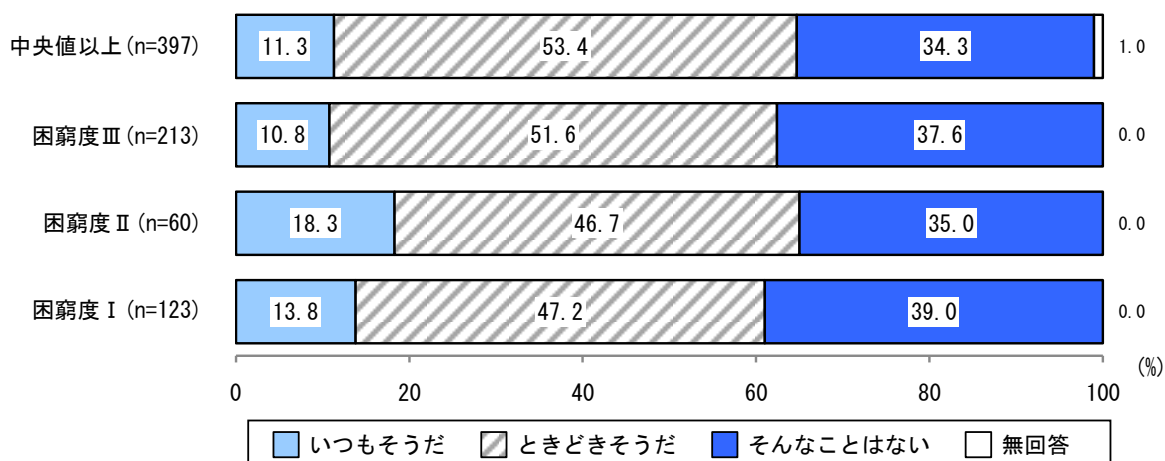
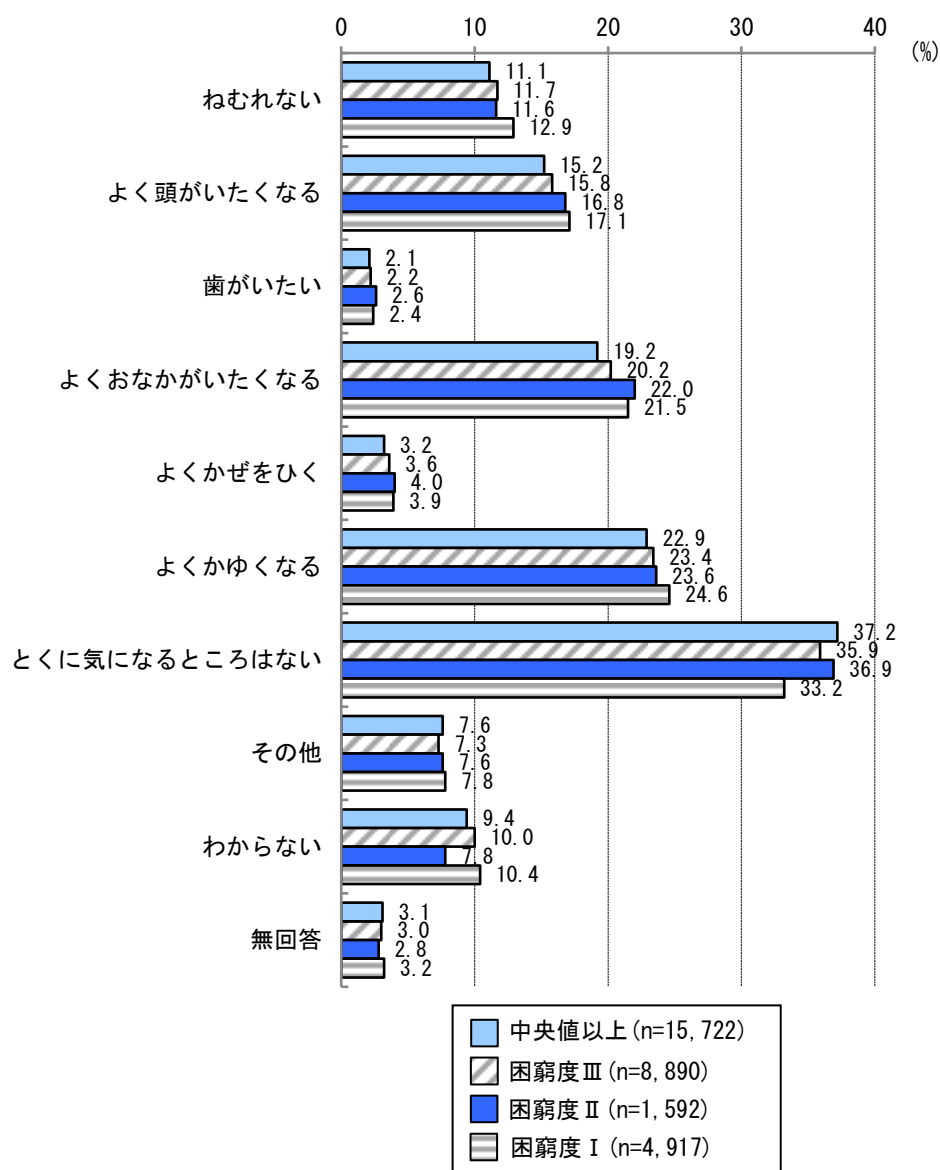


図 76. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（18.3%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること（子ども票問 20）

<大阪府内全体>



<富田林市>

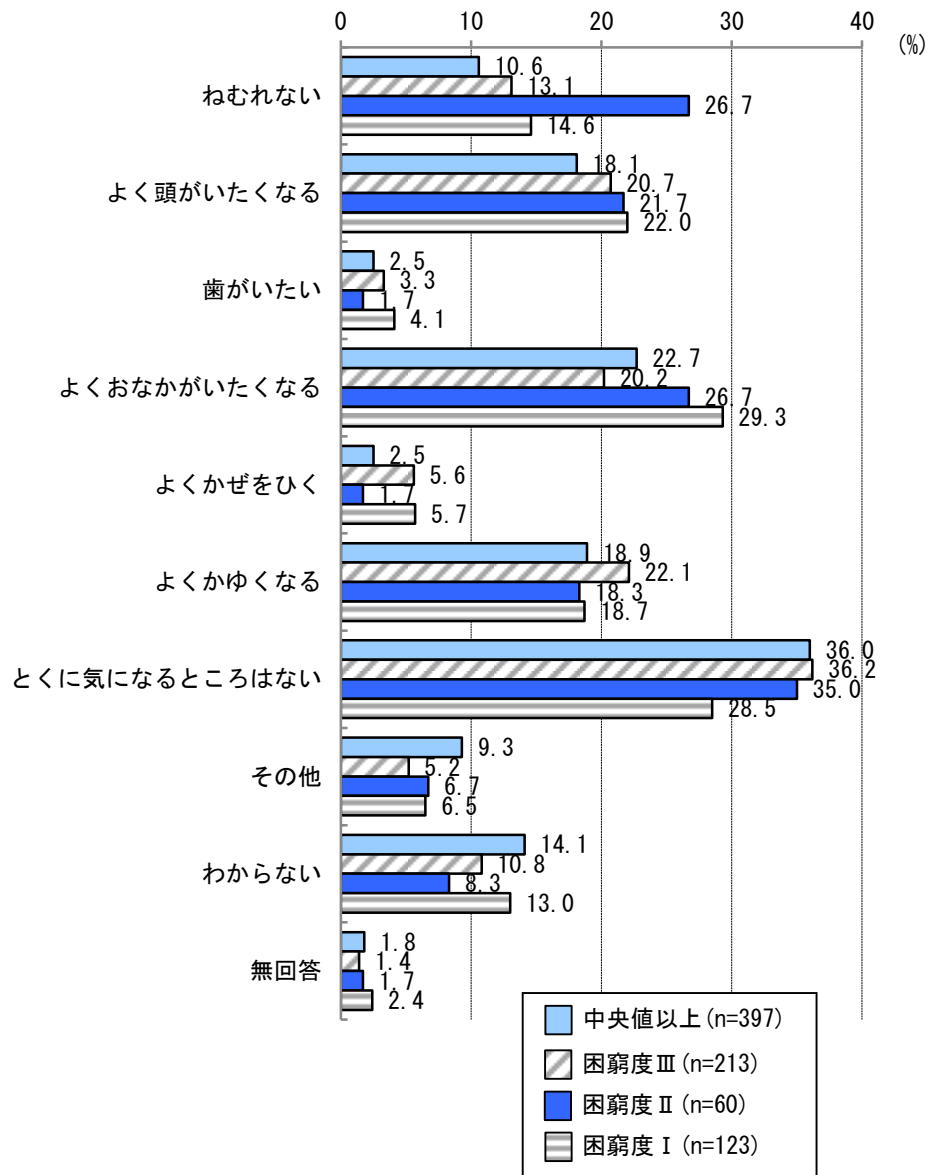
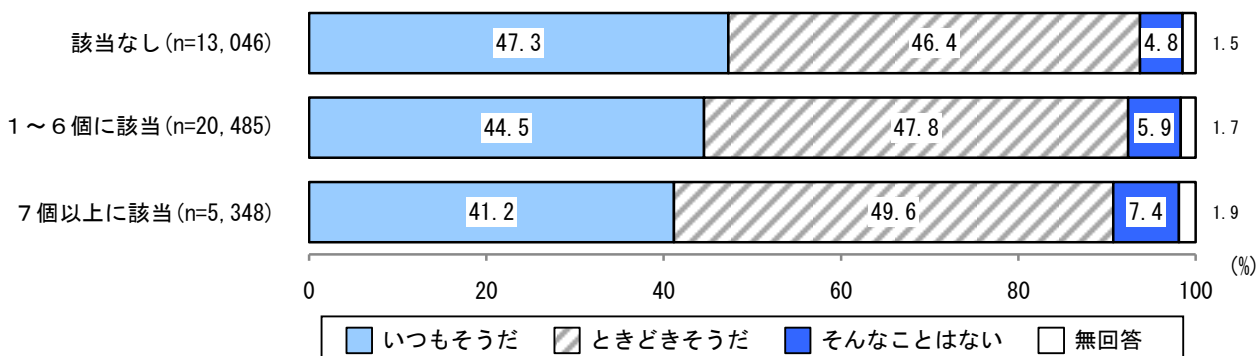


図 77. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること

困窮度別に自分の体の状態で気になることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「よくかぜをひく」5.7%（中央値以上群に対して2.3倍）、「歯がいたい」4.1%（同じく1.6倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある（保護者票問7×子ども票問19①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

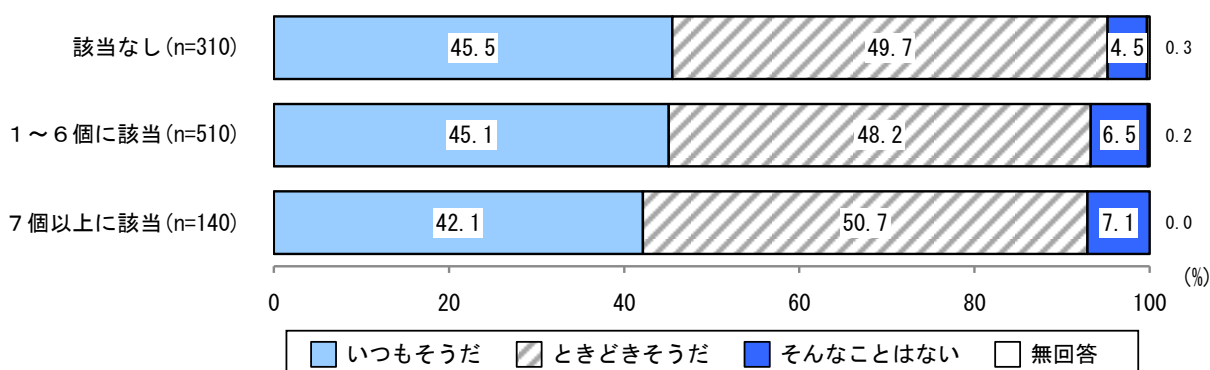
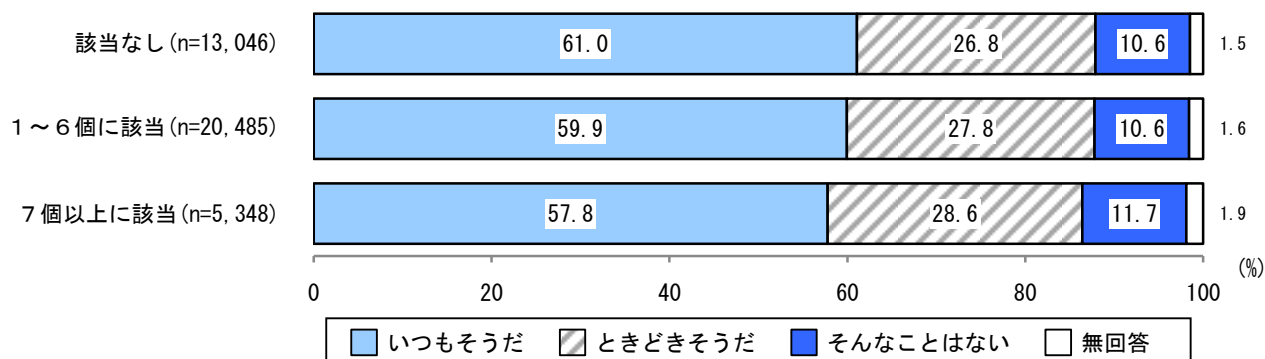


図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
①楽しみにしていることがたくさんある

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」(42.1%)で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ（保護者票問7×子ども票問19②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

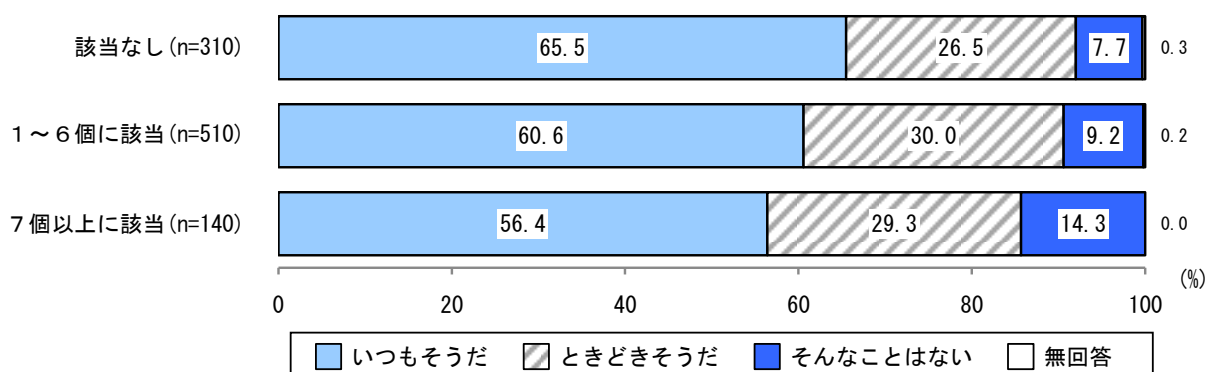
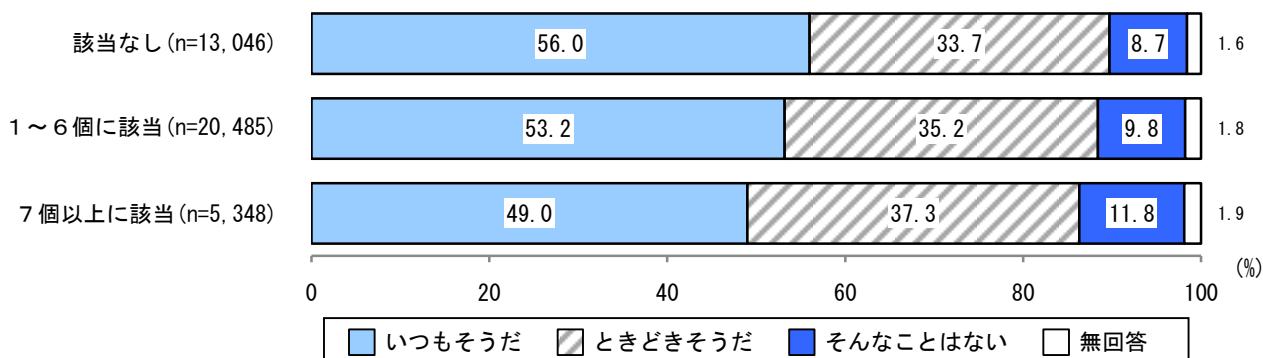


図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
②遊びにでかけるのが好きだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」(56.4%)で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい
(保護者票問7×子ども票問19③)

<大阪府内全体>



<富田林市>

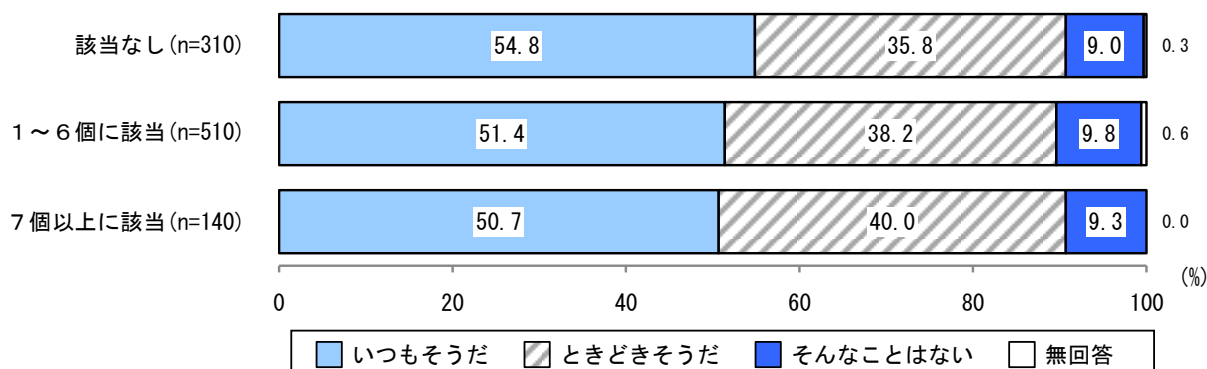
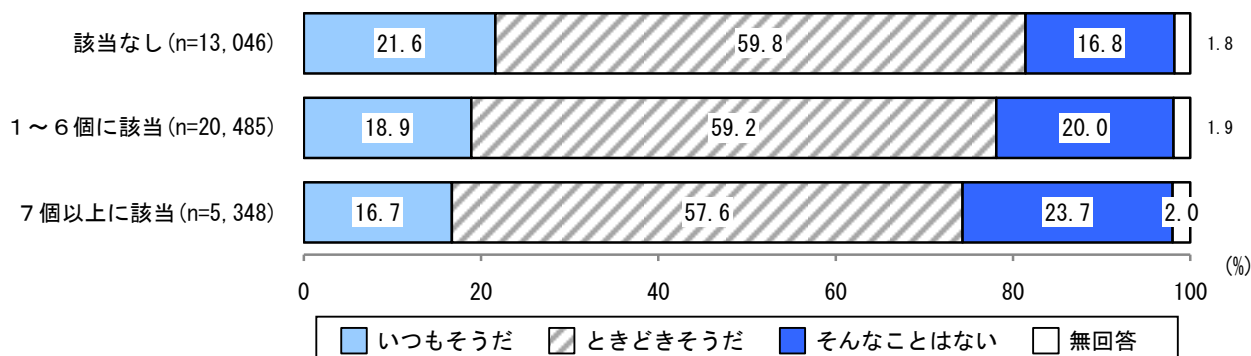


図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は、該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」(50.7%)で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる（保護者票問7×子ども票問19④）

<大阪府内全体>



<富田林市>

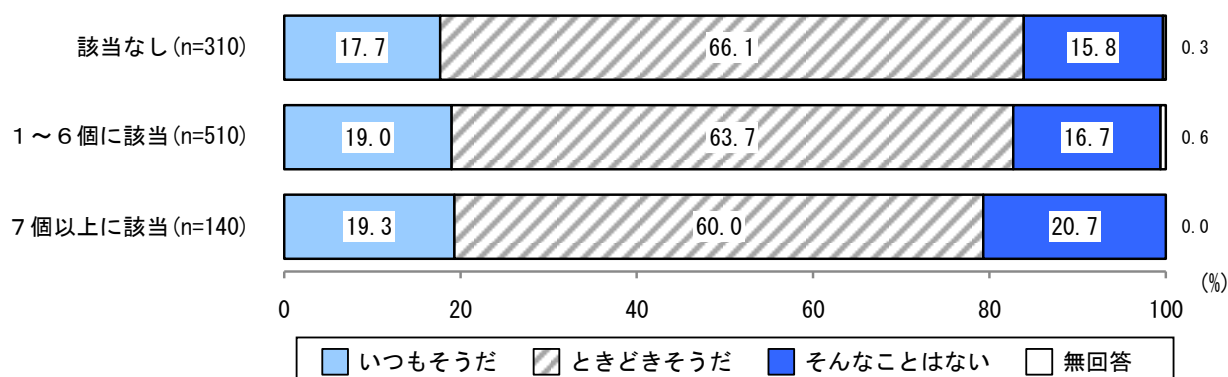
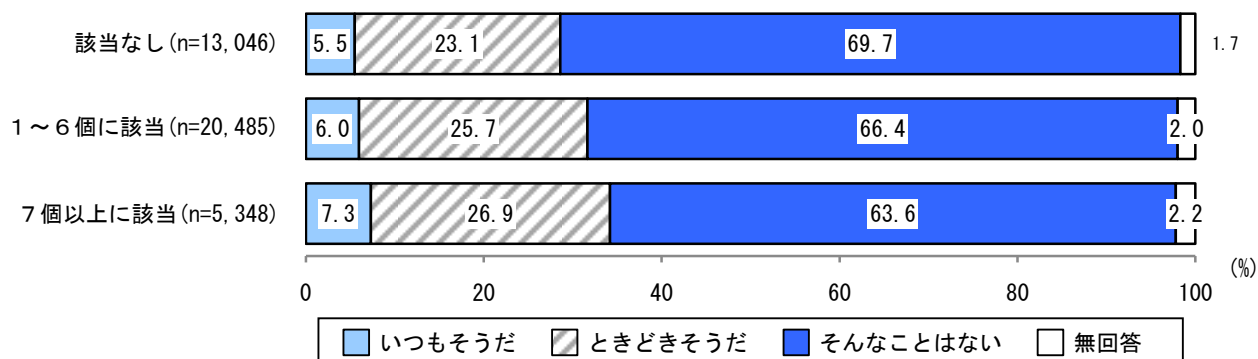


図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
④やろうと思ったことがうまくできる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「該当なし」（17.7％）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする（保護者票問7×子ども票問19⑤）

<大阪府内全体>



<富田林市>

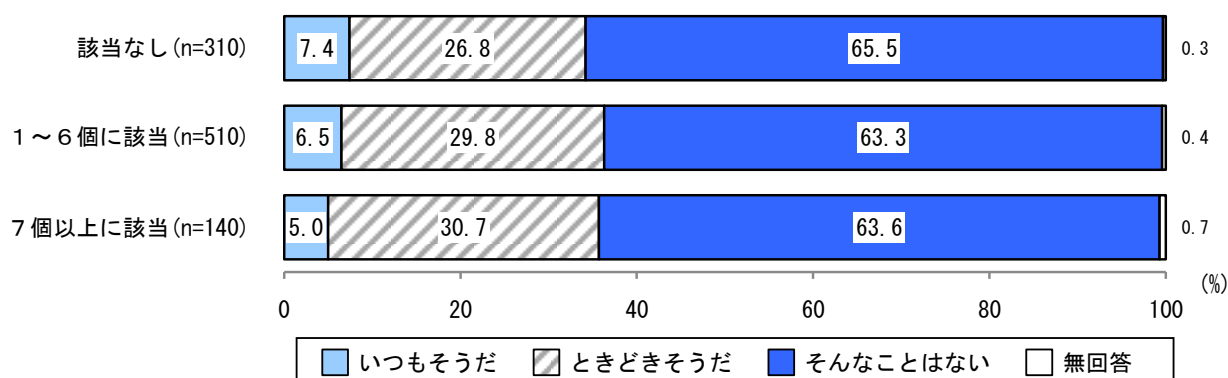
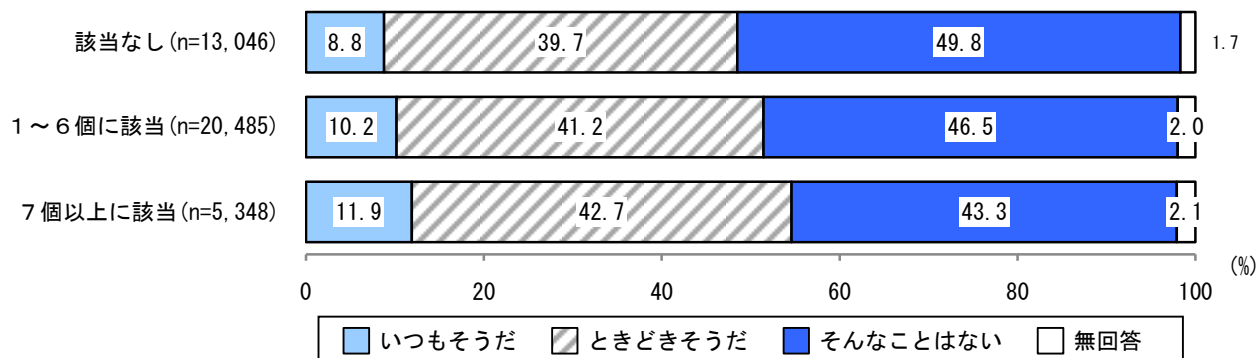


図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑤一人ぼっちのような気がする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「該当なし」（7.4％）で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑥不安な気持ちになる（保護者票問7×子ども票問19⑥）

<大阪府内全体>



<富田林市>

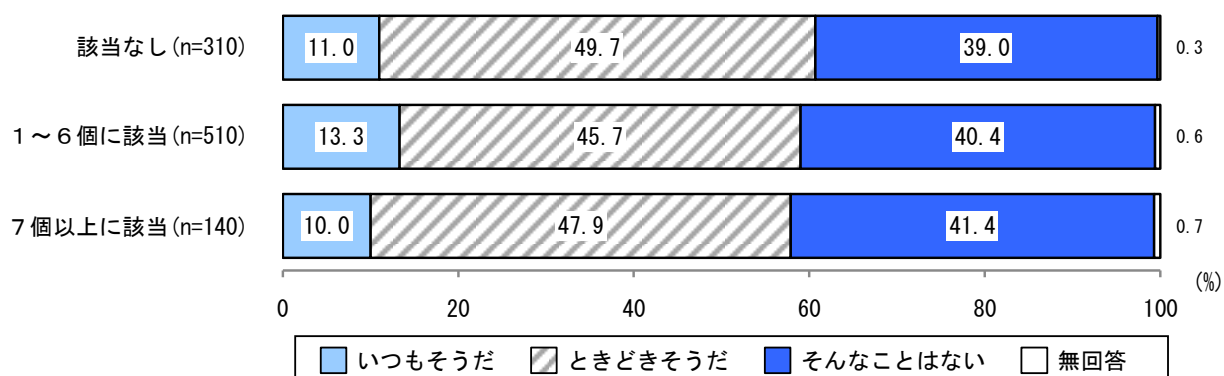
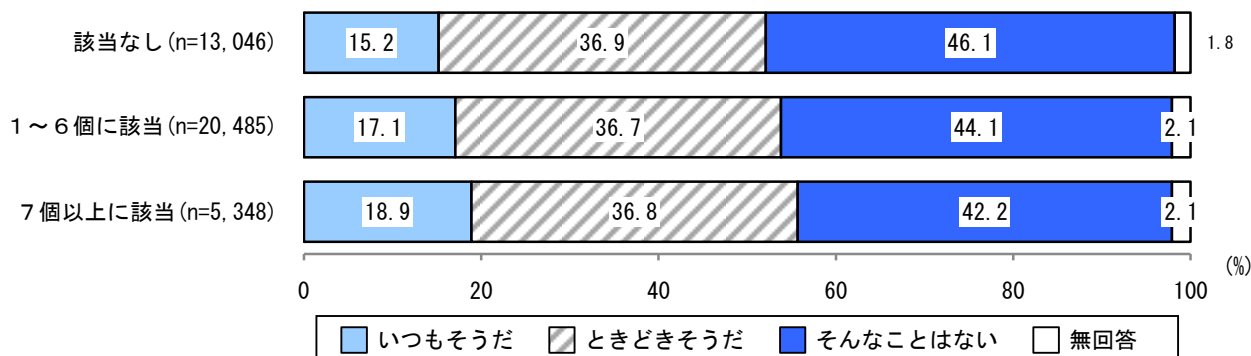


図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるかを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」(13.3%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる
(保護者票問7×子ども票問19⑦)

<大阪府内全体>



<富田林市>

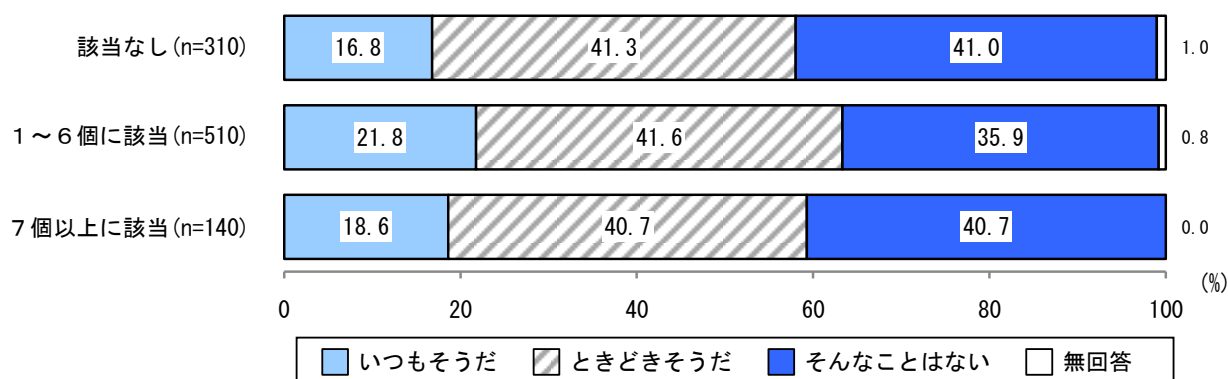
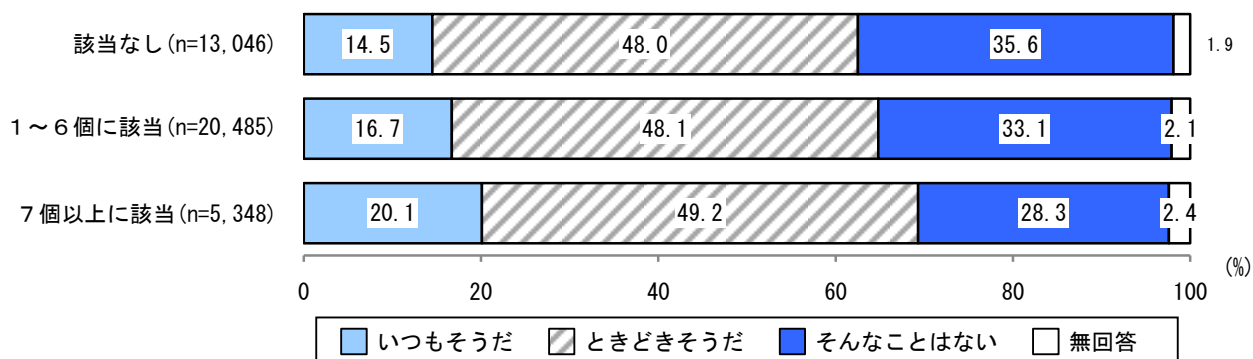


図 84. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」(21.8%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない
(保護者票問7×子ども票問19⑧)

<大阪府内全体>



<富田林市>

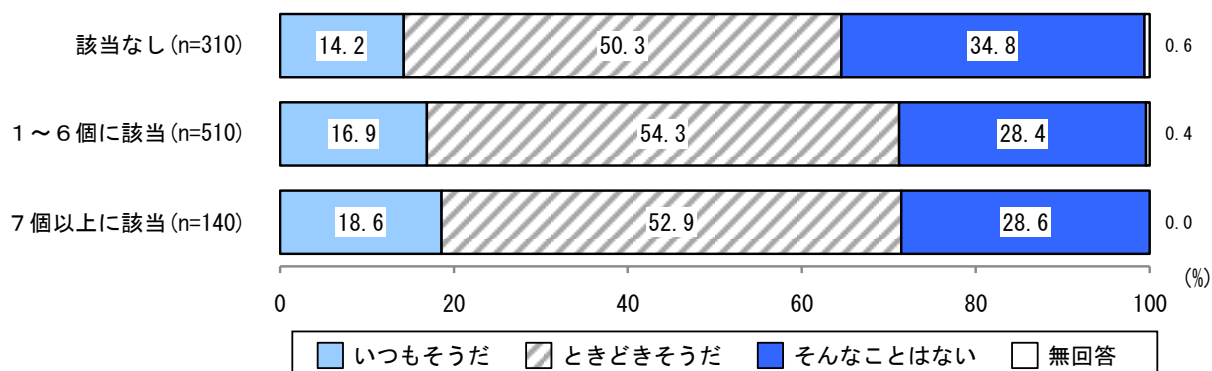
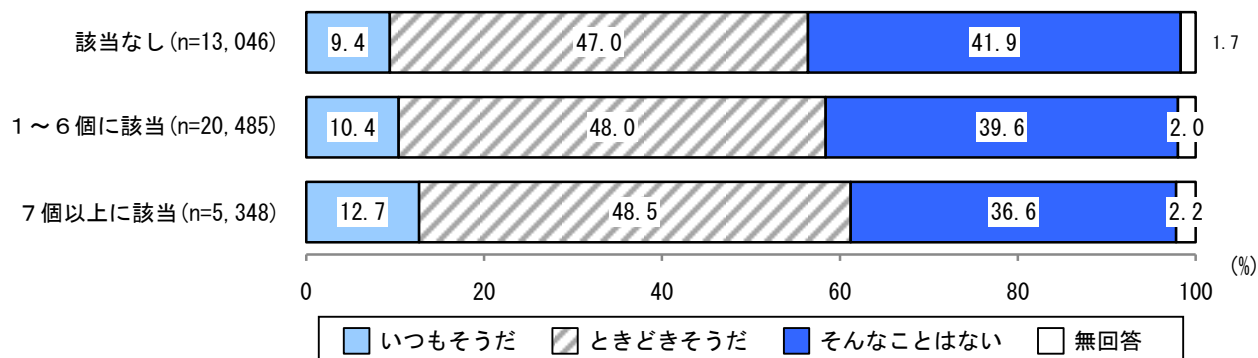


図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「7個以上に該当」(18.6%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする
(保護者票問7×子ども票問19⑨)

<大阪府内全体>



<富田林市>

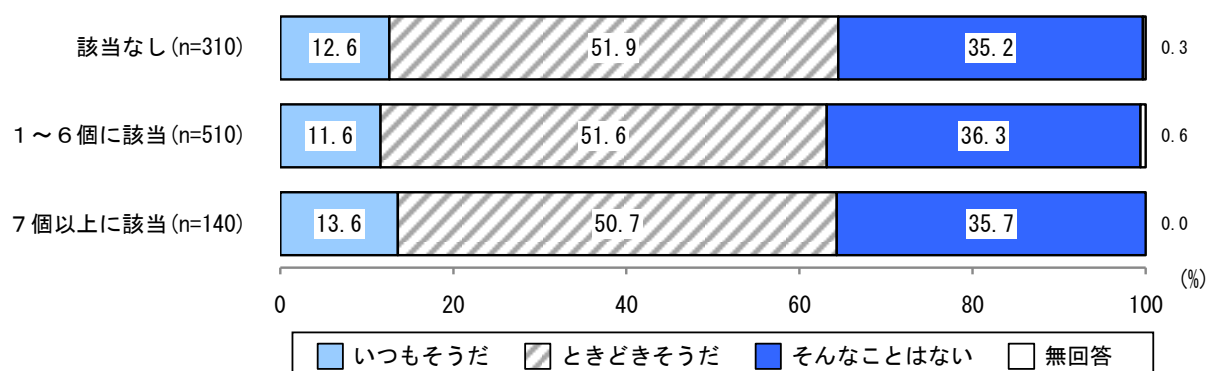
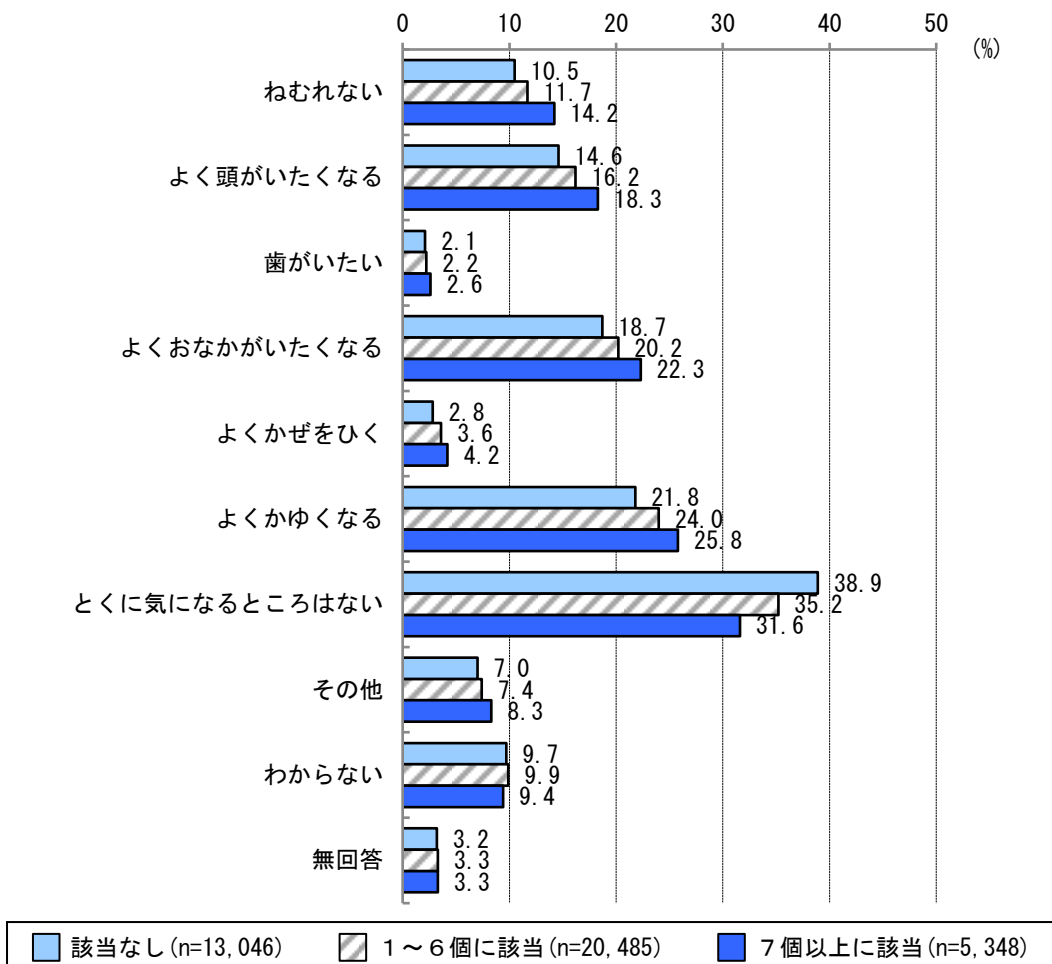


図 86. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」(13.6%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること
(保護者票問7×子ども票問20)

<大阪府内全体>



<富田林市>

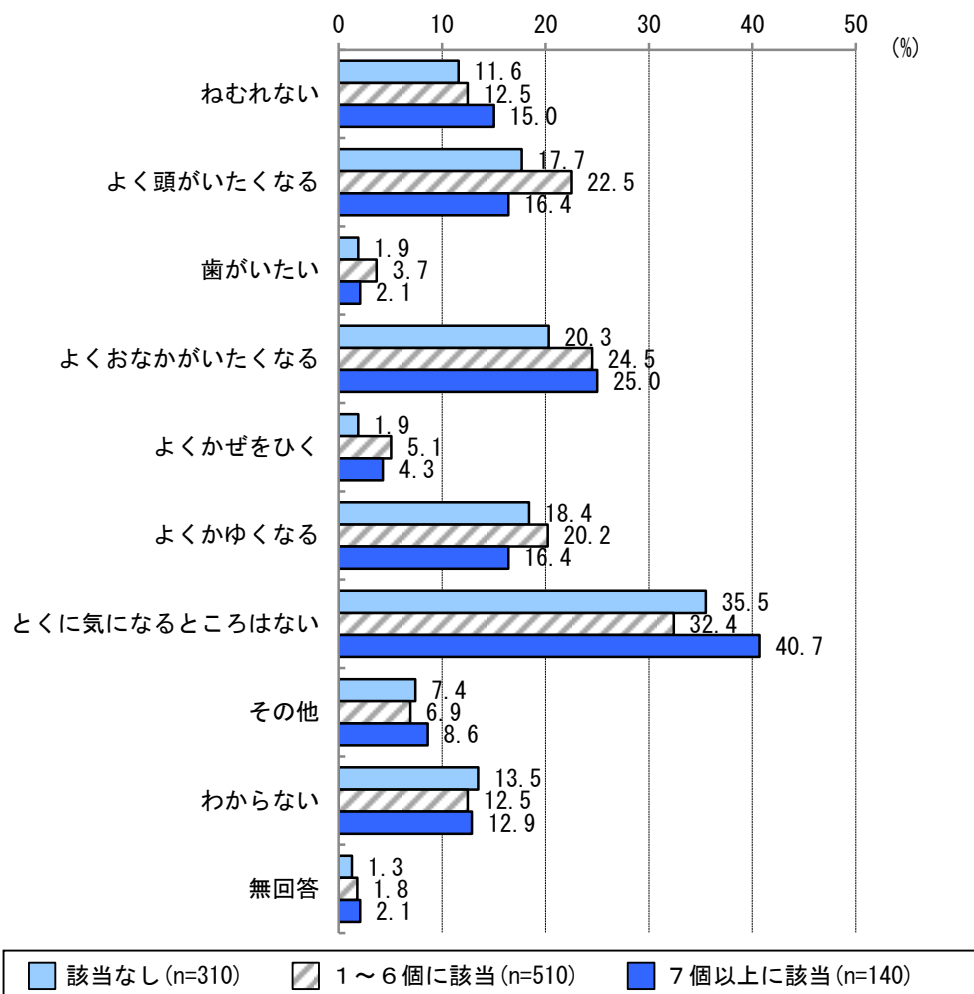
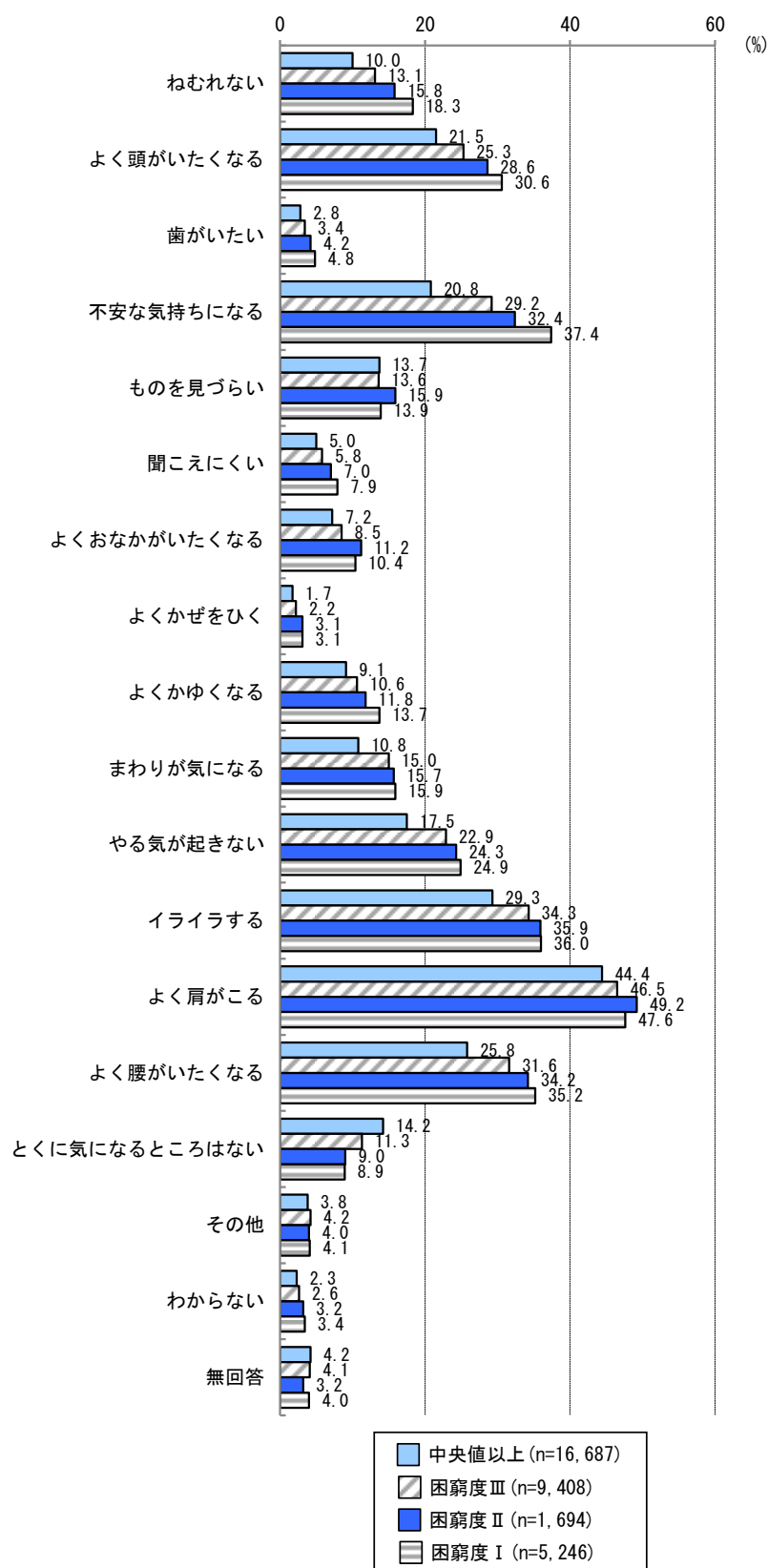


図 87. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体の状態で気になることを見ると、「7個以上に該当」群と「該当なし」群間で差が大きい項目に着目しながら、「7個以上に該当」群の数値を挙げると、「よくかぜをひく」4.3%（「該当なし」群に対して2.3倍）、「ねむれない」15.0%（同じく1.3倍）、「よくおなかがいたくなる」25.0%（同じく1.2倍）となっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<富田林市>

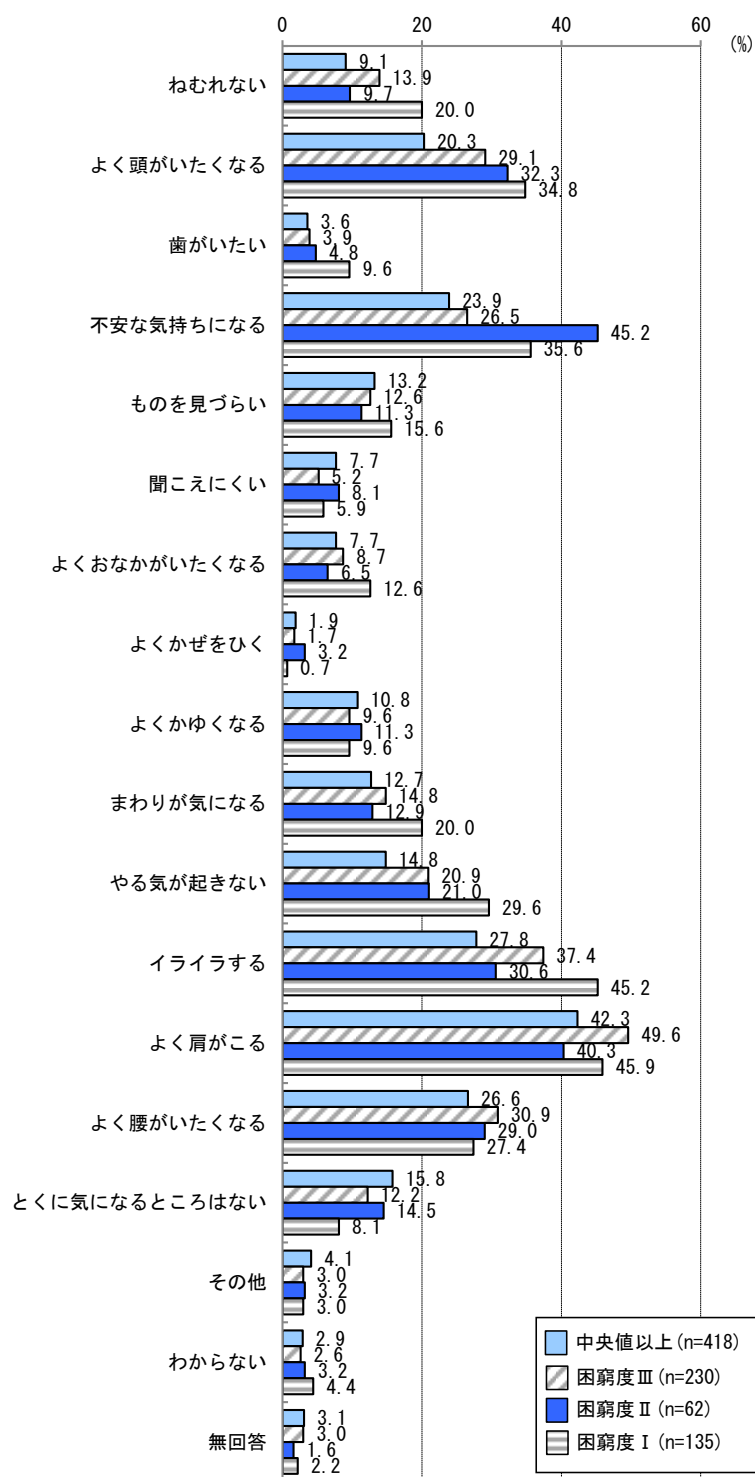
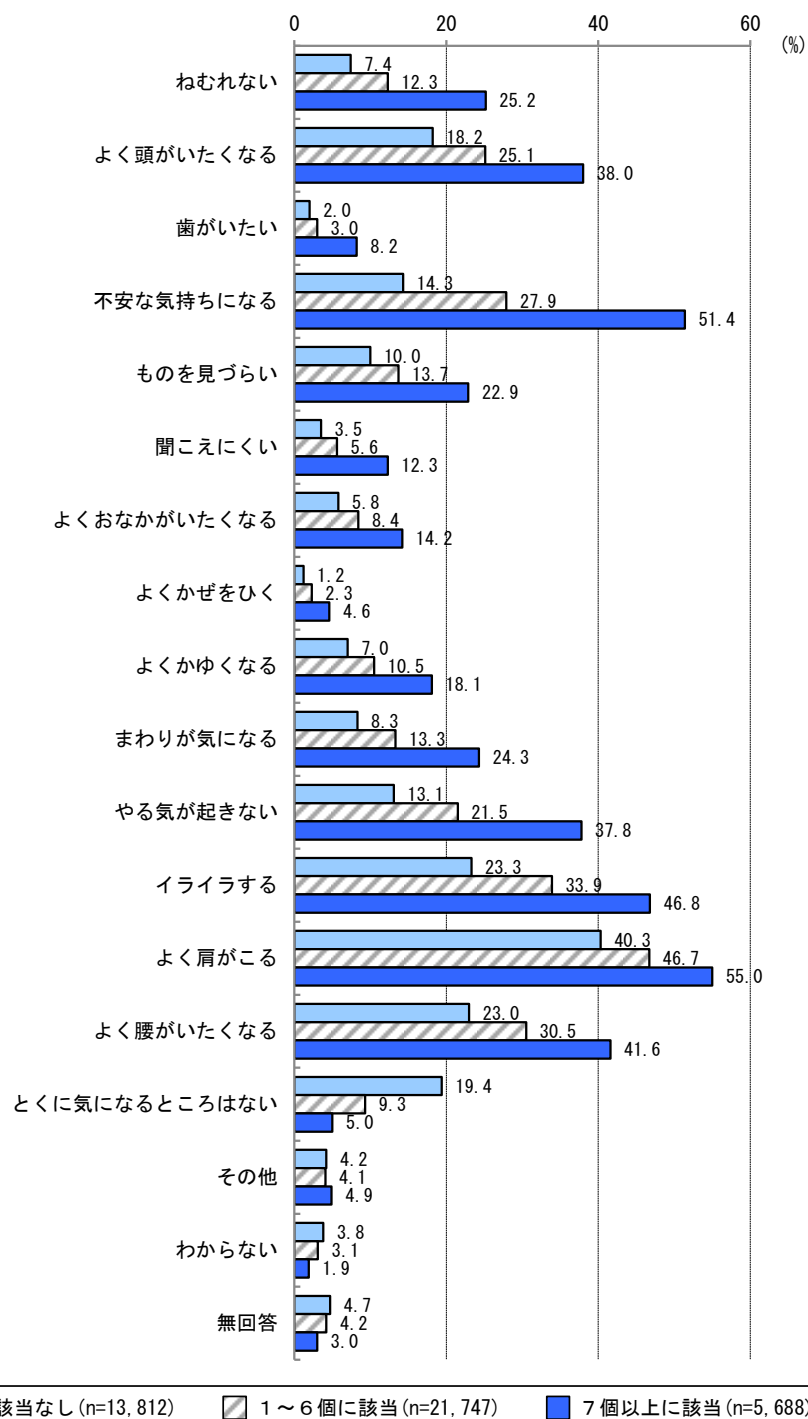


図 88. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、多くの項目において、困窮度が高まるにつれ、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「歯がいたい」9.6%（中央値以上群に対して2.7倍）、「ねむれない」20.0%（同じく2.2倍）、「やる気が起きない」29.6%（同じく2.0倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
(保護者票問 7 × 保護者票問 22)

<大阪府内全体>



<富田林市>

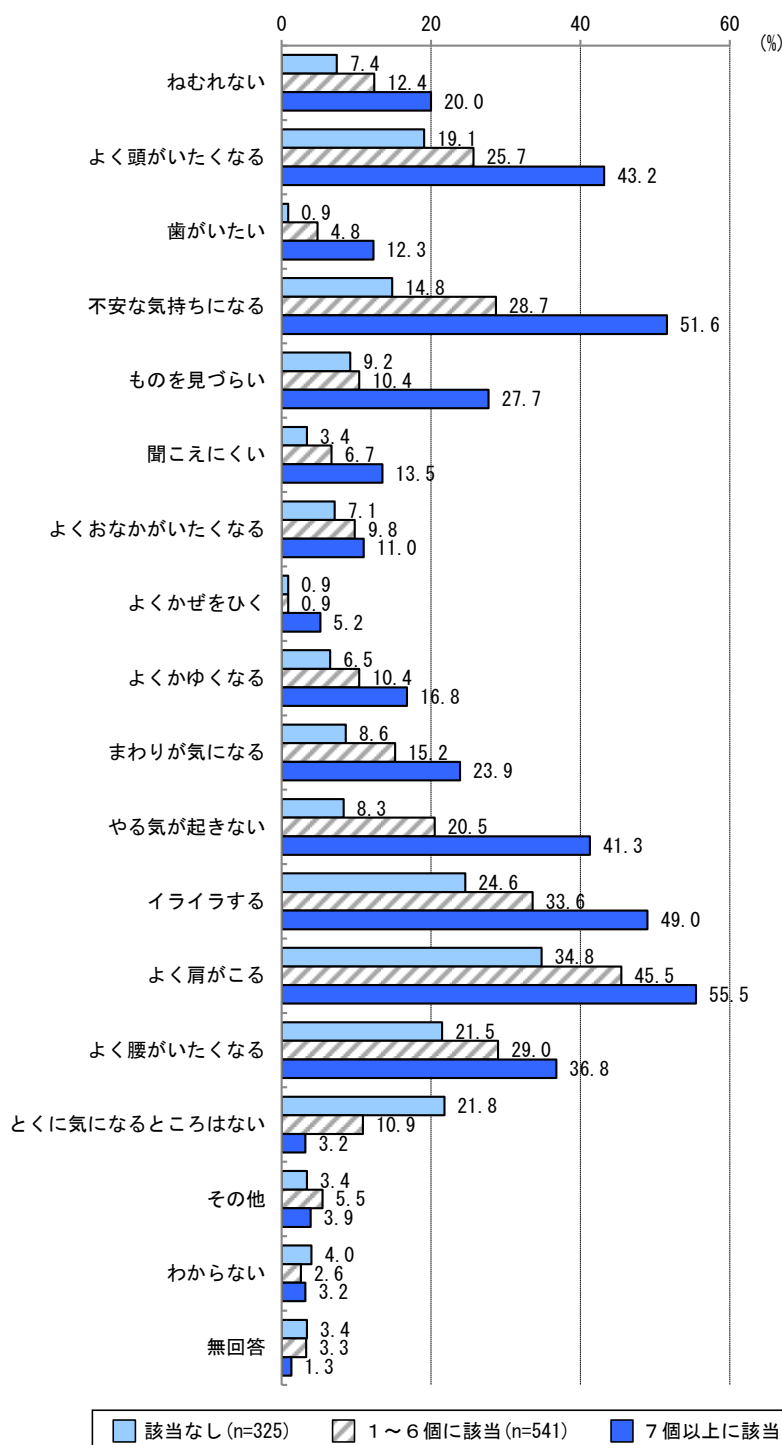
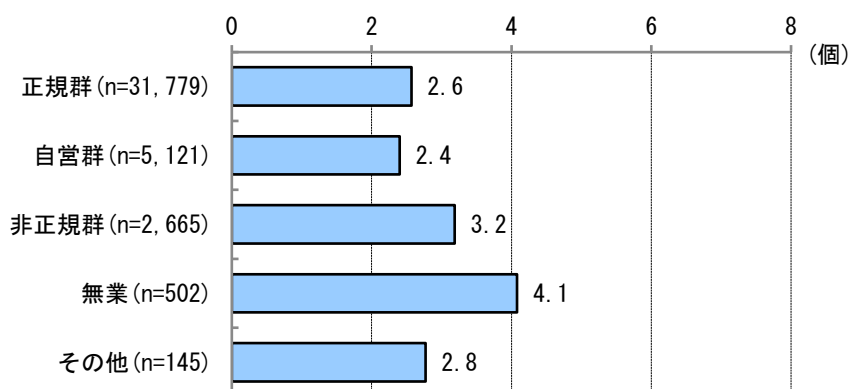


図 89. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になること(保護者)を見ると、すべての項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「7個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「7個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「歯がいたい」12.3%（「該当なし」に対して13.7倍）、「やる気が起きない」41.3%（同じく5.0倍）、「聞こえにくい」13.5%（4.0倍）となっている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<富田林市>

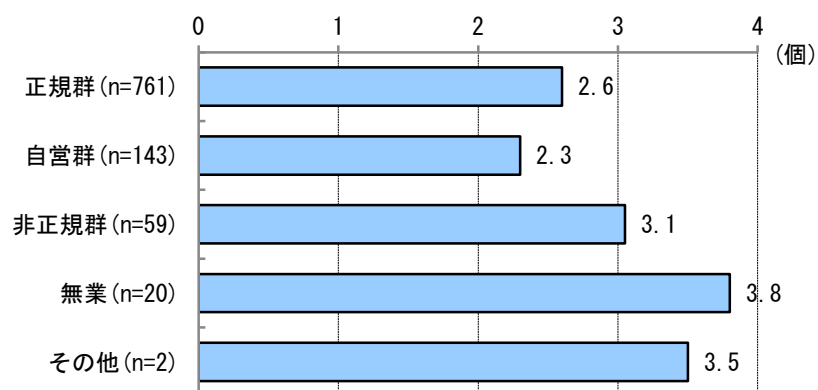


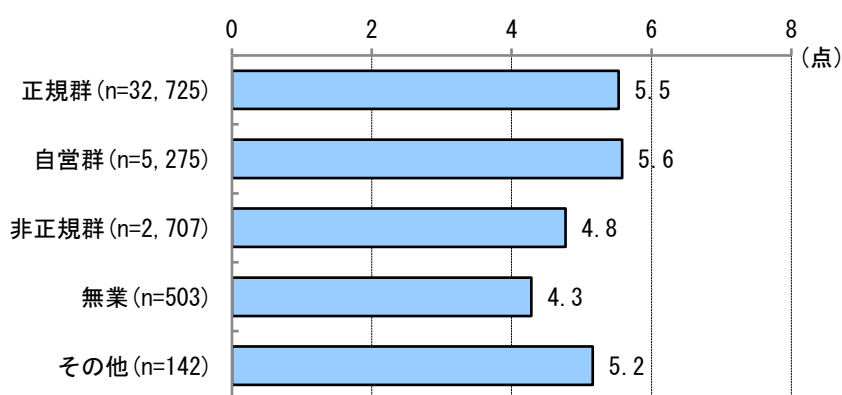
図 90. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「正規群」、「自営群」に対して、「非正規群」、「無業」、「その他」において、自分の体や気持ちで気になることの該当個数が増える結果となった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問18）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪府内全体>



<富田林市>

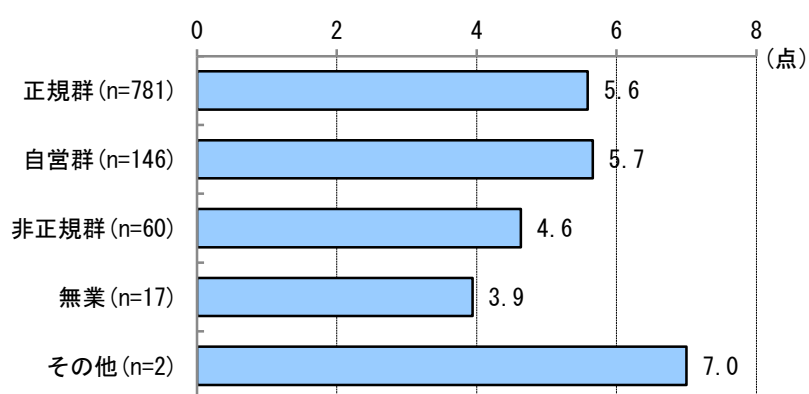
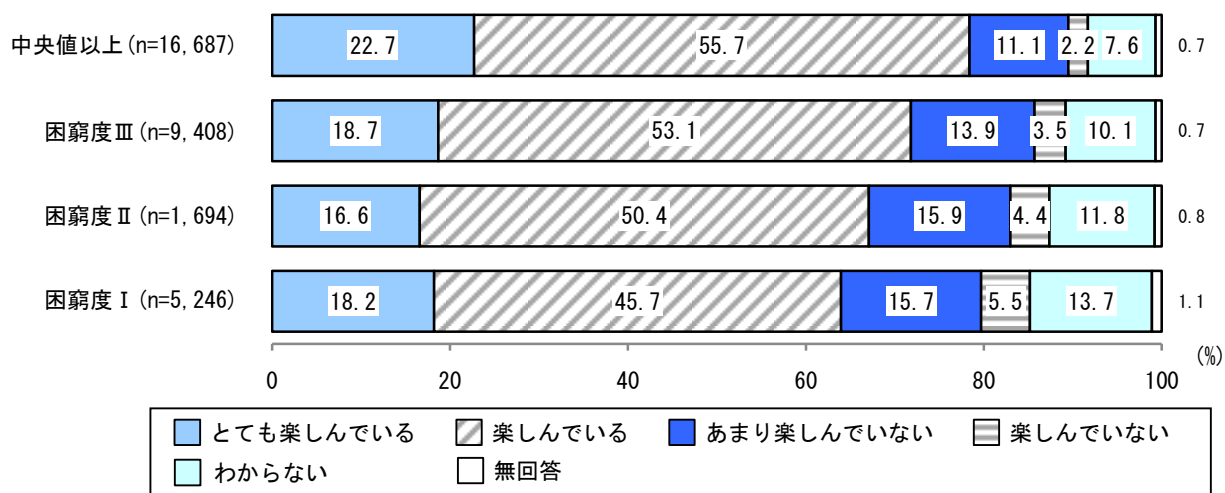


図 91. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」(5.6点)、「自営群」(5.7点)が高く、「非正規群」で4.6点と低下し、「無業」で3.9点と最も低い結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 21(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

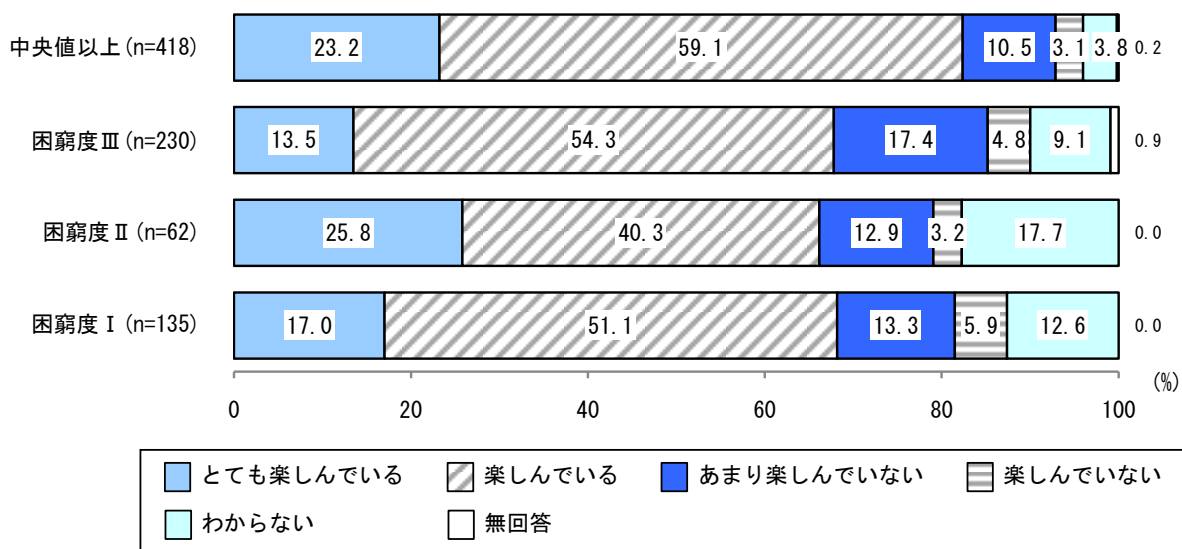
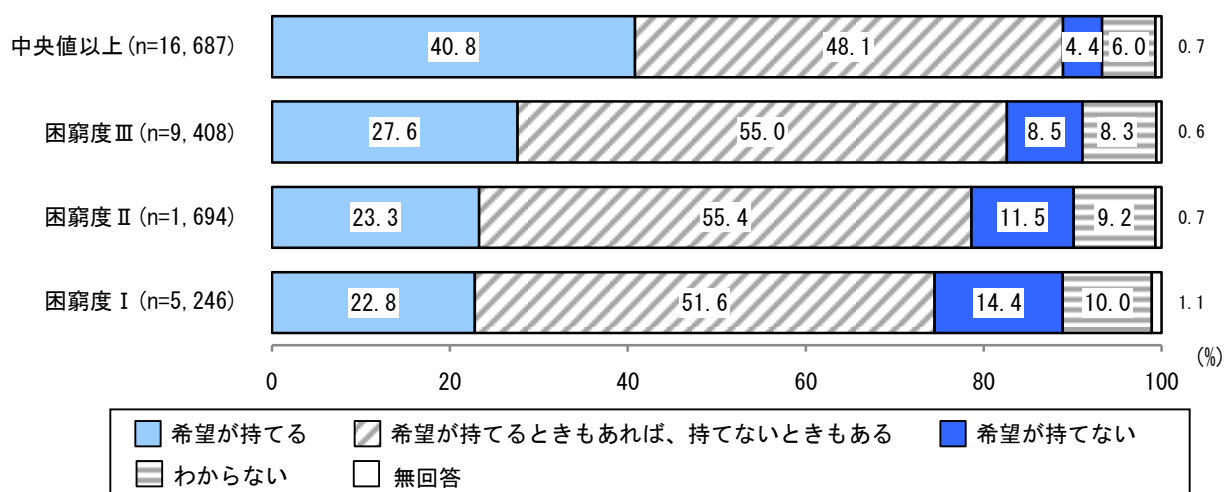


図 92. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせてなんらかの『楽しんでいる』割合では、中央値以上群で82.3%と最も高く、それ以外の群では、なんらかの『楽しんでいる』割合は低くなっている。困窮度Ⅰ群が68.1%、困窮度Ⅲ群が67.8%、困窮度Ⅱ群が66.1%で最も低くなっている。「楽しんでいる」と回答した割合は、中央値以上群が3.1%と最も低く、次いで、困窮度Ⅱ群が3.2%、困窮度Ⅲ群が4.8%、困窮度Ⅰ群が5.9%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）（保護者票問 21 (2)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

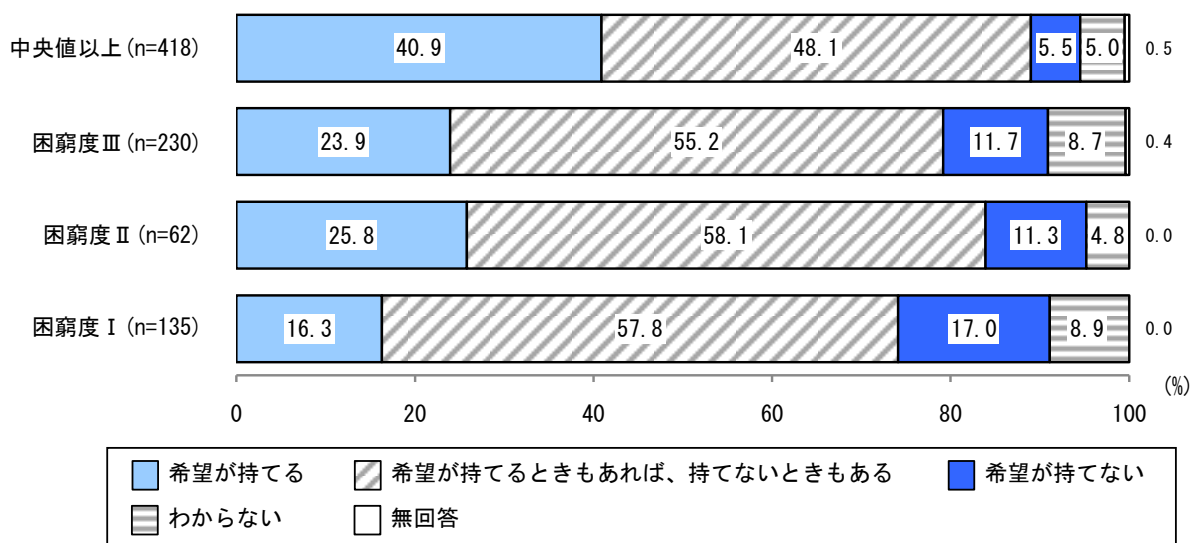
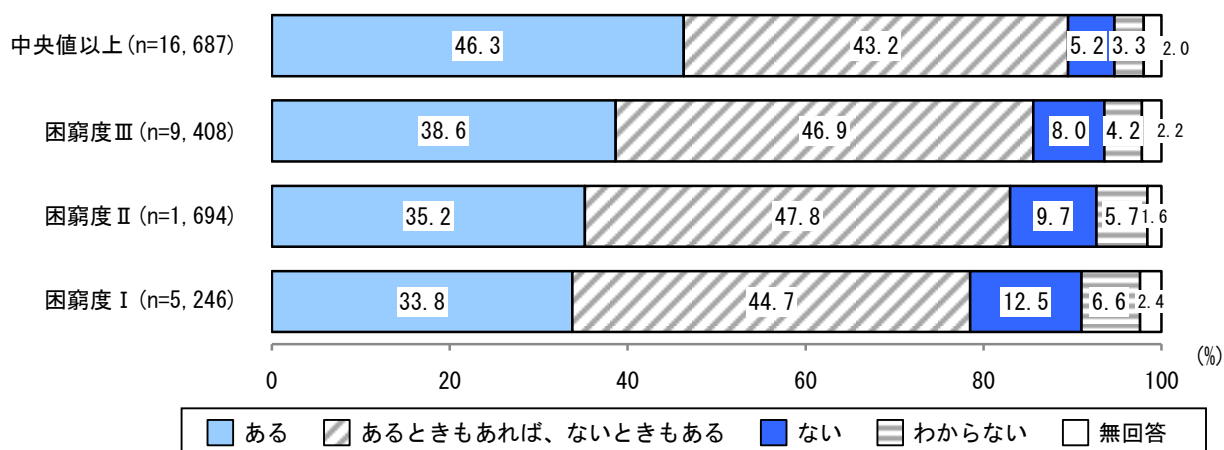


図 93. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）

困窮度別に将来への希望を見ると「希望が持てる」と回答した割合は、中央値以上群では、40.9%であるのに対し、困窮度Ⅱ群と困窮度Ⅲ群では逆転し、困窮度Ⅱ群では25.8%、困窮度Ⅲ群が23.9%、困窮度Ⅰ群において16.3%と最も低くなっている。

困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）（保護者票問 21(3)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

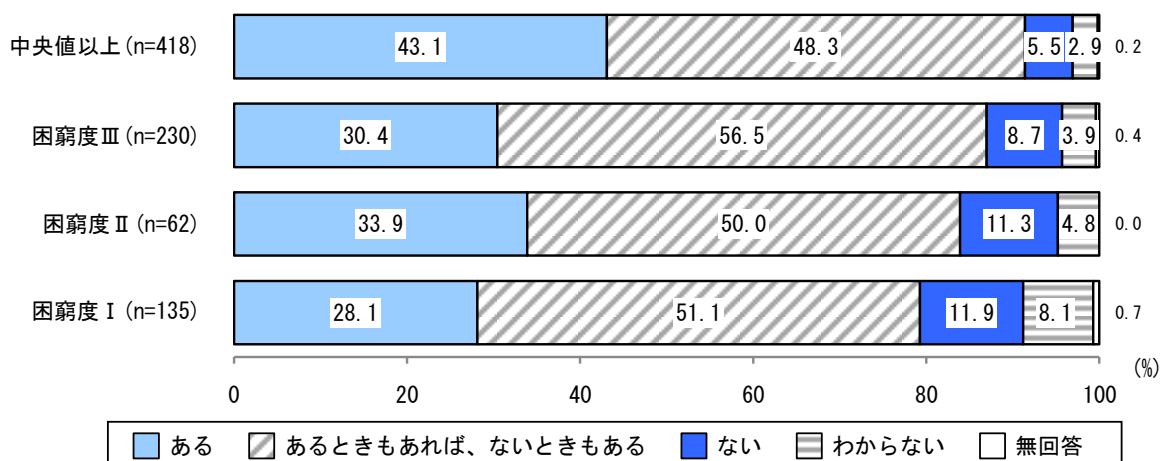
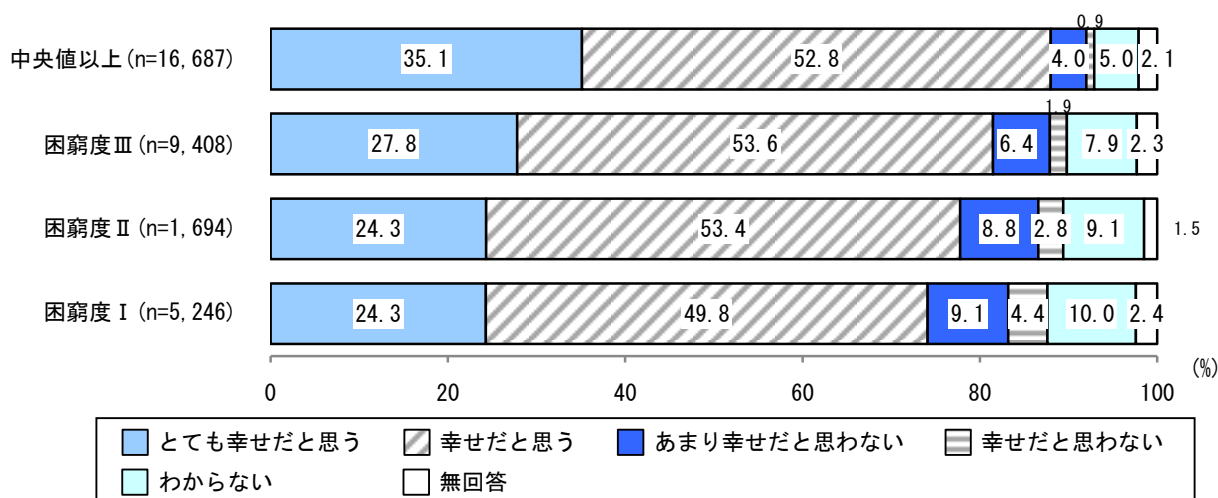


図 94. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスが発散できるものが「ない」という回答に着目すると、困窮度Ⅰ群が11.9%で最も高くなっている。中央値以上群では、5.5%で最も低く、困窮度Ⅲ群8.7%、困窮度Ⅱ群11.3%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）（保護者票問 21(4)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

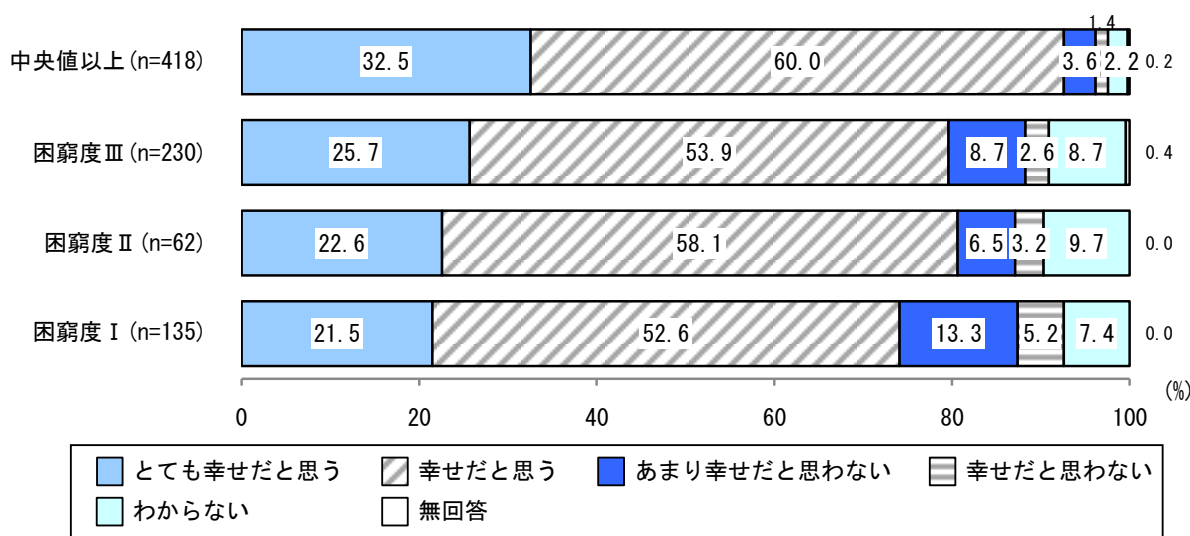


図 95. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せだと思う」と「幸せだと思う」をあわせて、なんらかの『幸せだと思う』と回答した割合は、概ね困窮度が高まるにつれて低くなり、困窮度Ⅰ群（74.1%）で最も低くなっている。逆に、なんらかの『幸せではない』（「あまり幸せだと思わない」と「幸せだと思わない」をあわせた割合）と回答した割合は、中央値以上群で5.0%にとどまるのに対して、困窮度Ⅱ群で9.7%、困窮度Ⅲ群で11.3%、困窮度Ⅰ群で18.5%となっている。

<健康に関する考察>

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日またはほとんど毎日」(88.7%対70.7%)が18ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よくおなかがいたくなる」(29.3%対22.7%)が約7ポイント高く、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「とくに気になるところはない」(36.0%対28.5%)が約8ポイント高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よく頭がいたくなる」(34.8%対20.3%)、「不安な気持ちになる」(35.6%対23.9%)、「やる気が起きない」(29.6%対14.8%)、「ねむれない」(20.0%対9.1%)がいずれも10ポイント以上、「イライラする」(45.2%対27.8%)では17ポイント高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、生活を「とても楽しんでいる」(23.2%対17.0%)が5ポイント以上、将来に対して「希望が持てる」(40.9%対16.3%)が20ポイント以上高くなっており、さらに、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、ストレスを発散できるものが「ある」(43.1%対28.1%)が15ポイント、自分が「とても幸せだと思う」(32.5%対21.5%)が10ポイント以上高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、「遊びにでかけるのが好きだ」「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「よくかゆくなる」「よくおなかがいたくなる」の割合が高くなる傾向にあり、保護者では「よく肩がこる」「イライラする」「やる気が起きない」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者ではやる気やイライラなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、同時に肩こりや腰痛が多く、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。一方で経済的に困難のない世帯の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。親の就業状況別の朝食の頻度では、「正規群」「自営群」の2群において、「毎日またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が高く(86.9%、80.9%)、「無業」は(63.2%)となっている。この結果から、親が就業している世帯では、朝食の習慣が根付いていることがうかがえる。

最後に、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」(55.4%対36.7%)が18ポイント以上、子どもの将来に「とても期待している」(25.4%対16.7%)が8ポイント以上高くなっている。また、「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べている群に比べ、平日に子どもと関わる時間が「1時間未満」(31.8%対26.7%)が5ポイント以上高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ高い傾向があり、学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では他の群に比べ高い傾向がある。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自己効力感を高める可能性が示唆された。

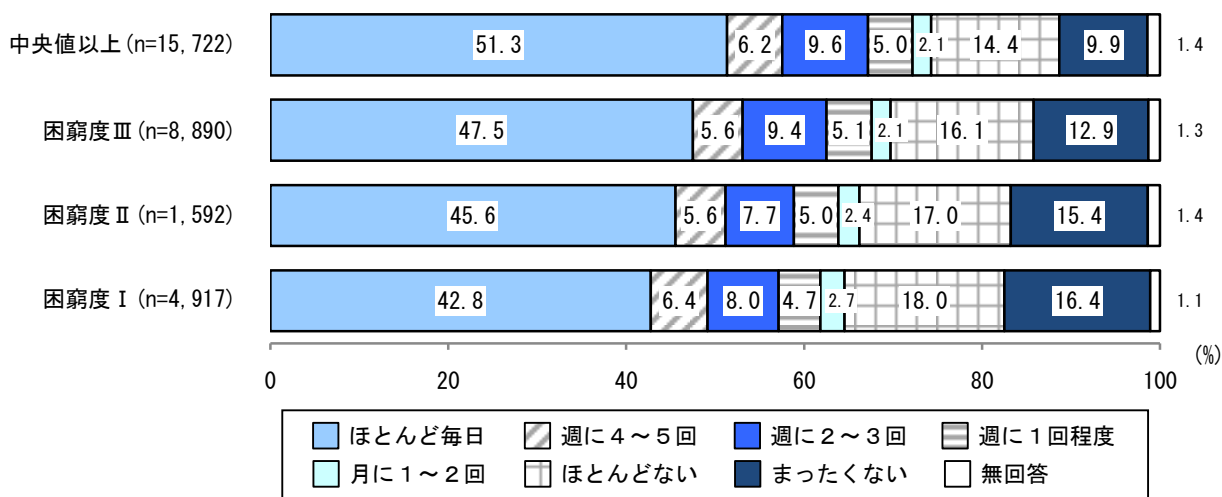
また、子どもの通学状況と支援者の有無に着目すると、子どもの通学状況が「欠席が年間60日以上、1年未満である」群は「ほぼ毎日通っている」群と比べ、「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人がいない」(37.5%対20.5%)が17ポイント以上、「留守を頼める人がいない」(62.5%対24.2%)が38ポイント以上高くなっている。これらの結果から、子どもの欠席が長期である親は、自らが対応できないときに支援を求められる人が不足していることが示唆される。

※参照データについては一部資料編に掲載

3-4. 家庭生活、学習

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか（子ども票問8①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

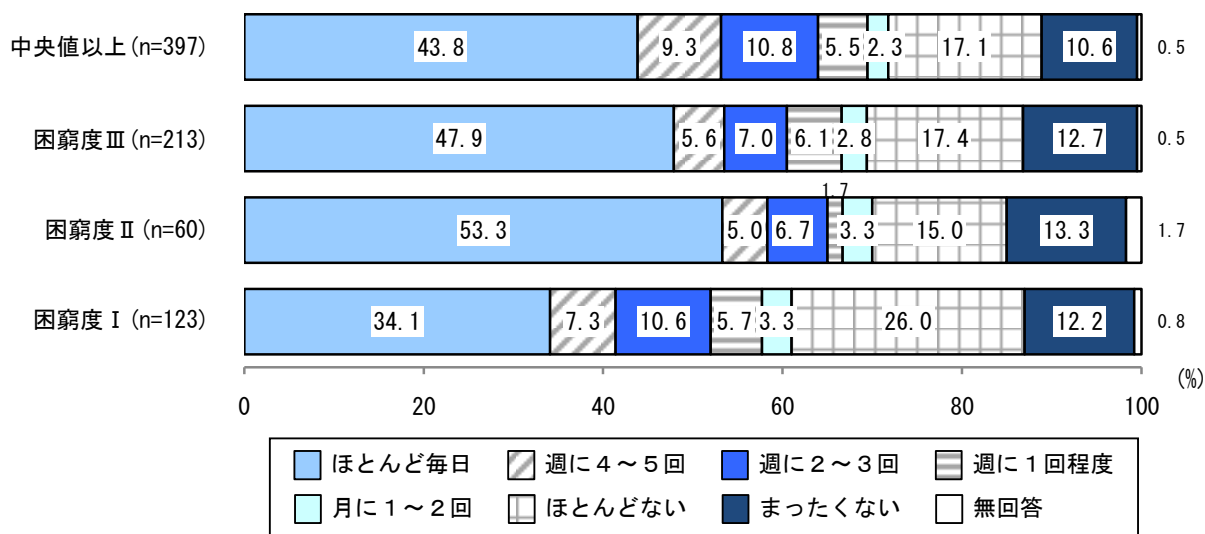
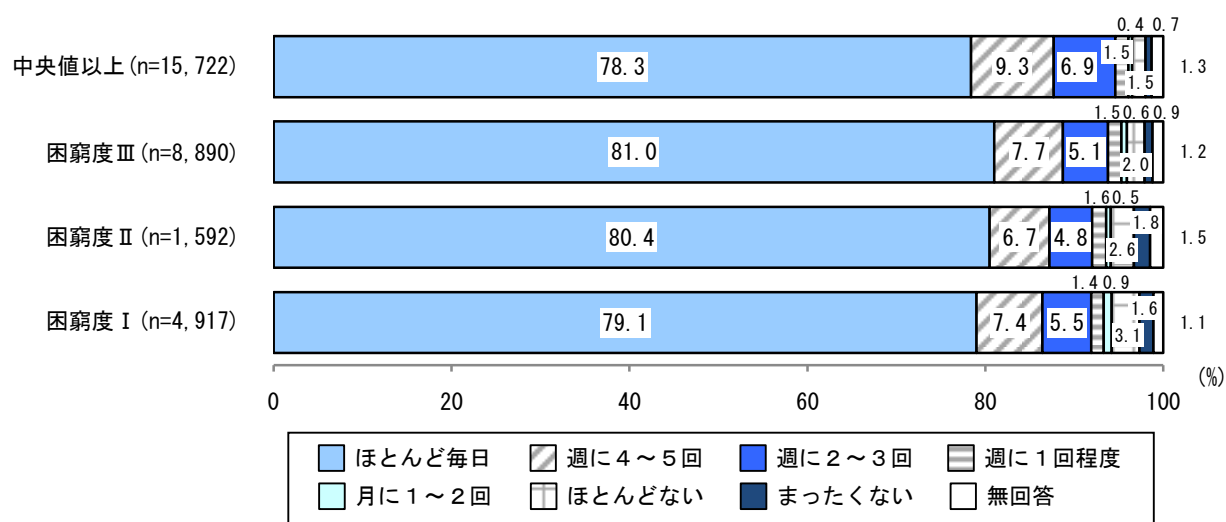


図 96. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると「ほとんど毎日」の割合は困窮度Ⅱが53.3%と最も高くなっている。「まったくない」の割合も困窮度Ⅱ群が13.3%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか（子ども票問8②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

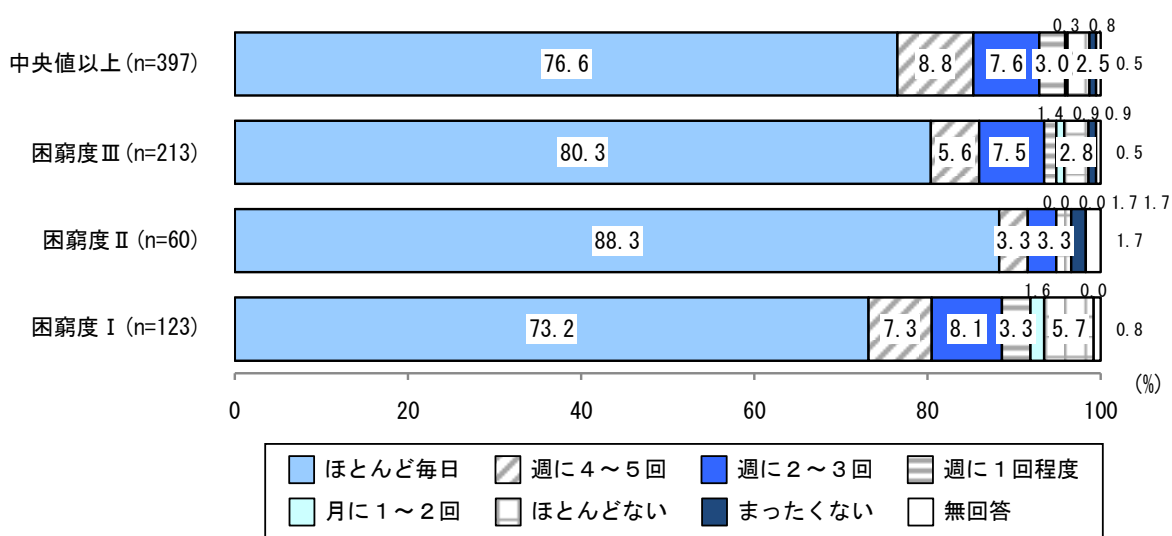
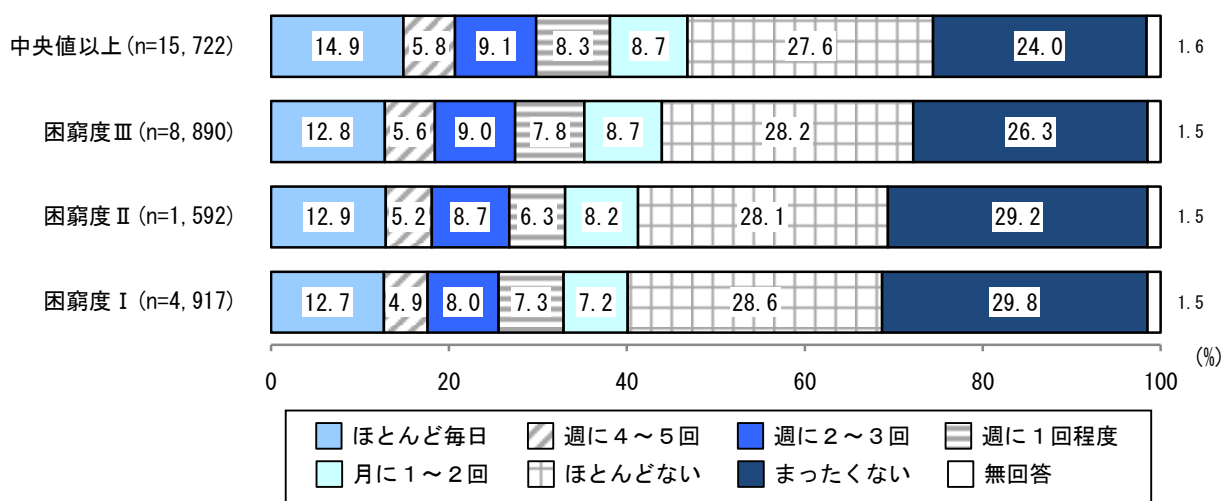


図 97. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、困窮度Ⅱ群において、「ほとんど毎日」の割合が88.3%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか（子ども票問8⑤）

<大阪府内全体>



<富田林市>

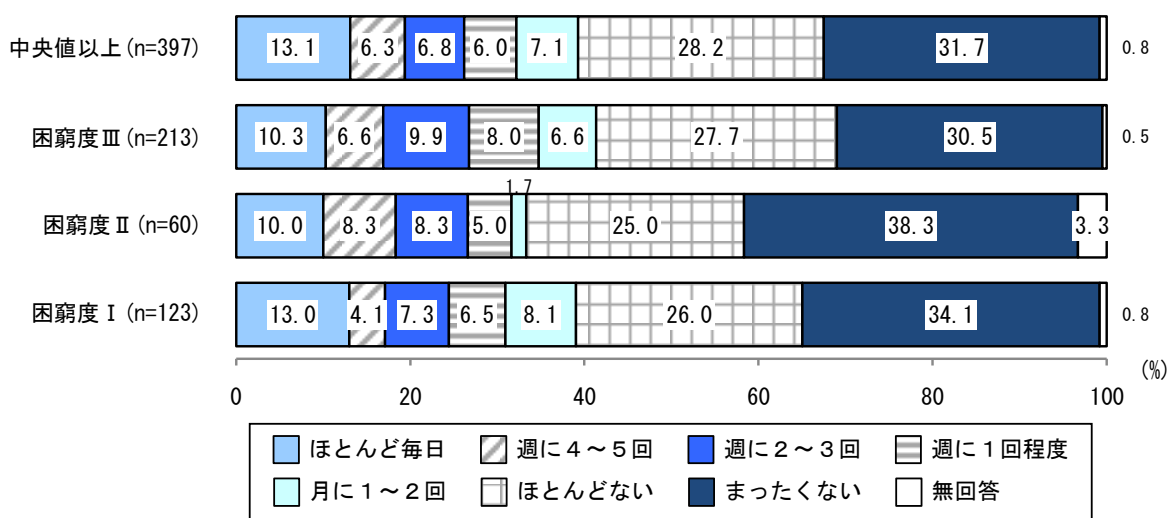
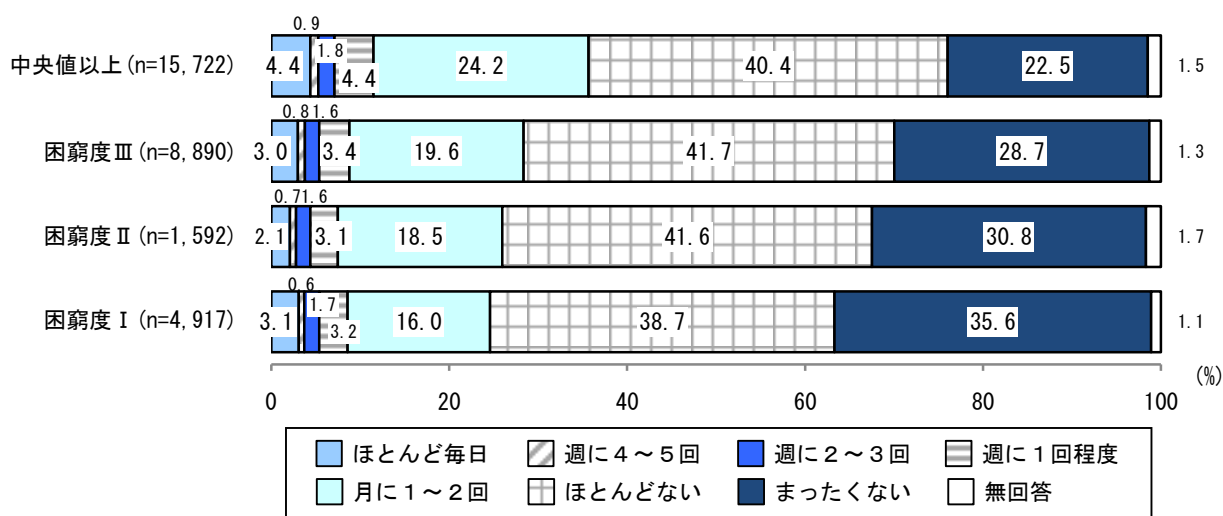


図 98. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、困窮度Ⅱ群では、「まったくない」と回答した人は38.3%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか（子ども票問8⑨）

<大阪府内全体>



<富田林市>

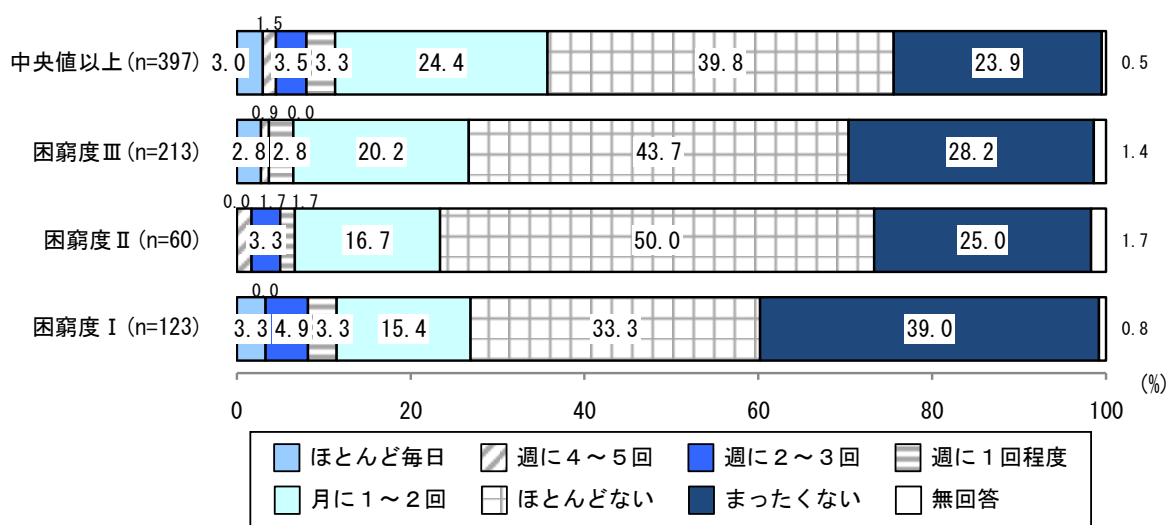
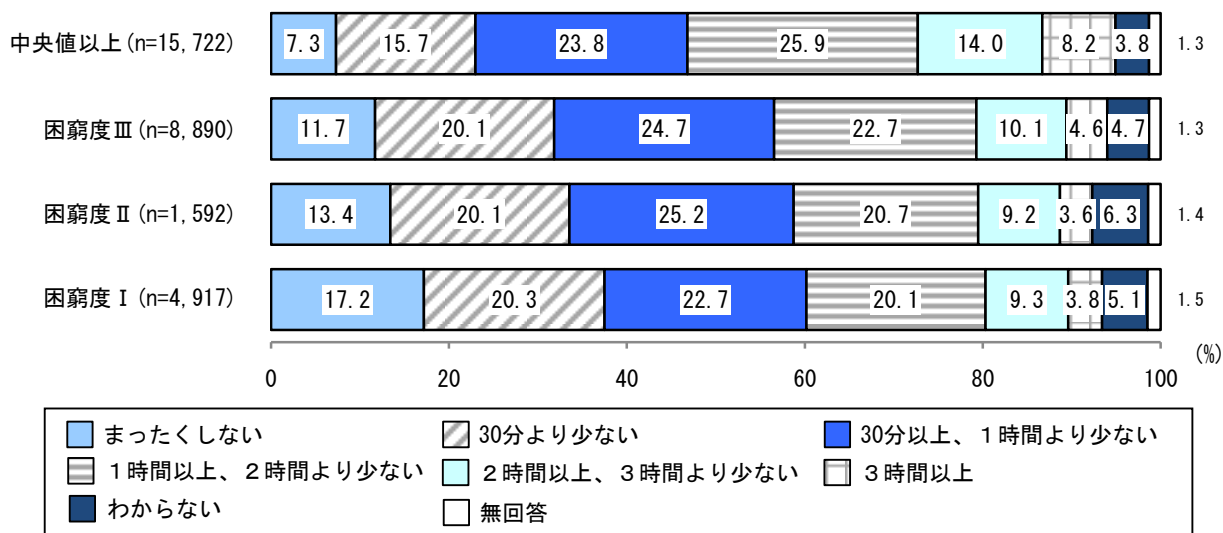


図 99. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

困窮度別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、概ね困窮度が高まるにつれ、「まったくない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「ほとんどない」と回答した人は33.3%、「まったくない」と回答した人は39.0%である。

困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

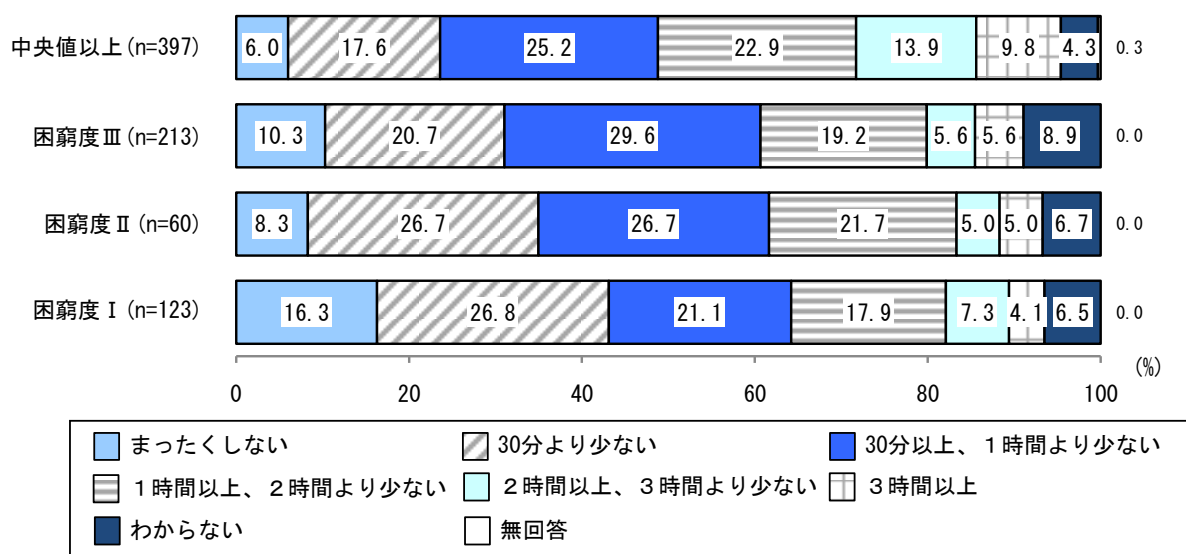
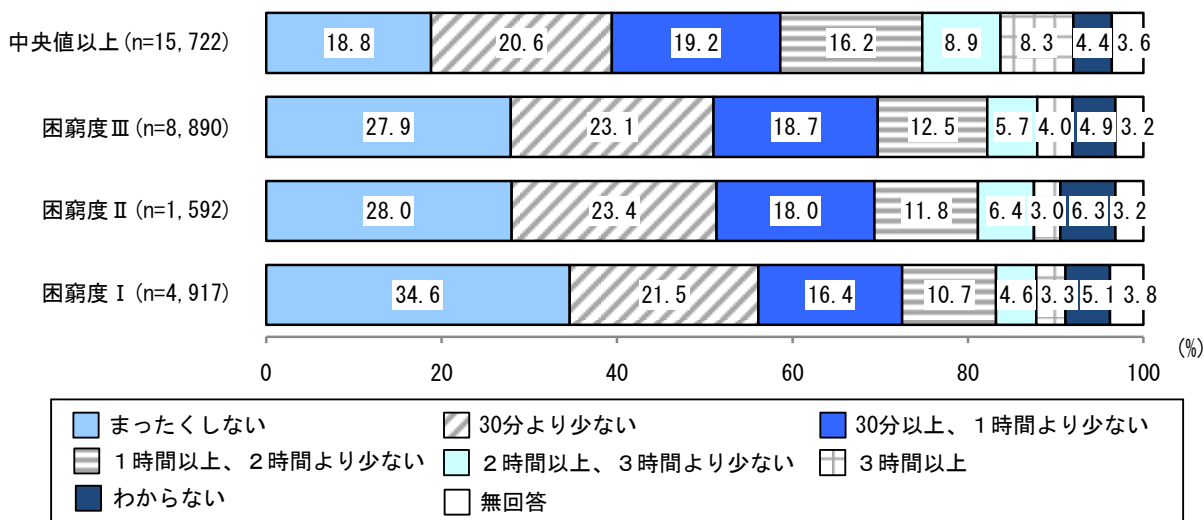


図 100. 困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校のある日では、「まったくしない」、「30分より少ない」と回答した人の割合は、困窮度Ⅰが16.3%、26.8%と最も高く、概ね困窮度が上がるにつれて高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）
（子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

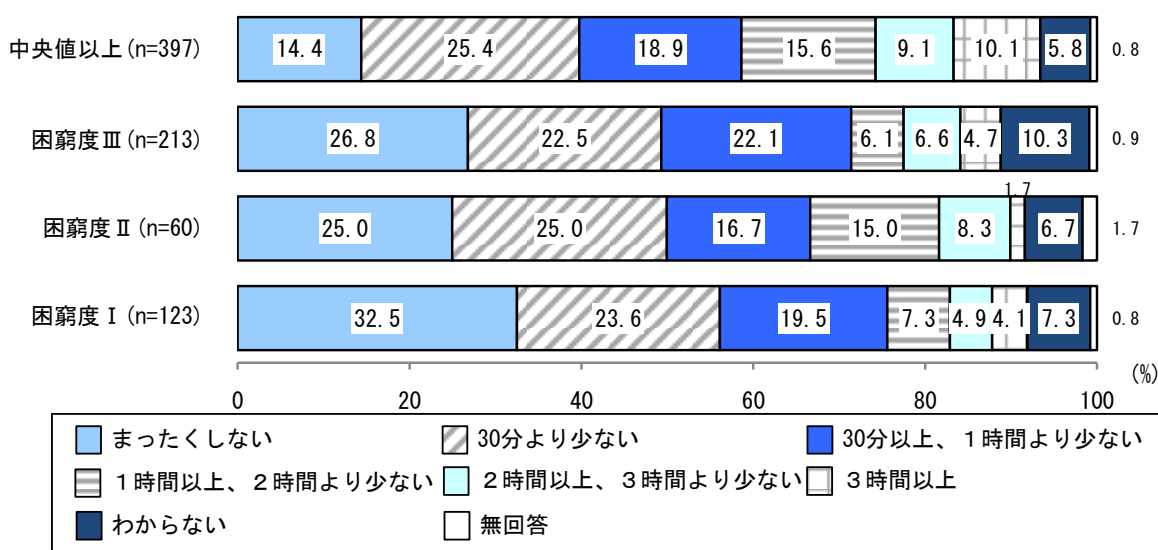
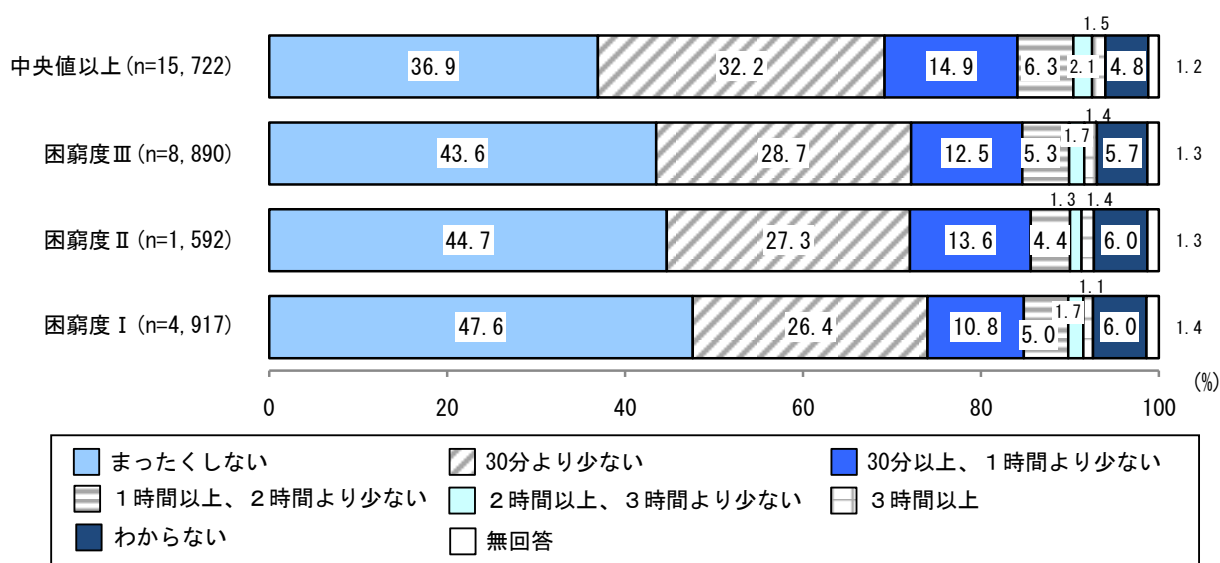


図 101. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校がない日では、困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人の割合は32.5%で最も高くなっている。1時間以上と回答した人の割合は、いずれの時間帯も中央値以上群で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 15）

<大阪府内全体>



<富田林市>

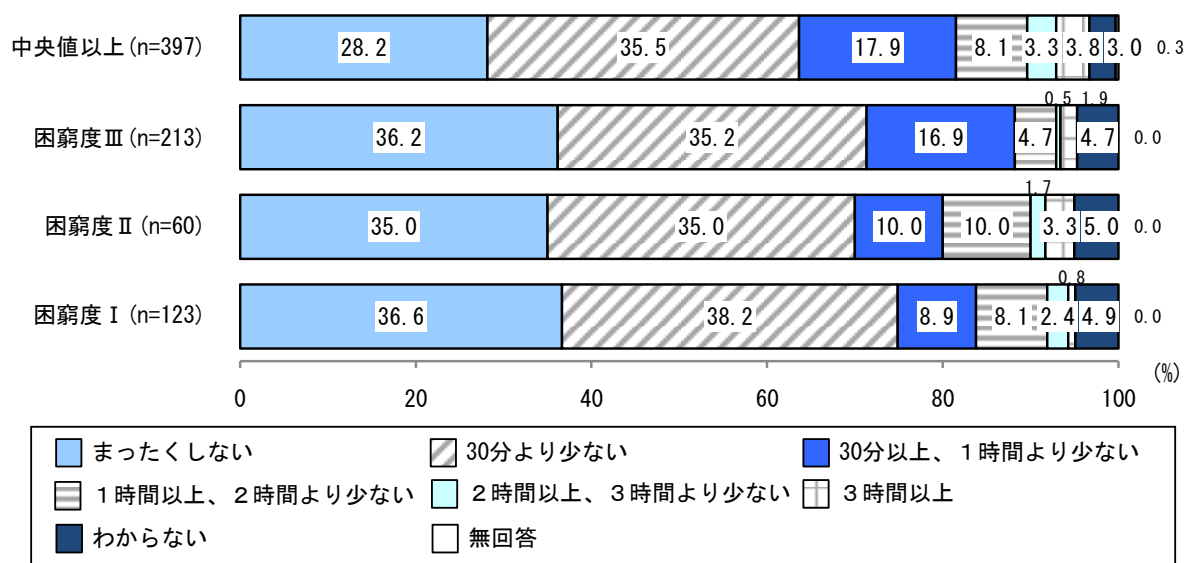
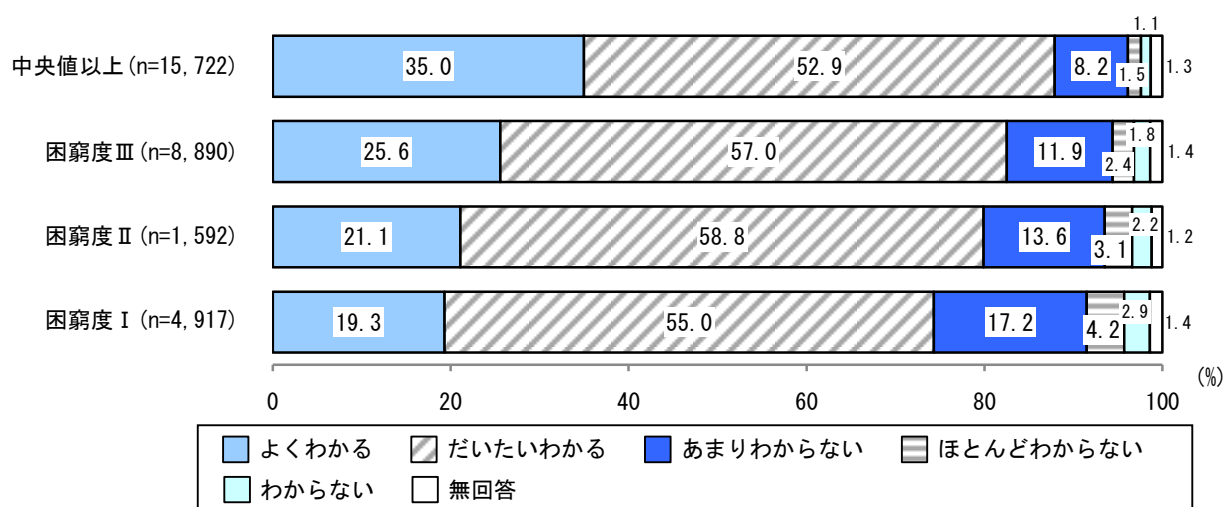


図 102. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、中央値以上群が28.2%で最も低くなっている。困窮度Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ群では、「まったくしない」と回答した人の割合は3割5分以上であり、中央値以上群よりも高くなっている。

困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問 14(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

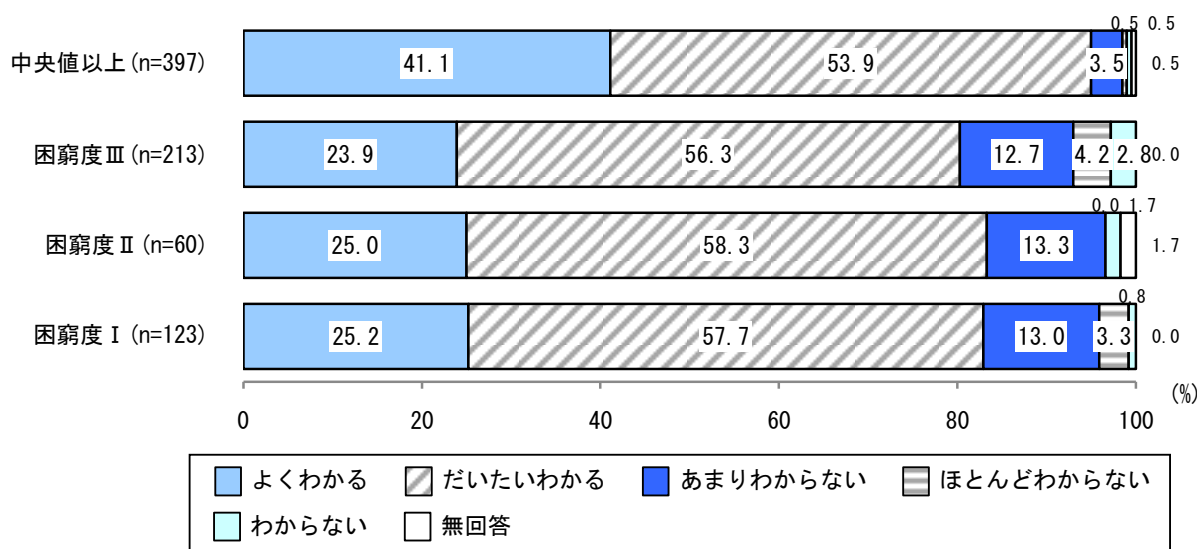


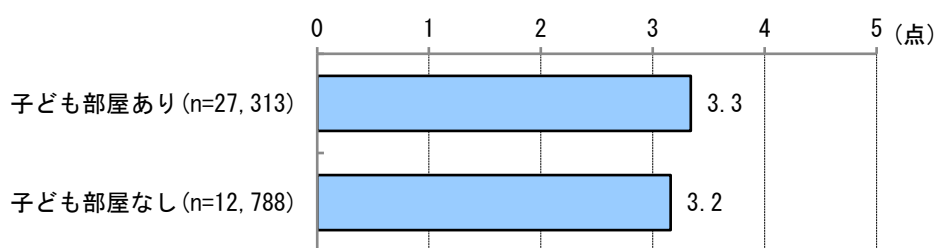
図 103. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

困窮度別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」と回答した人の割合は中央値以上群が41.1%で最も高くなっている。困窮度Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ群では、「よくわかる」と回答した人の割合は、中央値以上群の7割未満となっている。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ①学校がある日
(月～金曜日)(子ども票問21×子ども票問13①)

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30分より少ない」「3. 30分以上、1時間より少ない」「4. 1時間以上、2時間より少ない」「5. 2時間以上、3時間より少ない」「6. 3時間以上」の6つの時間枠からひとつを選択させた(「7. わからない」は除く)。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪府内全体>



<富田林市>

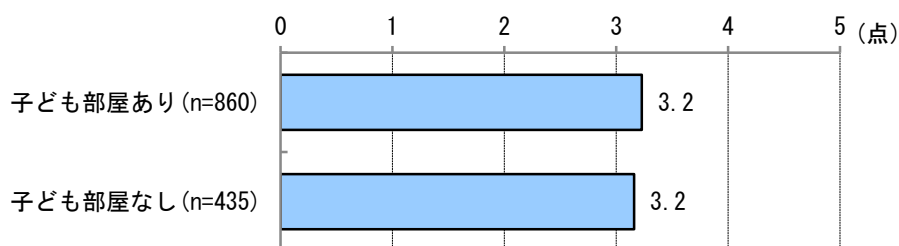
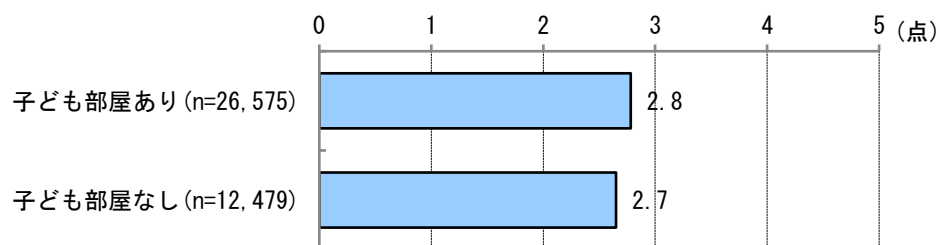


図 104. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がある日)

子ども部屋の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋の有無によって、1日の勉強時間に差はなかった。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ②学校がない日
(土・日曜日・祝日)(子ども票問21×子ども票問13②)

<大阪府内全体>



<富田林市>

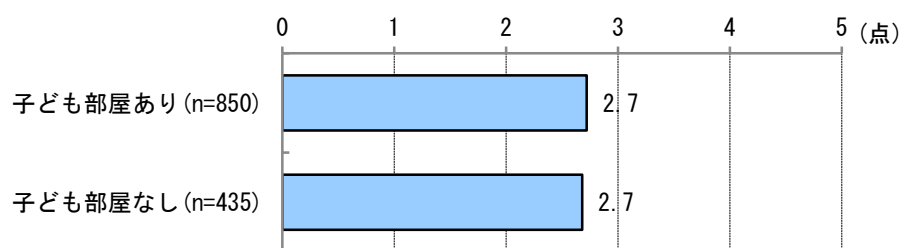
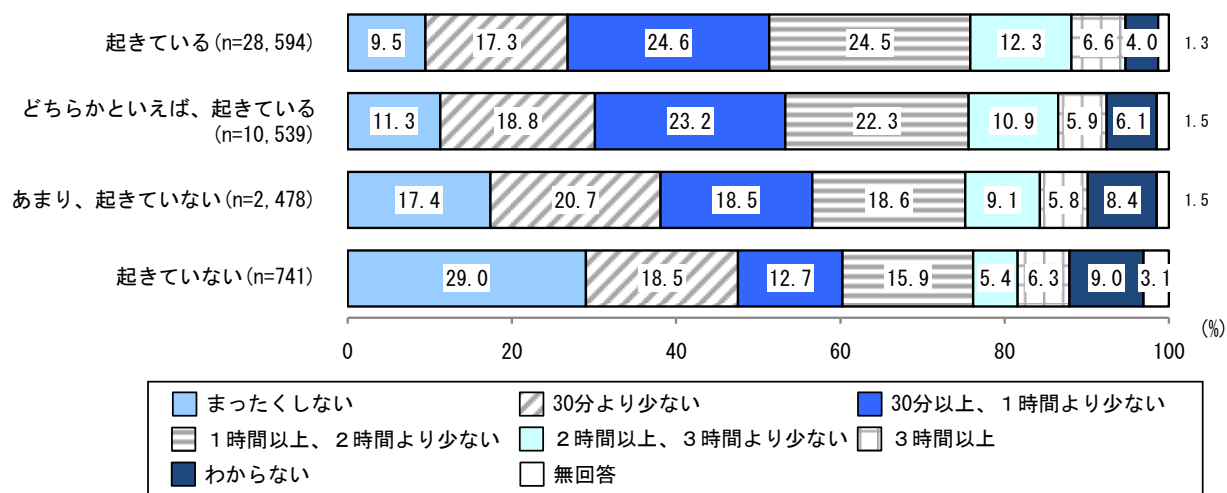


図 105. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がない日)

子ども部屋の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋の有無によって、1日の勉強時間に差はなかった。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問2×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

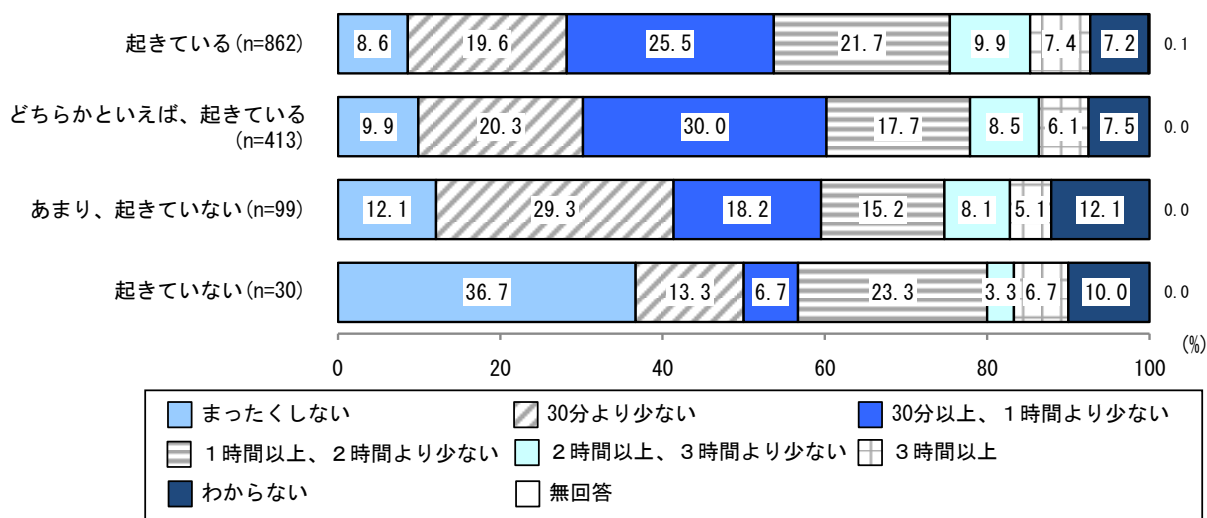
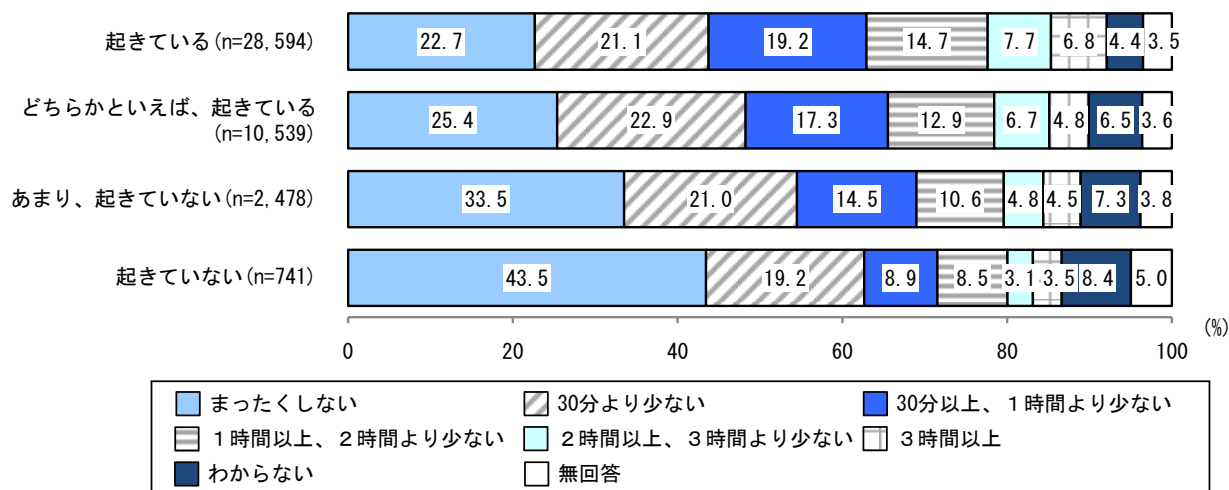


図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

起床時間の規則性別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高くなっており、「起きていない」と回答した人が36.7%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問2×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

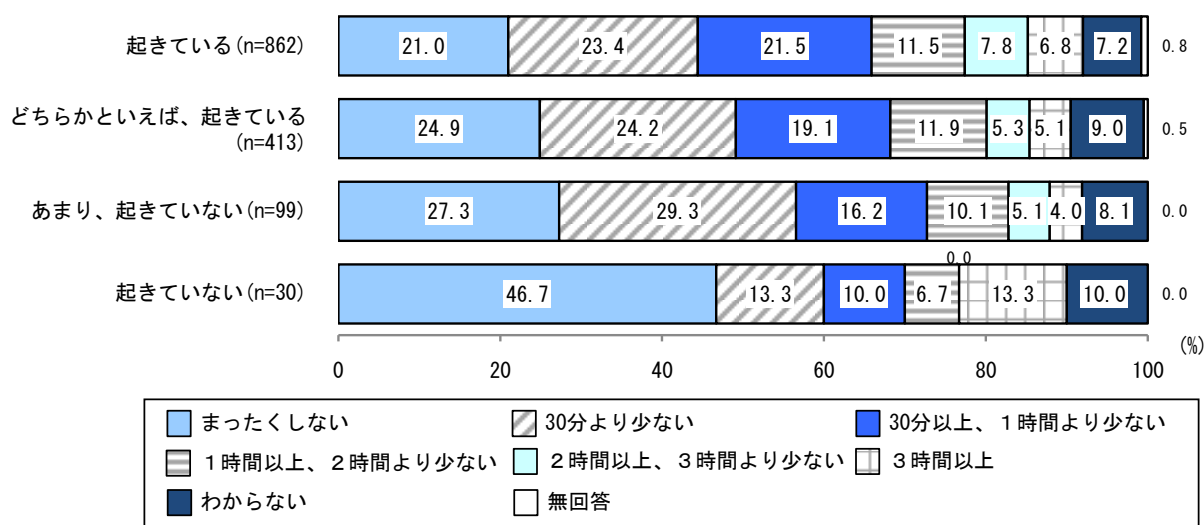
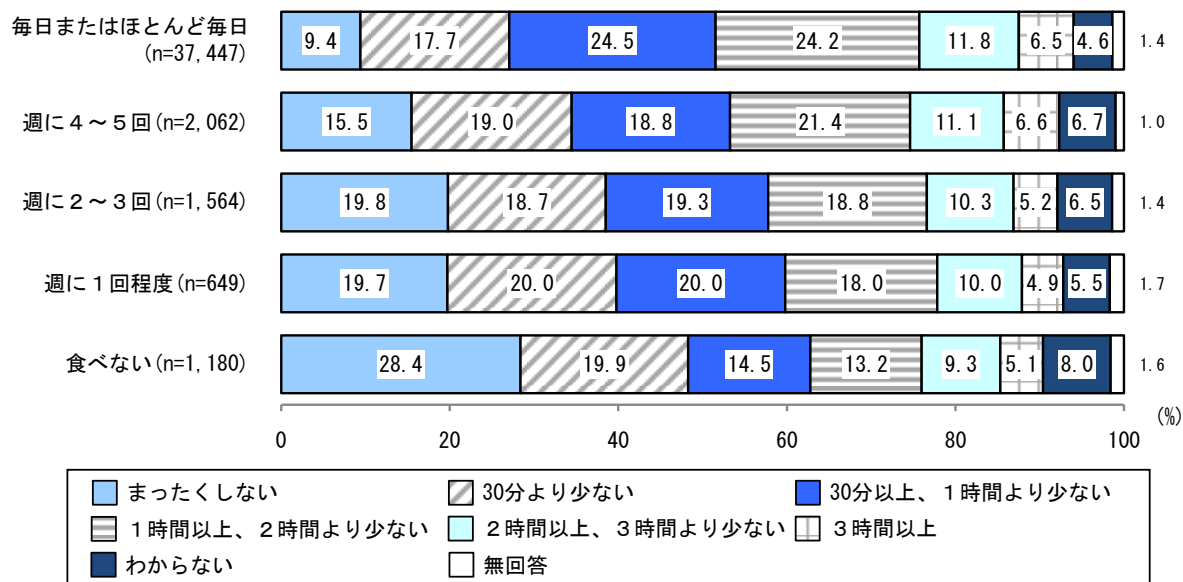


図 107. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

起床時間の規則性別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど「まったくしない」と回答した割合が高くなっており、「起きていない」と回答した人が46.7%で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 4 (1) × 子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

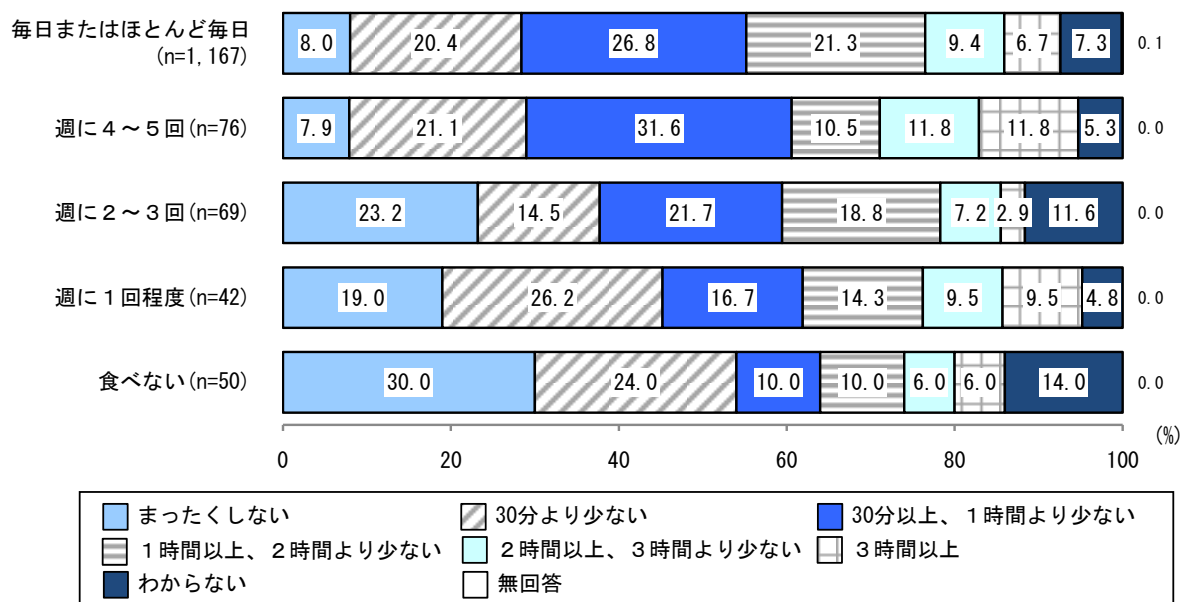
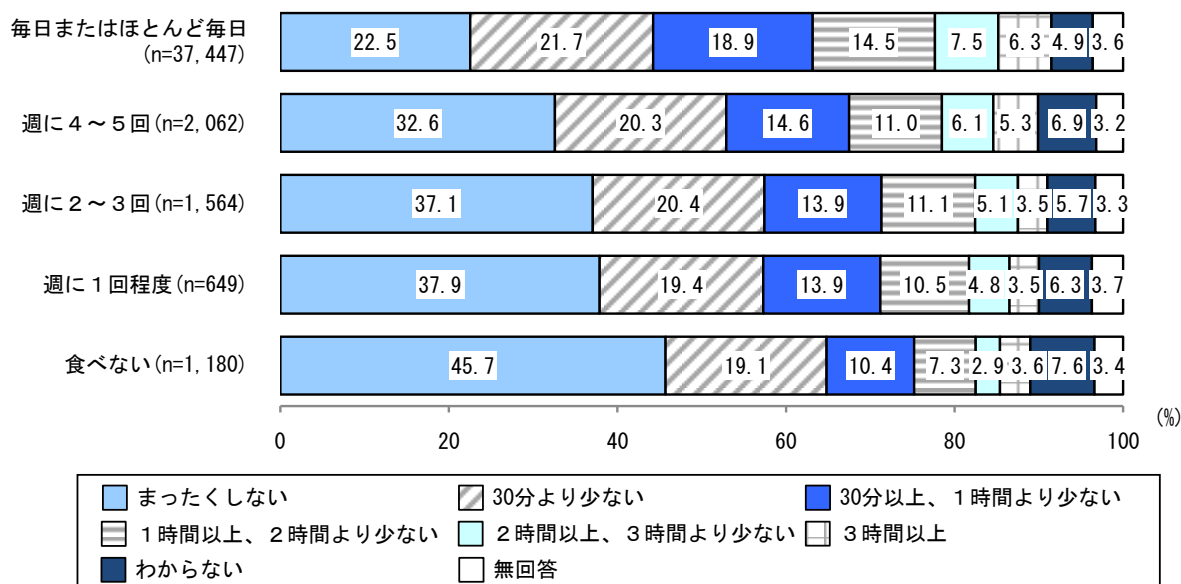


図 108. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

朝食の頻度別に学校がある日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間を見ると、概ね朝食の頻度が少ない人ほど「まったくしない」と回答した人の割合が高く、「食べない」人が 30.0% で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問4(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

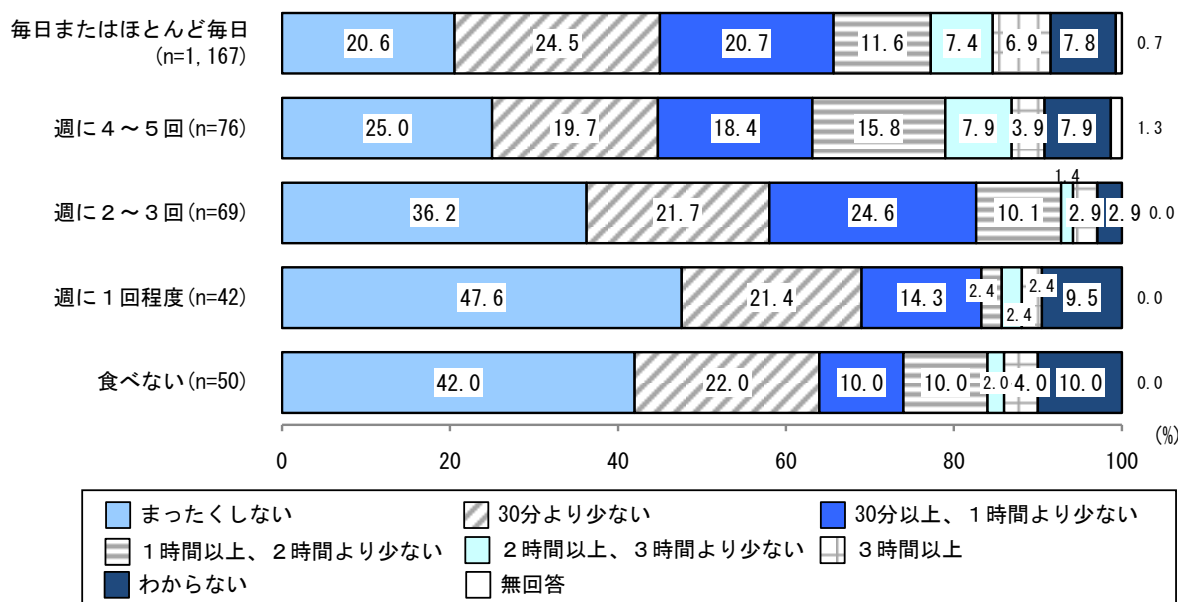
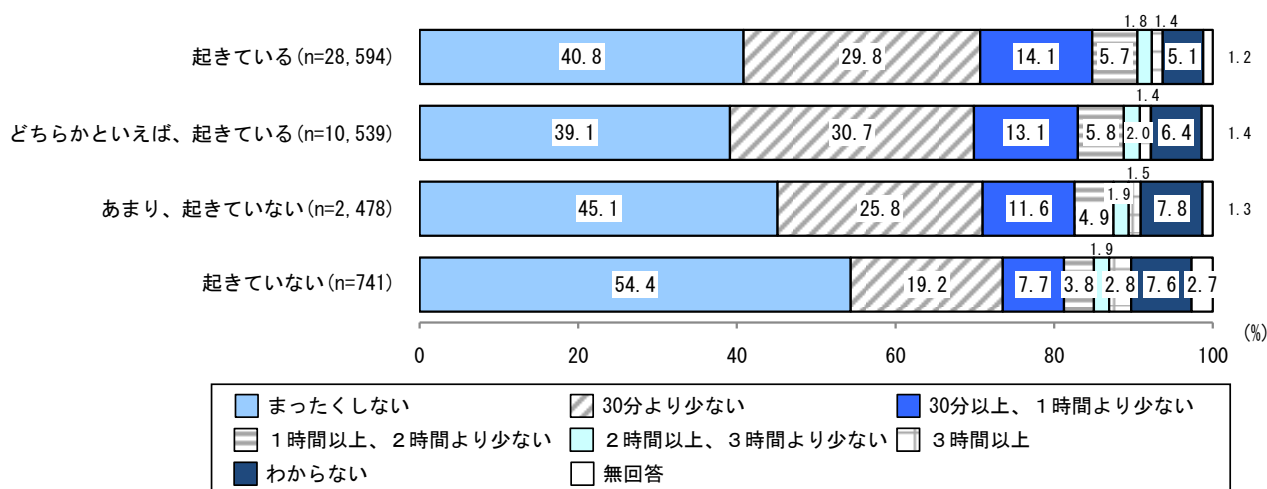


図 109. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

朝食の頻度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、概ね朝食の頻度が少ない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高く、「週に1回程度」の人が47.6%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問2×子ども票問15）

<大阪府内全体>



<富田林市>

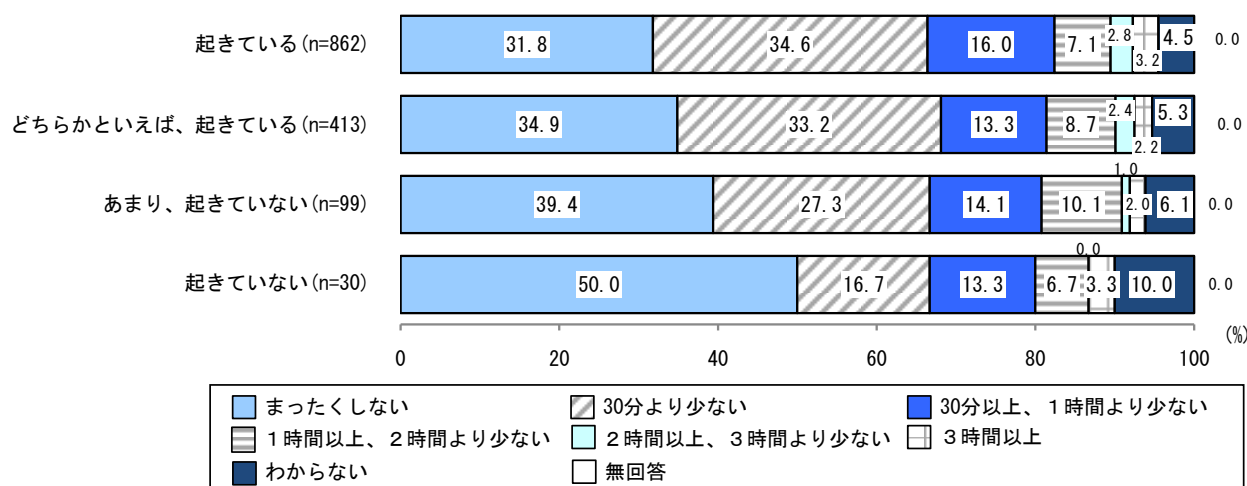
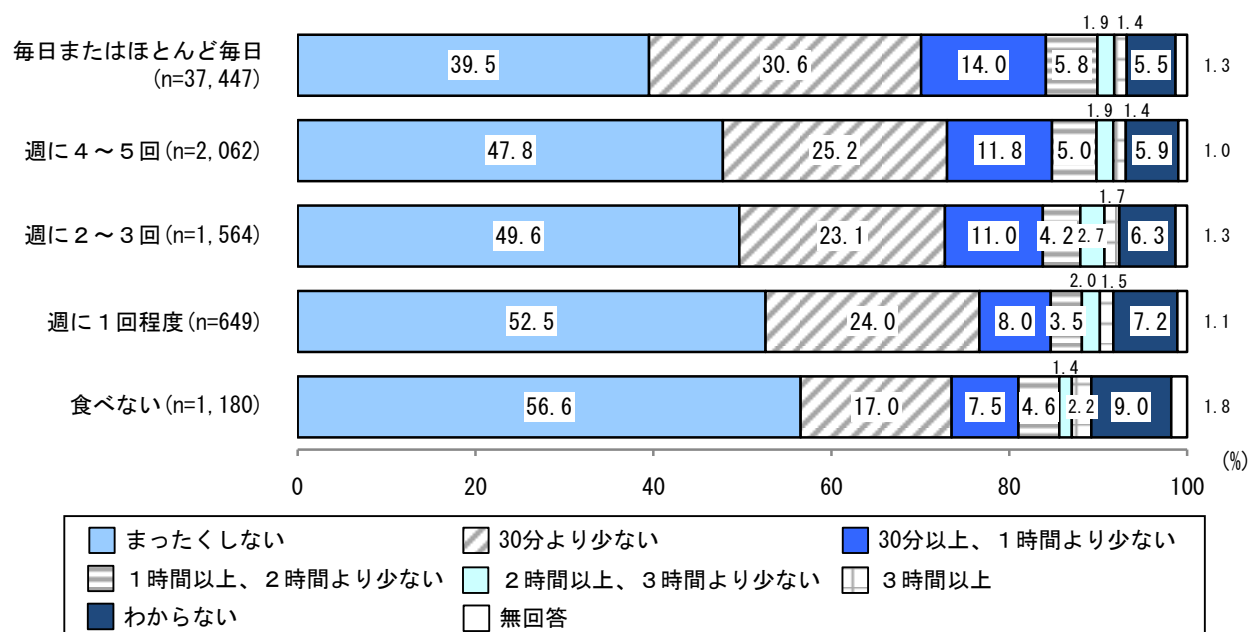


図 110. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど、「まったくしない」と回答した割合が高くなっている。起きていない人では、「まったくしない」と回答した人は50.0%となっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 4 (1) × 子ども票問 15)

<大阪府内全体>



<富田林市>

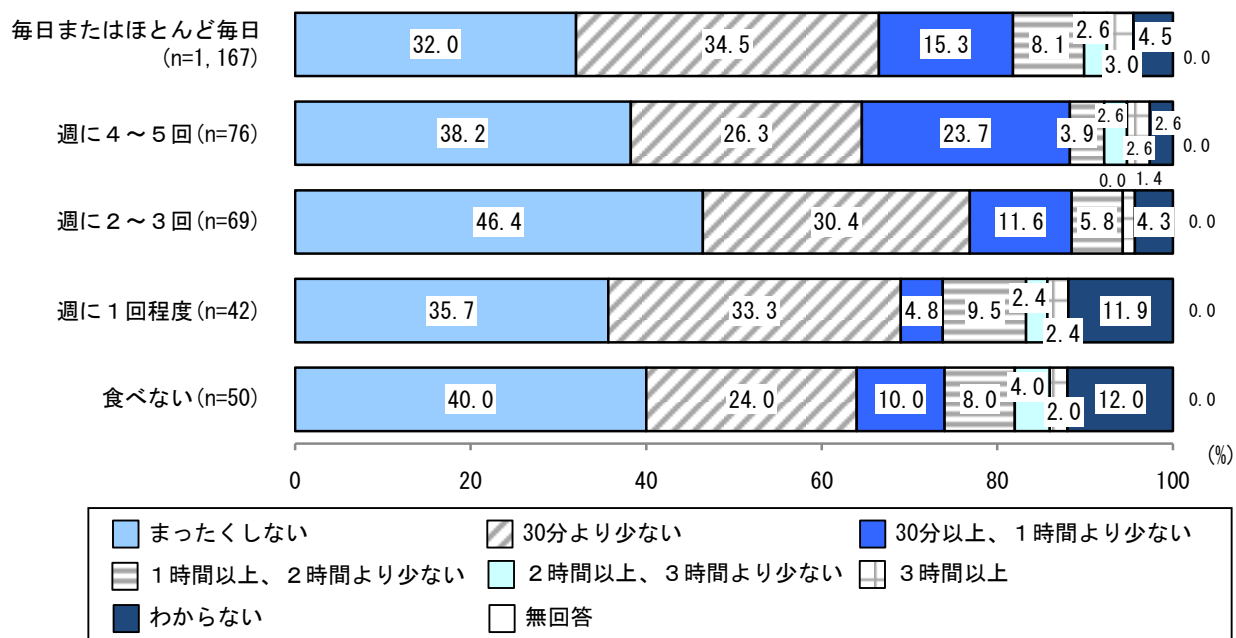
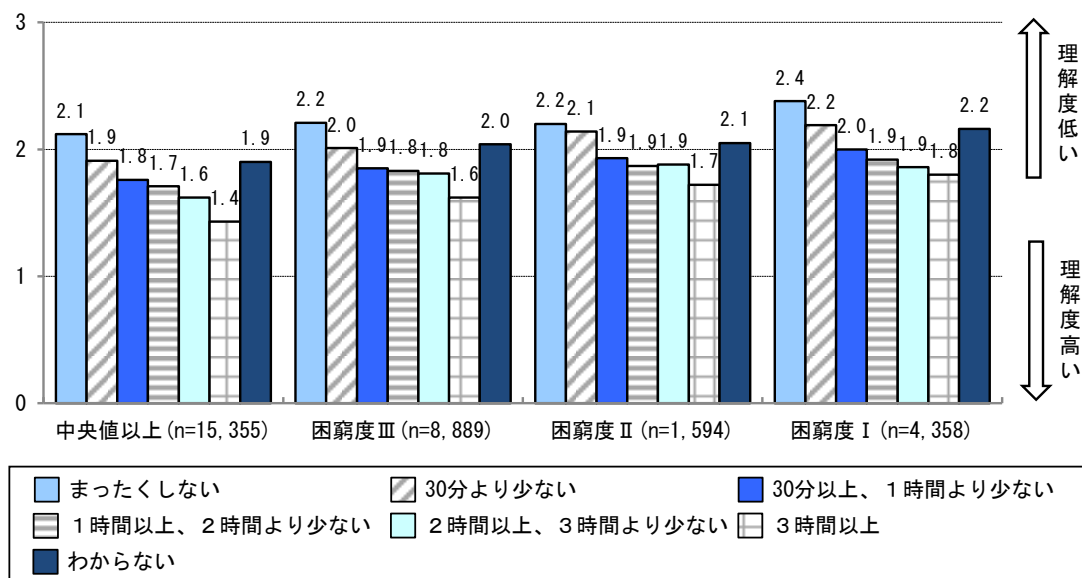


図 111. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくしない」と回答した人は「週に2～3回」の人が46.4%と最も高く、次いで「食べない」人が40.0%となっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

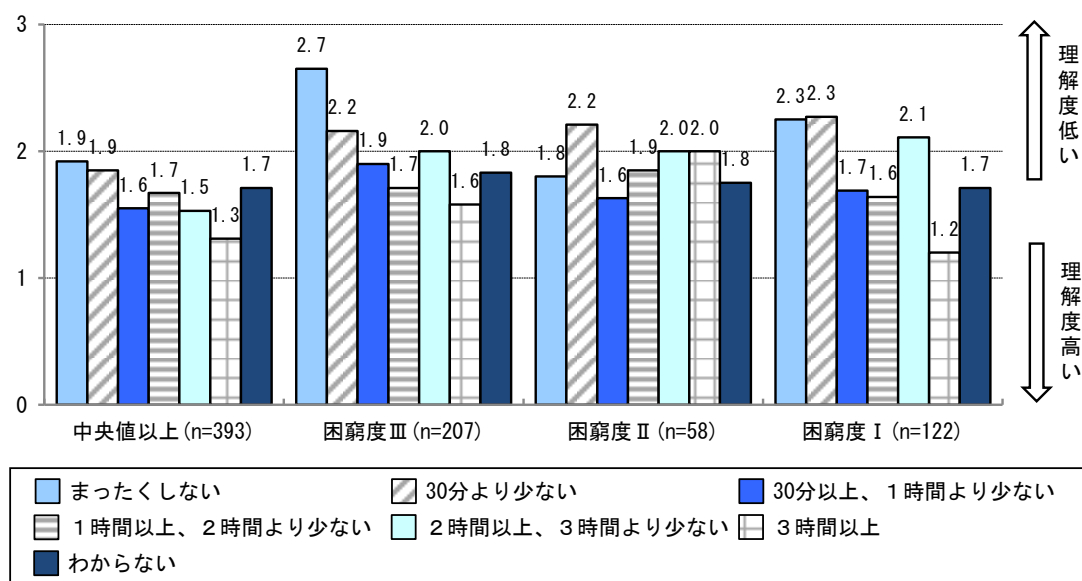
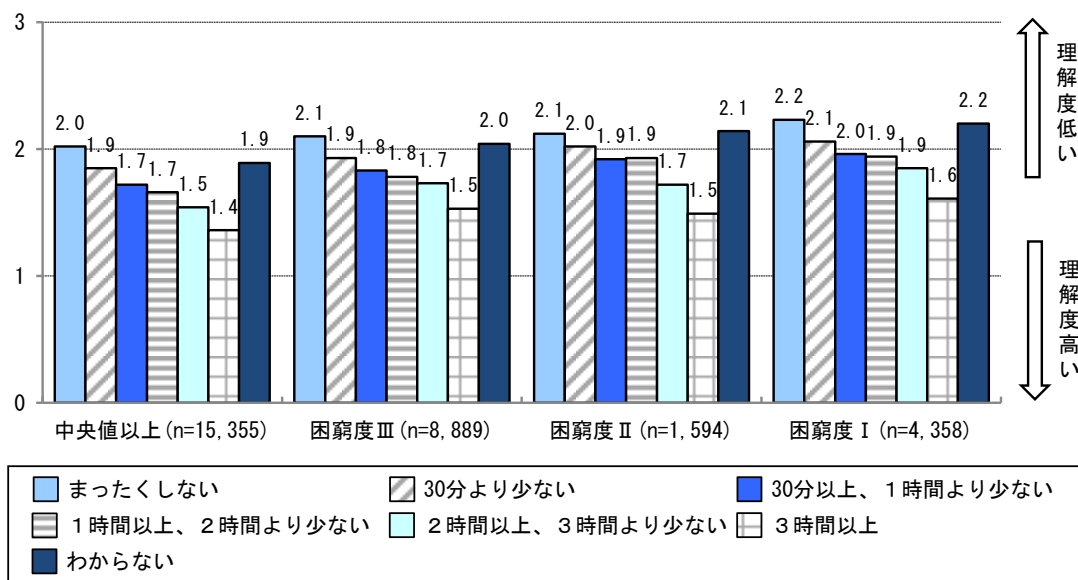


図 112. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅲ群の子どもは、概ね勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、困窮度Ⅰ・Ⅱ群の子どもは、学習時間と学習理解度が関連しない。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

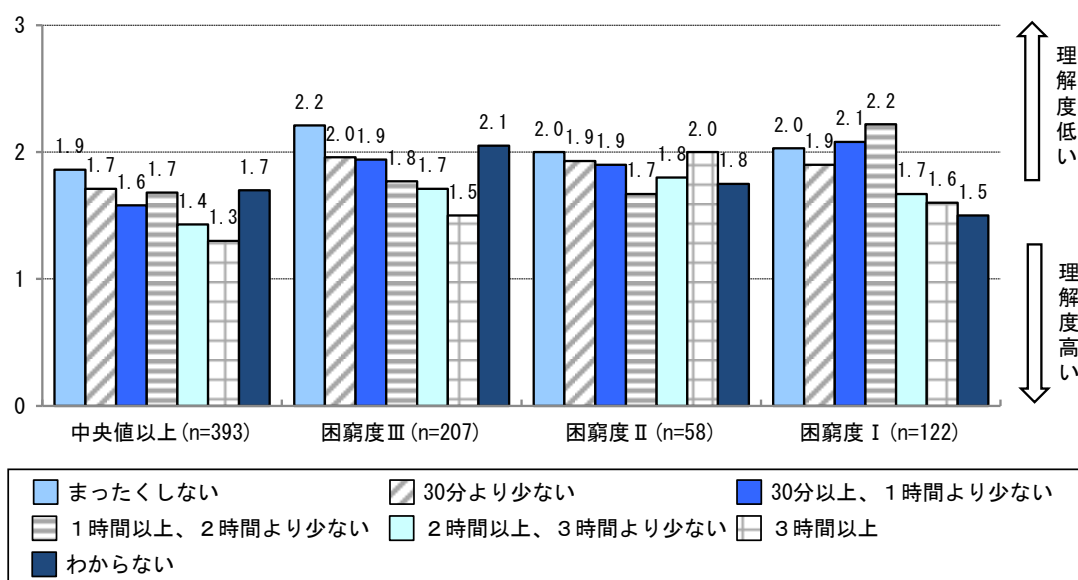
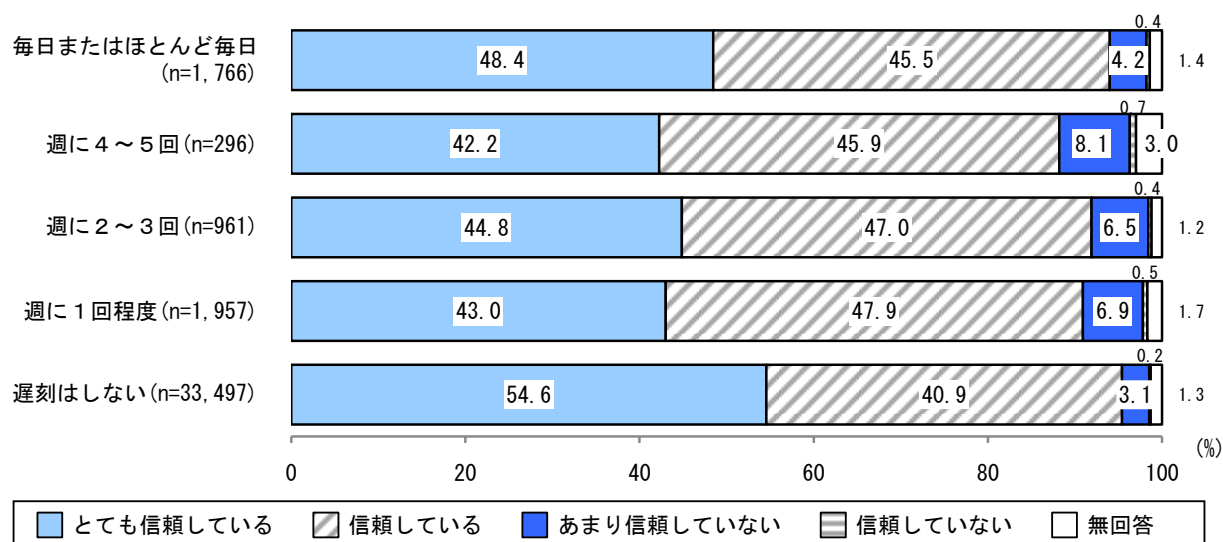


図 113. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅲ群の子どもは、概ね勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、困窮度Ⅰ・Ⅱ群の子どもは学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

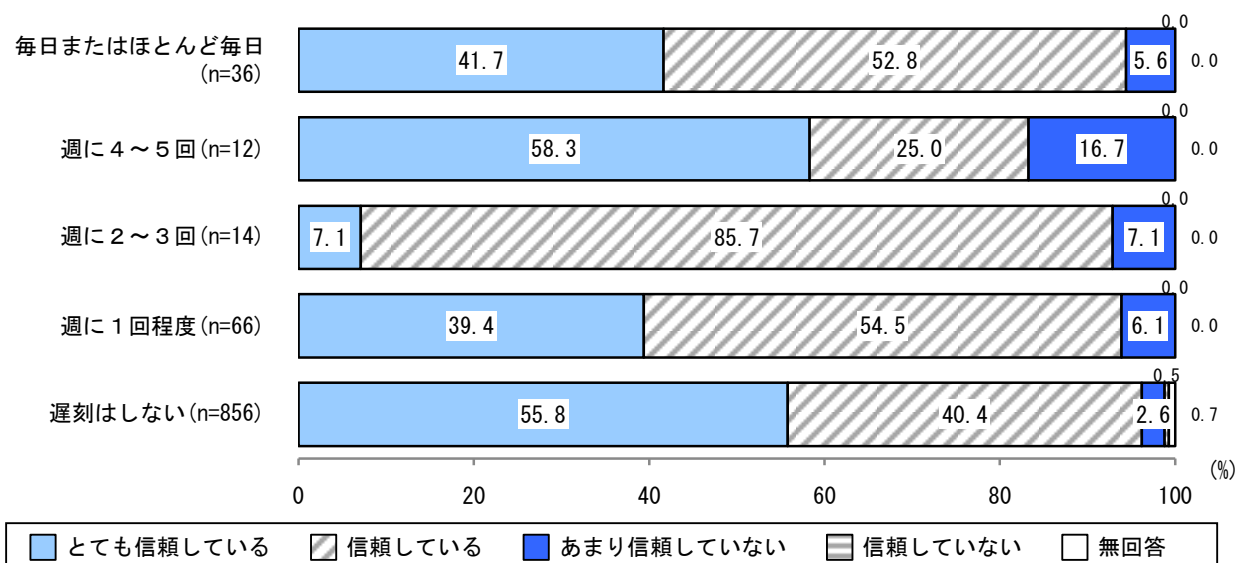
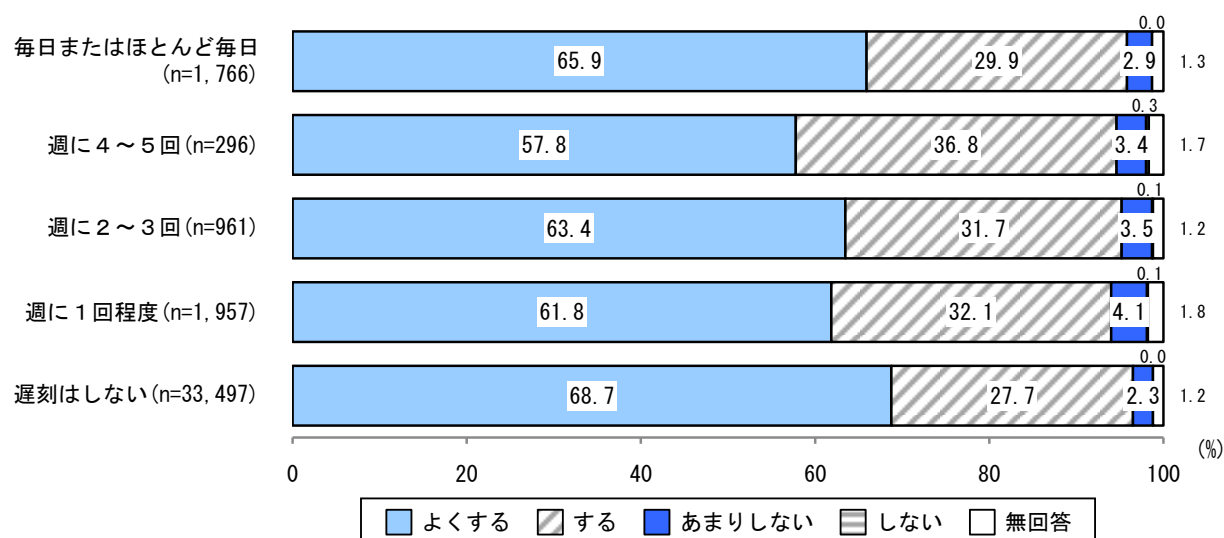


図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度

学校への遅刻別に子どもへの信頼度を見ると、「とても信頼している」は「週に 4 ～ 5 回」が 58.3%で最も高く、次いで、「遅刻はしない」が 55.8%となっている。「週に 2 ～ 3 回」の子どもにおいては、保護者は「信頼している」割合が 85.7%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問7×保護者票問13(2)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

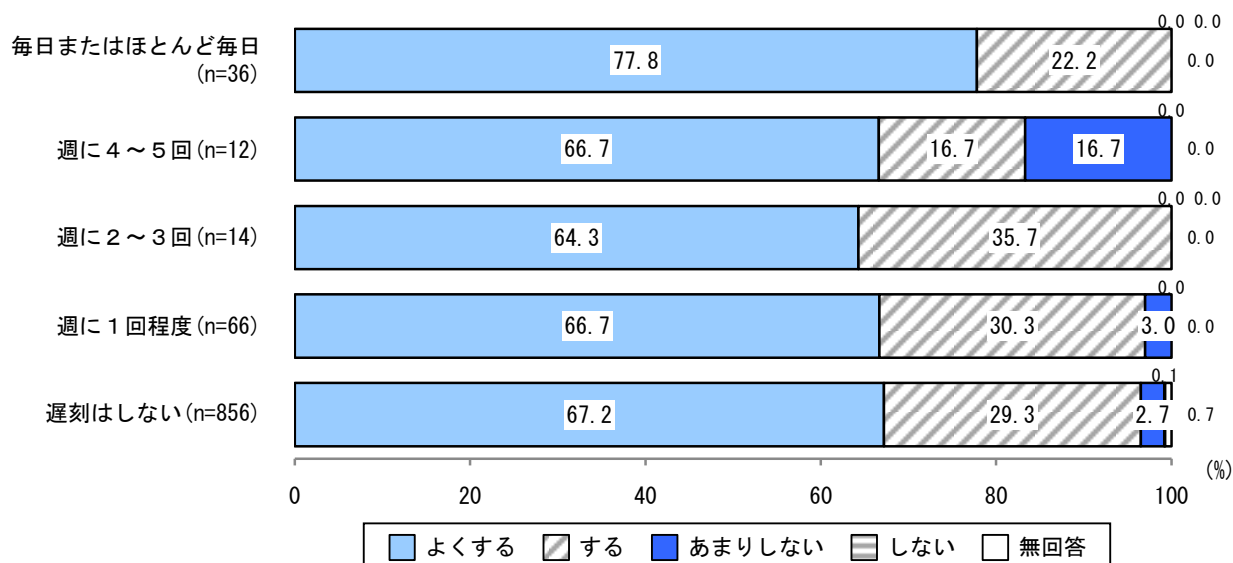
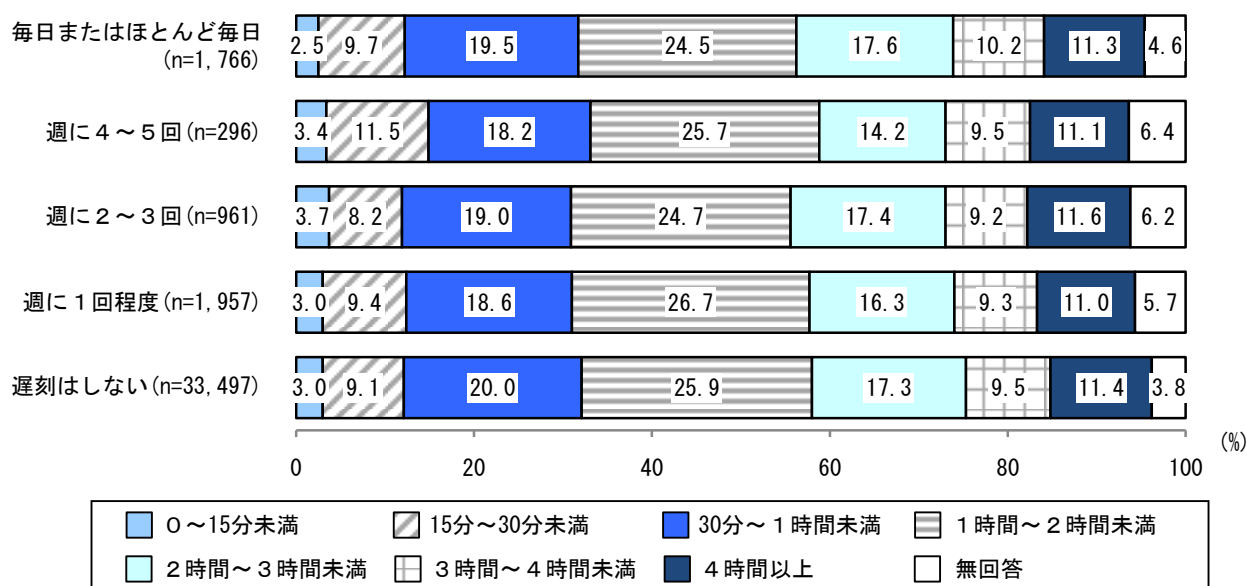


図 115. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度

学校への遅刻別に子どもとの会話頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、会話を「よくする」割合が77.8%で最も高く、次いで「週に4～5回」、「週に1回程度」の子どもが66.7%となっている。

学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

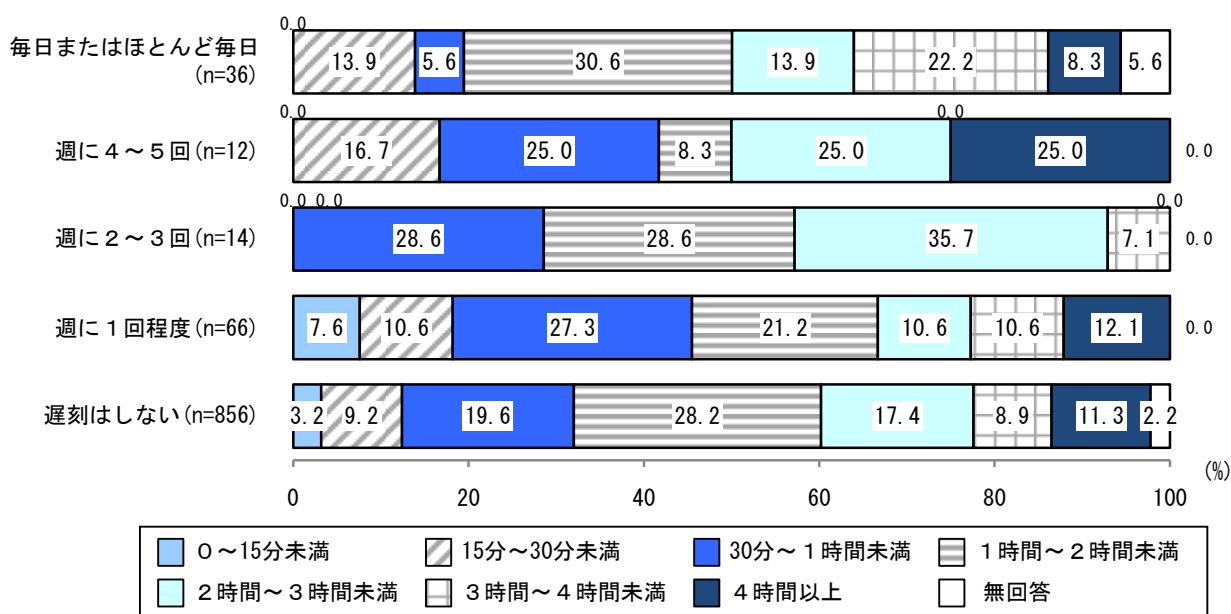
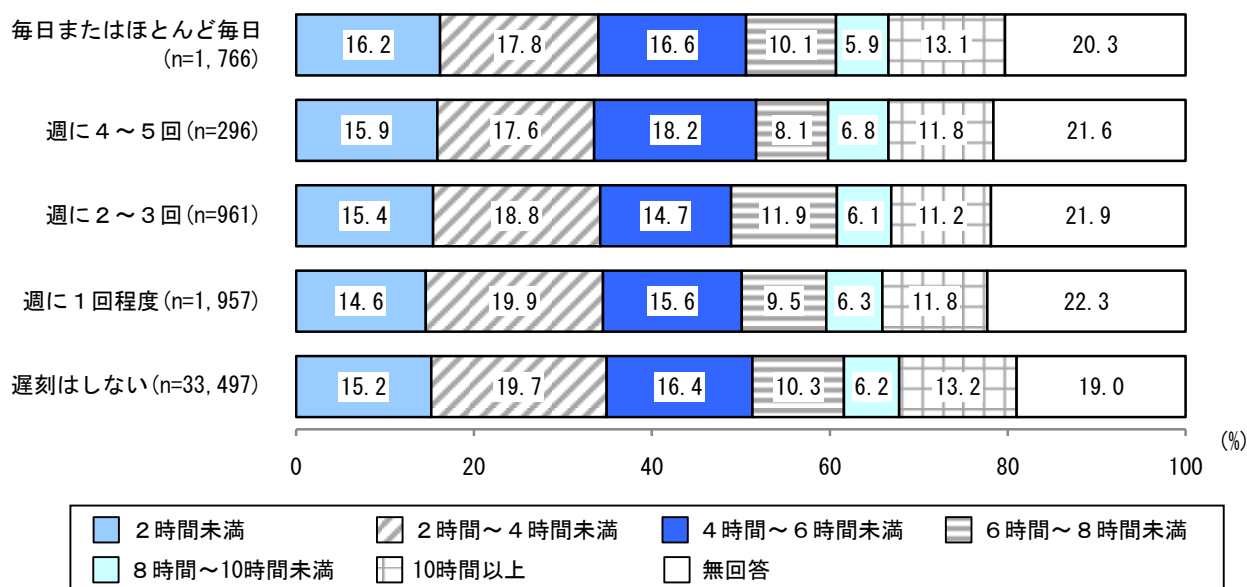


図 116. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、「1時間～2時間未満」(30.6%)、「3時間～4時間未満」(22.2%)の割合が最も高くなっている。「週に2～3回」の子どもにおいては、「30分～1時間未満」(28.6%)、「2時間～3時間未満」(35.7%)の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

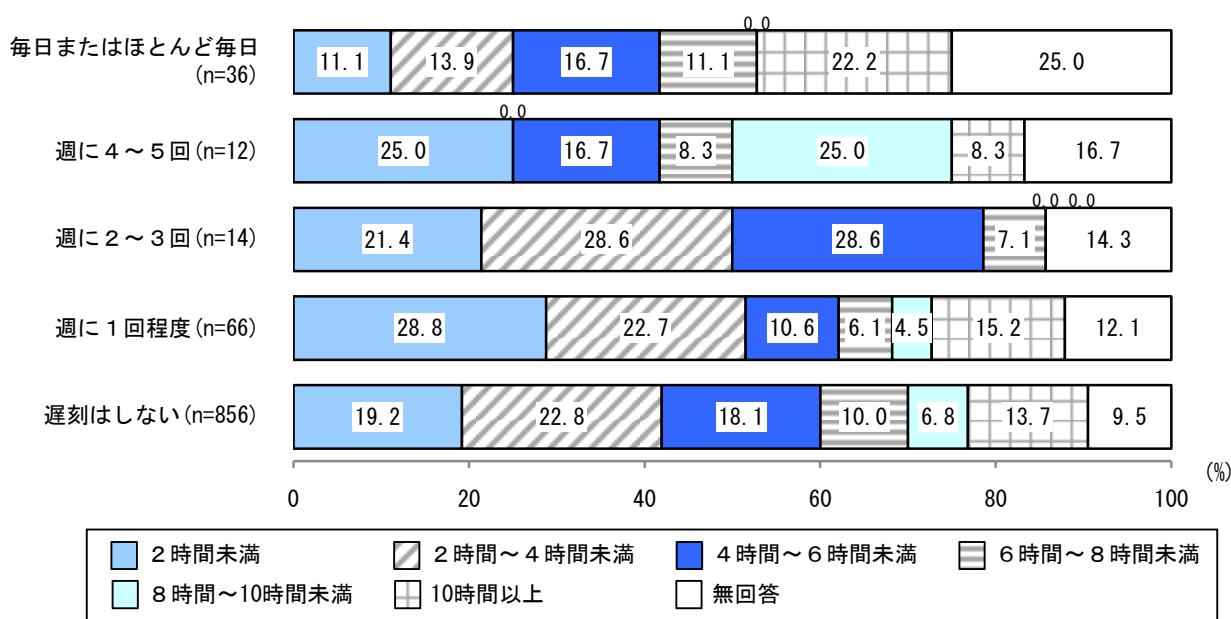
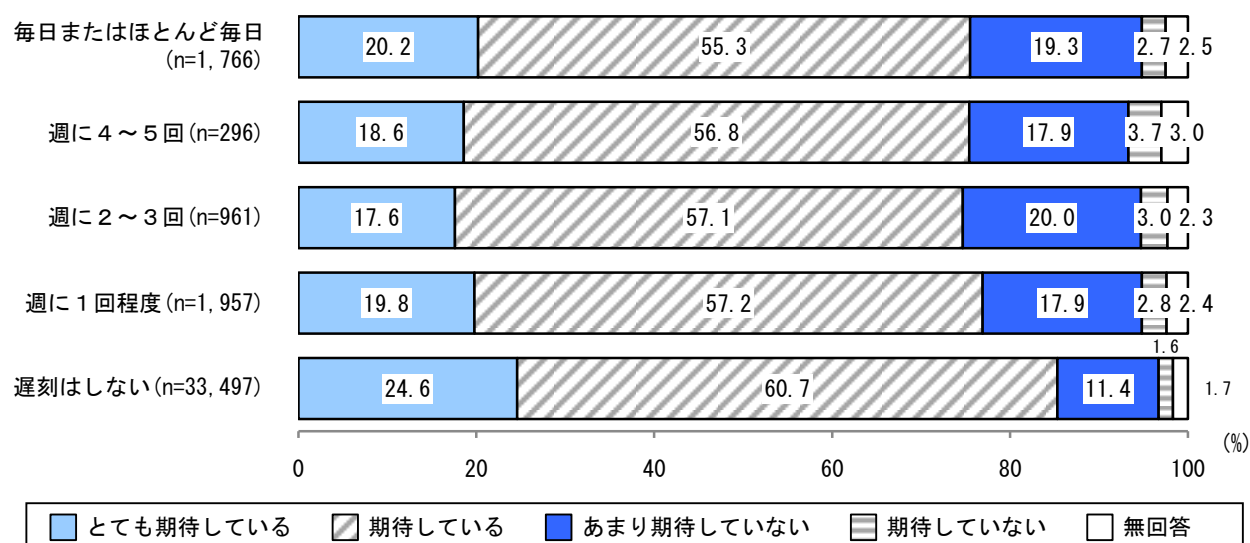


図 117. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、「2時間未満」（11.1％）の割合が最も低く、「10時間以上」（22.2％）が最も高くなっている。「週に2～3回」の子どもにおいては、「2時間～4時間未満」（28.6％）、「4時間～6時間未満」（28.6％）の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

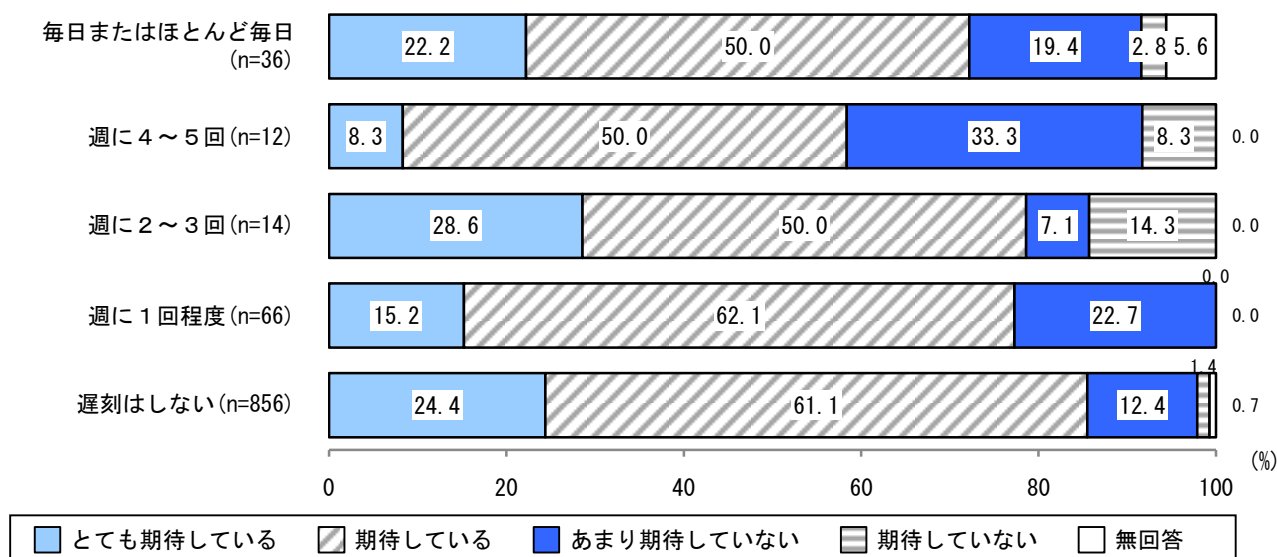
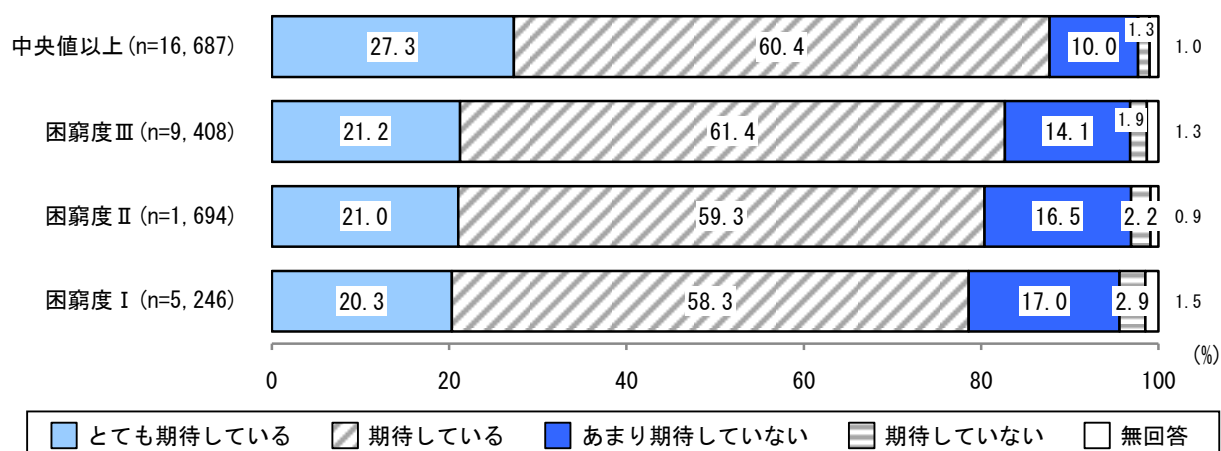


図 118. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度

学校への遅刻別に子どもの将来への期待度を見ると、「週に 2 ～ 3 回」の子どもにおいては、「とても期待している」の割合が 28.6% で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの将来への期待度（保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

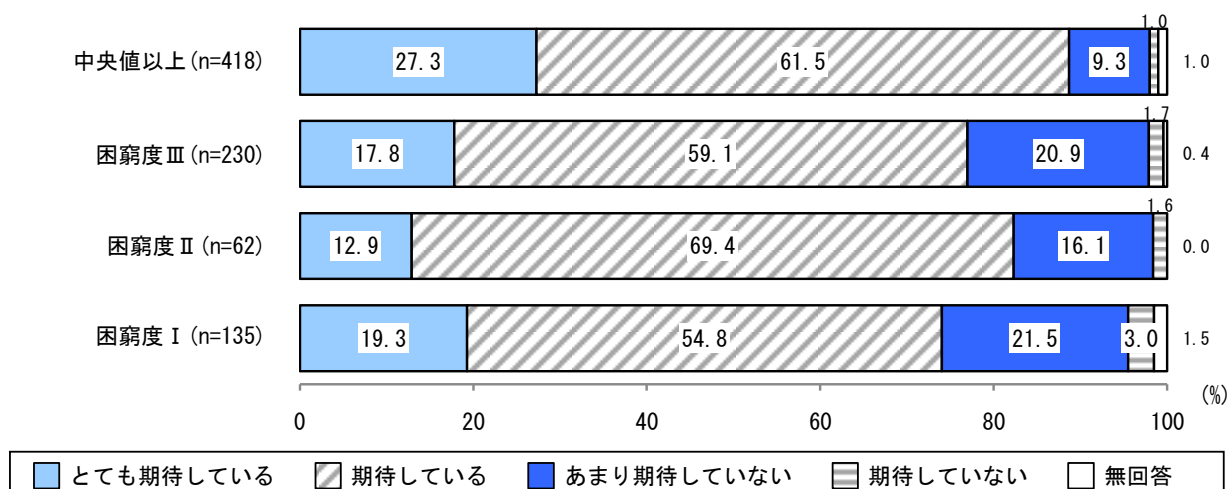
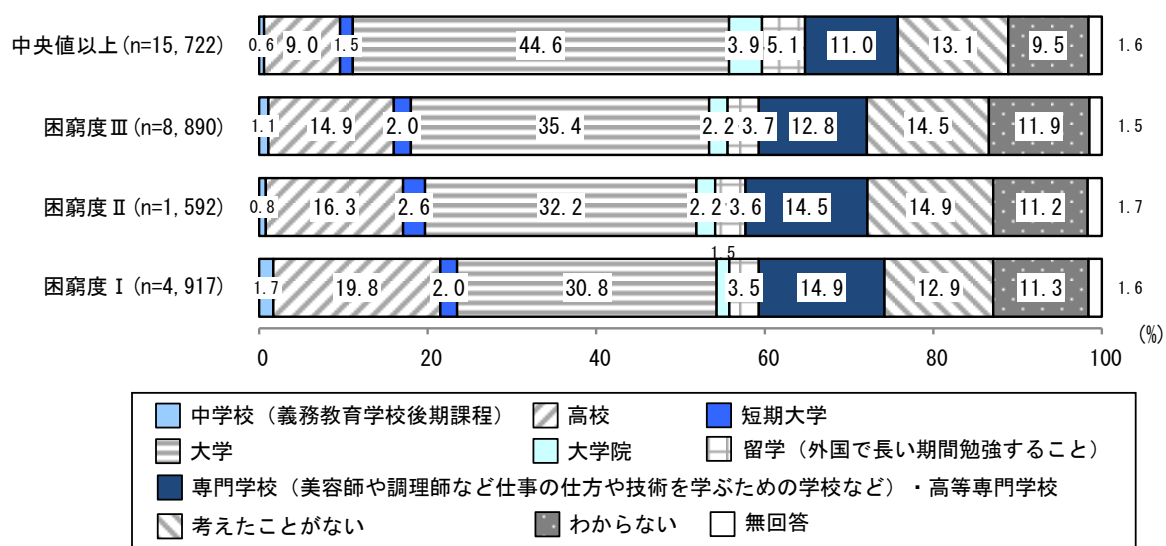


図 119. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度

困窮度別に子どもの将来への期待度を見ると、「とても期待している」の割合は困窮度Ⅱ群が12.9%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<富田林市>

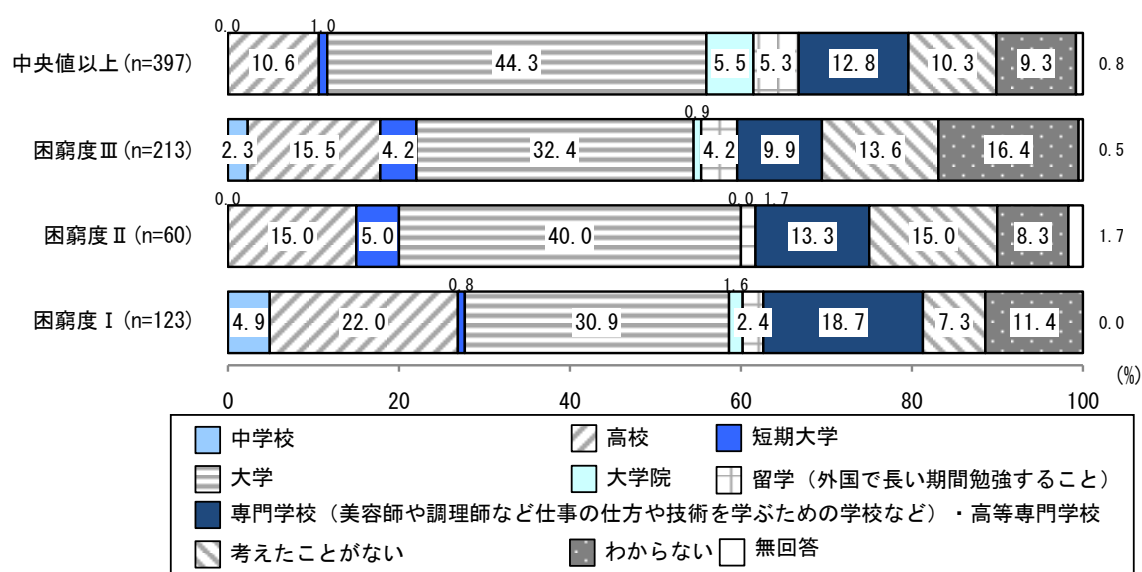
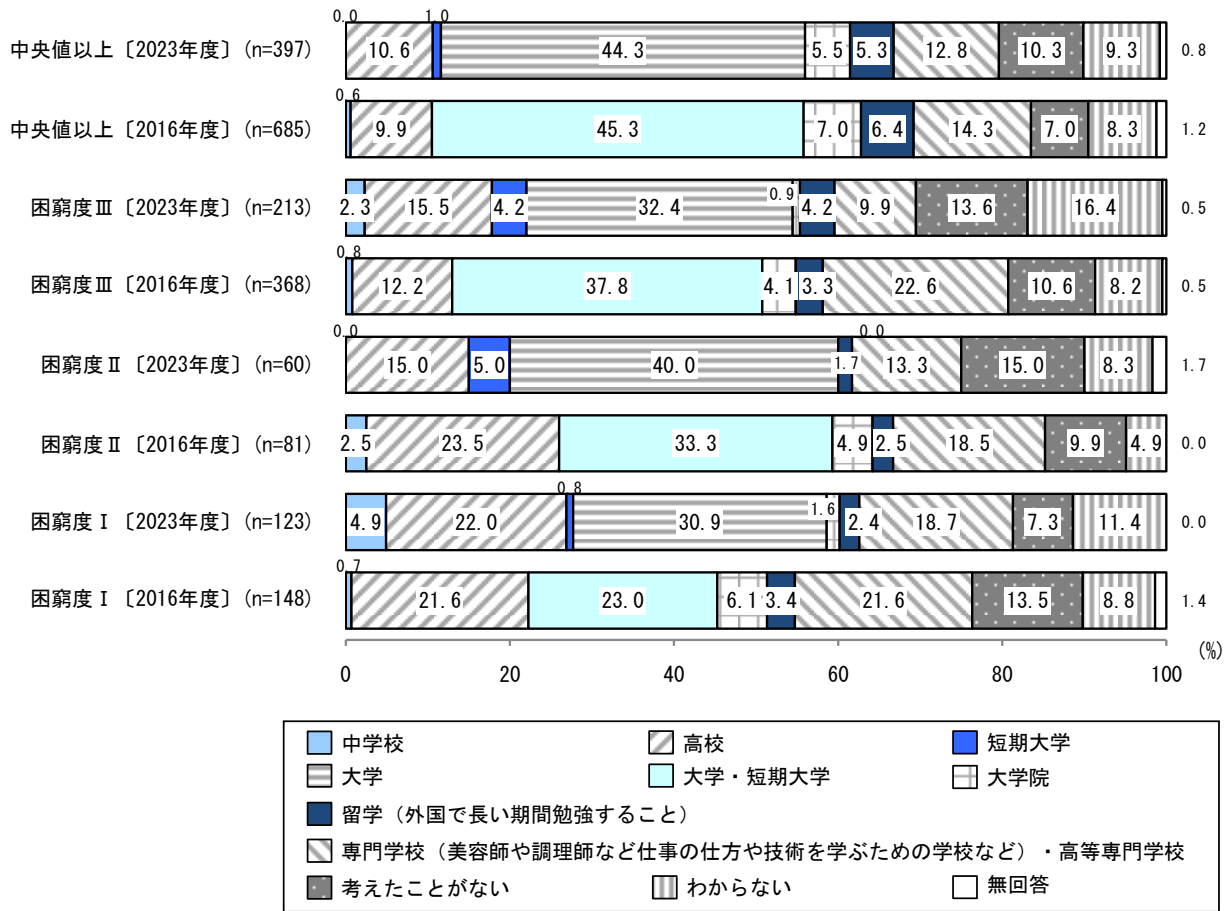


図 120. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、概ね困窮度が高まるにつれ、「高校」の割合が高く、困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した子どもは合計26.9%となっている。中央値以上群において「大学」と回答した割合は44.3%で最も高くなっている。

<2016 年度調査との比較／富田林市>



※1 「短期大学」「大学」は、2016 年度調査では「大学・短期大学」

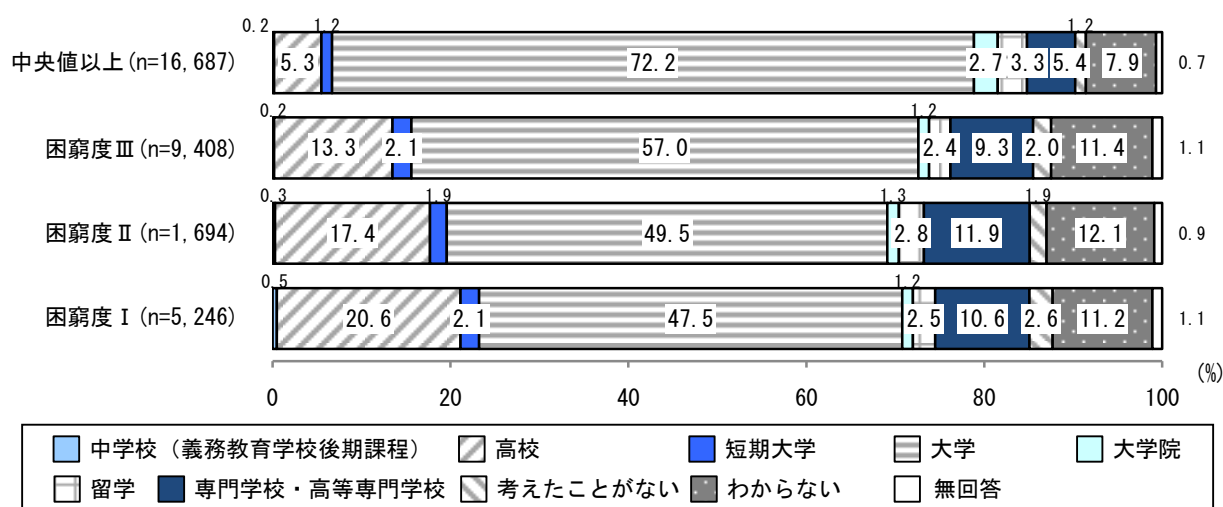
※2 「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」は、2016 年度調査では「専門学校」

図 121. 困窮度別に見た、希望する進学先（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて低くなっている。

困窮度別に見た、子どもに希望する進学（保護者票問 14）

<大阪府内全体>



<富田林市>

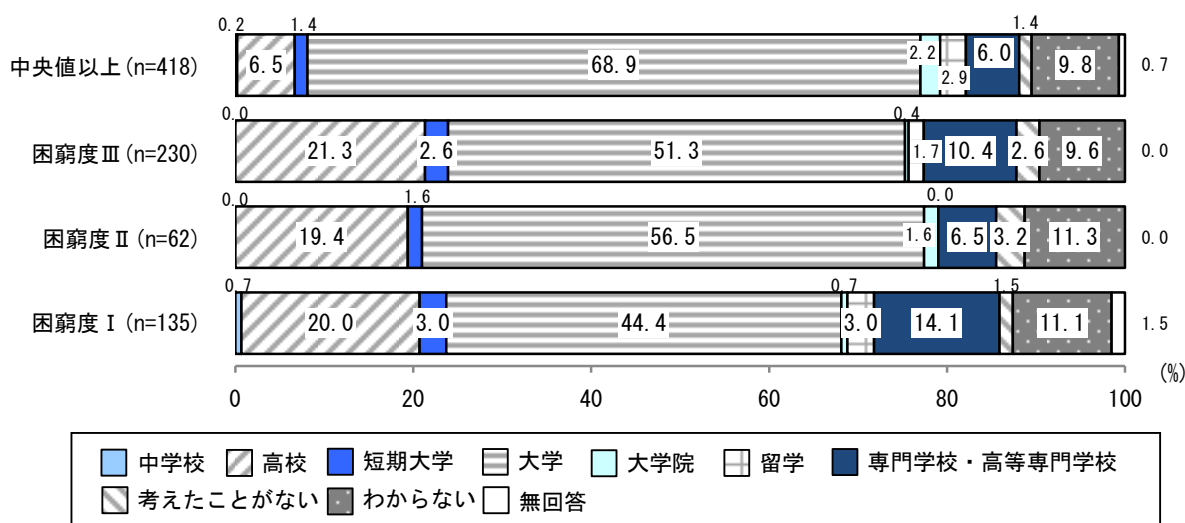
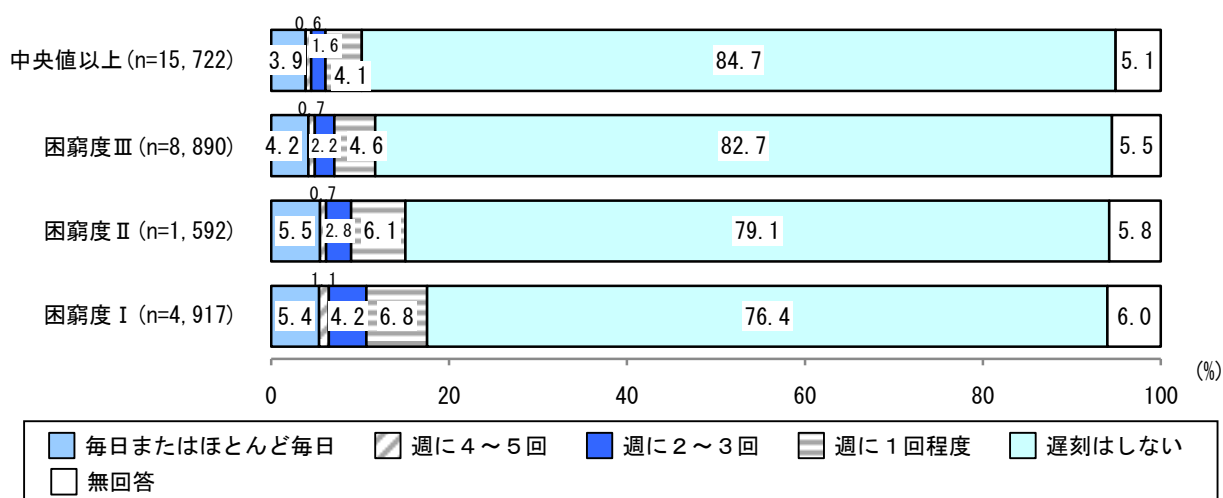


図 122. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学

困窮度別に子どもに希望する進学先を見ると、「高校」と回答した人の割合は、中央値以上群では6.5%であるが、それ以外の困窮度では約2割が「高校」を希望している。中央値以上群において、「大学」と回答した人の割合は68.9%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問7）

<大阪府内全体>



<富田林市>

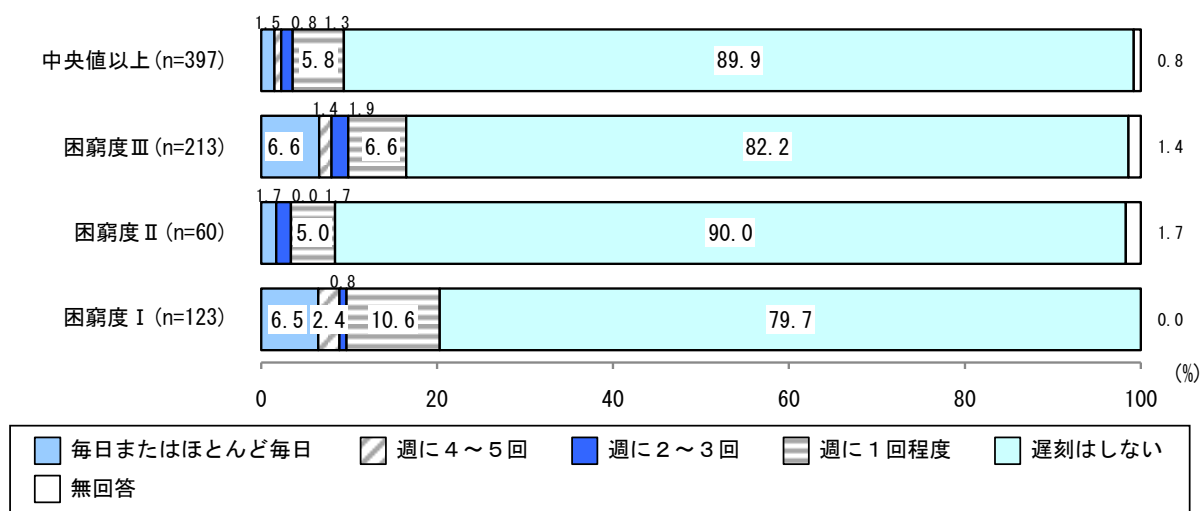
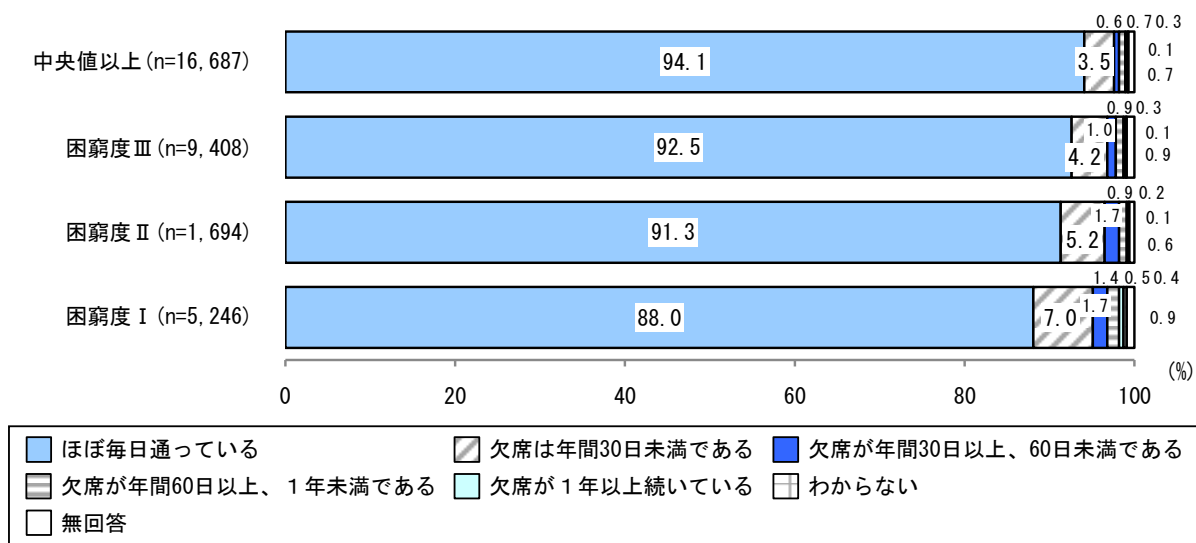


図 123. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、「毎日またはほとんど毎日」は困窮度Ⅲ群が6.6%で最も高く、次いで困窮度Ⅰ群が6.5%となっている。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 15）

<大阪府内全体>



<富田林市>

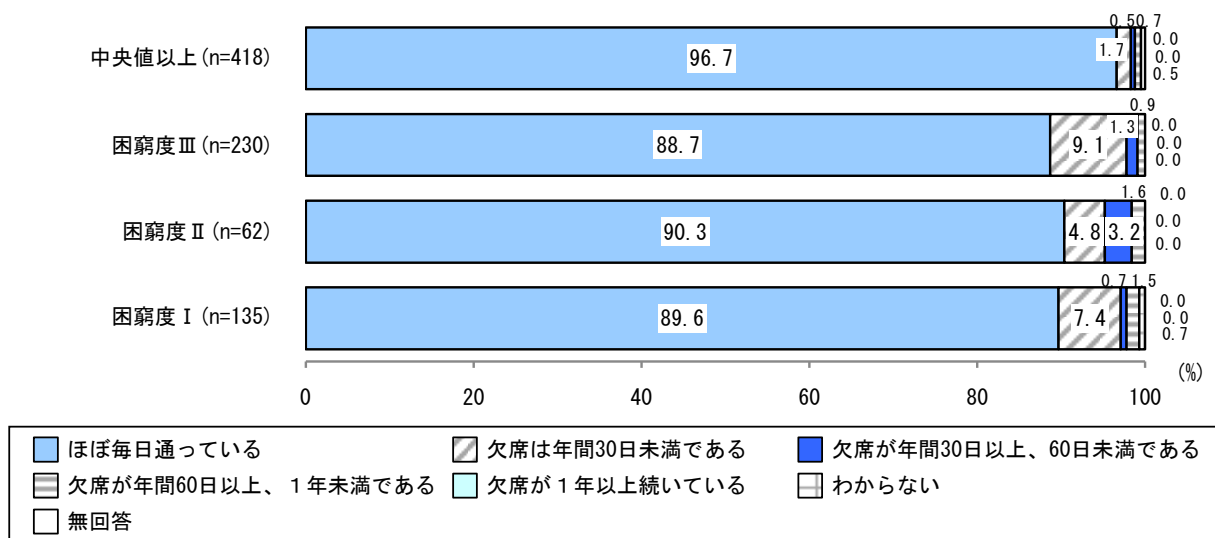
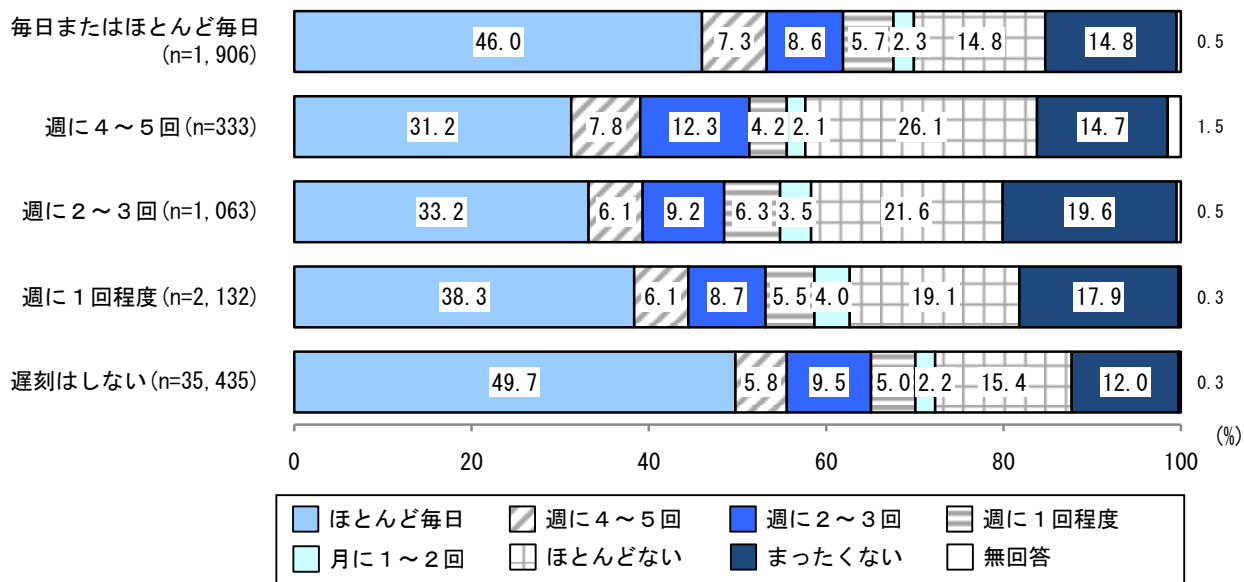


図 124. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の割合は、困窮度Ⅲ群が88.7%で最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8①)

<大阪府内全体>



<富田林市>

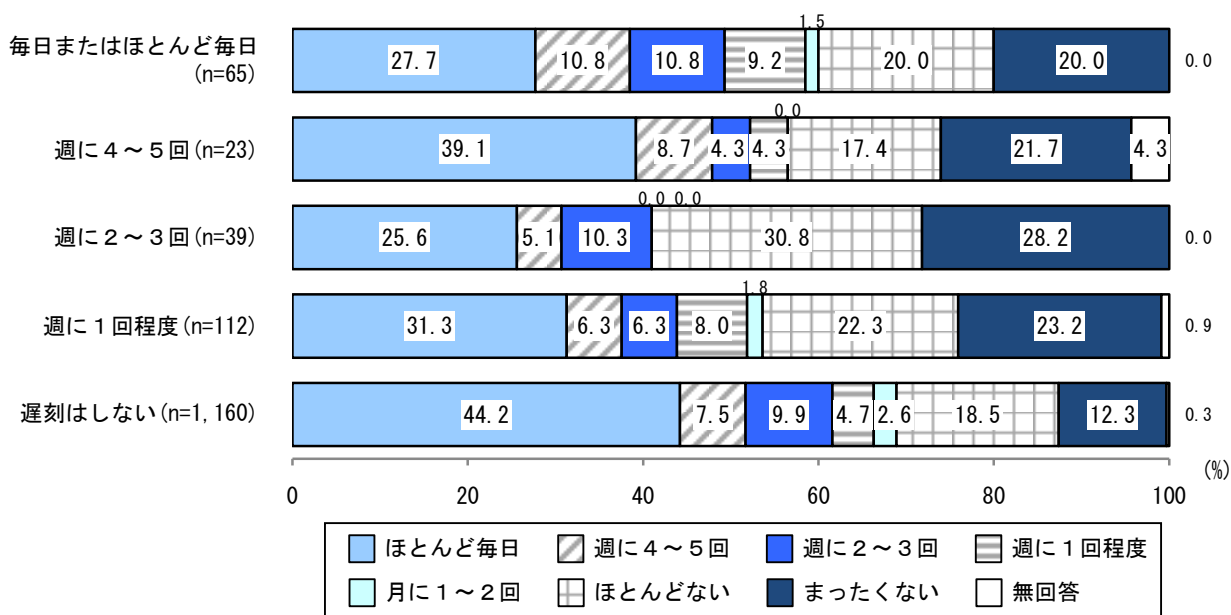
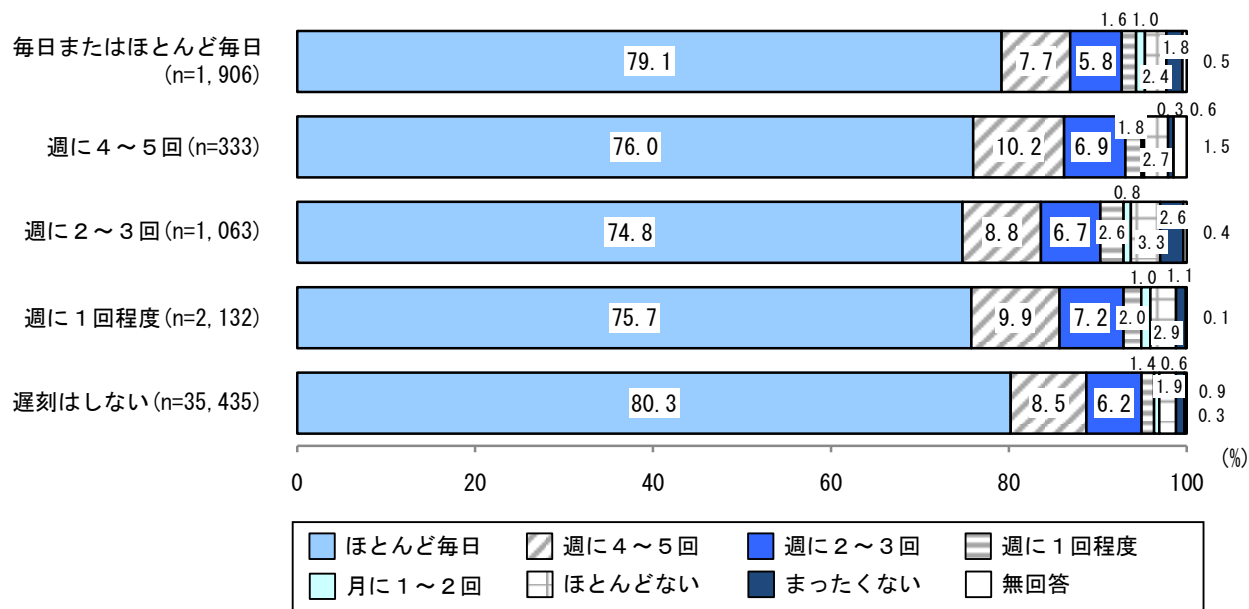


図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は「遅刻はしない」子どもが44.2%で最も高く、一方で、「まったくない」は「週に2～3回」遅刻をしている子どもの割合が28.2%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8②)

<大阪府内全体>



<富田林市>

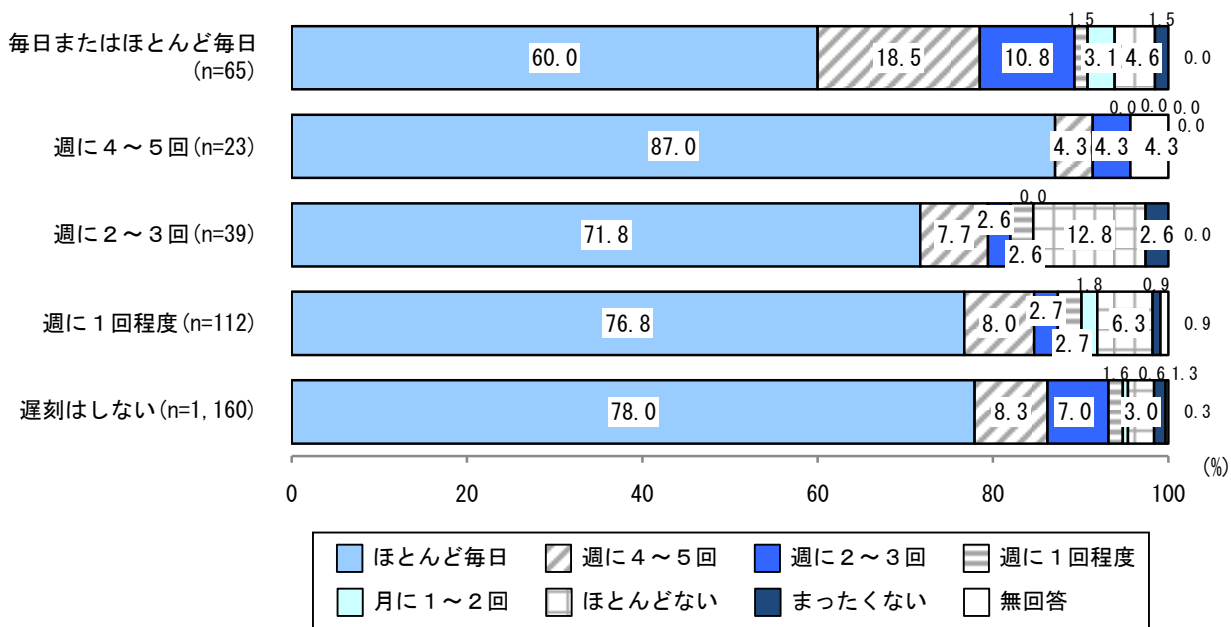
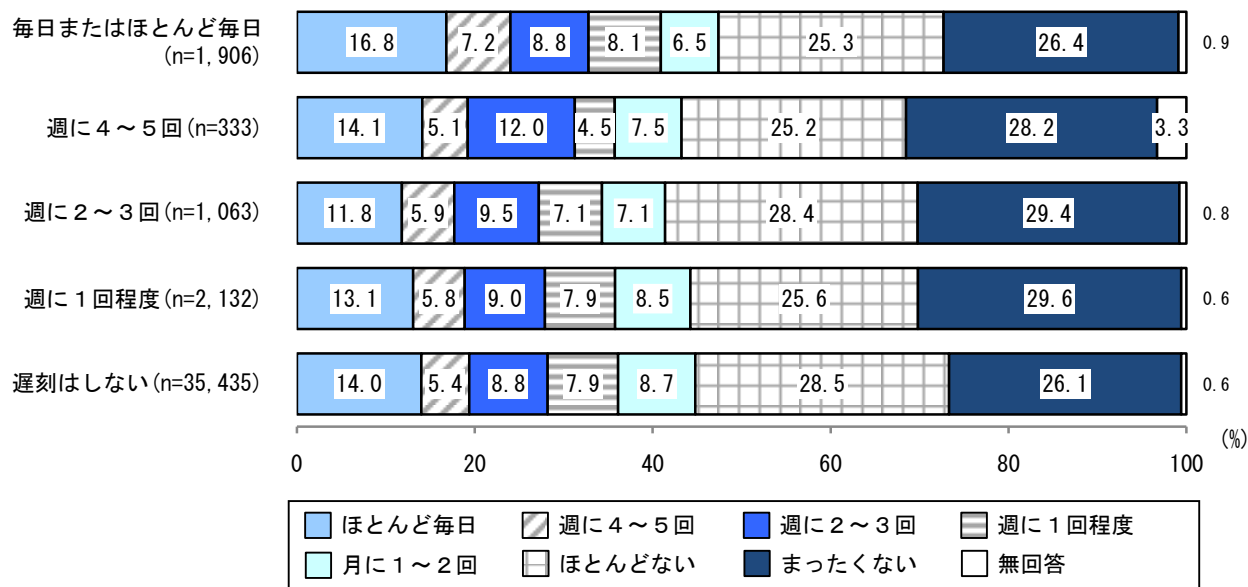


図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は「週に4～5回」の子どもが87.0%で最も高く、一方で、「ほとんどない」は「週に2～3回」遅刻をしている子どもの割合が12.8%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（子ども票問7×保護者票問8⑤）

<大阪府内全体>



<富田林市>

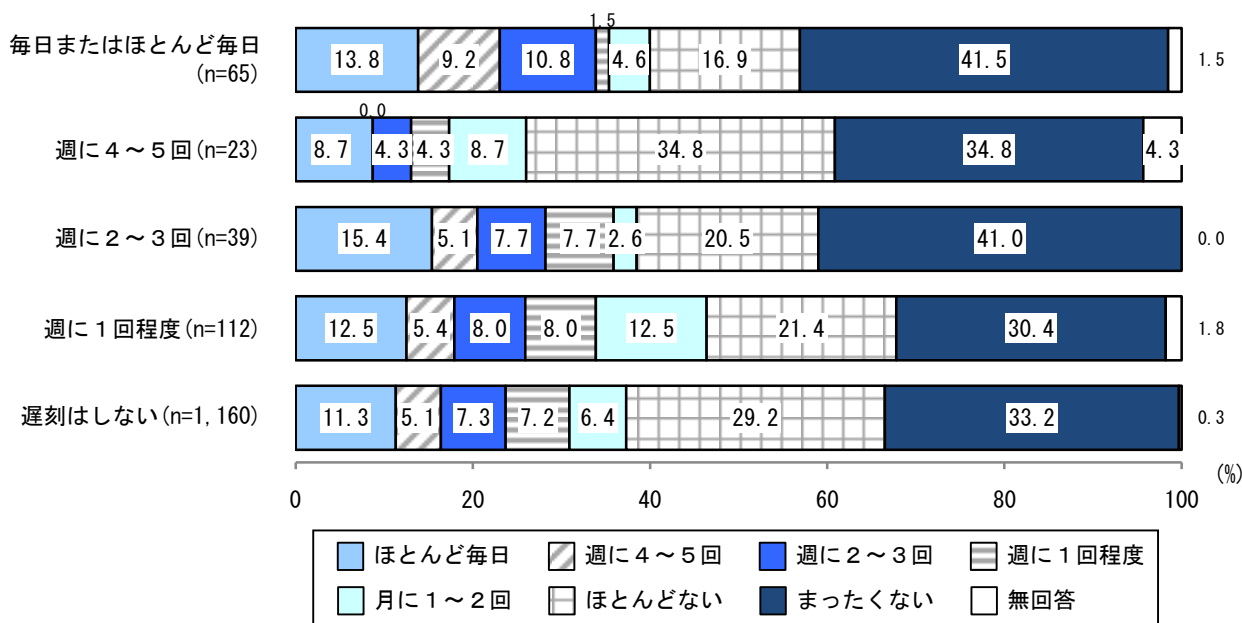
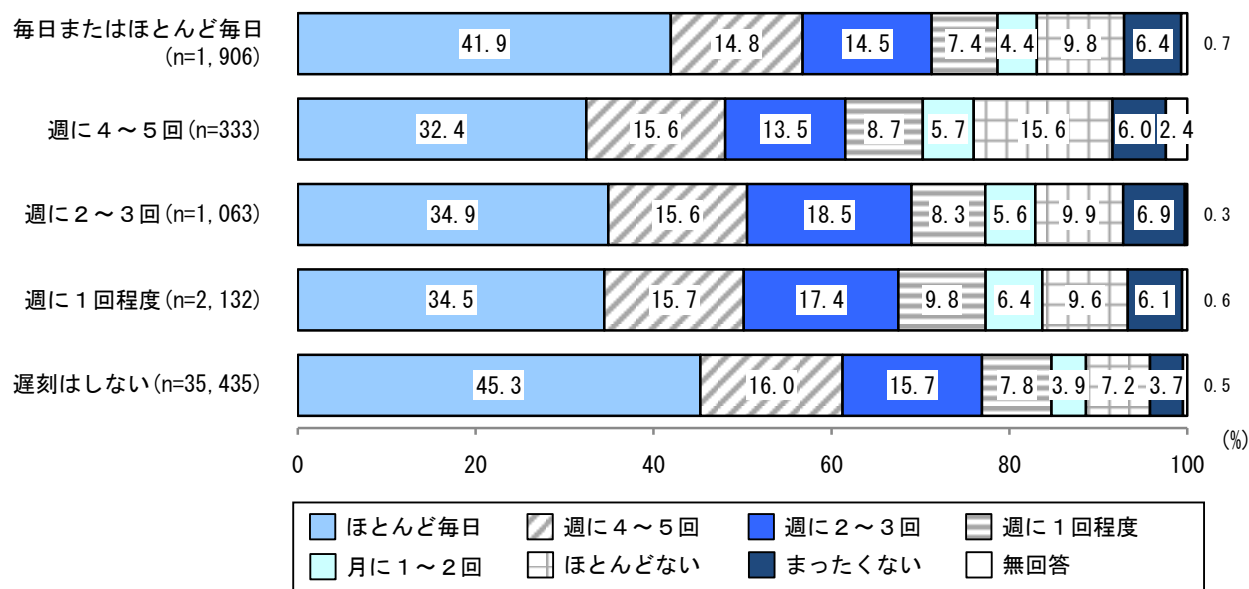


図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

学校への遅刻別におうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は「週に2～3回」遅刻をしている子どもが15.4%で最も高く、一方で、「まったくない」は「毎日またはほとんど毎日」遅刻をしている子どもが41.5%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑥)

<大阪府内全体>



<富田林市>

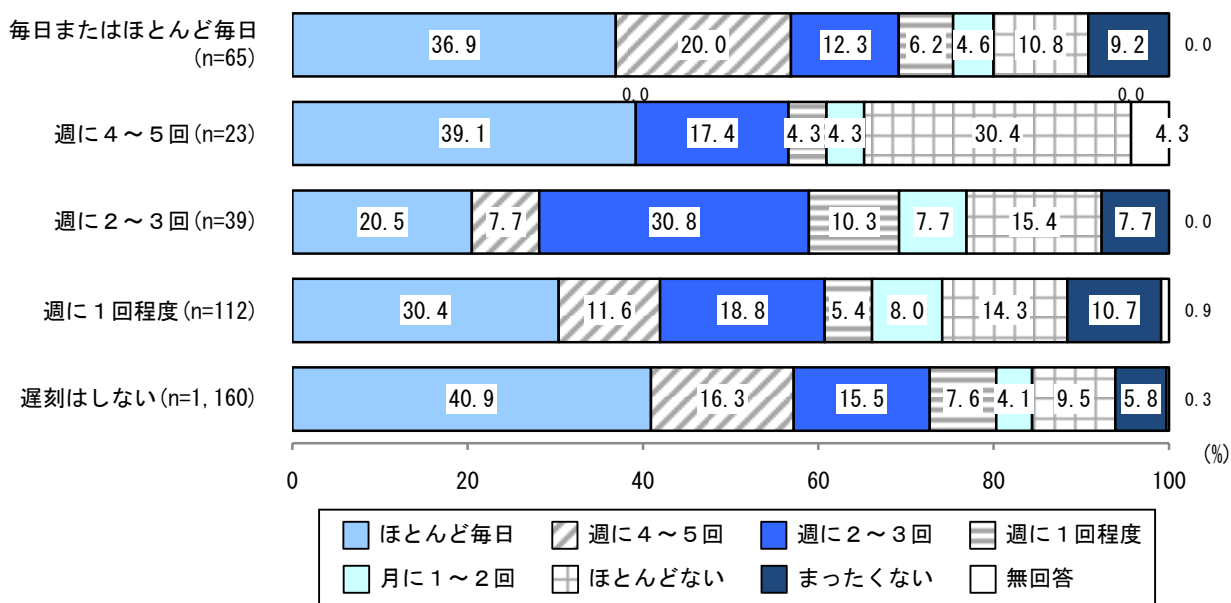
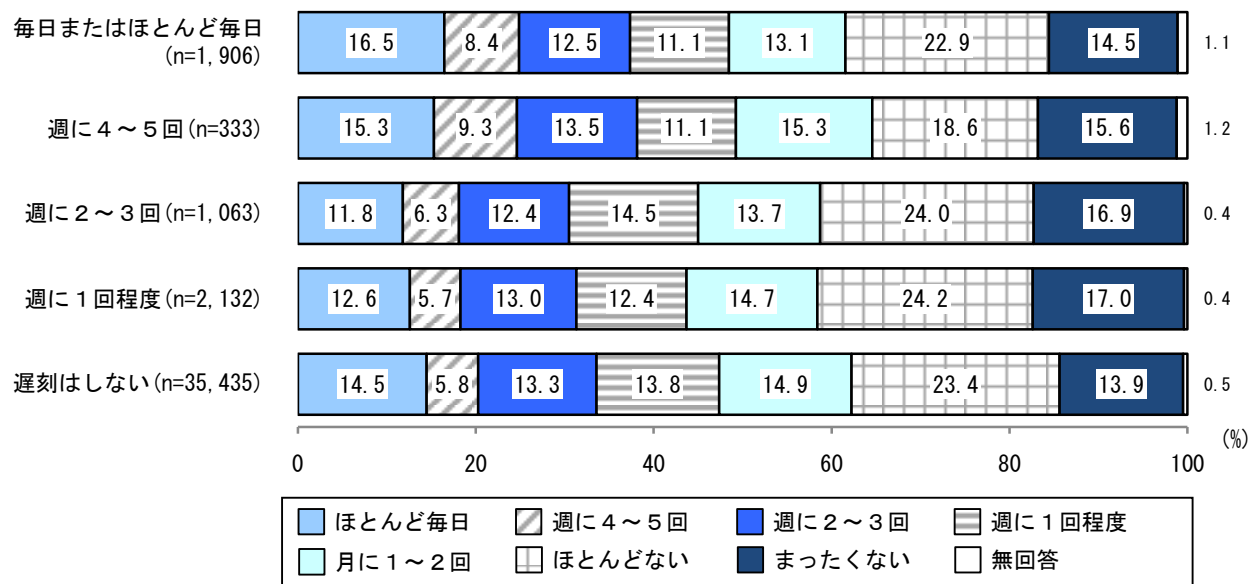


図 128. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は「遅刻はしない」子どもが40.9%で最も高く、一方で、「まったくない」は「週に1回程度」遅刻をしている子どもの割合が10.7%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(子ども票問7×保護者票問8⑦)

<大阪府内全体>



<富田林市>

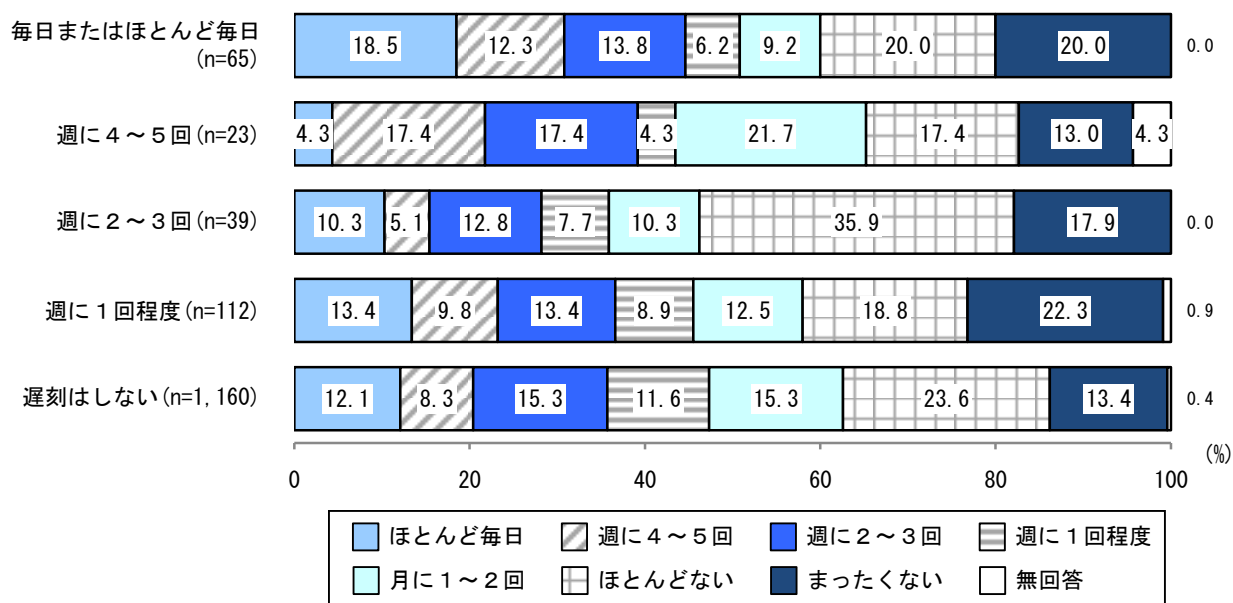
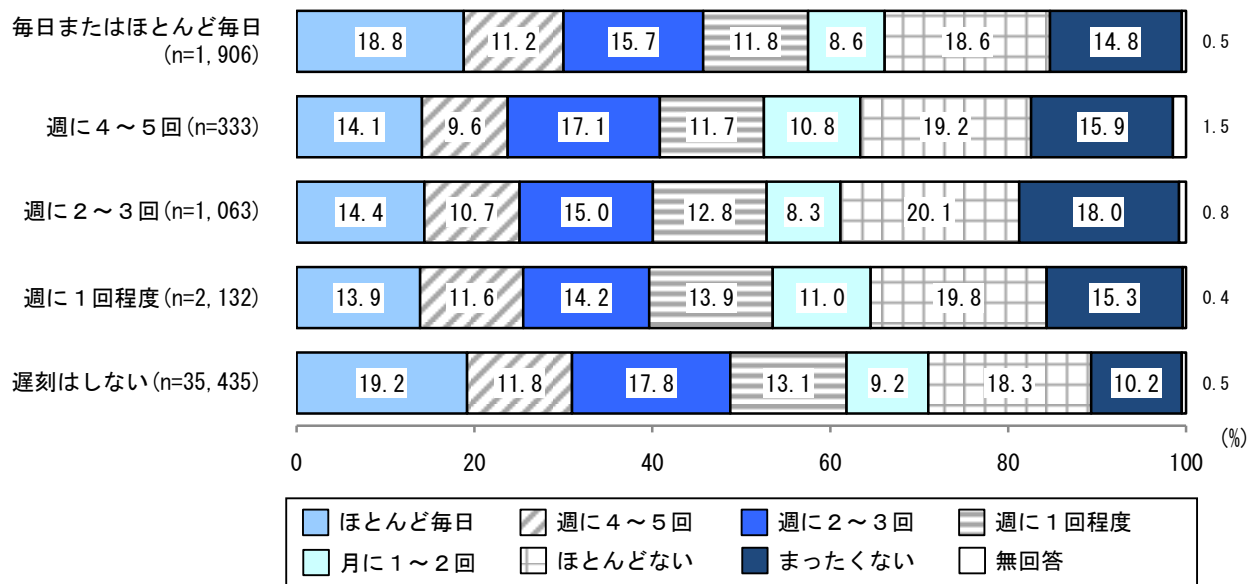


図 129. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は「毎日またはほとんど毎日」遅刻をしている子どもが18.5%で最も高く、一方で、「まったくない」は「週に1回程度」遅刻をしている子どもの割合が22.3%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑧)

<大阪府内全体>



<富田林市>

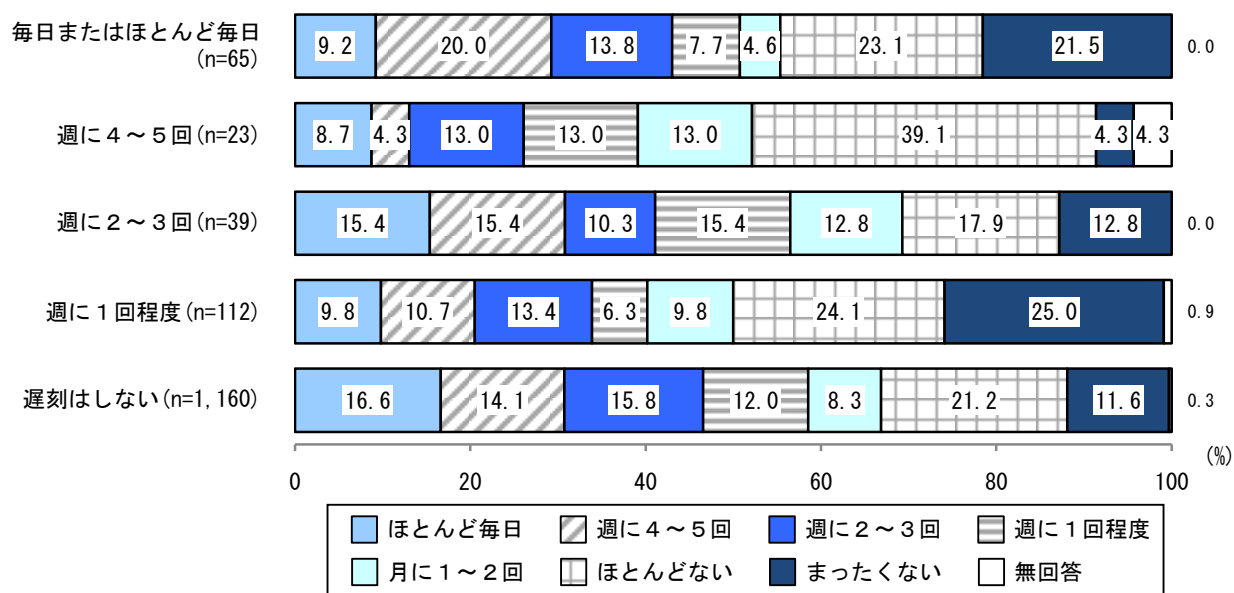
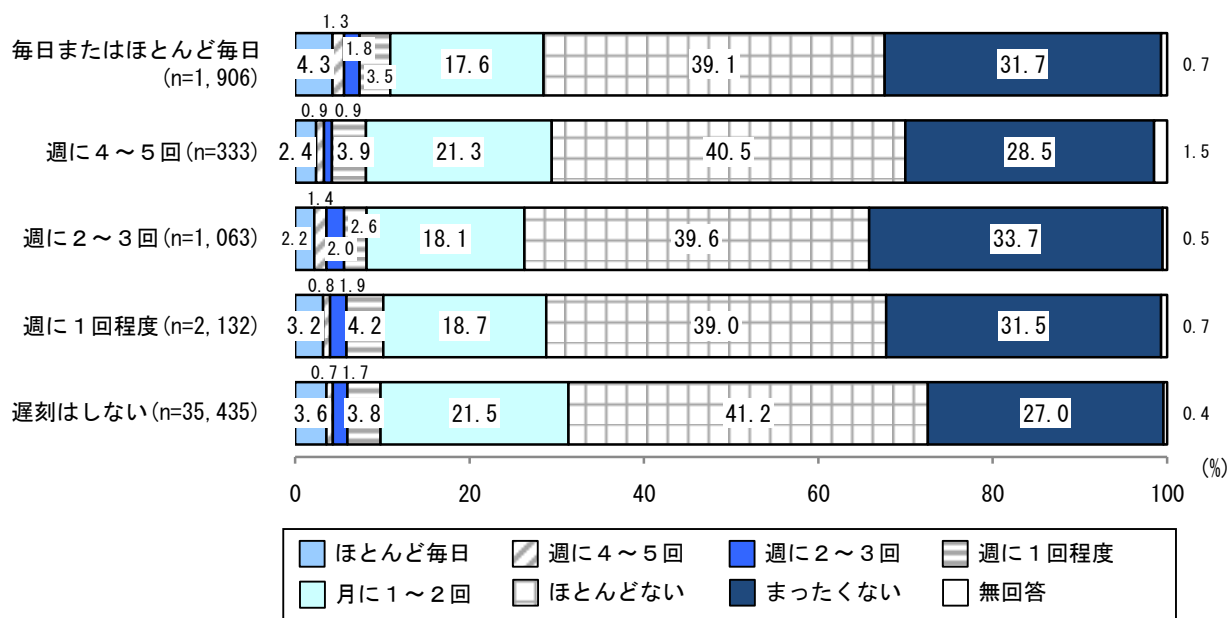


図 130. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は「遅刻はしない」子どもが16.6%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は「週に1回程度」遅刻をしている子どもの割合が25.0%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか
(子ども票問7×保護者票問8⑨)

<大阪府内全体>



<富田林市>

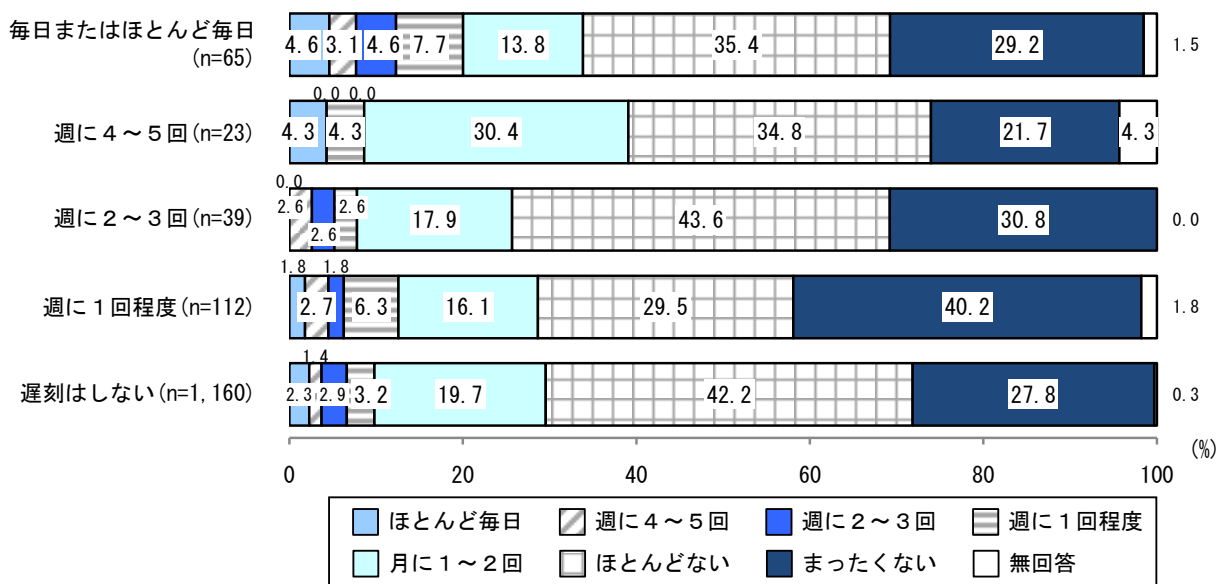
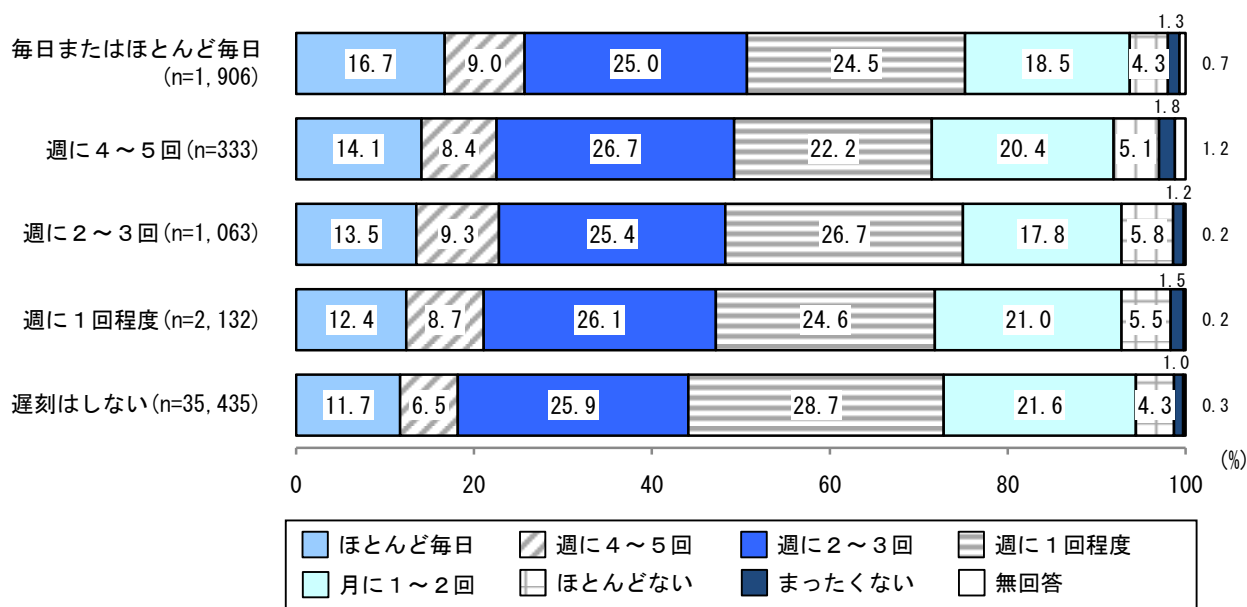


図 131. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「ほとんどない」は「週に2～3回」遅刻をしている子どもの割合が43.6%、「遅刻はしない」子どもの割合が42.2%、週に「毎日またはほとんど毎日」遅刻をしている子どもの割合が35.4%で高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(子ども票問7×保護者票問8⑩)

<大阪府内全体>



<富田林市>

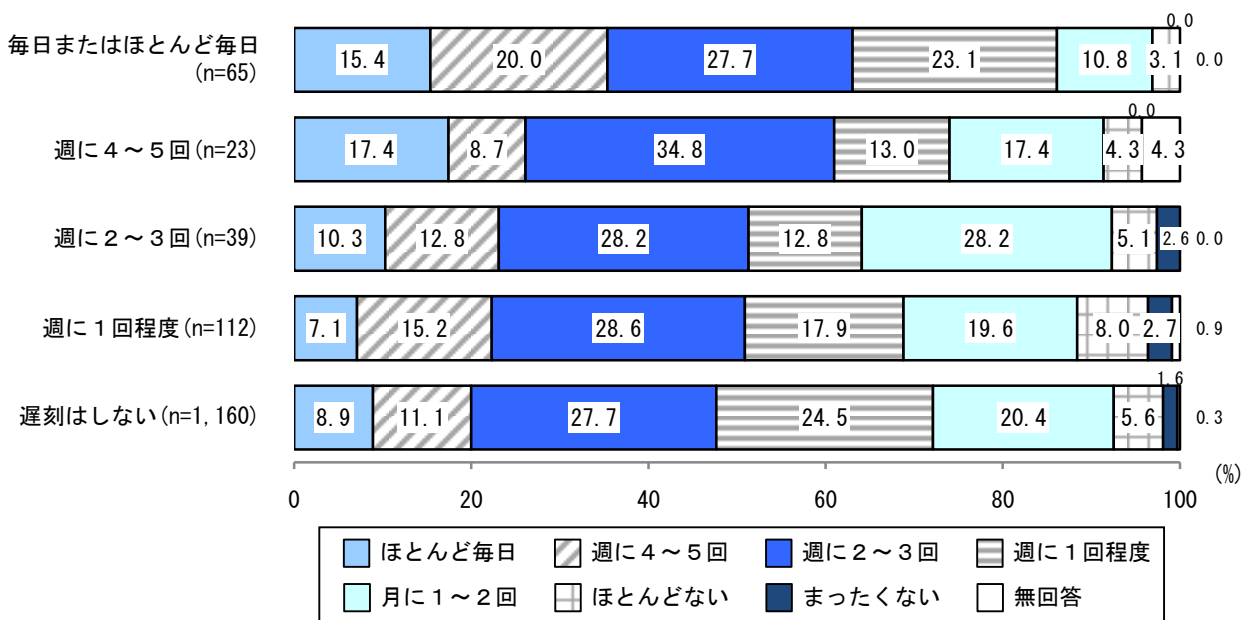
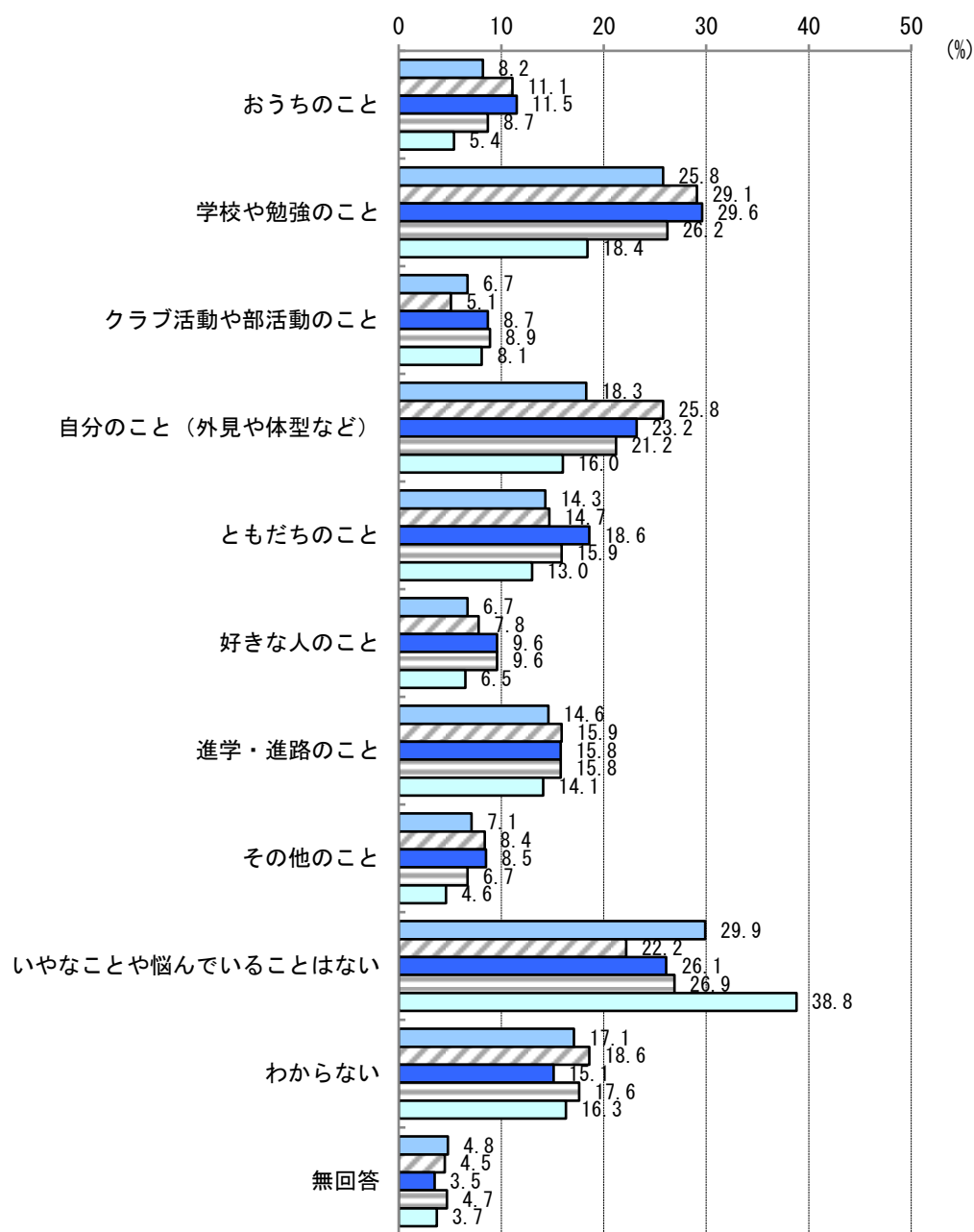


図 132. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は「週に4～5回」遅刻をしている子どもが17.4%で割合が最も高く、一方で、「ほとんどない」は「週に1回程度」遅刻をしている子どもの割合が8.0%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問7×子ども票問17）

<大阪府内全体>



■ 毎日またはほとんど毎日 (n=1,906)
 ■ 週に4～5回 (n=333)
 ■ 週に2～3回 (n=1,063)
■ 週に1回程度 (n=2,132)
 ■ 遅刻はしない (n=35,435)

<富田林市>

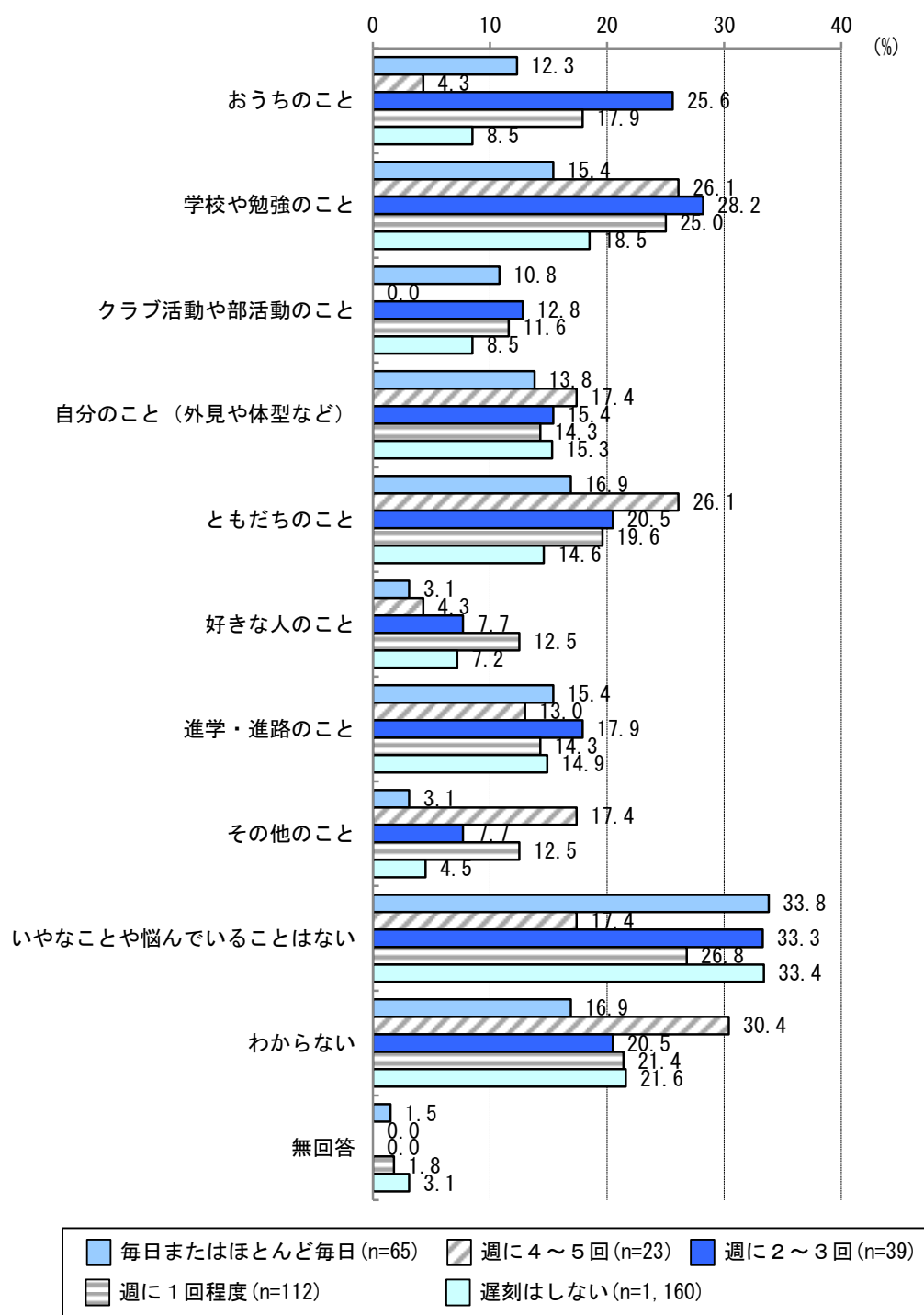
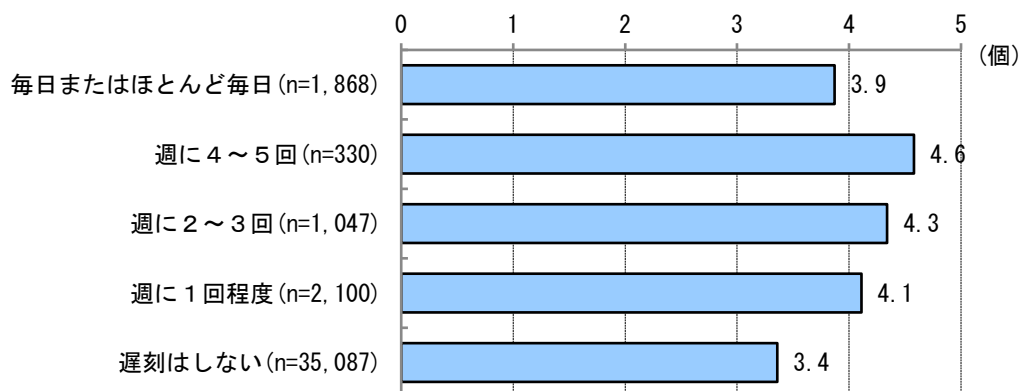


図 133. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること

学校への遅刻別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「おうちのこと」の割合は「週に2～3回」遅刻をしている子どもが25.6%で割合が最も高く、一方で、「いやなことや悩んでいることはない」は「毎日またはほとんど毎日」遅刻をしている子どもの割合が33.8%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(子ども票問7×子ども票問19・20)

<大阪府内全体>



<富田林市>

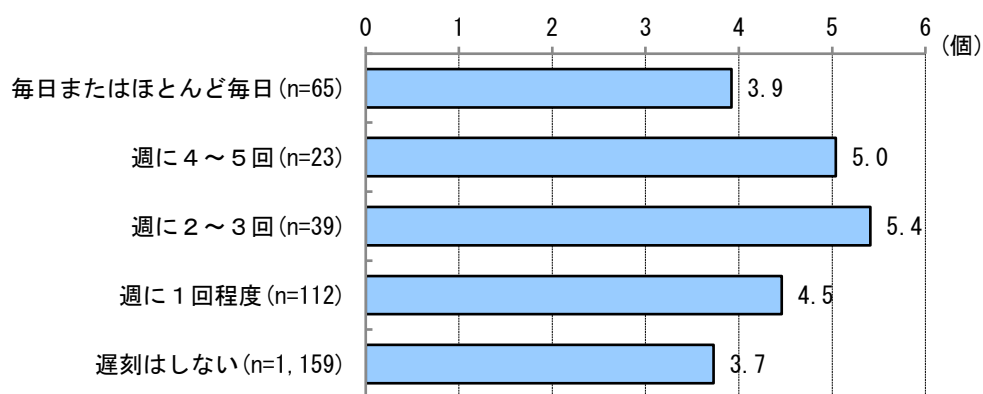
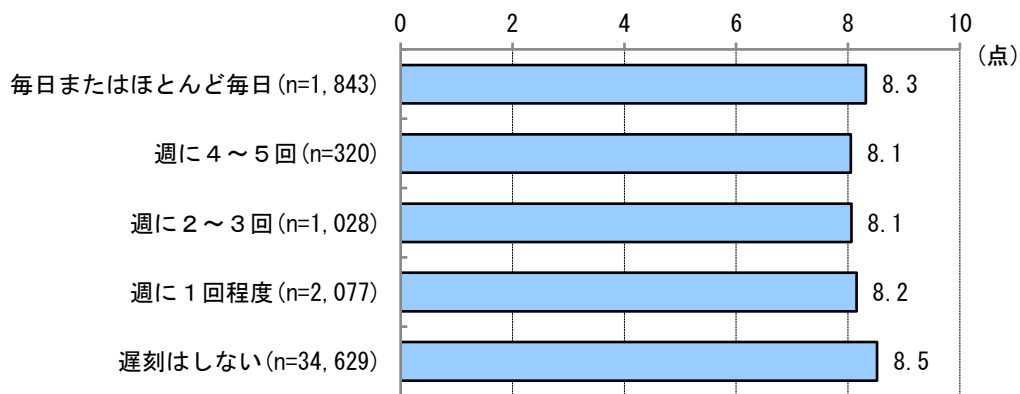


図 134. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

学校への遅刻別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「週に2～3回」遅刻をしている子どもが5.4個で最も多く、次いで「週に4～5回」遅刻をしている子どもが5.0個となっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問7×子ども票問23）

<大阪府内全体>



<富田林市>

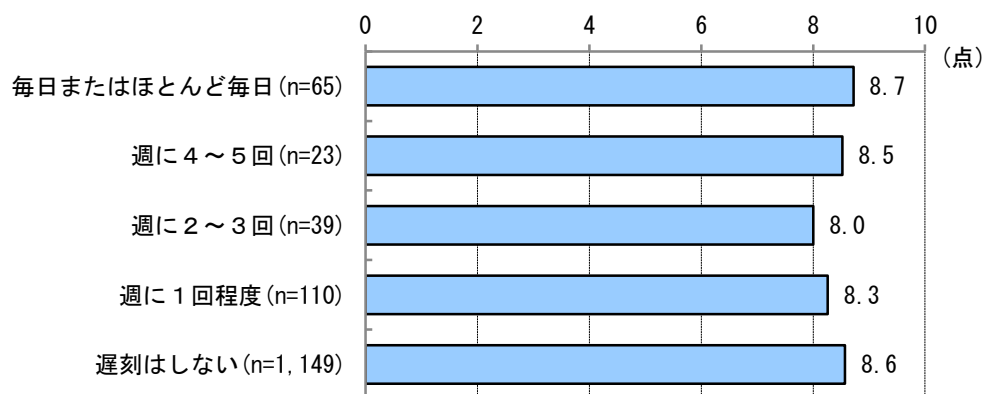
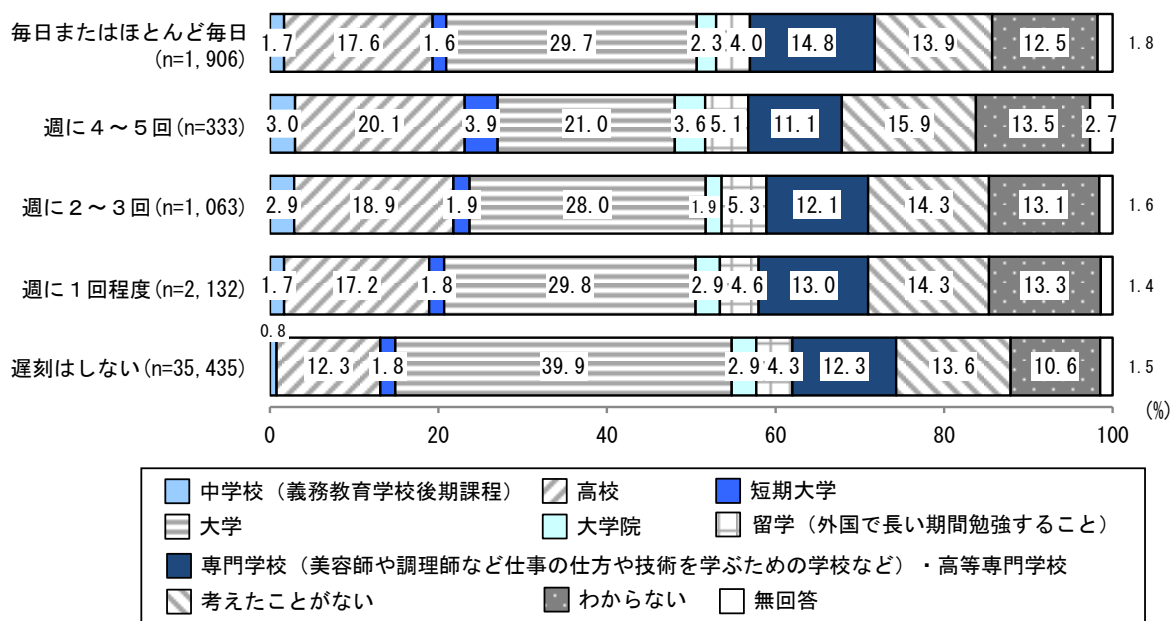


図 135. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、遅刻の頻度による自己効力感（セルフ・エフィカシー）に大きな差はみられなかった。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問7×子ども票問24）

<大阪府内全体>



<富田林市>

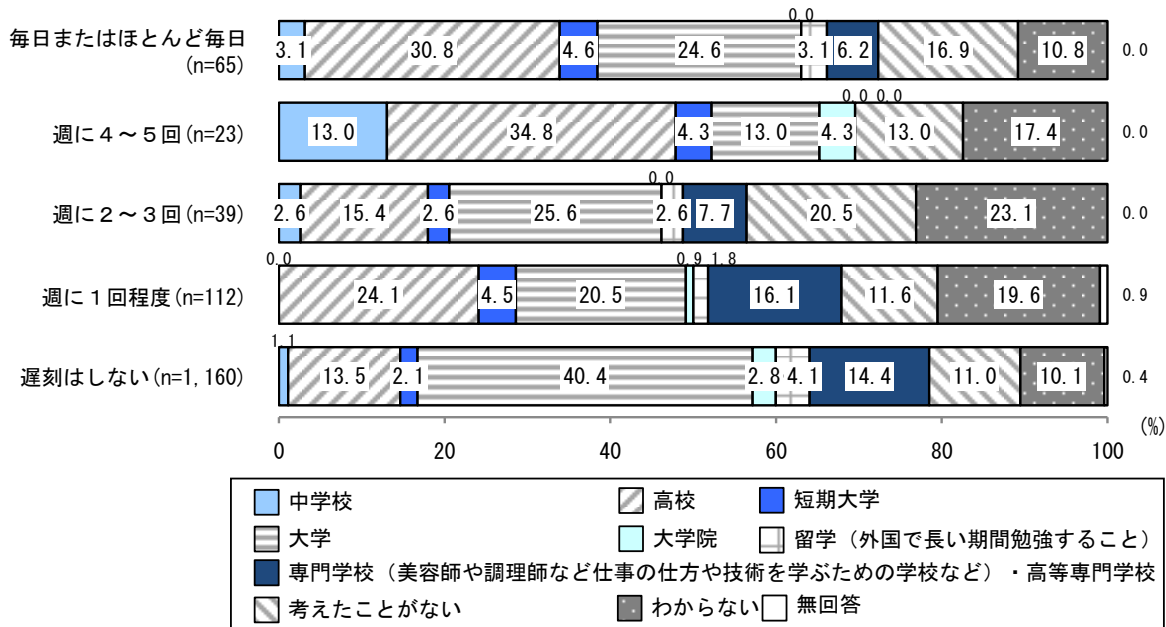
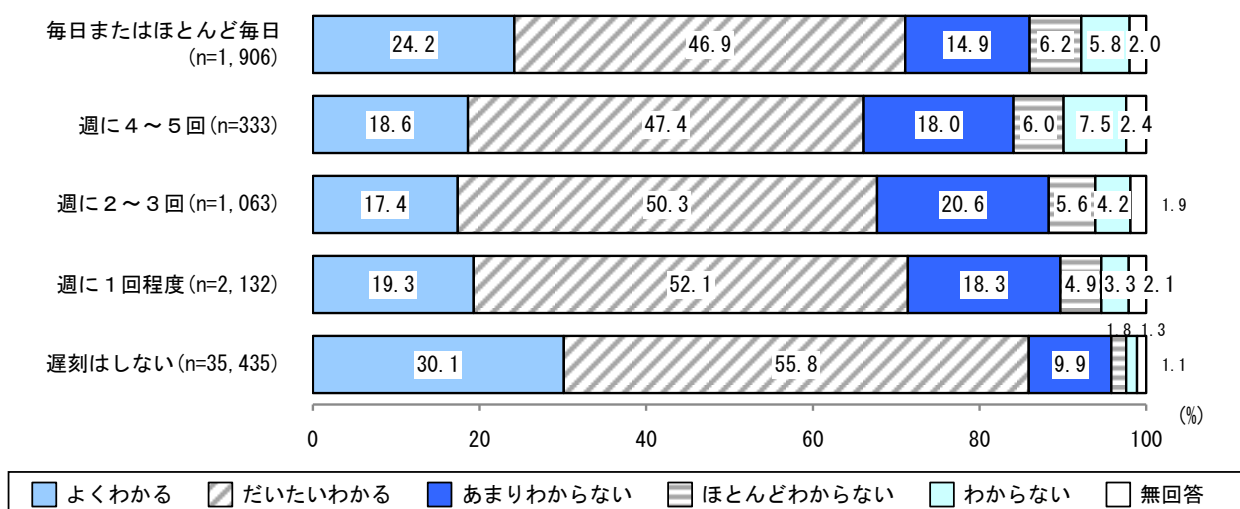


図 136. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に希望する進学先を見ると、「大学」では「遅刻はしない」子どもの割合が40.4%で最も高く、次いで「週に2～3回」遅刻をしている子どもの割合が25.6%となっている。

学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問7×子ども票問14(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

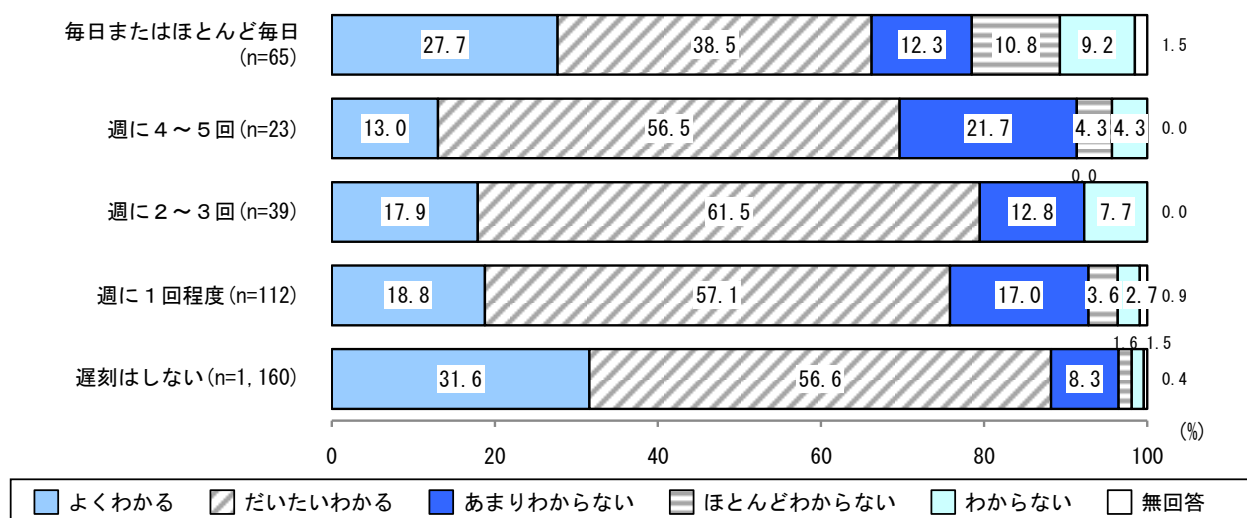
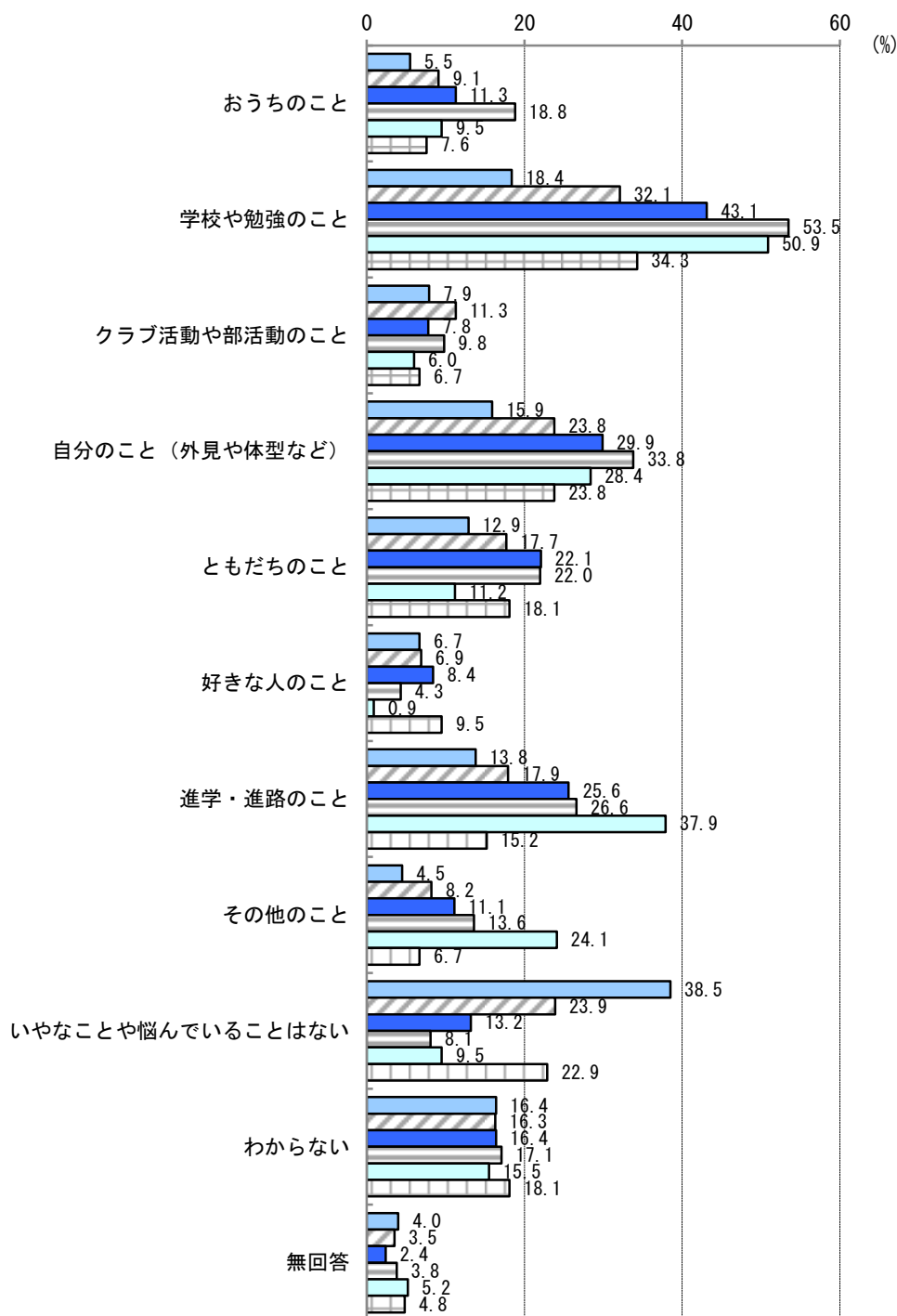


図 137. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

学校への遅刻別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」は「遅刻はしない」子どもの割合が31.6%で最も高く、「だいたいわかる」は「週に2～3回」遅刻をしている子どもの割合が61.5%で最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること（保護者票問 15×子ども票問 17）

<大阪府内全体>



■ ほぼ毎日通っている (n=37,661) ■ 欠席は年間30日未満である (n=1,775)
■ 欠席が年間30日以上、60日未満である (n=371) ■ 欠席が年間60日以上、1年未満である (n=346)
■ 欠席が1年以上続いている (n=116) ■ わからない (n=105)

<富田林市>

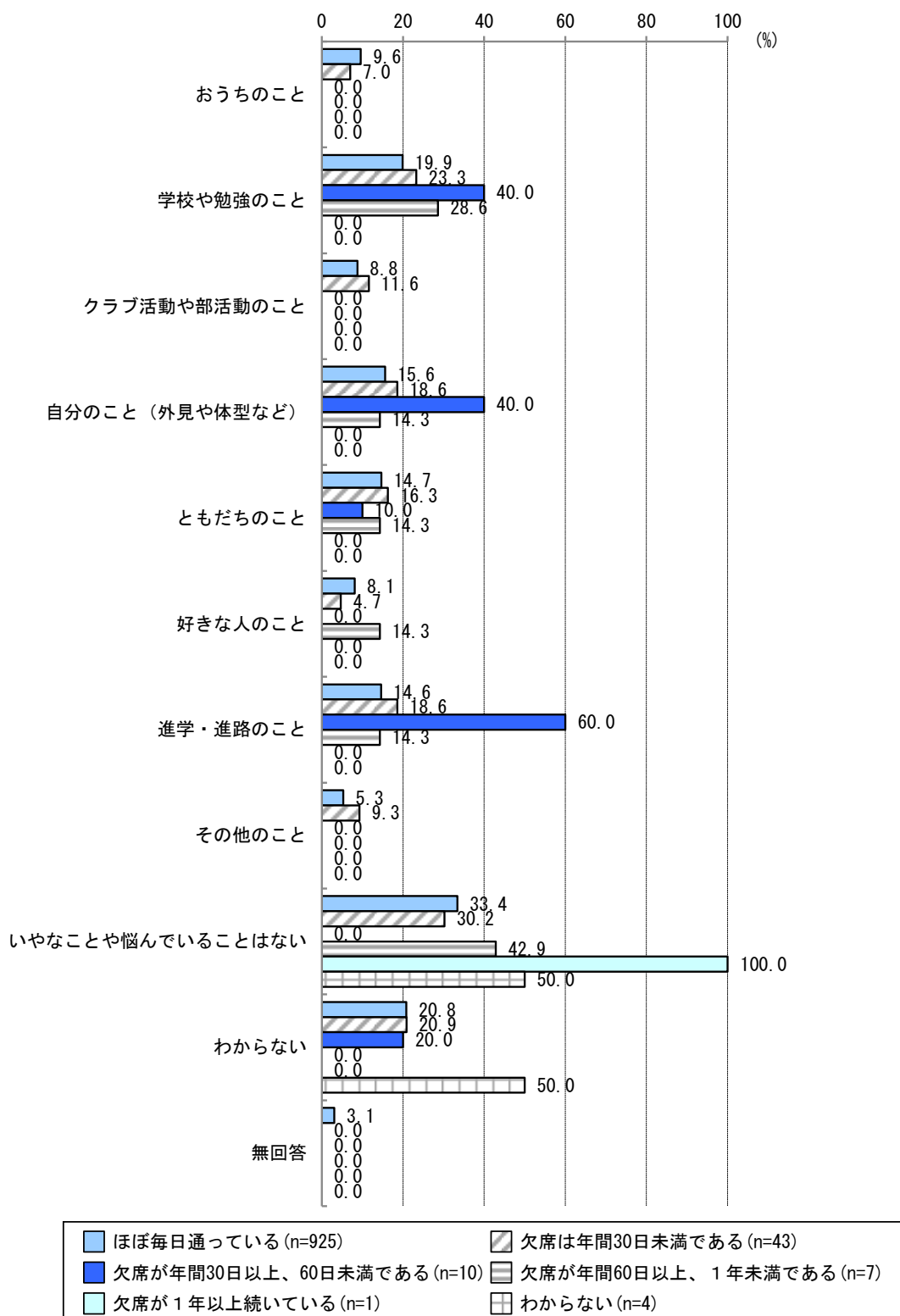
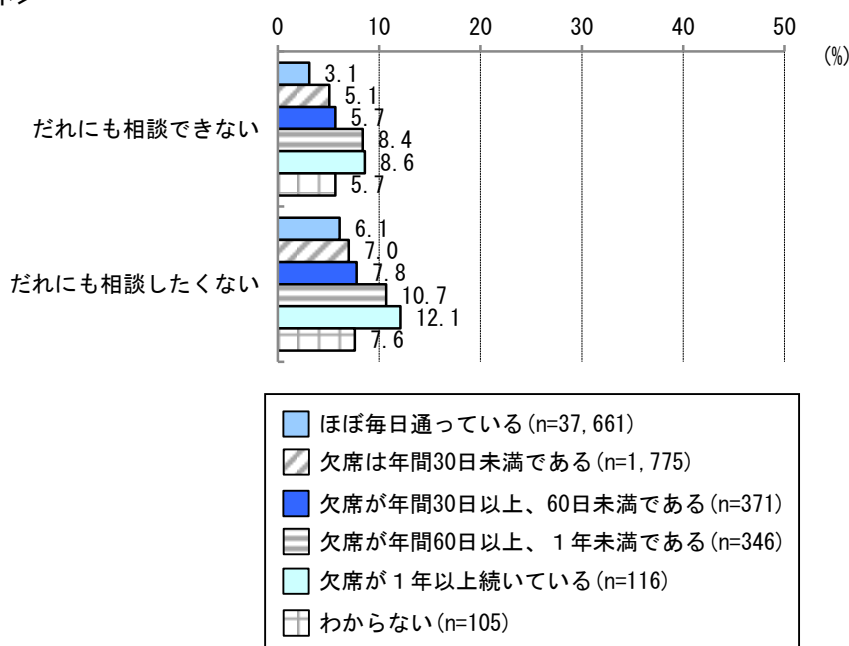


図 138. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること

子どもの通学状況別に見た嫌なことや悩んでいることを見ると、「学校や勉強のこと」や「自分のこと (外見や体型など)」、「進学・進路のこと」は概ね子どもの欠席が多くなるほど割合が高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合
(保護者票問 15×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<富田林市>

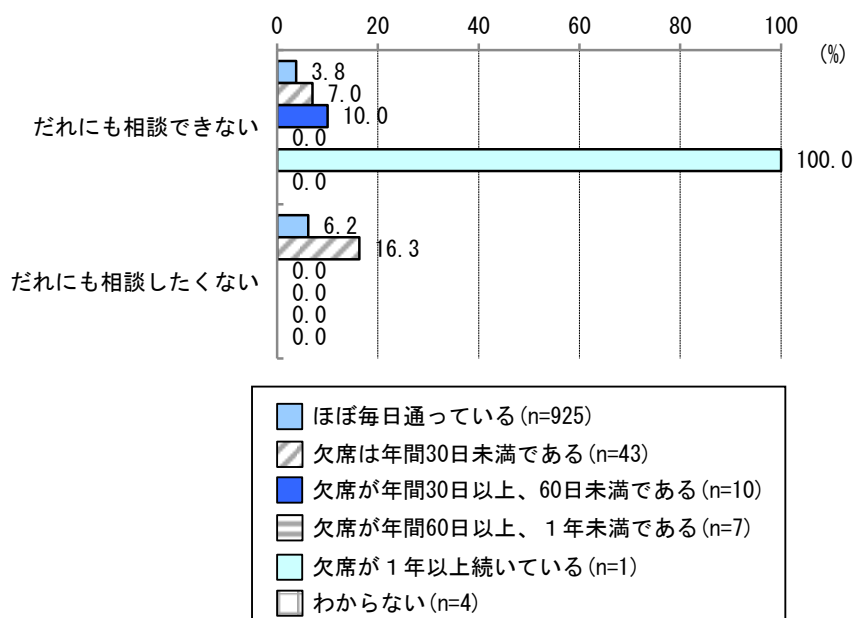
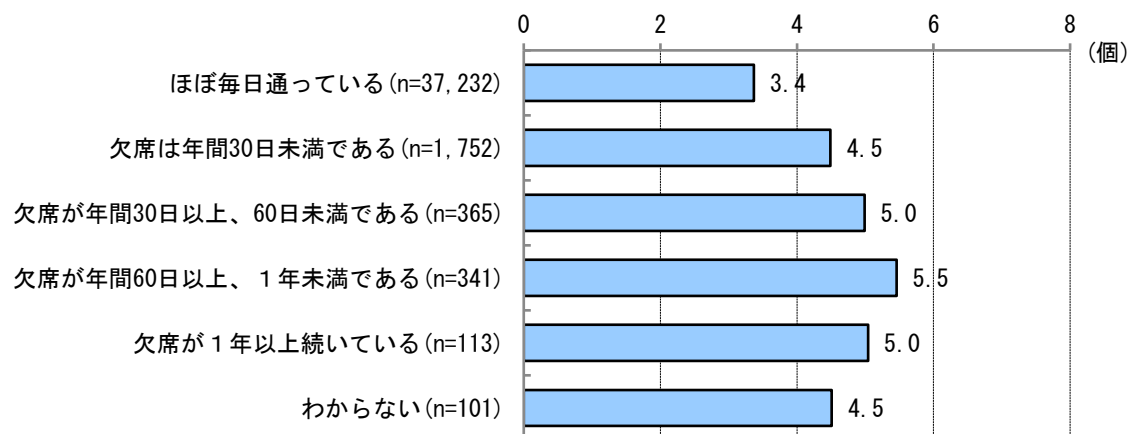


図 139. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合

子どもの通学状況別に悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合を見ると、「ほぼ毎日通っている」、「欠席は年間30日未満である」と回答した人は「誰にも相談できない」よりも「だれにも相談したくない」の割合が高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(保護者票問 15×子ども票問 19・20)

<大阪府内全体>



<富田林市>

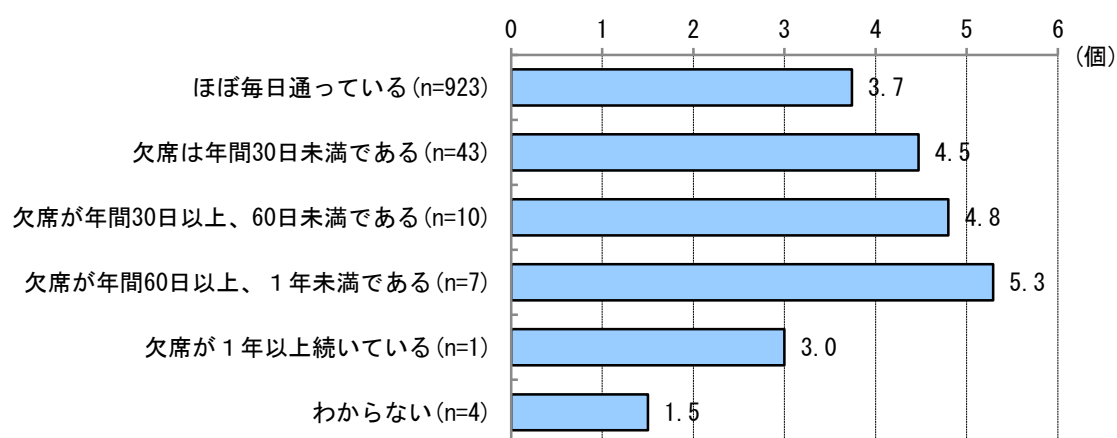
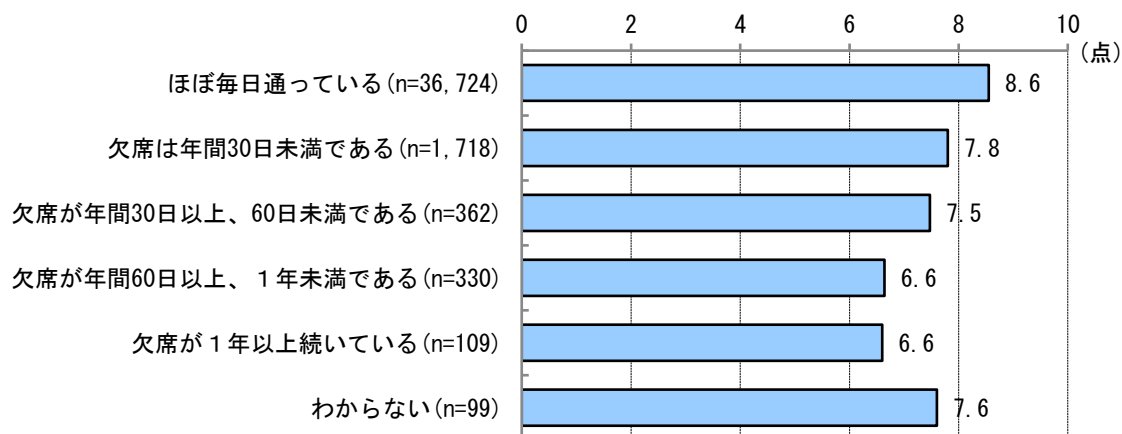


図 140. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

子どもの通学状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「欠席が年間60日以上、1年未満である」と回答した人が5.3個で最も多く、次いで「欠席が年間30日以上、60日未満である」と回答した人が4.8個となっている。

子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（保護者票問 15×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<富田林市>

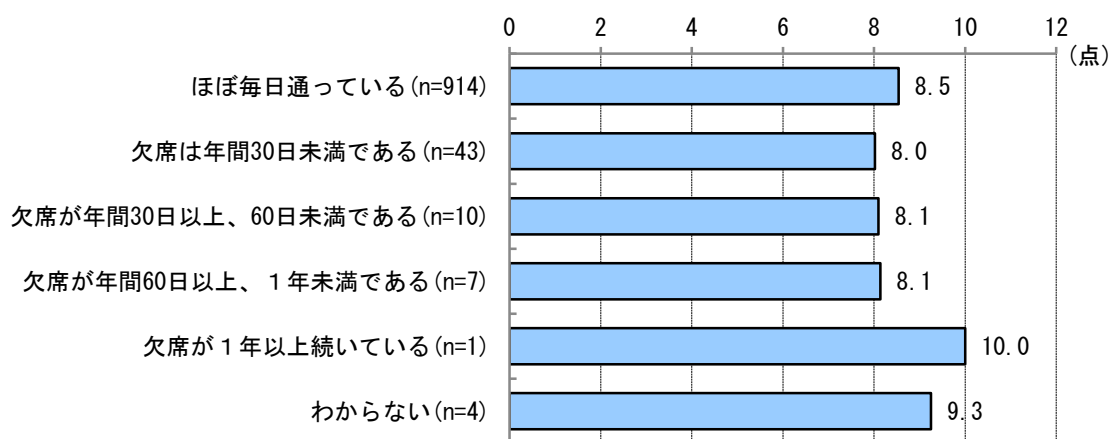
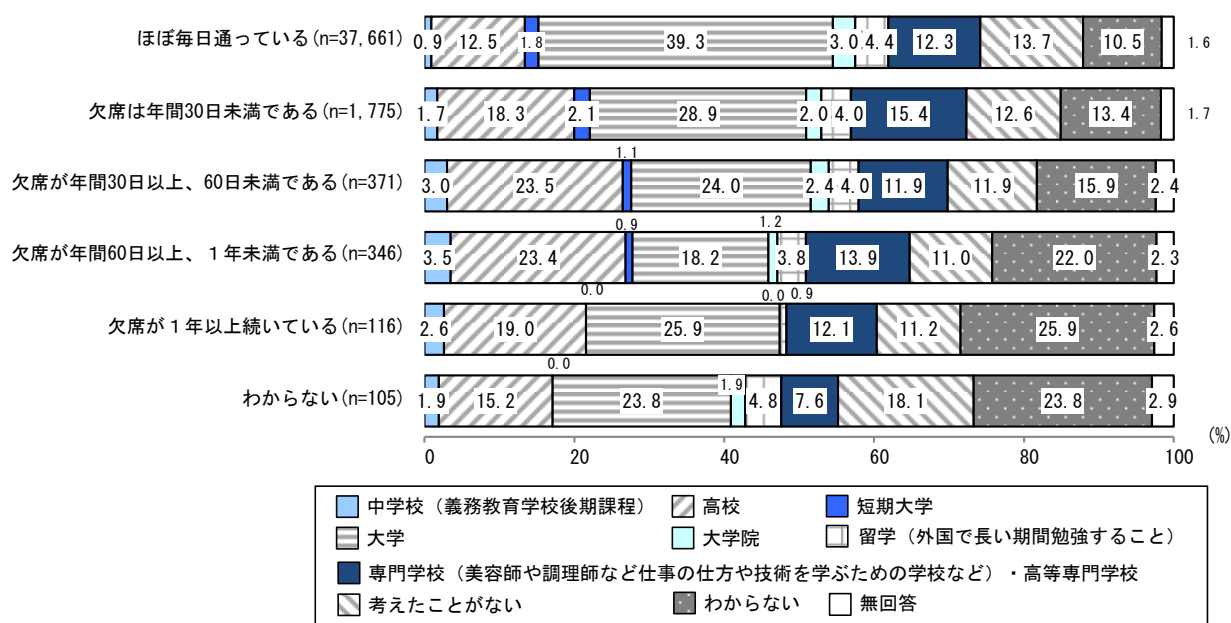


図 141. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもの通学状況別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、「欠席が1年以上続いている」を除いて、「ほぼ毎日通っている」と回答した人は、他よりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点がやや高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 15×子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<富田林市>

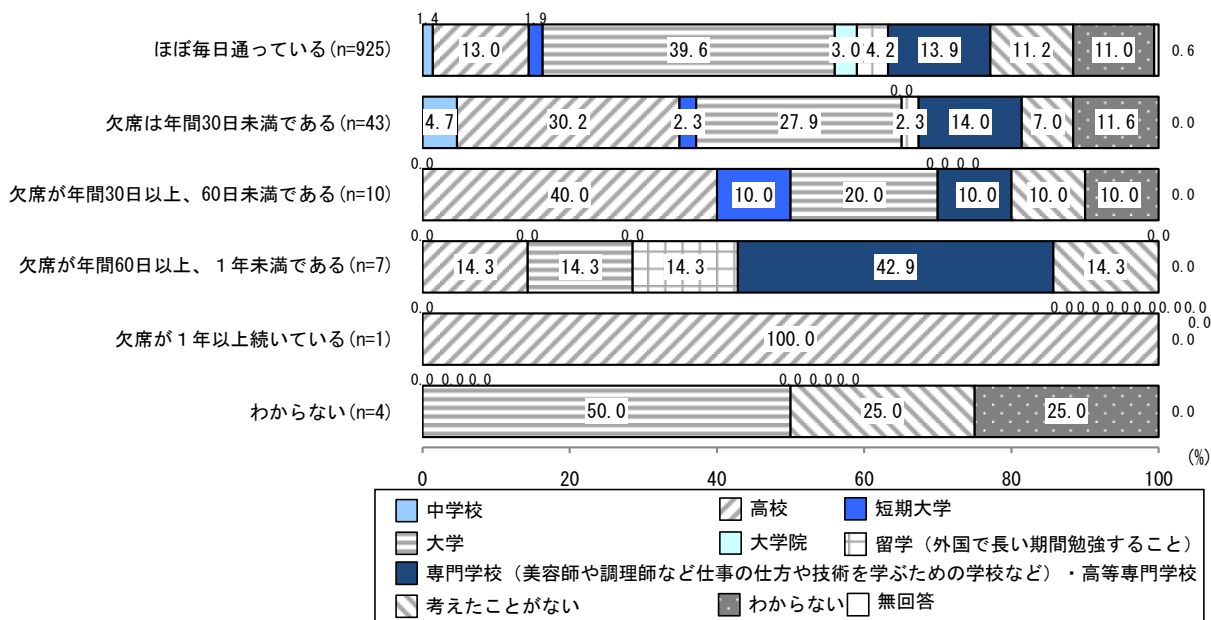
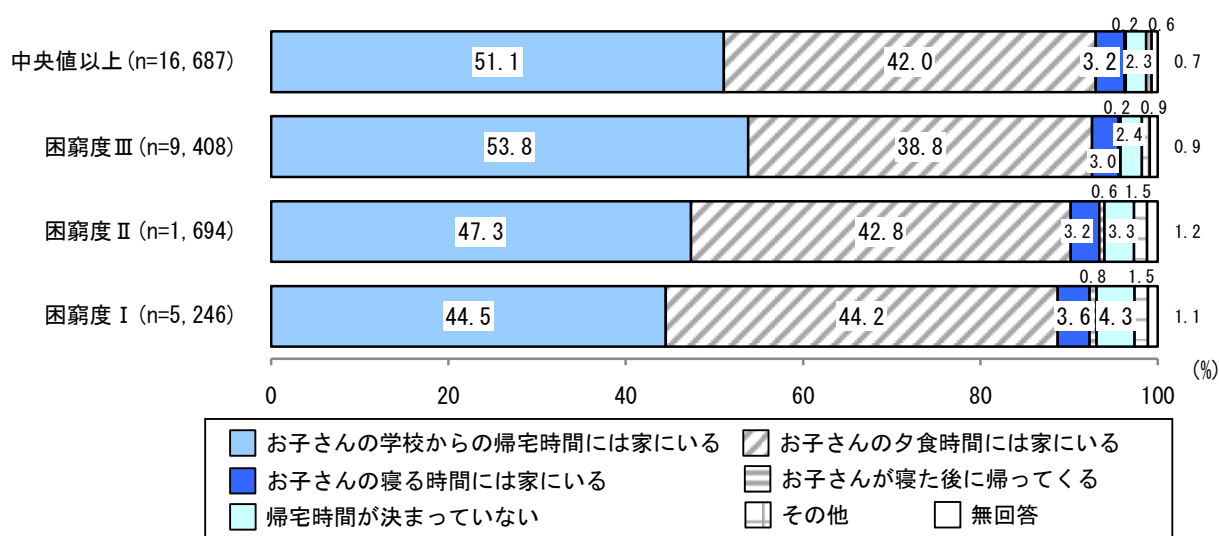


図 142. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先

子どもの通学状況別に希望する進学先を見ると、「大学」は「ほぼ毎日通っている」と回答した人の割合が39.6%で最も高く、「高校」は回答者が1人の「欠席が1年以上続いている」を除くと、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が40.0%で高くなっている。

困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯（保護者票問 10）

<大阪府内全体>



<富田林市>

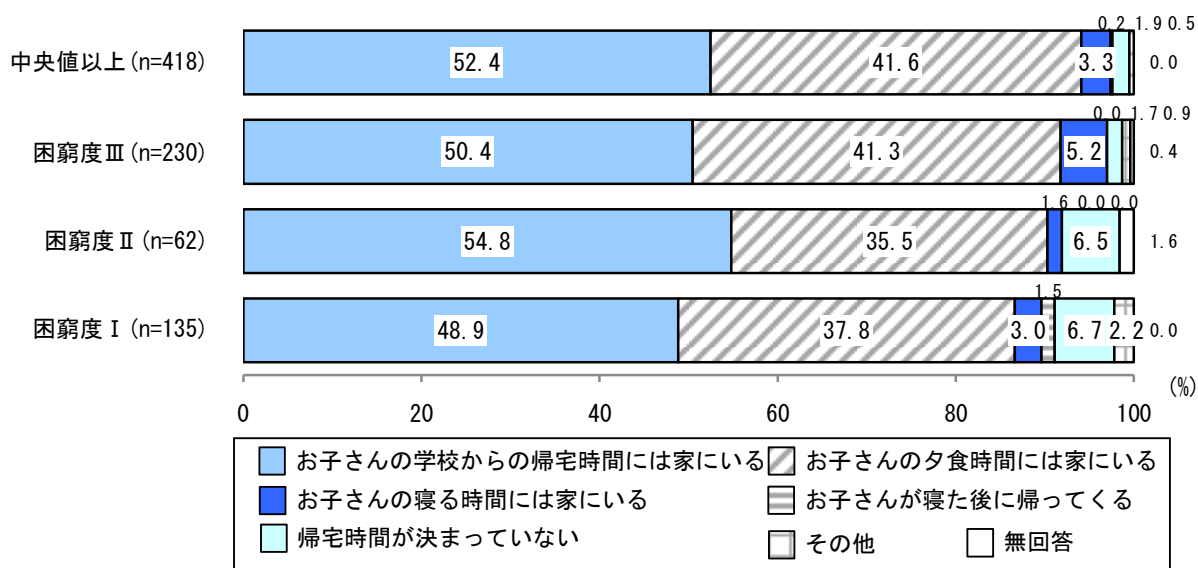
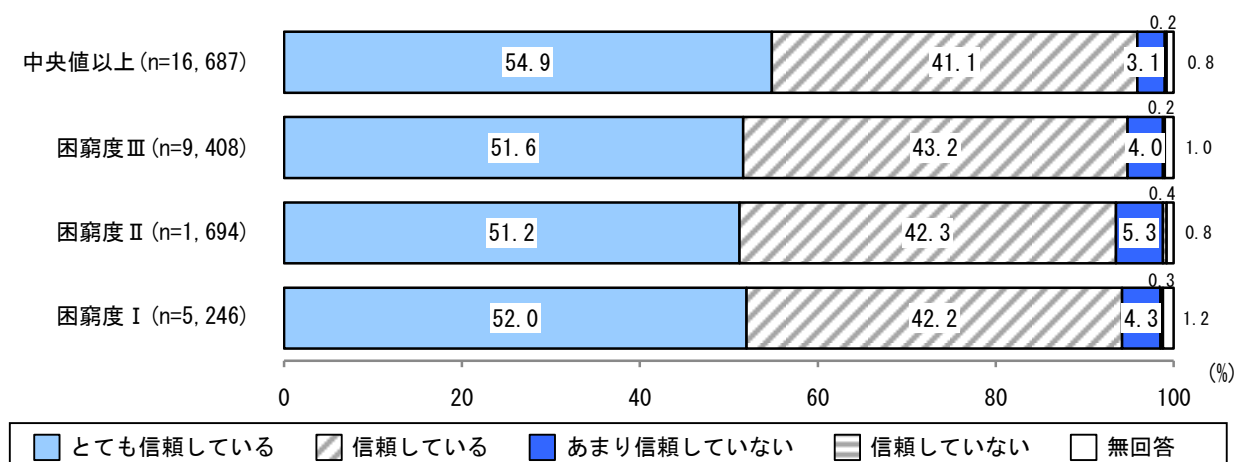


図 143. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯

困窮度別に保護者が家にいる時間帯を見ると、中央値以上群・困窮度Ⅲ・Ⅱ群のほうが、困窮度Ⅰ群よりも、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」と回答した割合がやや高くなっている。また、困窮度Ⅰ群では「帰宅時間が決まっていない」と回答した割合が6.7%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもへの信頼度（保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

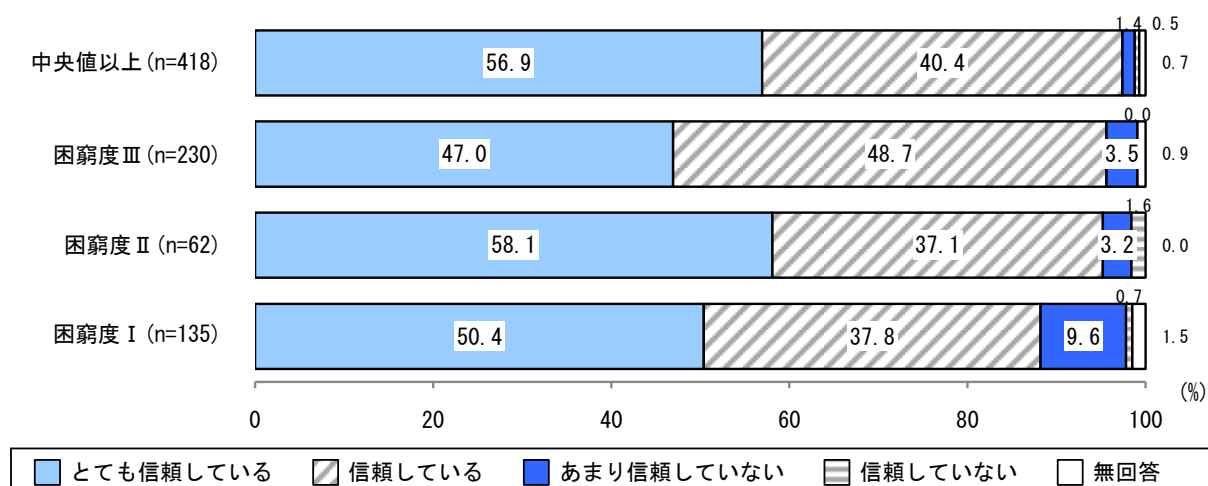
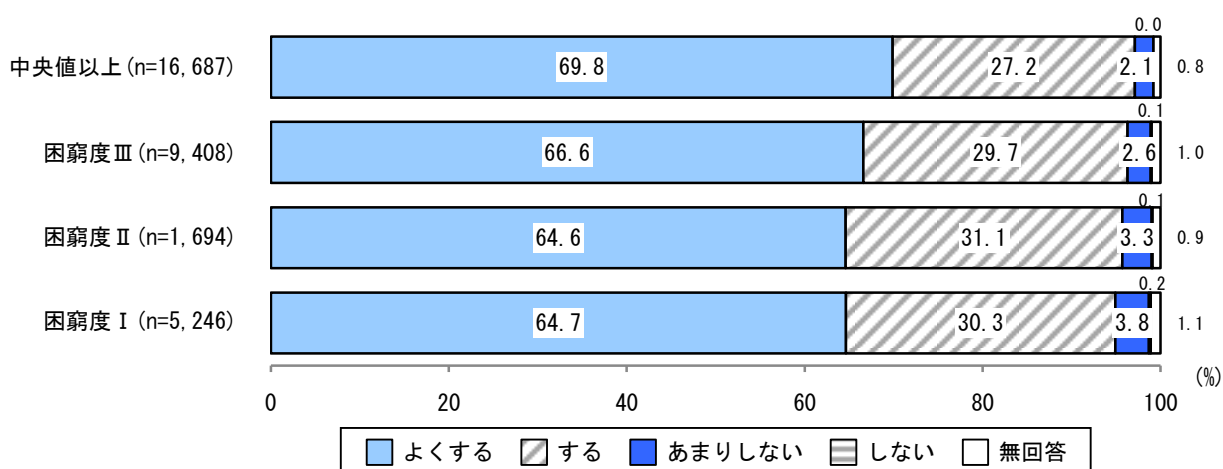


図 144. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度

困窮度別に子どもへの信頼度を見ると、困窮度が高まるにつれ「とても信頼している」、「信頼している」の信頼していると回答した割合が低くなり、困窮度Ⅰ群が88.2%で最も低い。

困窮度別に見た、子どもとの会話頻度（保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

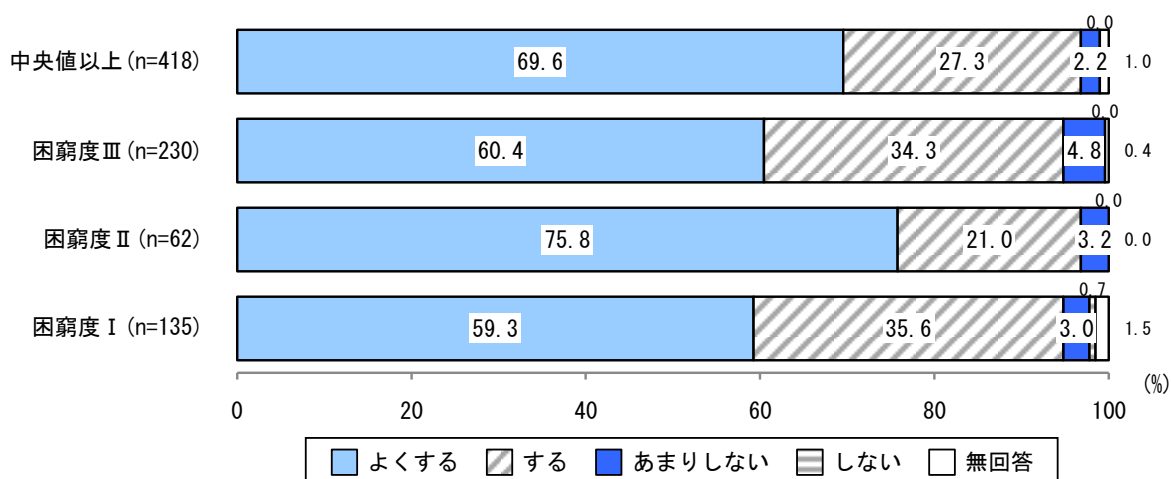
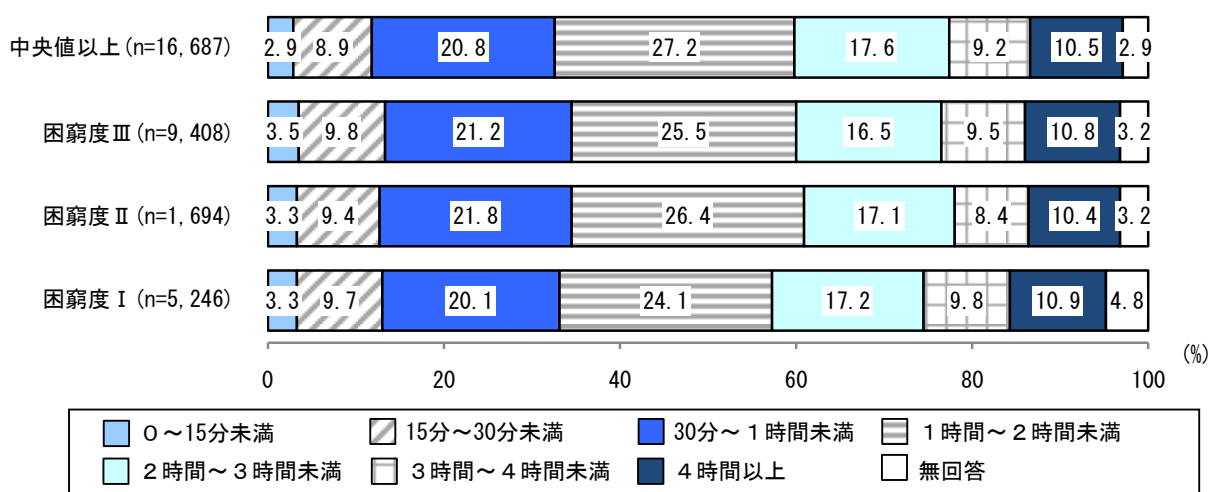


図 145. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度

困窮度別に子どもとの会話頻度を見ると、困窮度Ⅰ群では「よくする」と回答した割合が最も低く、59.3%である。

困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

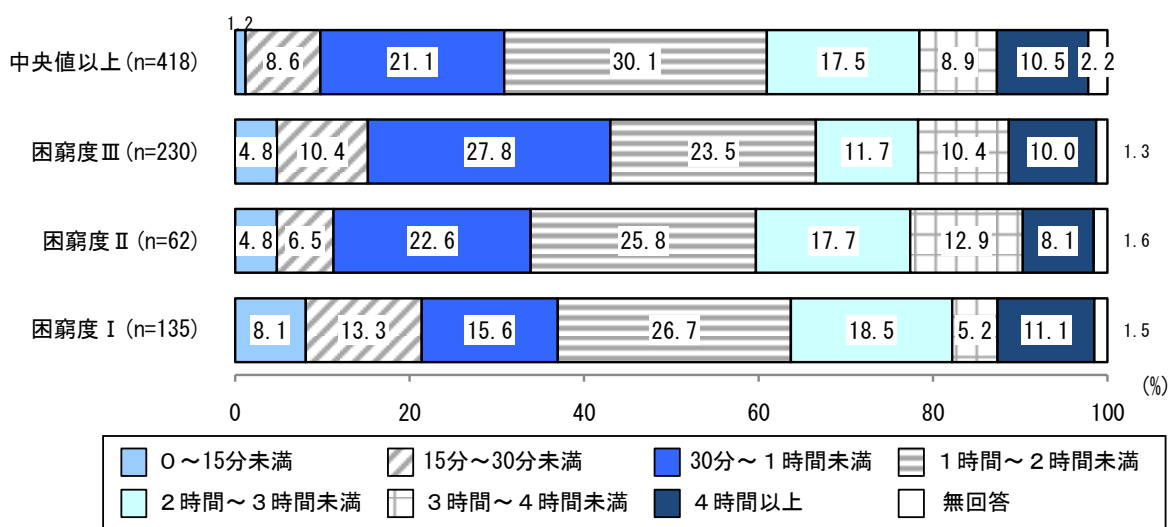
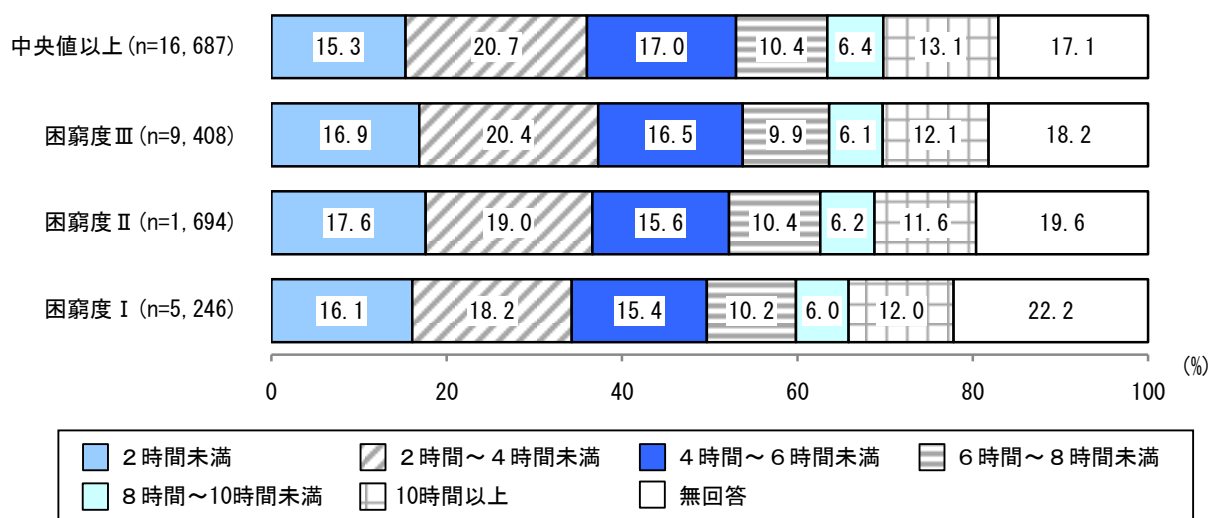


図 146. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

困窮度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「0～15分未満」、「15分～30分未満」と回答した割合が困窮度Ⅰ群で最も高く、8.1%、13.3%である。また、「1時間～2時間未満」と回答した割合が中央値以上群で最も高く、30.1%となっている。

困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

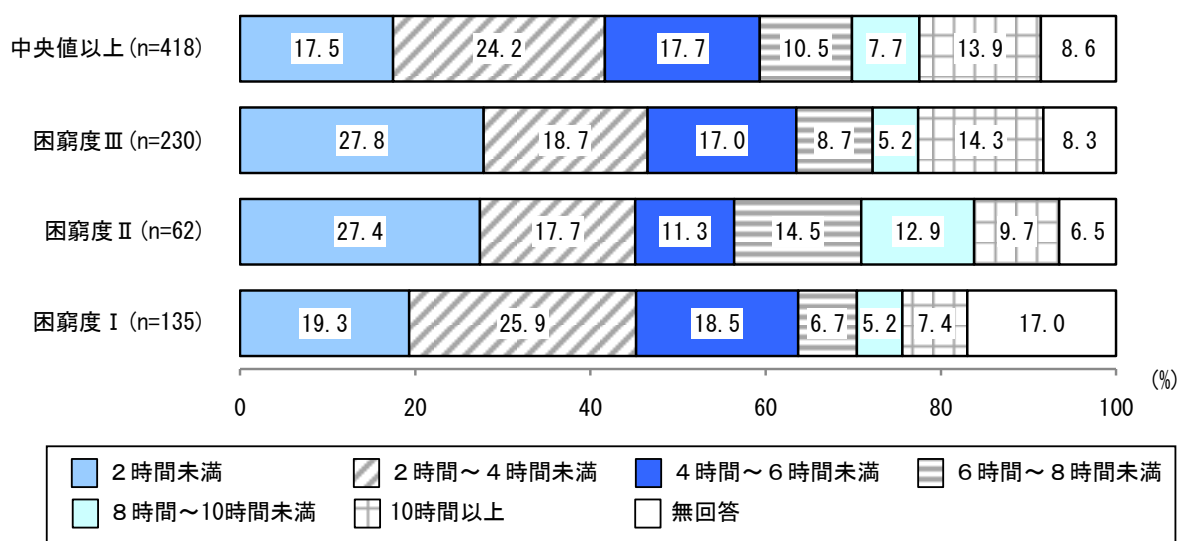
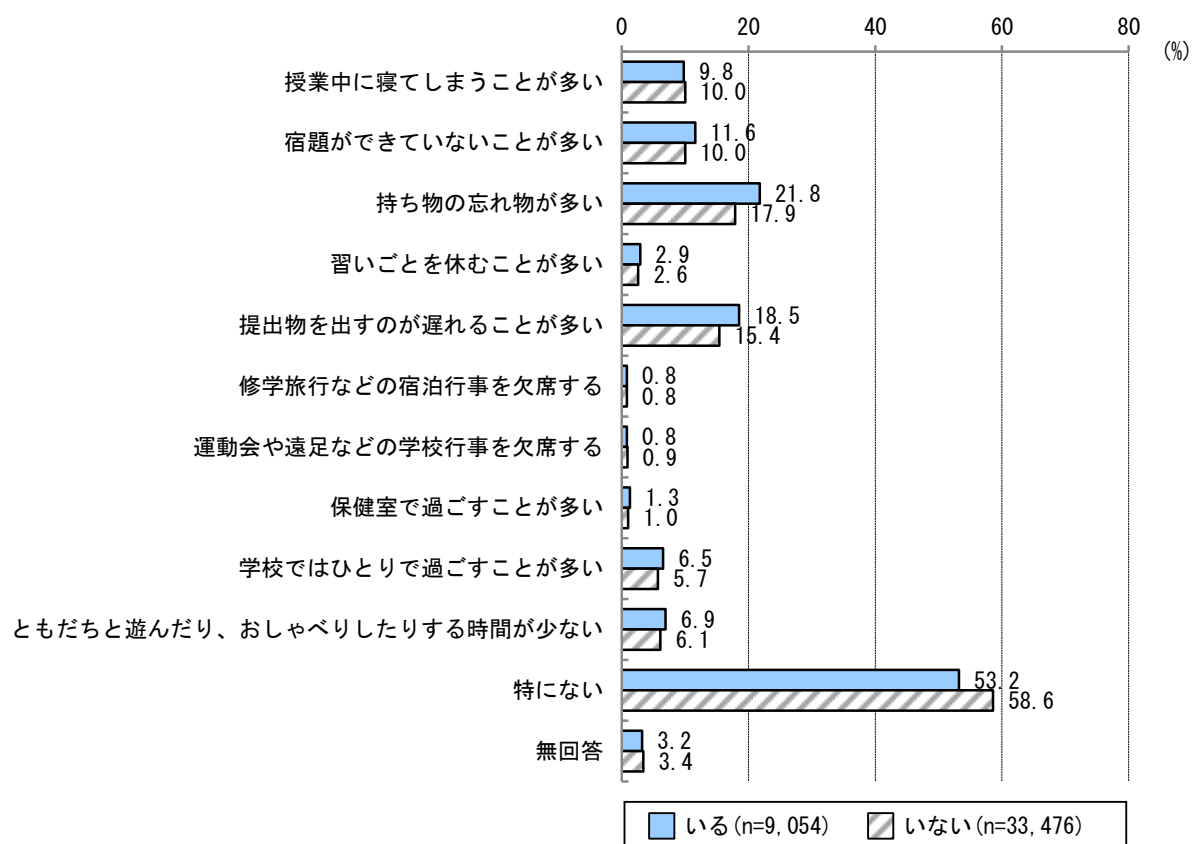


図 147. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

困窮度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「2時間未満」と回答した割合が困窮度Ⅲ群で最も高く、27.8%である。また、「2～4時間未満」と回答した割合は困窮度Ⅰ群で最も高く、25.9%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 16)

<大阪府内全体>



<富田林市>

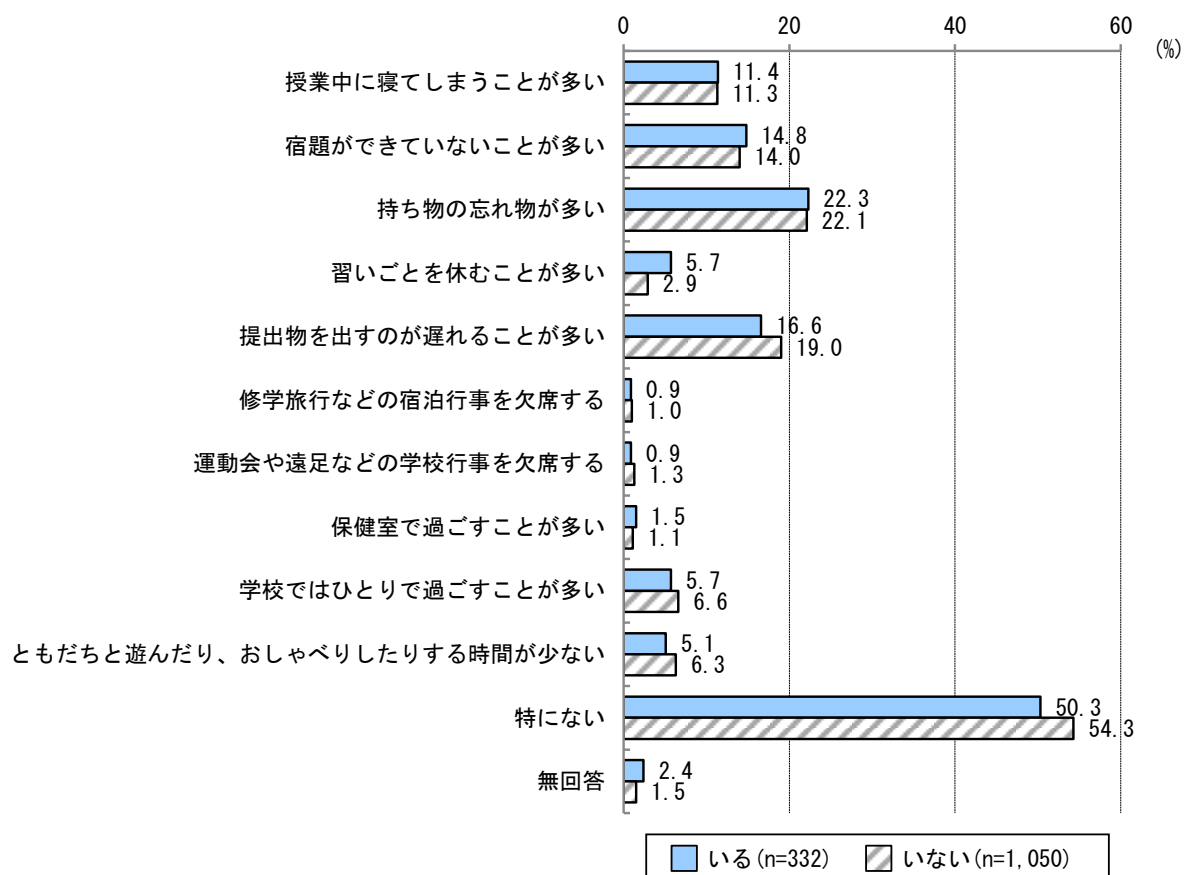
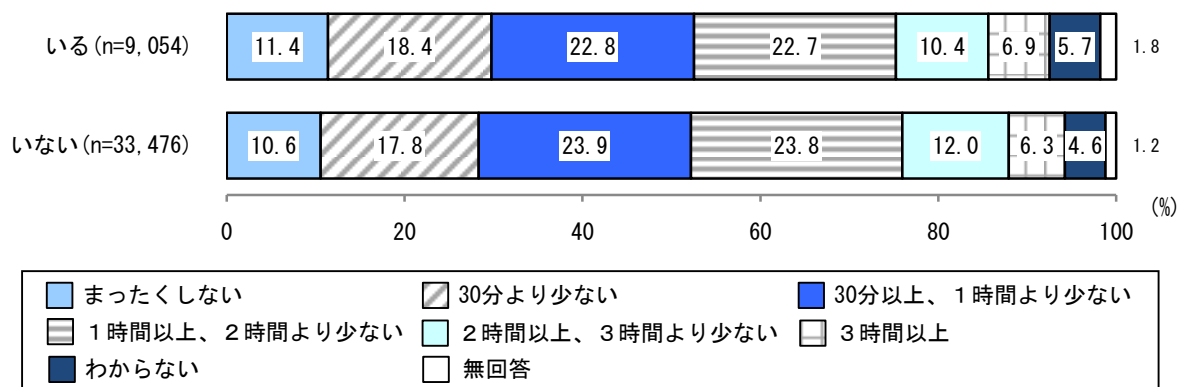


図 148. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況

自分が世話をしている人の有無別に学校や学校の行事等の状況を見ると、「持ち物の忘れ物が多い」、「宿題ができていないことが多い」、「習いごとを休むことが多い」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」割合より「いる」割合のほうが高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問26(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

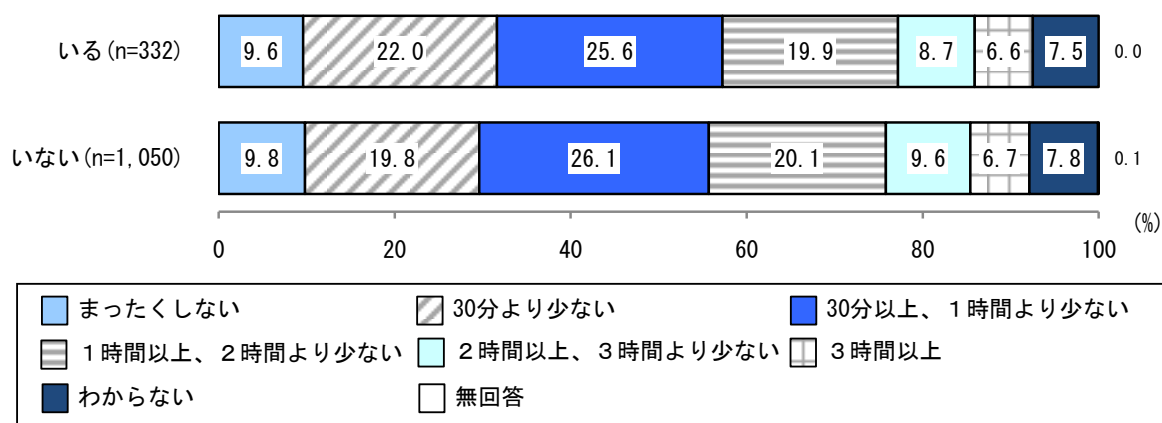
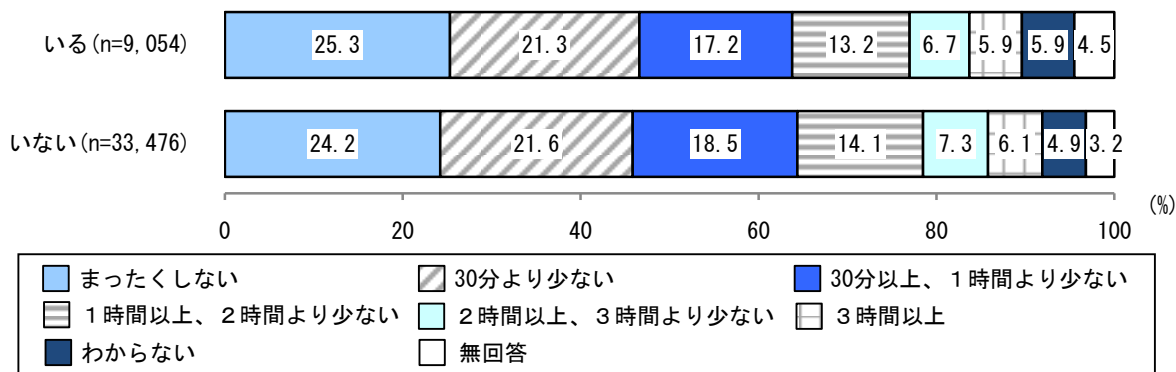


図 149. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ても、大きな差はみられない。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問26(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

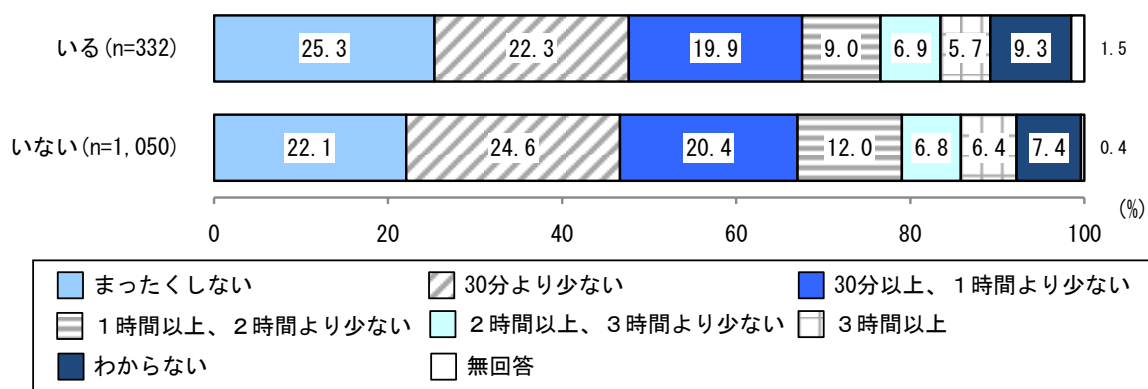


図 150. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合が高くなっている。

<家庭生活・学習に関する考察>

まず、経済状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目しながら確認する。おうちの大人の人と朝食をとる頻度を見ると、「ほとんど毎日」(43.8%対34.1%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ9.7ポイント高く、「ほとんどない」「まったくない」の合計(38.2%対27.7%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ10.5ポイント高くなっている。学校への遅刻状況を見ると、「毎日またはほとんど毎日」と「週に4～5回」遅刻する割合の合計(8.9%対2.3%)が、困窮度Ⅰ群では、中央値以上群と比べて6.6ポイント高くなっている。保護者の子どもとの会話頻度を見ると、「よくする」(69.6%対59.3%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ10.3ポイント高くなっている。これらの結果から、経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションの深さや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。

次に、学校への遅刻状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について確認する。おうちの大人の人と朝食をとる頻度を見ると、「ほとんど毎日」(44.2%対27.7%)が「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群と比べ16.5ポイント高くなっている。学校への遅刻と悩んでいることを見ると、「いやなことや悩んでいることはない」を除くと、遅刻頻度が週3回以下では「学校や勉強のこと」が最も多く、週4回以上では「学校や勉強のこと」「ともだちのこと」が最も多くなっている。さらに、保護者の子どもに対する将来の期待度を見ると、「とても期待している」と「期待している」の合計(85.5%対72.2%)が、「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群と比べ13.3ポイント高くなっている。これらの結果から、遅刻の多い子どもは、保護者と深くかかわることが少なく、保護者から将来の期待もかけられにくい状況に陥っている可能性があると考えられる。

経済状況と子どもの学習にかかわる習慣と学習理解度、そして進学希望の関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目して述べる。通学状況を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「ほぼ毎日通っている」(96.7%対89.6%)が7.1ポイント高くなっている。学校がある日の勉強時間を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「まったくしない」(16.3%対6.0%)が10.3ポイント、「30分より少ない」(26.8%対17.6%)が9.2ポイント、学校がない日の勉強時間を見ると、「まったくしない」(32.5%対14.4%)が18.1ポイント高くなっている。学習理解度を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ほとんどわからない」と「わからない」の合計(4.1%対1.0%)が3.1ポイント高くなっている。文化活動を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、おうちの大人の人と文化活動をする頻度において「まったくない」(39.0%対23.9%)が15.1ポイント、授業以外の読書時間において「まったくしない」(36.6%対28.2%)が8.4ポイント高い。希望進学先を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「高校」(22.0%対10.6%)が11.4ポイント、保護者の希望する進学先でも「高校」(20.0%対6.5%)が13.5ポイント高くなっている。一方、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、子ども自身の希望する進学先において「大学」(44.3%対30.9%)が13.4ポイント、保護者の希望する進学先でも「大学」(68.9%対44.4%)が24.5ポイント高く、大きな開きがある。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。

続いて、朝の習慣や学校への遅刻状況と子どもの学習にかかわる習慣の関連について確認する。起床時間の規則性別に学習時間を見ると、ほぼ同じ時刻に「起きていない」群は「起きている」

群と比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」(36.7%対8.6%)が28.1ポイント、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」(46.7%対21.0%)は25.7ポイント、授業以外の読書時間では「まったくしない」(50.0%対31.8%)は18.2ポイント高くなっている。朝食の頻度別に学習時間を見ると、朝食を「食べない」群は「毎日またはほとんど毎日」食べる群に比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」(30.0%対8.0%)が22.0ポイント、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」(42.0%対20.6%)が21.4ポイント、授業以外の読書時間では「まったくしない」(40.0%対32.0%)は8.0ポイント高くなっている。学校への遅刻頻度別に家庭での学習習慣を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群は「遅刻はしない」群に比べ、「おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話す」ことが「まったくない」(16.6%対9.2%)が7.4ポイント高く、学習理解度を見ると「ほとんどわからない」と「わからない」の合計(20.0%対3.1%)が16.9ポイント高くなっている。これらの結果から、朝の習慣が身につけていないことは、学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。その背後には、朝の習慣が身につけていないと遅刻につながり、授業を受けられなくなることが影響している可能性が考えられる。

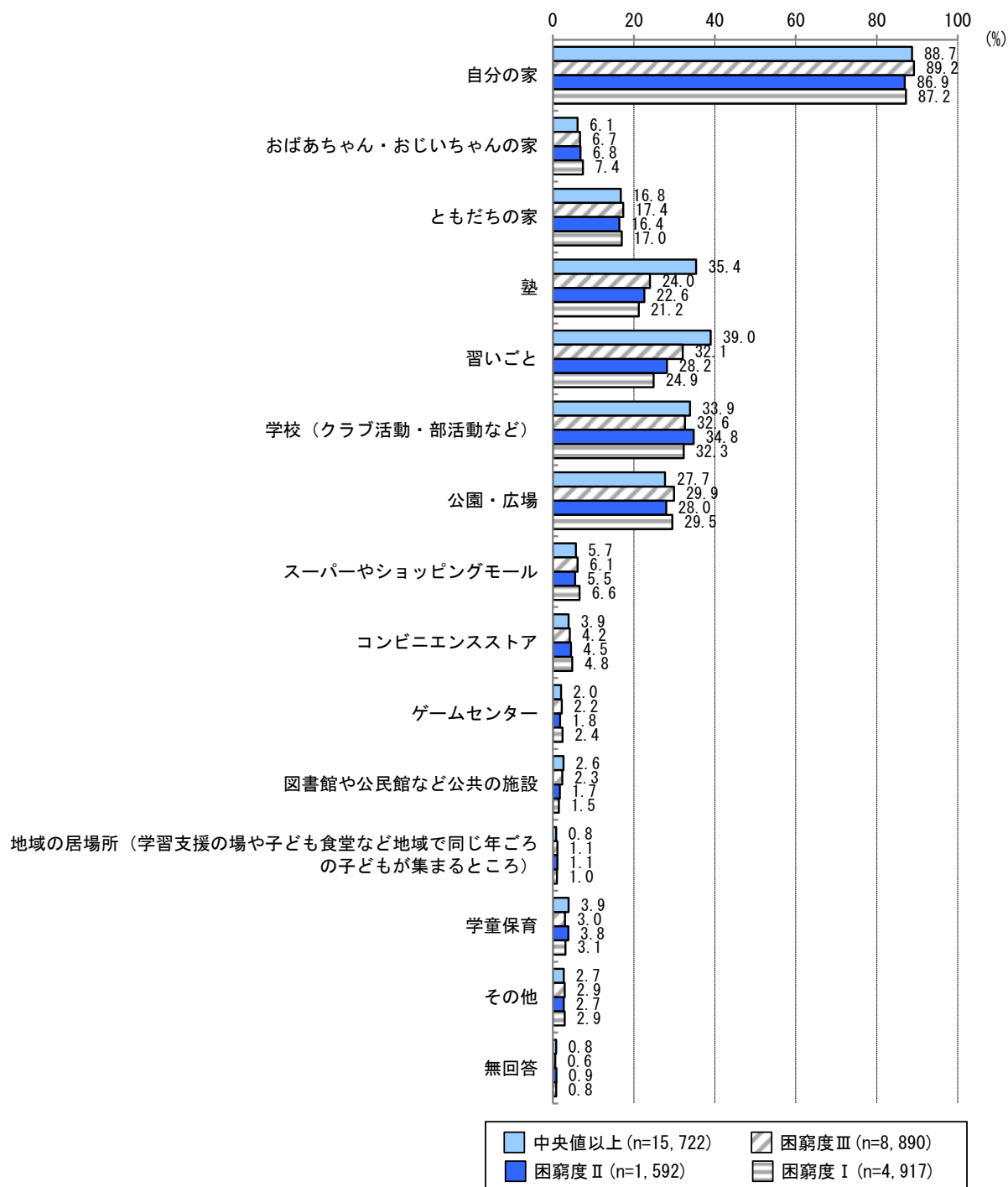
最後に、ヤングケアラーに関する項目と子どもの学習状況や進学希望との関連について確認する。世話をしている人の有無と学習理解度には関連がみられなかったが、授業の内容が分からないと感じる子どもに限定すると、分からなくなった時期に異なる傾向が伺えた。すなわち、世話をしている人がいる子どもは世話をしている人がいない子どもと比べ、「小学3・4年生のころ」(37.0%対20.7%)や「小学5年生になってから」(17.4%対14.5%)授業が分からなくなっている割合が高く、世話をしている人がいる場合、小学校中学年という早い段階からの対策が必要であると考えられる。また、世話をしている人の有無別に子ども自身の希望する進学先を見ると、世話をしている人がいない子どもは世話をしている人がいる子どもと比べ、「大学」(39.9%対29.5%)と回答する割合が10.4ポイント高く、大きな開きがある。これらの結果から、ヤングケアラーの可能性のある子どもの場合、早い段階で学校の授業についていけなくなり、大学進学を志しにくくなることが示唆された。

※参照データについては一部資料編に掲載

3-5. 対人関係

困窮度別に見た、放課後を過ごす場所（子ども票問11）

<大阪府内全体>



<富田林市>

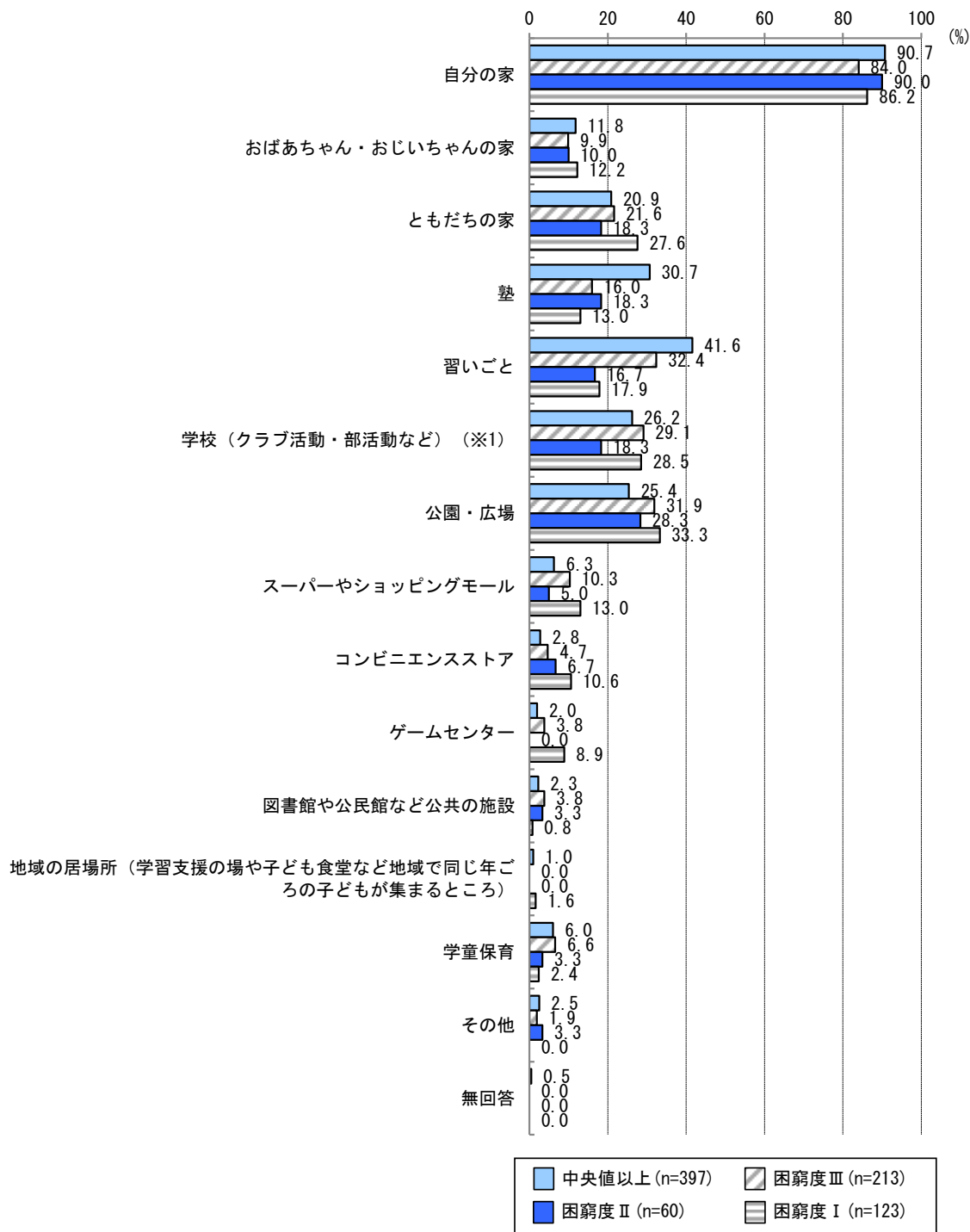
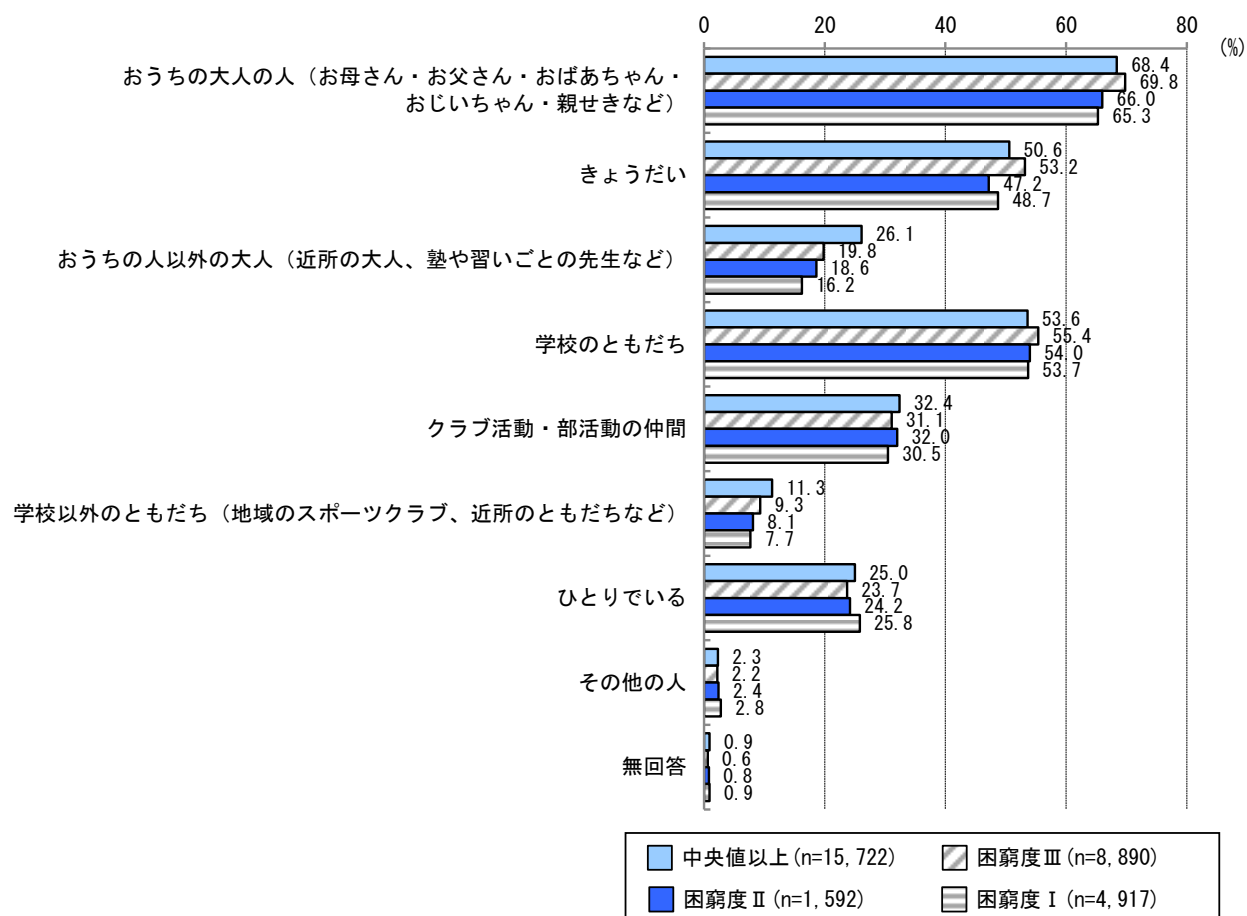


図 151. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「ゲームセンター」8.9%（中央値以上群に対して4.4倍）、「コンビニエンスストア」10.6%（同じく3.7倍）、「スーパーやショッピングモール」（同じく2.0倍）となっている。一方、中央値以上群では、「図書館や公民館など公共の施設」2.3%（困窮度Ⅰ群に対して2.8倍）、「学童保育」6.0%（同じく2.5倍）、「塾」30.7%（同じく2.3倍）、「習いごと」41.6%（同じく2.3倍）などが高かった。

困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人（子ども票問 10）

<大阪府内全体>



<富田林市>

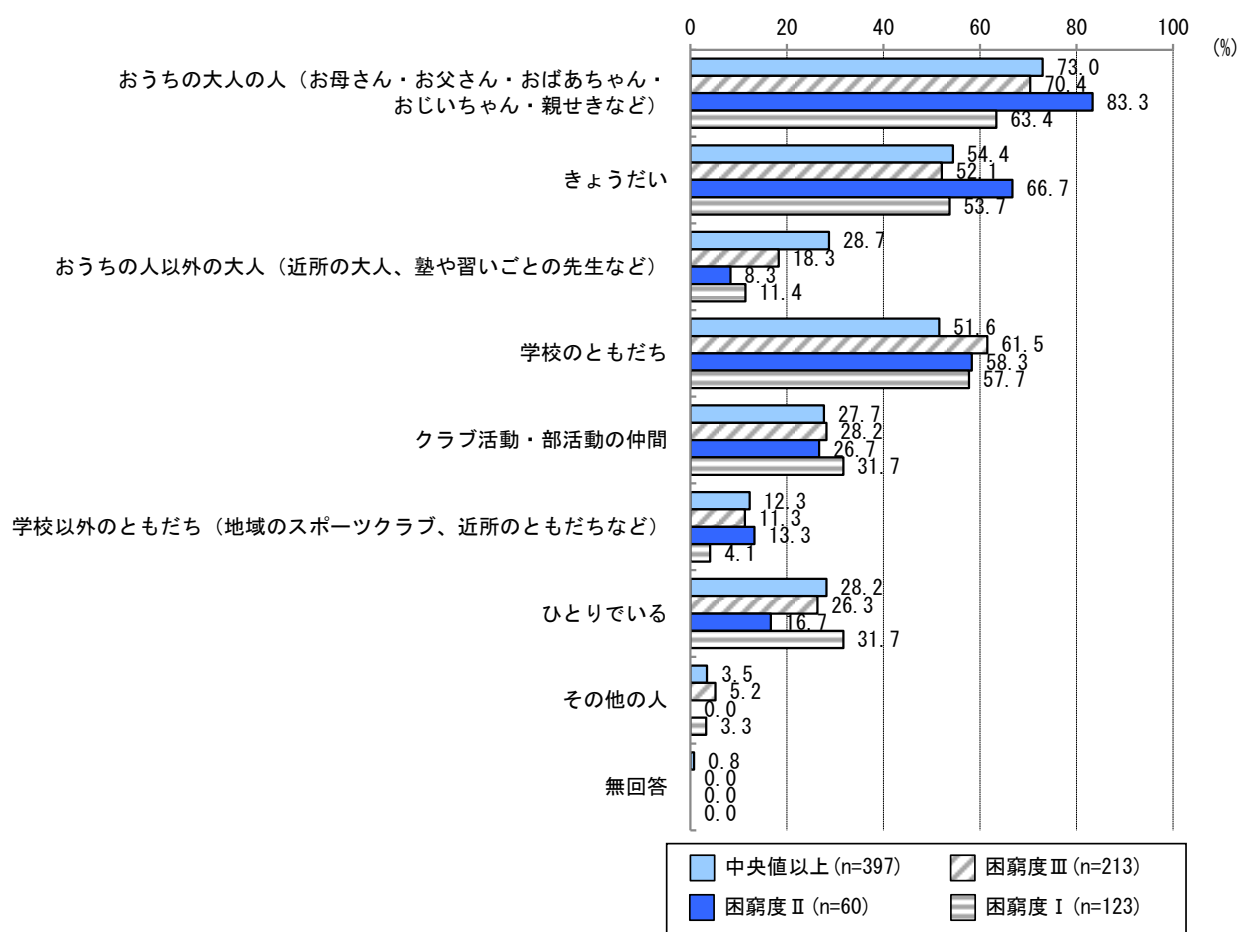
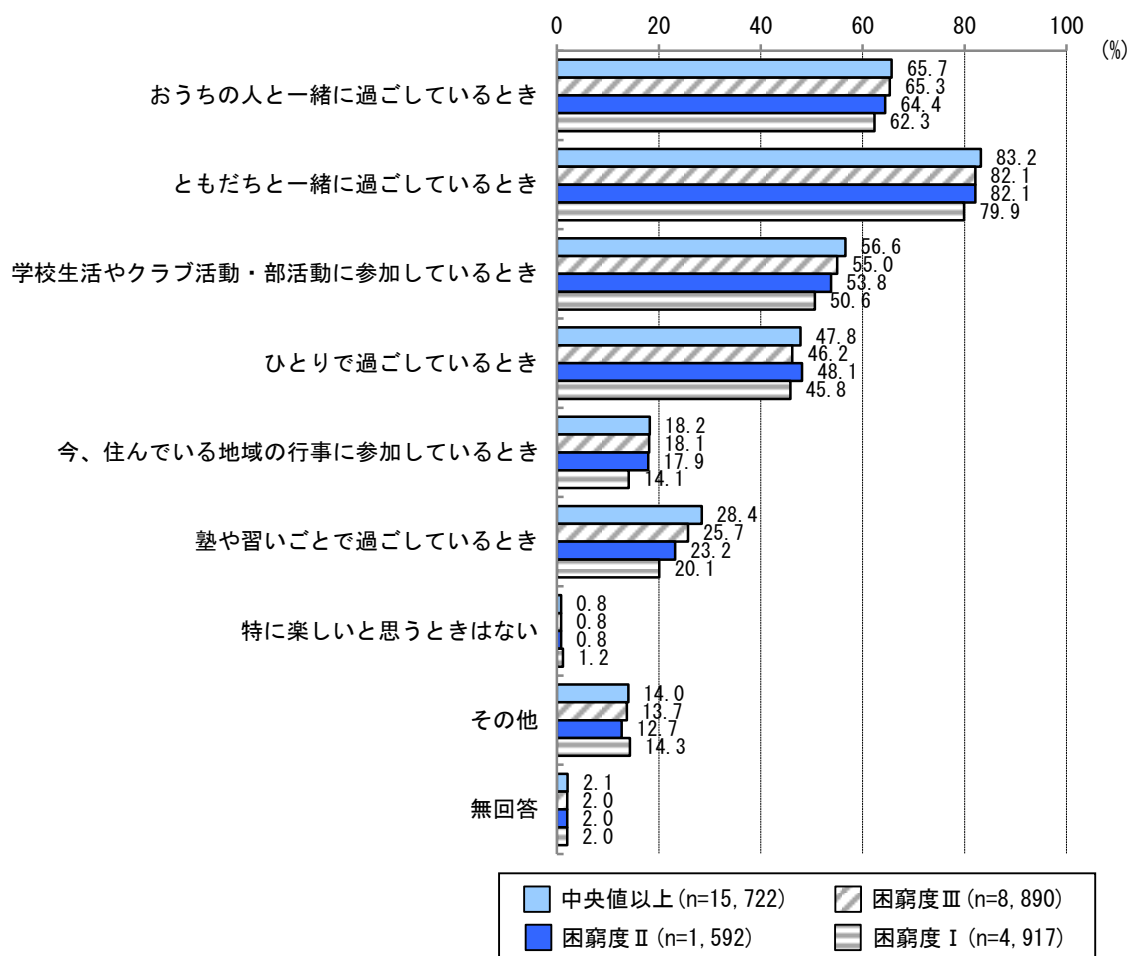


図 152. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、中央値以上群では「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」12.3%（困窮度Ⅰ群に対して3.0倍）、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」28.7%（同じく2.5倍）、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」73.0%（同じく1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問9）

<大阪府内全体>



<富田林市>

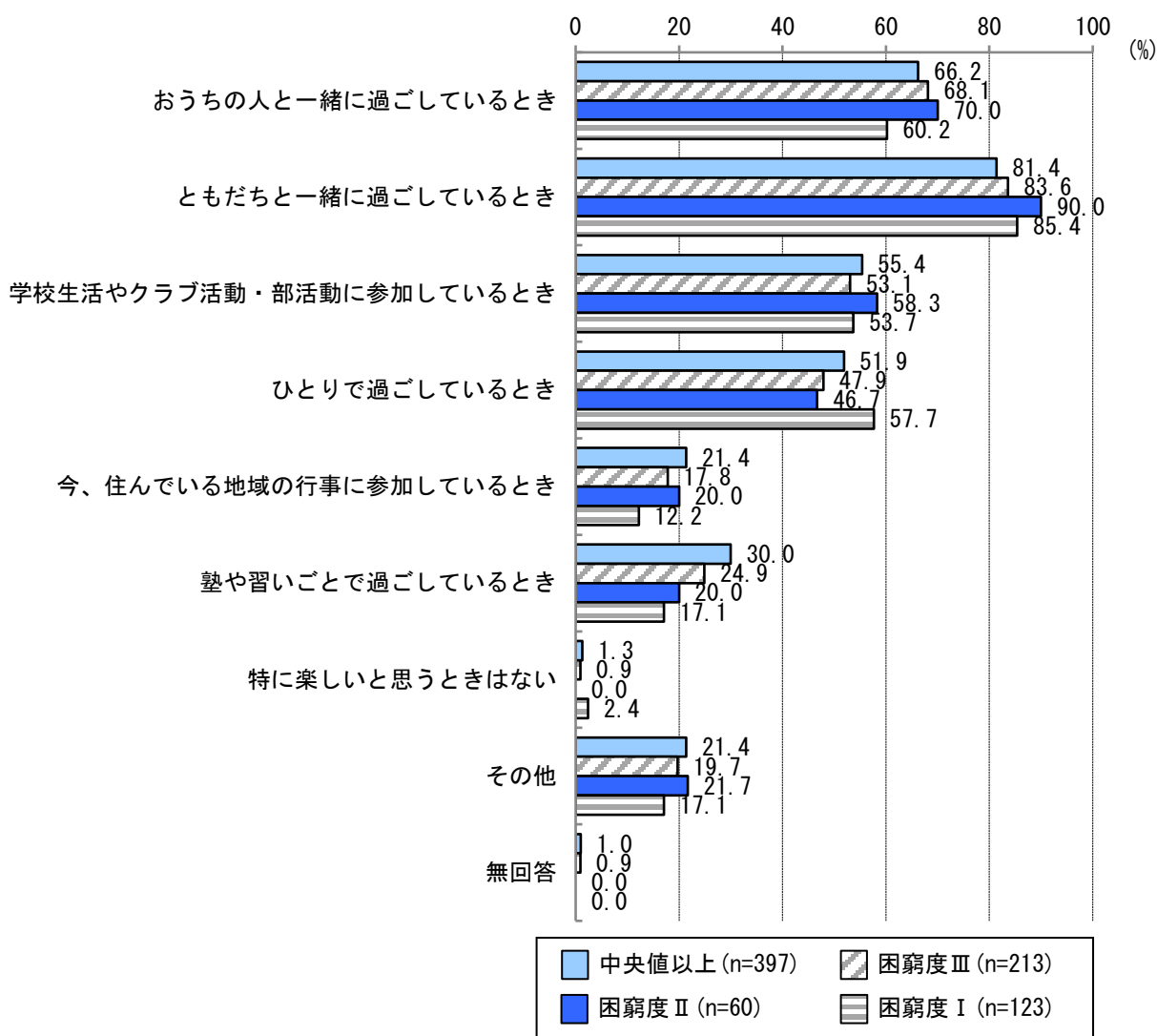
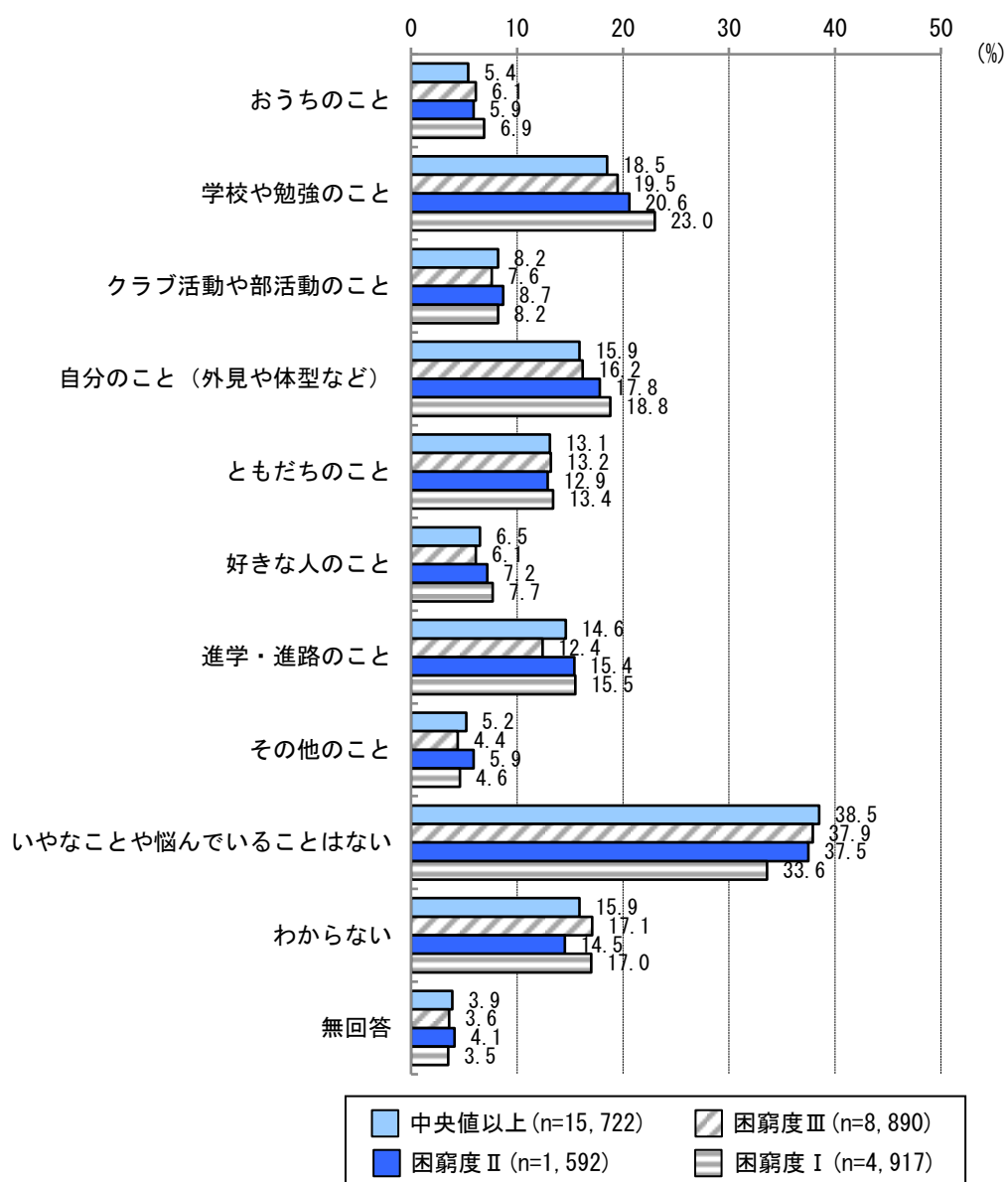


図 153. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「塾や習いごとで過ごしているとき」30.0%（困窮度Ⅰ群に対して1.7倍）、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」21.4%（同様に1.7倍）、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」66.2%（同様に1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問17）

<大阪府内全体>



<富田林市>

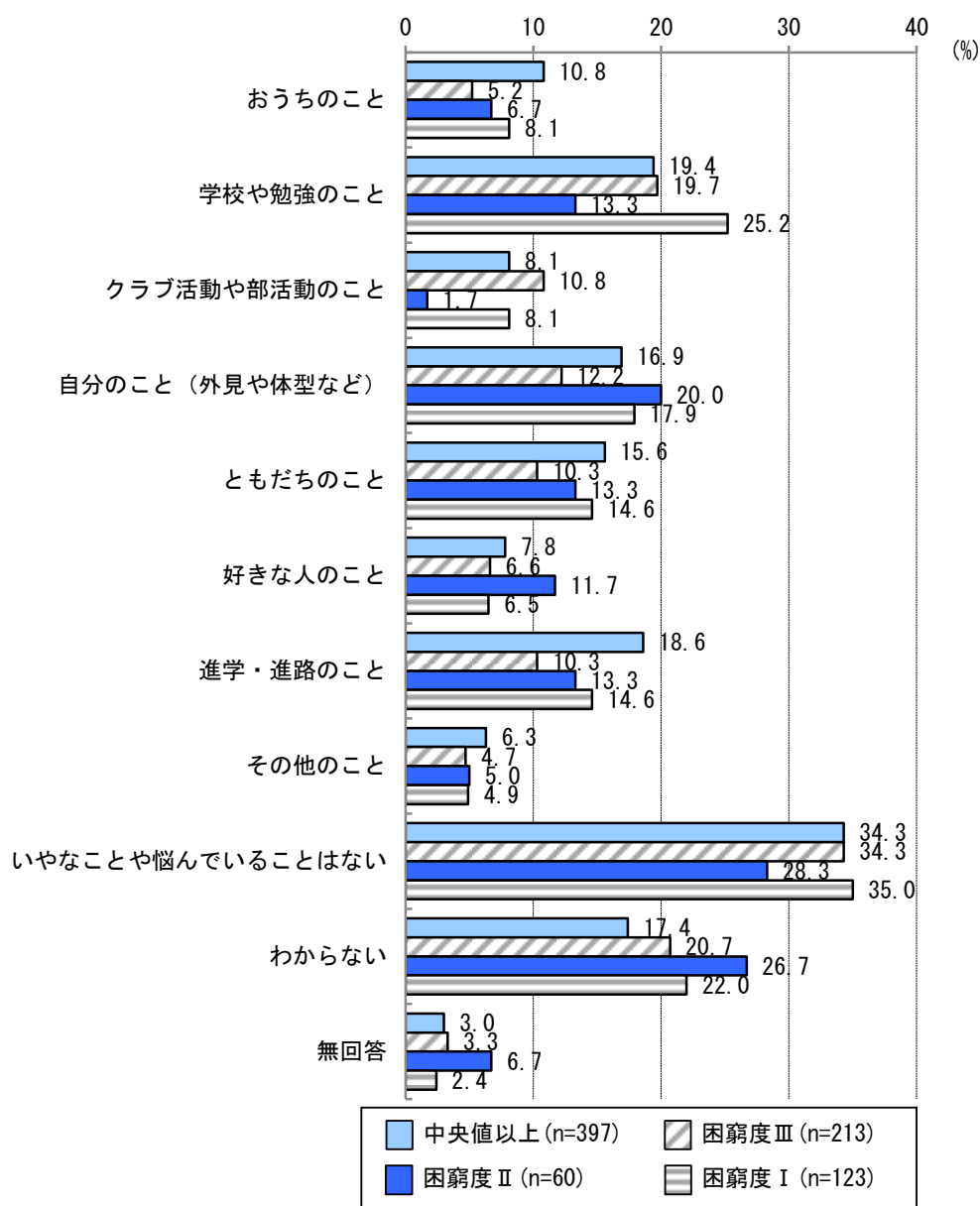
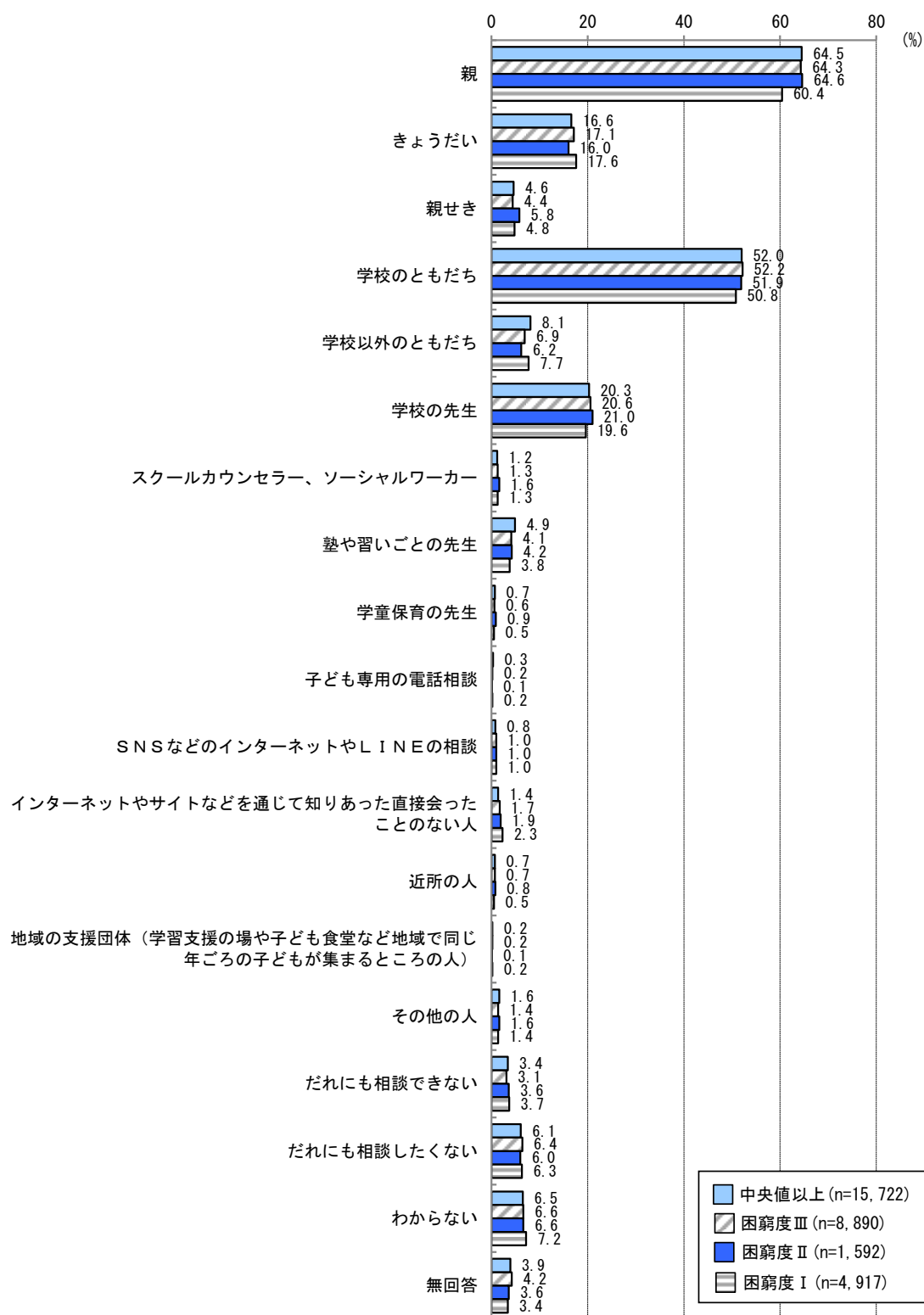


図 154. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「学校や勉強のこと」25.2%（中央値以上群に対して1.4倍）、「自分のこと（外見や体型など）」17.9%（同様に1.1倍）が高く、中央値以上群では「おうちのこと」10.8%（困窮度Ⅰ群に対して1.3倍）、「進学・進路のこと」18.6%（同様に1.3倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問18）

<大阪府内全体>



＜富田林市＞

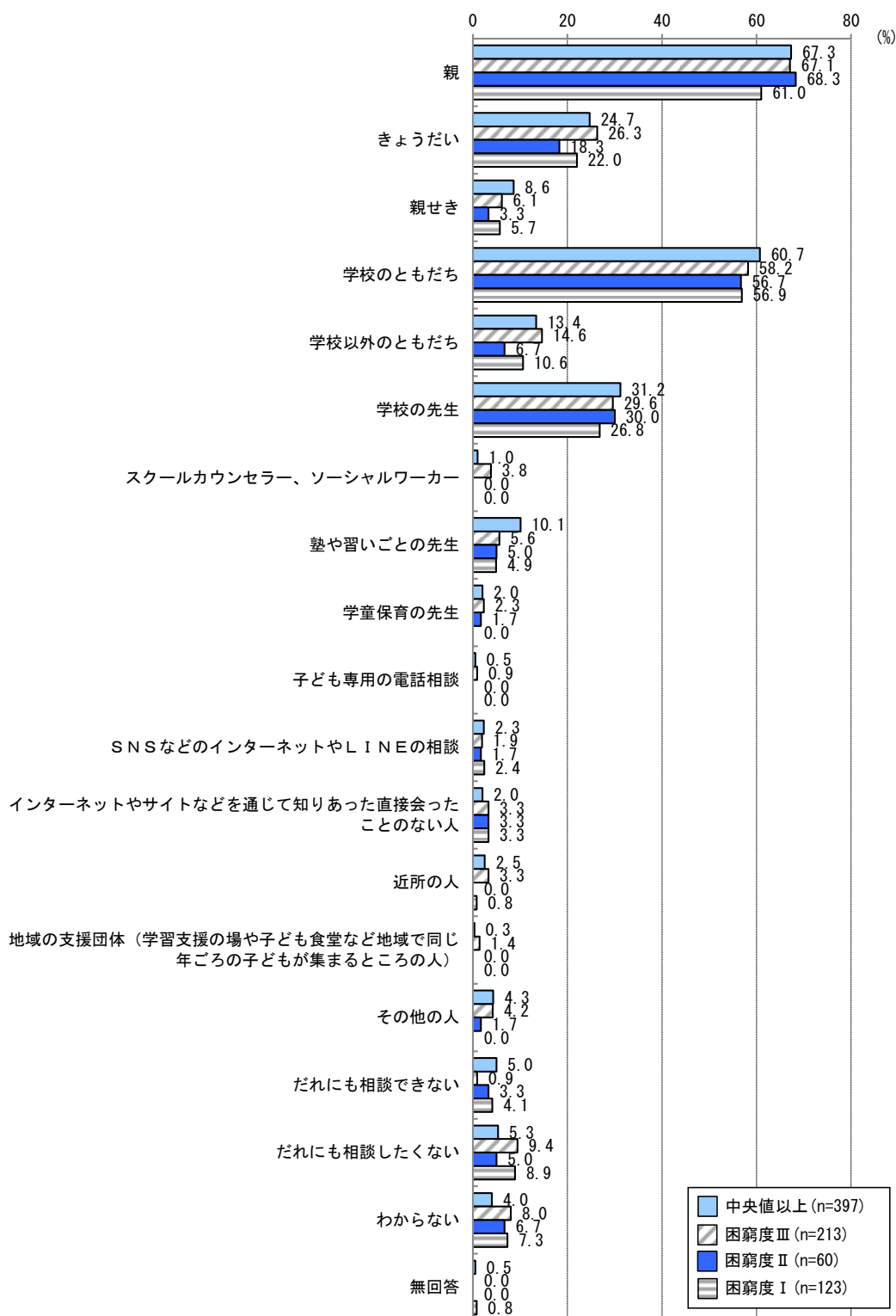
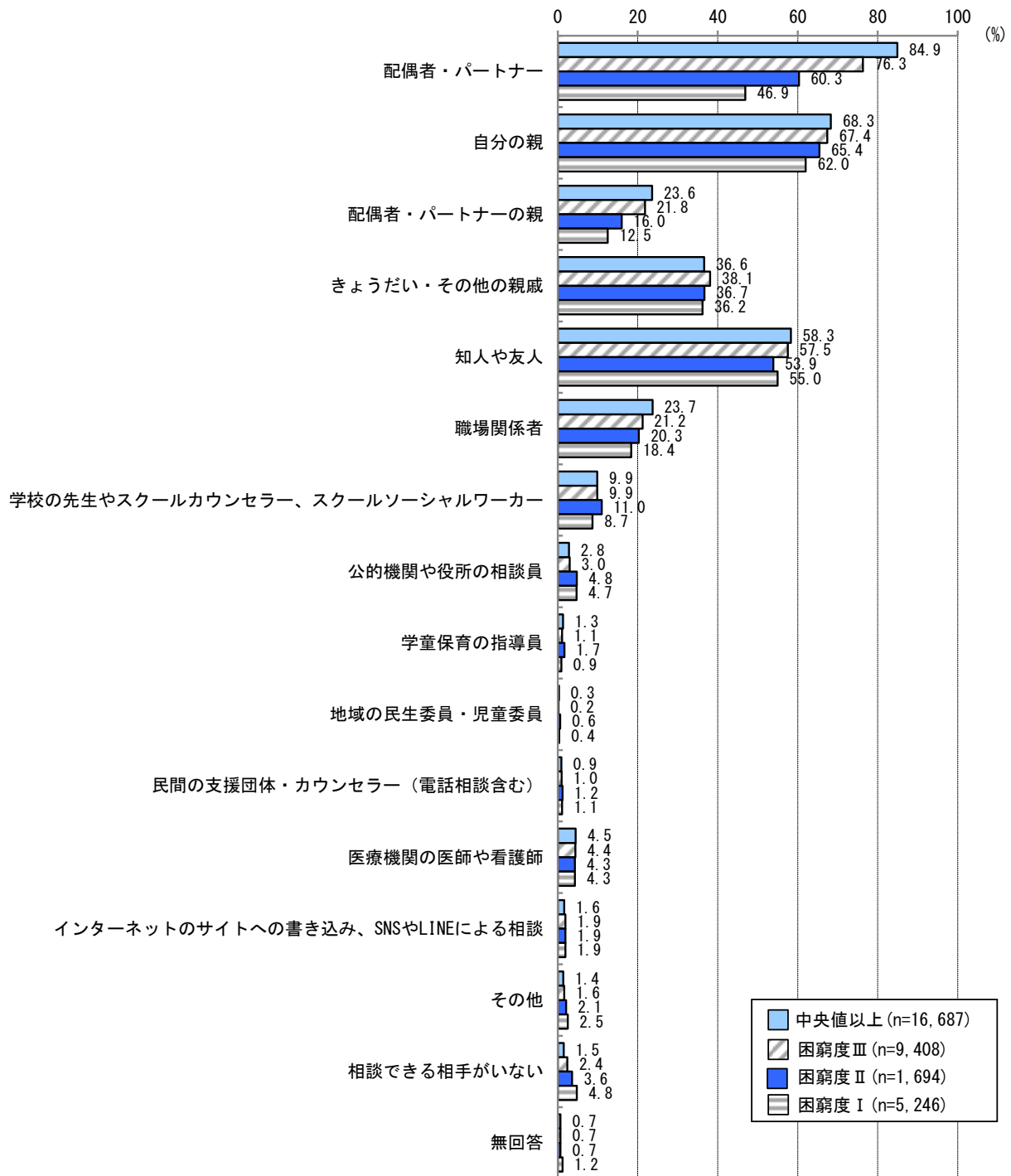


図 155. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「だれにも相談したくない」8.9%（中央値以上群に対して1.7倍）、「インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人」3.3%（同じく1.6倍）となっている。

困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 19）

<大阪府内全体>



<富田林市>

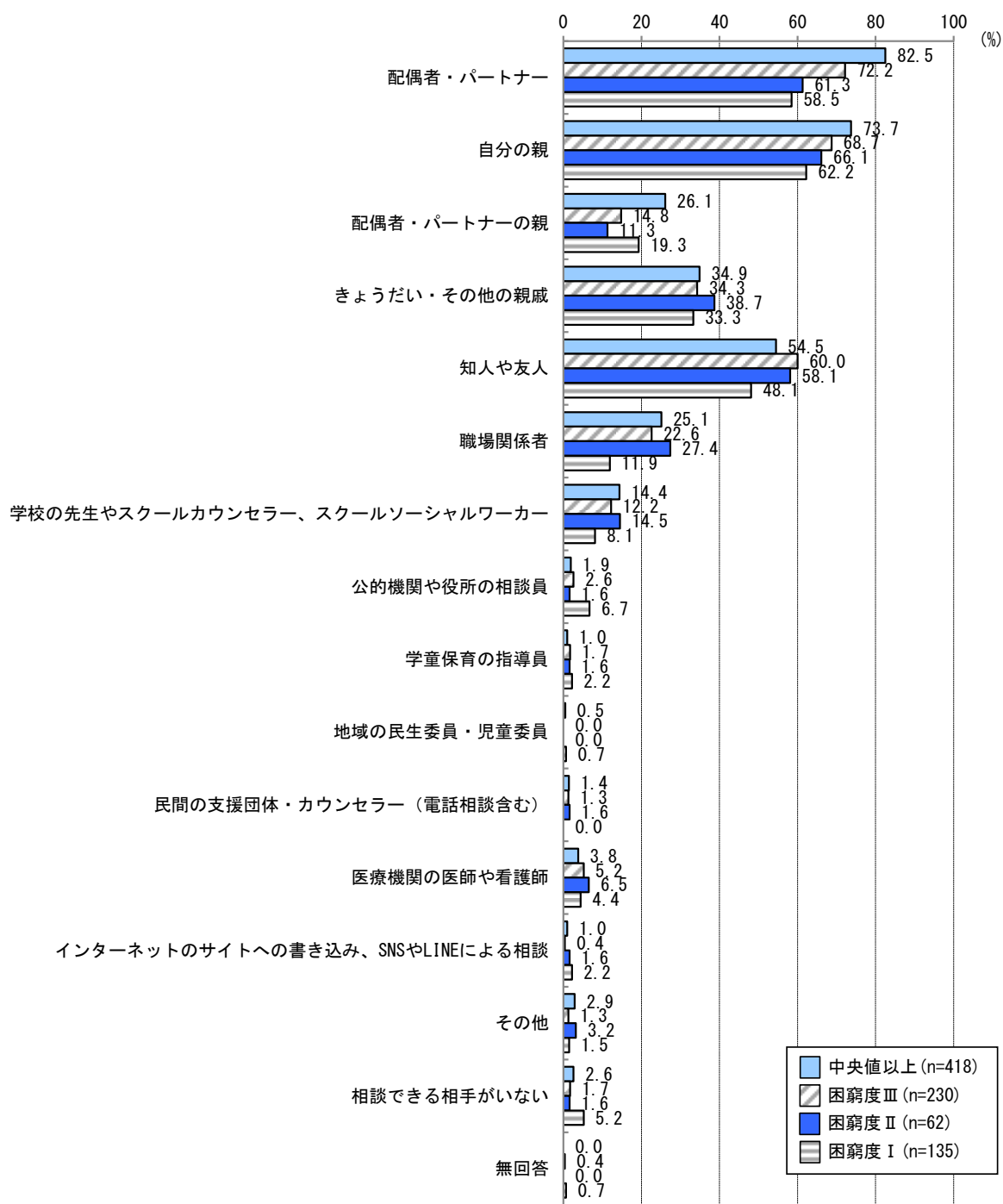
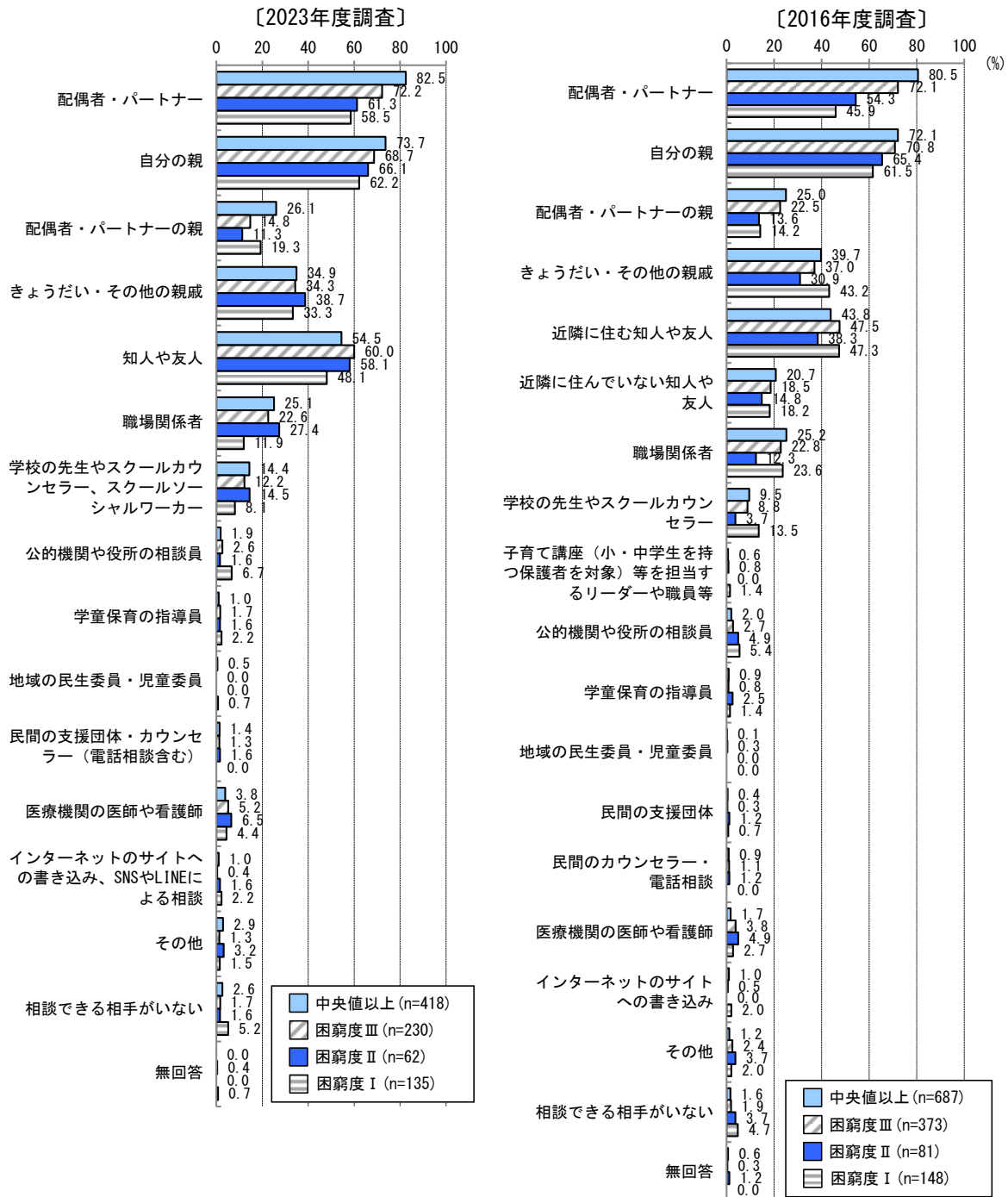


図 156. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

困窮度別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「公的機関や役所の相談員」6.7%（中央値以上群に対して3.5倍）、「学童保育の指導員」2.2%（同にく2.2倍）、「インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談」2.2%（同にく2.2倍）となっている。中央値以上群の数値を挙げると、「職場関係者」25.1%（困窮度Ⅰ群に対して2.1倍）、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」14.4%（同にく1.7倍）、「配偶者・パートナー」82.5%（同にく1.4倍）となっている。

<2016 年度調査との比較／富田林市>



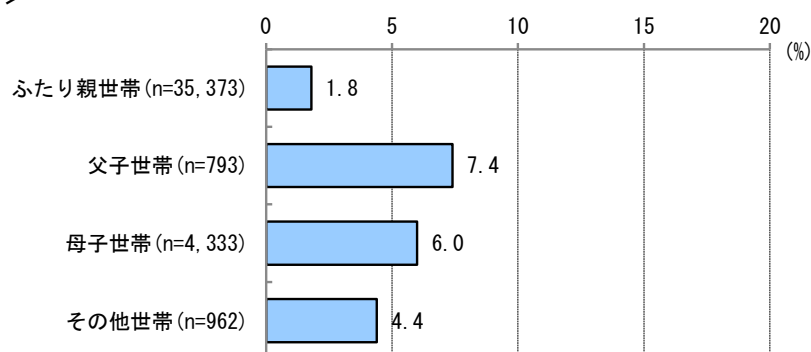
- ※1 「知人や友人」は、2016年度調査では「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」
 ※2 「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」は、2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」
 ※3 2016年度調査の「子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等」は今回は削除
 ※3 「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」は、2016年度調査では「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」
 ※4 「インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談」は、2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

図 157. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「配偶者・パートナー」「医療機関の医師や看護師」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて高くなっている。

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合
(保護者票問2×保護者票問19)

<大阪府内全体>



<富田林市>

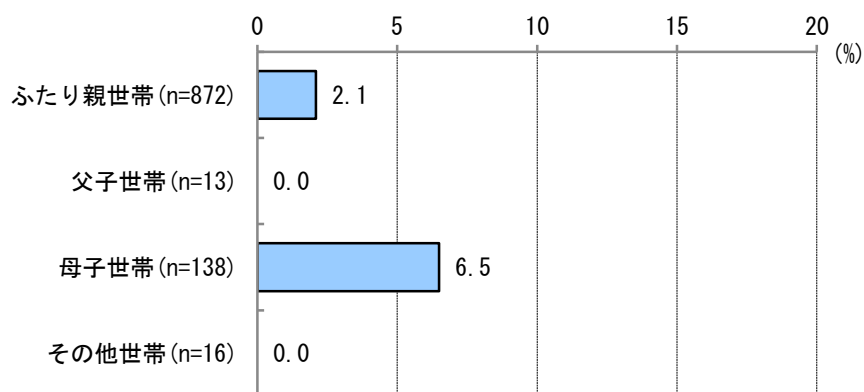


図 158. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合

世帯構成別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「相談できる相手がない」と回答した人は、ふたり親世帯で2.1%、母子世帯で6.5%いる。

<2016年度調査との比較／富田林市>

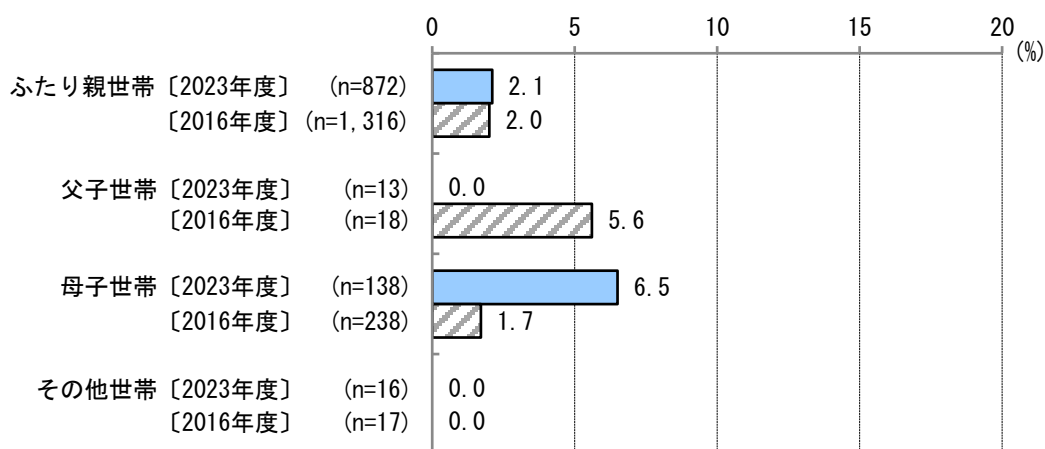
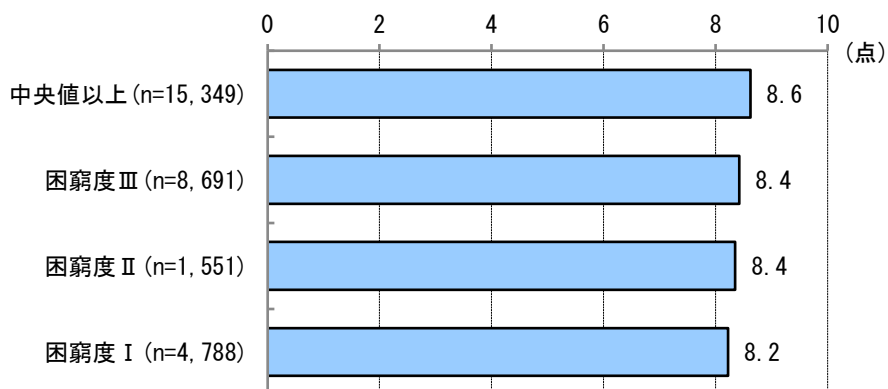


図 159. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合 (2016年度調査との比較)

2016年度調査と比較すると、母子世帯の割合は、2016年度調査に比べて高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<富田林市>

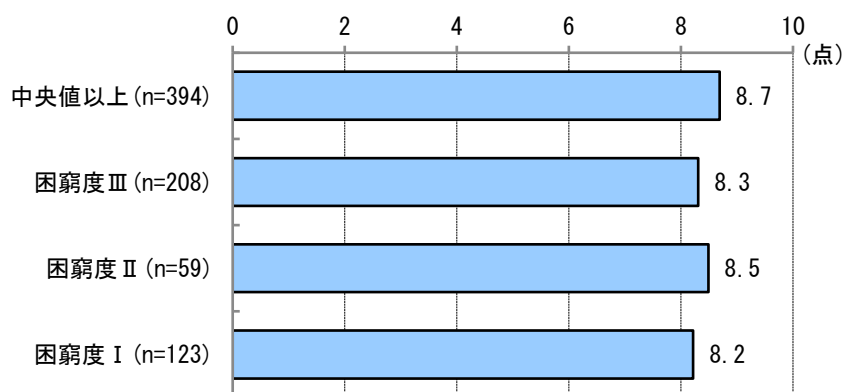
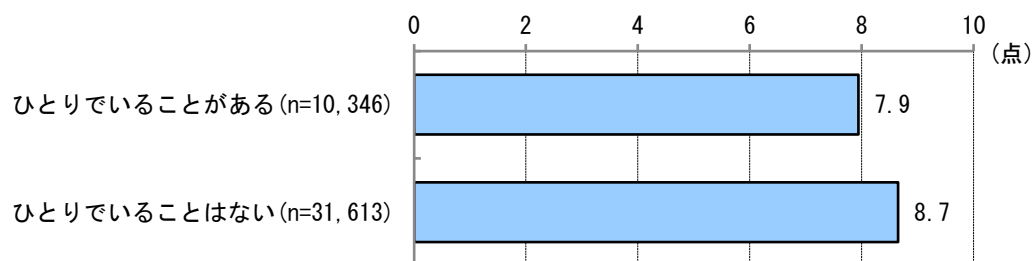


図 160. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、中央値以上群が8.7点で最も高く、困窮度Ⅰ群が8.2点で最も低くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 10×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<富田林市>

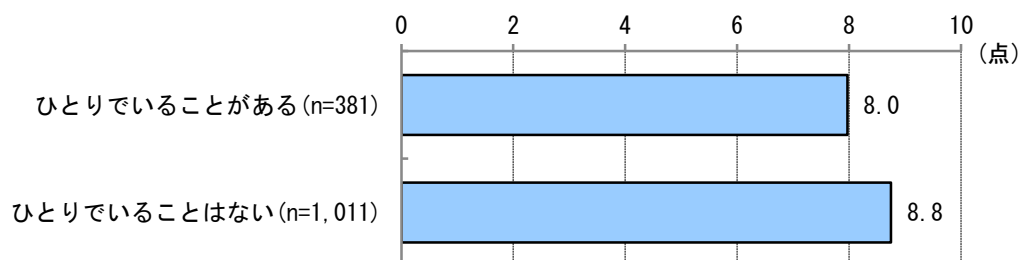


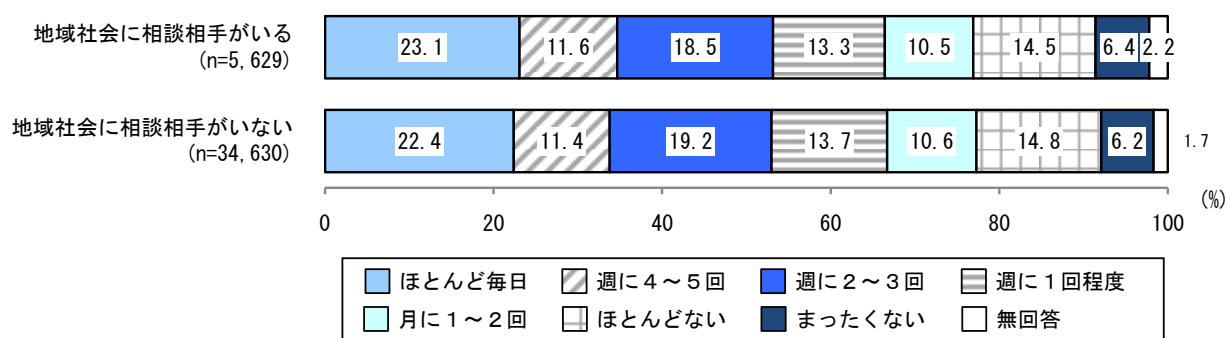
図 161. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそれでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか
(保護者票問 19×子ども票問 8④)

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも1つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

<大阪府内全体>



<富田林市>

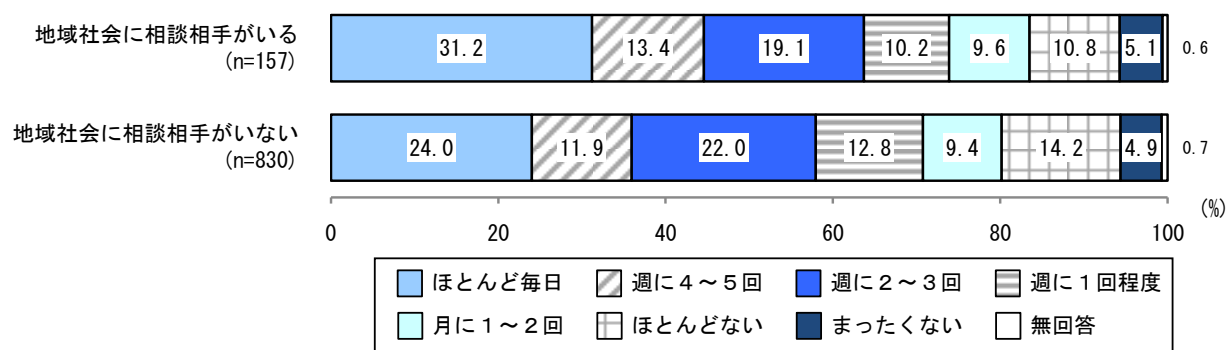
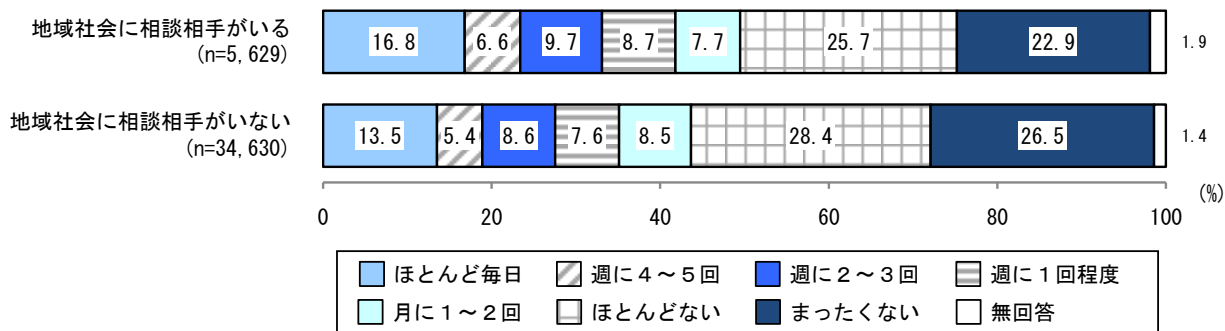


図 162. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、家の手伝いをしているかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもがおうちの手伝いをしているかに「ほとんど毎日」、「週に4~5回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑤）

<大阪府内全体>



<富田林市>

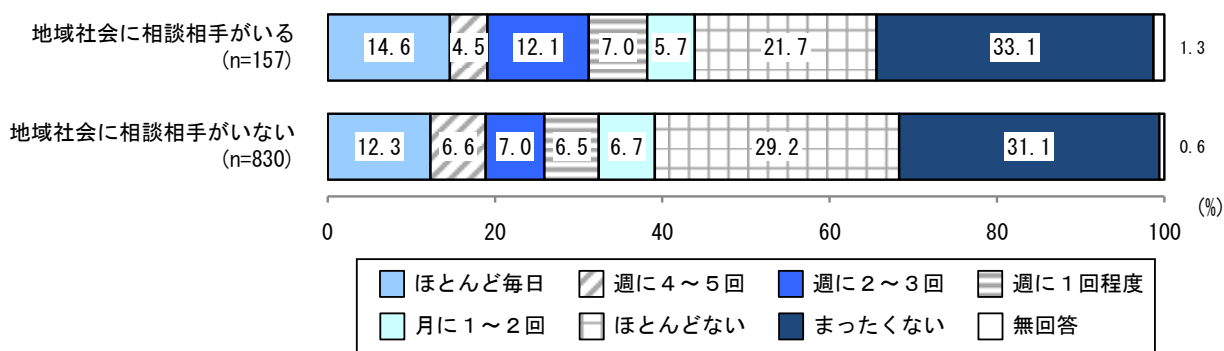
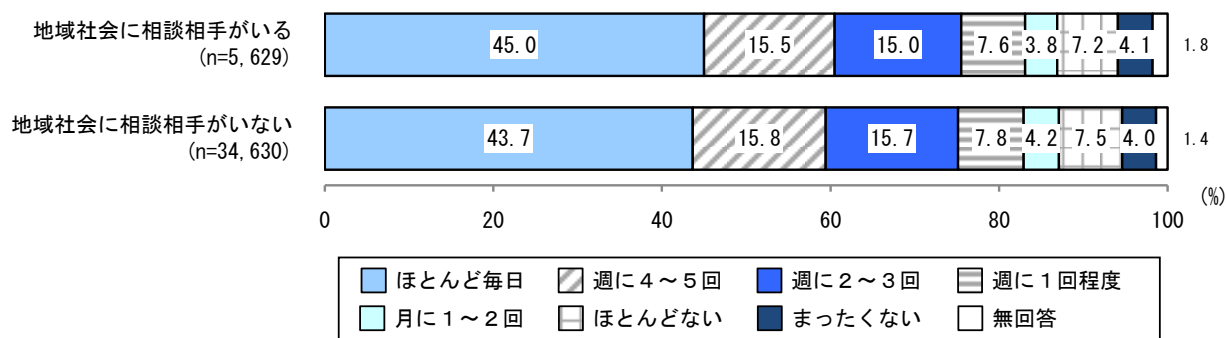


図 163. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっているかに「ほとんど毎日」、「週に2～3回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑥)

<大阪府内全体>



<富田林市>

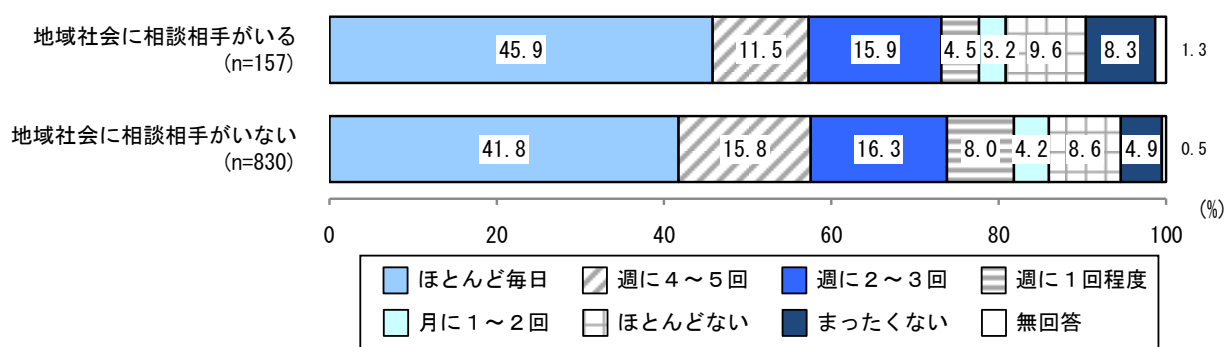
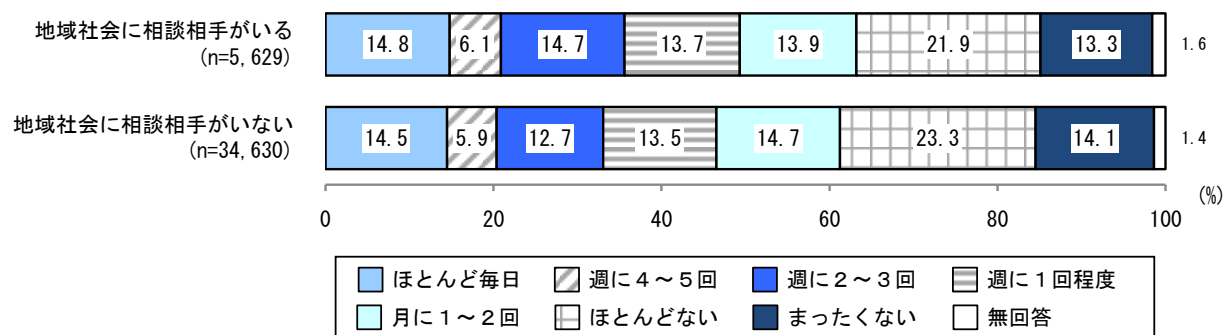


図 164. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑦)

<大阪府内全体>



<富田林市>

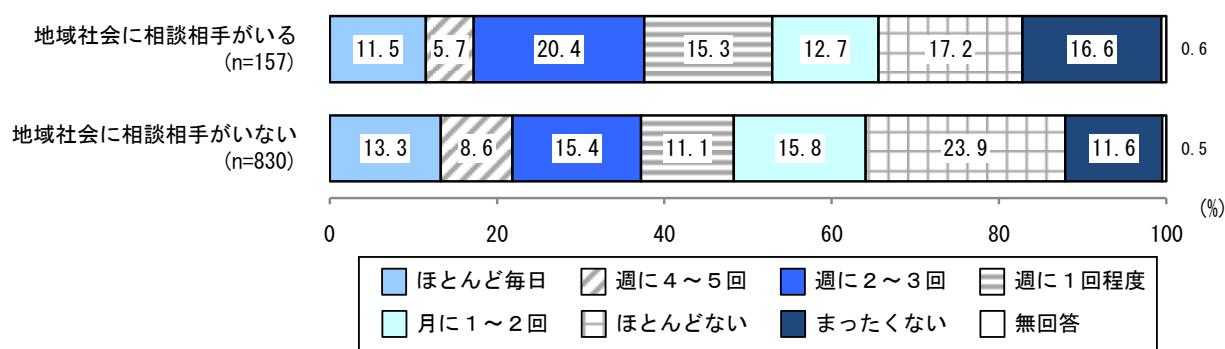
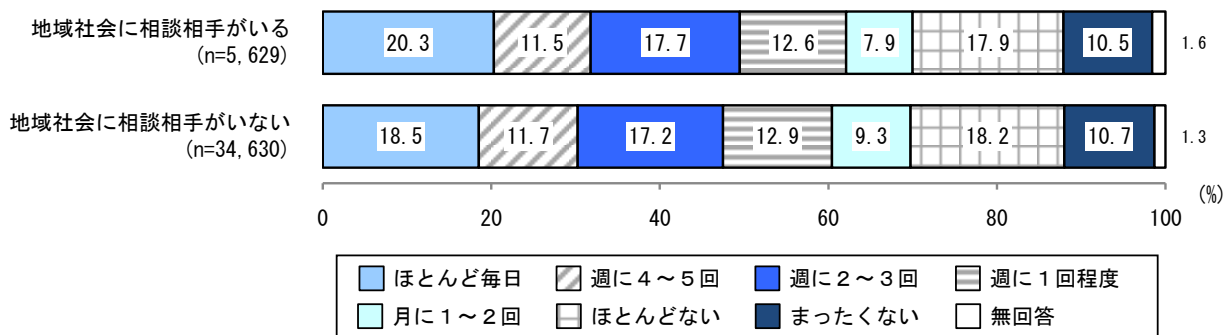


図 165. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかに「週に2～3回」、「週に1回程度」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑧）

<大阪府内全体>



<富田林市>

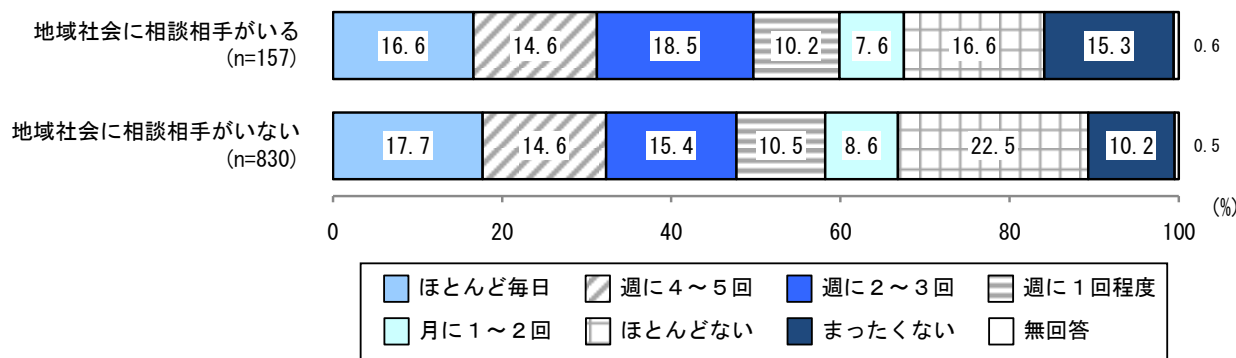
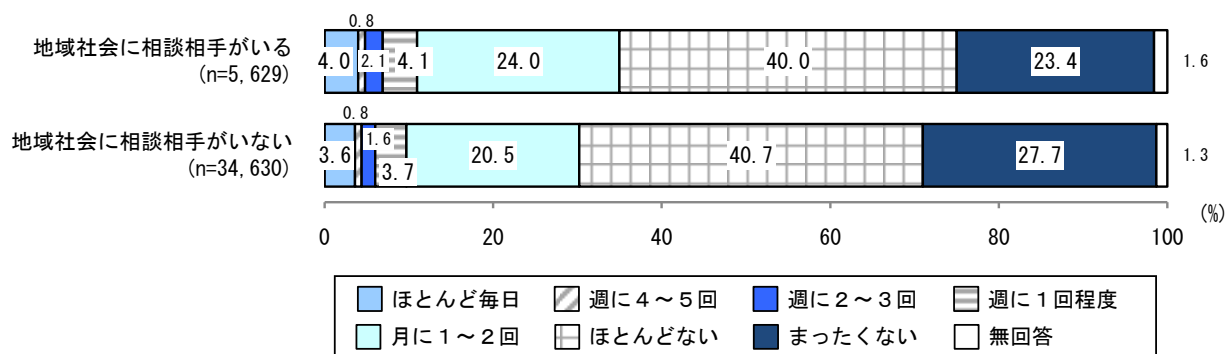


図 166. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人よりも、「地域社会に相談相手がない」人の方が、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すかに「ほとんどない」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑨)

<大阪府内全体>



<富田林市>

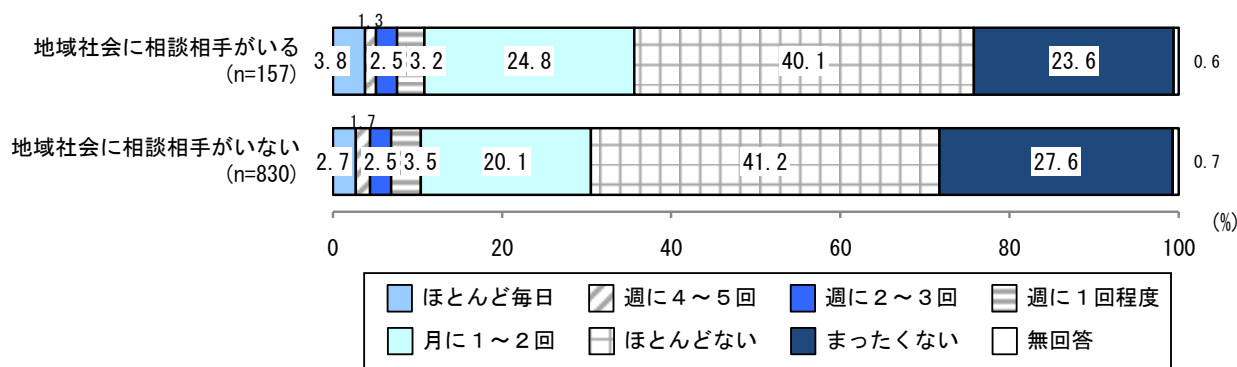
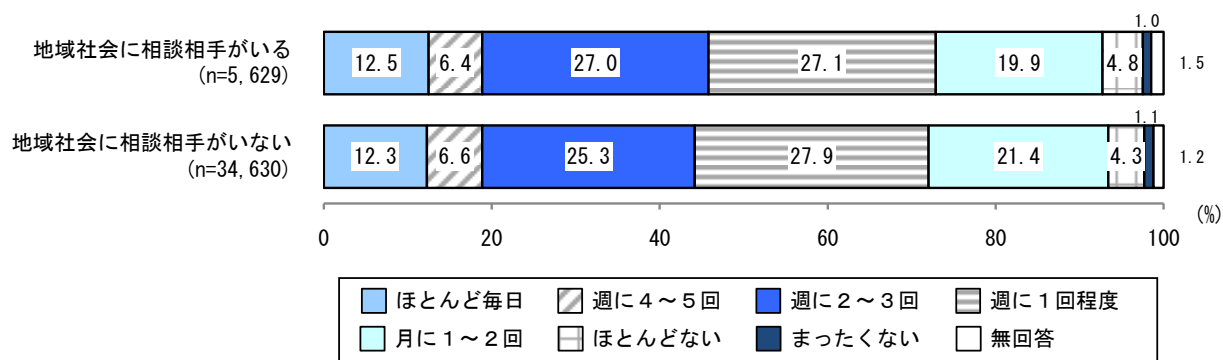


図 167. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と文化活動をするかに「月に1～2回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑩)

<大阪府内全体>



<富田林市>

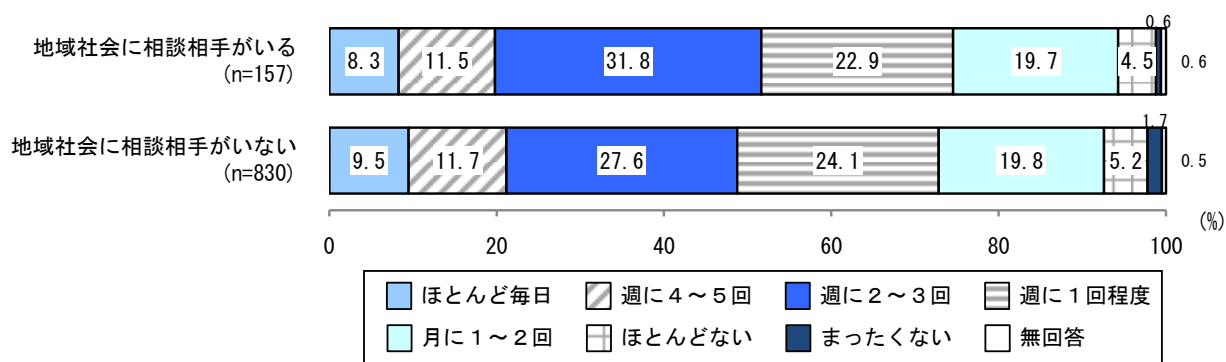
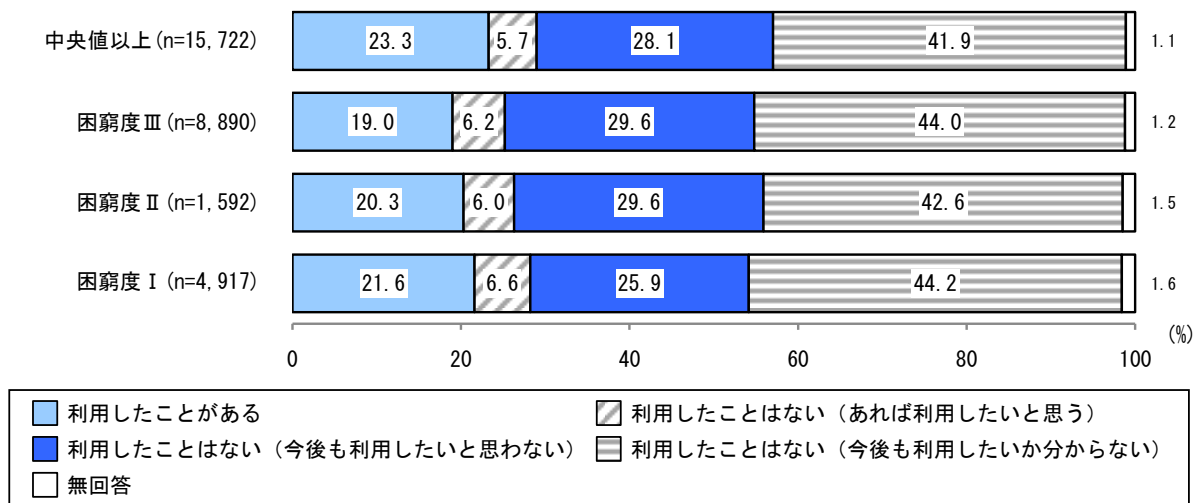


図 168. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と一緒に外出する」に差はなかった。

困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども票問 25(1)①）

<大阪府内全体>



<富田林市>

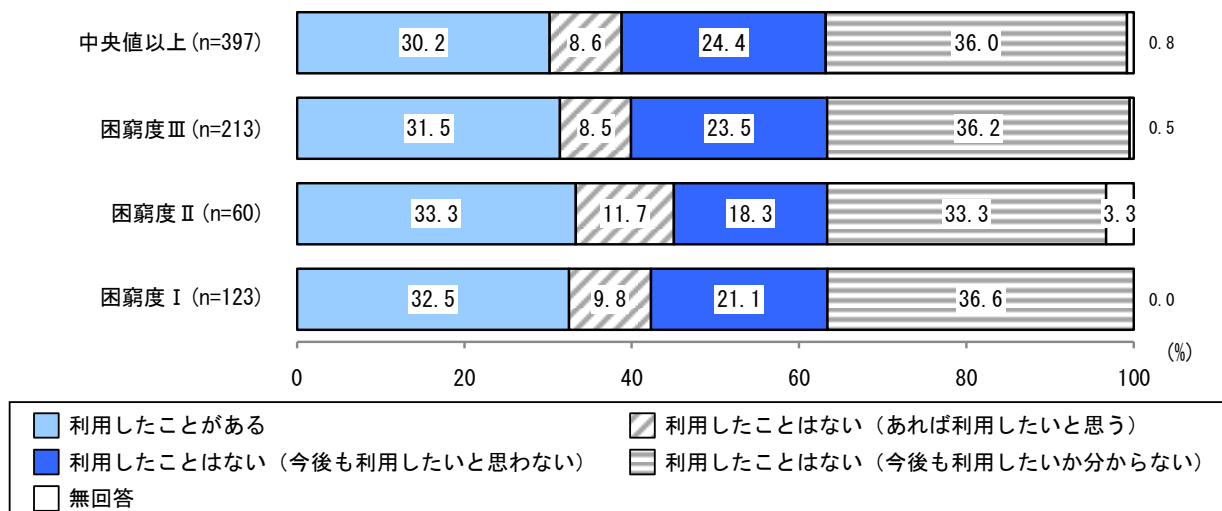
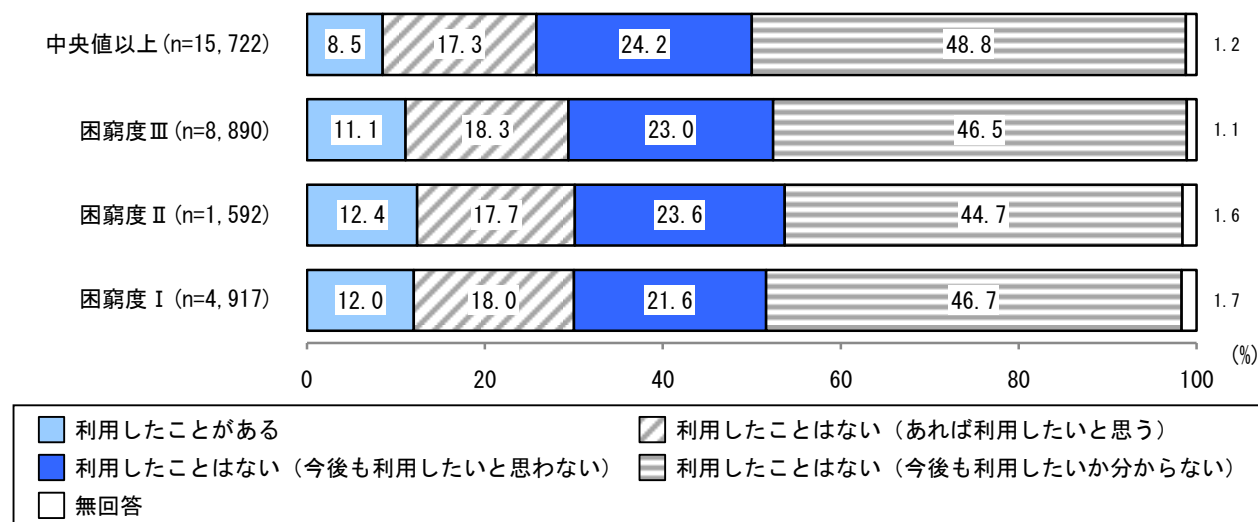


図 169. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

困窮度別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答する割合が困窮度Ⅱ群で33.3%、11.7%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所
(子ども票問 25(1)②)

<大阪府内全体>



<富田林市>

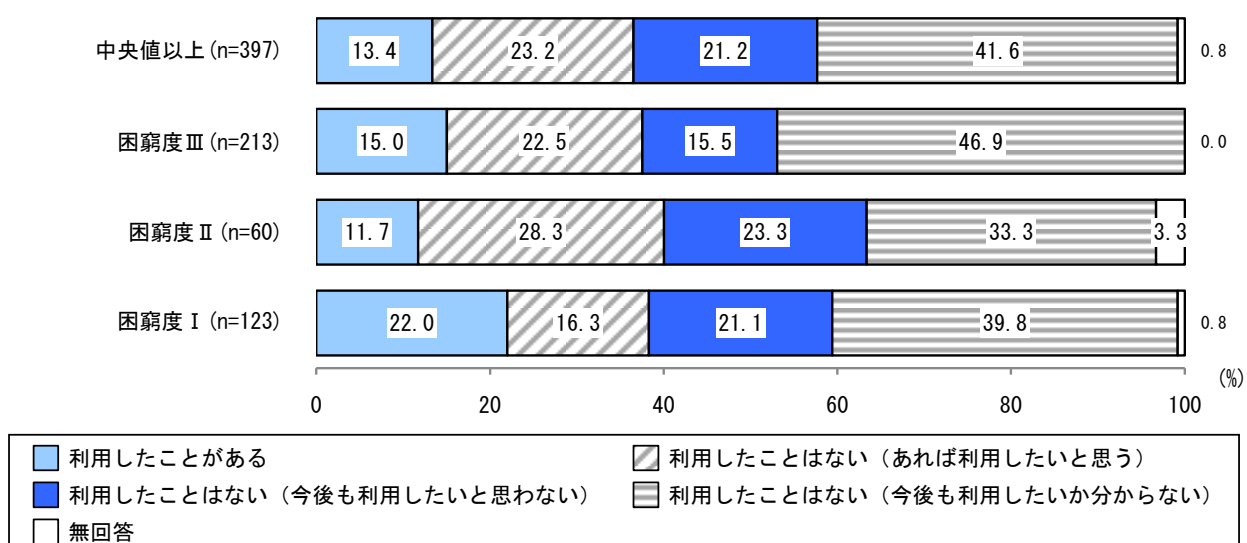
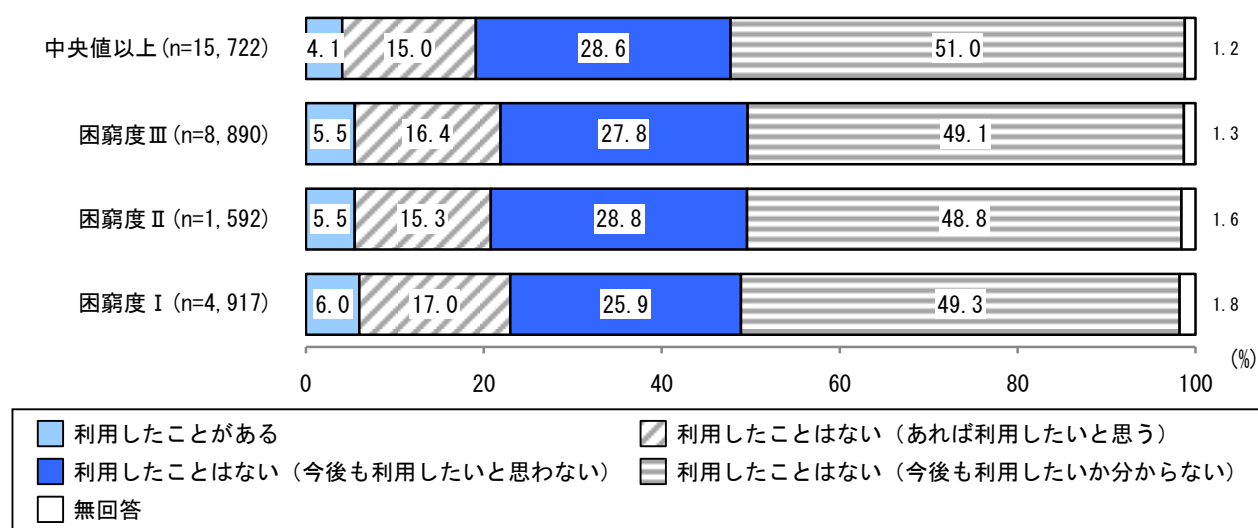


図 170. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

困窮度別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で22.0%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所（子ども票問 25(1)③）

<大阪府内全体>



<富田林市>

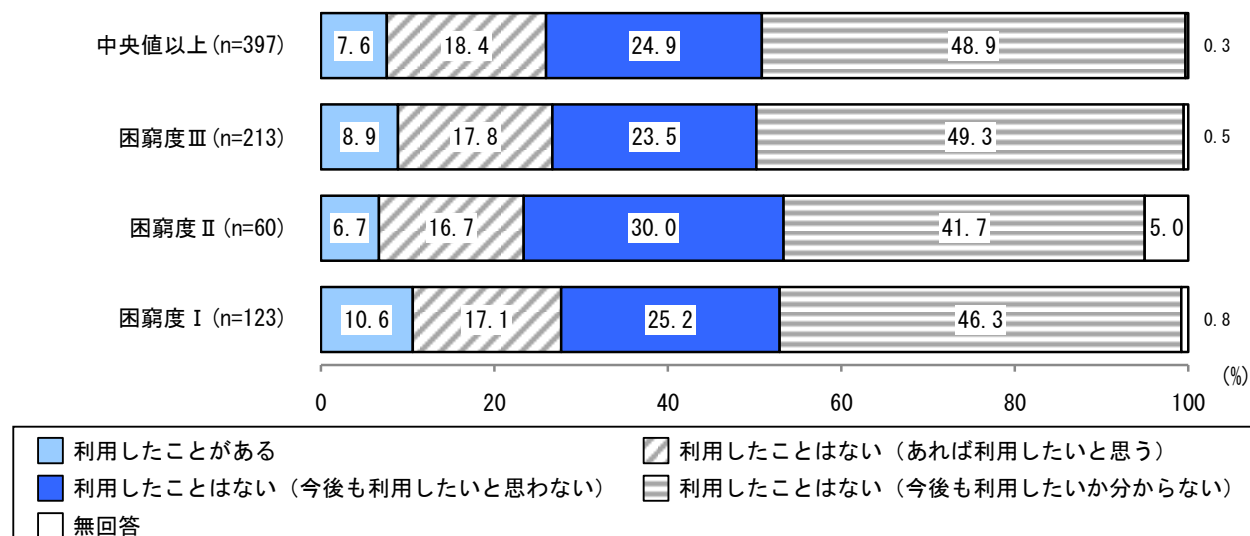
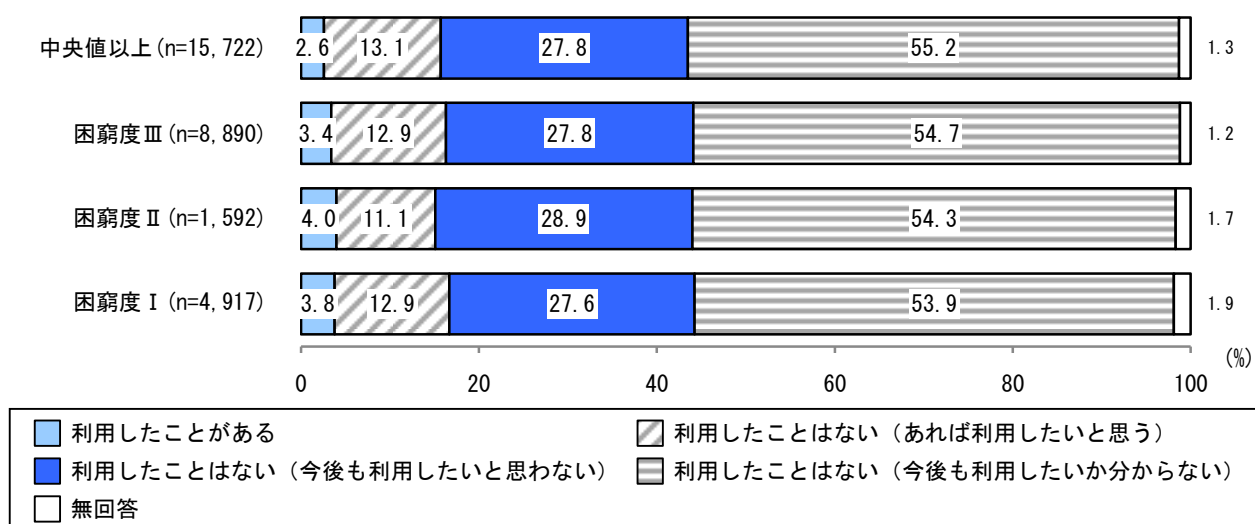


図 171. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所

困窮度別に勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で10.6%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、何でも相談できる場所（子ども票問 25(1)④）

<大阪府内全体>



<富田林市>

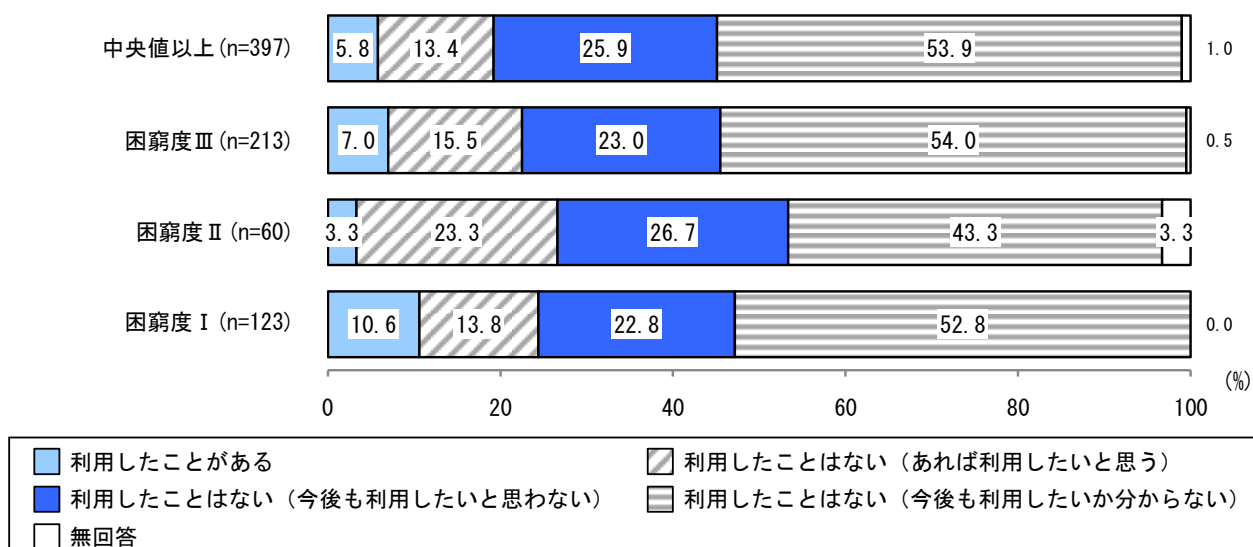
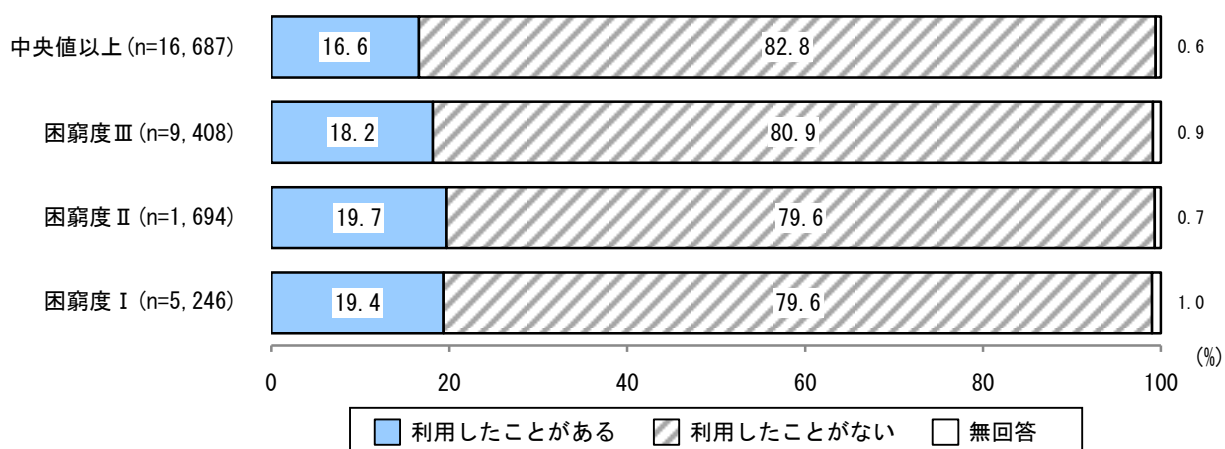


図 172. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所

困窮度別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で10.6%と最も高くなっている。また、「利用したことはない(あれば利用したいと思う)」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群で23.3%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験（保護者票問 16(1)）

<大阪府内全体>



<富田林市>

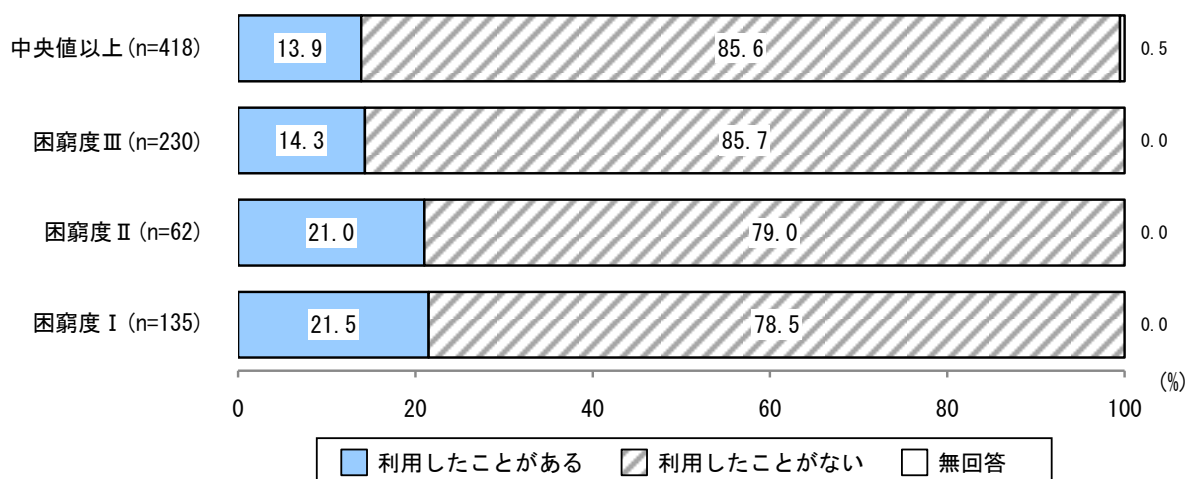
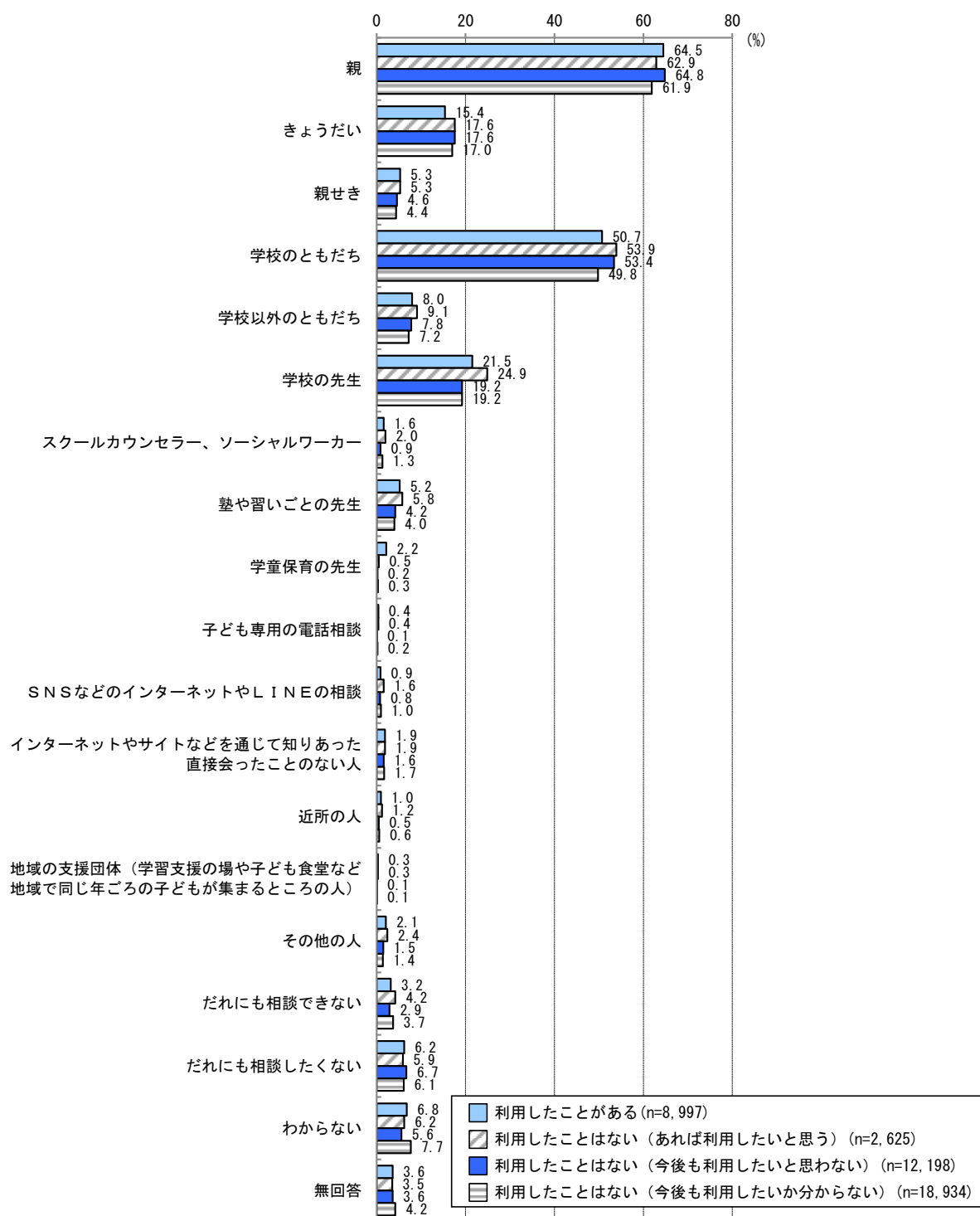


図 173. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験

困窮度別に子どもの居場所の利用経験を見ると、「利用したことがある」と回答する割合は中央値以上群が13.9%で最も低く、困窮度Ⅰ群が21.5%で最も高くなっている。

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)①×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<富田林市>

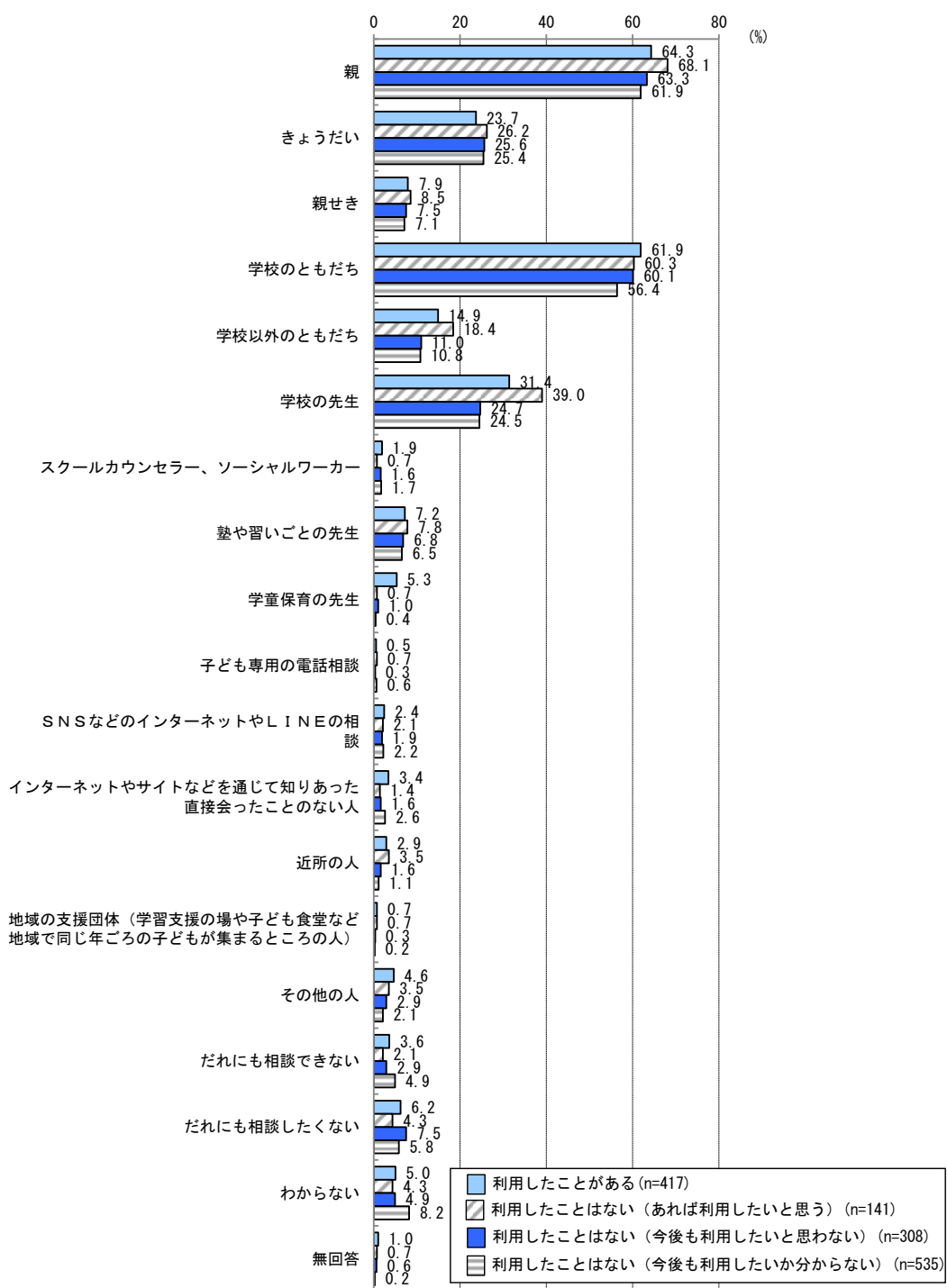
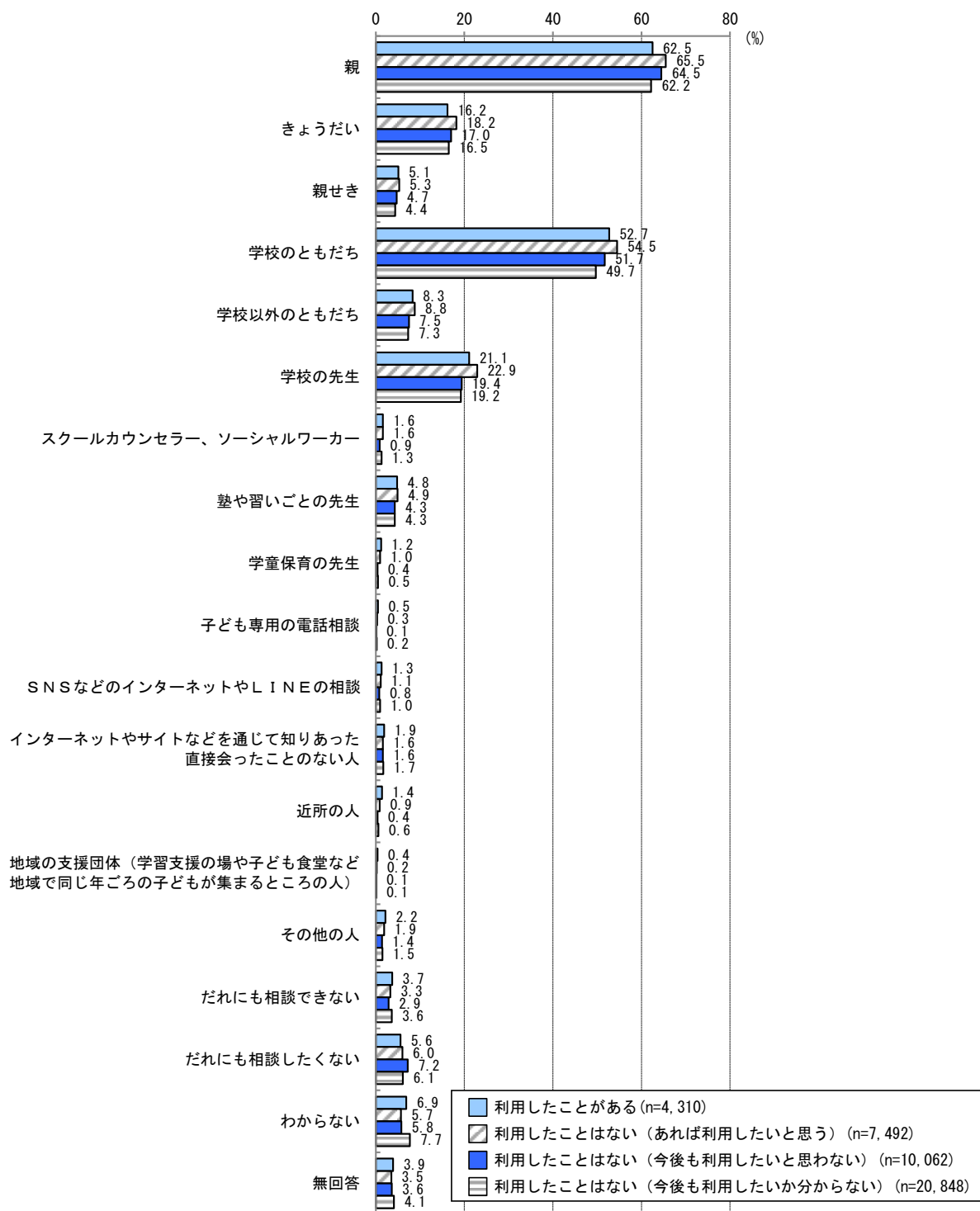


図 174. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「学校のともだち」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 25 (1)②×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<富田林市>

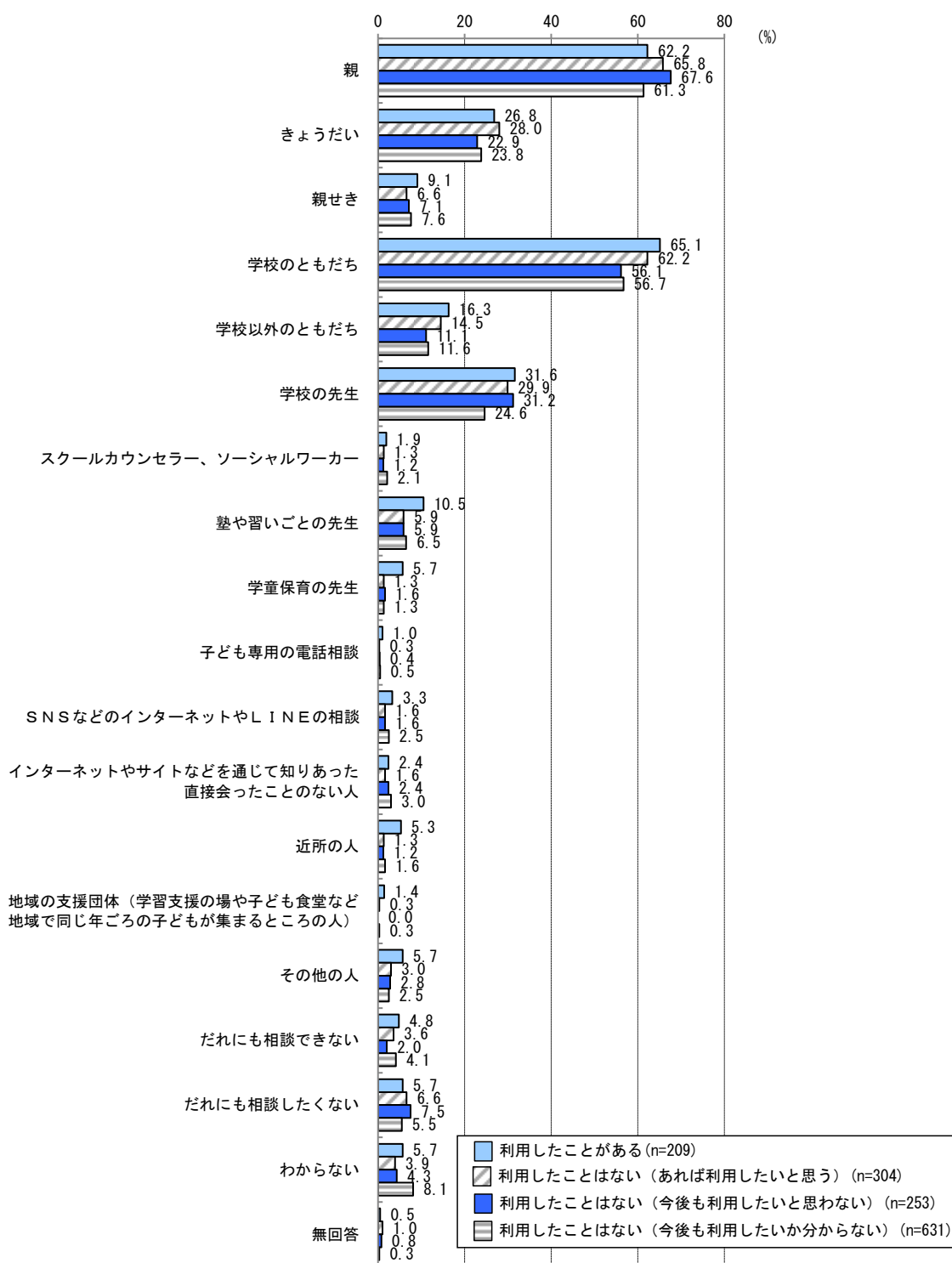
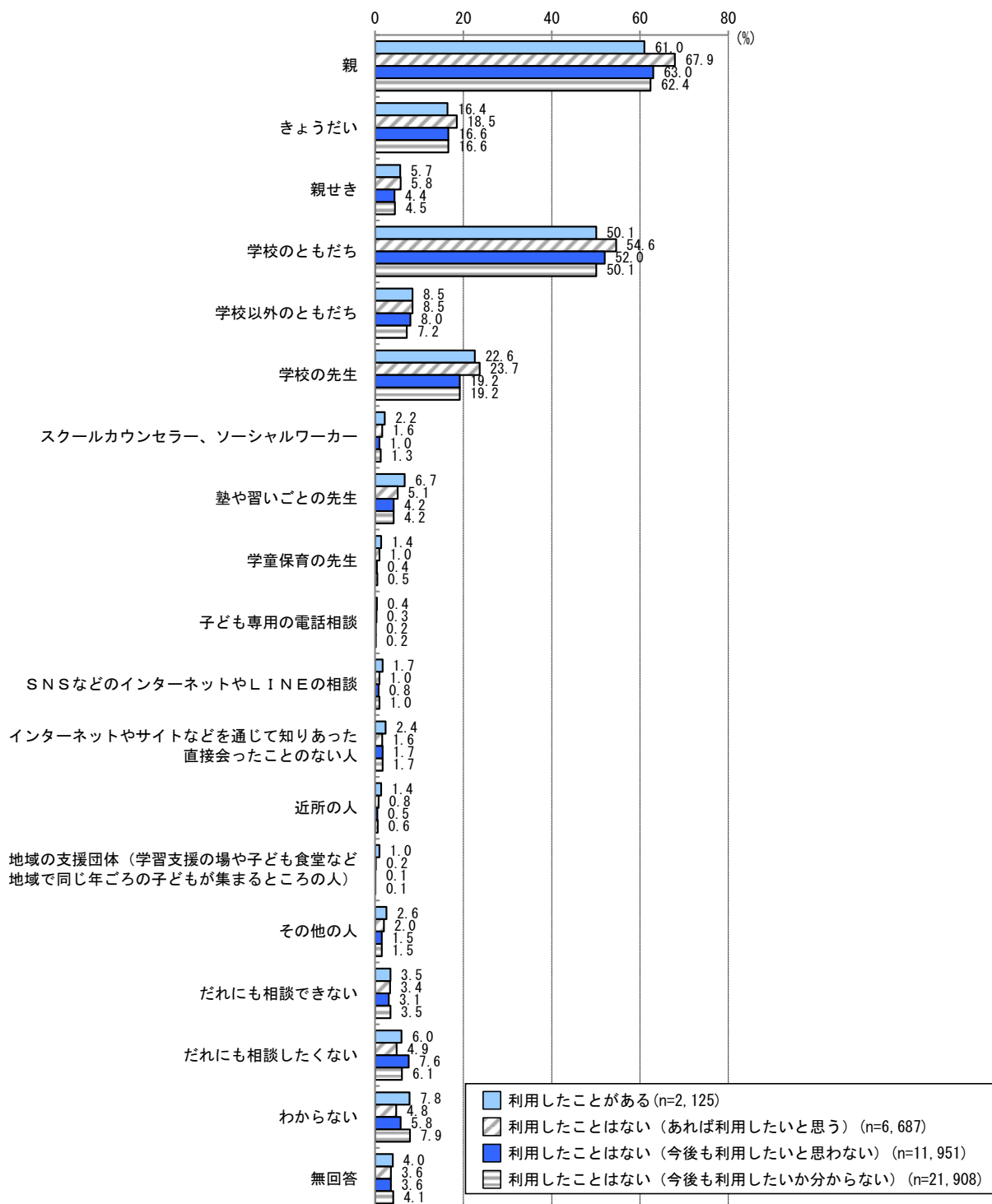


図 175. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親せき」、「学校のともだち」、「学校以外のともだち」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)③×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<富田林市>

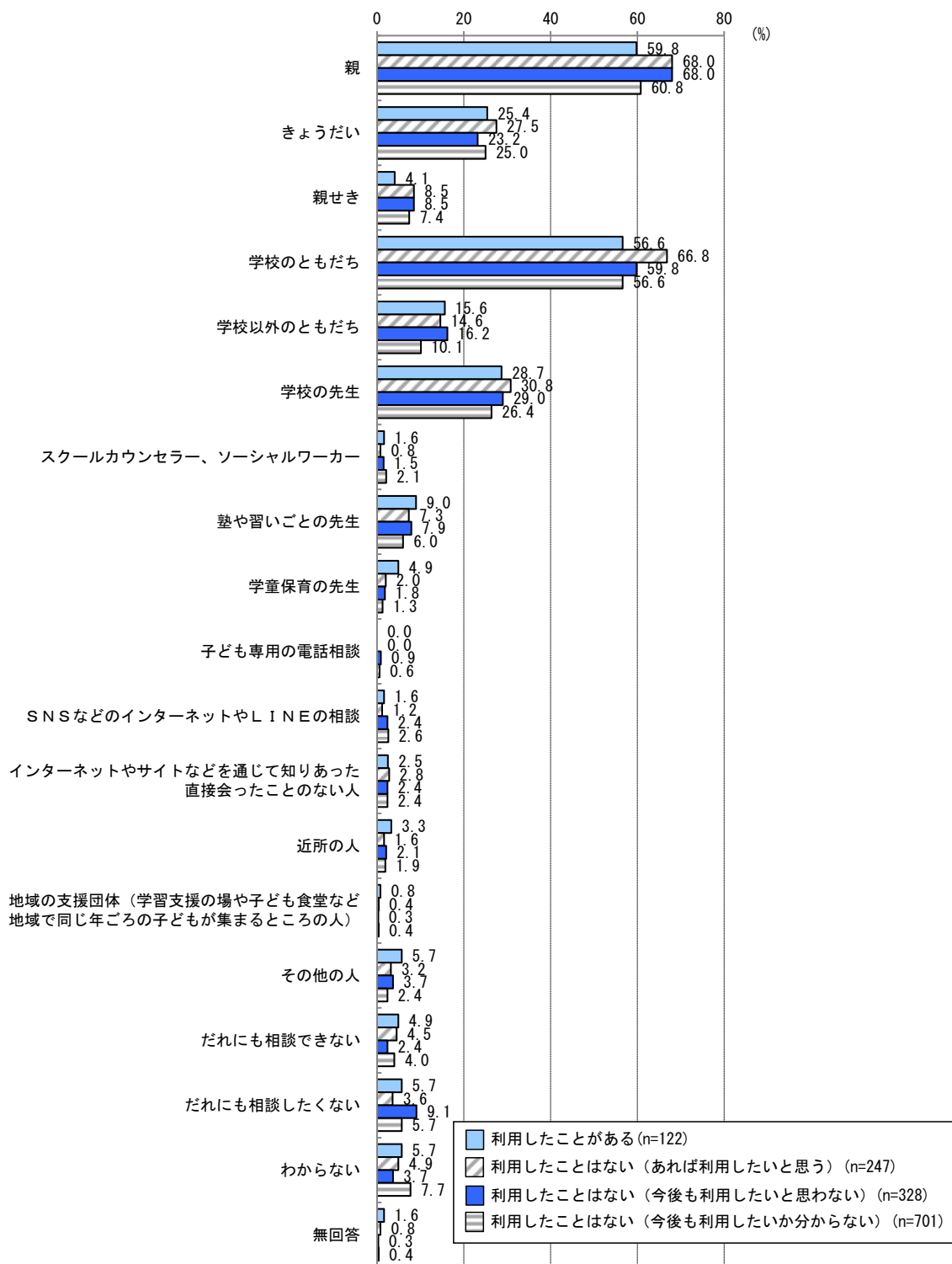
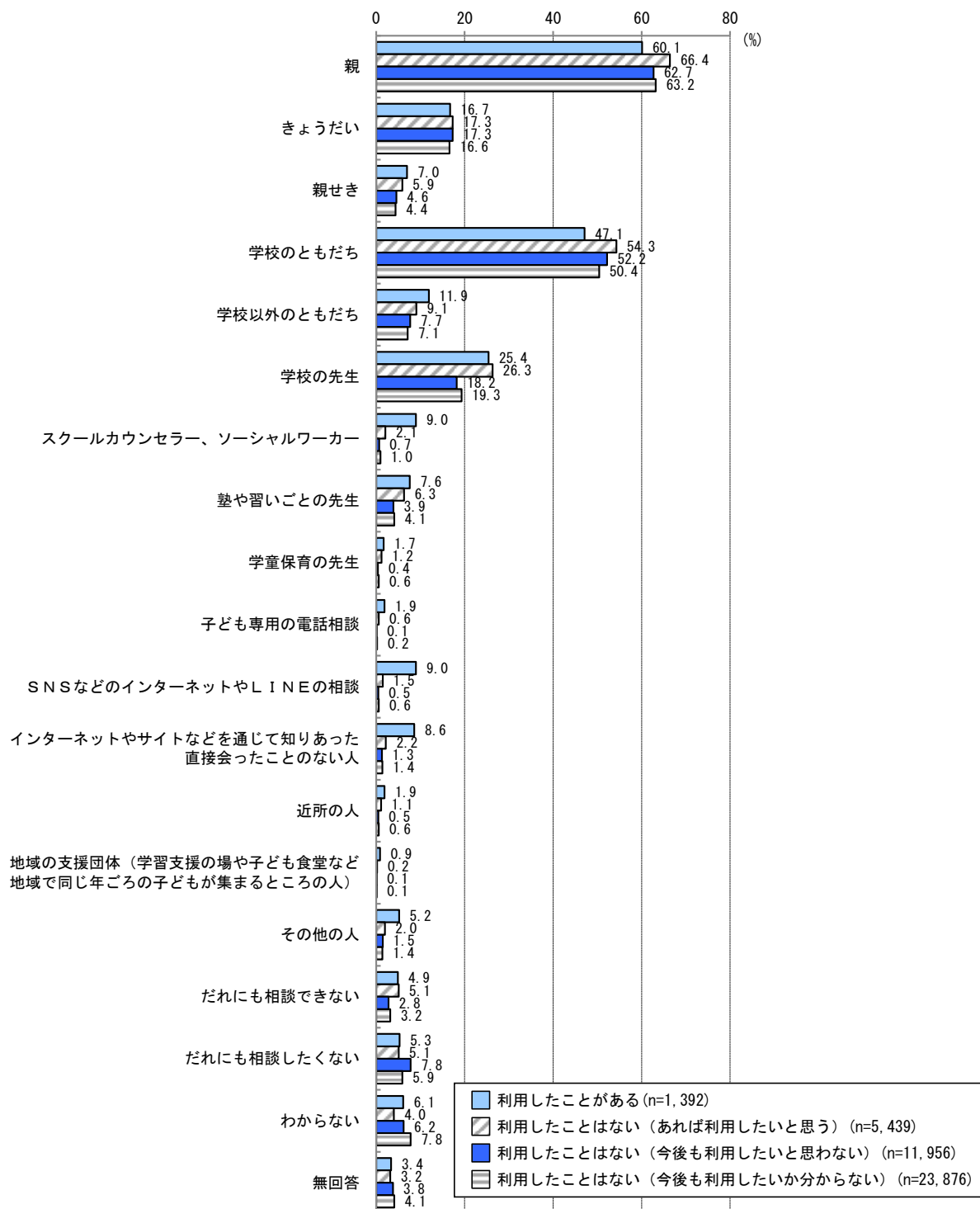


図 176. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」や「親せき」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)④×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<富田林市>

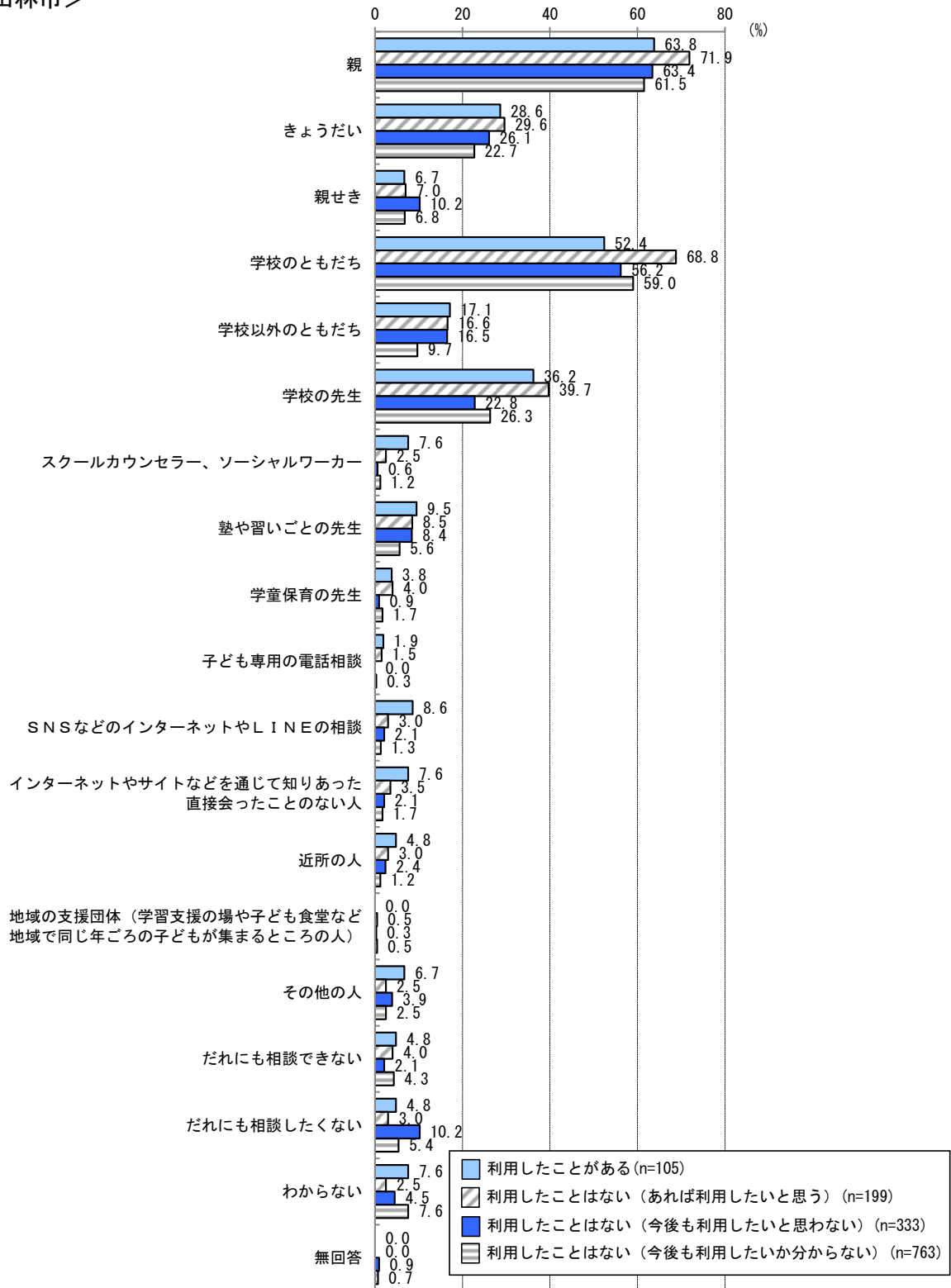
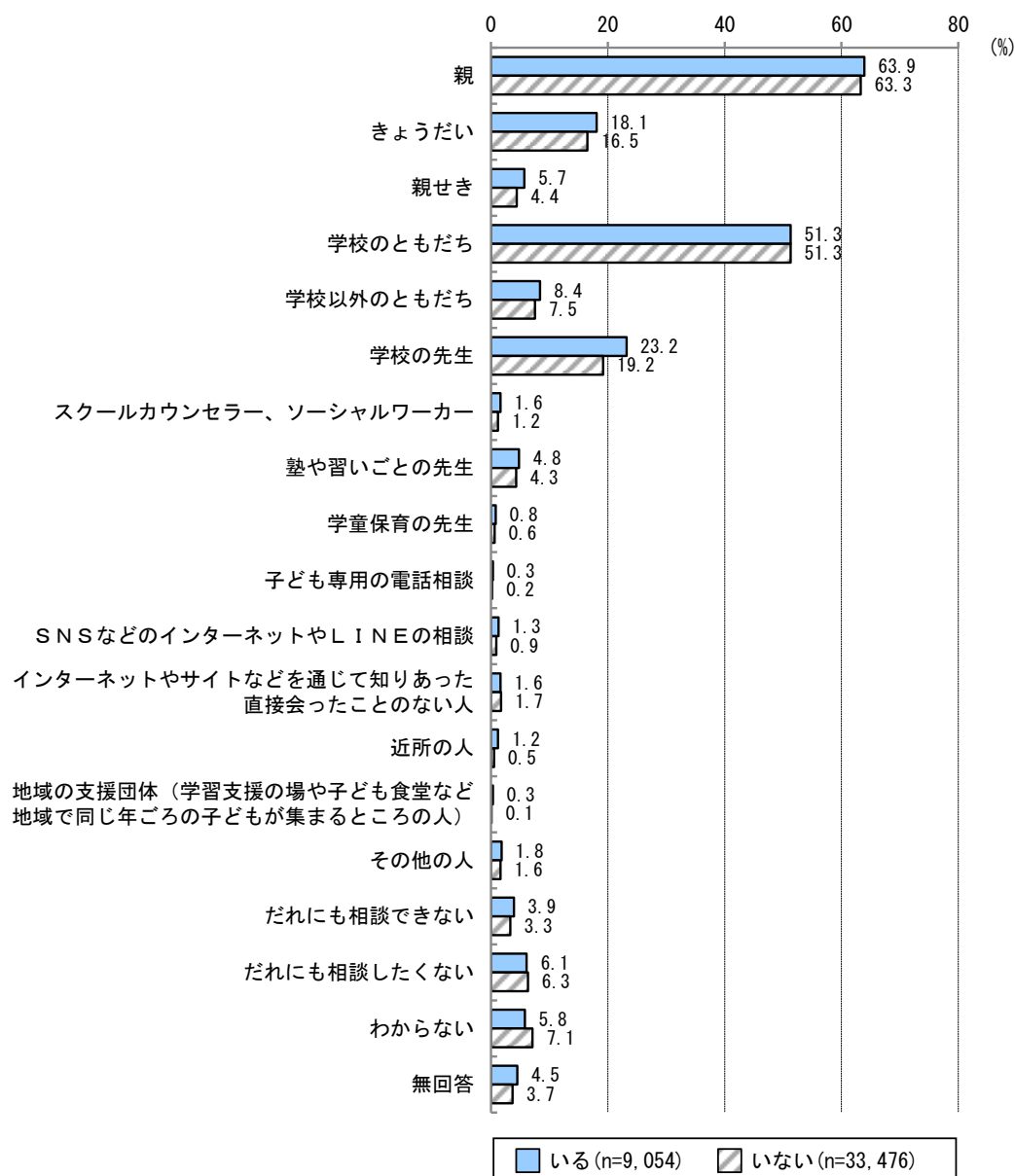


図 177. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

何でも相談できる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「学校以外のともだち」や「スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー」、「塾や習いごとの先生」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<富田林市>

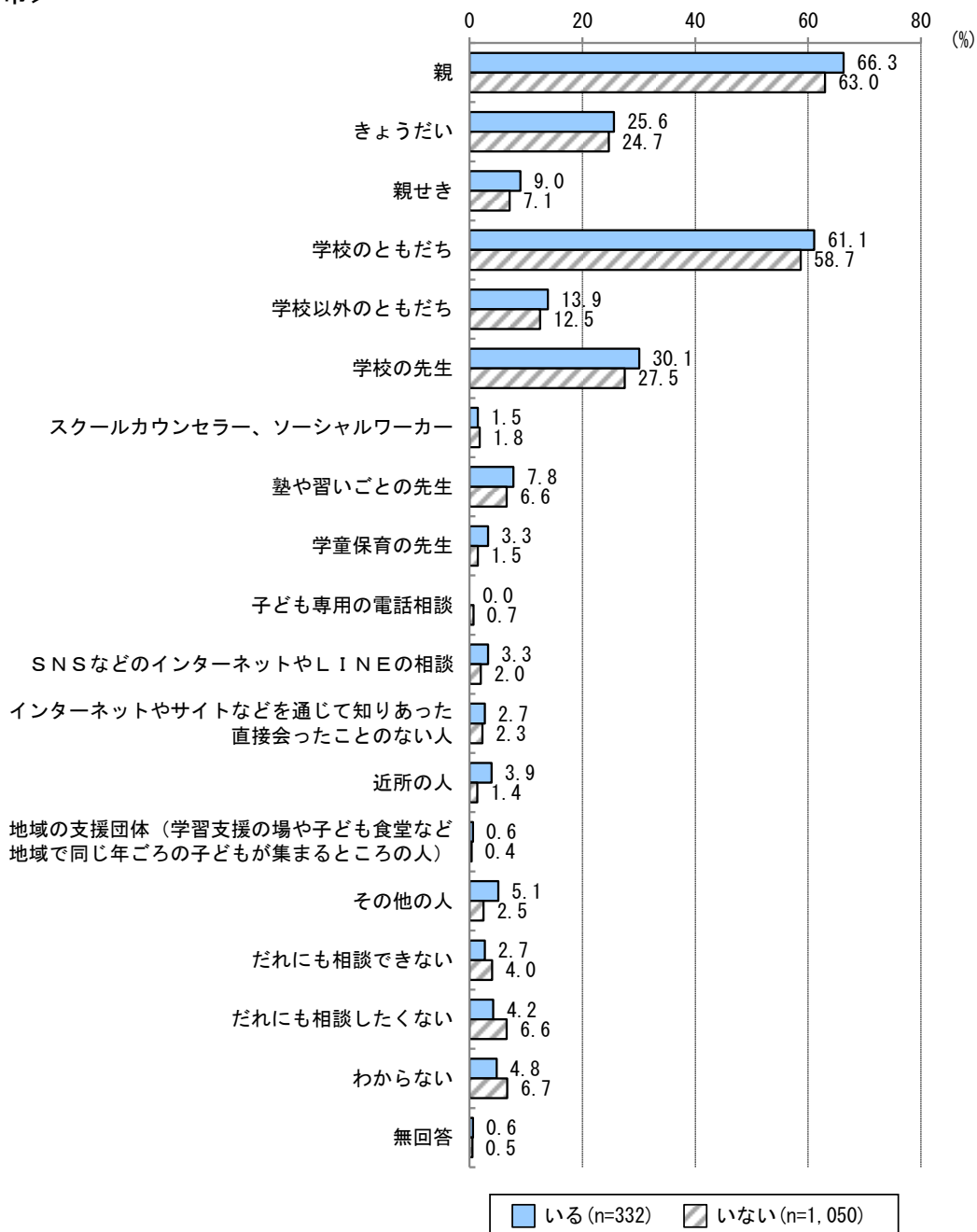
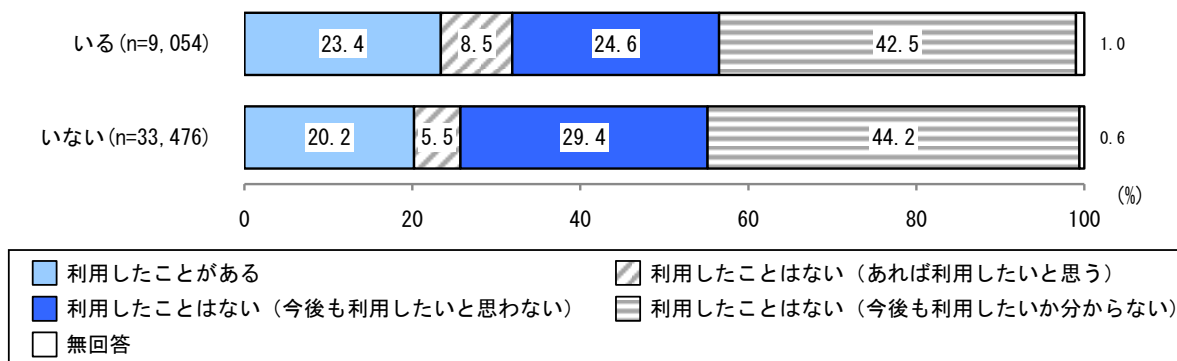


図 178. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

自分が世話をしている人の有無別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手をみると、相談相手が「親」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高く、世話をしている人では66.3%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<富田林市>

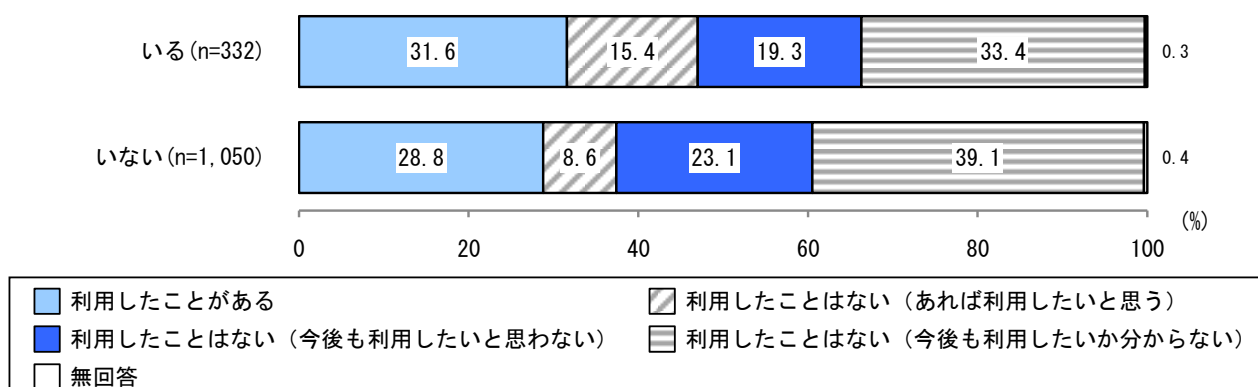
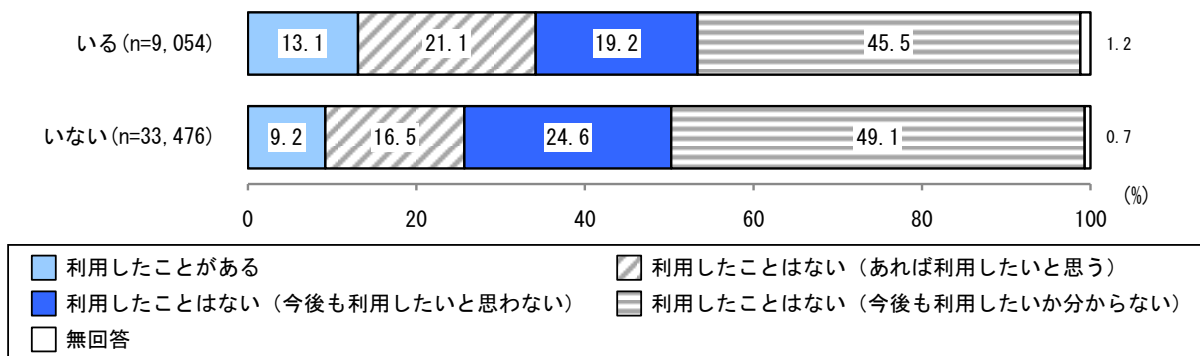


図 179. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

自分が世話をしている人の有無別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、平日の夜や休日を過ごすことができる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

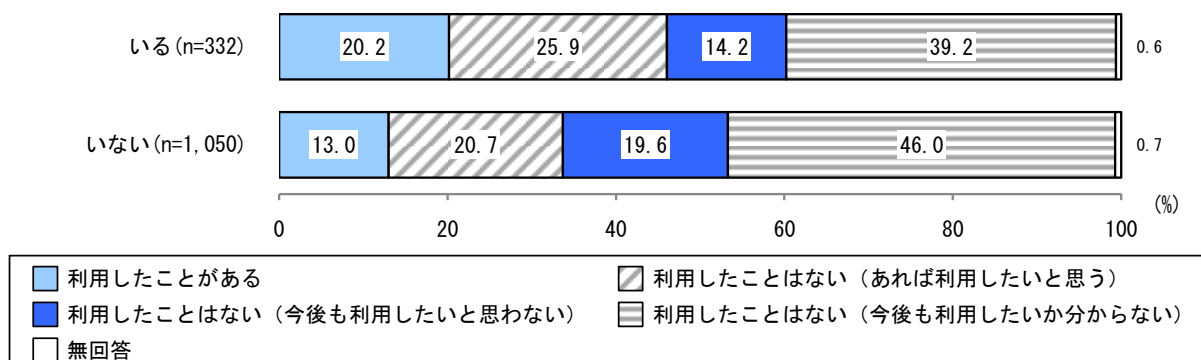
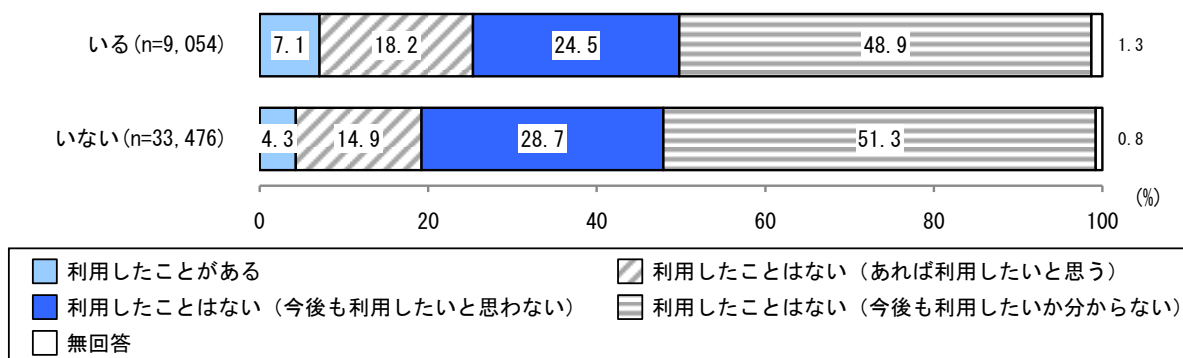


図 180. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

自分が世話をしている人の有無別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<富田林市>

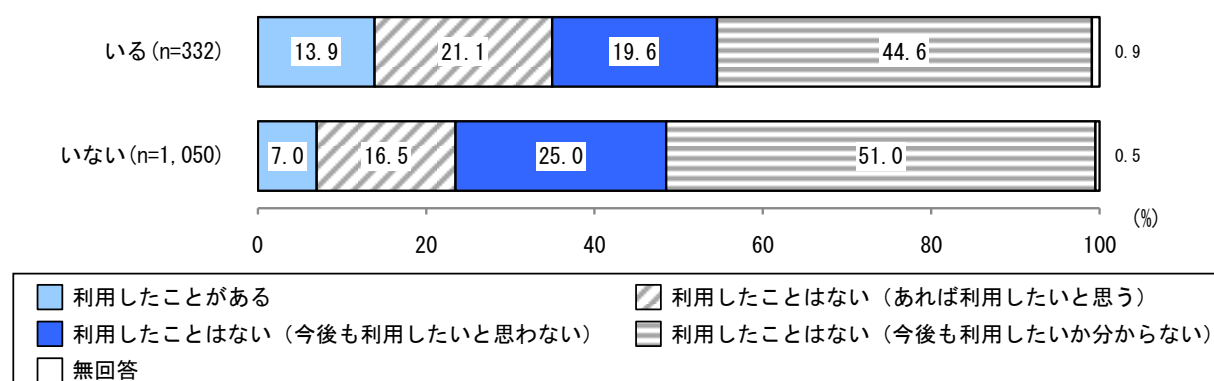
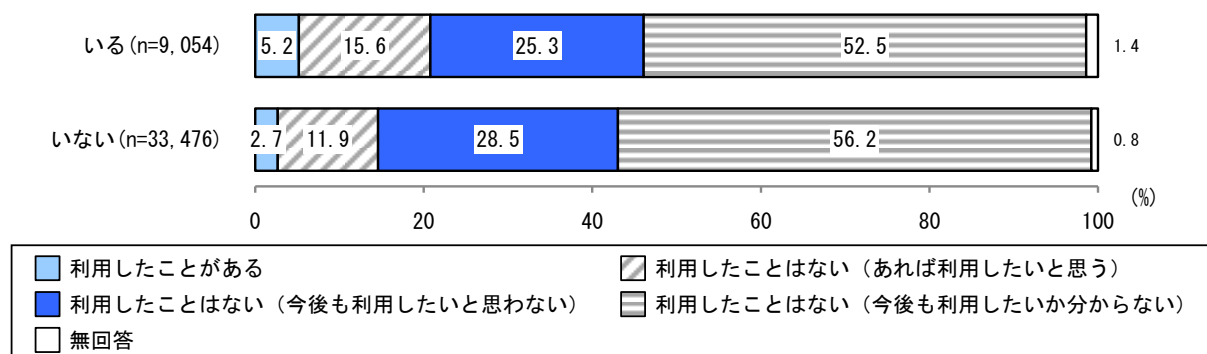


図 181. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所

自分が世話をしている人の有無別に勉強を無料か安い料金でみてる場所を見ると、勉強を無料か安い料金でみてる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<富田林市>

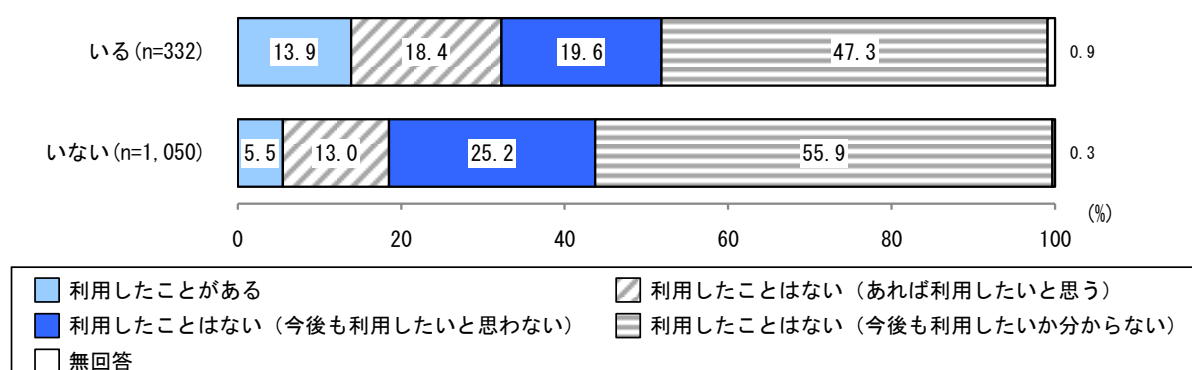
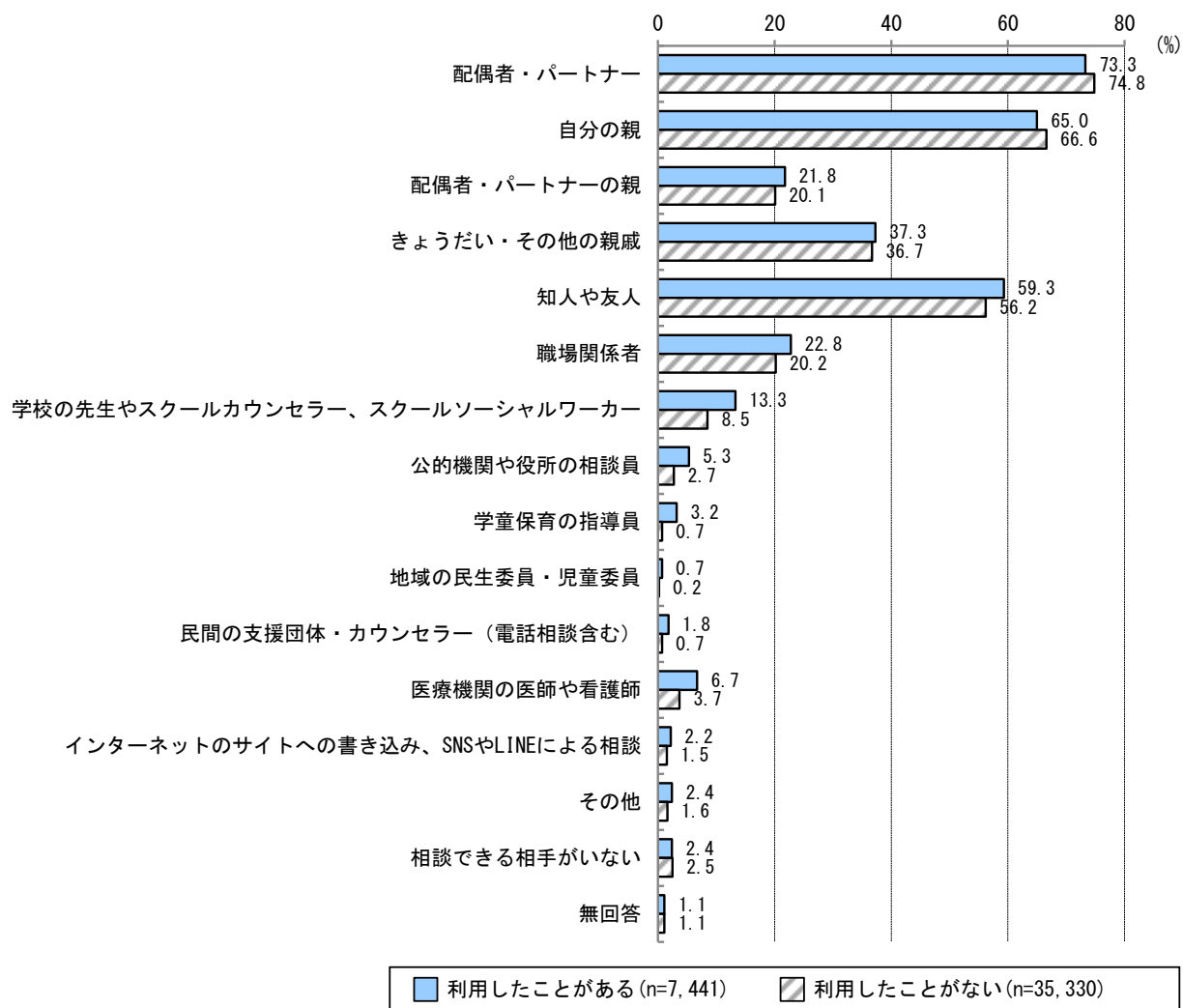


図 182. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所

自分が世話をしている人の有無別に何でも相談できる場所を見ると、何でも相談できる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 19)

<大阪府内全体>



<富田林市>

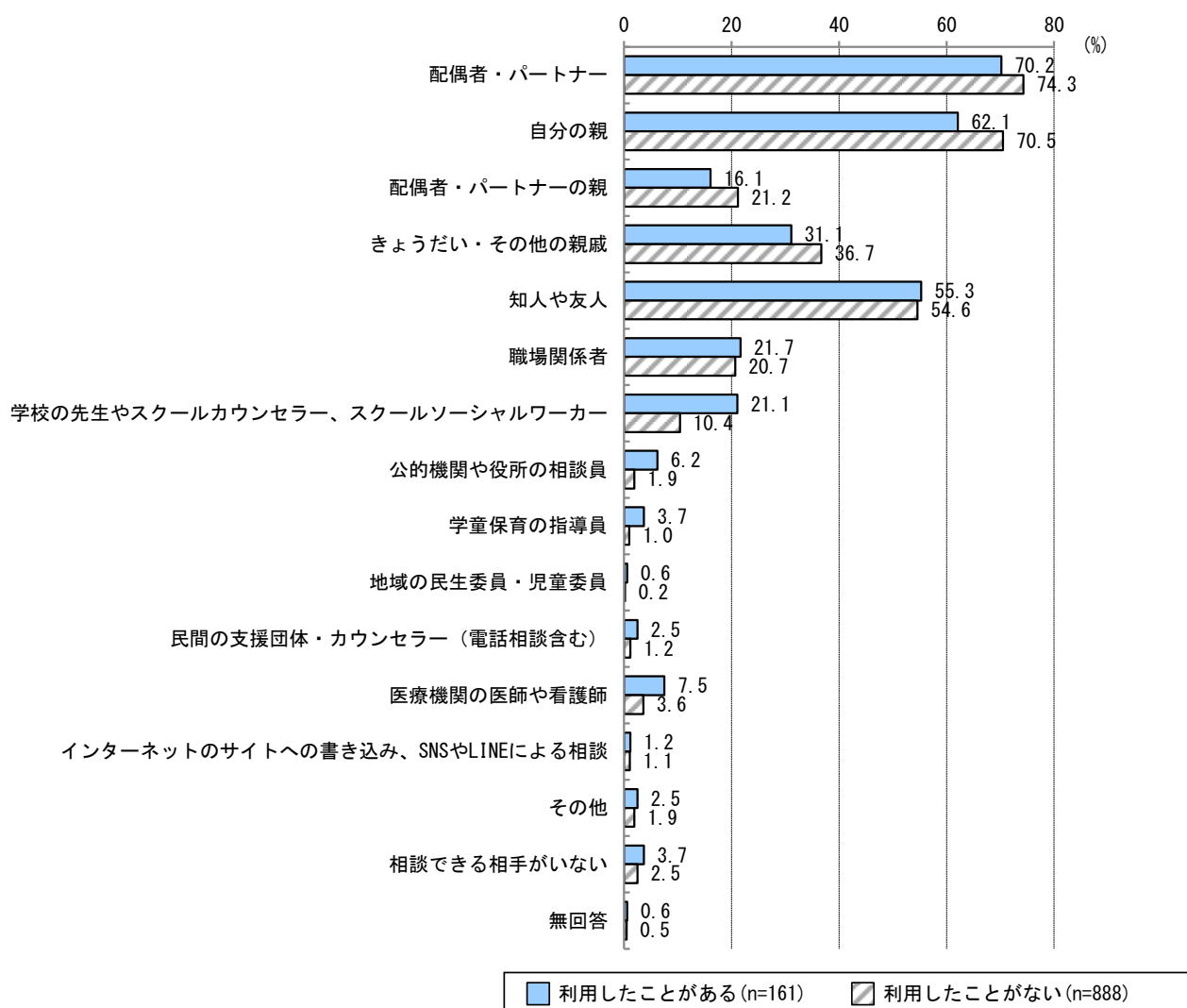


図 183. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

子どもの居場所の利用経験別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「自分の親」と回答した人の割合は、子どもの居場所を利用したことがある人より利用したことがない人のほうが割合が高くなっている。一方、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」や「公的機関や役所の相談員」、「医療機関の医師や看護師」と回答した人の割合は子どもの居場所を利用したことがない人より利用したことがある人のほうが割合が高くなっている。

<富田林市>

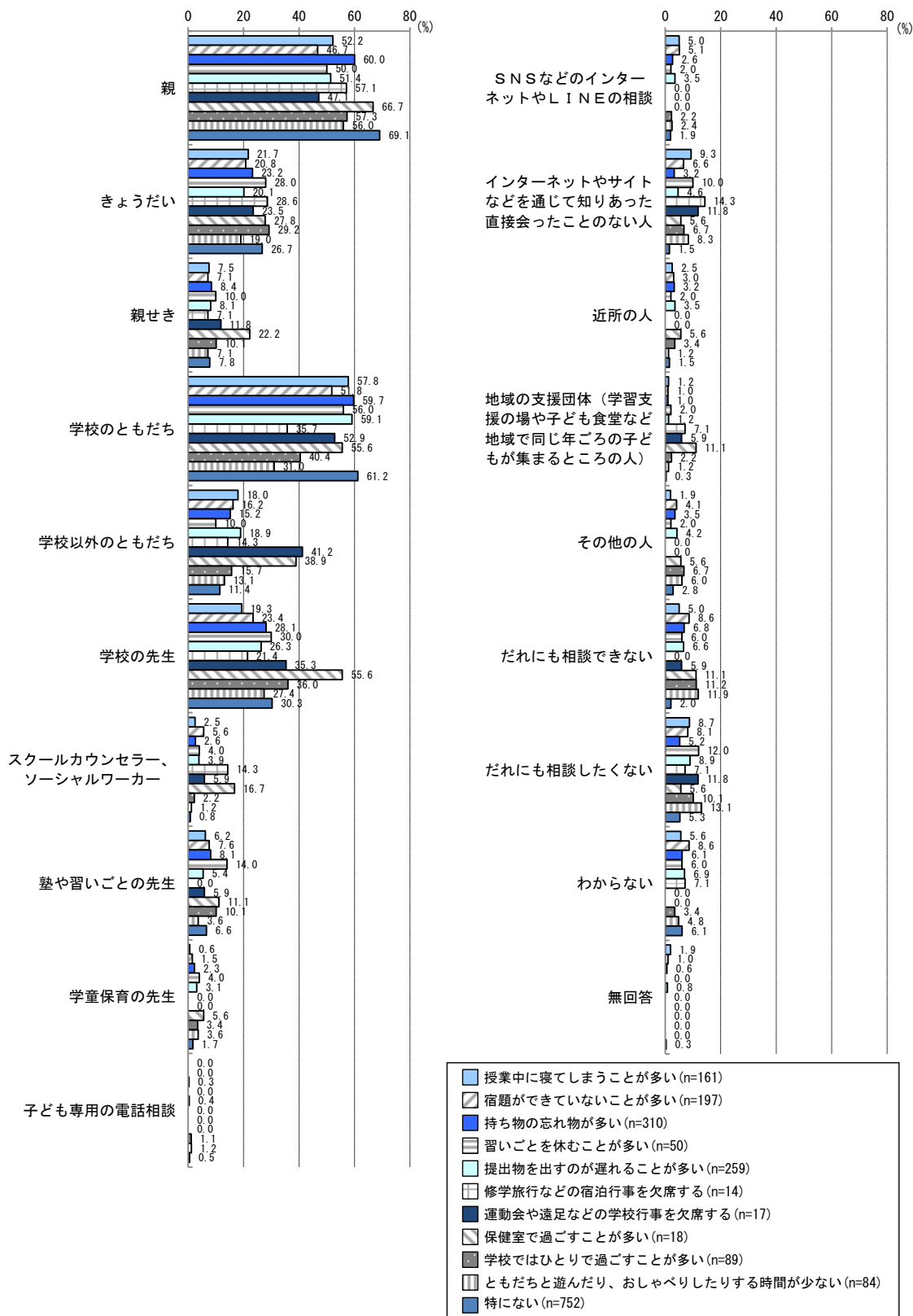
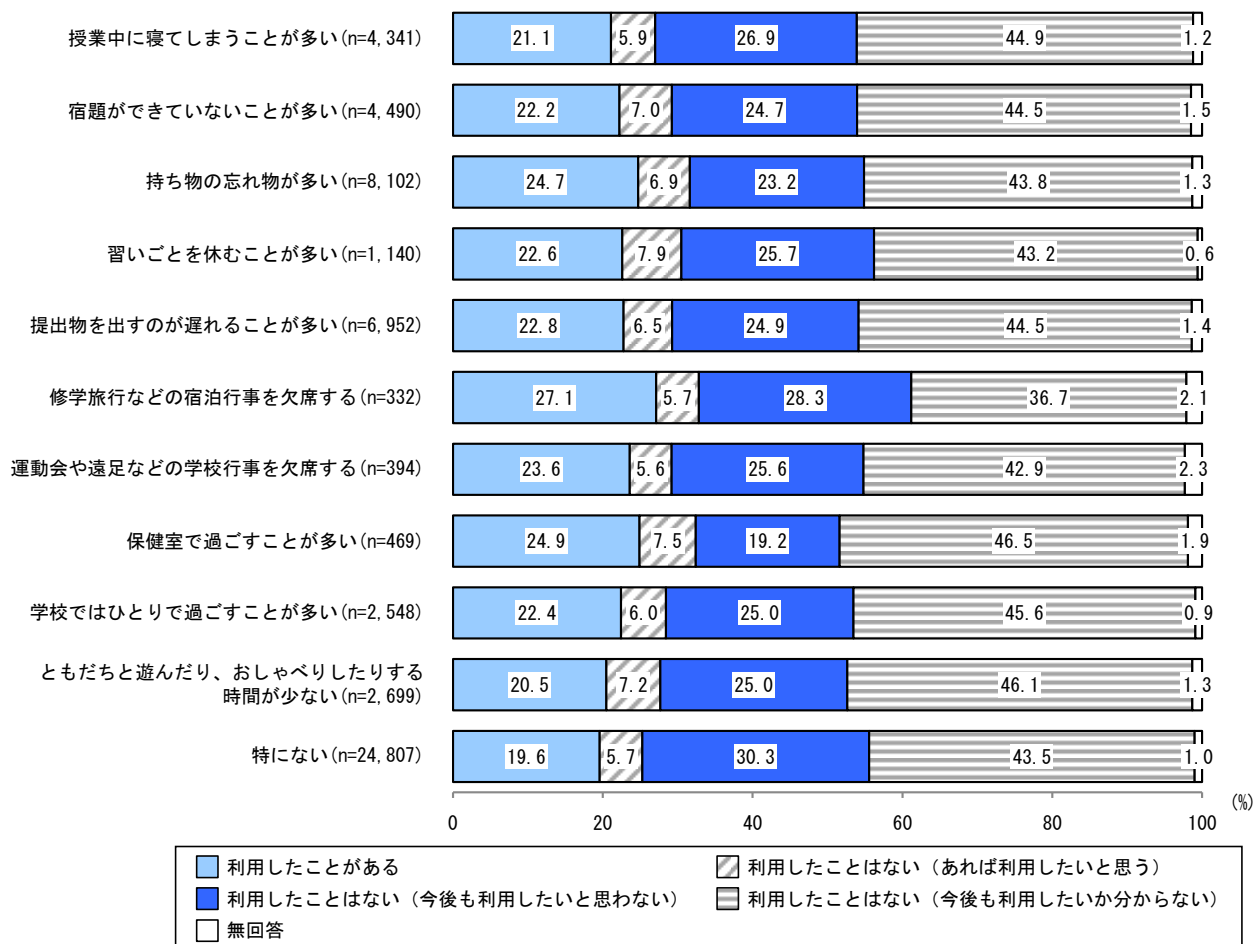


図 184. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

学校や学校の行事等の状況別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した人の割合は「保健室で過ごすことが多い」と回答した人の割合が66.7%で最も高く、「宿題ができていないことが多い」と回答した人の割合が46.7%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<富田林市>

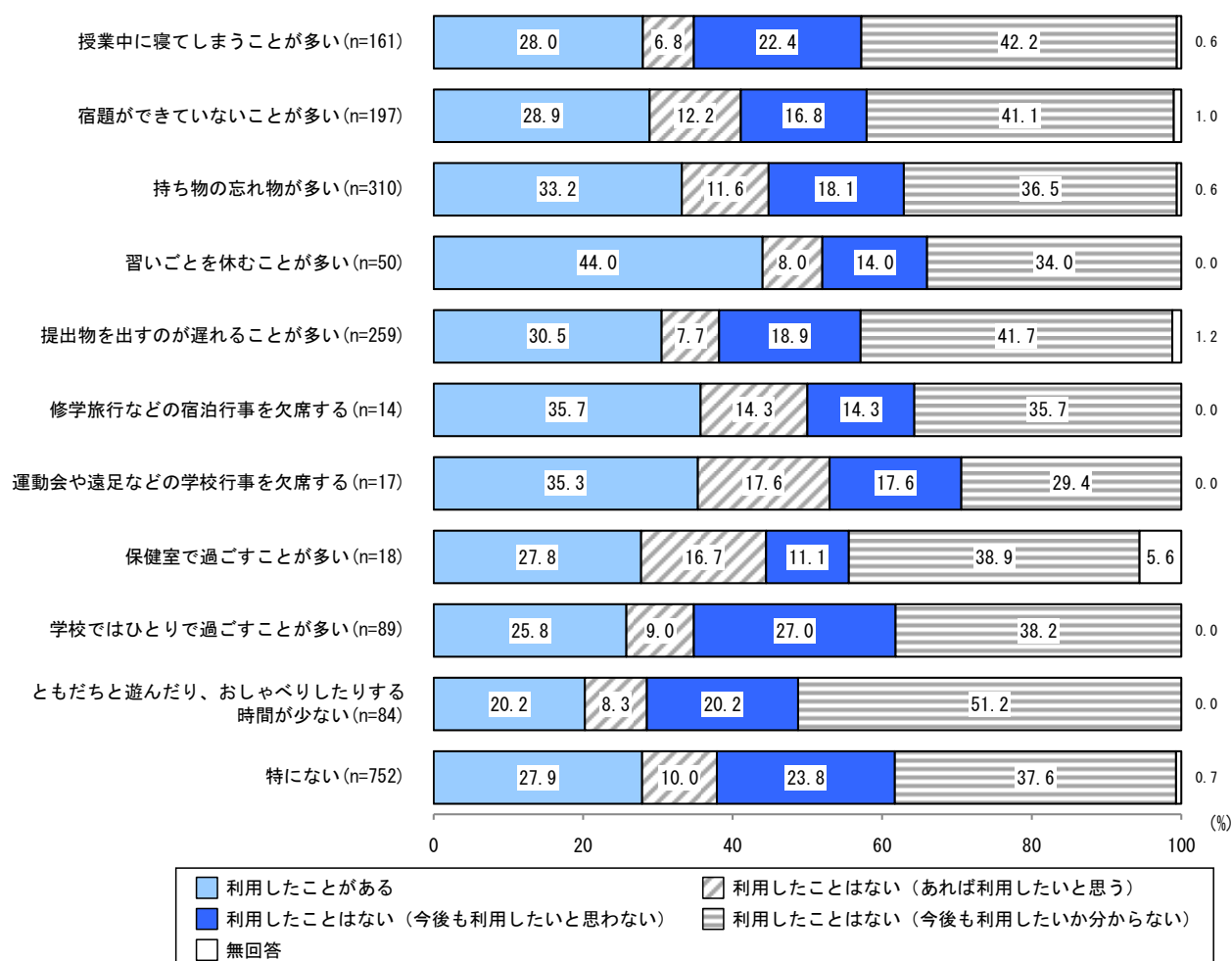
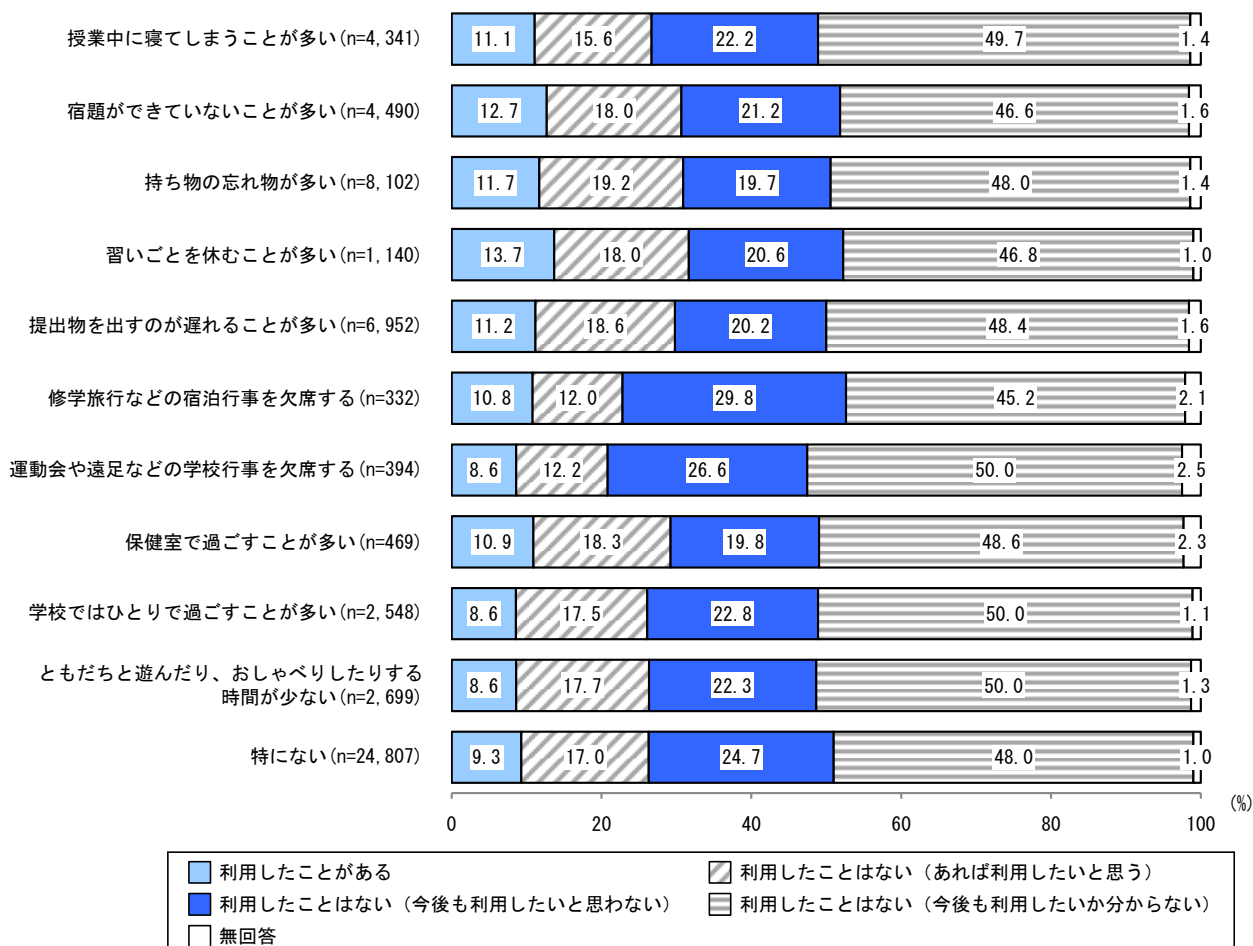


図 185. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

学校や学校の行事等の状況別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が20.2%で最も低く、次いで「学校ではひとりで過ごすことが多い」が25.8%となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 16×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

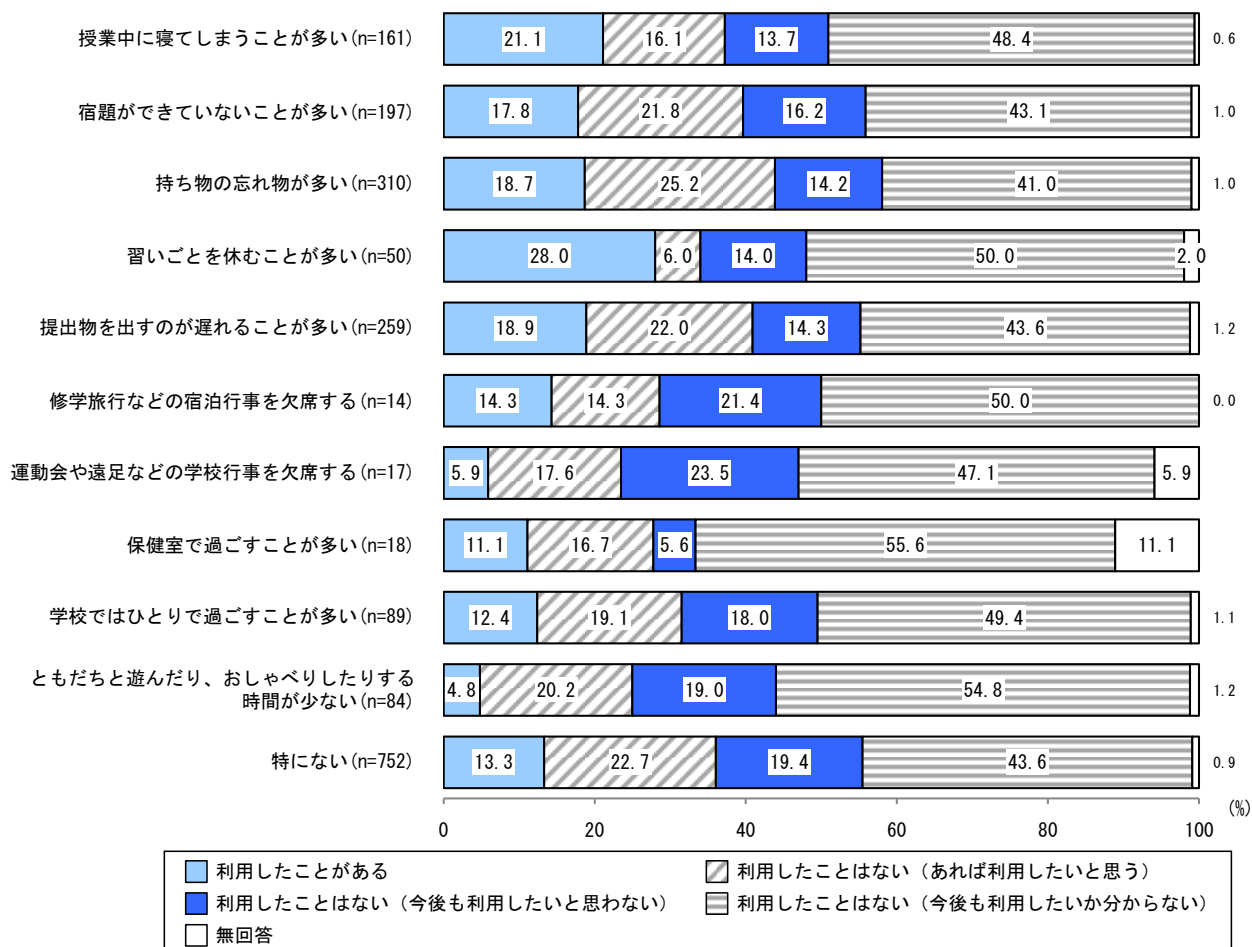
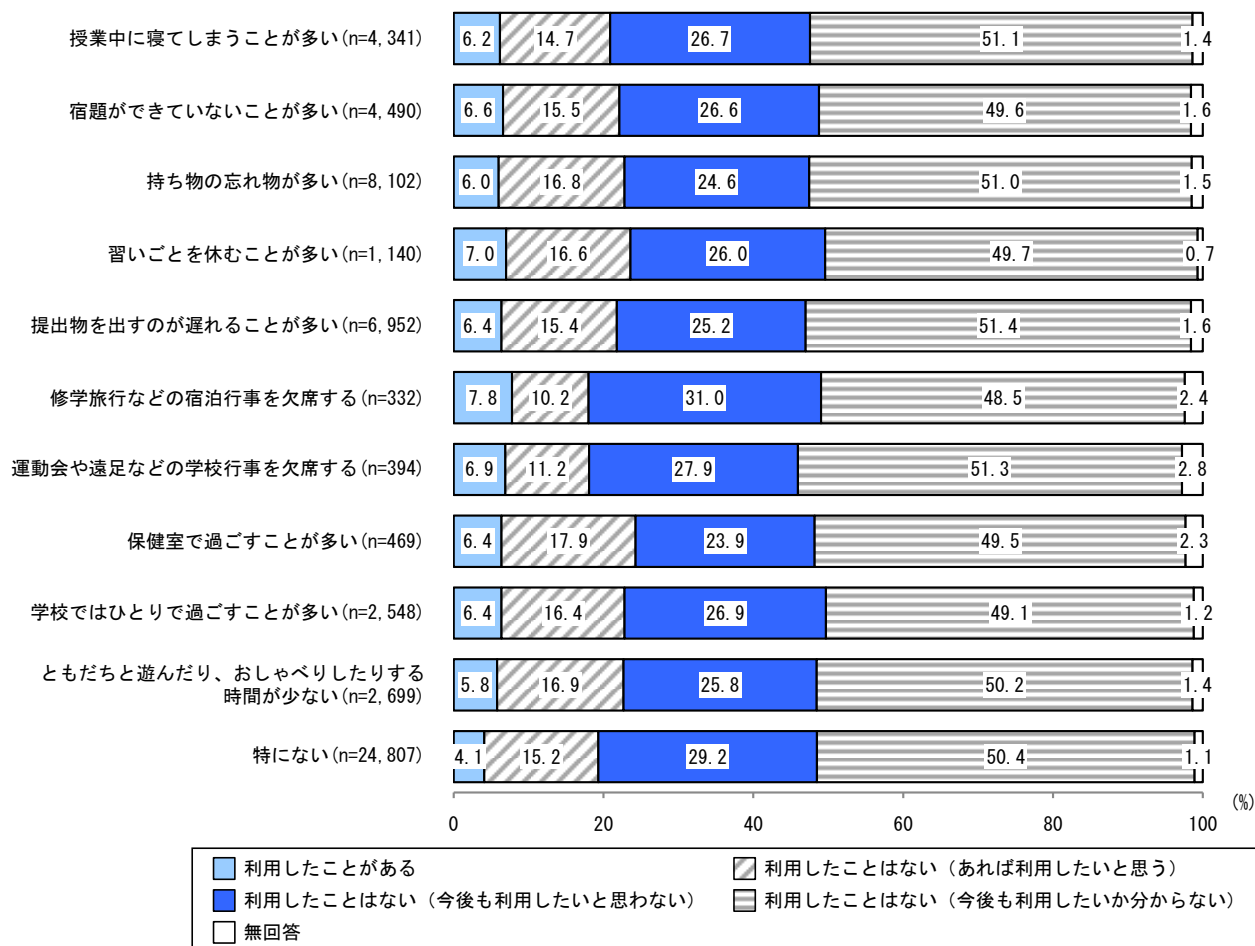


図 186. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

学校や学校の行事等の状況別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が28%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<富田林市>

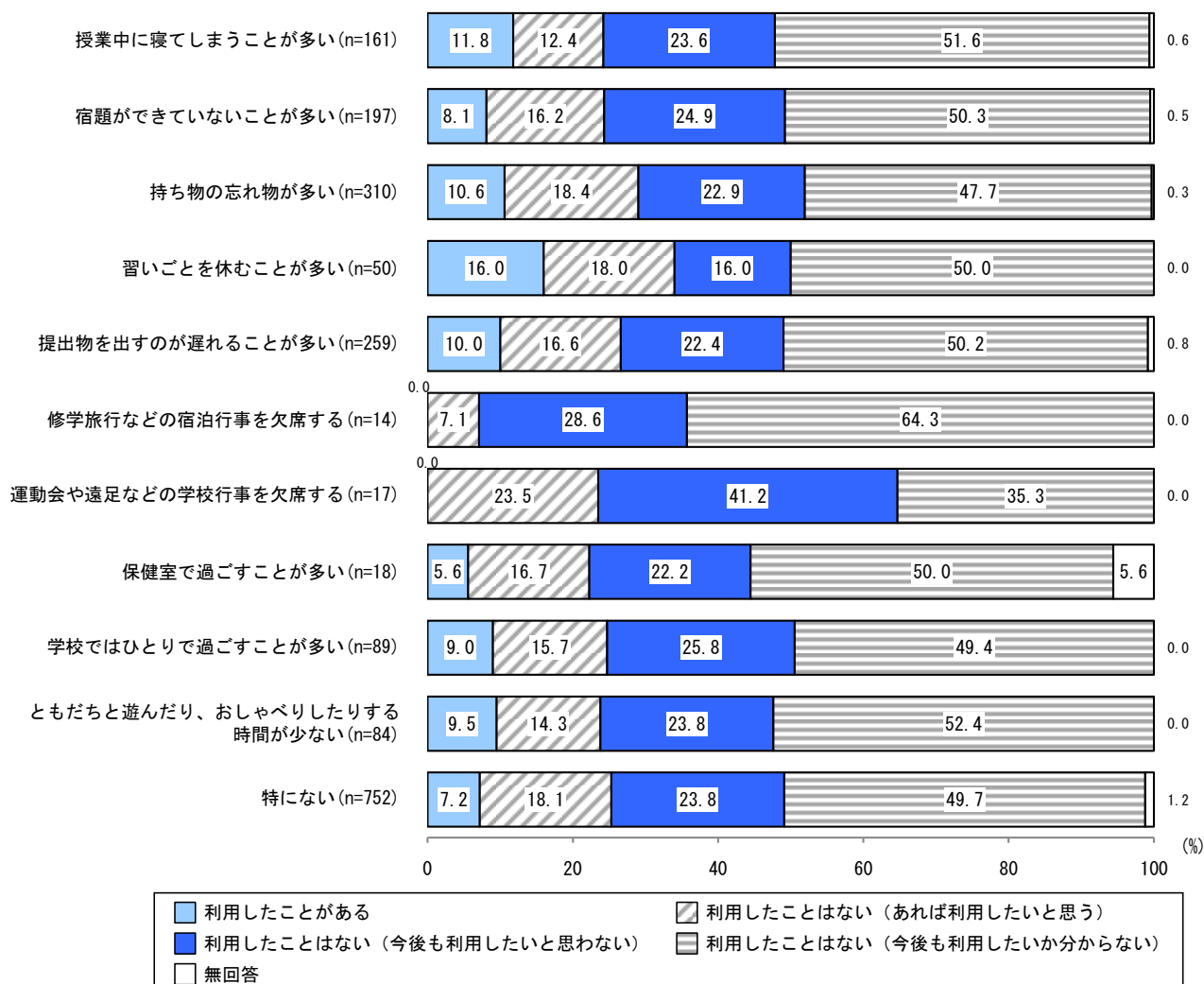
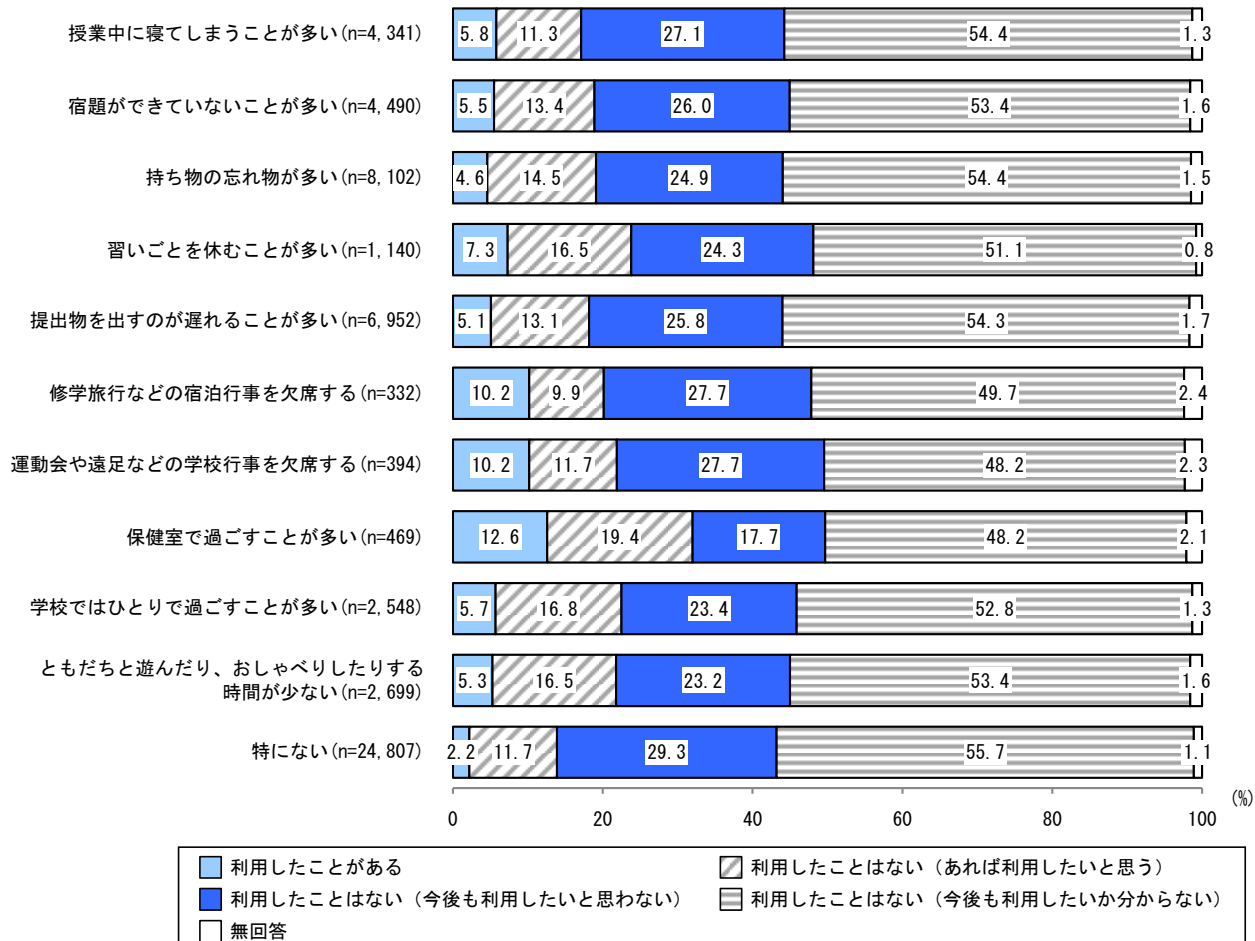


図 187. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

学校や学校の行事等の状況別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が16%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<富田林市>

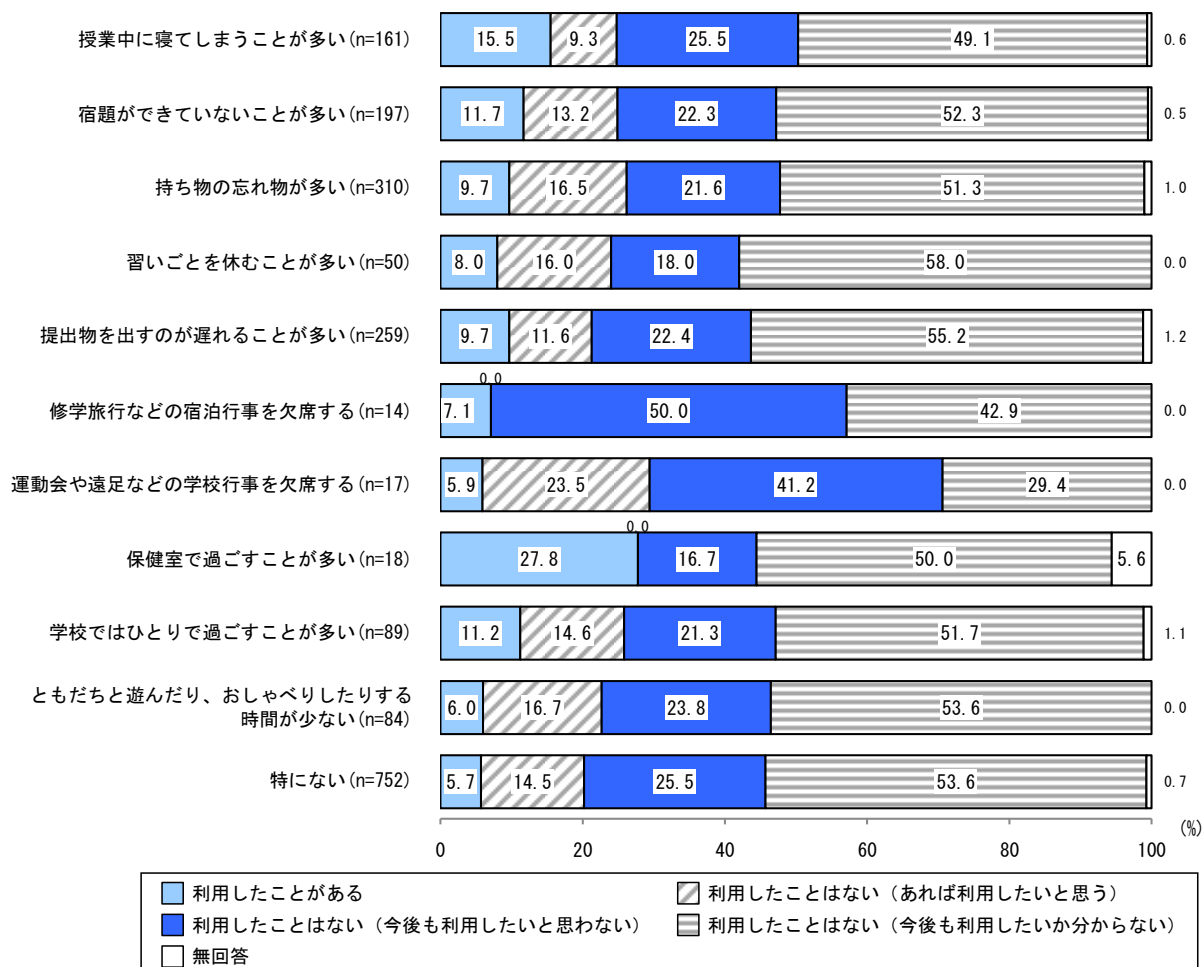
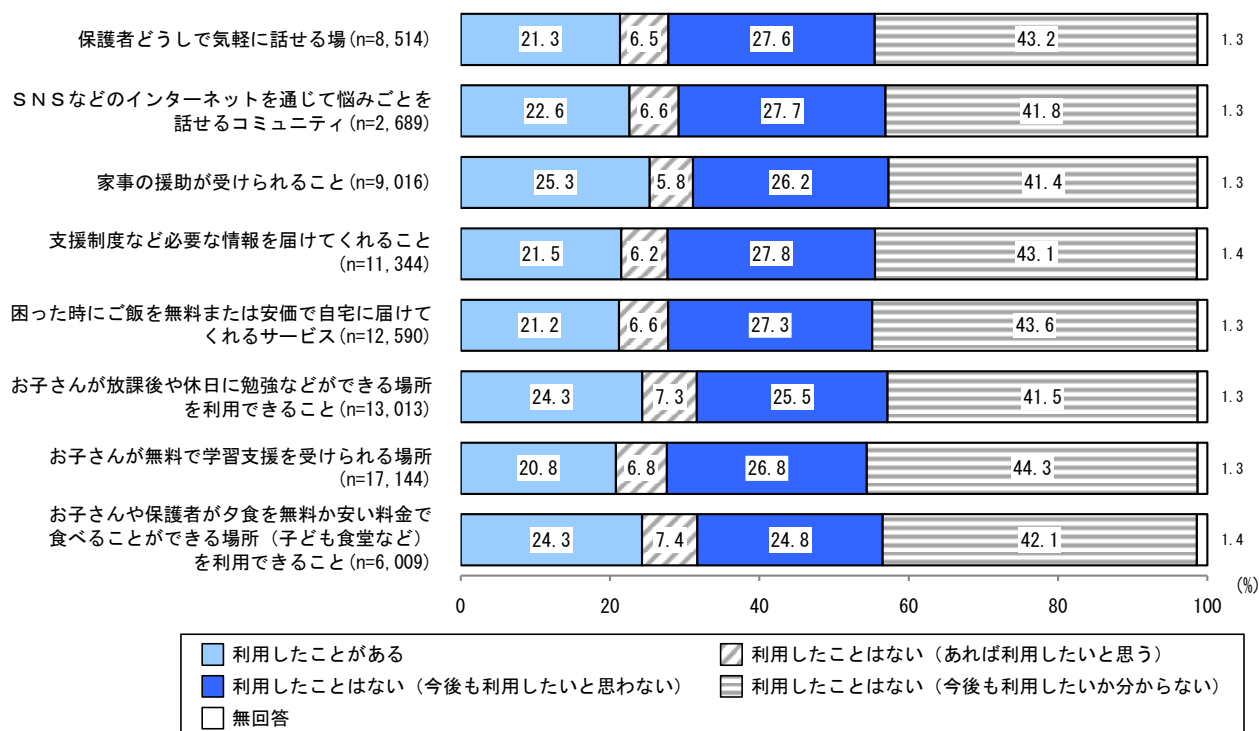


図 188. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所

学校や学校の行事等の状況別に何でも相談できる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「保健室で過ごすことが多い」が27.8%で最も高く、次いで「授業中に寝てしまうことが多い」が15.5%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<富田林市>

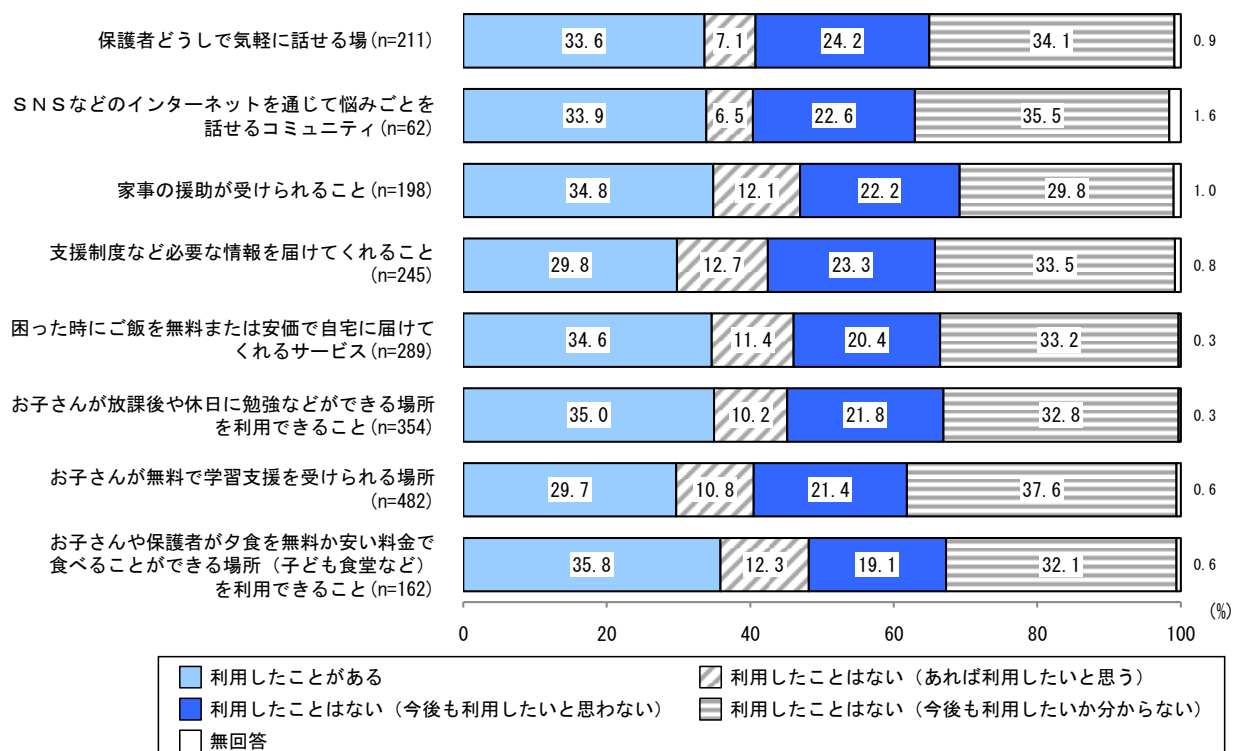
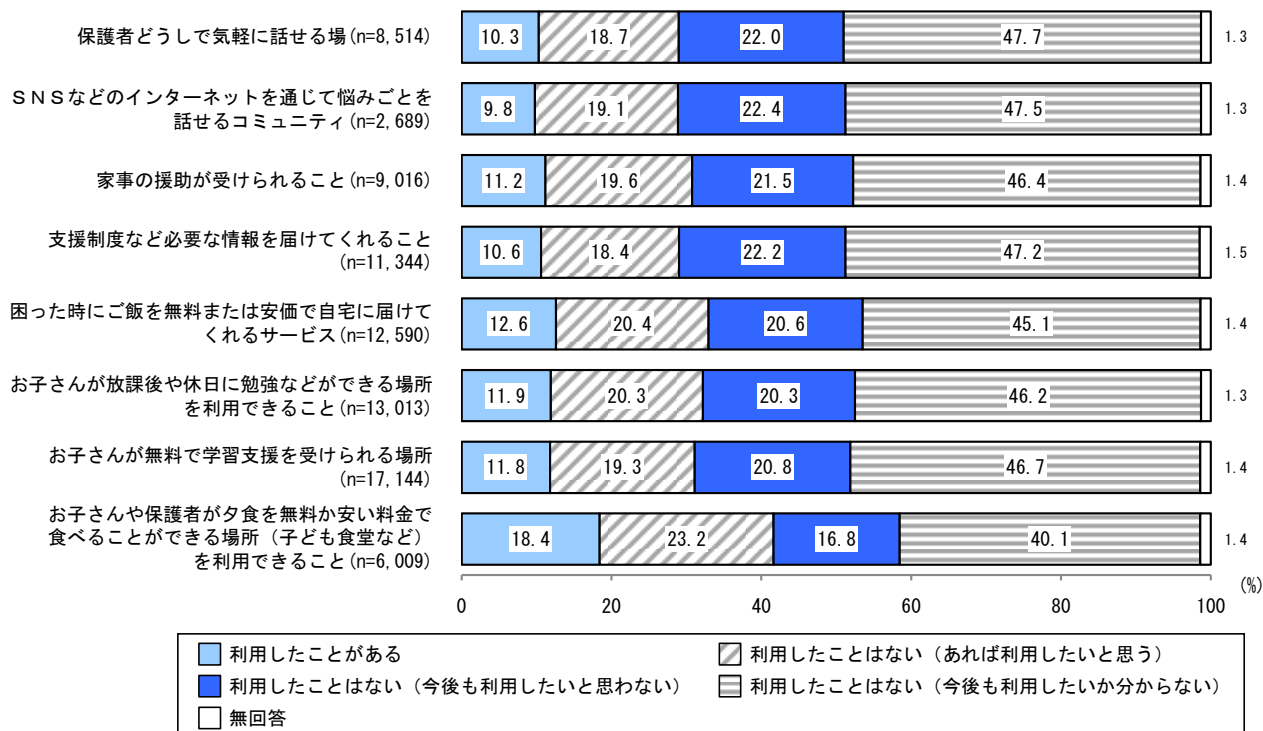


図 189. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

身近にあるといいと思うこと別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が35.8%で最も高く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が35%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金を食べることができる場所（保護者票問 20×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<富田林市>

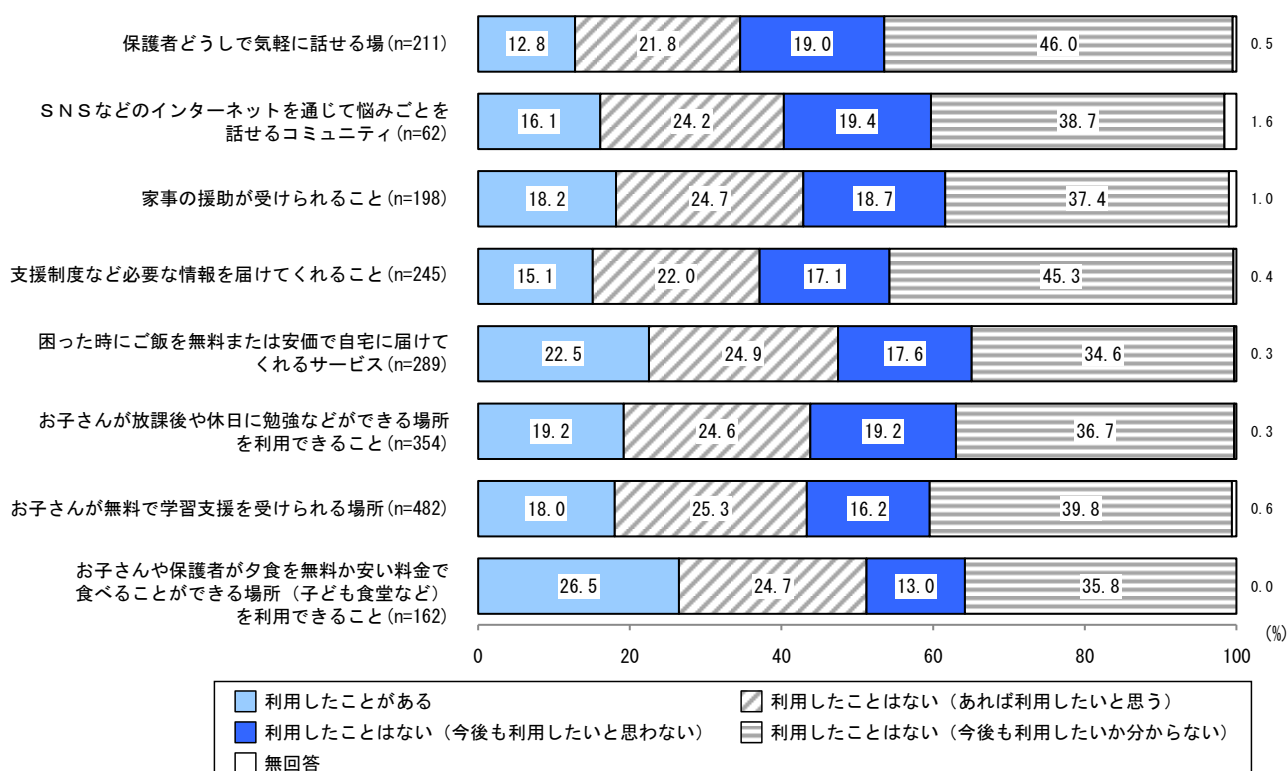
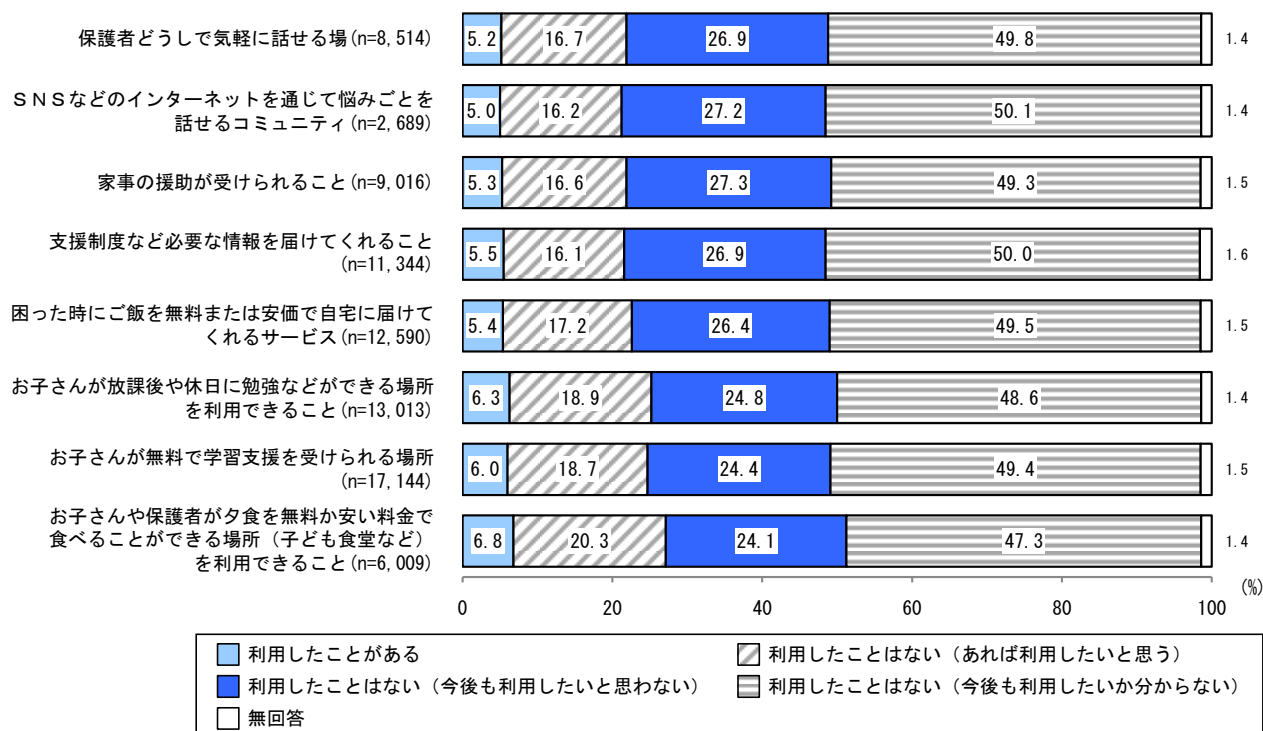


図 190. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

身近にあるといいと思うこと別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が26.5%で最も高く、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」では、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が25.3%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<富田林市>

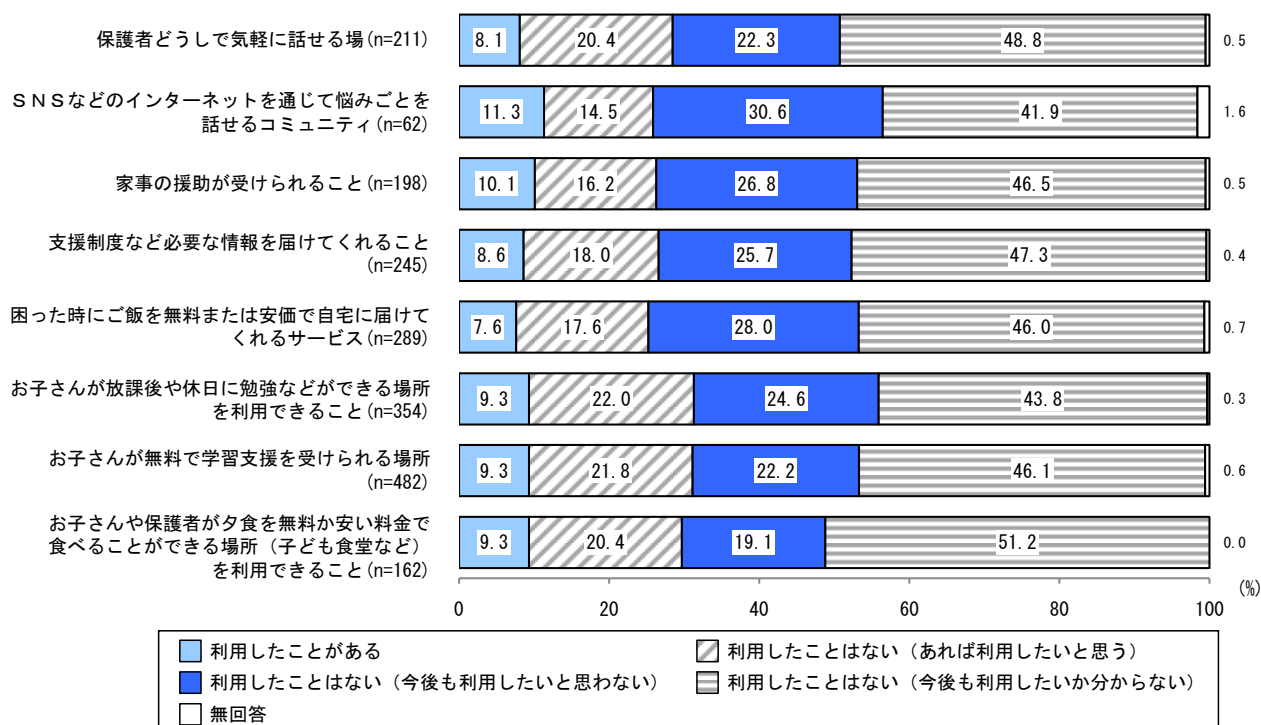
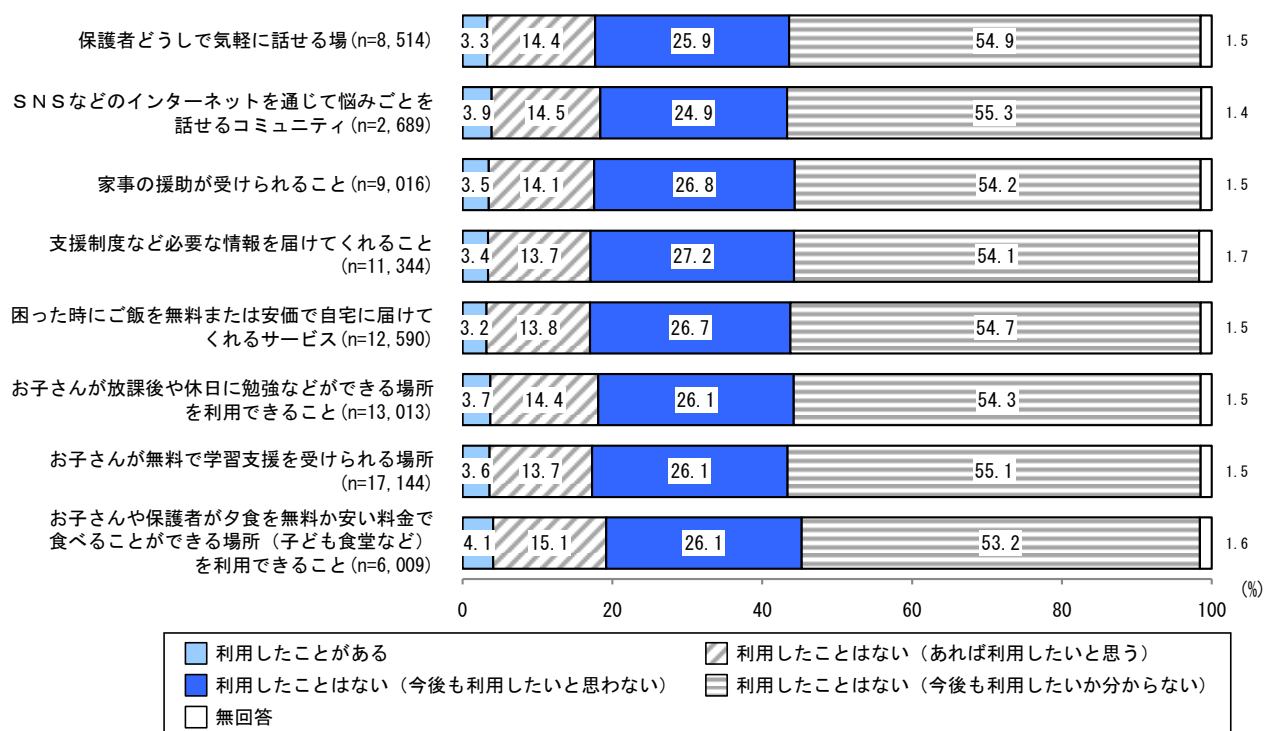


図 191. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

身近にあるといいと思うこと別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が22%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<富田林市>

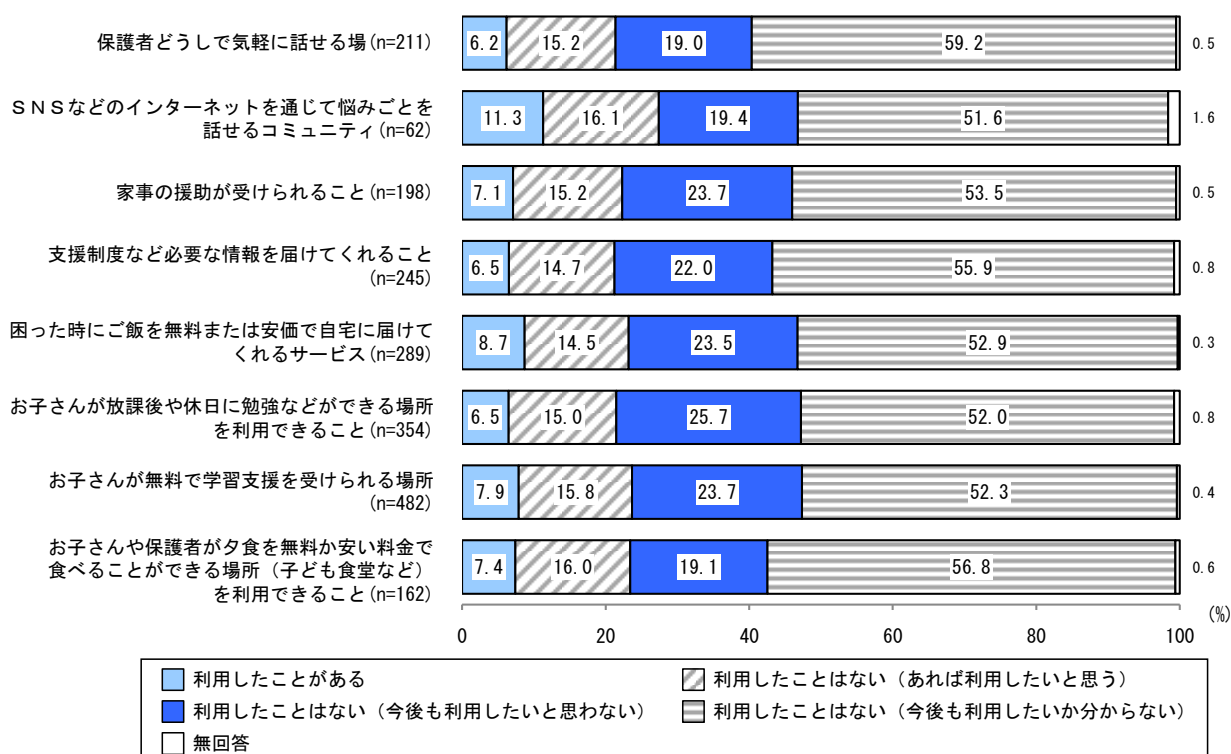
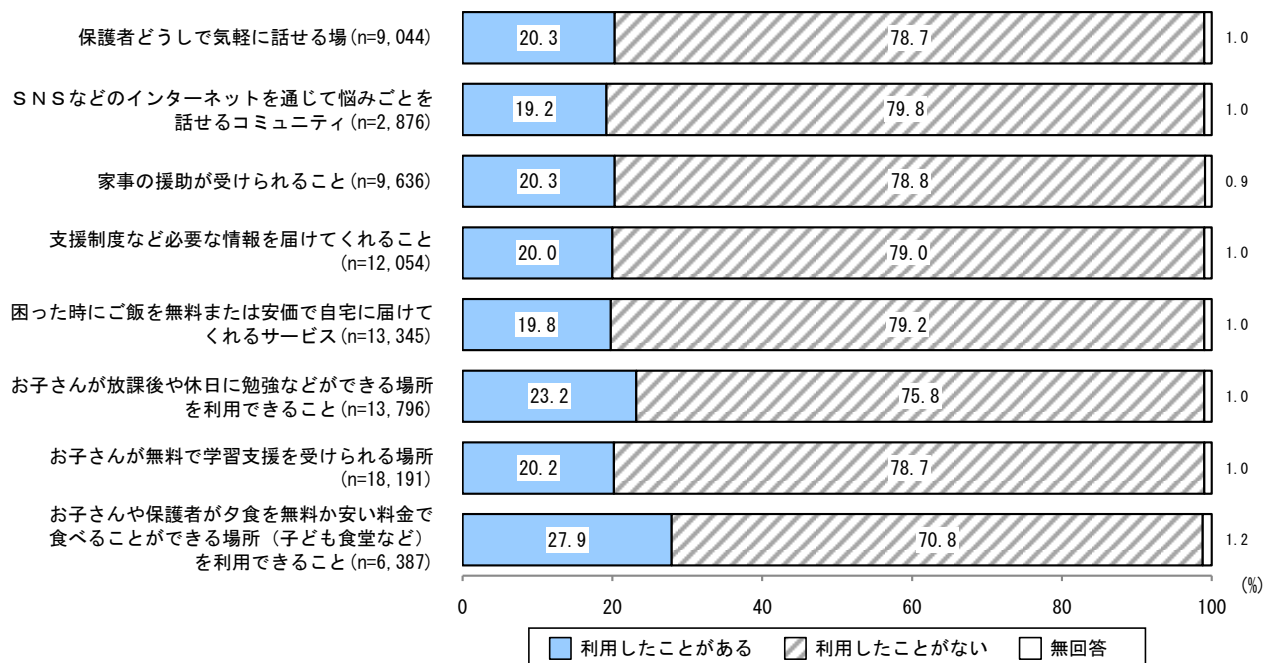


図 192. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所

身近にあるといいと思うこと別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が16.1%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無
(保護者票問 20×保護者票問 16(1))

<大阪府内全体>



<富田林市>

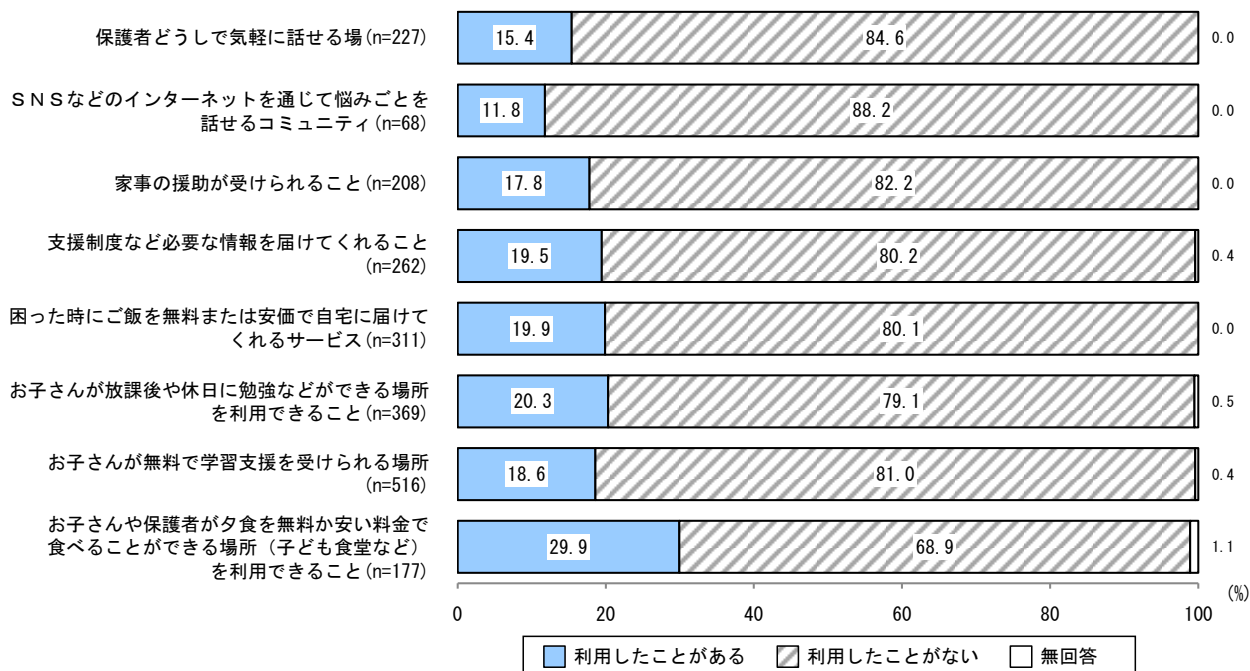
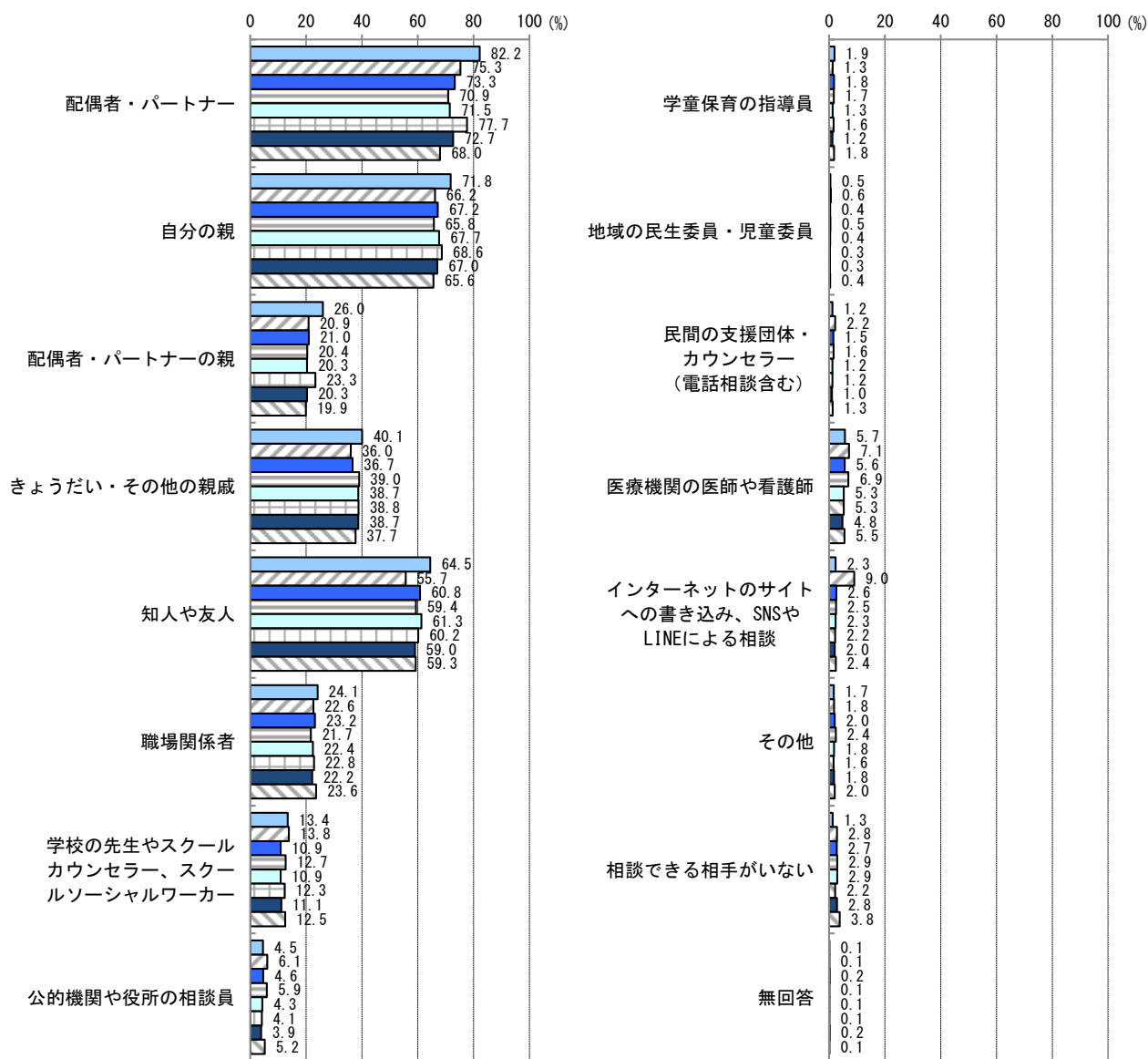


図 193. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無

身近にあるといいと思うこと別に子どもの居場所の利用有無を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金を食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が29.9%で最も高く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が20.3%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 20×保護者票問 19）

<大阪府内全体>



- 保護者どうして気軽に話せる場 (n=9, 044)
- SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ (n=2, 876)
- 家事の援助が受けられること (n=9, 636)
- 支援制度など必要な情報を届けてくれること (n=12, 054)
- 困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス (n=13, 345)
- お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること (n=13, 796)
- お子さんが無料で学習支援を受けられる場所 (n=18, 191)
- お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること (n=6, 387)

<富田林市>

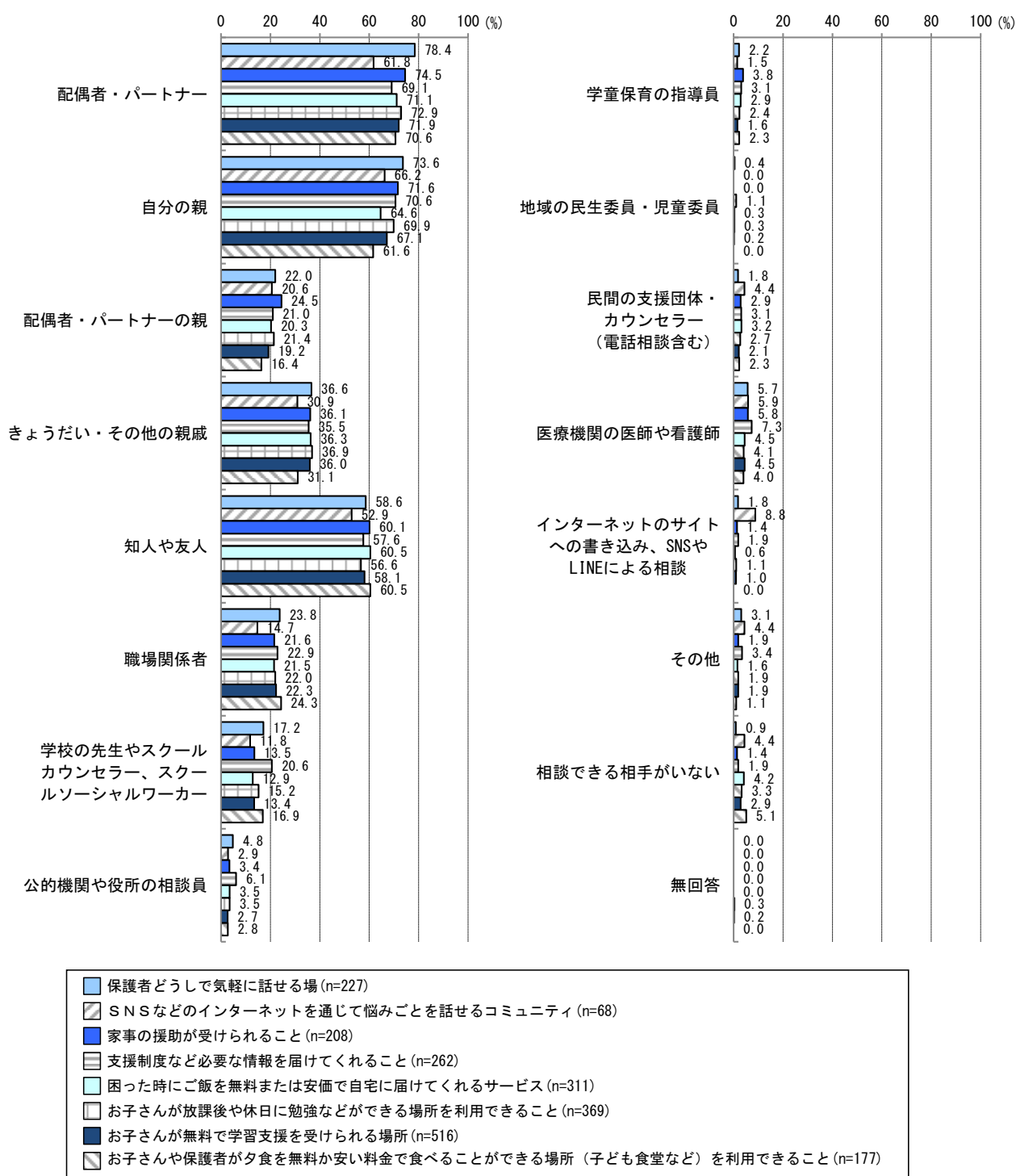


図 194. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

身近にあるといいと思うこと別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」と回答した人の割合は、「保護者どうして気軽に話せる場」が78.4%で最も高く、次いで「家事の援助が受けられること」が74.5%となっている。

<対人関係に関する考察>

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果を以下にまとめる。子どもが「放課後に過ごす場所」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾」(30.7%対13.0%)、「習いごと」(41.6%対17.9%)の利用率が約2倍である。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ともだちの家」(27.6%対20.9%)、「公園・広場」(33.3%対25.4%)「コンビニエンスストア」(10.6%対2.8%)、「ゲームセンター」(8.9%対2.0%)の利用率が7ポイントから8ポイント程度高くなっている。子どもが「放課後に一緒に過ごしている人物」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「おうちの人以外の大人」(28.7%対11.4%)と一緒に過ごす割合が約17ポイント高くなっている。次いで「おうちの大人の人」(73.0%対63.4%)と一緒に過ごす割合が約10ポイント高くなっている。「毎日の生活で楽しいこと」では中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾や習いごとで過ごしているとき」(30.0%対17.1%)が楽しいと考えている子どもの割合が約13ポイント高く、次いで「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」(21.4%対12.2%)が楽しいと考えている子どもの割合が約9ポイント高くなっている。「悩んでいること」では困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「学校や勉強のこと」(25.2%対19.4%)に悩んでいる割合が約6ポイント高くなっている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセスが制限されるだけでなく、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されていることが示唆される。また、その制限が「学校や勉強のこと」に対する悩みの原因となっている可能性が示唆され、この問題解決は喫緊であると考えられる。「嫌なことや悩んでいるときの相談相手」では中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾や習いごとの先生」(10.1%対4.9%)を相談相手に選ぶ割合が約2倍である。つまり教育的な活動へのアクセスが容易であることは、悩みの解決機会の増加につながり、さらに「学校や勉強のこと」に関する悩みが比較的容易に解決されていることが示唆される。

困窮度別に子どもの世話をしている人の有無をみると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、誰かの世話をしている割合が高くなっている(23.6%対19.9%)。また、子どもの世話をしている人の有無別に相談相手をみると、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて、「親」(66.3%対63.0%)、「学校のともだち」(61.1%対58.7%)、「学校の先生」(30.1%対27.5%)、「近所の人」(3.9%対1.4%)に相談する割合が高く、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」(31.6%対28.8%)、「昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所」(20.2%対13.0%)、「勉強を無料か安い料金でみてくれる場所」(13.9%対7.0%)、「何でも相談できる場所」(13.9%対5.5%)といった居場所を利用している割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆される。

さらに子どもの世話している人の有無別に「毎日の生活で楽しいこと」・「悩んでいること」をみると、世話をしていない子どもはそうである子どもと比べて、「ひとりで過ごしているとき」(51.6%対38.0%)を楽しいことと挙げる割合が高く、「クラブ活動や部活動のこと」(10.1%対4.5%)、「自分のこと(外見や体型など)」(15.8%対12.7%)、「進学・進路のこと」(15.9%対12.7%)を悩んでいることとして挙げている。これらの結果から、誰かの世話をすることは社会的帰属感を高めることにつながっていることが示唆される。一方、そうでない子どもは社会的帰属感が十分でないことで、自身が所属するコミュニティに関することなど社会的な悩みにつながっている可能性が示唆される。この社会的帰属感は、子どもたちの自信にもつながっていると考えられ、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて「自分に自信がある」(26.8%対19.0%)と回答した割合が高くなっている。世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて「自分の将来の夢や目標を持っている」(62.3%対47.0%)割合が高くなっており、子どもの将来設計に影響を

与えていることが示唆される。

子どもの世話している人の有無別に親子の関わりについてみると、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて平日に親子で関わる時間が「4時間以上」(14.3%対10.3%)ある割合が高く、休日に関しても「6時間以上」の長時間関わる時間がある割合が高くなっている。また子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況では「よく参加している」(83.0%対78.3%)割合が高くなっている。これらの結果から子どもが家族の世話を担っているケースでは家族内コミュニティが親密になることが示唆される。

一方、困窮度別に保護者の相談相手をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「職場関係者」(25.1%対11.9%)に相談する割合が約2倍である。次いで「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」(14.4%対8.1%)に相談する割合が約6ポイント高くなっている。また「配偶者・パートナー」(82.5%対58.5%)に相談する割合が24ポイント高くなっている。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「公的機関や役所の相談員」(6.7%対1.9%)に相談する割合が約3倍高くなっている。また世帯構成別に保護者の相談相手をみると、母子世帯はふたり親世帯と比べ、「相談できる相手がいない」(6.5%対2.1%)割合は約3倍高くなっている。これらの結果は、経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なるが、様々な機関との連携により幅広く相談対応が実施できていることが示唆される。これは保護者に限らず子どもに関しても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「何でも相談できる場所」を「利用したことがある」(10.6%対7.6%)割合は3ポイント高く、親子ともにサポートされていることがわかる。しかし同時に、困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者にとって、支えや相談相手の不足解消には十分ではないことが示唆される。

日本語以外の言語の使用状況についてみると、日本語以外の言語を使うことが多い群および日本語以外の言語も使用しているが日本語の方が多い群は日本語のみを使用している群と比べて、子どもの居場所の利用有無の割合(33.3%・23.8%対14.9%)が高くなっている。一方、保護者は悩みがあるときの相談相手としては、日本語のみを使用している群は日本語以外の言語を使うことが多い群と比べて「配偶者・パートナー」(73.8%対66.7%)に相談する割合が高くなっている。これらの結果から、第一言語が日本語でない家庭は多くの悩みを抱えており、子どもの居場所の提供では十分ではなく、公的機関などによる相談窓口によるサポートを必要としていることが示唆される。

子どもの通学状況についてみると、欠席が一年以上続いている群はほぼ毎日通っている群と比べて、子どもの居場所を利用したことがある割合(50.0%対15.0%)が高くなっている。また、欠席日数が短いほど、保護者の相談相手として「配偶者・パートナー」に相談する割合が高くなっている。これらの結果から、進学状況に応じて子どもの居場所は提供されているものの、その状況に対する保護者を含めた家庭のサポートの必要性が示唆される。

※参照データについては一部資料編に掲載

Ⅲ 総合考察

本報告書における「子どもの貧困」概念の捉え方であるが、基本的に、2016年の調査で扱った貧困概念に基づいている。簡単に述べると、子どもの貧困を相対的貧困で捉えた上で、①所得や資産などの経済的資本、②健康や教育などのヒューマン・キャピタル、③つながりやネットワークなどのソーシャル・キャピタルの3つのキャピタルの欠如を枠組みとしている。この数年で、「子どもの貧困」「相対的貧困」概念も十分に知られるようになったことから、詳細な説明はここでは割愛するが、山野則子編著（2019）を参照されたい。

次に、総合考察において大阪府つまりほかの各市町村が実施した数値で検討を行う（大阪府は府が直接実施した25市町村分であり前回比較2016年度実施の30市町村分で行う）。各ページにはグラフコメントやクロス分析を考察したセクションコメント（経済状況、雇用、健康、家庭状況制度、家庭生活と学習、対人関係）を記載している。総合考察において、同じことを書くのではなく、これらセクションコメントを踏まえ、2016年度と比較し変化のあるものや新規項目など、考察すべきものを中心に記載している。単純集計はセクションコメントに出てこないもので、可能な限り数字を入れて説明する。そして、まとめはこれらの結果から政策の評価を行うものである。

1) 大阪府内共同調査の意義

本調査では、富田林市の調査のみならず大阪府内43自治体で共同実施して把握したことは、その回答者数の多さにおいても都道府県レベルで域内すべての自治体の対象者が入っている点においても、意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として富田林市の調査結果を裏付けるものであった。これは無作為抽出であっても全体と比較してみることで、傾向の把握が可能であり、信頼性があることを示すものとなった。

本報告では、すべての項目に大阪府内全自治体のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。本調査は、子どもの貧困対策の評価につながる基礎調査である。

2) 単純集計

<経済面・家庭状況制度面>

2016年度と比較して、大阪府の可処分所得の分布はほぼ前回と同じような形になっており、世帯構成や人数などに関しても大きな差は見られない。

富田林市でも、2016年度の前回調査（以後、前回調査とする）では25.6%の世帯が赤字であったが、今回はやや低くなり、21.7%であった。この数値は前回と同様に、中学生の世帯が小5の世帯よりも高くなる。前回と同傾向であったことから、前回明らかにしたクラブや塾など小学生よりも中学生の方が家計を圧迫していることに十分対応できていないことが考えられる。また、子どものための貯蓄をしたいができない状態が、前回40.1%が今回35.4%であった。持ち家率は前回76.5%だったのが、今回80.2%である。赤字・貯蓄ともにおおむね4ポイントくらいの差でよくなった結果の中で、持ち家の傾向をどう見るのかはコロナも含め災害が多発することで持ち家への価値観が変化してきたとも考えられる。

経済的な理由で経験できなかったこと（はく奪項目）について、生活における食費の切りつめやレジャーを控えるなどの項目は、2016年に比較して該当数が下がっている。それに呼応して、どれにもあてはまらないという回答は前回24.6%、今回30.9%と高くなっている。家計の赤字の数も減り、全体を見たときに、2016年度から少しではあるが、好転しているようにとら

えられる。

ただし、経済的理由による子どもに関する経験（子どものはく奪）に関しては、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」が前回0.8%、今回0.8%と横ばいであり、残念ながら好転がみられない。その他、「子どものための本や絵本が買えなかった」が前回4.5%、今回4.5%は同傾向、「子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった」前回0.1%、今回0.9%、「子どもの誕生日を祝えなかった」前回1.1%、今回1.7%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」前回10.9%、今回11.8%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」前回17.9%、今回20.4%は上昇傾向になっている。

また、子どもが持っているものや使えるものを見ると、本は前回71.8%、今回64.3%、子ども部屋前回78.2%、今回65.3%、自転車が前回91.8%、今回82.6%と下がっているものが多い中、極端に上がったのは、スマートフォンやタブレット（前回61.0%、今回79.1%）であり、これらは学校からの配布の成果であろう。

以上から、家計の状況は少し改善がみられるが、基本的には家計の改善を子どもに回す余裕には至っていない。経済的理由による子どもにできなかった経験（上記に挙げたようなこと）がどの家庭でも実現できるような方策が非常に重要である。

2016年度に養育費の取り決めについては設問を入れていなかったため、本調査での正確な比較はできないが、今回養育費の取り決めをして受け取っているのは約2割であった。反面、養育費を取り決めているが、受け取っていないのは2割を超えていた。2016年度全国ひとり親世帯等調査（厚生労働省2017）では、ひとり親家庭のうち養育費についての取り決めをしている割合が母子世帯で42.9%、父子世帯で20.8%、ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子どもの割合が、母子世帯54.2%、父子世帯74.4%という値であり、今回の結果は、養育費関連の施策の成果はあったのではないかと想定できる。

<雇用・健康>

持ち家など居住形態など大きな変化はない。学歴については、母親の学歴を取り上げると、高校卒業が前回28.6%、今回19.6%、9ポイント低下、大学卒業が前回12.8%、今回25.8%、13ポイント上昇した。雇用状況では、何らかに仕事をしている母親は、前回93.6%、今回91.4%と約2ポイント減少している。そのなかで、正規職員が前回21.7%、今回27.0%で約5ポイント増えている。これらは、社会の認識の変化や政策による変化があったのではないかと考えられる。

支援制度の利用状況について、就学援助は前回20.7%、今回18.7%、児童扶養手当が前回11.0%、今回17.2%、生活保護が前回2.2%、今回1.2%であった。就学援助制度について、「利用したことがない」との回答が前回45.2%、今回68.9%であり、かなり増加し、その理由を今回は聞いているが、「自身が該当しない」が90.3%でほぼ皆がそう思っていることがわかった。この数値は可処分所得の結果から考えてももっと受けることができる世帯があると思われるが、受けていない。前回も「あなたが受けることができる権利がある」メッセージを必要な人にどう届けるのか大きな課題であったが、改善に至っていない。各制度を正しく知らせ、他人ごとにせず、そこでのスティグマを無くし受けやすくする工夫がさらに必要である。

<健康・家庭生活・学習・対人関係>

まず食事から確認する。「朝食を食べない」（週に1回も食べていない）が前回2.4%、今回3.5%、約1ポイントではあるが増えている。食べない理由に「用意されていないから」が、前回2.4%、今回5.5%「食べる習慣がない」が前回6.3%、今回5.9%であった。小学生の114名が毎日食

べていない。このことは、2016年度も話題になったが、改善すべき喫緊の課題である。特に、数名ではあるが「用意されていない」子どもがいることの深刻さを受け止め、誰一人取り残さない政策の促進が急務である。また、家族の人と食事をしていない子どもは、「ほとんどない」、「まったくない」を合計して、朝食では、小学5年生の子どもが215名いること、夕食では小学5年生で36名の子どもがおうちの人と夕食を食べていない。これらは2016年の1回目に警鐘をならすべきこととしてとらえられていたが、より重視すべきである。

おうちの人と関わる設問は、2016年と傾向はほぼ変わらなかった。放課後過ごす場所は、「ともだちの家」が前回25.6%、今回23.1%、「学校（クラブ活動など）」が前回34.7%、今回26.0%と減っており、コロナの影響による社会的交流が減ったことからの結果である可能性が考えられる。友人との関係性が薄れることは、孤立や孤独へ向かう懸念も生じる。

勉強に関しては、今回調査から「授業がわからなくなった時期」小学生なら3,4年生(57.5%)、中学生なら1年生(42.3%)でつまづいていることがわかった。相談相手では、誰にも相談できない、相談したくないと感じている子どもは、前回15.4%、今回は10.0%、2016年よりも減っている。前は身体や気持ちで気になることを聞き、今回は身体の状態で気になること、「この1週間の気持ちの状況」で気になることを聞いているため単純に比較はできないが、「特に気になるところがない」が前回26.3%、今回33.5%（体調）、「やる気が起きない」において「そんなことはない」が29.7%であった。

悩みについては、2016年度と数値も傾向も変わらない。最も多いのが、「学校や勉強のこと」について「ともだちのこと」「自分のこと（外見や体型のこと）」「進学・進路のこと」であった。

制度やサービスでいうと、子どもの居場所において、「平日の夜や休日過ごす居場所」の利用では小5が34.7%、中2が23.7%の子どもが利用したことがあり、「食事提供の居場所」は小5が18.1%、中2が11.0%、「学習支援の居場所」は小5が9.5%、中2が7.5%、「何でも相談できる場所」は、小5が9.9%、中2が4.6%の子どもが利用したことがあった。これら併せて居場所の効果として「ともだちの増加」が小学生で21.9%、中学生で23.7%、「生活の中に楽しみなことが増えた」は小5が6.8%、中2が6.3%、「気軽に話せる大人が増えた」は小5で6.8%、中2で4.5%という結果であった。このことは今後の展開に大きな意味をなすであろう。ただし、中学2年生は、友達が増えたと回答する反面、同じくらい「特に変化なし」(27.2%)と回答している。そのため、早期に居場所に繋ぎ、居場所が誰にとっても当たり前の選択肢にする必要がある。「平日の夜や休日過ごせる居場所」以外は、利用頻度は「食事提供の居場所」14.8%、「学習支援の居場所」8.7%、「何でも相談できる場所」は7.4%と少なくなり、将来の利用に関する積極的な利用希望も「食事提供の居場所」が小中合わせて21.6%、「学習支援の居場所」が小中合わせて17.5%ほどになる。子どもたちの希望があるととらえられ、「放課後過ごす場所」において、「ともだちの家」や「学校（クラブ活動など）」が減少していることと併せて、子どもたちに多くの選択肢を提供できる方がよいと考えられること、自分には関係ない考える傾向があるかもしれないこと、などから居場所の充実とより自然な提供が望まれる。富田林市では、ここ数年、子ども食堂の開設数が増えているが、「利用したことがない」と答えた数が多く、そのうえ、利用しない理由では、「どこにあるか知らないから」が多かった。子どもたちに適切な情報を周知するための工夫が必要である。

最後に、ヤングケアラーの項目である「家族に世話をしている人」がいるかどうかについては、厚生労働省の研究事業として実施された調査結果と比べると、小学生6.5%（日本総研2022）、中学生5.7%（MURC2021）という値よりはるかに高い、小5が32.5%、中2が13.2%であり、内容もきょうだいの世話が最も多く、小5は67.8%（小学6年生28.5%：日本総研2022）、中2が77.9%（中学生79.8%：MURC2021）である。小学生の世話が国に比べてきょうだいの世話の割合が高

い。「家事」は、本調査では複数の質問にまたがっていることや複数回答可にしていることから単純に比較できないが、先述した厚生労働省の研究事業では、小6の世話の内容を家事と答えたのが、35.2%（日本総研2022）できょうだいの世話より高いが、本調査では逆であった。時間をみると1時間未満が最も多く、定義のあいまいさが子どもに答えにくくさせている可能性もあるであろう。今後、イギリスのように定義を明確にしていくことも検討を行う必要がある。富田林市では、小学生において、「世話をしている人の有無」が大阪府（25.7%）より約7ポイント高い32.5%となった。ヤングケアラーの定義を含め、学校現場では、子どもの家庭生活状況に関する認識と必要なケアについて教育的取り組みが望まれる。

今回の調査で保護者が身近にあるといいと思うことは、上位3つが「無料で学習支援が受けられる場所」49.0%、「放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」35.0%、「困ったときにご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」29.5%であった。学習に関して最も気にしていることがわかり、これらのサービスを利用している率の低さから、身近に届けられるような工夫が必要である。

3) クロス集計

各セクションコメントでは、2023年度の項目のみで確認してきたが、ここでは可能な限り2016年と比較する。まず経済面では、できなかった経験、つまりはく奪指標として、2016年度も検討してきた項目でまず確認する。

経済面から確認する。「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」「電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある」「国民年金の支払いが滞ったことがある」などの項目では2016年度よりも減少、特に困窮度Ⅰ群においては減少がみられる。ただし「生活の見通しがたなくて不安になったことがある」の減少はそこまで大きくなく、将来への不安感の減少にまで至っていない。経済的な大人のはく奪に比べ、子どものはく奪に関して、「お子さんの進路を変更した」、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」、など2016年度と比較して増加している。これは、コロナ禍となったこともあり、経済的リスクのしわ寄せが子どもに向かった可能性がある。しかし、避けないといけないことであり、警鐘を鳴らす必要性とともに対策を講ずべきである。また家計を住居の所有状況別にみると、「府営、市営の住宅」において、家計が赤字の世帯の割合が約半数（前回34.2%、今回34.6%）、子どものために「貯蓄したいが、できていない」割合が約7割（前回65.8%、今回65.4%）と他と比較しても以前家計の厳しさが示されたと言える。

支援制度に関しては、まず就学支援制度は、申請すれば利用できるはずである困窮度Ⅰ群であっても利用したことがない人が、2016年度14.2%あり、これを減らすことを第一目的に考えたほどであったが、2023年度最も厳しい困窮度Ⅰ群において26.7%と増加している。現在利用している人をとってみても、2016年度66.2%だったところ2023年度は57.8%と減少している。児童扶養手当は困窮度Ⅰ群で利用したことがない人が、2016年度27.7%、2023年度8.2%と減少している。「生活保護制度」について、困窮度Ⅰ群において「利用している」が2016年度10.1%から2023年度では3.7%と約7ポイント低くなっている。これら設問の文言（例「受けたことがある」→「利用したことがある」など）の違いはあるものの、困窮度Ⅰ群にとって、つまり厳しい家庭にとって、制度利用は決して進んでおらず、さらに厳しい状況となったとも推察できる。

子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況は、本調査において全体で7.4%、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金は1.3%である。全国レベルのデータを見ると、2020年コロナ発生後の10月の調査（厚生労働科学特別研究）において、収入200万未満の世帯で35.6%（山野研究室2021）である。これらの数値を直接比較することはできないが、いずれにおいても割合の低さか

ら、2016年以降子どもの貧困が周知されるようになり、コロナ禍となって、さらに支援制度の広がりや周知が今まで以上になされたが、大阪においてもその活用が広がり切れなかったと言わざるを得ない。これら最も厳しい世帯における利用が減少した要因を探る必要がある。

10代で親になった世帯の厳しさは2016年度同様であり、たとえば母親の最終学歴について初めて親となった年齢別では、中卒（「中学校卒業」および「高等学校中途退学」）が半数近く、他の年齢群に比べて高い割合を示している。また、就労状況において正規社員の割合が、他の年齢群と比べて低くなっている。出産などによって学業を中断せざるを得なかった10代への教育支援や就業支援もさることながら、そもそもの予防的支援として、自分を大切にすることや将来を見ずえるような教育的支援が必要である。例えば、小学生から高校生まで、性教育含む生きる教育（西澤・西岡ほか2022）の積極的に導入を進めるべきである。またスウェーデンで行われている、実際の社会問題と向き合い、制度を知り選択できる力を養う社会科授業の実施など、思い切った根本的な教育改革が必要である。

雇用に関しては、質問形態が違うため安易に2016年と比較できないが、非正規雇用の方が、困窮度が増すことや、最終学歴が低いほど困窮度Ⅰに占める割合が高くなる傾向は2016年と同じである。世帯構成と就労状況の関係を見ると、ふたり親世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が前回30.7%、今回29.7%であった。さらなる重点支援を検討すべきである。

健康に関しても傾向は、2016年度と2023年度はほぼ変わらない。つまり困窮度が増すほど身体面、精神面不調が高くなる。セクションコメントで述べてきたように、毎日の規則正しい朝食・昼食摂取が、保護者と子どもがよりよい関係となって、子どもの自己効力感を高める可能性があり、自己肯定感や将来の夢や目標があるほど、日常生活の中で元気に過ごしているという傾向があることから、基本的な生活習慣を維持できるような取り組み、将来の夢や目標が持てるような取り組みの工夫が必要である。

家庭生活や学習に関する傾向も2016年度の調査と変わらない。経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しうる。経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。子どもの将来に関して、困窮度Ⅰ群と中央値以上群の差は2016年から変わっていない。つまり、将来への希望が持てていない。

経済状況により生活習慣や学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、生活習慣が身についていないと遅刻につながり、学習理解に影響が出ている可能性がある。こうした学習習慣と家庭状況は大きく関係するため、横断的に判断できて支援に繋ぐような、例えば家庭学習を補完するためにも、学習支援や学校での少し先輩である就学前児童なら小学生、小学生なら中学生、中学生なら高校生、など年齢の近い年上の子ども・若者を各所で導入する仕組みを作ったり、校内でサポートを展開するメンターの導入などが望ましい。（イギリスやアメリカで活用されているメンター制度）

対人関係においても2016年の結果とクロスの傾向は変わらない。変わったところで述べると、放課後過ごす人の回答は「学校以外の友だち」が今回、困窮度Ⅰ群が4.1%、中央値以上群が12.3%と3倍となり、前回の差（困窮度Ⅰが10.8%と中央値以上が14.3%）より全体が低く、差ははるかに広がった。また場所としては、前は困窮度Ⅰ群対中央値以上群ではスーパーが7.4%対5.0%、コンビニ4.1%対2.9%、ゲームセンター4.1%対1.6%が特徴的で困窮度Ⅰ群の方が高かった。今回はスーパーが13.0%対6.3%、コンビニ10.6%対2.8%、ゲームセンター8.9%対2.0%となり、

傾向は変わらないが、コンビニ、ゲームセンターの数値の差が広がった。塾や習い事は、前回は困窮度Ⅰ群対中央値以上群では塾11.5%対36.1%、習い事18.2%対38.8%が、今回同じく塾13.0%対30.7%、習い事17.9%対41.6%となり、僅かであるが、塾の数値の差は狭まり、習い事の数値の差は広がった。

経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性があることが示唆された。また、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

最後に、子どもが保護者以外に話せる機会が必要である。しかし、家庭と学校しかソーシャル・キャピタルを持たない子どもたちにとって、今回の調査において、「おうちの人に関する悩み」は「おうちの人」と「学校の友だち」に話しにくいという結果であった。これは、ますます経済的に厳しい子どもたちを孤立させ、ソーシャル・キャピタルを欠如させてしまう。おうちの人や学校の友だちに話せないという今回の結果から、自然と話せるような場や人材を確保し、すべての子どもが自然に通う、学校から自然に参加できる、流れるような仕組みを創設または充実させる必要がある。富田林市では、平成29年度より子ども食堂に対する運営費や設備経費の補助を開始し「こども食堂運営支援事業」として、現在市内に13箇所の子どもの食堂がある。また、併せて居場所作りの活動も行っており、今後は全小学校区への開設を目指している。校則のある小学生にとって、学校区外の子どもの食堂へ行くことは困難であるため、すべての子どもの小学校区内に子どもの食堂が開設されることによる政策効果は非常に期待できるものである。

まとめ

今回の調査結果から、子どもの貧困に関する対策の結果として、親の就労や学歴、所得状況については改善がみられ、中央値は上昇する結果であった。これは2021年度の厚生労働省の国民生活基礎調査の結果をみても同様の傾向である。

しかし、その分が子どもに回っておらず、物価高の影響等が考えられる。肝心の困窮度Ⅰの世帯あるいは子どもの状況の改善は見られず、悪化している部分もあった。このことは子どもの貧困を考える立場にとっては厳しい結果である。この解決には、国が縦割りを解消しようとこども家庭庁を設立し、データ連携等が新たな動きをしているなか、同様に教育や福祉という既存の枠組みを越えて、子どもをまんやかに実行できる体制や制度設計を早急に考えるべきである。以下のような対策をとる必要がある。

1. 経済面：母子世帯への支援や収入のアップを企業側が実行できるような施策が必要である。
2. 学習面：学校だけでなく、すべての子どもが通う学校と連携した学びの保障を検討する。方策として、コミュニティスクールや学習支援、無料塾の創設などの活用である。保護者のニーズのある無料塾は、例えば沖縄で導入している。貧困調査の結果から支援員を大々的に投入し、訪問による給付や支援の申請書の書き方のサポートなどの人的支援方策を実施した。そ

ういう方法を検討する必要がある。あるいはそれをクラウドデータで行えるようなデータ連携と社会資源を選択できるよう可視化と自治体内での共有化が必要である。

3. 無償化の対象にならない部活の費用などの補助を行う。塾代助成のような方策を検討し、かつ申請をしなくても必要な人には利用できるよう、塾側に措置費のような形で配分する枠組みの提示や方策の提案を行う。
4. 価値の創造：教育の力はすべての子どもに影響することが出来る。年齢に応じて子どもの人権や生きる価値など人間尊重の理念から獲得できるような学びとその方法を導入する。小学1年生から体験的に教育を受ける生きる教育（西澤・西岡 2022）やブレインストーミングのように子どもたちとの対話で進めるフィンランドの教育（北川 2005）、実際的な生活課題から制度やサービス、権利に関して体験的に学ぶスウェーデンの社会科（リンドクウィスト・ウエステル 1997）のように、その年齢に合わせて体験型であり、自身の意見を出し、周りの意見を聞きながら進めるレクチャー型ではない教育の進め方を根本から検討すべきである。そのことによって、10代の妊娠やいじめ、ヤングケアラーなど家庭状況を抱えるようになってからも早期にSOSが出せたり、自身で支援を選択できる力を養うことができる。
5. 地域資源：支援の場所を周知することである。自治体のパンフレットなど見やすい形で大阪府下全域に拡充する必要がある。子ども食堂に限らず、様々な機能（駄菓子屋や公園などほっと寄れるような場を使つたつどいの場など）を持つ居場所や体験交流でき、子どもが自力で行ける場が小学校区に必要である。学校が場所を開放するのがベストである。その場所が子どもにとっても親にとってもわかりやすく、行きやすい場所にあり、選択肢が増え、可視化し利用しやすくする必要がある。相談機関を増やしても子どもや親からの相談の数値は決して上がらず、居場所などの場の方が有効である。
6. 連携の考え方：連携とは個人情報共有をしなければできないわけではない。個人情報は把握しないまま連携することが重要である。これが社会資源を十分に把握できていない学校現場と個人情報を持ってない地域の居場所の新しい連携の方法であり、これらを周知徹底させることである。
7. すべての子どもを視野に入れ、そこから自然につながる仕組みなど、今までの縦割りとは次元の違う支援の仕組みが必要である。
8. 社会福祉協議会など居場所の中間支援を行う機関の役割を明確化し、機能的に促進させる。社会教育分野が持つ公民館や図書館なども場であり、さらなる協働を明確にする。（子ども食堂等居場所の活動団体が無料で入れる、利用できるなど）
9. 全数からの仕組み：必要な子どもが確実に発見され自然につながるためには、スクリーニングから繋ぐ機能まで持った、例えば文部科学省推奨（2020）のYOSSスクリーニング（山野研究室2021）の仕組みが必要である。今回の調査で2016年からの比較によってアウトリーチでは乗り越えられなかった壁が明かになった。相談ではなく、自然に伴走する支援を厳しい家庭の保護者や子どもたちは求めていることがわかる。必要な子どもを早期に発見し、伴走しながら、必要な制度や仕組みを紹介し、利用を増やすことで生活の改善をはかることと、伴

走することで子どもや保護者本人の力をアップさせ、資源を活用できるようにする機能が必要である。

10. システム化：洩れなく持続可能に巡回させるためには、人に頼るだけでなく、福祉と学校のデータ連携を推奨し、地域資源の可視化のためにクラウド化することも考慮すべき点である。クラウドによっていち早く支援場所や居場所が学校にもすぐにわかり、地域活動と支援の必要な子どもを結び、支援提供を展開する必要がある。
11. 人材：これら学校においてすべての子どもの検討、発見から支援に繋ぐ校内の体制作りができる人材育成に力を入れる必要がある。スキルを取得する訓練講座の予算化や新たな認定制度になることも家庭ソーシャルワーカー養成制度の活用などである。
12. その専門職の1つがスクールソーシャルワーカーである。各校に1名配置できるよう、計画を立てる必要がある。
13. 法制化：これらは連携ではなく仕組み作りであり、制度化である。要綱や規定を作成し、動きやすいようにすべきである。
14. 制度設計：デジタル化のために補助金や助成金を検討することも必要である。なぜなら、どこに必要な子どもが存在するのかがわからない。データ連携することでどこに必要な子どもが存在し、様々な制度を活用してどうだったかを検証できるように作りこむことである。これらのシステム費用がベンダーロックにより莫大な金額がかかる課題がある。企業を巻き込むと同時に、国や府はクラウド化に向けた助成制度を創設する必要がある。

引用・参考文献

- アーネ・リンドクウィスト&ヤン・ウェステル, 川上 邦夫 (翻訳) (1997)『あなた自身の社会：スウェーデンの中学教科書』新評論.
- 大阪府 (2023)「大阪府子ども（子育て世帯）に対する食費支援事業（第2弾）」
(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/20980/00457638/2-9.pdf>)
- 大阪府立大学 (2017)「大阪府子どもの生活実態調査」
- 北川達夫 (2005)「図解フィンランド・メソッド入門」経済界.
- 厚生労働省 (2004)「ワークシェアリング導入促進に関する秘訣集及びリーフレットについて」
(<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/06/h0630-2.html>)
- 厚生労働省 (2017)「平成28年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告」
(<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000190325.pdf>)
- 厚生労働省 (2022)「2022（令和4）年国民生活基礎調査の概況」
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html>)
- 柴田悠 (2016)『子育て支援が日本を救う—政策効果の統計分析』勁草書房.
- 内閣府 (2010)「平成21年度インターネットによる子育て費用に関する調査」
(https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyousa21/net_hiyo/mokuji.pdf.html)

- 西澤哲・西岡加名恵ほか（2022）『『生きる』教育：自己肯定感を育み,自分と相手を大切にする方法を学ぶ』日本標準.
- 日本総研（2022）「令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.
- 三菱UFJリサーチコンサルティング（株）（2021）「令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.
- 文部科学省（2023）「令和5年度就学援助の実施状況」
(https://www.mext.go.jp/content/20210324-mxt_shuugaku-000013450_27.pdf)
- 文部科学省・山野研究室（2020）「スクリーニング活用ガイド」
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf)
- 山野則子編著（2019）『子どもの貧困調査—子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書店.
- 山野則子（2018）『学校プラットフォーム』有斐閣.
- 山野則子研究室（2021）「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査報告書」厚生労働省.
- 山野則子研究室（2021）「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」文部科学省.
- 柳澤靖明・福島尚子（2019）『隠れ教育費：公立小中学校でかかるお金を徹底検証』太郎次郎社エディタス.
- UNESCO(2020) ‘International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach (jpn)’ (<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167>)

図表目次

図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験	183
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験	185
図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの.....	187
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均.....	188
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均.....	189
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均.....	190
図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成	191
図 8. 困窮度別に見た、世帯員の構成（2016 年度調査との比較）	192
図 9. 世帯構成別に見た、家計の状況	193
図 10. 困窮度別に見た、子どもの人数	194
図 11. 困窮度別に見た、住居形態	195
図 12. 困窮度別に見た、家計の状況	196
図 13. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	197
図 14. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無	198
図 15. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況	201
図 16. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況（2016 年度調査との比較）	202
図 17. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	203
図 18. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）（2016 年度調査との比較）	204
図 19. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況	205
図 20. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況（2016 年度調査との比較）	206
図 21. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）	207
図 22. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢	208
図 23. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）	209
図 24. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	210
図 25. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	211
図 26. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）	212
図 27. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）	214
図 28. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ） ...	216
図 29. 住居形態別に見た、家計の状況	217
図 30. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	218
図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況.....	219
図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況.....	220
図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	221
図 34. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	222
図 35. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	223
図 36. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ...	224
図 37. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況	225
図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況.....	227
図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況.....	229
図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	231
図 41. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	233
図 42. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	235
図 43. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況	237
図 44. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況.....	239
図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況.....	240
図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況.....	241
図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	242
図 48. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	243

図 49. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	244
図 50. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況	245
図 51. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況	246
図 52. 困窮度別に見た、就労状況	248
図 53. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴	249
図 54. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴	250
図 55. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況	251
図 56. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況	252
図 57. 世帯構成別に見た、就労状況	253
図 58. 就労状況別に見た、家計の状況	254
図 59. 困窮度別に見た、朝食の頻度	256
図 60. 就労状況別に見た、朝食の頻度	257
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度	258
図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度	259
図 63. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	260
図 64. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	261
図 65. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度	262
図 66. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	263
図 67. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	264
図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある	265
図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ	266
図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	267
図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる	268
図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	269
図 73. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	270
図 74. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	271
図 75. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	272
図 76. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	273
図 77. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること	275
図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある	276
図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ	277
図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	278
図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる	279
図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	280
図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	281
図 84. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	282
図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	283
図 86. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	284
図 87. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること	286
図 88. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	288
図 89. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	290
図 90. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	291
図 91. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点	292
図 92. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）	293
図 93. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）	294
図 94. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）	295
図 95. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）	296
図 96. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか	298
図 97. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか	299

図 98. 困窮度別に見た、おうちの大人のの人に宿題（勉強）をみてもらうか.....	300
図 99. 困窮度別に見た、おうちの大人のひと文化活動をするか.....	301
図 100. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）.....	302
図 101. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）.....	303
図 102. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間.....	304
図 103. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの.....	305
図 104. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日）.....	306
図 105. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日）.....	307
図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）.....	308
図 107. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）.....	309
図 108. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）.....	310
図 109. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）.....	311
図 110. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間.....	312
図 111. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間.....	313
図 112. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連.....	314
図 113. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連.....	315
図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度.....	316
図 115. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度.....	317
図 116. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間.....	318
図 117. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間.....	319
図 118. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度.....	320
図 119. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度.....	321
図 120. 困窮度別に見た、希望する進学先.....	322
図 121. 困窮度別に見た、希望する進学先（2016年度調査との比較）.....	323
図 122. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学.....	324
図 123. 困窮度別に見た、学校への遅刻.....	325
図 124. 困窮度別に見た、子どもの通学状況.....	326
図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひと一緒に朝食を食べているか.....	327
図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひと一緒に夕食を食べているか.....	328
図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のの人に宿題（勉強）をみてもらうか.....	329
図 128. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひと学校のできごとについて話すか.....	330
図 129. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひと遊んだり、体を動かしたりするか.....	331
図 130. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとニュースなど社会のできごとについて話すか.....	332
図 131. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひと文化活動をするか.....	333
図 132. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひと一緒に外出するか.....	334
図 133. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること.....	336
図 134. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数.....	337
図 135. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）.....	338
図 136. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先.....	339
図 137. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの.....	340
図 138. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること.....	342
図 139. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合.....	343
図 140. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数.....	344
図 141. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）.....	345
図 142. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先.....	346
図 143. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯.....	347
図 144. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度.....	348
図 145. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度.....	349
図 146. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間.....	350

図 147. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	351
図 148. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況.....	353
図 149. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	354
図 150. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	355
図 151. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所	359
図 152. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人	361
図 153. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと	363
図 154. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること	365
図 155. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	367
図 156. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先.....	369
図 157. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（2016年度調査との比較）	370
図 158. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合	371
図 159. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合（2016年度調査との比較） ...	371
図 160. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	372
図 161. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	373
図 162. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか.....	374
図 163. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらうか	375
図 164. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか	376
図 165. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか	377
図 166. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか.....	378
図 167. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと文化活動をするか.....	379
図 168. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと一緒に外出するか.....	380
図 169. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	381
図 170. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所.....	382
図 171. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所.....	383
図 172. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所	384
図 173. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験	385
図 174. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	387
図 175. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	389
図 176. 勉強を無料か安い料金でみてる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	391
図 177. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	393
図 178. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	395
図 179. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	396
図 180. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	397
図 181. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所	398
図 182. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所.....	399
図 183. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	401
図 184. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	403
図 185. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	405
図 186. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所.....	407
図 187. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所.....	409
図 188. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所.....	411
図 189. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	413
図 190. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	415
図 191. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所.....	417
図 192. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所.....	419
図 193. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無.....	421
図 194. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	423

IV 資料編

<健康に関する考察> 参照データ

保護者__問18⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人
保護者__問15 子どもの通学状況 (上段：実数、下段：%)

	調査数	いる	いない	わからない	無回答
全 体	1053 100.0	796 75.6	218 20.7	31 2.9	8 0.8
ほぼ毎日通っている	975 100.0	740 75.9	200 20.5	28 2.9	7 0.7
欠席は年間30日未満である	52 100.0	40 76.9	11 21.2	1 1.9	- -
欠席が年間30日以上、60日未満である	10 100.0	7 70.0	3 30.0	- -	- -
欠席が年間60日以上、1年未満である	8 100.0	5 62.5	3 37.5	- -	- -
欠席が1年以上続いている	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0
わからない	4 100.0	2 50.0	- -	2 50.0	- -
無回答	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -

保護者__問18⑦留守を頼める人
保護者__問15 子どもの通学状況 (上段：実数、下段：%)

	調査数	いる	いない	わからない	無回答
全 体	1053 100.0	740 70.3	257 24.4	50 4.7	6 0.6
ほぼ毎日通っている	975 100.0	690 70.8	236 24.2	43 4.4	6 0.6
欠席は年間30日未満である	52 100.0	34 65.4	15 28.8	3 5.8	- -
欠席が年間30日以上、60日未満である	10 100.0	9 90.0	1 10.0	- -	- -
欠席が年間60日以上、1年未満である	8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5	- -
欠席が1年以上続いている	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -
わからない	4 100.0	2 50.0	- -	2 50.0	- -
無回答	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -

<家庭生活・学習に関する考察> 参照データ

子ども__問14（2）授業がわからなくなった時期
 子ども__問26（1）自分が世話をしている人の有無

（上段：実数、下段：％）

	調査数	小学 1・ 2 年生の ころ	小学 3・ 4 年生の ころ	小学 5 年生に なっ てから	小学 6 年生の ころ	中学 1 年生の ころ	中学 2 年生に なっ てから	無 回 答
全 体	196 100.0	19 9.7	49 25.0	29 14.8	13 6.6	52 26.5	32 16.3	2 1.0
いる	46 100.0	5 10.9	17 37.0	8 17.4	1 2.2	12 26.1	3 6.5	- -
いない	145 100.0	13 9.0	30 20.7	21 14.5	10 6.9	40 27.6	29 20.0	2 1.4
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	- -	2 40.0	- -	- -	- -

子ども__問24 希望する進学先
 子ども__問26（1）自分が世話をしている人の有無

（上段：実数、下段：％）

	調査数	中 学 校	高 校	短 期 大 学	大 学	大 学 院	留 学	専 門 学 校 ・ 高 等 専 門 学 校	考 え た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1410 100.0	19 1.3	221 15.7	34 2.4	524 37.2	36 2.6	53 3.8	193 13.7	163 11.6	159 11.3	8 0.6
いる	332 100.0	8 2.4	63 19.0	11 3.3	98 29.5	11 3.3	10 3.0	46 13.9	44 13.3	38 11.4	3 0.9
いない	1050 100.0	11 1.0	152 14.5	22 2.1	419 39.9	25 2.4	42 4.0	145 13.8	116 11.0	116 11.0	2 0.2
無回答	28 100.0	- -	6 21.4	1 3.6	7 25.0	- -	1 3.6	2 7.1	3 10.7	5 17.9	3 10.7

＜対人関係に関する考察＞ 参照データ

子ども__問9 毎日の生活で楽しいこと

(上段：実数、下段：%)

子ども__問26 (1) 自分が世話をしている人の有無

	調査数	過お ごう ちの 人と 一緒 に 過 す と き	ご と も だ ち と 一 緒 に 過 す と き	学 校 生 活 や ク ラ ブ に 参 加 し 活 動 し て い る と き	ひ と り で 過 ご し て い る と き	今、 住 ん で い る 地 域 に 参 加 し て い る と き	塾 や 習 い ご と で 過 ご し て い る と き	特 に 楽 し い と 思 う と き	そ の 他	無 回 答
全 体	1410	902	1158	735	680	232	346	21	293	8
	100.0	64.0	82.1	52.1	48.2	16.5	24.5	1.5	20.8	0.6
いる	332	220	265	177	126	59	90	2	62	3
	100.0	66.3	79.8	53.3	38.0	17.8	27.1	0.6	18.7	0.9
いない	1050	666	871	541	542	169	249	18	224	4
	100.0	63.4	83.0	51.5	51.6	16.1	23.7	1.7	21.3	0.4
無回答	28	16	22	17	12	4	7	1	7	1
	100.0	57.1	78.6	60.7	42.9	14.3	25.0	3.6	25.0	3.6

子ども__問17 悩んでいること

(上段：実数、下段：%)

子ども__問26 (1) 自分が世話をしている人の有無

	調査数	お う ち の こ と	学 校 や 勉 強 の こ と	の ク ラ ブ 活 動 や 部 活 動	自 分 の こ と (外 見 や 体 型 な ど)	と も だ ち の こ と	好 き な 人 の こ と	進 学 ・ 進 路 の こ と	そ の 他 の こ と	い い や な こ と や 悩 ん で い る こ と は な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1410	138	273	124	214	217	105	212	75	460	303	40
	100.0	9.8	19.4	8.8	15.2	15.4	7.4	15.0	5.3	32.6	21.5	2.8
いる	332	37	61	15	42	55	27	42	18	109	66	6
	100.0	11.1	18.4	4.5	12.7	16.6	8.1	12.7	5.4	32.8	19.9	1.8
いない	1050	97	204	106	166	158	77	167	55	340	233	33
	100.0	9.2	19.4	10.1	15.8	15.0	7.3	15.9	5.2	32.4	22.2	3.1
無回答	28	4	8	3	6	4	1	3	2	11	4	1
	100.0	14.3	28.6	10.7	21.4	14.3	3.6	10.7	7.1	39.3	14.3	3.6

子ども__問23 (1) 自分に自信があるか

(上段：実数、下段：%)

子ども__問26 (1) 自分が世話をしている人の有無

	調査数	あ る	ど ち ら か と い う と あ る	い ど ち ら か と い う と な い	無 回 答
全 体	1410	295	505	397	200
	100.0	20.9	35.8	28.2	14.2
いる	332	89	138	70	32
	100.0	26.8	41.6	21.1	9.6
いない	1050	200	362	319	162
	100.0	19.0	34.5	30.4	15.4
無回答	28	6	5	8	6
	100.0	21.4	17.9	28.6	21.4

子ども__問23（3）自分の将来の夢や目標を持っているか（上段：実数、下段：%）
 子ども__問26（1）自分が世話をしている人の有無

	調査数	持っている	持つちていかという	持つちていかないう	持っていない	無回答
全 体	1410 100.0	711 50.4	299 21.2	192 13.6	201 14.3	7 0.5
いる	332 100.0	207 62.3	70 21.1	29 8.7	24 7.2	2 0.6
いない	1050 100.0	493 47.0	223 21.2	159 15.1	172 16.4	3 0.3
無回答	28 100.0	11 39.3	6 21.4	4 14.3	5 17.9	2 7.1

保護者__問13（3）平日での子どもとの関わり時間（上段：実数、下段：%）
 子ども__問26（1）自分が世話をしている人の有無

	調査数	0 ～ 1 5 分 未 満	1 5 分 ～ 3 0 分 未 満	3 0 分 ～ 1 時 間 未 満	1 時 間 ～ 2 時 間 未 満	2 時 間 ～ 3 時 間 未 満	3 時 間 ～ 4 時 間 未 満	4 時 間 以上	無 回 答
全 体	992 100.0	32 3.2	94 9.5	197 19.9	271 27.3	170 17.1	93 9.4	112 11.3	23 2.3
いる	223 100.0	8 3.6	20 9.0	41 18.4	61 27.4	38 17.0	22 9.9	32 14.3	1 0.4
いない	747 100.0	24 3.2	73 9.8	151 20.2	204 27.3	128 17.1	68 9.1	77 10.3	22 2.9
無回答	22 100.0	- -	1 4.5	5 22.7	6 27.3	4 18.2	3 13.6	3 13.6	- -

保護者__問13（3）休日での子どもとの関わり時間（上段：実数、下段：%）
 子ども__問26（1）自分が世話をしている人の有無

	調査数	2 時 間 未 満	2 時 間 ～ 4 時 間 未 満	4 時 間 ～ 6 時 間 未 満	6 時 間 ～ 8 時 間 未 満	8 時 間 ～ 1 0 時 間 未 満	1 0 時 間 以上	無 回 答
全 体	992 100.0	196 19.8	219 22.1	175 17.6	96 9.7	65 6.6	138 13.9	103 10.4
いる	223 100.0	35 15.7	36 16.1	39 17.5	23 10.3	18 8.1	47 21.1	25 11.2
いない	747 100.0	156 20.9	175 23.4	136 18.2	73 9.8	42 5.6	89 11.9	76 10.2
無回答	22 100.0	5 22.7	8 36.4	- -	- -	5 22.7	2 9.1	2 9.1

保護者__問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況
子ども__問26（１）自分が世話をしている人の有無

（上段：実数、下段：％）

	調査数	よく参加している	るときき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全 体	992	788	159	34	7	4
	100.0	79.4	16.0	3.4	0.7	0.4
いる	223	185	33	4	1	－
	100.0	83.0	14.8	1.8	0.4	－
いない	747	585	124	29	5	4
	100.0	78.3	16.6	3.9	0.7	0.5
無回答	22	18	2	1	1	－
	100.0	81.8	9.1	4.5	4.5	－

保護者__問16（１）子どもの居場所の利用有無

（上段：実数、下段：％）

保護者__問11 日本語以外の言語の使用状況

	調査数	利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	1053	161	888	4
	100.0	15.3	84.3	0.4
日本語のみを使用している	1024	153	867	4
	100.0	14.9	84.7	0.4
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	21	5	16	－
	100.0	23.8	76.2	－
日本語以外の言語を使うことが多い	6	2	4	－
	100.0	33.3	66.7	－
無回答	2	1	1	－
	100.0	50.0	50.0	－

保護者__問19 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

（上段：実数、下段：％）

保護者__問11 日本語以外の言語の使用状況

調査項目	調査数	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナーの親	戚きょうだい・その他の親	知人や友人	職場関係者	学校の先生やスクールソーシャルワーカー	公的機関や役所の相談員	学童保育の指導員	地域の民生委員・児童委員	民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）	医療機関の医師や看護師	インターネットのサイトやSNSによる相談	その他	相談できる相手がいない	無回答
全 体	1053 100.0	774 73.5	729 69.2	215 20.4	376 35.7	577 54.8	219 20.8	126 12.0	27 2.6	15 1.4	3 0.3	15 1.4	44 4.2	12 1.1	21 2.0	28 2.7	5 0.5
日本語のみを使用している	1024 100.0	756 73.8	710 69.3	211 20.6	369 36.0	567 55.4	214 20.9	124 12.1	26 2.5	14 1.4	2 0.2	15 1.5	43 4.2	12 1.2	21 2.1	26 2.5	5 0.5
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	21 100.0	13 61.9	12 57.1	3 14.3	6 28.6	9 42.9	5 23.8	1 4.8	1 4.8	1 4.8	1 4.8	－	1 4.8	－	－	2 9.5	－
日本語以外の言語を使うことが多い	6 100.0	4 66.7	6 100.0	－	1 16.7	1 16.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	－	－	－	1 50.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－

保護者__問16（１）子どもの居場所の利用有無（上段：実数、下段：%）
 保護者__問15 子どもの通学状況

	調査数	利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	1053 100.0	161 15.3	888 84.3	4 0.4
ほぼ毎日通っている	975 100.0	146 15.0	827 84.8	2 0.2
欠席は年間30日未満である	52 100.0	9 17.3	43 82.7	－ －
欠席が年間30日以上、60日未満である	10 100.0	1 10.0	9 90.0	－ －
欠席が年間60日以上、1年未満である	8 100.0	3 37.5	5 62.5	－ －
欠席が1年以上続いている	2 100.0	1 50.0	1 50.0	－ －
わからない	4 100.0	1 25.0	3 75.0	－ －
無回答	2 100.0	－ －	－ －	2 100.0

保護者__問19 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
 保護者__問15 子どもの通学状況

(上段：実数、下段：%)

	調査数	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナーの親	戚きょうだい・その他の親	知人や友人	職場関係者	学校の先生やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	公的機関や役所の相談員	学童保育の指導員	地域の民生委員・児童委員	民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）	医療機関の医師や看護師	インターネットのサイトやSNSやLINEによる相談	その他	相談できる相手がいない	無回答
全 体	1053 100.0	774 73.5	729 69.2	215 20.4	376 35.7	577 54.8	219 20.8	126 12.0	27 2.6	15 1.4	3 0.3	15 1.4	44 4.2	12 1.1	21 2.0	28 2.7	5 0.5
ほぼ毎日通っている	975 100.0	729 74.8	685 70.3	201 20.6	354 36.3	537 55.1	205 21.0	113 11.6	24 2.5	14 1.4	3 0.3	14 1.4	38 3.9	11 1.1	20 2.1	24 2.5	3 0.3
欠席は年間30日未満である	52 100.0	35 67.3	31 59.6	9 17.3	14 26.9	28 53.8	12 23.1	11 21.2	2 3.8	1 1.9	-	-	4 7.7	1 1.9	1 1.9	2 3.8	-
欠席が年間30日以上、60日未満である	10 100.0	7 70.0	6 60.0	3 30.0	5 50.0	6 60.0	1 10.0	2 20.0	-	-	-	-	1 10.0	-	-	1 10.0	-
欠席が年間60日以上、1年未満である	8 100.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	-	1 12.5	-	-	1 12.5	1 12.5	-	-	1 12.5	-
欠席が1年以上続いている	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	4 100.0	-	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 50.0
無回答	2 100.0	-	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

おおさかふ こ せいかつ かん じったいちようさ
大阪府子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせい ちゅうがく せい む ちようさ ちようさひよう とんだばやしし
小学生・中学生向け調査 調査票【富田林市】

ちようさ きようりよく ねが
< 調査への協力のお願い >

- ◆この調査は、大阪府内の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で答えてください。
- ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- ◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◆あなたが答えた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- ◆大阪府と富田林市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月20日までに回答してください。

うえぶ かいとう
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- Webでの回答方法は、16ページをござんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。
- ※Webで回答した場合、この調査票は学校で回収しますので、先生に渡してください。

かみ ちようさひよう かいとう
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、先生に渡してください。

きげん れいわ ねん がつ にち もくようび
◆期限： 令和5年7月20日（木曜日）◆

ちようさ かん といあわ さき
【調査に関するお問合せ先】

とんだばやししこそだ ふくしふ みらいしつ
富田林市子育て福祉部こども未来室

じゅうしよ おおさかふとんだばやししときわちよう ばん ごう
住所：大阪府富田林市常盤町1番1号

でんわ
電話：0721-25-1000（代）（9：00～17：30 月曜日～金曜日 ※祝日を除く）

ふあくしみり
ファクシミリ：0721-24-8976

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしたがってください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 起きている	3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている	4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 午後9時より前	4. 午後11時台	7. きまっていない
2. 午後9時台	5. 午前0時台	
3. 午後10時台	6. 午前1時より後	

問4 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問5 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問6 お休みの日の昼食についておたずねします。

(1) あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 必ず食べる	3. 食べないことが多い	5. わからない
2. 食べることが多い	4. 食べない	

(2) 前の質問で「1. 必ず食べる」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが、学校がお休みの日に昼食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問7 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 遅刻はしない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	



とい 問8 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩それぞれについて、あてはまる番号ばんごう
ひと まる
1つに○をつけてください）

	ほとんど毎日 まいにち	週に4～5回 しゅう かい	週に2～3回 しゅう かい	週に1回程度 しゅう かい いど	月に1～2回 つき かい	ほとんどない	まったくない
① おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
② おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③ おうちの大人のひとに朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④ おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤ おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥ おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦ おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧ おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨ おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩ おうちの大人のひとと一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

とい 問9 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいとおもいますか。

（あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください）

1. おうちのひとと一緒に過ごしているとき	5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
2. ともだちと一緒に過ごしているとき	6. 塾や習いごとで過ごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	7. 特に楽しいと思うときはない
4. ひとりで過ごしているとき	8. その他

とい
問10 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | |
|--|
| 1. おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4. 学校のともだち
5. クラブ活動・部活動の仲間
6. 学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
7. ひとりでいる
8. その他の人 |
|--|

とい
問11 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 自分の家 2. おばあちゃん・おじいちゃんの家 3. ともだちの家 4. 塾 5. 習いごと 6. 学校（クラブ活動・部活動など） 7. 公園・広場 8. スーパーやショッピングモール	9. コンビニエンスストア 10. ゲームセンター 11. 図書館や公民館など公共の施設 12. 地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所） 13. 学童保育（※） 14. その他

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

とい
問12 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 自分で勉強する 2. 塾で勉強する 3. 学校の補習を受ける 4. 家庭教師に教えてもらう 5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	6. おうちの人に教えてもらう 7. ともだちと勉強する 8. その他 9. 学校の授業以外で勉強はしない

とい 問13 あなたは、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
 (塾などの時間もふくみます。) (①、②それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない
① 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	7
② 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	7

はんぶん
あと半分だよ。
がんばってね！

とい 問14 学校の勉強についておたずねします。
 (1) 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. わからない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

(2) 前の質問で「3. あまりわからない」「4. ほとんどわからない」「5. わからない」に○をつけた方に
 おたずねします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
 (あてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 小学1・2年生のころ	3. 小学5年生になってから	5. 中学1年生のころ
2. 小学3・4年生のころ	4. 小学6年生のころ	6. 中学2年生になってから

とい 問15 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
 (教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

とい 問16 あなたは、^{がっこう}学校や^{がっこう}学校の^{ぎょうじ}行事等で次のようなことがありますか。

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{じゅぎょう} 授業中に ^ね 寝てしまうことが多い	7. ^{うんどうかい} 運動会や ^{えんそく} 遠足などの ^{がっこうぎょうじ} 学校行事を ^{けっせき} 欠席する
2. ^{しゅくだい} 宿題ができていないことが多い	8. ^{ほけんしつ} 保健室で ^す 過ごすことが多い
3. ^も 持ち物の ^{わす} 忘れ物が ^も 多い	9. ^{がっこう} 学校では ^{ひとり} ひとりで ^す 過ごすことが多い
4. ^{なら} 新しいことを ^{やす} 休むことが ^{おほ} 多い	10. ^{ともだち} ともだちと ^{あそ} 遊んだり、 ^{おしゃべり} おしゃべりしたりする ^{じかん} 時間が
5. ^{ていしゅつぶつ} 提出物を ^だ 出すのが ^{おく} 遅れることが ^{おほ} 多い	^{すく} 少ない
6. ^{しゅうがくりょこう} 修学旅行などの ^{しゅくはくぎょうじ} 宿泊行事を ^{けっせき} 欠席する	11. ^{とく} 特にない

とい 問17 今、あなたは、^{いま}いやなことや^{なや}悩んでいることはありますか。

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{うち} おうちのこと	6. ^す 好きな ^{ひと} 人のこと
2. ^{がっこう} 学校や ^{べんきょう} 勉強のこと	7. ^{しんがく} 進学・ ^{しんろ} 進路のこと
3. ^{くらぶ} クラブ活動や ^{ぶかつどう} 部活動のこと	8. ^た その他のこと
4. ^{じぶん} 自分のこと（ ^{がいけん} 外見や ^{たいけい} 体型など）	9. ^{なや} いやなことや悩んでいることはない
5. ^{ともだち} ともだちのこと	10. ^{わからぬ} わからない

とい 問18 あなたは、^{なや}いやなことや悩んでいることがあるとき、^{そうだん}だれかに相談しますか。（^{はな}だれに話しますか。）

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{おや} 親	12. ^{いんたーねっと} インターネットや ^{さいと} サイトなどを ^{つうし} 通じて ^し 知りあった
2. ^{きょうだい} きょうだい	^{ちよくせつ} 直接 ^あ 会ったことの ^{ひと} ない人
3. ^{しん} 親せき	13. ^{きんじょ} 近所の ^{ひと} 人
4. ^{がっこう} 学校の ^{ともだち} ともだち	14. ^{ちいき} 地域の ^{しえんだんたい} 支援団体
5. ^{がっこう} 学校以外の ^い ともだち	^{がくしゅうしえん} （学習支援の ^ば 場や ^こ 子ども ^{しょくどう} 食堂など ^{ちいき} 地域で
6. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生	^{おなとし} 同じ ^こ 年ごろの ^{あつ} 子どもが ^{ひと} 集まるところの ^{ひと} 人）
7. ^{すくー} スクール ^{かうんせらー} カウンセラー、 ^{そーしゃるわーかー} ソーシャルワーカー	15. ^た その他の ^{ひと} 人
8. ^{じゅく} 塾や ^{なら} 習いごとの ^{せんせい} 先生	16. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談できない
9. ^{がくどうほいく} 学童保育の ^{せんせい} 先生（※）	17. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談したくない
10. ^こ 子ども ^{せんよう} 専用の ^{でんわ} 電話 ^{そうだん} 相談	18. ^{わからぬ} わからない
11. ^{えすえぬえす} SNSなどの ^{いんたーねっと} インターネットや ^{らいん} LINEの ^{そうだん} 相談	

※「学童保育」とは、「^{がくどうほいく}放課後児童クラブ」、「^{ほしかぎ}いきいき放課後児童クラブ」、「^{るす}留守家庭児童会（室）」
、「^{がくどうくらぶ}学童クラブ」、「^{なかよ}仲良し^{くらぶ}クラブ」もふくみます。

問19 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。

(①～⑨それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	そう うっ だも	とき どき そう だ	そ ん な い こ と
① 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
② 遊びにでかけるのが好きだ	1	2	3
③ 元気いっぱいだ	1	2	3
④ やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑤ 一人ぼっちのような気がする	1	2	3
⑥ 不安な気持ちになる	1	2	3
⑦ まわりが気になる	1	2	3
⑧ やる気が起きない	1	2	3
⑨ いらいらする	1	2	3

問20 あなたは、自分の体の状態で気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	6. よくかゆくなる
2. よく頭がいたくなる	7. とくに気になるところはない
3. 歯がいたい	8. その他
4. よくおなかがいたくなる	9. わからない
5. よくかぜをひく	



答えたくない質問は答える必要はないよ。

答えに迷うときは、あなたの気持ちや考えに

できるだけ近いものを選んでね。

とい 問21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 本 (学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく)	8. テレビ
2. マンガ・雑誌	9. けいたい電話
3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだいと 一緒に使っている部屋など)	10. スマートフォン・タブレット機器
4. インターネットにつながるパソコン (学校のパソコンはのぞく)	11. 化粧品・アクセサリ
5. 運動用具 (ボール・ラケットなど)	12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
6. ゲーム機	13. 自分で選んだ服
7. 自転車	14. キャラクターグッズ
	15. その他
	16. あてはまるものはない

あなたが、ふだん 考 えていることについておたずねします。

とい 問22 あなたは、つらいことがあってもすぐ立ち直ることができますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというそう思わない
2. どちらかというそう思う	4. そう思わない

とい 問23 あなたがふだん 考 えていることについて、次の (1) ~ (3) について教えてください。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

(1) 自分に自信がある

1. ある	3. どちらかというたない
2. どちらかというとある	4. ない

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる	3. どちらかというとできない
2. どちらかというとできる	4. できない

(3) 自分の将来の夢や目標を持っている

1. 持っている	3. どちらかというと持っていない
2. どちらかというと持っている	4. 持っていない

とい 問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	6. 留学 (外国で長い期間勉強すること)
2. 高校	7. 専門学校 (美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など) ・高等
3. 短期大学	せんもんがっこう 専門学校
4. 大学	8. 考えたことがない
5. 大学院	9. わからない

あともう少しだよ！

がんばってね！



©2014 大阪府もずやん

あなたのことについて、おたずねします。

問25 自分やともだちの家以外の場所についておたずねします。

- (1) あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

(①～④それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	利用したことがある	利用したことはない (あれば利用したい と思う)	利用したことはない (今後も利用したい と思わない)	利用したことはない (今後も利用したい か分からない)
① 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育など)	1	2	3	4
② 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
③ 勉強を無料か安い料金でみくれる場所 (一般的な学習塾とはちがう学習支援など)	1	2	3	4
④ 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4

- (2) 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方におたずねします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ともだちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

(3) 問25(1)の質問で、「利用したことがある」に○をつけた方以外におたずねします。利用したことがないのはなぜですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. どこにあるか知らないから	7. Wi-fi (インターネット通信環境) がないから
2. 家の近く(ひとりで行ける場所)にないから	8. 行きたいと思わないから
3. 家で過ごしたいと思うから	9. 何をしているかわからないから
4. 楽しくなさそうだから	10. 利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから
5. 「行っではいけない」と親などの大人に言われるから	11. その他
6. 行きたい日・時間に開いていないから	

問26 あなたがおうちでしているお世話の様子についておたずねします。

(1) おうちの人のなかあなたがお世話をしている人はいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. いる	2. いない

(2) 前の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。誰のお世話をしていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじいちゃん
2. お父さん	5. きょうだい
3. おばあちゃん	6. その他

(3) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。あなたがおこなっているお世話を内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 料理や買い物、食器洗いなど	5. 病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など
2. 洗濯など	6. その他
3. そうじやゴミ捨てなど	
4. きょうだいのめんどろを見ることや保育所のおむかえなど	

(4) 前の質問で「6. その他」に○をつけた方は、具体的な内容を書いてください。

(5) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をするのはどれくらいありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほぼ毎日	3. 週に1日または2日
2. 週に3日～5日	4. 1か月に数日

(6) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。学校がある日に、お世話を1日のうちどれくらいしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1時間より少ない	4. 3時間以上、5時間より少ない
2. 1時間以上、2時間より少ない	5. 5時間以上、7時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない	6. 7時間より多い

(7) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をしていることによって次のようなことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの人と話したり遊んだりすることが ふ 増える	8. とても疲れることがある
2. 時間の使い方を工夫できる	9. いろいろしやすい
3. 家の中で気持ちよく過ごすことができる	10. 気持ちが落ち込む
4. おうちの人健康に過ごすことができる	11. 学校を欠席や遅刻、早退することがある
5. 「お世話」にやりがいを感じる	12. その他
6. おうちの人以外と話す時間が減る	13. 特にない
7. 自分のことをする時間がない	

問27 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子	3. その他
2. 女子	4. 答えたくない

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、保護者の方に渡してください。

相談窓口のご案内

○親子やきょうだいのことなど家庭での悩みについては

＜子どもの悩み相談フリーダイヤル＞

TEL : 0 1 2 0 - 7 2 8 5 - 2 5

24時間 365日

LINE <https://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/sodanliner3/index.html>

＜親子のための相談LINE＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

○友人関係など学校での悩みについては

＜すこやかホットライン＞

TEL : 0 6 - 6 6 0 7 - 7 3 6 1

月曜日～金曜日 : 9時～17時30分（※祝日・年末年始を除く）

Eメール sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp



@2014 大阪府もずやん

【ひとりで悩まないで、相談してね。】

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700082>

- ◆ 最初の画面がでてきたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

お お さ か ふ こ せ い か つ か ん じ ャ ャ い ち ェ う さ
大阪府子どもの生活に関する実態調査
ほ ご し や む ち ェ う さ ち ェ う さ ひ ェ う と ん だ ば や し し
保護者向け調査 調査票 【富田林市】

ち ェ う さ き ェ う り ェ く ね が
< 調査への協力をお願い >

- ◆この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪府の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。
- ◆調査の対象は、小学5年生と中学2年生です。
- ◆お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。
- ◆この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
- ◆ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙（またはWebフォーム）に回答してください。
- ◆回答するときには、お子さんと別々に、お互いの回答を見ないように記入してください。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月20日までに回答してください。

う え ぶ か い とう
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- Webでの回答方法は、16ページをごらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。
- ※Webで回答された場合は、ご自宅での調査票を処分してください。

か み ち ェ う さ ひ ェ う か い とう
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封をしてください。「保護者用封筒」を返信用封筒に入れ、期限までに返信してください。（お子さんがお家で回答した場合・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封を閉じて、「保護者用封筒」と一緒に返信用封筒に入れて学校に提出してください。）

き げ ん れ い わ ね ん が つ に ち も く ェ う び
◆期限： 令和5年7月20日（木曜日）◆

ち ェ う さ か ん と い あ わ さ き
【調査に関するお問合せ先】

と ん だ ば や し し こ そ だ ふ く し ぶ み ら い し つ
富田林市子育て福祉部こども未来室

じ ェ う し ェ お お さ か ふ と ん だ ば や し し と き わ ち ェ う ば ん ご う
住所：大阪府富田林市常盤町1番1号

で ん わ だ い げ つ ェ う び き ん ェ う び し ェ く じ つ の ぞ
電話：0721-25-1000（代）（9：00～17：30 月曜日～金曜日 ※祝日を除く）

ふ あ く し み り
ファクシミリ：0721-24-8976

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしただけでください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おじいさん・おばあさん	6. その他の人

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、令和5年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含まれます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問2 あなたの世帯の構成と人数をお答えください。（①～⑧それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）（⑧は、あなたや対象のお子さんを含んだ人数をお答えください。）

①おばあさん	②おじいさん	③お母さん	④お父さん	⑧合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人	0. いない 1. 1人	1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上
⑤姉・兄	対象のお子さん (本人) (※)	⑥妹・弟	⑦その他	
0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	1人	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	

※「対象のお子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問3 お子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む。）	4. 未婚
2. 離婚	5. わからない
3. 死別	6. いない

問4 前の質問で「2. 離婚」に○をつけた方におたずねします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。

また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 取り決めをしており、受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3. 取り決めをしているが、受け取っていない
4. 取り決めをしておらず、受け取っていない

問5 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

（1） 前年（2022年）の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

（2） お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 食費を切りつめた	13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした
2. 電気・ガス・水道などが止められた	14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある
3. 医療機関を受診できなかった	15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある
4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	16. 趣味やレジャーの出費を減らした
5. 国民年金の支払いが滞ったことがある	17. 冷暖房の使用を控えた
6. 金融機関などに借金をしたことがある	18. 友人・知人との外食を控えた
7. クレジットカードの利用が停止になったことがある	19. 敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した
8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた	20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした
9. 新聞や雑誌を買うのを控えた	21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった
10. スマートフォンへの切替・利用を断念した	22. 1～21の項目には、どれもあてはまらない
11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた	
12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）（現在、ひとりでお子さんを育てている場合（ひとり親の場合）はあてはまる方だけに○をつけてください。）

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。（複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください）

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

とう お父さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方（おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など）	
1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚を含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	4. お子さんが寝た後に帰ってくる
2. お子さんの夕食時間には家にいる	5. 帰宅時間が決まっていない
3. お子さんの寝る時間には家にいる	6. その他

問11 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

お子さんに関することについておたずねします。

問12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（おおむね1年の間で考えてください。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. お子さんを医療機関に受診させることができなかった	9. お子さんを学習塾に通わせることができなかった
2. お子さんの進路を変更した	10. お子さんの誕生日を祝えなかった
3. お子さんのための本や絵本が買えなかった	11. お子さんにお年玉をあげることができなかった
4. お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	12. お子さんの学校行事などに参加することができなかった
5. お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	13. 子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
6. お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14. 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
7. お子さんを習い事に通わすことができなかった	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない
8. お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	

とい 問13 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1 日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

平日	休日
1. 0～15 分未満	1. 2 時間未満
2. 15 分～30 分未満	2. 2 時間～4 時間未満
3. 30 分～1 時間未満	3. 4 時間～6 時間未満
4. 1 時間～2 時間未満	4. 6 時間～8 時間未満
5. 2 時間～3 時間未満	5. 8 時間～10 時間未満
6. 3 時間～4 時間未満	6. 10 時間以上
7. 4 時間以上	

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても期待している	3. あまり期待していない
2. 期待している	4. 期待していない

(5) お子さんの授業参観や運動会などの学校行事に参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よく参加している	3. あまり参加していない
2. ときどき参加している	4. まったく参加していない

とい 問14 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	4. 大学	7. 専門学校・高等専門学校
2. 高校	5. 大学院	8. 考えたことがない
3. 短期大学	6. 留学	9. わからない

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間30日未満である
3. 欠席が年間30日以上、60日未満である
4. 欠席が年間60日以上、1年未満である
5. 欠席が1年以上続いている
6. わからない

問16 子どもの居場所について、おたずねします。

- (1) あなたのお子さんは、次のような「子どもの居場所」を利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- ・自宅や学校以外の場所で、子どもたちが本を読んだり、みんなで遊んだりできるような場所
- ・子どもが無料又は低額で食事ができる場所（子ども食堂）
- ・自宅や学校、塾以外の場所で、無料でボランティアの方などが勉強を教える学習支援の場

1. 利用したことがある	2. 利用したことがない

- (2) 前の質問で「1. 利用したことがある」と答えた方におたずねします。

お子さんが子どもの居場所を利用することで良いと思うことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 地域の人とつながれるから 2. お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから 3. 栄養バランスのとれた食事がとれるから 4. 運営者が相談に乗ってくれるから 5. 低額（または無料）でご飯が食べられるから	6. 宿題など勉強を見てくれるから 7. お子さんが楽しんでいるから 8. 特になし 9. その他

- (3) 問16(1)の質問で「2. 利用したことがない」と答えた方におたずねします。

子どもの居場所を利用しないのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. どこにあるかわからないから 2. 家の近く（小学校区内）にないから 3. 家で過ごしてほしいと思うから 4. 居場所のイメージがよくないから 5. お子さんが「行きたくない」と言っているから	6. 行きたい日・時間に開いていないから 7. 利用したいと思わないから 8. 何をしているかわからないから 9. その他

あなたのことについておたずねします。

問17 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問18 次の①～⑦について、おうちの方を含め（お子さんは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ お子さんとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ お子さんの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ お子さんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問19 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー	9. 学童保育の指導員(※)
2. 自分の親	10. 地域の民生委員・児童委員
3. 配偶者・パートナーの親	11. 民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)
4. きょうだい・その他の親戚	12. 医療機関の医師や看護師
5. 知人や友人	13. インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談
6. 職場関係者	14. その他
7. 学校の先生やスクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー	15. 相談できる相手がいない
8. 公的機関や役所の相談員	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会(室)」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」も含みます。

とい 問20 次のうち、身近にあるといいと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 保護者^{ほごしや}どうして気軽に^{きがる}話せる^{はな}場^ば 2. SNS^{えすえぬえす}などのインターネット^{いんたーねっと}を通じて^{つう}悩み^{なや}ごとを話せる^{はな}コミュニティ^{こみゆにてい} 3. 家事^{かじ}の援助^{えんじよ}が受けられる^うこと 4. 支援^{しえん}制度^{せいど}など必要な^{ひつよう}情報^{じょうほう}を届^{とど}けてくれる^くこと 5. 困^{こま}った時^{とき}にご飯^{はん}を無料^{むりよう}または安価^{あんか}で自宅^{じたく}に届^{とど}けてくれる^くサービス^{さーびす}	6. お子^こさんが放課後^{ほうかご}や休日^{きゅうじつ}に勉強^{べんきょう}などができる^{できる}場所^{ばしょ}を利用^{りよう}できる^{できる}こと 7. お子^こさんが無料^{むりよう}で学習^{がくしゅう}支援^{しえん}を受けられる^う場所^{ばしょ} 8. お子^こさんや保護者^{ほごしや}が夕食^{ゆうしよく}を無料^{むりよう}か安い^{やす}料金^{りょうきん}で食べる^たこととができる^{できる}場所^{ばしょ}（子ども食堂^{こどもしきどう}など）を利用^{りよう}できる^{できる}こと

とい 問21 あなたの心^{こころ}の状態^{じょうたい}についておたずねします。

（1）生活^{せいかつ}を楽し^{たの}んでいますか（仕事^{しごと}や家事^{かじ}、育児^{いくじ}など）。

（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても楽し ^{たの} んでいる	3. あまり楽し ^{たの} んでいない	5. わからない
2. 楽し ^{たの} んでいる	4. 楽し ^{たの} んでいない	

（2）将来^{しょうらい}に対して希望^{たい}を持^{きぼう}っていますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てる	3. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てない
2. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てるときもあれば、持 ^も てないときもある	4. わからない

（3）ストレス^{すとれす}を発散^{はつさん}できるものがありますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

（4）あなた^{じぶん}は、ご自分^{しあわ}が幸^{おも}せだと思^{おも}いますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	4. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない
2. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	5. わからない
3. あまり幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない	

とい
問22 あなたは、自分の^{じぶん}体^{からだ}や^き気^も持^きちで^き気^きになることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番^{まる}号^{ごう}すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが ^き 気 ^き になる
2. よく ^{あたま} 頭 ^{あたま} がいたくなる	11. やる ^き 気 ^き が ^お 起 ^お きない
3. ^は 歯 ^は がいたい	12. ^{いら} イ ^{いら} ラ ^{いら} する
4. 不安 ^{ふあん} な ^き 気 ^も 持 ^き ちになる	13. よく ^{かた} 肩 ^{かた} がこる
5. ものを見 ^み づらい	14. よく ^{こし} 腰 ^{こし} がいたくなる
6. ^き 聞 ^き こえにくい	15. とくに ^き 気 ^き になるところはない
7. よくおなかがいたくなる	16. その他 ^た
8. よくかぜをひく	17. わからない
9. よくかゆくなる	

^{こた}答^{こた}え^{しつもん}た^{こた}く^{ひつよう}ない^{ひつよう}質^{ひつよう}問^{ひつよう}に^{ひつよう}答^{ひつよう}え^{ひつよう}る^{ひつよう}必^{ひつよう}要^{ひつよう}は^{ひつよう}あ^{ひつよう}り^{ひつよう}ま^{ひつよう}せ^{ひつよう}ん。

^{こた}答^{こた}え^{まよ}に^{まよ}迷^{まよ}う^{まよ}場^{まよ}合^{まよ}い^{まよ}には、あ^{まよ}な^{まよ}た^{まよ}の^{まよ}気^{まよ}持^{まよ}ち^{まよ}や^{まよ}考^{まよ}え^{まよ}に^{まよ}で^{まよ}き^{まよ}る^{まよ}だ^{まよ}け^{まよ}近^{まよ}い^{まよ}も^{まよ}の^{まよ}を^{まよ}選^{まよ}ぶ^{まよ}よ^{まよ}う^{まよ}に^{まよ}し^{まよ}て^{まよ}く^{まよ}だ^{まよ}さ^{まよ}い。

問23 あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～gそれぞれについて、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまる番号1つに○をつけてください)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター ※5	f 低所得 の子育て世帯に対する子育て 世帯生活支援特別給付金 ※6	g 新型コロナウイルス感染症に伴う 生活福祉資金(貸付金) ※7
現在利用している	1	1	1	1	1	1	1
現在利用していないが、 以前利用したことがある	2	2	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3	3	3
制度の対象外 (収入などの条件を 満たさない) だと思う から	①	①	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に 利用したいと思わな かったから	②	②	②	②	②	②	②
利用したいが、今まで この支援制度を知ら なかったから	③	③	③	③	③	③	③
利用したいが、手続が わからなかったり、 利用しにくいから	④	④	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

3に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○をつけてください

(参考)

※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度。

- ※ 2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※ 3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※ 4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※ 5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けることができる。
- ※ 6 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金：新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者など）に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給する制度。
- ※ 7 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）：新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業などにより、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における生活支援費などを支給する制度。

世帯の経済状況についておたずねします。

問24 前年（2022年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1,000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない

新型コロナウイルスの感染状況についておたずねします。

問25 この1年間でお子さんを含め、同居家族が新型コロナウイルスに感染したのべ回数を教えてください。
(例：母 1回、長男 1回 ⇒ 2回とお答えください。)

	かい 回

問26 あなたの住居環境についておたずねします。

(1) あなたがお住まいの住居の間取りは、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに
まる
○をつけてください)

1. ワンルーム	3. 居室2部屋 (2K、2DK、2LDK)
2. 居室1部屋 (1K、1DK、1LDK)	4. 居室3部屋 (3K、3DK、3LDK) 以上

(2) その住居には、何人でお住まいですか。(□に数字をお書きください。)

	にん 人

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

○生活困窮者自立支援相談窓口

https://www.pref.osaka.lg.jp/shakaiengo/seikon_gaiyou/index.html#jiritu

○大阪府立母子・父子福祉センター (大阪市、堺市、豊中市は各市の窓口)

<https://osakafu-boshiren.jp/>

○子育てや親子関係の悩みについては

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

- WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。
- 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700081>

- ◆ 最初の画面が表示されたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

富田林市子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

富田林市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学